

講義内容 2007

法学部

講 義 内 容

目 次

法律学科フレックスA・政治学科

I 全学共通科目

| | | |
|---|--------|-----|
| 1 | 宗教教育科目 | 11 |
| 2 | 教養教育科目 | 29 |
| 3 | 外国語科目 | 195 |
| 4 | 保健体育科目 | 361 |

II 専門教育科目

| | | |
|---|------|-----|
| 1 | 法律学科 | 411 |
| 2 | 政治学 | 515 |

III 他学部履修科目

| | | |
|----|----------------|-----|
| IV | 「日本語」・「日本事情」科目 | 657 |
|----|----------------|-----|

V 随意科目

法律学科フレックスB

I 全学共通科目

| | | |
|---|--------|-----|
| 1 | 宗教教育科目 | 695 |
| 2 | 教養教育科目 | 705 |
| 3 | 外国語科目 | 745 |
| 4 | 保健体育科目 | 781 |

II 専門教育科目

III 他学部履修科目

| | | |
|-----------------|--------|-----------------------------|
| 法律学科フレックスA・政治学科 | 全学共通科目 | 宗教教育 教養教育 外国語 保健体育 |
| | 専門教育科目 | 法律 政治 |
| | 履修科目 | 他学部 「日本語」 「日本事情」 |
| | 随意科目 | 任意科目 |
| 法律学科フレックスB | 全学教育科目 | 宗教教育 教養教育 外国語 保健体育 |
| | 専門教育科目 | 専門教育 |
| | 履修科目 | 他学部 |
| | 履修科目 | 履修科目 |

法律学科フレックスA

政 治 学 科

I 全学共通科目

1. 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

| 科目名 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|-------------|----------------|------|----|-------|-----|
| 仏教と人間 | 法A1必 | 通年 | 4 | 晴山 俊英 | 11 |
| 仏教と人間 | 法A1必 | 通年 | 4 | 岩永 正晴 | 12 |
| 仏教と人間 | 法A1必 | 通年 | 4 | 佐藤 秀孝 | 13 |
| 仏教と人間 | 法A1必 | 通年 | 4 | 石井 清純 | 13 |
| 仏教と人間 | 政1必 | 通年 | 4 | 菅原 壽清 | 14 |
| 仏教と人間 | 政1必 | 通年 | 4 | 渡部 正英 | 15 |
| 仏教と人間 | 政1必 | 通年 | 4 | 岡部 雅明 | 15 |
| 仏教と人間〔再クラス〕 | 全学科（フレB除く）234年 | 通年 | 4 | 吉津 宜英 | 16 |
| 仏教と人間〔再クラス〕 | 全学科（フレB除く）234年 | 通年 | 4 | 下室 覚道 | 17 |
| 仏教と人間〔再クラス〕 | 全学科（フレB除く）234年 | 通年 | 4 | 松田 陽志 | 17 |
| 仏教と人間〔再クラス〕 | 全学科（フレB除く）234年 | 通年 | 4 | 晴山 俊英 | 18 |

| | | | | | |
|------|---------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 仏教と人間 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A1必 | | | | |
| 担当者名 | はれやま しゆんえい 晴山 俊英 | | | | |

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

教科書

特になし。板書が中心となる。

参考書等

授業において適宜指示する。

その他

試験は自筆ノートのみ持ち込み可で、試験範囲を限定することはしません。従って欠席した分については自己責任で対処すること。

| | | | | | |
|------|---------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 仏教と人間 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A1必 | | | | |
| 担当者名 | いわなが しょうせい 岩永 正晴 | | | | |

講義のねらい

曹洞宗によって創立された駒澤大学で学ぶ学生諸君に仏教および曹洞宗の教えに親しんで貰うことを、本講義の目的とします。しかし、永い歴史を有する仏教が生み出した儀礼や慣例、多くの用語や多量の文献など、諸君を仏教から遠ざける要因は少なくないでしょう。本講義では、その要因のひとつ、仏教で用いる用語の解説に主眼を置きながら、仏教の考え方を紹介していきたいと思ひます。宗教にまつわる問題が取り沙汰される昨今、ひとえに熱狂したり嫌ったりするのはなく、宗教および仏教について冷静に考察するための材料を提供したいと考えています。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書を読み進め、解説を行います。また必要に応じてプリントを配布して補足します。

履修上の留意点

成績評価に際しては、出席点やレポートなどの補助的な評価材料を用いないので、授業には積極的に参加して貰いたい。

成績評価の方法

学年末の試験のみによって成績評価を行う。レポート、出席点等はない。

教科書

鎌田茂雄『仏陀の観たもの』（講談社学術文庫）

参考書等

中村元『ブツダ入門』（春秋社）、平川彰『仏教入門』（春秋社）、梶山雄一『空入門』（春秋社）、角田泰隆『道元入門』（大蔵出版）、鏡島元隆『正法眼蔵随聞記に学ぶ』（曹洞宗宗務庁）、末本文美士『日本仏教史—思想史としてのアプローチ』（新潮文庫）、松尾剛次『「お坊さん」の日本史』（日本放送出版協会・生活人新書041）等。その他は講義の中で適宜紹介する。

| | | | | | |
|------|-------|----|----|----|---|
| 科目名 | 仏教と人間 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A1必 | | | | |
| 担当者名 | 佐藤 秀孝 | | | | |

講義のねらい

仏教はインドのゴータマ・シッダッタ（釈迦牟尼仏）を開祖とする宗教であり、すでに2500年の歴史を有している。世間一般の仏教に関する理解は、おおむね葬式仏教というイメージが中心であろう。しかし、実際には仏教の思想は生きた人間そのものを見つめるきわめて現代的なものである。仏教が他の諸宗教ときわめて相違する点は、神を持ち出さず、あくまで人間（自己）の苦悩や生死の問題に正面から立ち向かっているところにある。その面で仏教はまさに人間学なのであって、「人（人生）とは如何にあるか」「人（人生）とは如何にあるべきか」を課題にしているわけである。

講義の内容・授業スケジュール

講義では人間学としての仏教の基本的なものの考え方（無常・縁起など）を諸方面から窺い、仏教の現代的意義を探ってみたい。また合わせて本学の建学の理念でもある禅のものの考え方についても、その実践性から禅の人間観・修行観・生活観などの諸方面から説明したい。とくに永平寺を開いた道元は「仏道をならふといふは自己をならふなり」と述べており、自己とは何か、自己そのものを学ぶのが仏道であることを表明している。とかく宗教問題が錯綜している現今であるが、東洋の思想の一つとして、本当の仏教とは何か、禅とは何かを知ってもらいたい。

成績評価の方法

年度末試験およびレポート提出などを中心とするが、さらに出席を重視するのでそのつもりで臨んでもらいたい。

教科書

廣澤隆之『図解雑学・仏教』（ナツメ社）1,400円を使用したい。

参考書等

奈良康明『仏教と人間』（東京書籍・東書選書）や松本史朗『仏教への道』（東京書籍・東書選書）などが有益であろう。

| | | | | | |
|------|-------|----|----|----|---|
| 科目名 | 仏教と人間 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A1必 | | | | |
| 担当者名 | 石井 清純 | | | | |

講義のねらい

仏教の思想と禅の中心思想について解説し、本学の依って立つところを明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

種々の經典における仏教の教えと、禅思想の展開について歴史的に概観する。また、鎌倉時代に成立した各宗派の内容を対比的に解説しつつ、現代社会と仏教あるいは宗教の関わりについて問題提起をしてゆきたい。

履修上の留意点

出席は取らないが、講義中に数回のアンケートや感想文の提出を要求する。これも成績評価に加味されるので、夏休みのレポートとともに確実に提出すること。

成績評価の方法

前期終了時にレポートを課す。それと年度末の筆記試験をもって評価を行う。また、授業時間内で要求するレポートやアンケートなども評価に加味される。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

五来重『日本人の仏教史』（角川選書）

| | | | | | |
|------|-----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 仏教と人間 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政1必 | | | | |
| 担当者名 | 菅原 <small>すがわら</small> 壽清 <small>としきよ</small> | | | | |

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教・仏教文化の理解は、現代社会においても不可欠であると思われます。そこで、本講義では「人間と宗教」という視点から、人間と宗教・仏教について、その営みをとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、前半は宗教をとらえてゆくための基礎的な講義を、後半では仏陀の教え、その展開や伝播と変容、禅のこころなどの講義を、スライドなどを用いて進めて行きます。

講義の内容・
授業スケジュール

〈宗教へのアプローチ〉

1. 宗教と宗教学（宗教をとらえる視点）
 2. 宗教学の研究領域（多様なアプローチ）
- 〈宗教の多様性〉
3. さまざまな宗教形態（その多様な形態）
 4. 宗教の分類方法（現代の分類方法）
- 〈人びとの暮らしと仏教〉
5. 仏陀の教え（仏陀の生涯と教え）
 6. 仏教の伝播と変容（中国・チベット仏教）
 7. " （日本の仏教）
 8. " —神仏習合と分離—
 9. 禅のこころ（道元禅師の教え）

成績評価の方法

試験＋出席点＋レポート点（詳細は授業開始時に説明）

教科書

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

参考書等

講義中に紹介

その他

特になし

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 仏教と人間 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 政1必 | | | | |
| 担当者名 | わたなべ まさひで 渡部 正英 | | | | |

講義のねらい

宗教教育としての「仏教と人間」であり特定宗教にこだわるものではない。ここでは特に我々日本人にとって馴染み深い仏教に主眼をおき、仏教から見た人々の姿、民衆から見た仏教の立場の両方を視点にいれて考察していく。それは宗教としての仏教を頼りにしている人間の行動とその思いを中心テーマにしていくことである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は仏教からの視点で進める。まず、世界宗教としての位置付けから始める。宗教学的立場から、他の諸宗教と比較しながら仏教の特色を考え、ブッダの目指したものを通して、その教えが我々にどのような影響があったかを考える。後期に入っては、民衆の視点で仏教を見ていく。特に仏教儀礼に視点を当てていく。仏教儀礼は現代に生きた宗教の姿である。その中でどの信仰者、修行者を通して、我々の日常に仏教はどのような立場で接しているのか。また、信仰者としての民衆はなにを考えているのかを研鑽していきたい。さらに民間信仰などの要素を加えた民俗宗教学的な立場と仏教儀礼を比較することによって、現代の仏教と人間の関わりを考察していきたい。

履修上の留意点

出席は、たえず注目しチェックする予定。

成績評価の方法

成績は、一年の最終講義日に試験をするほか、途中でレポート等を作成してもらったものを通して評価する。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）2,100円

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 仏教と人間 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 政1必 | | | | |
| 担当者名 | おかべ まさあき 岡部 雅明 | | | | |

講義のねらい

仏教は、教義としての仏教や、人びとが実際に信仰として行っている仏教などさまざまなレベルの仏教があります。また、信仰に基づいた仏教として行われている活動にも、地域によるバリエーションが存在します。このような多様性に富む仏教について、他の信仰との関連などを通して、主体的に考え、仏教の教義や生活に根ざした仏教の理解、さらには宗教一般についての理解を深めることを目的としたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、仏教・宗教現象の具体的事例などを通して、仏教や諸宗教が現実果たしている役割や、宗教についての一般的な理解を深めてもらいたいと思います。後半は、仏教教理や仏教史を中心に考察したいと考えています。

成績評価の方法

出席状況と学年末の筆記試験により評価しますが、場合によってはレポートを提出してもらい、総合的に評価します。

教科書

特に指定しない。

参考書等

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 仏教と人間〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 吉津 <small>よしづ</small> 宜英 <small>よしひで</small> | | | | |

講義のねらい

まず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」というぐらいに広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどんなイメージを抱き、どんな意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もありましよう。これまで宗教に無関心な人や、宗教批判者もありましよう。私は宗教に対して肯定的な人にも、否定的な方にもまず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古から様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、また多くの神々を信仰したり、仏教のように仏を重んじるものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義ではまず宗教の多様性の確認から始めます。そして宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起き、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると公共の福祉に反する社会的問題も引き起こします。講義全体としては仏教を含めた宗教の功罪両面を考察してゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会や世界の様々な問題を取り上げます。新霊性運動 (new spirituality movement) という新しい宗教運動にも注目します。また靖国神社問題を始めとする政教分離の課題、宗教原理主義の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、クローン人間の問題、遺伝子工学と宗教倫理などのテーマを順次取り上げていきます。毎回、あるタイトルを掲げて講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいものです。

成績評価の方法

毎回出席を取ります。年間2、3回課題の提出を依頼します。最後に期末試験を行います。それらを総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しません。できるだけ参考資料としてプリントを配布します

参考書等

講義の中で随時参考図書を紹介します。

その他

私が講義中であっても挙手して質問や意見を述べて下さい。私語は厳禁です。あまり目立つ時は退場を要請します。講義開始時間から30分過ぎていたら教場に入らないで下さい。

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 仏教と人間〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 下室 覚道 <small>しもむろ かくどう</small> | | | | |

講義のねらい

日本は仏教国といわれるが、どれほどの人が仏教について理解しているであろうか。本講義では、仏教の開祖である釈尊の生涯や基本的な教え、そして仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えていきたい。また、仏教と現代社会のさまざまな問題についても考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教え、仏教の伝播について学んでいく。特に伝播過程において日本の曹洞宗の開祖である道元禅師についてはより細かく取り上げていきたい。また、仏教と現代社会の問題においては、臓器移植や人権の問題に関して随時紹介していきたい。

成績評価の方法

授業の出席状況、レポート、年度末試験により評価する。

教科書

プリントを随時配布する。

参考書等

松尾剛次『仏教入門』（岩波ジュニア新書）
水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 仏教と人間〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 松田 陽志 <small>まつだ ようし</small> | | | | |

講義のねらい

本学が建学の理念とする仏教・禅の考え方について講義する。インドに生まれた仏教はアジア各地にさまざまに変容しながら伝えられた。釈尊（釈迦牟尼世尊）の生涯を仏伝（釈尊の伝記）の記述などによってたどりながら、インドのヒンドゥー文化圏の中で、釈尊の抱えた課題とその説き示した初期仏教の内容を捉えることで、われわれが身近に感ずる仏教の性格との違いについて考える。

講義の内容・授業スケジュール

最初に本学が禅・曹洞宗を母胎として創立されたことを歴史的に概観したあと、釈尊の生涯を仏伝の記述によって理解する。釈尊以後の仏教教団によってまとめられる仏伝が、釈尊の教えの独自性を、釈尊の生涯を記述するなかでどのように表現しようとしたのかを、具体的に検討する。特に釈尊の生きたインドのヒンドゥー教の性格や、その中で釈尊自身が何を求めて出家し、成道において何をさとり、伝道の旅の中で人々に対しておこなった説法の意義について考える。またインドを離れ中国・日本へと伝えられた仏教がどのようにその教えを展開・変容させていったのかについても講義する。

履修上の留意点

インドの宗教風土の中で釈尊の求めたものと、現在の日本や中国での仏教（大乘仏教）のとらえ方に違いがあることを踏まえ、講義を通じて自分が考える「仏教」がどのような性格を持っているのかということを考えてもらいたい。

成績評価の方法

毎回の出席点に加えて、前期末のレポートと年度末試験によって評価する。

教科書

特に指定しない。配布プリントにしたがって講義する。

参考書等

随時紹介する。

| | | | | | |
|------|---------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 仏教と人間〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 晴山 <small>はれやま しゆんえい</small> 俊英 | | | | |

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

教科書

特になし。板書が中心となる。

参考書等

授業において必要があれば適宜指示する。

その他

試験は自筆ノートのみ持ち込み可で、試験範囲を限定することはしません。従って欠席した分については自己責任で対処すること。

2. 教 養 教 育 科 目

2. 教養教育科目

・『授業時間表』の区分「B」の科目を履修する場合は、フレックスBの教養教育科目のページを参照してください。(P.705)

・配当学科
 法律学科フレックスA…法A 法律学科フレックスB…法B
 政治学科…政

(1) 人文分野

| 科目名 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|-----------------------|------------------------------|------|----|-------|-----|
| 文学【1〔日本文学「古典」〕】 | 法A政選 法B選 | 通年 | 4 | 八島 由香 | 29 |
| 文学【3〔日本文学「古典」〕】 | 法A政選 法B選 | 通年 | 4 | 佐原 作美 | 30 |
| 歴史学【4〔西洋中世史〕】 | 法A政選 | 通年 | 4 | 舟橋 倫子 | 30 |
| 歴史学【6〔日本近代史〕】 | 法A政選 法B選 | 通年 | 4 | 立川 章次 | 31 |
| 芸術学【1〔日本美術〕】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A商法A政営A選 | 通年 | 4 | 北野 良枝 | 31 |
| 芸術学【2〔西洋美術〕】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A商法A政営A選 | 通年 | 4 | 矢野 陽子 | 32 |
| 芸術学【3〔音楽〕】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A商法A政営A選 | 通年 | 4 | 浦本 裕子 | 33 |
| 哲学【3〔西洋思想の源流〕】 | 法A政選 法B選 | 通年 | 4 | 河谷 淳 | 34 |
| 哲学 【4〔近代の人間観と世界観〕】 | 法A政選 法B選 | 通年 | 4 | 古田 知章 | 35 |
| 論理学【3〔科学方法論と現代論理学〕】 | 法A政選 法B選 | 通年 | 4 | 河谷 淳 | 36 |
| 論理学【5〔知の技法〕】 | 全学科(フレB除く)選 | 通年 | 4 | 伊古田 理 | 37 |
| 論理学【7〔知の技法〕】 | 全学科(フレB除く)選 | 通年 | 4 | 植野 公稔 | 38 |
| 科学史【2〔近代科学の成立と展開〕】 | 禅仏経A経商現法A政選 | 通年 | 4 | 高橋 秀裕 | 39 |
| 倫理学【1〔人間観〕】 | 全学科(フレB除く)選 | 通年 | 4 | 古田 知章 | 40 |
| 倫理学【2〔応用倫理学〕】 | 全学科(フレB除く)選 | 通年 | 4 | 黒崎 剛 | 41 |
| 倫理学【3〔価値観〕】 | 全学科(フレB除く)選 | 通年 | 4 | 滝沢 正之 | 42 |
| 倫理学【4〔応用倫理学〕】 | 全学科(フレB除く)選 | 通年 | 4 | 麻生 享志 | 43 |
| 倫理学【5〔制度とモラル〕】 | 全学科(フレB除く)選 | 通年 | 4 | 滝口 清栄 | 44 |
| 倫理学【6〔東洋倫理〕】 | 全学科(フレB除く)選 | 通年 | 4 | 末木 恭彦 | 44 |
| 倫理学【7〔応用倫理学〕】 | 全学科(フレB除く)選 | 通年 | 4 | 黒崎 剛 | 45 |
| 宗教学【1〔比較宗教文化〕】 | 全学科(フレB除く)選 経B法B営B選 | 通年 | 4 | 池上 良正 | 46 |

| | | | | | |
|-----------------|-----------------------------|----|---|--------|----|
| 宗教学【2〔聖と俗〕】 | 全学科(フレB除く)選 経B法B営B選 | 通年 | 4 | 田中 かの子 | 47 |
| 宗教学【3〔世界観と儀礼〕】 | 全学科(フレB除く)選 経B法B営B選 | 通年 | 4 | 小川 順敬 | 48 |
| 宗教学【4〔日本人の宗教〕】 | 全学科(フレB除く)選 経B法B営B選 | 通年 | 4 | 矢野 秀武 | 48 |
| 宗教学【5〔生活と宗教〕】 | 全学科(フレB除く)選 経B法B営B選 | 通年 | 4 | 菅原 壽清 | 49 |
| 宗教学【6〔民俗宗教の諸相〕】 | 全学科(フレB除く)選 経B法B営B選 | 通年 | 4 | 浅川 泰宏 | 50 |
| 人文地理学【1〔風土と文化〕】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商法A政営A選 | 通年 | 4 | 山口 太郎 | 51 |
| 人文地理学【2〔風土と文化〕】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商法A政営A選 | 通年 | 4 | 高橋 健太郎 | 52 |
| 人文地理学【3〔空間と行動〕】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商法A政営A選 | 通年 | 4 | 伊藤 修一 | 53 |
| 人文地理学【4〔空間と行動〕】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商法A政営A選 | 通年 | 4 | 伊藤 修一 | 54 |
| 教育の思想 | 経B法B営B234選 | 半期 | 2 | 豊田 千代子 | 55 |
| 教育の思想 | 経B法B営B234選 | 半期 | 2 | 北村 三子 | 55 |
| 教育の思想 | 法A政営A234選 経B法B営B234選 | 半期 | 2 | 伊藤 茂樹 | 56 |
| 教育の思想 | 経B法B営B234選 | 半期 | 2 | 萩原 建次郎 | 57 |
| 教育の思想 | 商法A政営A234選 経B法B営B234選 | 半期 | 2 | 坂本 信昭 | 58 |
| 教育と社会 | 経B法B営B234選 | 半期 | 2 | 豊田 千代子 | 59 |
| 教育と社会 | 経B法B営B234選 | 半期 | 2 | 北村 三子 | 59 |
| 教育と社会 | 法A政営A234選 経B法B営B234選 | 半期 | 2 | 伊藤 茂樹 | 60 |
| 教育と社会 | 経B法B営B234選 | 半期 | 2 | 萩原 建次郎 | 61 |
| 教育と社会 | 商法A政営A234選 経B法B営B234選 | 半期 | 2 | 坂本 信昭 | 62 |
| 発達と学習の心理学 | 経A商法A政営A234選 経B法B営B234選 | 半期 | 2 | 小倉 康仁 | 63 |
| 発達と学習の心理学 | 経B法B営B234選 | 半期 | 2 | 大浜 幾久子 | 64 |
| 発達と学習の心理学 | 経A商法A政営A234選 経B法B営B234選 | 半期 | 2 | 三國 隆子 | 64 |
| 発達と学習の心理学 | 経A商法A政営A234選 経B法B営B234選 | 半期 | 2 | 飯田 都 | 65 |
| 発達と学習の心理学 | 経B法B営B234選 | 半期 | 2 | 角野 善司 | 66 |
| カリキュラムと学習 | 経A商法A政営A234選 経B法B営B234選 | 半期 | 2 | 小倉 康仁 | 67 |
| カリキュラムと学習 | 経B法B営B234選 | 半期 | 2 | 大浜 幾久子 | 67 |
| カリキュラムと学習 | 経A商法A政営A234選 経B法B営B234選 | 半期 | 2 | 三國 隆子 | 68 |
| カリキュラムと学習 | 経B法B営B234選 | 半期 | 2 | 杉山 二季 | 68 |

| | | | | | |
|-------------|-----------------------------------|----|---|-------|----|
| カリキュラムと学習 | 経A商法A政営A234選 経B法B営B234選 | 半期 | 2 | 角野 善司 | 69 |
| フレッシュマンセミナー | 禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A1選(19年度入学生のみ) | 半期 | 2 | 萩原 義雄 | 70 |
| フレッシュマンセミナー | 禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A1選(19年度入学生のみ) | 半期 | 2 | 佐原 作美 | 71 |
| フレッシュマンセミナー | 禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A1選(19年度入学生のみ) | 半期 | 2 | 鈴木 裕子 | 72 |
| フレッシュマンセミナー | 禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A1選(19年度入学生のみ) | 半期 | 2 | 坂口 博規 | 73 |
| フレッシュマンセミナー | 禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A1選(19年度入学生のみ) | 半期 | 2 | 藺部 幹生 | 74 |
| フレッシュマンセミナー | 禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A1選(19年度入学生のみ) | 半期 | 2 | 石割 透 | 75 |
| フレッシュマンセミナー | 禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A1選(19年度入学生のみ) | 半期 | 2 | 小林 治 | 76 |
| フレッシュマンセミナー | 禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A1選(19年度入学生のみ) | 半期 | 2 | 松田 直行 | 77 |
| 日本文化基礎 | 禅仏国英地文環境日外考心政営A 12選 | 半期 | 2 | 佐原 作美 | 78 |
| 日本文化基礎 | 禅仏国英地文環境日外考心政営A 12選 | 半期 | 2 | 鈴木 裕子 | 78 |
| 日本文化基礎 | 禅仏国英地文環境日外考心政営A 12選 | 半期 | 2 | 坂口 博規 | 79 |
| 日本文化基礎 | 禅仏国英地文環境日外考心政営A 12選 | 半期 | 2 | 藺部 幹生 | 79 |
| 日本文化基礎 | 禅仏国英地文環境日外考心政営A 12選 | 半期 | 2 | 石割 透 | 80 |
| 日本文化基礎 | 禅仏国英地文環境日外考心政営A 12選 | 半期 | 2 | 小林 治 | 81 |
| 日本文化基礎 | 禅仏国英地文環境日外考心政営A 12選 | 半期 | 2 | 松田 直行 | 82 |
| 日本言語文化基礎 | 禅仏国英地文環境日外考心政営A 12選 | 半期 | 2 | 萩原 義雄 | 83 |
| 日本言語文化基礎 | 禅仏国英地文環境日外考心政営A 12選 | 半期 | 2 | 湯浅 陽子 | 84 |
| 日本文化研究IA | 禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選 | 通年 | 4 | 佐原 作美 | 85 |
| 日本文化研究IA | 禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選 | 通年 | 4 | 坂口 博規 | 85 |
| 日本文化研究IA | 禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選 | 通年 | 4 | 鈴木 裕子 | 86 |
| 日本文化研究IA | 禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選 | 通年 | 4 | 藺部 幹生 | 87 |
| 日本文化研究IIA | 禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A234選 | 通年 | 4 | 佐原 作美 | 87 |

| | | | | | |
|------------|--------------------------|----|---|-------|-----|
| 日本文化研究II A | 禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A234選 | 通年 | 4 | 鈴木 裕子 | 88 |
| 日本文化研究II A | 禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A234選 | 通年 | 4 | 坂口 博規 | 89 |
| 日本文化研究II A | 禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A234選 | 通年 | 4 | 藺部 幹生 | 90 |
| 日本文化研究IB | 禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選 | 通年 | 4 | 石割 透 | 91 |
| 日本文化研究IB | 禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選 | 通年 | 4 | 小林 治 | 92 |
| 日本文化研究IB | 禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選 | 通年 | 4 | 松田 直行 | 93 |
| 日本文化研究II B | 禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A234選 | 通年 | 4 | 石割 透 | 94 |
| 日本文化研究II B | 禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A234選 | 通年 | 4 | 小林 治 | 95 |
| 日本文化研究II B | 禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A234選 | 通年 | 4 | 松田 直行 | 96 |
| 日本語文化研究I | 禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選 | 通年 | 4 | 萩原 義雄 | 97 |
| 日本語文化研究I | 禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選 | 通年 | 4 | 湯浅 陽子 | 99 |
| 日本語文化研究II | 禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A234選 | 通年 | 4 | 萩原 義雄 | 100 |
| 日本語文化研究II | 禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A234選 | 通年 | 4 | 湯浅 陽子 | 102 |
| 実務表現 | 禅仏国英地文環境歴日外考法A 政営A選 | 通年 | 4 | 萩原 義雄 | 103 |
| 実務表現 | 禅仏国英地文環境歴日外考法A 政営A選 | 通年 | 4 | 湯浅 陽子 | 104 |
| 日本文化テーマ研究A | 禅仏国英地文環境歴日外考政営A 選 | 半期 | 2 | 佐原 作美 | 105 |
| 日本文化テーマ研究A | 禅仏国英地文環境歴日外考政営A 選 | 半期 | 2 | 鈴木 裕子 | 105 |
| 日本文化テーマ研究B | 禅仏国英地文環境歴日外考政営A 選 | 半期 | 2 | 佐原 作美 | 106 |
| 日本文化テーマ研究B | 禅仏国英地文環境歴日外考政営A 選 | 半期 | 2 | 鈴木 裕子 | 106 |
| 日本文化テーマ研究C | 禅仏国英地文環境歴日外考政営A 選 | 半期 | 2 | 坂口 博規 | 107 |
| 日本文化テーマ研究C | 禅仏国英地文環境歴日外考政営A 選 | 半期 | 2 | 藺部 幹生 | 107 |
| 日本文化テーマ研究D | 禅仏国英地文環境歴日外考政営A 選 | 半期 | 2 | 坂口 博規 | 108 |
| 日本文化テーマ研究D | 禅仏国英地文環境歴日外考政営A 選 | 半期 | 2 | 藺部 幹生 | 108 |

| | | | | | |
|------------|------------------|------|---|-------|-----|
| 日本文化テーマ研究E | 禅仏国英地文環境歴日外考政営A選 | 半期 | 2 | 石割 透 | 109 |
| 日本文化テーマ研究E | 禅仏国英地文環境歴日外考政営A選 | 半期 | 2 | 小林 治 | 110 |
| 日本文化テーマ研究F | 禅仏国英地文環境歴日外考政営A選 | 半期 | 2 | 石割 透 | 111 |
| 日本文化テーマ研究F | 禅仏国英地文環境歴日外考政営A選 | 半期 | 2 | 小林 治 | 112 |
| 日本文化テーマ研究G | 禅仏国英地文環境歴日外考政営A選 | 夏季集中 | 2 | 松田 直行 | 113 |
| 日本文化テーマ研究H | 禅仏国英地文環境歴日外考政営A選 | 半期 | 2 | 松田 直行 | 114 |

(2) 社会分野

| 科目名 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|----------------------------|------------------------------------------|------|----|--------|-----|
| 社会学【3〔現代文化を考える〕】 | 法A政選 法B選 | 通年 | 4 | 呉 炳三 | 115 |
| 統計学【2〔社会現象の統計的決定〕】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心法A政選 法B選 | 通年 | 4 | 新行内 康慈 | 116 |
| 文化人類学【1〔文化と人間〕】 | 法A政選 法B選 | 通年 | 4 | 森 雅文 | 117 |
| 文化人類学【2〔文化と人間〕】 | 法A政選 法B選 | 通年 | 4 | 加藤 之晴 | 118 |
| 法学・憲法【11〔法と権利〕】 | 社福心政選 | 通年 | 4 | 茂野 隆晴 | 119 |
| 法学・憲法【12〔法と権利〕】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現政営A放選 | 夏季集中 | 4 | 池田 実 | 120 |
| 政治学【1〔社会生活とデモクラシー〕】 | 国英地文環境法A選 法B選 | 通年 | 4 | 白鳥 浩 | 121 |
| 経済学【3〔現代経済理解へのガイド〕】 | 法A政選 法B選 | 通年 | 4 | 佐藤 綾野 | 122 |
| 社会科学論【〔社会認識の思想〕】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選 経B法B営B選 | 通年 | 4 | 大石 雄爾 | 123 |
| 教育学【〔デス・エデュケーション〕】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選 | 通年 | 4 | 柳堀 素雅子 | 124 |
| 教育心理【大学生の心理－教育臨床心理学の立場から－】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選 | 通年 | 4 | 石橋 達也 | 125 |

(3) 自然分野

| 科目名 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|----------------------------|-------------------------------------------|------|----|------------------------|-----|
| 生物学【2〔生態と進化〕】 | 社福心法A政選 法B選 | 通年 | 4 | 清水 善和 | 126 |
| 地球科学【5〔自然景観の成り立ち〕】 | 法A政選 法B選 | 通年 | 4 | 市川 清士 | 127 |
| 自然環境論【8〔生物の集団と環境〕】 | 法A政選 法B選 | 通年 | 4 | 坂巻 義章 | 128 |
| 自然環境論【10〔生物の集団と環境〕】 | 法A政選 法B選 | 通年 | 4 | 坂巻 義章 | 129 |
| 自然誌【1〔現代の自然像〕】 | 禪仏経A経商法A政選 | 通年 | 4 | 清水 善和 篠原 正雄 山縣 毅 | 130 |
| 数学【1〔微積分学入門〕】 | 禪仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営A選 | 通年 | 4 | 小沢 誠 | 131 |
| 数学【2〔線型代数学入門〕】 | 禪仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営A選 | 通年 | 4 | 小沢 誠 | 132 |
| 数学【3〔現代数学入門〕】 | 禪仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営A選 | 通年 | 4 | 福田 賢一 | 133 |
| 情報数学【〔情報と論理〕】 | 禪仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営A選 経B法B営B選 | 通年 | 4 | 坂野井 和代 | 134 |
| 物理学【1〔光と物質〕】 | 禪仏経A経商法A政選 | 通年 | 4 | 篠原 正雄 | 135 |
| 化学【2衣食住の化学】 | 経A経商法A政選 | 通年 | 4 | 牧岡 良和 | 136 |
| 宇宙科学【1〔星と銀河〕】 | 禪仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選 | 通年 | 4 | 篠原 正雄 | 136 |
| 宇宙科学【2〔星と銀河〕】 | 禪仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選 | 通年 | 4 | 篠原 正雄 | 137 |
| コンピュータ基礎 【1〔コンピュータの実際〕】 | 禪仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選 | 半期 | 2 | 小沢 誠 | 138 |
| コンピュータ基礎 【2〔コンピュータの実際〕】 | 禪仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選 | 半期 | 2 | 山本 博信 | 139 |
| コンピュータ基礎 【3〔コンピュータの実際〕】 | 禪仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選 | 半期 | 2 | 小川 健次郎 | 139 |
| コンピュータ基礎 【4〔コンピュータの実際〕】 | 禪仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選 | 半期 | 2 | 小沢 誠 | 140 |
| コンピュータ基礎 【5〔コンピュータの実際〕】 | 禪仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選 | 半期 | 2 | 澤口 隆 | 141 |
| コンピュータ基礎 【6〔コンピュータの実際〕】 | 禪仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選 | 半期 | 2 | 小沢 誠 | 142 |
| コンピュータ基礎 【7〔コンピュータの実際〕】 | 禪仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選 | 半期 | 2 | 山本 博信 | 143 |
| コンピュータ基礎 【8〔コンピュータの実際〕】 | 禪仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選 | 半期 | 2 | 小川 健次郎 | 144 |
| コンピュータ基礎 【9〔コンピュータの実際〕】 | 禪仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選 | 半期 | 2 | 小沢 誠 | 145 |

| | | | | | |
|-----------------------------|-----------------------------------------|------|---|--------|-----|
| コンピュータ基礎 【10〔コンピュータの実際〕】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選 | 半期 | 2 | 澤口 隆 | 146 |
| コンピュータ基礎 【11〔コンピュータの実際〕】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選 | 夏季集中 | 2 | 元木 光雄 | 147 |
| コンピュータ基礎 【13〔コンピュータの実際〕】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選 | 夏季集中 | 2 | 山本 博信 | 148 |
| コンピュータ基礎 【14〔コンピュータの実際〕】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選 | 夏季集中 | 2 | 長坂 浩史 | 149 |
| コンピュータ基礎 【15〔コンピュータの実際〕】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選 | 夏季集中 | 2 | 小川 健次郎 | 150 |
| コンピュータ基礎 【16〔コンピュータの実際〕】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選 | 夏季集中 | 2 | 小川 健次郎 | 151 |
| コンピュータ基礎 【17〔コンピュータの実際〕】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選 | 夏季集中 | 2 | 谷本 玲大 | 152 |
| コンピュータ基礎 【18〔コンピュータの実際〕】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選 | 夏季集中 | 2 | 小沢 誠 | 153 |
| コンピュータ基礎 【19〔コンピュータの実際〕】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選 | 半期 | 2 | 坂野井 和代 | 154 |
| コンピュータ基礎 【20〔コンピュータの実際〕】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選 | 半期 | 2 | 坂野井 和代 | 155 |
| コンピュータ応用 【1〔コンピュータの原理〕】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選 | 通年 | 4 | 坂野井 和代 | 156 |
| コンピュータ応用 【2〔コンピュータの原理〕】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選 | 通年 | 4 | 坂野井 和代 | 157 |
| 人類学【1〔人類の進化〕】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選 | 通年 | 4 | 篠田 謙一 | 158 |
| 人類学【2〔人類の進化〕】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選 | 通年 | 4 | 篠田 謙一 | 159 |
| 心理学 【4〔ヒューマン・ウォッチング〕】 | 法A政選 法B選 | 通年 | 4 | 仲渡 江美 | 160 |
| 心理学 【8〔人間関係を考える〕】 | 法A政選 法B選 | 通年 | 4 | 鈴木 順一 | 161 |
| 心理学【12〔心を科学する〕】 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A商法A政営A選 経B法B営B選 | 夏季集中 | 4 | 深堀 友覚 | 162 |

(4) 総合分野

| 科目名 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|------------------------------|--------------------------------|------|----|------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 総合I 1 〔仏教と自然〕 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選 | 通年 | 4 | 四津谷 孝道 | 163 |
| 総合I 2 〔仏教と社会〕 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選 | 通年 | 4 | 熊本 英人 | 164 |
| 総合I 3 〔仏教と芸術〕 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選 | 通年 | 4 | 村松 哲文 | 165 |
| 総合II 1 〔駒澤大学の歴史〕 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選 | 通年 | 4 | 熊本 史雄 大城 道則 小泉 雅弘 佐々木 真 杉山 清彦 廣瀬 良弘 | 166 |
| 総合II 2 〔自然観察入門富浦をめぐる人と自然〕 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選 | 通年 | 4 | 清水 善和 漆原 和子 小沢 誠 小高 昭一 坂野井 和代 桜井 邦夫 篠原 正雄 柳澤 紀夫 山縣 毅 | 167 |
| 総合III 1 〔人権と社会問題〕 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選 | 通年 | 4 | ピアス、 D. M. | 168 |
| 総合III 2 〔欧米の教育と日本の教育〕 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選 | 通年 | 4 | 岡崎 寿一郎 | 169 |
| 総合III 3 〔フランス現代文化史〕 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選 | 通年 | 4 | 桑田 禮彰 | 170 |
| 総合IV 1 〔現代アメリカ事情〕 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選 | 通年 | 4 | 林 明人 | 170 |
| 総合IV 2 〔シアトル市のNPOとまちづくり〕 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選 | 通年 | 4 | 西村 祐子 | 171 |
| 総合IV 3 〔ポスト・モダンの世界〕 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選 | 通年 | 4 | 丸小 哲雄 | 172 |
| 総合V | | | | 休講 | |
| 総合VI 1 〔民族とは何か〕 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選 | 通年 | 4 | 大野 祐二 | 173 |
| 総合VI 2 〔イスラム〕 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選 | 通年 | 4 | 吉田 京子 | 173 |
| 総合VI 3 〔フェミニズム・ジェンダー〕 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選 | 通年 | 4 | 早川 紀代 | 174 |

| | | | | | |
|--------------------------------|---------------------------------------|-----------|----------|---------------------------------------------------------------|------------|
| <p>総合VII 1 〔トラブルと法的解決〕</p> | <p>禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選</p> | <p>通年</p> | <p>4</p> | <p>高橋 洋城 川口 幸美 竹中 智香 原田 啓一郎 藤本 茂 松村 格</p> | <p>175</p> |
| <p>総合VII 2 〔都市論〕</p> | <p>禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選</p> | <p>通年</p> | <p>4</p> | <p>内海 麻利 浦田 早苗 坂井 文 早川 純貴 堀内 康史</p> | <p>176</p> |

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 文学【1〔日本文学「古典」〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A政選 法B選 | | | | |
| 担当者名 | 八島 ^{やしま} 由香 ^{ゆか} | | | | |

講義のねらい

『堤中納言物語』を〈読む〉

講義の内容・授業スケジュール

『堤中納言物語』は、十編の短い物語と一つの断章からなる、短編物語集です。これらの物語は、全体が短く展開がリズムカルなため、さほど長い時間をかけることなく読み終えることができる“やさしい物語”だということが出来ます。しかしその反面、短編であるがゆえの簡略化された無駄のない物語展開には、物語文学における様々なパターンが踏襲され、多くの表現技法が駆使されている“むずかしい物語”でもあるのです。そのため、できる限り多くの先行する物語の用例を提示することによってパターンや表現技法を学び、当時の社会の習慣や風俗をふまえながらひとつひとつの物語を丁寧に読み解くことで、『堤中納言物語』を“やさしく”なおかつ“むずかしく”〈読む〉、これを講義の目的とします。

このように、一編ずつ時間をかけて〈読む〉ため、『堤中納言物語』におさめられているすべての物語を〈読む〉ことは出来ないませんが、できるかぎり多くの物語と向き合っていきたいと考えています。

履修上の留意点

出席に関して。出席数が年間を通じて講義数の三分の二に達しない場合、単位を認定しません。また、講義開始時間から二十分以上の遅刻は遅刻と認めませんので、二十分以上遅れた状況で教場に入室することは許しません。二十分以内の遅刻は二回で欠席一回と数え、遅刻が前・後期各五回を数えた時点で単位を認定しません。事前に届け出があり、なおかつその理由が認めうる早退に関しては、遅刻同様の扱いとします。

私語に関して。あまりにもはなはだしく、他の受講生に対して迷惑だと判断した場合、講義内であろうとも教場から退出していただきます。その場合の出席並びに遅刻は認めず、欠席扱いとします。

成績評価の方法

レポートと出席状況によって評価します。また、講義内に小レポートで感想・意見を求めることもあります。こちらは評価の対象ではありません。

教科書

大槻修校注 『堤中納言物語』（岩波文庫） 460円

参考書等

適宜、教場で指示します。

その他

教科書に関して。教科書を用いての講義形式のため、必ず教科書を購入し、講義に持参して下さい。また、必要に応じてプリントを配布いたします。

初回の講義（ガイダンス）に関して。初回は講義内容や評価方法の説明をするガイダンスのため、二回目の講義から出席をとります。ただし、講義内容や評価方法、並びに履修上の留意点（出席）などの詳しい説明は、以後繰り返し説明はいたしません。

受講を希望する四年生に関して。上記の「履修上の留意点」で述べた出席とは別に単位に関する説明があります。これも初回のガイダンスで説明をします。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 文学【3〔日本文学「古典」〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 法A政選 法B選 | | | | |
| 担当者名 | 佐原 作美 <small>さばら さくみ</small> | | | | |

講義のねらい

古来日本人の間で最もよく知られ、親しまれて来た昔話に「かぐや姫」の話がある。これは言うまでもなく『竹取物語』がもとになっているものであるが、授業ではこの『竹取物語』読みながらそこに見られる日本人の心性や思想の有りようなどを探って行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

『竹取物語』の全文を最初から鑑賞しながら読んでいく。その際登場人物の心理やその動向などを見ながら、今日的な意味あいもあわせ考えていきたい。また、『万葉集』や『風土記』や『今昔物語集』などに見られる関連説話をも目を通していきたい。

履修上の留意点

作品を味読することが大切なので何度も繰り返し読んでほしい。

成績評価の方法

折々の提出物や試験や出席（重視）などを見て総合的に評価する。

教科書

野口元大校注、日本古典集成『竹取物語』、新潮社刊、定価2625円

参考書等

必要に応じて紹介する。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 歴史学【4〔西洋中世史〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 法A政選 | | | | |
| 担当者名 | 舟橋 倫子 <small>ふなはし ゐんこ</small> | | | | |

講義のねらい

ヨーロッパの理解に必要な基礎知識と考えるヒントを提示し、各人の問題意識をかきたてることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業はローマ帝国滅亡からルネサンスまでの中世と呼ばれる時代のヨーロッパを対象とする。前期はヨーロッパの地理的・文化的大綱をつかむため、ある程度基礎的な解説を行う。各人が自分なりに中世ヨーロッパのイメージを作り上げられるよう、食文化や宗教、祭り等の身近な話題も取り挙げ説明を行う。後期は都市と農村、森、修道院といった具体的な場を設定し、人々をとりまく社会について多面的な検討を行う。最終的にヨーロッパ中世社会に共通するものは何なのかについて考え、解説を行うことで結論とする。

履修上の留意点

受験で世界史を選択しなかった学生への配慮から、ある程度基礎的な説明は行うが、高校の歴史地図帳を用意し、復習しておくことが望ましい。

成績評価の方法

学期末に行う試験によって評価を決定する。試験に際してはノートの持ち込みを許可するが、全て論述形式とするため、出席して自分なりにノートをとってまとめておかないと良い成績は期待できない。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

参考書は授業中に内容に応じて指示する。

その他

必要に応じてプリントを配布するが、原則として講義形式で授業を行う。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 歴史学【6〔日本近代史〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A政選 法B選 | | | | |
| 担当者名 | たちかわ しょうじ 立川 章次 | | | | |

講義のねらい

日本史の流れを概観し、幕末から維新时期にかけての過程を考察する。
幕末のわが国は、国内的には商品経済の流通により、封建制が内部矛盾を露呈し、崩壊への兆が、その一方、対外的には欧米列強の外圧に遭遇し、国家存亡の危機に直面したのである。幕末から明治初期にかけての人々は、この恐るべき外圧を契機として、みごと新国家の創造に成功し、近代日本の今日への基礎を築いたのである。このことに留意して新しく維新史を学びたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期 維新変革の機運・尊攘運動の展開・王政復古・明治新政・新国家の統一といった幕末から維新时期にかけての過程を考察する。
後期 外交の転機となった最初の遣米使節の人々や、咸臨丸の勝海舟、福澤諭吉、中浜万次郎といった人々の啓蒙思想の原点を考察する。

成績評価の方法

定期試験と出席日数により総合的に評価する。

教科書

尾佐竹猛『幕末遣外使節物語』（講談社学術文庫）960円

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 芸術学【1〔日本美術〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政管A選 | | | | |
| 担当者名 | きたの よしえ 北野 良枝 | | | | |

講義のねらい

室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品を映写する。

講義の内容・授業スケジュール

前期 室町から桃山時代の絵画
 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識
 (3) ～(7) 室町時代の水墨画 (8) 阿弥派
 (9) 関東水墨画 (10) 土佐派
 (11) 狩野正信・元信 (12) ～ (13) 狩野永徳と桃山画壇
 後期 江戸時代の絵画
 (14) 江戸時代の狩野派 (15) ～ (18) 琳派
 (19) ～ (20) 浮世絵 (21) 南蘋派
 (22) 文人画 (23) 秋田蘭画と司馬江漢
 (24) 円山四条派 (25) 伊藤若冲と曾我蕭白
 (26) 江戸から明治へ

履修上の留意点

授業中の私語は厳禁。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

参考書等

映写した作品を確認するには、下記のような美術全集があり、いずれも駒沢大学図書館に所蔵されている。
 『原色日本の美術』（小学館）
 『日本美術全集』（学習研究社）
 『日本美術絵画全集』（集英社）
 『日本美術全集』（講談社）

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 芸術学【2〔西洋美術〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | マの ようこ 矢野 陽子 | | | | |

講義のねらい

ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちとは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ16世紀から18世紀まで、つまりルネサンス期から革命期頃までのフランス美術を、絵画を中心に取り上げます。まず美術の主要な流れを把握し、作品に表現された内容とその表現様式の特徴を考えます。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

前期 16世紀および17世紀のフランス美術
後期 18世紀のフランス美術

履修上の留意点

スライドで作品を見ながら講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてください。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験によって評価する予定です。レポートや試験の形式などは授業中に説明します。

参考書等

授業中に適宜参考文献を紹介します。

その他

授業では毎回スライドを使用します。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 芸術学【3〔音楽〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 浦本 裕子 <small>うらもと ゆうこ</small> | | | | |

講義のねらい

音楽は私たちの回りに溢れている。さまざまなメディアから音楽が流れ、カラオケも今や世界共通語にまでなった。社会のグローバル化が進み、音楽も世界のものが聴けるようになり、ジャンルもボーダーレスになってきた。日本では、演歌など一部のものを除けば、流れている音楽のほとんどがヨーロッパとアフリカの音楽に基づいたものである。音楽理論はヨーロッパで生まれたクラシック音楽に由来し、ポップスにはアフリカ的な要素も多く入り込んでいる。そもそものように音楽が生まれてきたのだろうか、そしてどのように享受されてきたのであろうか。

本来は、音楽は生活の中での祈りや子守歌など「必要なもの」として生まれてきた。そして世界各地で、環境や生活形態が異なる中で、楽器や発声法などそれぞれ独自の音楽文化を長い時間をかけて形成してきたのである。

この授業では、そのような多様な諸民族の音楽やヨーロッパのクラシック音楽を学ぶことにより、多様な文化の一つとして音楽を理解することを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期：諸民族の音楽（アジアを中心に）
後期：ヨーロッパの音楽（民族音楽とクラシック音楽）

履修上の留意点

- ・音資料や映像資料を鑑賞するので、できるだけ出席するように。
- ・授業中に簡単なレポートを書いてもらうことがあるかも知れません。

成績評価の方法

前期：レポート
後期：試験

教科書

柘植元一・塚田健一編『はじめての世界音楽』（音楽之友社）

参考書等

藤井知昭 他 編『民族音楽概論』（東京書籍）
久保田慶一 他 『はじめての音楽史』（音楽之友社）

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 哲学【3〔西洋思想の源流〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A政選 法B選 | | | | |
| 担当者名 | かわたに あつし 河谷 淳 | | | | |

講義のねらい

この授業ではギリシア哲学（古代哲学）とキリスト教哲学（中世哲学）とを主要なテーマとして取り上げることで「考える」ということがどのような営みなのかを一緒に考えることにしたい。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流に対応するものであり、それぞれは知と信という対立のもとに理解することができよう。しかしながら、ふたつの源流は不連続と同時に連続性という側面も併せ持ち、複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば現代の私たちが古代・中世哲学について考えるということは現代哲学の一形態であると言ってもよいであろう。授業ではできるだけ具体的な事例を挙げることで「哲学する」ことを身近に感じてもらえるように努めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義では次のような内容を取り扱う。

前期：（１）ギリシア哲学：哲学の始まり
ソクラテス以前の哲学
ソクラテスの「無知の自覚」
プラトンのイデア論
アリストテレスの質料形相論
ヘレニズム期の哲学

後期：（２）キリスト教哲学：信仰と合理性
神の存在証明（アンセルムス、トマス・アキナス）
普遍論争（唯名論と実在論）
（３）近代哲学：認識論的転回
大陸合理論：デカルトにおける「私」
イギリス経験論：ロック、バークリ、ヒューム
カント哲学：コペルニクスの転回

履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

前期最終授業日に実施する中間試験と期末試験（40点満点×2）ならびに夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 哲学【4〔近代の人間観と世界観〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A政選 法B選 | | | | |
| 担当者名 | 古田 ^{ふるた} 知章 ^{ともあき} | | | | |

講義のねらい

現代において我々は、様々な場面で西洋的なものに直面し、また、我々自身、知らず知らずのうちに西洋的な人間観・世界観に基づいて判断あるいは行動していることも多い。この我々の日常にも深く係わる西洋的なものは、古代ギリシア以来の伝統のもと多岐にわたる曲折を経て、近代ヨーロッパにおいて現れた人間観・世界観に強く影響を受けている。したがって、西洋的なものの理解のためにも、また、現代に生きる我々の自己理解のためにも、近代ヨーロッパの人間観・世界観がどのような伝統と時代意識のもとに形成され、いかなる形で現代社会へと流れ込んでいるのかを学ぶことは有意義であると考えられる。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

近代の人間観・世界観の源流

1. 哲学における基礎的な問題の整理 一人間と世界について問うこと一
2. 古代ギリシアの思想 一哲学的探求の始まり一
3. キリスト教思想と中世の哲学 一思索の新たな展開一
4. 中世から近世への連続と変動 一様々なルネサンスについて一

近世・近代の人間観・世界観

1. ルネサンスから近世の思想 一人間観・世界観の変革一
2. 科学の発展と世界観の変化との関係 一人間の位置について一
3. 現代の存在論 一見えるものを支える見えない枠組み一

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

| | | | | | |
|------|---------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 論理学【3〔科学方法論と現代論理学〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A政選 法B選 | | | | |
| 担当者名 | かわたに あつし 河谷 淳 | | | | |

講義のねらい

ゼミ発表や就職活動において自分の考えを文章や口頭で表現するような場合、そこでは一定の「流れ」が要請されている。また、友人との何気ない会話にしてみても、反省してみるならば暗黙の前提命題からの「流れ」の帰結であることに気づく場合がある。アリストテレス以来の歴史を持つ論理学とはそうした前提から結論への妥当な「流れ」（推論の形式）とはどのようなものであるのかを考える学だと言することができる。この授業の目的は、「論理的である」とは一体どういうことなのかを考え、さらに、練習問題を解くことで様々なタイプの推論の妥当・非妥当性を判定するトレーニングをつんでもらうところにある。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では概ね次のような内容を取り扱う。

前期：伝統的論理

- (a) 論理学の基本概念（概念・命題・推論）
- (b) 演繹推理（定言・仮言三段論法の妥当性の判定）
- (c) 帰納推理（ミルの方法、仮説演繹法）
- (d) 虚偽論

後期：現代論理（記号論理）入門

- (d) 命題論理（日常言語の記号化と推論の証明）
- (e) 述語論理（日常言語の記号化と推論の証明）

履修上の留意点

継続して授業に出席することは言うまでもなく、毎回の授業内容を積極的に復習することが望ましい。

成績評価の方法

前期最終授業日に実施する中間試験と期末試験（40点満点×2）ならびに夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 論理学【5〔知の技法〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 全学科（フレB除く）選 | | | | |
| 担当者名 | 伊古田 ^{いこた まさる} 理 | | | | |

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的なノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんでものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。
教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）
副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 論理学【7〔知の技法〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）選 | | | | |
| 担当者名 | 植野 <small>うえの きみとし</small> 公稔 | | | | |

講義のねらい

いま、私たちの社会生活では、論理的であることを求められる場面に出会うことが多い。本講座の目的は、こうした現状に対処できるだけの論理的思考力を受講者のみなさんが身に付けられるように、その基本練習の場を作ることにある。言葉相互の論理的な繋がりについて自覚しながら読み、考え、そして書くことができるようになるためには何が必要なのかを、毎時間、自分自身で課題に取り組みながら気づいてほしい。なお、いわゆる現代記号論理学については、必要最小限のこと以外、扱わないものとする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に則して授業を進める。原則として、各回とも、事項に関する説明と問題練習によって授業が構成される。前期では、論理の骨格をなす接続語や指示語の適切な使い方と、首尾良く考えを展開するための推論のあり方について練習を重ねる。また後期では、演繹的な推論について練習を重ね、就職試験等でも取り上げられるような、いわゆる推理部門の問題にも対処していける力を養うことにしたい。受講人数にもよるが、できるかぎり、復習を兼ねた形の添削課題を出し、受講するみなさんの練習の質を高められるようにしたいと思う。

履修上の留意点

本講座では、受講者本人による練習が何よりも重要であるので、コンスタントに参加してほしい。問題練習での間違いを恐れる人たちもいると思われるが、間違いをきっかけにしてステップアップしていってくれるのならば、本講座に関するかぎり、間違いをおかすこと自体には何ら問題はない。

成績評価の方法

事項の習熟度を確認するための中間・期末テスト、および期末に取り組んでもらう小論文課題（2000字程度）によって評価する。なお、練習が重要な講座のため、原則として、1学期につき欠席が3回を越える場合は、単位の認定ができないものとする。

教科書

野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

| | | | | | |
|------|---------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 科学史【2〔近代科学の成立と展開〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏経A経商現法A政選 | | | | |
| 担当者名 | たかはし しゅうゆう 高橋 秀裕 | | | | |

講義のねらい

近年、近代自然科学をどのように捉え、それに如何に対処するかという問題がしきりに議論されている。本講義では、古代から近代までの科学の歴史的発展を、「方法」や「思想」そして「宗教との関係」にも眼を向けつつ総合的に学ぶことを通して、科学がいかに広範な文化的背景をもって発展してゆく知的営為であるかを理解することを目標とする。とりわけ、近代科学が形成された、いわゆる「科学革命」の時代と呼ばれる17世紀西欧に焦点をあて、古代以来の自然認識の枠組がどう変革されたかを探るとともに、科学と技術に関して今後思索する際の信頼できる知的道具を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、古代ギリシャの自然哲学や幾何学の話題から出発し、近代科学の成立、発展の歴史を、自然観の変遷、宗教との関係、方法論の確立に注目しながら概観する。後期は、近代科学の成立、発展に積極的な役割を果たした「数学」の歴史的発展について講義する。とりわけ、近代西欧数学に特徴的な代数的思考法の重要な一側面である、代数的論証法の形成過程を、数学外的諸要因をも含めて考察する「総合的数学史」の観点から探る。

履修上の留意点

いわゆる自然科学・数学に関する素養はとくに要求しないが、講義の中に出てくる諸概念を必要に応じて自ら調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。また、毎回講義内にコメントカード（兼出席票）を配布するので、講義内容に関する感想や不明な点などを書いてほしい。

成績評価の方法

講義内に課すコメントカード（兼出席票）と随時のレポートおよび定期試験で評価を行う。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の際に適宜紹介する。

その他

講義形式、随時プリント配布

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 倫理学【1〔人間観〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）選 | | | | |
| 担当者名 | 古田 知章 <small>ふるた ともあき</small> | | | | |

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉、あるいは、「自分が人間である」という事態を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

人間観の形成の歴史

1. 人間と倫理 一人間であるために一
 2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
 3. 中世キリスト教思想における人間観
 4. 人間観の転換 ールネサンス・宗教改革ー
- 新しい時代の人間観
1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
 2. 自己の内面性と他者の問題
 3. 人格 ーロックを手がかりにー
 4. 人間存在と自由

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

| | | | | | |
|------|---------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 倫理学【2〔応用倫理学〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）選 | | | | |
| 担当者名 | 黒崎 剛 | | | | |

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものともみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理—講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」—人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 倫理学【3〔価値観〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）選 | | | | |
| 担当者名 | 滝沢 <small>たきざわ まさゆき</small> 正之 | | | | |

講義のねらい

倫理学の基本的な考え方を紹介する。
 我々はすでに何が善いことで何が悪いことであるかをだいたい知っている。日常生活にはそれで支障はない。しかし、その善悪についての信念をあらためて反省してみると、いろいろと問題含みであることに気づく。
 そこで、ポイントごとに、それらの問題を考えていくことになる。その際、主に近世の哲学者イマヌエル・カントの倫理学を手がかりにするので、これの解説をしつつ、問題に向かうことになる。
 たとえば、道徳的な善し悪しの判断と、個人の趣味はどう関係するのか。不純な動機から（「誉められたい」など）善いことをすることをどう評価するのか。人間を殺してはいけないのに、動物を殺してもいいのか。その他もろもろ。

講義の内容・
授業スケジュール

前期にカント倫理学の基本概念を解説する。それを踏まえたうえで、後期には以下のような問題を扱う予定。動物愛護の問題、人間の自由の問題、国家と道徳の問題。
 細かいスケジュールは講義中に示す。

履修上の留意点

特定の教科書を使用せず、講義が中心となる。欠席が多いと試験等が大変になるので注意されたい。

成績評価の方法

中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

教科書

適宜プリントを配布する予定。
 また、講義中に適宜指定する。

参考書等

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）
 また、講義中に適宜指定する。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 倫理学【4〔応用倫理学〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）選 | | | | |
| 担当者名 | 麻生 享志 <small>あきお たかし</small> | | | | |

講義のねらい

応用倫理は、究極的に「どう生きるか」という自分の生き方につながっていくものと考えます。（これを倫理学・哲学で”実存的”問いと呼んだりする）ですから、講義を通じて、自己の問題として興味を持ち、考えてもらう、という事を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

倫理学（理論的倫理学）の基礎から、応用倫理学の「ごく特殊なもの」まで、幅広く紹介していきます。わたくし自身の興味や人生観にも、触れていきたいと思っています。生命倫理的内容からはじまる応用倫理的話題、労働・人生の意味・交通ルール・まちづくり住環境など、多面的に考えていく予定です。

履修上の留意点

最低限の常識的なルールを守り、あとは、講義を“楽しんで”もらえたらいいと思います。

成績評価の方法

前期試験（45%）、後期レポート（レポート試験）（55%）
前期は哲学史に関わる記述問題、後期レポートは講義の感想を原稿用紙3-4枚程度を予定

教科書

久保・河谷編麻生ほか著『原典による哲学の歴史』公論社刊（前期試験受験に必須）

参考書等

特になし

その他

初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 倫理学【5〔制度とモラル〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 全学科（フレB除く）選 | | | | |
| 担当者名 | 滝口 清栄 <small>たきぐち きよえい</small> | | | | |

講義のねらい 人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代により、地域により違いが見られる。そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代でも人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえない。以上の思想的営みを歴史的視野の中で振り返っておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。

講義の内容・授業スケジュール 本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代から主要な思想をピックアップし、人間観の特徴と、人間のよりよき生活を可能にするよりよき制度をめぐる思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担う人間を必要とする。ここにモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。
こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布するが、前期に古代ギリシアから近代初頭、後期にはそれ以降を扱う。

履修上の留意点 講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法 中間テスト（前期の最終授業時）と学年末テストにより成績を評価する。

教科書 久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 倫理学【6〔東洋倫理〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 全学科（フレB除く）選 | | | | |
| 担当者名 | 末木 恭彦 <small>すえき やすひこ</small> | | | | |

講義のねらい 倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。倫理学という学問は生れなかったが、それに相当する思索は東洋の伝統思想の中に生まれていた。東洋の伝統思想がどのようにどれだけ現代の倫理に貢献するか、諸君と一緒に考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール 授業の最初に、倫理とは何か、倫理学とは何かを講義する。その後、今年は環境と倫理の問題について考える。環境問題は現代の大きな問題である。しかし、環境の問題は既に古代から芽生えていた。中国の古代にも、環境問題をめぐる議論が行われた。その中国古代の環境をめぐる議論を顧て、現代の環境と倫理の問題にどのような貢献するか考えてみる。

履修上の留意点 ノートはしっかりと取る。

成績評価の方法 各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。

教科書 浅野裕一『中国古代の文明観』（岩波新書）

| | | | | | |
|------|---------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 倫理学【7〔応用倫理学〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）選 | | | | |
| 担当者名 | 黒崎 剛 | | | | |

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」―「価値」や「義務」、「習慣」といった―の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものともみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・
授業スケジュール

「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理―講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」―人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

| | | | | | |
|------|-----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 宗教学【1〔比較宗教文化〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）選 経B法B営B選 | | | | |
| 担当者名 | 池上 <small>いけがみ</small> 良正 <small>よしまさ</small> | | | | |

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。

本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、まず近代用語としての「宗教」が成立した過程を検討し、この用語の特性と限界を考える。近代宗教学の成果をふまえて、私たちの日常の身近な出来事に引き寄せながら、「宗教」を理解する広い視点を提示してみたい。後期は、多くの日本人には馴染みが薄いものの、現代世界を理解するうえでは欠くことのできない、「一神教」という特異な宗教が成立した過程を考察し、その特性に迫ってみたい。

成績評価の方法

年度末に筆記試験を行なう。

教科書

特に指定しない。

参考書等

『岩波講座・宗教』（全10巻）（岩波書店）。『エリアーデ著作集』（せりか書房）。上田閑照・柳川啓一編『宗教学のすすめ』（筑摩書房）。脇本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）。加藤隆『新約聖書の誕生』（講談社）。ランジュ『ユダヤ教とはなにか』（青土社）。

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 宗教学【2〔聖と俗〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）選 経B法B営B選 | | | | |
| 担当者名 | 田中 <small>たなか</small> かのこ | | | | |

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」といった対立概念をみるのは、変化し続ける多様な現象の動きを把握しきれない人間の焦燥感が、二分法という遠心分離機を欲するから、ともいえる。人類の精神史において展開してきた各宗教の分立を観るにつけても、深く知れば知るほど、「～教」と「～教」を隔てる壁の存在に疑問を抱かずにはいられなくなる。一見、相違するようにみえる諸宗教の教義・儀礼・生活共同体の掟にも、歴史的な相関性があり、言語や民族の絆は、信仰の違いを超えて、多様な文化圏を形成している。さらに「いのち」の尊厳を守るための真摯な祈りはどれも、学問的に定義された「宗教」概念では捉えきれない、普遍的で深遠な思想を内に秘めている。ゆえに本講では、従来の宗教学が呪縛されてきた既存の宗教分類（例：「一神教と多神教」「世界宗教と民族宗教」）から出発せずに、最も根源的で身近な「いのち」をめぐる人間の畏れ・感謝・願いをテーマにしながら、「宗教」を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、「いのち」に気づき、その表現・解釈・ゆくえ・価値観などについて考えることに重点を置き、後期は、現代社会の理解に欠かせないゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化における「いのち」を探究する。

履修上の留意点

既存の知識で示せる情報の範囲をはるかに凌駕した、真実の豊かさに眼を開いてほしい。

成績評価の方法

独創性と応用力を発揮できる、論述式のレポート。

教科書

拙著『比較宗教学—「いのち」の探究—』（北樹出版）2006年、改版

その他

講義担当者の現地調査によるスライドや録音テープを活用する。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 宗教学【3〔世界観と儀礼〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）選 経B法B営B選 | | | | |
| 担当者名 | 小川 <small>おがわ としゆき</small> 順敬 | | | | |

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価は原則として、年2、3回の「小レポート試験」と年度末の筆記試験により行います。なお小レポートとは別に、夏期休暇前に「夏期レポート」課題を出しますが、提出は受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

原則として教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 宗教学【4〔日本人の宗教〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）選 経B法B営B選 | | | | |
| 担当者名 | 矢野 <small>やの ひでたけ</small> 秀武 | | | | |

講義のねらい

宗教というものを語り理解するには様々な方法がある。宗教学はその1つである。また宗教学の中にも宗教に対しての異なる見方がある。本講義では、宗教学における多様な見方を理解するとともに、特に宗教人類学や宗教社会学、宗教思想研究といった見方を通じて日本の宗教についての基礎的な知識を学んでもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

前半はおもに、日本の諸宗教の概説、冠婚葬祭といった儀礼・民俗宗教とその変化を中心に取り上げ、宗教人類学・宗教社会学の視点から解説を加える。後半では、宗教の思想的側面にも触れながら、ひきつづき日本の諸宗教の概説を行なう。

成績評価の方法

レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

教科書

なし

参考書等

授業時に随時紹介する。

| | | | | | |
|------|---------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 宗教学【5〔生活と宗教〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）選 経B法B営B選 | | | | |
| 担当者名 | すがわら としきよ 菅原 壽清 | | | | |

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 宗教学・宗教人類学とは
2. 日本とアジア、その多様な姿
3. アジアの人々の生活と宗教
4. 日本の人々の生活と宗教

成績評価の方法

試験＋出席点＋レポート点（詳細は、講義の時説明）

教科書

指定なし

参考書等

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

その他

授業の方法—講義、ビデオ・スライドなども使用

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 宗教学【6〔民俗宗教の諸相〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）選 経B法B営B選 | | | | |
| 担当者名 | 浅川 <small>あさかわ やすひろ</small> 泰宏 | | | | |

講義のねらい

宗教は、「人間生活の究極的な意味をあきらかにし、人間の問題の究極的な解決にかかわりをもつと、人々に信じられている営みを中心とした文化現象」（岸本秀夫）と説明されるように、あらゆる社会に存在する普遍的文化であり、同時に人間の根源的思考様式のひとつです。本講義では、現代社会およびそこに生きる個人を、「宗教」という観点からとらえ、考える力を養うことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

まず現代社会における「宗教」のすがたをデータ等から確認し、続いて、宗教学の基本的な考え方を学びます。その上で、身近な宗教的いとなみである民俗宗教に焦点をあて、「祭り」、「死者供養」、「巡礼」等のトピックを通して、「宗教」という観点から現代社会を考えるための実践的なトレーニングを行います。

履修上の留意点

講義内容についての考察を記入したコメントカードを、毎回提出していただきます。そのため、皆さんには講義を消極的・受動的に「聴く」のではなく、積極的・能動的に「理解」し、「考える」姿勢を求めます。

成績評価の方法

レポート（60点）とコメントカード（40点）によって評価します。
なお、評価にあたっては、理解力、論理的思考力、独創性を重視します。

教科書

指定しません

参考書等

棚次正和・山中弘編 2005 『宗教学入門』 ミネルヴァ書房
 関一敏・大塚和夫編 2004 『宗教人類学入門』 弘文堂
 井上順孝編 2005 『現代宗教事典』 弘文堂
 池上良正他編 2003 『岩波講座 宗教』（全10巻）岩波書店

その他

詳細については、初回授業時のガイダンスで説明します。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 人文地理学【1〔風土と文化〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 山口 ^{やまぐち} 太郎 ^{たろう} | | | | |

講義のねらい

今年度は、人文地理学の一分野である「文化地理学」を体系的に学習する。ただし、全学共通科目なので、人文地理学の研究対象である地域事象については、あくまで事例として扱い、講義の重点は人文・社会科学に広く適応できる文化論・社会問題の提供に置く。

講義の内容・授業スケジュール

I. イントロダクション

II. 文化地理各論

- ・都市・郊外・レジャーの空間といった地域・場所を対象として、以下の項目を中心に解説する。
- ・若者文化、エスニシティ、階級、世代・ライフコース、ジェンダー・セクシュアリティ、メディア、権力、レジャー、住居、自然

III. 文化地理学の方法論

- ・地域、景観、環境、分布

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

前期・後期試験で評価する。小レポート等の平常点も評価の対象とする。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

中川正・森正人・神田孝治2006『文化地理学ガイダンス』ナカニシヤ出版。
大城直樹・加藤政洋2006『都市空間の地理学』ミネルヴァ書房。

その他

講義形式を基本とするが、皆さんに質問を投げかけることもあるので、主体的に参加してほしい。

| | | | | | |
|------|-------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 人文地理学【2（風土と文化）】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 禪仏国英地文環境歴日外考社福心経商法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 高橋 健太郎 | | | | |

講義のねらい

人々の世界観や価値観、生活様式といった文化的側面と、地域社会の特徴や変容とを関連づけて考えるという、人文地理学の基本概念について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

全体的には、自分の生活または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかに重要であるかということについて検討する。

具体的には、講義内容として次の項目を予定している。(1) 人文地理学からみた文化、(2) 大衆文化と文化景観、(3) 日本の基層文化の地域性、(4) 照葉樹林文化とブナ帯文化、(5) 環境決定論と環境可能論、(6) 地域文化と観光、(7) 地図、(8) 地名、(9) 空間認知。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に教場にてレポートを作成し提出してもらう。

成績評価の方法

教場レポートの内容(30%)と定期試験の結果(70%)で採点する。

教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参考書等

主な参考書は次のとおり(授業スケジュール順に掲載)。その他については、授業中に適宜紹介する。

高橋伸夫ほか『文化地理学入門』(東洋書林)
 鈴木秀夫『風土の構造』、講談社(講談社学術文庫)
 佐々木高明『日本文化の基層を探る』(日本放送出版会)
 田畑久夫『照葉樹林文化の成立と現在』(古今書院)
 市川健夫ほか『日本のブナ帯文化』(朝倉書店)
 中島峰広『日本の棚田』(古今書院)
 溝尾良隆『観光学』(古今書院)
 若林幹夫『地図の想像力』、講談社(講談社選書メチエ)。

その他

この授業では、部活動や就職活動などの理由は、採点の際の参考にしない方針である。

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 人文地理学【3〔空間と行動〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 伊藤 修一 <small>いとう しゅういち</small> | | | | |

講義のねらい

日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動する。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に都市では多くの人々が集まるがゆえに、その規則性や一般性を捉えやすく、一方で都市がもつ特徴のような例外も観察される。それでは、その規則性や一般性はどのようなもので、例外はどのように表れているのか？この講義では理論と事例を通して、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、都市が今日のように分布・形成することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、事例を通して説明する。なお、講義で扱う予定の主なテーマは以下の(1)～(8)である。詳しくは第1回の講義の際に述べる。

(1)地図、(2)都市の分布と立地、(3)都市や地域の結びつき、(4)都市の内部構造、(5)人口変動と分布・人口移動、(6)都市の居住構造の形成過程とその変化、(7)都市と余暇活動、(8)都市空間における知覚と認知

履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがある。高校の数学I程度の基礎知識に不安がないことが望ましい。

成績評価の方法

原則として年度末の試験結果から評価する。

教科書

高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。

参考書等

北川建次編『現代都市地理学』（古今書院）2,730円、ISBN4-7722-3044-0
 富田和暁・藤井 正編『図説 大都市圏』（古今書院）2,730円、ISBN4-7722-4027-6
 ノックスP.・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳『新版都市社会地理学』（古今書院）6,090円、ISBN4-7722-5103-0

その他

講義ではプリントを随時配布する。

| | | | | | |
|------|-------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 人文地理学【4〔空間と行動〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | いとう しゅういち 伊藤 修一 | | | | |

講義のねらい

日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動する。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に都市では多くの人々が集まるがゆえに、その規則性や一般性を捉えやすく、一方で都市がもつ特徴のような例外も観察される。それでは、その規則性や一般性はどのようなもので、例外はどのように表れているのか？この講義では理論と事例を通して、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、都市が今日のように分布・形成することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、事例を通して説明する。なお、講義で扱う予定の主なテーマは以下の(1)～(8)である。詳しくは第1回の講義の際に述べる。

(1)地図、(2)都市の分布と立地、(3)都市や地域の結びつき、(4)都市の内部構造、(5)人口変動と分布・人口移動、(6)都市の居住構造の形成過程とその変化、(7)都市と余暇活動、(8)都市空間における知覚と認知

履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがある。高校の数学I程度の基礎知識に不安がないことが望ましい。

成績評価の方法

原則として年度末の試験結果から評価する。

教科書

高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。

参考書等

北川建次編『現代都市地理学』（古今書院）2,730円、ISBN4-7722-3044-0
 富田和暁・藤井 正編『図説 大都市圏』（古今書院）2,730円、ISBN4-7722-4027-6
 ノックスP.・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳『新版都市社会地理学』（古今書院）6,090円、ISBN4-7722-5103-0
 なお、高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。

その他

講義ではプリントを随時配布する。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 教育の思想 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B234選 | | | | |
| 担当者名 | 豊田 ^{とよた} 千代子 ^{ちよこ} | | | | |

講義のねらい

この授業では、1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」について、それを「思想として読む」ことをめざす。具体的には、子どもの権利条約の思想的基礎となっている「コルチャック先生」（ヤヌシュ・コルチャック、本名ヘンリク・ゴールドシュミット、1878～1942）の子ども観について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ・自分たちの受けてきた教育のふり返り
- ・教育をめぐる子どもたちの現状
- ・コルチャック先生の思想（子ども観）
- ・子どもの権利条約とコルチャック先生

成績評価の方法

出席状況、小レポート、レポートによる。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

樋渡直哉『子どもの権利条約とコルチャック先生』（ほるぷ出版）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 教育の思想 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B234選 | | | | |
| 担当者名 | 北村 ^{きたむら} 三子 ^{みつこ} | | | | |

講義のねらい

日本の教育界に大きな影響を与えた教育思想を学び、それを手がかりに自分なりの教育観を培っていくことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

20世紀の代表的な思想家の一人、ジョン・デューイの教育思想をその基礎にある考え方にも注意しながら学んでいきます。子ども自身の経験を基礎に構築されたその教育論を丁寧に読み、私達の日常経験や教育体験を考え直します。具体的な授業計画は、初回の講義でお話します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによります。

参考書等

教場で指示します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 教育の思想 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A政営A234選 経B法B営B234選 | | | | |
| 担当者名 | 伊藤 茂樹 <small>いとう しげき</small> | | | | |

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的機能について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマとして以下のようなことがらを予定している。

- ・学校教育の本質と機能
- ・近代日本における学校教育

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

| | | | | | |
|------|-----------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 教育の思想 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B234選 | | | | |
| 担当者名 | 萩原 ^{はぎわら} 建次郎 ^{けんじろう} | | | | |

講義のねらい

この授業では、第一に自分自身の教育体験のふりかえりを出発点として、「学ぶこと」「教えること」「生きること」の意味を考える機会をもちたい。第二に自己の体験と他者の体験を交流させながら、多様なものの見方を学ぶと共に、教育に対する自分の視点がどこにあるのかさぐっていききたい。第三に各自の体験知だけにとどまらずに教育学が蓄積してきた学問知（主に教育史・教育哲学）との交流によって、これまで暗黙のうちに了解してきた「教育目的」「学習」「人間の発達」などの意味について深く捉える感性と知性を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 自らの教育・学習体験をふりかえるー「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」をつくる
- ② 自己と他者との体験知の交流ー「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」を他の受講生と相互コメントを行う
- ③ 教育をめぐる体験知と学問知との交流
 - (1) 近代教育が前提としてきた人間観と教育目的・理念の歴史を学ぶ
 - (2) 発達の思想を学ぶ
 - (3) 学習の思想を学ぶ

履修上の留意点

この授業は講義だけではなく、受講者自身の作業が多く含まれる参加型学習である。よって授業の質は各自の積極的な参加姿勢に大きくかかわっていることを留意願いたい。また、小レポートを毎回提出してもらう。

成績評価の方法

小レポート、作品の提出状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

そのつど紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。一回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

| | | | | | |
|------|---------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 教育の思想 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 商法A政営A234選 経B法B営B234選 | | | | |
| 担当者名 | 坂本 ^{さかもと} 信昭 ^{のぶあき} | | | | |

講義のねらい

民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。
20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちの教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・教育の理想と目的
- ・わが国の教育目的の変遷
- ・現代・社会の変化と教育目的
- ・その他（大村はま、林竹二などから学ぶものは何か）

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、出席等により総合的に評価する。

参考書等

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円
デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 教育と社会 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B234選 | | | | |
| 担当者名 | 豊田 ^{とよた} 千代子 ^{ちよこ} | | | | |

講義のねらい

教育のあり方は、社会のあり方と関わっている。授業では、自分たちの受けてきた教育をふり返し、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・学習体験のふり返し
- ・教育をめぐる諸問題
 - ・近代社会と学校教育制度について
 - ・子どもの身体と教育・社会
 - ・その他

(詳細は第1回の授業時に説明する。)

成績評価の方法

出席状況、小レポート、レポートによる。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 教育と社会 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B234選 | | | | |
| 担当者名 | 北村 ^{きたむら} 三子 ^{みつこ} | | | | |

講義のねらい

近代の社会システムと教育はどのような関係にあるのでしょうか。私たちが体験してきた日本の学校教育のあり方を社会との関係から考察することを通して、私たちがどのように社会的に形成されてきたのかを考えます。

講義の内容・授業スケジュール

日本という国家と教育との関係を歴史的に考察するとともに、近代的な組織とその構成員との間に働く力について考察します。また、そうした観点から、今日の学校教育をめぐる諸問題を考えていきます。詳細は初回の授業でお話します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによります。

参考書等

教場で指示します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 教育と社会 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A政営A234選 経B法B営B234選 | | | | |
| 担当者名 | 伊藤 ^{いとう} 茂樹 ^{しげき} | | | | |

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマとして以下のようなことがらを予定している。

- ・現代の教育問題
- ・教育改革の動向

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 教育と社会 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B234選 | | | | |
| 担当者名 | <small>はぎわら けんじろう</small> 萩原 建次郎 | | | | |

講義のねらい

80年代半ばから不登校問題とともに「居場所」という言葉がマスコミに登場したが、いまや教育学、心理学、社会学においてもキーワードになっている。居場所の喪失感が静かに広がる中で、私たちはそこにどのような人間の姿、世界の在り様を感じるのだろうか。

この授業ではまず、子どもの自己形成空間と若者の文化変容、大人と子ども・若者の関係性の変容を読み解きながら、「居場所」が何において生まれ、何において失うのかを探っていく。次に「居場所」となりうる場のデザインを目指した具体的な方法論はあるのか、子ども・若者の居場所にかかわるいくつかの実践を手がかりに検討し、教育の可能性を考えていく。

この授業を通して、「居場所」を切り口として今いる自分を見つめなおしながら、他者（子ども・友人・親・先生など）とのかかわりの質を問い直し、さまざまな場面での教育実践に活用していける視点と感性を養ってもらいたいと願っている。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 「居場所」をめぐる言説の登場
- ② 「居場所」の意味を読み解く
- ③ 子ども・若者の自己形成空間の変容
- ④ 子ども・若者の居場所空間をデザインする
- ⑤ 「居場所」に関わる指導者論
- ⑥ 「居場所」と子どもの参加論

履修上の留意点

授業はできるだけ参加型学習をとりいれたいので、積極的な姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらおう。

成績評価の方法

小レポート、出席状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して判断する。

教科書

田中治彦編著『子ども・若者の「居場所」の構想－「教育」から「関わり」へ－』（学陽書房）3,000円

参考書等

久田邦明編著『子ども・若者の居場所』（萌文社）
 ロジャー・ハート著『子どもの参画』（萌文社）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

| | | | | | |
|------|---------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 教育と社会 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 商法 A 政営 A234 選 経 B 法 B 営 B234 選 | | | | |
| 担当者名 | 坂本 ^{さかもと} 信昭 ^{のぶあき} | | | | |

講義のねらい

人間の社会に余暇をもつ少数の人々が生まれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなる時、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。

講義の内容・
授業スケジュール

講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。

- ・学校教育のあゆみ
- ・学校の社会的機能
- ・学校教育の現実と課題
- ・その他（教師論等）

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

参考書等

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円
デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 発達と学習の心理学 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経A商法A政営A234選 経B法B営B234選 | | | | |
| 担当者名 | 小倉 ^{おぐら} 康仁 ^{やすよし} | | | | |

講義のねらい

人間の教育活動や教育問題に対して心理学的にアプローチする教育心理学の主要な関心事として、発達および学習に関する様々なトピックスがあります。この発達と学習の問題を中心に、教育者が理解しておくべき事柄を取り上げて授業を進めていきます。つまり、「人はどのようにして育ち学んでいくのか?」、「そのプロセスにおいて親や教師や友人等からの働きかけはどのようにかかわってくるのか?」といったことについて分析・考察していく予定です。

講義の内容・授業スケジュール

- ①発達の定義
- ②発達の規定因（遺伝と環境）
- ③発達のメカニズム（成熟と経験）
- ④発達観と教育可能性
- ⑤レディネス、臨界期と早期教育
- ⑥発達の様子（発達時期・発達段階）
- ⑦学習のメカニズム（学習理論）
- ⑧学習と動機づけ（学びを支える意欲）
- ⑨教授-学習過程
- ⑩個性・個人差と教授法（適性-処遇相互作用）

成績評価の方法

平常授業期間中に課す小レポート課題と学期末試験の成績および出席状況等の平常点との総合評価によって評価を行う予定です。

教科書

使用しません。

参考書等

必要な場合は、そのつど授業で指示します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 発達と学習の心理学 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 経B法B営B234選 | | | | |
| 担当者名 | 大浜 幾久子 <small>おおはま きくこ</small> | | | | |

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学び、21世紀の新しい教育観を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

定期試験（学期末）の成績に小レポートの成績を加味する予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 発達と学習の心理学 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 経A商法A政営A234選 経B法B営B234選 | | | | |
| 担当者名 | 三國 隆子 <small>みくに りゅうこ</small> | | | | |

講義のねらい

- ・子どもから大人へ。人の発達過程について概観する。
- ・発達や個に応じた学習や教育について学ぶ。
- ・以上を踏まえ、学校現場で行われる教育や指導のあり方について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ・発達とは何か
- ・発達の特徴と発達理論
- ・発達観の変遷と教育
- ・学習とは何か
- ・学習と評価
- ・意欲と学習（1）動機づけ理論
- ・意欲と学習（2）自己効力感

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末にレポート試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末レポートを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

| | | | | | |
|------|-------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 発達と学習の心理学 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 経A商法A政営A234選 経B法B営B234選 | | | | |
| 担当者名 | いいた みやこ 飯田 都 | | | | |

講義のねらい

人間は、親兄弟、友人、そして教師といった、多くの他者との多面的なかかわりの中で成長し、「自己」を見つけ、つくりあげていきます。教職を志す者だけにとどまらず、すべての人が何らかの形で他者の成長発達に関わる存在である以上、人間に対する心理学的な考え方を深めていくことは重要なことです。心理学的な考え方を学び、学校教育の意義をはじめ、教師や大人に求められる資質、“教える”ということの意味等についての考えを深め、自らの役割を問い直していくことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

- ◆人の発達・学習と教育 ◆乳幼児期・児童期・青年期の発達課題 ◆思春期の自我の発達
- ◆学習と認知（連合説と認知説） ◆知識の種類と構造、技能と知識の獲得 ◆動機づけ
- ◆学習過程・学習理論の教育への応用

履修上の留意点

聴いたことを受身的に自らの思想とするのではなく、講義の内容にヒントを得て、自分自身の、自分らしい考えを創り出していくことを期待しています。

成績評価の方法

中間試験、期末試験、および毎授業ごとの課題の成果を総合して評価します。ただし、出席が半分にも満たない場合には、単位の取得はできないと考えてください。

教科書

特に使用しません。必要に応じて資料を配布します。

参考書等

- 西林克彦 『間違いだらけの学習論』新曜社
- 川島一夫 『図でよむ心理学「発達」』福村出版

| | | | | | |
|------|---------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 発達と学習の心理学 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B234選 | | | | |
| 担当者名 | 角野 <small>すみの</small> 善司 <small>せんじ</small> | | | | |

講義のねらい

教育心理学は、教育場面において、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てていきます。講義を通じて学び、考えたことを、生徒と接する際のヒントにしてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

(1)教育心理学とは (2・3)発達観の変遷 (4・5)発達の規定因 (6)教育の最適期 (7)発達段階と発達課題 (8)学習への動機づけ (9)内発的動機づけ (10)学習性無力感 (11)原因帰属 (12)学習目標と遂行目標 (13-15)補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。

成績評価の方法

免許・資格に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数^の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせ、適時紹介します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

| | | | | | |
|------|-------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | カリキュラムと学習 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経A商法A政営A234選 経B法B営B234選 | | | | |
| 担当者名 | おぐら やすよし 小倉 康仁 | | | | |

講義のねらい

人間の発達と学習のしくみを踏まえた上で、カリキュラム（教育課程）の構造（構造要素）、社会的意義、編成方式などを理解し、日本の現行カリキュラム（教育課程）について考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- ①カリキュラムとは？（カリキュラムの構造要素）
- ②カリキュラムの意義と規定因
- ③様々なタイプ（型）のカリキュラム
- ④カリキュラム編成方式
- ⑤学習指導要領の変遷
- ⑥現行学習指導要領の特徴と問題点
- ⑦カリキュラムと教授法
- ⑧カリキュラムと評価法

成績評価の方法

平常授業期間中に課す小レポート課題と学期末試験の成績および出席状況等の平常点との総合評価によって評価を行う予定です。

教科書

使用しません。

参考書等

必要な場合は、そのつど授業時に指示します。

その他

原則として、前期に「発達と学習の心理学」を受講していることを前提とします。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | カリキュラムと学習 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B234選 | | | | |
| 担当者名 | おおはま きくこ 大浜 幾久子 | | | | |

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行の新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出（定期試験期間）を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校)学習指導要領』(文部科学省)
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | カリキュラムと学習 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経A商法A政営A234選 経B法B営B234選 | | | | |
| 担当者名 | 三國 隆子 <small>みくに りゆうこ</small> | | | | |

講義のねらい

- ・学習指導要領から読み取れる、日本の教育課程を理解する。
- ・カリキュラムと学習の効果について学ぶ。
- ・学校現場で行われているカリキュラムの実際と課題について理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・我が国の教育課程
- ・学習指導要領の変遷
- ・教授と学習の効果
- ・カリキュラムと学習の効果
- ・学校教育（1）教育制度・カリキュラムの実際について
- ・学校教育（2）教育評価・今後の課題について

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらおう。
- ・学期末にレポート試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末レポートを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

その他

原則として、前期に「発達と学習の心理学」を受講していることを前提とします。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | カリキュラムと学習 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経A商法A政営234選 経B法B営B234選 | | | | |
| 担当者名 | 杉山 二季 <small>すぎやま ふたき</small> | | | | |

講義のねらい

カリキュラムとは単なる教育計画でなく、子どもの学習経験の履歴でもあります。カリキュラムや学習をめぐる理論を理解し、授業実践を観察・検討するための多様な見方を身につけることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

講義では受講者の理解を踏まえながら、以下のトピックについて扱う予定です。（1）カリキュラムとは何か（2）学習指導要領の変遷（3）カリキュラムを支える教育理論（4）知識とは、学力とは何か（5）授業の反省と批評（6）かくれたカリキュラム 実践を見る目を養うために、小・中・高校の授業を撮影したビデオを観察し検討する機会を何回か設けます。

成績評価の方法

授業中の提出物と期末レポートの内容によって総合的に評価します。各回（毎回ではないが）の講義終了時にその日の講義を聞いて考えたことや感じたことを書いて提出してもらおう予定です。

教科書

教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

講義中に適宜紹介します。

| | | | | | |
|------|---------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | カリキュラムと学習 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B234選 | | | | |
| 担当者名 | 角野 <small>すみの</small> 善司 <small>ぜんじ</small> | | | | |

講義のねらい

この科目では、カリキュラムの編成・実施を中心テーマとして取り上げ、それが生徒の学習をどのように規定し、導いていくかを検討していきます。これからの教育がどのようなカリキュラムで行われていくべきかを、各自考えてほしいと願っています。

講義の内容・
授業スケジュール

(1)カリキュラム（教育課程）とは (2)カリキュラムに関する法制 (3)カリキュラム編成の原則 (4)学習指導要領改訂の歴史 (5-6)平成10年学習指導要領改訂の経緯と基本方針 (7-8)平成15年学習指導要領一部改正の経緯と基本方針 (9-10)学習指導要領をめぐるその後の動き (11-13)カリキュラムと教育評価 (14-15)補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。

成績評価の方法

免許・資格に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

追って指示します。講義は、図表などを載せた資料プリントも活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせ、適時紹介します。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フレッシュマンセミナー | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考心政営A1選(19年度入学生) | | | | |
| 担当者名 | 萩原 義雄 | | | | |

講義のねらい

嘗て「国語学基礎」という科目が存在した。逆に「基礎国語学」と呼称してもいた。今横文字化して「フレッシュマンセミナー」だそう。日本人である私にとってこのカタカナ文字は刺りにもなじまない。故に何を教え、何を学ぶのかその教育展望が今少しく見えていないことを前置きする。いわば、何をどう教え何を見出すか試行錯誤の授業と云うことである。この一教員である私と複数の学生との共同（嚮導）授業になろう。私なりにその堂塔の心柱ともいえる骨格を意味する科目と構えて日本の大学の大人にふさわしい「東アジア圏日本語文化交流」に大切な教養を育む時間とも云えよう。

そこで、高等教育で何を学んだのか、まずは教える側と学ぶ側相互に確かめねば成るまい。今の大学教育の第一歩として本学の入学試験に国語・英語・社会（専門科目に細分類）といった三科目が指定され、この試験科目の評価点で合否が決定され、大学人としての門をくぐる。その査定の実態分析は、総合的に委員会を通じて実施されているが、この分析結果がどういようものか組織的に教員に伝達されてこの科目成立に結びついていると信じたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続き担当責任者説明
- 02の講義内容 日本語文献一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い
- 03の講義内容 日本語字書・辞書、そして参考とすべき専門書の利用とその実際
- 04の講義内容 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果その研究領域の一般活用と手続き
- 05の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその1（手書きそして縦書き）
- 06の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその2（入力そして横書き）
- 07の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその3（四種類の文字と融合）
- 08の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその4（漢語と和語）
- 09の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその5（洋語と日本語）
- 10の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその6（東アジア漢文文化圏のことば）
- 11の講義内容 日本語表現文章と国際政治社会における文章
- 12の講義内容 文章作成能力開発その1
- 13の講義内容 文章作成能力開発その2
- 14の講義内容 文章作成能力開発その3
- 15の講義内容 期末課題リポートの提出

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場IT管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。
 ※講義内容及び連絡事項については、HP（情報言語学研究室）上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可とします。

成績評価の方法

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD（ネットへの添付資料）にして、最終締め切り日に提出します。
 提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。
 ご自分が調査した関連語句（書名・人名・用語など）の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。
 また、総合教育研究学部（日本文化部門）&短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営していきます。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますのでご承知願います。

教科書

随時、講義の前後に報知します。

参考書等

随時、講義の前後に報知します。

その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フレッシュマンセミナー | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考心政党A1選(19年度入学生) | | | | |
| 担当者名 | 佐原 作美 <small>さばら さくみ</small> | | | | |

講義のねらい

学びのためにある学生生活を送るに当って、学部学科を問わず必要と思われる基礎的な知識や、物事に対する心得や態度など、ごく基本的な事柄について学び、かつその応用力としての考える力や表現力を養うことを目標としていく。

講義の内容・
授業スケジュール

学生に求められることはより豊かな感性を磨き持つべく努力することであろう。そのための基本的な方法として文章の読解や表現力あるいは思考力が求められよう。そこで授業では、その方法として古典などの文学作品を素材としてその手懸りとしていきたい。それによってあわせ日本の伝統文化や思想面についても知識が得られるよう考えていきたい。

履修上の留意点

目的意識と向上心を強くもって臨んでほしい。

成績評価の方法

折々の提出物や試験や出席（重視）などを見て総合的に評価する。

教科書

当面はプリントの配布をもって行う。

参考書等

必要に応じて授業の中で紹介する。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フレッシュマンセミナー | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考心政営A1選(19年度入学生) | | | | |
| 担当者名 | 鈴木 <small>すずき ひろこ</small> 裕子 | | | | |

講義のねらい

ー自己表現力のためのレッスンー
 自分の考えをわかりやすく主張する力が不足していると思っている人、言葉で表現する力を磨いて今の自分を少しでも変えたいと思っている人、そういう人たちのために表現力を養う手助けをする。

講義の内容・授業スケジュール

自己表現力は、大学での効果的な学びに必要な力の一つである。いろいろな種類の文章を読み、理解する力、自分の意見を筋道立てて説明する力、限られた時間にまとまりのある文章を書く力を、実際の作業を通して養う。なお、授業中に文章を書いてもらう場合と、授業外の時間に課題として書いてもらう場合とがある。教材は、新聞記事、評論、手紙、詩、歌詞など。特に、今日的な問題を提起しているものを多数取り上げる予定。

履修上の留意点

授業では文章を次から次へと読み、課題を書き、報告することが要求される。オーソドックスな講義形式を希望している受講生には不向きなので、履修するときにはその点を留意すること。また、人数は少数が望ましく、希望者は最初の授業から出席すること。

成績評価の方法

提出物、授業中の発言内容、出席状況（遅刻・早退をしないことは大前提）から総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書

プリント教材。

参考書等

参考書は、授業中に指示する。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フレッシュマンセミナー | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考心政営A1選(19年度入学生) | | | | |
| 担当者名 | 坂口 ^{さかぐち} 博規 ^{ひろき} | | | | |

講義のねらい

平成18年度より、入学初年度に受講する科目として開設されたもので、大学生活を有意義に送ってもらうことをねらいとしています。

殆どの学生諸君は最終学校たる本学において、将来の人生設計の途に立ちます。その貴重な4年間を、自覚的・能動的に過ごしてほしいと考えています。それぞれの専門分野の学問の理解は、実は日本語の理解能力の与かるところ大です。また自己をより正確に且つ効果的に他人に認定されるように、言葉の伝達（日本語表現）の大切さを自覚してほしいものです。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的に立って、毎時間テーマを設定して講義し、その講義内容に対する感想や、テーマに即した自分の考えを作文してもらいます（1～5）。講義中心ですが、受講生の人数や教場の形態などの条件によって、作文の添削や討論会の設定なども工夫したい。特にコミュニケーション論の一端として、言語断絶の疎外状況を物語る「変身譚」について考えてみたい（6～10）。また日本語表現の特質なども考えてみたい（11～13）。

履修上の留意点

「自己表現」の大切さを学んでほしい。言葉による伝達の意義を正しく自覚してほしいと思います。

成績評価の方法

授業の最終日に提出のレポートの成績評価。レポートは同じ題目にて2種（1つは要旨）提出してもらいます。また授業の折々に課題を出して小レポートも提出してもらいます。出席状況も参考にして、総合的に評価します。

教科書

授業の折々にプリントを配布します。

参考書等

授業において紹介します。

| | | | | | |
|------|---------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フレッシュマンセミナー | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考心政営A1選(19年度入学生) | | | | |
| 担当者名 | 園部 <small>そのべ</small> 幹生 <small>みきお</small> | | | | |

講義のねらい

大学のおかれた状況は年々変化し、大学生に対する社会的要請も重みを増したものが増えてきている。大学生活は高等学校までとは異なる点が多いので、充実した学生生活を送るために心得ておくべきことを体験的・実習的に修得することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1 ガイダンス。2～4 大学と大学生生活。5～7 キャリアデザインとライフスタイル。8～11 表現法とレポートの書き方。12 レポート提出。13 まとめ。
ただし、受講生の数や志向によって内容やスケジュールを変更することもある。その際は授業時間内に連絡する。

履修上の留意点

本講座は、出席や授業内提出物で60点分を評価するので、毎時間出席することが大原則である。課題の連絡も含めて、授業時間を大切にすることを求める。

成績評価の方法

出席点30点、授業時間内提出物30点、レポート40点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。前期最後の授業時間内に追試験に相当するレポートに関する伝達を行うので必ず出席すること。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

必要があればそのつど紹介する。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フレッシュマンセミナー | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考心政営A1選(19年度入学生) | | | | |
| 担当者名 | 石割 透 <small>いしわり とおる</small> | | | | |

講義のねらい

日本文化に特色があるとすれば、それはどのようなものなのか。この授業では、近代になり西洋世界との接触が次第に深まるにつれて、西洋から訪れた人たちに日本がどのように見られ、記述されたのか。それによって、日本の文化の特徴を検討し、国際化の進む状況の中で歩むべき方向を考えていこうと思います。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、主に小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）『日本瞥見記』、ヴェンセスラウ・デ・モラエスの『日本精神』などを読み、彼等に日本人の宗教・住居・風景・生活習慣・芸術などがいかに見られたかを述べ、近代の西洋世界との接触の深まりの中で、喪なわれたもの、得られたものを考え、そのことの意味に触れたいと思います。

履修上の留意点

小泉八雲、モラエスのみならず、16世紀に訪れた西洋人より現在に至るまで、西洋人の日本について記した文献は数えきれない程多数あります。できるだけ多くの書物に触れ、その見方も西洋の諸国、時代によっていかに異なっていくかも考えてほしいと思います。また、東洋、南洋の国々からいかに見られてきたかも、同時に考え、西洋人のまなごしを相対化することも試みて下さい。

成績評価の方法

1、2回のレポートの提出。出席状況を重視し、成績評価に加味する。

教科書

小泉八雲『日本瞥見記上・下』（恒文社）、モラエス『日本精神』（彩流社）など。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義形式で授業を進め、必要に応じてプリントなどを準備する。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フレッシュマンセミナー | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考心政営A1選(19年度入学生) | | | | |
| 担当者名 | こばやし おさむ 小林 治 | | | | |

講義のねらい

山田洋次が『男はつらいよ』シリーズ（第一作は1969年公開）とは別に、しかし並行して1970年から1980年にかけて松竹で撮った5本の映画がある。三部作シリーズとしての『家族』、『故郷』、『同胞』ならびに『幸福の黄色いハンカチ』、『遙かなる山の呼び声』である。それらの作品は、戦後30年を経て高度経済成長の真ただ中であって、喪われつつある日本人および日本の風土の特質を、例えばタイトルの如く、家族、故郷、同胞などの視点から凝視しつつ、その新たな現代における再生の可能性を探っている。これらの営為を眺める中で、戦後の日本が歩んだ道を決定的に方向づけた高度経済成長によって喪ったものを計り、その廃墟からの再生と復活を願う希望について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

上記した映画作品を随時、見ながら、また資料等によって時代背景を考察しながら、上記のテーマに迫ってみたい。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ上記した映画作品以外に取り上げる文学作品や映画作品を指示するので、できるだけ事前に読み、かつ見て授業に出席のこと。他の学生の大きいなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

授業時に指示する。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フレッシュマンセミナー | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考心政管A1選(19年度入学生) | | | | |
| 担当者名 | 松田 ^{まつだ} 直行 ^{なおゆき} | | | | |

講義のねらい

大学の授業から最大限のものを得たいと真剣に考えている新入生を対象に、大学での学業の基本を講義する。レポートの書き方や図書館・パソコンの活用法など実務的な事項を確認しながら、教科書を使用して「教養とは何か」を考え、「学ぶ態度」の基本を身につけていただきたい。また数名ずつのグループを編成して作業を行い、コミュニケーションについて体験的に学ぶ機会も設ける。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 変わる大学 (2) 教養とは何か (3) 地域と大学 (4) 論理的な思考と表現
(5) コミュニケーションについて (6) 図書館とパソコンの活用法 (7) レポートの書き方

履修上の留意点

大学生活を始めるにあたって授業にしっかり出席する習慣を身につけていただくためにも、2/3よりは多い出席を必須とし、遅刻は認めない(途中入室を許可しない)ので注意すること。図書館でのガイダンス、パソコン教場の使用、世田谷保存住宅見学など、通常の教場以外で授業を行う場合がある。予定は随時授業の中で指示するが、欠席の場合はインターネット Komsyの詳細情報表示で確認すること。

成績評価の方法

前期定期試験期間中にレポートを提出していただくが、出席状況や、授業の中で求める様々な課題の提出状況を加味した上で採点する。

教科書

村上陽一郎『やりなおし教養講座』、NTT出版、1,680円。

参考書等

竹内洋『教養主義の没落』、中公新書1704、819円。阿部謹也『「教養」とは何か』、講談社現代新書1358、735円。筒井清忠『新しい教養を求めて』、中央公論新社、1,680円。

その他

初回の授業でガイダンスを行う。なお後期科目の「日本文化基礎(松田)」はこの授業とは別の科目であり、必ずしも両方を履修する必要はない(してもよい)が、後期科目は履修登録の前にガイダンスを行う機会がないので、そのガイダンスもこの前期授業の初回にあわせて行う。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化基礎 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境日外考心政営A12選 | | | | |
| 担当者名 | 佐原 作美 <small>さきはら さくみ</small> | | | | |

講義のねらい

日本文化とは何か、をテーマとしていきたい。そこでそれを考えていくその方法の一つとして日本の古典文学、特に『古事記』や『万葉集』や『風土記』など、古代文学をもとにそれらを読みながら考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、古代の日本人の精神文化の要素として、
 (1)呪的(物)信仰について
 (2)言霊信仰について
 (3)夢信仰について
 の三つをテーマとしてあげ、それらが古典文学の中でどのように展開しているかを見ることによって前述のテーマに迫りたい。また、それらが古代人のみならず、現代人においての有りようをもあわせ考えていきたい。

履修上の留意点

素朴な問題意識と各自の感性を磨く意欲をもって臨んでほしい。

成績評価の方法

折々の提出物や試験や出席(重視)などを見て総合的に評価する。

教科書

プリントの配布をもって行う。

参考書等

必要に応じ授業の中で紹介する。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化基礎 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境日外考心政営A12選 | | | | |
| 担当者名 | 鈴木 裕子 <small>すずき ひろこ</small> | | | | |

講義のねらい

—〈家族〉の文学史……描かれた古代の女と男—
 古代の文学作品を中心に取り上げ、それらに描かれた古代の人々の生活を見ていきたい。例えば、良妻/悪妻とはどのような妻か、あるいは悪母/慈母とは何か、男女の関係や親子関係はどのように変わったか、その背景にはどのようなことがあるのかなど、実際に古典の一節を読みながら考える。

講義の内容・授業スケジュール

取り上げる作品は『日本霊異記』や『今昔物語集』などの説話文学や、『蜻蛉日記』などの日記文学、『源氏物語』などの物語である。描かれている記事の歴史的社会的な背景が理解できるように、周辺の資料も読みながら、現代につながる人間の問題をさぐってみたい。併せて古典文学のおもしろさが味わえるとよい。

履修上の留意点

授業は主としてプリント教材を用いての講義形式であるが、頻繁に小作文などの課題を出題する。

成績評価の方法

期末に行う試験(日時・論題等は授業時に提示)・授業態度(欠席・遅刻をしないことは前提)・課題などから総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書

プリント教材。

参考書等

参考書は、授業中に指示する。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化基礎 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境日外考心政営A12選 | | | | |
| 担当者名 | 坂口 博規 | | | | |

講義のねらい

日本文学は社会や風土と深く関わり合い、複雑多様で豊かな展開を示している。時代時代において様々な思想の推移において美意識の変遷が見られる。その全ては現代に至るまで日本文化の特質を示すものであり、長く伝統を形成している。それら各時代の文学に表われた美的理念をたどり、日本的な美意識の流れを考える。

講義の内容・授業スケジュール

古代から近世までの、主として古典文学に現れた美的理念を概説する。古代の「まこと(明・浄・直)」(1～3)、平安期の「あはれ」「をかし」「はかなし」(4～7)、中世の「無常」「幽玄」「妖艶」(8～10)、近世の「粹・通・意気」「滑稽」(11～13)等々を取り上げ解説する。

履修上の留意点

授業はプリント教材を用いて講義形式で行うので、出席に努めてほしい。

成績評価の方法

定期試験時のレポートの成績に、出席状況を加味して評価する。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

授業において適宜紹介する。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化基礎 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境日外考心政営A12選 | | | | |
| 担当者名 | 蘭部 幹生 | | | | |

講義のねらい

真の国際人とは自国の文化をしっかりと認識している人物である。これからの国際社会を生き抜いていくためには、自国についての認識と意見を持ち、それを表現できる必要がある。本講座は、そうした文化の認識に関する導入的講座である。したがって、単に知識を得るのではなく、文化的事象をどのように自分の中で体系化して認識し、そこから何を考えるかを問題にしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1 ガイダンス。2 婚姻史。3 婉曲表現の文化。4 自己認識の文化。5 食文化。6 住まいの文化。7 服飾文化。8 宗教文化。9 テレビゲームの可能性と文化的展望。10 文化史としての日本文学。11 伝承文芸。12 教場試験。13 まとめ。

履修上の留意点

毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

出席点20点、意見文30点、教場試験50点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。なお、12月の最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達(該当者・テーマ・提出期限等)を行うので必ず出席すること。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

必要があればそのつど紹介する。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化基礎 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境日外考心政営A12選 | | | | |
| 担当者名 | いしわり とおる 石割 透 | | | | |

講義のねらい

日本の戦争及び戦後のことを考えることは極めて重要な課題であるが、戦後の風景を検討するに際して、この授業では、昭和27年に放送劇として始まり、その人気ゆえに映画、歌謡、小説など、多くのジャンルにまたがって、大きな人気を博したメロドラマ、「君の名は」について、その人気を博した理由を考え、戦後の1時期における戦中観を検討してみたい、あわせて、日本のメロドラマの系譜を概観することで、日本の戦後の文化の一端を考察してみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

「君の名は」は、放送劇であるがゆえに、現在はその台本でしか、その内容に触れることができない。小説も、全国の幾つかの図書館でしか、現在では見ることはできない。(河出書房の文庫本も、現在では絶版である。) わずかに、映画全三部作がビデオなどで見ることができるのみである。レンタルビデオなどで、あらかじめ、その物語に触れていただければ、幸いである。

履修上の留意点

「君の名は」の内容にこだわらず、この時間には、放送劇、映画、絵画などの分野にも拡げ、その特徴、歴史などにも触れる予定である。メロドラマ、歌謡曲、大衆小説などにも関心をもって授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

出席を重視する。戦後文化についてのレポートを提出。それらによって評価する。

教科書

特に指定しない。その都度、必要な教材を、こちらで準備する。

参考書等

その都度、授業中に紹介する。

その他

映画などは、ビデオで見せることを考えています。

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化基礎 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境日外考心政営A12選 | | | | |
| 担当者名 | 小林 ^{こばやし} 治 ^{おさむ} | | | | |

講義のねらい

宮澤賢治の童話を精読する。賢治作品はこれまで、そこに溢れるイメージの絢爛さが、言葉だけの世界におけるデザインの卓抜さということに囲い込まれ、消費されるという不幸にしばしばみまわれてきた経緯があり、それゆえに賢治を遊民と錯視する見解も生まれてきた。しかし、その詩においても童話においても、注意深くそれらを読むならば、賢治の比類無き想像力の飛翔によって夢見られたイメージや虚構は、その飛翔に相当した深い喪失感と内省を生み出していることに気づくはずである。そこに表現者としての賢治の修羅があるのであり、ムードに流された生半可な鑑賞などはねつけてくるのである。

講義の内容・授業スケジュール

上記の賢治作品の実相を、生前発表作品である『氷河鼠の毛皮』、『シグナルとシグナレス』、およびその生前に唯一出版された童話集『注文の多い料理店』所収の作品などにみていく予定。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大きいなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書

宮澤賢治『宮澤賢治全集第8巻』（ちくま文庫）
その他、適宜プリントも配布する。

参考書等

授業時に指示する。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化基礎 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境日外考心政営A12選 | | | | |
| 担当者名 | まつだ なつゆき 松田 直行 | | | | |

講義のねらい

講義タイトルは「流行歌の近代史～J-POPへの道程」。明治維新から現代までの流行歌を通して、①世相風俗とメディア史を中心とした近現代史、②伝統音楽・西洋音楽・ジャズの3要素の交錯と融合による現代音楽史、③西洋音楽に日本語をのせる歌詞の問題、の3つを並行して考える。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 音の科学 (2) 基本の楽理 (3) 明治における西洋音楽の移入 (4) 浅草オペラとモダニズム (5) 流行歌の誕生 (6) 戦後の歌謡曲 (7) ビートルズとロックの時代 (8) 歌謡曲からJ-POPへ

履修上の留意点

新入生と2年次生を対象として、各自の興味・関心をもとに真剣に授業に取り組む学習姿勢を身につけること自体も目的としているので、基本的に毎回出席する姿勢が求められ、遅刻しての入室は禁じる。

成績評価の方法

定期試験期間中に筆記試験を行う。授業で指示する提出物や出席状況も考慮して採点する。

教科書

指定しない。授業で毎回プリントを配布する。

参考書等

佐藤良明『J-pop 進化論』平凡社新書、¥725。

その他

後期科目だが、希望者には4月の履修登録前にガイダンスを行う。前期科目の「フレッシュマンセミナー(松田)」の講義内容を参照。前期科目はこの授業とは別であり、必ずしも両方を履修する必要はない(してもよい)が、前期授業の初回にこの授業のガイダンスもあわせて行う。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語文化基礎 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境日外考心政管A12選 | | | | |
| 担当者名 | 萩原 義雄 | | | | |

講義のねらい

「東アジア漢文文化圏」の東端海上に位置する日本国は、独特な言語文化を生み出してきました。その素養を知る手がかりをこの講義を通じて理會を深めていただき、海外の国際文化交流のうえで基礎となる素養を多くの方が育み、この日本文化の手触り・肌触りを実感できる講座となればと考えています。日本の書記文字文化は西欧の音楽文化に通じています。逆に西欧の文字文化は、日本の邦楽文化（仏教聲明・平曲・謡曲）と連動しているといった図式がよく取り沙汰される所以をこの時間で具現できればと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 01の講義内容 | ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明 |
| 02の講義内容 | 日本語文化を学ぶ一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い |
| 03の講義内容 | 日本語文化を学ぶ字書・辞書・参考専門書の利用とその実際 |
| 04の講義内容 | 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果 その研究領域の一般活用と手続き (中国・韓国・北朝鮮・モンゴル・ベトナム・タイ・インドネシアなど) |
| 05の講義内容 | 言語文化「東アジア漢文文化圏」その1(中国と日本) |
| 06の講義内容 | 言語文化「東アジア漢文文化圏」その2(朝鮮半島と日本) |
| 07の講義内容 | 言語文化「東アジア漢文文化圏」その3(モンゴルと日本) |
| 08の講義内容 | 言語文化「東アジア漢文文化圏」その4(ベトナムと日本) |
| 09の講義内容 | 言語文化「東アジア漢文文化圏」その5(タイと日本) |
| 10の講義内容 | 言語文化「東アジア漢文文化圏」その6(インドネシアと日本) |
| 11の講義内容 | 「西欧言語文化圏」と日本語文化(ギリシャ・トルコ・イタリアを中心に) |
| 12の講義内容 | 言語文化「西欧言語文化圏」その1(ギリシャ&トルコと日本) |
| 13の講義内容 | 言語文化「西欧言語文化圏」その2(イタリアと日本) |
| 14の講義内容 | 言語文化「西欧言語文化圏」その3(英国・米国・豪国と日本) |
| 15の講義内容 | 期末課題リポートの提出 |

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場IT管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

期末にリポート課題を用意します。これを紙出し&データ記録(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日迄に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)&短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書

随時、講義の前後にて報知します。

参考書等

随時、講義の前後にて報知します。

その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語文化基礎 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境日外考心政営A12選 | | | | |
| 担当者名 | 湯浅 陽子 (ゆあさ ようこ) | | | | |

講義のねらい

今やパソコンは使えて当たり前の時代ですが、使いこなしているでしょうか？この授業では、使いこなす上で必要な表現力（大学生として恥ずかしくない日本語能力・文章力、色彩および図解能力）を強化します。

日本語能力は、語彙を増やし、読み仮名や漢字の間違いを減らすことに重点を置きます。また、社会生活で必要な慣用句やことわざの意味、敬語の基本を確認して、活用できるかどうかをチェックします。

文章力は、簡潔でわかりやすい実用文の書き方のポイントと、説得力のある文章の構成方法を学び、小論文などを実習します。

色彩及び図解能力では、色彩の基本と表や図形を書くときの注意点を学び、図解の基本的な作成方法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 情報利活用における表現力の位置づけ
- 第2回 語彙を増やす（送り仮名・同音異義語）
- 第3回 語彙を増やす（慣用句）
- 第4回 語彙を増やす（ことわざ・敬語）、練習1
- 第5回 良い文のポイント、練習2
- 第6回 文章の構成（要素と構成方法・要約・見出し）、練習3&4
- 第7回 さまざまなビジネス文書、練習5
- 第8回 小論文の構成、引用の提示方法、エントリーシート、練習6&7
- 第9回 色彩と図解の基礎知識、練習8&9
- 第10回 グラフを作る、練習10
- 第11回 グラフや図解でものを考える、練習11
- 第12回 Drill
- 第13回 予備日

履修上の留意点

コンピュータを使用します。コンピュータを起動するためにIDが必要です。入学式後のオリエンテーション期間中に行なわれる総合情報センターの説明会に必ず出席して、コンピュータのユーザー登録を行ないIDを取得している人でなければ受講できません。また、第1回目の授業で定員を超えた場合は、2回目の授業時に抽選を行ない、履修登録許可書を発行しません。

成績評価の方法

出席を重視します。毎回講義のあとに練習問題を課します。その課題の提出は翌週までにメールに添付して提出します。評価は出席点・課題提出点・および授業内試験による総合評価です。

教科書

自作教材

参考書等

必要時に、適宜指示します。

その他

「基本が大切」とは、よく言われることですが、パソコン操作も基本が大切なことになり変わりはありません。パソコン操作の基本とは、すなわちキーボード操作です。Windowsの出現以来、専門家や一部の愛好者ばかりでなく、誰もが触れるようになったパソコンですが、マウスの操作だけではパソコンの機能のうち、ほんのわずかなことしかできません。

ワープロによる文書作成も電子メールもキーボードによる文字入力を中心であり、現在専門家としてパソコンを操作している人も初めはキーボードの入力から覚えていったのです。初心者にとっては、大きなハードルとなるキーボードですが、情報化がすすむ社会では不可欠の技能と言えます。総合情報センター内のコンピュータに入っているタッチタイピングソフトの「Type Quick」で入力のスキルアップを図ってください。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化研究IA | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 佐原 作美 <small>さばら さくみ</small> | | | | |

講義のねらい 授業では『万葉集』の講読を中心に進める。『万葉集』は承知の如くわが国最古の大歌集であり、約4500首もの和歌を取める国民的古典である。授業ではその中から特に特色ある歌人として知られる山上憶良の作品を中心に読んでいくと共に、作者憶良の人間像を探求することを目標としたい。

講義の内容・授業スケジュール 憶良を理解するにはその作品を精読することが第一であり、それにあわせその時代や社会などとの関わりをも視野に入れる必要がある。授業では、憶良の全作品を創作年代順に追いながらかつ、その全体像の把握につとめながら共に読んでいきたい。

履修上の留意点 授業は単に出席して講義を聞けばいいというものではない。自ら積極的に作品を読み、考え、味わうことが大切である。作品は人間から生れた文学芸術であることを忘れずに、意欲的に立ち向かうようにしてほしい。

成績評価の方法 折々の提出物や試験や出席などを見て総合的に評価する。

教科書 土橋 寛編『作者別万葉集』(おうふう) 2,000円

参考書等 授業時に必要に応じてその都度紹介する。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化研究IA | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 坂口 博規 <small>さかぐち ひろき</small> | | | | |

講義のねらい 鎌倉時代初期に成立した私家集(=個人歌集)『建礼門院右京大夫集』を読む。平家一門全盛の世、高倉天皇中宮となった平清盛娘徳子(安徳天皇母)の宮廷に女房として仕えた、「右京大夫」と称した女性の歌集である。他人詠も含めて361首の歌が、全体ほぼ年代順に配列されており、その半生の回想の記の体を示していることから、日記文学に指摘される自照精神を問うこともできる。徳子の宮廷に仕えていた折に、平清盛の孫に当たる貴公子資盛と恋に陥り、以後平家一門の都落ちに伴う資盛の流転、壇の浦での死去を体験し、その追想の日々を過ごす。その戦乱期に運命を翻弄された作者の人生を、散文(=詞書)と韻文(=和歌)が見事に融合したと評価される作品を通して考えたい。

講義の内容・授業スケジュール 開講時(1・2)は、女性の手になる自照文学の流れを概観し『平家物語』の裏面史とも言うべき本作品を理解するため『平家物語』の女人哀話を紹介(3)、前期は平資盛との交渉を中心に作品を講読する(4~13)。後期は似絵(肖像画)の名手であり歌人でもあった藤原隆信との稔らぬ恋に苦悩するが、その交渉を伝える和歌を中心に作品を読み進め(14~25)、和歌文学の魅力を考える(26)。作品研究という形で本文を読みたい。

履修上の留意点 和歌の魅力を感じてもらうように、いくつかの作品を分析的に読解してみるが、まず作品の成立した平家全盛の時代、そしてその滅亡の歴史的背景について研究してほしい。なお宮廷社会について考察してほしい。

成績評価の方法 授業内試験の成績に、平素の出席状況や授業への取組みを参考にして評価する。

教科書 久富高文編『建礼門院右京大夫集』(おうふう) 1,890円

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化研究IA | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考心政宮A選 | | | | |
| 担当者名 | 鈴木 ^{すずき} 裕子 ^{ひろこ} | | | | |

講義のねらい

『源氏物語』入門……禁忌と夢を中心に

日本文化の基底をなす文芸の一つとして、古代より人々によって読み継がれ、受け継がれてきた古典文学『源氏物語』を取り上げる。文学作品としての価値はどのようなところにあるのか、またその享受のあり方は時代の流れにともなうどう変わってきたか、実際に作品世界の一端に触れつつ考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、『源氏物語』の中核となっている、光源氏と藤壺の禁忌の恋の物語を取り上げて物語世界での位置付けや注釈の歴史をたどりつつ読み解く。後期は、『源氏物語』において夢がどのように描かれ、物語の展開に関わっていくか、明石の一族の物語を中心に読み解く。

履修上の留意点

授業はテキストやプリント教材を用いての講義形式を基本とするが、頻繁に小作文などの課題を出題する。

成績評価の方法

半期毎に行うレポート試験、提出物（授業中に短い作文の提出を求めることがある）、出席状況（遅刻・早退をしないことは大前提）等から総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書

『ビギナーズ・クラシック源氏物語』角川ソフィア文庫（角川書店）、その他プリント教材。

参考書等

参考書は、授業中に指示する。

| | | | | | |
|------|---------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化研究I A | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考心政管A選 | | | | |
| 担当者名 | 菌部 <small>そのへ</small> 幹生 <small>みきお</small> | | | | |

講義のねらい

日本文化のなかで、伝承文芸は上代から近世まで、あらゆるジャンルの文芸と関わって、大きな意味を持っていた。その伝承文芸を代表する説話文学のなかから、特に有名な作品の一つである『宇治拾遺物語』をとりあげる。『宇治拾遺物語』は長く編者未詳の作品として扱われてきたが、その謎を解き明かしてみたい。説話集は、伝承された話を編纂したものであるから、同じ話や類似した話が、他のさまざまな作品にも載せられている。それらの話との比較も、説話を理解するうえでは、たいせつな要件となる。したがって、『今昔物語集』のような他の説話集はもちろん、その他さまざまなジャンルの作品も合わせ読むことになる。そうしたことを通して、説話の本質を考え、また、『宇治拾遺物語』の秘められた特質も浮き彫りにしてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

1 ガイダンス。2 説話とは。3・4 説話文学史。5 序文講読。6・7 宇治拾遺物語の特徴。8～18 編者論。19～24 作品論。25 教場試験。26 まとめ。

履修上の留意点

毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう(試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込み参照可)。また、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。

教科書

中島悦次校注『宇治拾遺物語』角川文庫

参考書等

『駒澤短大国文』36号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

| | | | | | |
|------|---------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化研究II A | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考心政管A234選 | | | | |
| 担当者名 | 佐原 <small>さほら</small> 作美 <small>さくみ</small> | | | | |

講義のねらい

平安朝の末期に成立したわが国最大の説話集である『今昔物語』を通じて、社会の下層に位置する人々が、日々何を願い何を求めて生きていたか、その心性と思想と行動の有りようを探っていききたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、『今昔物語集』の「本朝仏法」部(巻十一～巻二十)の中から、特に観音や地藏や阿弥陀などの諸仏への信仰をはじめ、興味ひかれる説話を選んで読みながら見つめていききたい。

履修上の留意点

自発的に取り組むことと、何度も繰り返し読んで味読してほしい。

成績評価の方法

折々の提出物や試験や出席(重視)などを見て総合的に評価する。

教科書

佐藤謙三校注『今昔物語集』本朝仏法部、上・下巻(上巻903円、下巻735円)・角川ソフィア文庫(角川書店刊)

参考書等

必要に応じ授業の中で紹介する。

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化研究II A | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | 鈴木 ^{すずき} 裕子 ^{ひろこ} | | | | |

講義のねらい

—和歌で読む『源氏物語』—

古典の物語では和歌は重要な役割を果たす。和歌を読み解くことで、作中人物の状況や心情、あるいは無意識の深層まで探れることがある。今回は、特に日本文化の基底をなす文芸の一つ『源氏物語』を取り上げる。

講義の内容・授業スケジュール

精選した場面を原文で読み、和歌の機能について理解を深める。第一部、第二部の物語世界から、藤壺や六条御息所、紫の上の歌などを取り上げる予定。古典和歌になじみのない人も現代語訳の『源氏物語』で和歌がどう扱われているかを確認しつつ物語のおもしろさを発見して欲しい。

履修上の留意点

授業はテキストやプリント教材を用いての講義形式が基本となるが、頻繁に小作文などの課題を出題する。

成績評価の方法

前期・後期にそれぞれ一度ずつ行うレポート試験（論題等は授業時に提示）・授業態度（欠席・遅刻をしないことは前提）・課題などから総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書

プリント教材。

参考書等

参考書は、俵万智『愛する源氏物語』（文藝春秋社）、鈴木裕子『『源氏物語』を〈母と子〉から読み解く』（角川叢書・角川書店）その他、授業中に指示する。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化研究IIA | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | 坂口 博規 <small>さかぐち ひろ規</small> | | | | |

講義のねらい

古代の『古事記』『日本書紀』『風土記』等の歌謡を考える。古代の「ウタ」の発生の問題や、「ウタ」の役割（＝古代的意義）を考えるとともに、作品中に登場する歌謡が、その物語の中でどのような役割（＝文学性）を担っているか等を考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめ「ウタ」の発生について考察し（1～3）、次いで古代歌謡の種類（4～6）や形態（7・8）や表現様式・歌体（9～13）などを、『古事記』や『日本書紀』『風土記』の物語を含めて解説する。後期に入り、歌謡が物語にいかなる役割を以って挿入されているかを理解してもらうために、ヤマトタケル物語を『古事記』と『日本書紀』の両方で読む。この二つのヤマトタケル物語は内容を大きく変えており、その違い、『古事記』と『日本書紀』の政治的主張の差などに由来することから、まず『古事記』と『日本書紀』の成立について考察（14～17）、その上でヤマトタケル物語を読み解きたい（18～25）。

履修上の留意点

古代の文学・歴史書たる『古事記』『日本書紀』『風土記』は、その表現や内容上難解な点が多いので、是非注釈書などに目を通してほしい。本文読解を中心に行うことはしないので作品の理解は現代語訳でもよい。

成績評価の方法

定期試験時におけるレポートの評価による。出席状況も参考にする。

教科書

授業時に適宜プリントを配布する。

参考書等

授業時に適宜紹介する。

| | | | | | |
|------|----------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化研究II A | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | そのべ みきお 菌部 幹生 | | | | |

講義のねらい

同じ担当者（菌部幹生）の日本文化研究IAを履修済みという前提で講義を行う。すなわち、『宇治拾遺物語』の編者が文章博士・藤原経範であるという前提に立てば、『宇治拾遺物語』をどのように読むことができるか、という点を最大のテーマとする。恣意的な読み方によらずに、どのように読むべきかという作品研究の立場に立った方法を実践したい。

講義の内容・授業スケジュール

1 ガイダンス。2 説話文学の盛衰。3 編者論。4～13作中人物論。14～24作品論。25教場試験。26まとめ。

履修上の留意点

日本文化研究IAを履修済みであることが望ましい。できれば同一担当者の日本文化研究IAを単位修得してから履修することが望ましいが、そうでない場合は、必ず最初の授業時にその旨を相談すること。

また、毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう（試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込み参照可）。また、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。

教科書

中島悦次校注『宇治拾遺物語』角川文庫

参考書等

『駒澤短大國文』25号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化研究ⅠB | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選 | | | | |
| 担当者名 | いしわりとおる 石割 透 | | | | |

講義のねらい

1910年から20年代にかけての日本の、主に短篇小説を読む。

主に大正時代の文壇の中心にいた作家——芥川龍之介・志賀直哉・谷崎潤一郎・菊池寛・江戸川乱歩ら——の作品を読みそれぞれの作家の特質、作家の生きた時代の社会的、文化的状況を検討する。大正期には、それぞれの個性が開花し、現代に通じるさまざまな表現方法が見出され、生きるうえでの課題が生まれたが、代表的な短篇小説を扱うことで、そのようなテーマを検討していく。とりあげる作品は、芥川龍之介「芋粥」「舞踏会」「雛」、谷崎潤一郎「白昼鬼語」「小さな王国」「春琴抄」「痴人の愛」、志賀直哉「小僧の神様」「焚火」、菊池寛「屋上の狂人」「父帰る」「海の勇者」「入れ札」「真珠夫人」、江戸川乱歩「人間椅子」「芋蟲」など。

講義の内容・授業スケジュール

上記の作品を読み、それぞれの作品にひそむ課題、表現方法、社会的背景などを検討していく。大体、前期、後期、4、5つの作品をとりあげる予定である。

履修上の留意点

授業に際して、各々の作品を前もって十分に読んでおくことが望ましい。各作品に絡めて言及する作品についても、すぐに図書館にでも行き、読んでほしい。短篇小説だから、すぐに読める筈である。

成績評価の方法

年度2、3回のレポート提出。出席状況を重視する。

教科書

特に指示しないが、扱う作品は、主要な文庫本などで比較的容易に読むことが可能である。例えば谷崎潤一郎「美食倶楽部」(ちくま文庫)、江戸川乱歩「江戸川乱歩傑作選」(新潮文庫)、芥川龍之介「芥川龍之介全集Ⅰ～Ⅵ」(ちくま文庫)、谷崎潤一郎「痴人の愛」(新潮文庫)など。年表の会編『近代文学年表』(双文社)。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義を中心に進行する。授業に必要なコピーなどを、その都度準備する。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化研究I B | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 小林 治 <small>こばやし おさむ</small> | | | | |

講義のねらい

現代文学の作家と映画との関わりは、その作家及び作品の方向性を決定してしまうほど深いケースが多くなっていると言えるだろう。その関わり方は、大きく分けて二種類あると思われる。一つは、作家が観た映画に触発された、あるいは影響を受けた場合であり、もう一つは作家が実際に監督として映画を作った、もしくは脚本などを担当して映画作りに参加した場合である。これまで、映画と文学というテーマが掲げられると、前者の関わりから語られることが多かったが、ここでは具体的に後者の場合を安部公房について取り上げて、どのように関わっているか考えてみたい。また、前者についてもいくつか取り上げる。

講義の内容・授業スケジュール

代表作『砂の女』など昭和30年代から40年代にかけて先駆的に自作の映画化に数多く関わった安部公房について順次みていく予定である。

履修上の留意点

授業で触れる作品は、できるだけ多くを授業と併行して読むことが望まれる。また、特に詳しく触れる作品はあらかじめ指示するので、必ず読んでおくこと。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出欠状況を加えて成績評価をおこなう。

教科書

安部公房『砂の女』（新潮文庫）400円
 安部公房『他人の顔』（新潮文庫）450円
 その他、適宜プリントを配布する。

参考書等

授業時に指示する。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化研究IB | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選 | | | | |
| 担当者名 | まつだ なおゆき 松田 直行 | | | | |

講義のねらい

近代以降の日本における演劇と芸能の諸相を、多角的に考察する。西洋近代劇の移入に始まる演劇史を中心としながら、浅草オペラや宝塚、ミュージカルなどの音楽劇、寄席の芸能や大道芸に至るまでを広い視野でとらえ、ジャンルの枠を超えた発想から近代日本におけるライブ・パフォーマンスの全体像を見つめる。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 芸能とは何か (2) 現代日本の芸能と演劇の実情 (3) 歌舞伎開化から新派へ
(4) リアリズム演劇の理念 (5) 近代演劇の移入と新劇 (6) 帝劇と宝塚 (7) 浅草オペラとエノケン (8) 漫才と喜劇 (9) 大道芸と見世物 (10) 近代戯曲を読むーイブセン「人形の家」と岸田国士「紙風船」

履修上の留意点

できる限りの映像資料を使って芸能や演劇に触れてほしいと思っているが、それは単なる映像に過ぎないことも事実である。授業時間以外に自分で様々な芸能や演劇の場に足を運び、レポートとして報告する課題を出す。機会があれば希望者を募っての観劇会も企画したい。

成績評価の方法

出席状況を重視するが、学年末の定期試験期間中に筆記試験を行い、またそれとは別に前期・後期それぞれにレポートの提出を求め、総合的に評価する。

教科書

指定しない。随時教場でプリントを配布する。

その他

この授業で扱う内容からさらに専門性を深め、自分の興味にしたがって各自が研究し発表する演習形式に近い形態を取り入れた「日本文化研究IIB(松田)」を今年度から開講する。こちらのIBを先に履修してから、翌年度以降さらに興味があればIIBを履修していただきたい。

| | | | | | |
|------|----------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化研究II B | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | いしわり とおる 石割 透 | | | | |

講義のねらい

日本近代文学と〈京都〉——そうだ、京都。学ぼう。
 京都は平安時代から、政治、文化の中心としてあり、近代においても首都東京と対照的な際だった性格をもつ場所として文学の世界でも表象されてきた。現在でも多くの人たちが訪づれる国際的な都市でもある。日本の文化の本質とも深く関わる、こうした〈京都〉という場所は、どのような空間に位置し、いかなる歴史、文化とかがわってきたか。この授業では、京都という地の性格を概観し、それが日本近代文学でいかに表象されてきたかを検討しようとする授業です。文学作品としてとりあげるのは、与謝野晶子「みだれ髪」、吉井勇「祇園歌集」、長田幹彦、夏目漱石「虞美人草」、近松秋江「黒髪」、川端康成「古都」、高浜虚子「俳諧師」、谷崎潤一郎「蓼喰ふ虫」「陰翳礼讃」、三島由紀夫「金閣寺」、大仏次郎「帰郷」など。他に映画、絵画もとりあげたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は京都の歴史的・地理的特色を述べ、京都の町の特徴を概観する。それぞれの場所、事象、行事がいかに古典などに表象されてきたかを簡単に説明し、それを基にして、近代文学と京都、について、各テキストに基づいて考えていく。及んでは、それによって、日本近代の特質、日本文化の諸問題を浮きあがらせていく。

履修上の留意点

各授業に先だち、各テキストを読んでおくことが望ましい。

成績評価の方法

年間に2、3回のレポートの提出。出席を重視して、成績評価に加味する。

教科書

特に指示しない。授業時にコピー、印刷物を配布する。

参考書等

授業時に指示する。京都を表象したテキストに注目しておくように。

その他

講義を中心として進行する。

| | | | | | |
|------|----------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化研究II B | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | こばやし おさむ 小林 治 | | | | |

講義のねらい

戦後における文学の第一声ともされる同人誌『近代文学』に依る本多秋五や荒正人の評論から始めて、野間宏、椎名麟三などの第一次戦後派から、第二次戦後派の安部公房、島尾敏雄を経て、小島信夫、庄野潤三などの第三の新人に至るまでの戦後日本文学の軌跡を、それぞれの作家の作品を読むという形で辿ってみたい。そうすることで、敗戦までの日本近代文学の陥穽に対峙することから、その表現の独自性を確立しようとした戦後日本文学の可能性と限界を探りたい。

同時に受講生において、個々に自分にとって文学を読むこと、もしくは文学として作品を読むという行為がどのような意義を持つのかということであらためて対象化して考える出発点としていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

第二次大戦直後の戦後文学の出発期から第三の新人が出揃った昭和三十年代に至るまでの戦後日本文学の軌跡がいかなるものであったのか、その概論を講義形式でおこなうと同時に、個々の作家の重要な作品については、逐次たちどまって具体的にテキストを用意してじっくりと講読する予定。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大きいなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書

野間宏『暗い絵・顔の中の赤い月』（講談社文芸文庫）
安部公房『飢餓同盟』（新潮文庫）
その他、適宜プリントを配布する。

参考書等

授業時に指示する。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化研究II B | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | 松田 直行 <small>まつだ なおゆき</small> | | | | |

講義のねらい

昨年度の「日本文化研究IB（松田）」で概説した演劇・芸能の中から受講者の興味関心に応じたテーマを選び、受講者が分担して調査研究した内容を発表する演習形式に近い要素も取り入れながら、より深い理解を目指す。ビデオによる作品研究も行うが、必要に応じて実際の演劇や芸能を授業時間以外に見に行くこともある。演技の実技は行わない（日本文化テーマ研究Gで行う）。

講義の内容・授業スケジュール

「日本文化研究IB（松田）」で触れた主なテーマとしては、（1）演劇におけるリアルとは何か （2）鴻上尚史の演劇 （3）浅草オペラとエノケン （4）宝塚とミュージカル （5）漫才と喜劇 （6）大道芸と見世物 などがある。ほかに受講者の希望があれば、できる限り応じたい。

履修上の留意点

基本的には昨年度の「日本文化研究IB（松田）」の受講者を対象としているので、それを受講していない場合はまずIBから履修していただきたい。初回の授業でガイダンスを行い、履修に関する質問等を受けつける。

成績評価の方法

筆記試験は行わない。学年末の定期試験期間中にレポート提出を求めるが、それまでも授業中で随時、発表や小レポートの提出などを求め、出席状況や授業に参加する姿勢も含めて総合的に判定する。

教科書

「演劇におけるリアルとは何か」を考えるためのテキストとして、平田オリザ「演劇入門」講談社現代新書1422、¥735を使用する。

その他

本年度から開設する科目なので、受講者の様子を見ながら、授業の進め方はその都度柔軟に対応するつもりである。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語文化研究I | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選 | | | | |
| 担当者名 | はぎはら よしお 萩原 義雄 | | | | |

講義のねらい

音韻・文字・文法・語彙・敬語・文体・言語生活といった分野を常に据えた形態で、古代から現代までの“ことばの歴史”を現代人の鳥瞰・虫瞰の眼で、しかと見据えていくことを目的としています。そのなかで、現存する紙面日本語資料の実態についてその保管現況の把握が第一義となります。これをどう時代区分しているのかを精確に知りましょう。将来、日本語文化研究としてどのような重要性を有し、どのように発展研究していくのかを各で認識していただきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続き担当責任者説明
日本文化の未来と古代をつなぐ
- 02の講義内容 五十音圖のはなしと音訓について
文字資料(漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字)から日本語学資料へ
- 03の講義内容 「いろはうた」と「あめつちのうた」そして「たゐにのうた」
- 04の講義内容 『伊勢物語』第九段 「東下り」を読む
- 05の講義内容 『野馬臺詩』をめぐる説話譚 — 『吉備大臣入唐絵巻』 — PDF版
- 06の講義内容 「落書」 PDF版
- 07の講義内容 「手紙」失われた文字 PDF版
- 08の講義内容 文字の修得と習学 PDF版 かなについて 貴族階級とことば教育 佛敎界とことば教育
- 09の講義内容 文字の運びと流れ PDF版 カタカナ文献資料について — 『古今和歌集』(旧伏見宮家藏)一二〇六年寫 —
- 10の講義内容 漢字・カタカナの混淆文を読む その1 PDF版 — 『今昔物語集』(京都大学附属図書館藏国宝、鈴鹿本) —
- 11の講義内容 漢字・カタカナの混淆文を読む その2 PDF版 — 鈴鹿本『今昔物語集』から古辞書利用へ —
- 12の講義内容 連綿連続にみる日本語の抑揚階調表現 PDF版 — 徳川本・五島本『源氏物語繪巻』のかな書き「ひ」文字 —
夏季課題提出(後期講義に向けてその方向性と準備を説明)
- 13の講義内容 『作庭記』について PDF版
- 14の講義内容 梅沢本『古本説話集』にみる疊字踊り字「／＼」 PDF版
- 15の講義内容 延慶本『平家物語』について PDF版
- 16の講義内容 鴨長明自筆『方丈記』について PDF版
- 17の講義内容 細川三斎忠興筆『徒然草』について PDF版
- 18の講義内容 『蒙古襲来繪詞』について PDF版
- 19の講義内容 『太平記』について PDF版
- 20の講義内容 中世藝術論〔謡曲・能・狂言〕の言語文化についてPDF版
- 21の講義内容 天草版(キリシタン)資料 PDF版
- 22の講義内容 往来物『庭訓往来』について PDF版
- 23の講義内容 松尾芭蕉『奥の細道』PDF版
- 24の講義内容 『仮名手本忠臣蔵』 PDF版
- 25の講義内容 町人文化とことば 十返舎一九編『東海道中膝栗毛』 PDF版
- 26の講義内容 樋口一葉『たけくらべ』 — 雑誌「文學界」と「文藝俱樂部」所載直筆原稿 —
冬季課題の提出

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れてしまった場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても応対可能とします。

成績評価の方法

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日に提出します。

成績評価の方法

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていただきますのでご承知願います。

教科書

紀田順一郎著『日本の書物』[勉強出版、3000円(税別)]

インターネット公開型テキスト“国語史” [URL <http://www.komazawa.-u.ac.jp/hagi>]

参考書等

今野真二『日本語の歴史』文献から読み解く【鳥瞰虫瞰】(笠間書院) 3,800円(税別)
ISBN4-305-70307-6

その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語文化研究I | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small> | | | | |

講義のねらい

近頃いろいろな場面で若者のコミュニケーション能力に不安があるという声を耳にします。コミュニケーション能力には、相手の話を聞くこと、意見の主張、説明、プレゼンテーションなどの能力が含まれます。コミュニケーション能力は、相手に効果的に働きかけることのできる「表現力」を身につけることで高めることができます。

本講義では、文章技法からプレゼンの実施までを体験しながら方法論を学び、総合的な表現力を身につける手助けをします。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 知っておきたい日本語の知識
- 第2回 知っておきたい敬語の知識
- 第3回 日本語表現の基礎 レッスンことばに変える（声を文字に、絵をことばに）
- 第4回 情報を要約する
- 第5回 情報の探し方
- 第6回 アカデミック・ライティング—正確な表現（何を書くか：マッピングで頭の中を取材）
- 第7回 電子ツールによるマッピングの方法
- 第8回 問いの立て方、根拠に支えられた意見提示
- 第9回 論理力トレーニング—紙上ディベート
- 第10回 小論文の構成（構成ノートにしたがって）
- 第11回 文章を書く技法—パラグラフ・ライティング
- 第12回 推敲のしかた（校正記号）
- 第13回 レポートから論文へ（作成の手順と方法）
- 第14回 電子ツールによるアウトライン作成
- 第15回 論文のスタイル、卒業論文の構成
- 第16回 電子ツールによる推敲、コメント機能、編集作業
- 第17回 テクニカル・ライティング—わかりやすい表現
- 第18回 ライティング技法
- 第19回 マニュアル制作（携帯電話の活用法）
- 第20回 マニュアル制作（携帯電話コミュニケーション術）
- 第21回 スライド作成（1年間を振り返って）
- 第22回 スライド作成
- 第23回 プレゼンテーションの実践（発表会）
- 第24回 プレゼンテーションの実践（発表会）

履修上の留意点

コンピュータを使用します。コンピュータを起動するためにIDが必要です。入学式後のオリエンテーション期間中に行なわれる総合情報センターの説明会に必ず出席して、コンピュータのユーザー登録を行ないIDを取得している人でなければ受講できません。また、第1回目の受講者数が定員を超えている場合は、第2回目の授業時に抽選を行ない、受講者を決定します。

成績評価の方法

出席を重視します。殆ど毎回アクティビティーがあり、それに伴う課題提出があり、それも評価の対象になります。課題提出は、次回の授業時まで、添付ファイルでメールにより提出します。最終プレゼン（発表）の良し悪しも評価され、出席・課題・発表の総合評価です。

教科書

適宜指示します。

参考書等

適宜指示します。

その他

コンピュータに慣れていない人は、総合情報センターのトップページから「e-Learning」に入り、Web上PC講習（学内のみ）にて練習してください。

| | | | | | |
|------|-----------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語文化研究II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴史日外考心政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | 萩原 義雄 | | | | |

講義のねらい

日本語文化研究Iの日本語歴史で取り扱ってきた作品資料には、多くの注釈書類が編纂されてきている。これらの注釈書類に焦点を当ててみることで、作品の有する特徴並びに享受者側の学習教養の度合いを検証していくこととする。例えば、『古今和歌集』には『古今集註』、『伊勢物語』には『和語知頭集』『神風知頭正義集』『伊勢物語性清抄』など、『源氏物語』には『源氏物語抄』『河海抄』など、『枕草子』には『春曙抄』、『徒然草』には『徒然草寿命院抄』といった具合に枚挙なき注釈書が存在している。これらの注釈書類を以て、日本語文化研究において国語資料としての位置づけを探ってみることをめざすものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
古典作品に於ける「古注釈」研究の領域とは
- 02の講義内容 『万葉集』の注釈書『万葉集略解』『万葉代匠記』
- 03の講義内容 『古事記』の注釈書『古事記伝』
- 04の講義内容 『日本書紀』の注釈書『日本書紀抄』
- 05の講義内容 文献資料の蒐集方法とその取り扱い
- 07の講義内容 字書・辞書、そして参考とすべき専門書の利用とその方法
- 08の講義内容 『伊勢物語』の注釈書『和語知頭集』『神風知頭正義集』『伊勢物語性清抄』
- 09の講義内容 『古今和歌集』の注釈書『古今集註』
- 10の講義内容 『枕草子』には『春曙抄』
- 11の講義内容 『源氏物語』の注釈書『源氏物語抄』『河海抄』
- 12の講義内容 文献素材の入手及びデータ入力作業
- 13の講義内容 『和漢朗詠集』の注釈書『和漢朗詠集註』『和漢朗詠集聞書』
- 14の講義内容 『平家物語』の注釈書『平家物語繪抄』
- 15の講義内容 『徒然草』の注釈書『徒然草寿命院抄』
- 16の講義内容 『太平記』の注釈書『太平記賢愚抄』『太平記音義』
- 17の講義内容 『庭訓往來』の注釈書『庭訓往來註』『庭訓往來抄』
- 18の講義内容 難字・異体字の処理及び修飾文字の利用(「今昔文字鏡」等)
- 19の講義内容 図画・図表の処理(データ加工)→機器スキャナーに依る取り込み
- 20の講義内容 注釈書類の引用文献その1 漢詩・漢籍資料
- 21の講義内容 注釈書類の引用文献その2 和歌資料
- 22の講義内容 注釈書類の引用文献その3 和文資料
- 23の講義内容 注釈書類の引用文献その4 記録類資料
- 24の講義内容 注釈書類の引用文献その5 字書・辞書類資料
- 25の講義内容 解読資料の整理記述
- 26の講義内容 資料公開とその注釈語の分析結果報告

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても応対可能とします。

成績評価の方法

月毎に注釈書掲載のことは群から説明語彙を選択し、上記項目を常にふまえた上で、報告書を提出し発表してもらいます。個人が年間分析する上記報告書における私からの質問を受けて、各自それぞれ提出してもらいます。解答の数を最低20としてこの一問一答ずつの提出物を高く評価していきます。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていただきますので承

成績評価の方法

知願います。

教科書

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi> を使用する。

その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語文化研究II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | 湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small> | | | | |

講義のねらい

相手に効果的に働きかけることのできる「表現力」を身につけることでコミュニケーション能力を高めるレッスン第2弾です。日本語文化研究Iとはちょっと視点を変え、表現する自分自身を主題にした文章、ことばの持つ音感やイメージを生かした表現のレッスンを行いません。

自己をくぐった表現は強く、また鮮やかなイメージやエピソードは表現に深さや広がりを生むものです。論理だけでなく、感性や想像力も鍛え、強い表現力を支えます。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 オリエンテーション（自分史、俳句に挑戦する）
- 第2回 自分史のサンプルから学ぶ①
- 第3回 自分史のサンプルから学ぶ②
- 第4回 自分史を作る準備（立案・計画・素材集め・書き方のルール）
- 第5回 ブロック方式の構成
- 第6回 自分史年表＋エピソード方式の構成
- 第7回 本文入力①
- 第8回 本文入力②
- 第9回 本文入力③
- 第10回 レイアウト編集
- 第11回 印刷
- 第12回 まとめ

- 第13回 モノ語りーモノを通して自分を表現する
- 第14回 資料集め①
- 第15回 資料集め②
- 第16回 本文入力①
- 第17回 本文入力②
- 第18回 レイアウト編集
- 第19回 俳句をつくる
- 第20回 題材探し
- 第21回 自由に俳句
- 第22回 レイアウト編集
- 第23回 作品公開①（発表会）
- 第24回 作品公開②（発表会）

履修上の留意点

コンピュータを使用します。コンピュータを起動するためにIDが必要です。入学後のオリエンテーション期間中に行なわれる総合情報センターの説明会に必ず出席して、コンピュータのユーザー登録を行ないIDを取得している人でなければ受講できません。また、第1回目の受講者数が定員を超えている場合は、第2回目の授業時に抽選を行ない、受講者を決定します。

成績評価の方法

出席を重視します。殆ど毎回アクティビティーがあり、それに伴う課題提出があり、それも評価の対象になります。課題提出は、次回の授業時まで、添付ファイルでメールにより提出します。最終プレゼン（発表）の良し悪しも評価され、出席・課題・発表の総合評価です。

教科書

適宜指示します。

参考書等

適宜指示します。

その他

Wordを使って作成していきますので、ある程度の入力レベルを必要とします。無理なく作業できるよう、自習室のパソコンに入っているType Quickの入力練習ソフトでタッチタイピングに励んでください。

| | | | | | |
|------|-----------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 実務表現 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考法A政営1234選 | | | | |
| 担当者名 | 萩原 義雄 | | | | |

講義のねらい

広く日本語の特徴についてを学ぶことで、学習者自身が修得してきた国語全般に渉る教養を再度この講義を通して確認していくことにより、自分が気づいていたこと、気づかないでいたことを含めて、自身の教養をより高めていくことを目標に進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
書く技術 原稿用紙縦書きの意味
- 02の講義内容 出版社はなぜ400字詰め原稿用紙を用いないのか？
- 03の講義内容 800字の文章は、こうして書く。
- 04の講義内容 原稿用紙7枚半(3000字)の文章の書き方
- 05の講義内容 漢和辞典を繙く
- 07の講義内容 国語辞典を繙く
- 08の講義内容 類語辞典を活用してみよう
- 09の講義内容 話題のエピソードを導入部で使おう
- 10の講義内容 人物はどのように描けるか
- 11の講義内容 自然景物をどう活写するか
- 12の講義内容 時代小説家は何に留意して作品を構築しているのか
- 13の講義内容 推理小説は、種明かしの部分をどこにおいているか
- 14の講義内容 「パロディ」な文章を書いてみよう
- 15の講義内容 絵本を書いてみよう
- 16の講義内容 漫画・アニメにみることば表現を使えるか
- 17の講義内容 手書き文字はどのように書けるようになるのか？そのコツ
- 18の講義内容 詩や短歌を用いてことば遊び(回文・逆さことば・しりとり等)を学ぼう
- 19の講義内容 かな文字だけの文章
- 20の講義内容 ローマ字だけの文章
- 21の講義内容 文法は、グラグラだ！どうすりゃいいの？
- 22の講義内容 文章の修辭法を知ろう
- 23の講義内容 音の響きと弾みから学ぶオノマトペアの活用法
- 24の講義内容 生活に根ざした方言で書く文章
- 25の講義内容 句読点はどう用いてきたか
- 26の講義内容 言語生活からみた新聞論評・コラム
- 27の講義内容 愈々、独り立ち！個性ある書き手をめざそう。

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能です。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能です。

成績評価の方法

週毎に上記項目を常にふまえた上で、提出作文を書いてもらいます。個人が年間提出する上記作文は添削を受けながら再度提出を求めていきます。その仕上がり度合いを許に評価を五段階にして提示します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますのでご承知願います。

教科書

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi> を使用する。

そ の 他

情報機器及び文書編集ソフト「一太郎2007」を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 実務表現 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考法A政営A1234選 | | | | |
| 担当者名 | 湯浅 陽子 <small>ゆあき ようこ</small> | | | | |

講義のねらい

社会のあらゆる分野で、情報ネットワークの利活用が基盤となる本格的なネット社会を迎えた今日、インターネットおよびパソコン等の情報機器の活用は、企業はもとより個人の社会生活においても不可欠になっています。

こうしたなか、企業実務においては、パソコンソフト等によるビジネス文書の作成能力や業務データの処理・分析能力、さらには情報機器およびこれに繋がるネットワークの利活用による事務能力や情報収集・発信能力が極めて重要な能力として求められています。

特に、ネット社会のビジネスにおいては、電子メールに代表されるように、これまで以上に文字によるコミュニケーションの機会が増え、ビジネス文書の作成能力が要求されることとなりました。

本講義では、文書作成の実習を通して、世の中の動きに即対応できる文書表現力を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール

前期：日商PC検定試験 3 級（日本商工会議所）「文書作成」対応の講義・実習
ビジネス文書検定試験 3 級（実務検定協会）対応の講義・実習

後期：日商PC検定試験 2 級（日本商工会議所）「文書作成」対応の講義・実習
ビジネス文書検定試験 2 級（実務検定協会）対応の講義・実習

履修上の留意点

コンピュータを使用します。（ビジネス文書検定試験はコンピュータを使用しない試験ですが、「実務技能」分野の練習に敢えてパソコンを使用します。）

コンピュータを起動するためにIDが必要です。入学式後のオリエンテーション期間中に行なわれる総合情報センターの説明会に必ず出席して、コンピュータのユーザー登録を行ないIDを取得している人でなければ受講できません。また、第1回目の授業で定員を超えた場合は、2回目の授業時に抽選を行ない、履修登録許可書を発行します。

成績評価の方法

出席を重視します。毎回講義のあとに練習問題を課します。その課題の提出は翌週までにメールに添付して提出します。評価は出席点・課題提出点・および授業内試験による総合評価です。

教科書

適宜指示します。

参考書等

適宜指示します。

そ の 他

Wordを使って作成していきますので、ある程度の入力レベルを必要とします。無理なく作業できるよう、自習室のパソコンに入っている Type Quick の入力練習ソフトでタッチタイピングに励んでください。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化テーマ研究 A | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考政営A1234選 | | | | |
| 担当者名 | 佐原 作美 <small>さばら さくみ</small> | | | | |

講義のねらい わが国において、古代から口承によって伝えられて来たいわゆる「伝承文学」を読みながら、古代の日本人における精神世界とその有りようを探っていききたい。あわせてわれわれ現代人との関連性の上からも見ていききたい。

講義の内容・授業スケジュール 古くから人々の間によく知られている「国産み神話」や「羽衣伝説」をはじめ、その他の古伝承を『古事記』や『万葉集』や『風土記』の中から選び出し、読解と鑑賞をもとに上記の点について考察していく。

履修上の留意点 素朴な気持と自分の感性を大切にすることを心掛けてほしい。

成績評価の方法 折々の提出物や試験や出席などをもって総合的に評価する。

教科書 プリントの配布をもって行う。

参考書等 必要に応じて紹介する。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化テーマ研究 A | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考政営 A 選 | | | | |
| 担当者名 | 鈴木 裕子 <small>すずき ひろこ</small> | | | | |

講義のねらい ー日本古典文学と〈異界〉……神話や伝説を読むー
古代の文学作品や歴史書、地誌などを取り上げて、古代の人々が〈異界〉をどのように考え、語っているかを解説する。実際に原文に触れて古典を読む楽しさを体験して欲しい。

講義の内容・授業スケジュール どのような人が〈異界〉から訪れ、あるいは〈異界〉への旅をしたか、『古事記』や『日本書紀』、『風土記』などの神話や『万葉集』に歌われている伝説を読み解きながら、古代の人々の死生観について考える。

履修上の留意点 授業は主としてプリント教材を用いての講義形式であるが、頻繁に小作文などの課題を出題する。

成績評価の方法 期末に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）・授業態度（欠席・遅刻をしないことは前提）・課題などから総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書 プリント教材。

参考書等 参考書は、授業中に指示する。

| | | | | | |
|------|----------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化テーマ研究 B | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禪仏国英地文環境歴日外考政営A1234選 | | | | |
| 担当者名 | 佐原 作美 | | | | |

講義のねらい

奈良時代の社会と当時の人々の生活と行動を描いて成る、わが国最初の仏教説話集である『日本霊異記』をもとに、古代社会の底辺に生きた人々は何を求め、何を願っていたか、また、その願いは何に向けられていたかなど、その心のありようを諸仏への信仰を中心とする説話から探っていききたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、作中に見られる観音や弥勒や薬師などの諸仏への信仰のほか、行動としての善悪のありようなどを見せる説話を選んで読んでいく。また、『今昔物語集』など後世の作品との関連性も考えていききたい。

履修上の留意点

文学は味読することが大切なので、何度も繰り返して読んでほしい。

成績評価の方法

折々の提出物や試験や出席などを見て総合的に評価する。

教科書

当面はプリントの配布をもって行う。

参考書等

必要に応じて紹介する。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化テーマ研究 B | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禪仏国英地文環境歴日外考政営 A 選 | | | | |
| 担当者名 | 鈴木 裕子 | | | | |

講義のねらい

— 日本古典文学と〈あづま・みちのく〉……物語や説話を読む—
古代から中世の文学作品を取り上げて、平安京という都市空間を生きた古代の人々における〈あづま・みちのく〉の意味を考える。実際に原文に触れて古典を読む楽しさを体験して欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

『万葉集』におさめられている東国の歌や『伊勢物語』、『大和物語』などの歌物語、『更級日記』、『宇治拾遺物語』などの文学作品の一節を読みながらどのように〈あづま・みちのく〉という地域が古代の人々に把握されてきたかを読み取り、併せて作品に内在する問題について考えてみたい。

履修上の留意点

授業は主としてプリント教材を用いての講義形式であるが、頻繁に小作文などの課題を出題する。

成績評価の方法

期末に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）・授業態度（欠席・遅刻をしないことは前提）・課題などから総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書

プリント教材。

参考書等

参考書は、授業中に指示する。

| | | | | | |
|------|----------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化テーマ研究C | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考政営A1234選 | | | | |
| 担当者名 | さかぐち ひろき 坂口 博規 | | | | |

講義のねらい 日本文化の一つとして、昔話・民譚と称される伝承がある。本年度はその伝承の中でも「異類怪婚譚」の諸相について考える。異類とは人間と類を異にする鳥獣・魚虫・植物のことで、この異類が人間の男や女に変身して人間と結婚するという伝承であり、特に異類房譚を考察する。

講義の内容・授業スケジュール 異類女房譚は、その異類の郷土を基礎として大きく三つの系統があり、A「空」を郷土とする羽衣伝説の例、B「海」を郷土とする浦島伝説の例、C「陸地（森林・山野）」を郷土とする狐女房伝説の例などである。半期科目なので、今年度は羽衣伝説を中心に考察する。まず異類怪婚譚について解説（1）、次いで日本の古代の伝承から講じてゆく（2～6）。平安時代成立の『竹取物語』も羽衣伝説の系譜に立つ物語であり、また「鶴の恩返し」で有名な鶴女房の例もA系統に属する伝承であり、これらについても考察する（7～11）。更にB・Cの系統についても言及したい（12・13）。

履修上の留意点 異類怪婚譚は室町時代物語草子（御伽草子）の中に多く登場し、その考察は「テーマ研究II I・日本文化テーマ研究D」で行うので、併せて履修して下さい。なお本時の内容は、平成18年度「日本文化基礎」で行ったものであり、昨年「日本文化基礎」を履修した受講生も「日本文化テーマ研究D」を履修していただくと幸いです。

成績評価の方法 授業の最終日に提出してもらったレポートの成績に、出席状況を加味して評価する。

教科書 授業において適宜プリント教材を配布する。

参考書等 授業において適宜紹介する。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化テーマ研究C | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考政営A選 | | | | |
| 担当者名 | そのべ みきお 園部 幹生 | | | | |

講義のねらい 日本文化における事項のうちから、「失われた文化」をテーマとする。日本文学の中で現存しない作品は多いが、そのうち、説話文学史上に多大の影響を与えた（散佚）『宇治大納言物語』をとりあげる。諸書に紹介される記事や引用されて残る佚文を読み、その実態を探る試みを通して、失われた文化の持っていた意味や役割を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール 1 ガイダンス。2 作品の文学史的意義。3～6 他文献の記事。7～10 他文献の受容。11 実態と散佚に関する推定。12 教場試験。13 まとめ。

履修上の留意点 毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見書の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法 出席点20点、毎時間の意見文30点、教場試験50点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。なお、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。

教科書 プリントを配布する。

参考書等 必要があればそのつど紹介する。

| | | | | | |
|------|----------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化テーマ研究D | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考政営A1234選 | | | | |
| 担当者名 | さかぐち ひろき 坂口 博規 | | | | |

講義のねらい 室町時代物語草子（御伽草子）群には「異類怪婚物語（人間と人間以外の鳥獣・魚虫・植物等の変身した者との不思議な結婚の物語）」が多く存在する。それらの作品を取り上げ考察すると共に、受講生にはそうした作品から希望する作品を各自選んでもらい、研究レポートを作成してもらう。

講義の内容・授業スケジュール 室町時代物語草子のうち、江戸時代に23篇の作品が「御伽草子」と題して出版された。その中から異類怪婚物語を取り上げて解説する。まず古典文学における物語史を講じて室町時代物語草子の文学的意義を考察（1～5）、更に23篇の中より異類怪婚物語として『浦島太郎』（6～8）・『本幡狐』（9・10）を取り上げて読解する。折々にレポート作成の指導をするが、最後に「御伽草子」23篇以外の『雁の草子』を例に作品研究の実際を学んでもらう（11～13）。

履修上の留意点 「異類怪婚物語」については、「羽衣伝説」を中心に「テーマ研究III・日本文化テーマ研究C」で講義し、室町時代物語草子の作品例として『鶴の草子』を解説するので、こちらも受講してくれると幸いである。

成績評価の方法 授業の最終日に提出してもらうレポートは原稿用紙10～20枚程度（400字詰）を考えている。その成績に、出席状況を加味して評価する。

教科書 授業時にプリント教材を配布する。

参考書等 授業時に、レポート作成のための文献等の紹介をする。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化テーマ研究D | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考政営A選 | | | | |
| 担当者名 | そのへ みさお 蘭部 幹生 | | | | |

講義のねらい 日本文化における事項のうちから、「歌徳説話」をテーマとする。「徳」は「得」を意味し、「歌徳説話」とは歌を詠むことによって得をした話であるが、そのような話がどのようにして形成されていったのか、精神的背景にどのようなことがあるのかを顕かにしたい。

講義の内容・授業スケジュール 1 歌徳説話の意味。2 典型的な歌徳説話について。3～5 歌徳説話の形成。6～7 歌徳説話の精神的背景。8～11 亜流の歌徳説話。12 教場試験。13 まとめ。

履修上の留意点 毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法 出席点20点、毎時間の意見文30点、教場試験50点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。なお、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。

教科書 プリントを配布する。

参考書等 必要があればそのつど紹介する。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化テーマ研究 E | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考政営A1234選 | | | | |
| 担当者名 | 石割 透 <small>いしわり とおる</small> | | | | |

講義のねらい

スポーツと文化・権力—例えば<ボクシング>を例として。
 スポーツは現在多くの人に、実際にプレーしたり、見ることを通して親しまれている。しかし、時代を超越して存在しているようなスポーツにも、権力や文化と深く介在し、時代状況と深く関係している。この授業ではスポーツを、文学・映画・テレビ映像がいかに表象されてきたかを検討し、そうした問題を考えていこうと思います。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、昭和三十年代に日本でブームともなったボクシングは、それまでいかに表象され、時代・権力と関わってきたかを考えていきます。昭和三十年に<太陽族>という流行語を生み出した石原慎太郎「太陽の季節」から、三島由紀夫、大江健三郎らの文学作品、日活アクション映画、60年安保条約からベトナム戦争に関わるテレビ・ニュース映像、などから高森・ちばの「あしたのジョー」までを実際のボクシングの試合も絡めて、検討していきます。

履修上の留意点

スポーツを愉しんだり、見たりする際にも、そのスポーツの歩くできた歴史を一応考えてのぞむ。授業時に扱う作品などを、読んだり見たりして授業にのぞむこと。

成績評価の方法

スポーツが芸術作品にいかにかに表象され、それがいかなる意味をもっているのか、などについて、レポートを提出すること。出席状況を重視して、成績評価に加味する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義形式で授業を進行させる。プリントなど、必要に応じて配布する。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化テーマ研究 E | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考政営 A 選 | | | | |
| 担当者名 | こばやし おさむ 小林 治 | | | | |

講義のねらい

宮澤賢治の生前未発表童話を読む。賢治が書いた散文作品は、童話としては難解すぎ、またその法華経文学としての宗教性からも、児童文学としては適当ではないのではないかなど様々な議論がこれまであった。しかし賢治童話は、たとえ難解ではあったとしても、「純真な心意の所有者たち」（『注文の多い料理店』広告文）へ与えられるべき「すきとほつたほんたうのたべもの」（『注文の多い料理店』序）であることを願って書かれていることに異を唱える者はいだろう。「卑怯な成人たちに畢竟不可解な」（『注文の多い料理店』広告文）「純真な心意」とは何かを賢治作品の読解を通じて考え、そのような物語を求める賢治の精神のありようについて考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には上記のテーマ等の考察を、『なめとこ山の熊』、『セロ弾きのゴーシュ』などの短編や、『ポラーノの広場』、『風の又三郎』など比較的長い生前未発表作品の初期形から最終形までの生成の過程の中にみていく予定。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大いなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書

宮澤賢治『宮澤賢治全集第7巻』（ちくま文庫）
その他、適宜プリントも配布する。

参考書等

授業時に指示する。

| | | | | | |
|------|----------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化テーマ研究 F | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考政営A1234選 | | | | |
| 担当者名 | いしわり とおる 石割 透 | | | | |

講義のねらい

日本近代美術に描かれてきた女性
 絵画の世界では、江戸時代においては、女性は美人画の分野でもっぱら扱われてきたようであるが、近代の西洋画の流入に伴ない、さまざまな女性の姿が描かれるようになった。その意味を時代の流れに即して検討していく。

講義の内容・
授業スケジュール

近代に至り写真にも刺激されて出現する肖像画、裸体画、農婦など働く婦人、家庭における婦人など、生活の中での女性が描かれていく。その画題の移り行きを、文学作品などを絡めあわせ、その意味を検討していきたい。それは、社会における女性の地位と関わることになると思う。

履修上の留意点

美術館の展示会に足を運んだり、美術の書物によって、明治期・大正期の絵画に注目しておくこと。

成績評価の方法

1、2回のレポート提出による。出席状況を重視する。

教科書

特に定めない。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義形式で進める。プリントを必要に応じて配布する。

| | | | | | |
|------|---------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化テーマ研究 F | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英歴日外考政営 A 選 | | | | |
| 担当者名 | <small>こばやし おさむ</small> 小林 治 | | | | |

講義のねらい

異貌の作家・深沢七郎の小説を精読する。深沢は、昭和三十一年（1956年）、四十二歳で総合誌「中央公論」に創設されたばかりの「中央公論新人賞」に応募し、第一回の入賞者となって作家デビューを果たしている。それ以前は、戦前からギターのリサイタルを継続的に開いたり、旅まわりのバンドにいたり、日劇ミュージックホールにスカウトされて出演したりなど一風変わった風来坊的な生活を送っていた。このような書齋で思考する知識人作家的なタイプとは無縁の、文学同人やサークルからも孤立したその来歴からもうかがえるように、その作品においては、およそ日本の近代文学の正統からはずれて、ヒューマンイズムの規範による人間中心主義的な価値観を徹底して排除したすこぶる実存的な土着の庶民的世界が展開している。既成の価値観をあぎ笑うかの如きその突出したアンチヒューマンイズムぶりをその作品世界において、検証してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には上記の深沢の作家としての特質を、『楳山節考』、『笛吹川』『甲州子守歌』などの代表的作品の読解によって明らかにしていきたい。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大いなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書

深沢七郎『楳山節考』（新潮文庫）
 その他、適宜プリントも配布する。

参考書等

授業時に指示する。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|------|----|---|
| 科目名 | 日本文化テーマ研究G | 開講 | 夏季集中 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考政営A1234選 | | | | |
| 担当者名 | 松田 <small>まつだ なおゆき</small> 直行 | | | | |

講義のねらい

「演劇ワークショップ」の実技体験を行う夏季集中授業。これは即興演技の訓練法から生まれたもので、コミュニケーションに関する様々な要素（表情と体の動き、話し方、感情表現、グループの人間関係など）を体験的に学ぶとともに、状況に応じて臨機応変に対処する「インプロ」の技術を身につけることを目的とする。台本を使って演技をする演劇の訓練とは異なり、誰にでも簡単にできる「シアターゲーム」と呼ばれる体を動かすゲームをグループごとに繰り返しながら、最終的には台本も打合わせもなしでストーリーを生み出すことを目指す。人間関係を学ぶとともに、本番に実力を発揮する能力を身につけるものとして、企業の社員研修などでも取り入れられているものである。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 基本講義：ワークショップとは何か？ (2) 講義：心と体はつながっている
(3) 実技：シアターゲーム (4) 実技：インプロの練習 (5) 実技：インプロのグループ発表 (6) まとめとレポート試験

履修上の留意点

集中授業なので基本的に4日間全ての出席を必要とする。軽い運動をすることができる動きやすい服装（靴はスニーカーなど）で出席すること。演劇の実習ではないので、演技の経験はまったく必要としない。むしろ人前で自分を表現することが苦手な方にこそ受講していただきたい。ただしグループでの練習に積極的に参加する協力的な姿勢は必要となる。

成績評価の方法

授業への参加状況、「インプロ」のグループ発表の結果、および最終日に教場で書いていただくレポート試験の結果を総合して算出する。

教科書

指定しない。

参考書等

絹川友梨『インプロゲームー身体表現の即興ワークショップ』、晩成書房、3,150円。池上奈生美・秋山桃里『インプロであなかも「本番に強い人」になれる』、フォレスト出版、1,365円。

その他

授業日程：7月31日の2～4限と、8月1日～8月3日の2～5限。合計4日間の15時限授業。予備日は8月6日の2～5限。

| | | | | | |
|------|----------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本文化テーマ研究H | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴史外考政営A1234選 | | | | |
| 担当者名 | まつだ なおゆき 松田 直行 | | | | |

講義のねらい

講義タイトルは「映画の近代史」。19世紀末の発明である映画は、20世紀を「映像の世紀」と言わしめるほど近代という時代と深くかかわってきた。いま、映画というメディアが近代において果たした役割を歴史的に振り返り、映画とはどのような表現なのかをあらためて考える。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 映画とは何か (2) 映画の技術と歴史 (3) 映画の文法 (4) 映画の記号論
(5) 日本のモダニズム映画 (6) シナリオの構造

履修上の留意点

実際に映像作品を授業で見ていただくことになるので、欠席すると内容がわからなくなる。上映予定の作品は、マック・セネットの無声映画、「戦艦ポチョムキン」、「市民ケーン」、「マダムと女房」、「カルメン故郷に帰る」、「東京物語」など。現代のいわゆる娯楽映画作品とは異なるので、その点は承知しておくように。

成績評価の方法

授業で随時小レポートの提出を求めるほか、授業期間中に教科書持込可の筆記試験を行って成績を評価する。試験の日時は授業で伝達する。定期試験期間中ではないので注意すること。

教科書

ジェイムズ・モナコ『映画の教科書—どのように映画を読むか』、フィルムアート社、3,675円。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 社会学【3〔現代文化を考える〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A政選 法B選 | | | | |
| 担当者名 | おびんさん 呉 炳三 | | | | |

講義のねらい

社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期)社会学の基礎概念：
はじめに—社会学とは—(1)
I 行為論：(2)社会学における行為、(3)行為者としての個人、(4)社会化と人間形成、(5)日本の行為論
II 集団論：(6)集団の概念、(7)官僚制理論、(8)小集団論、(9)集団の類型、(10)日本的集団論
- (後期)現代社会の特徴的な諸相：
(11)家族、(12)恋愛、(13)結婚、(14)若者・IT文化、(15)少年犯罪、(16)自殺、(17)ジェンダー、(18)少子・高齢、(19)アダルトチルドレン、摂食障害、(20)就職、転職、リストラ、(21)フリーター、ニート、引きこもり、(22)性同一性障害など

以上、講義の予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

履修上の留意点

本講義は、教員の一方向的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業中は指定の教科書や辞書を必ず持参すること、宿題を出すので、宿題をきちんと提出することの出来る学生が受講することを勧める。

成績評価の方法

出席状況と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

| | | | | | |
|------|-------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 統計学【2〔社会現象の統計的決定〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政選 法B選 | | | | |
| 担当者名 | 新行内 康慈 | | | | |

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 統計学の概要 (2) 度数分布表とヒストグラム (3) 基本統計量
 (4) 確率の定義 (5) 場合の数 (6) 和事象・積事象の確率
 (7) 演習 (8) 確率変数と確率分布 (9) 平均・分散と期待値
 (10) 確率変数の標準化 (11) 正規分布表 (12) 演習 (13) まとめ
 (後期) (14) 母集団と標本 (15) 点推定と区間推定 (16) 母平均・母分散の推定
 (17) 仮説検定 (18) 母平均・母分散の検定 (19) 母平均の差の推定・検定
 (20) 母比率の推定・検定 (21) その他の推定・検定 (22) 演習
 (23) 散布図と相関係数 (24) 回帰分析 (25) 回帰分析の応用 (26) まとめ

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

3回の演習と期末試験を総合的に評価します。

教科書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等

石村貞夫『すぐわかる統計解析』東京図書
 前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』日本実業出版
 永田靖『入門 統計解析法』日科技連出版
 東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』東京大学出版

その他

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。

| | | | | | |
|------|-----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 文化人類学【1〔文化と人間〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A政選 法B選 | | | | |
| 担当者名 | もり まさふみ 森 雅文 | | | | |

講義のねらい

文化人類学は、諸社会の比較を通して文化の多様性を解説する学問として誕生しました。その醍醐味は、秘境の冒険や文化類型の目録づくりではなく、さまざまな人間性の表現への理解を探り、そのまなざしを自己を含めた身のまわりの事象にも向ける知的実践です。文化が創り出す『他者』と『自己』のリアリティを把握する基礎的な枠組みの理解と洞察力の養成を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

異文化理解を通じて構築された人類学的枠組みを、民族誌的な事例とともに解説します。前期は人々の結びつき・社会の連帯に関わる議論を、後期は人間の存在様式と世界観の関わりを焦点にした議論を中心に講述する予定です。以下の内容を予定していますが、詳細は各学期の初回到提示します。

<前期> 学問潮流の概観（「文化」概念の成立、通時的視座と共時的視座の変遷）、人の一生と社会化（人生段階、通過儀礼、ジェンダー）、贈与と交換（互酬性と連帯）、家族と親族（親子、婚姻、出自と祖先祭祀）、エスニシティと共同性（人種、近代の民族と国家、アイデンティティ・ポリティクス）

<後期> 呪術宗教の諸理論（境界と穢れ、妖術と邪術、シャーマニズムと王権、儀礼と神話・行為と物語）、人間の存在様式（憑依と病い、個人主義、医療文化、国民国家と健康）、「文化」概念の現在（土着・越境・混濁、翻訳的理解）

履修上の留意点

初回ガイダンス時に履修上の注意事項を伝達するので、必ず出席してください。また受講者のコメントや意見を講義に還元したいので、積極的な参加を期待します。

成績評価の方法

前期後期の学期末筆記試験の成績が基本です。授業時の質疑応答やコメントペーパー等の内容は平常点とします。平常点は最大10%までの加味点とします。

教科書

特定の教科書は指定しません。

参考書等

一般的な入門書・概説書はガイダンス時に紹介します。各回の内容に関する専門書は、授業時の配布プリント等で適宜紹介します。

その他

授業は講義形式で、ビデオ等の視聴覚教材も使用します。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 文化人類学【2〔文化と人間〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A政選 法B選 | | | | |
| 担当者名 | かとう ゆきはる 加藤 之晴 | | | | |

講義のねらい

文化人類学は、人びとが集い、生活をしていくなかで生まれる様々な生活慣習・思考・言語などに注目する。そしてフィールドワークと呼ばれる経験的な調査法から得られたデータに基づいて「人びとはどうしてこのような行動をとるのか、考え方をするのか？」といった問いを立て、その答えを探し求めていくおこないを通して、人間存在についての理解を深めることを目指す。

本講義では、はじめに文化人類学の基本的な立場・目的・方法・歴史について概略的に解説をおこなう。つぎに世界・家族・身体・宗教・病いなどのキ・ワードを挙げ、文化人類学ではそれらをどのように捉えるのか、それによって何が見えてくるのか、世界各地の具体的な事例をもとに学んでゆく。

成績評価の方法

基本的には年度末の筆記試験で評価するが、出席点や課題レポートなどを評価の際の補足材料とする。

教科書

特定の教科書は用いない。毎回講義のトピックを記したプリント（レジュメ）を配布し、これに基づいて授業を進行する。

参考書等

授業時に必要に応じて紹介する。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 法学・憲法【11〔法と権利〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 社福心政選 | | | | |
| 担当者名 | しげの たかはる 茂野 隆晴 | | | | |

講義のねらい

年間の授業は、前期においては、「法」というものが、いかなるものであり、いかなる特徴をもつものであるかを、教科書に掲載の事例・判例などの資料を用いて成るべく平易な説明をなすことによって進めていきたい。進むにつれて、法を学ぶ面白さが感じられるようになればと思う。

後期においては、主に憲法典の条文に則して、その基礎的な知識を学んでいけるように、やはり平易な授業ということに留意して進める。その際、日に生起する具体的事件などを取り上げるなどによっても憲法が身近に感じられるようにつとめたい。

さらには、現代社会のなかに未だ色濃く残存する封建法意識であるが、そうした観点から、かつての「家」制度についても触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期

4・5月

- 法とは何か
- 法の種類
- 法源
- 法の生成（日本法の歴史）
- 法と裁判の基礎知識
- 国家の基礎知識

6・7月

- 民法と商法の考え方
- 裁判法、刑法、社会法の考え方

後期

9・10月

- 憲法とその原理について
- 基本的人権の保障

11・12月

- 統治機構について
- 年間のまとめと「家」制度について

履修上の留意点

資料ならびに条文に則して行うことの多い授業ですので、テキスト、六法は毎時間必ず持参のこと。また、授業時の私語は厳禁ゆえ、守れない者には、直接、指摘することになろう。

成績評価の方法

年間1度の定期試験の評点に出席点を加味し評価する。

教科書

山口嘉三、大久保治男編『法学要説』（芦書房刊）2,800円

参考書等

小型の六法、そのほかは、ばあいにより参考資料を配布する。

その他

授業の方法は講義です。

| | | | | | |
|------|---------------------------------|----|------|----|---|
| 科目名 | 法学・憲法【12〔法と権利〕】 | 開講 | 夏季集中 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現政営A放選 経B営B選 | | | | |
| 担当者名 | 池田 実 <small>いけだ みのる</small> | | | | |

講義のねらい

家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかを考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるどのような原理・精神に結びついているかを明らかにします。
政治の法である憲法にかかわる問題には、“唯一絶対の正解”というものがほとんどありません。すっきり明瞭で断定的な解答を求めるのではなく、現代国家の病理やその複雑さに悩みながら、政治生活のあるべき姿をじっくり考えるきっかけにいただければ、と思います。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 授業案内・導入 (2) 法とは何か(その1) (3) 法とは何か(その2)
 (4) 法とは何か(その3) (5) 法とは何か(その4) (6) 憲法の基本概念
 (7) 日本国憲法の沿革 (8) 国会(その1) (9) 国会(その2) (10) 選挙・政党
 (11) 内閣(その1) (12) 内閣(その2) (13) 天皇 (14) 地方自治 (15) 財政
 (16) 戦争の放棄(その1) (17) 戦争の放棄(その2) (18) 人権総論(その1)
 (19) 人権総論(その2) (20) 精神的自由権(その1) (21) 精神的自由権(その2)
 (22) 経済的自由権 (23) 身体的自由権 (24) 受益権 (25) 社会権(その1)
 (26) 社会権(その2) (27) 包括的人権 (28) 裁判所(その1) (29) 裁判所(その2)
 (30) 憲法改正

成績評価の方法

出席および授業時間内に提出するレポート類により総合的に評価します。

教科書

野畑健太郎・池田実編著『テキストブック日本国憲法』(嵯峨野書院) 2,700円+税
ISBN 4-7823-0424-2

その他

授業日程：7月31日～8月3日・6日・7日、1～5時限

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 政治学【1〔社会生活とデモクラシー〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 国英地文環境法A選 法B選 | | | | |
| 担当者名 | 白鳥 浩 <small>しらどり ひろし</small> | | | | |

講義のねらい

「政治」とは何でしょうか。この講義においては、「政治」とは、「未来の選択である」とする視座に立ち、政治学の全体像を学んでもらいます。これは、しばしば「可能性のアート」であるといわれるゆえんでもあります。そうした「未来の選択」、「可能性のアート」を扱う学問である「政治学」とは何か、どのように発展してきたのかを、皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の内容を初めてのひとにもわかるように講義します。

- (1) 序論 政治学の基礎概念
- (2) 古代の政治理論
- (3) 中世の政治理論
- (4) 近代政治理論の形成
- (5) 近代批判の政治理論
- (6) 現代の政治理論
- (7) 国際政治の理論
- (8) 現代の政治過程理論
- (9) ワールド・ポリティカル・サイエンスの形成
- (10) 現代日本の政治分析

履修上の留意点

関心を持って、講義に出席してください。

教科書

白鳥『都市対地方の政治学：日本政治の構造変動』（芦書房）2004年

参考書等

眞柄・井戸『比較政治学』（放送大学教育振興会）2004年
藤原『西洋政治理論史』（早瀬田大学出版部）1985年
授業内で適宜、指示します。

| | | | | | |
|------|---------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 経済学【3〔現代経済理解へのガイド〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A政選 法B選 | | | | |
| 担当者名 | さとう あやの 佐藤 綾野 | | | | |

講義のねらい

本講義の目的は、経済学を初めて履修する学生に経済学の基礎を平易に解説するものです。また本講義終了後には、学生自らが現実の経済現象を「経済学的」に解釈する力を身につけることを狙いとしています。

講義の内容・授業スケジュール

経済学は、一般的にミクロ経済学とマクロ経済学の2つの分野に分けられます。本講義では、この2つの分野をバランスよく、また現実の経済現象あるいは経済政策と絡めながら講義を進める予定です。具体的には、前期はマクロ経済学に関するテーマとしてGDP（国内総生産）、国民所得決定、有効需要と乗数メカニズム、貨幣の機能について取り上げます。また後期は、ミクロ経済学に関するテーマ、需要と供給、需要曲線と消費者行動、費用構造と供給行動、市場取引と資源配分について講義します。

履修上の留意点

積極的に講義に参加してください。また極力私語は慎んでください。

成績評価の方法

前期：レポート（レポート課題は前期講義終了時まで指示します）
後期：筆記テスト

教科書

伊藤元重著『入門 経済学 第2版』（日本評論社）、3000円、ISBN4-535-55244-4

参考書等

適宜指定します。

その他

連絡先 ayano.sato@econ.nsu.ac.jp

| | | | | | |
|------|-----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 社会科学論【(社会認識の思想)】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選 経B法B営B選 | | | | |
| 担当者名 | おおいし 雄爾 大石 雄爾 | | | | |

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はようやく「複合不況」とよばれる経済スランプから抜け出しつつあります。しかし、アフリカや一部のアジア諸国の人々は貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も安定的とはいえません。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようとしているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点を当て、社会的諸関係を把握する方法について講義します。特に、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および理論をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホブズとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的諸問題について、折に触れてとり上げ解説するつもりです。

履修上の留意点

1年間講義に出席し理解しようと努めることによって、皆さんの思考力、書写能力は高まります。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成していただくことがあります。成績は、小レポートと後期に行なわれる定期試験で評価します。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
大石雄爾『ヘーゲル論理学の真相』（白桃書房）

| | | | | | |
|------|---------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 教育学【(デス・エデュケーション)】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 柳堀 素雅子 <small>やなぎほり すがこ</small> | | | | |

講義のねらい

デス・エデュケーションの始まりはベトナム戦争当時のアメリカにある。デス・エデュケーションの1つの流れは戦争で傷ついたベトナム帰還兵の心をどのように癒すかにあった。これは現在のトラウマの問題とその治療につながっていく。デス・エデュケーションのもう1つの流れは、治らない病気、すなわち死にゆく患者との対話の中から生まれた。キューブラー・ロスを中心に、精神科医や宗教者が死にゆく患者との対話を重ねた中から新しい視点が注目されるようになった。死を考えることはやがて死後の世界まで考えることになり、昨今は一種のブームになっているようである。デス・エデュケーションの1の流れと2の流れの両方を取り扱う予定である。アメリカでの取り組みを中心に説明していくが、欧米の文化や思想も合わせて解説していく。幅広い知識と視野をもっていないと、講義の内容はあらゆる方向に拡大していくので理解していくのに労力を要することになるだろう。デス・エデュケーションの欧米での取り組みを紹介すると同時に、日本でのデス・エデュケーションの状況も紹介する。戦争の問題と医療の問題の両方の内容にまたがっているので、両方に興味がある人が履修することが望ましいだろう。

講義の内容・授業スケジュール

- ①デス・エデュケーションの1の流れ②デス・エデュケーションの2の流れ
①と②の内容の概略を説明して具体的な内容に入っていく。

履修上の留意点

授業中に絶対に私語をしないようにすること。基本的に遅刻は認めない。出席は毎回とる。授業中に入入りしたり、飲食したりしないこと。

成績評価の方法

レポート提出(内容に点数をつける)。出席回数。その他総合的な視点から評価する

教科書

なし

参考書等

授業中に紹介する

その他

講義に必要な資料はコピーして配布する。

| | | | | | |
|------|----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 教育心理【大学生の心理－教育臨床心理学の立場から－】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | いしばし たつや 石橋 達也 | | | | |

講義のねらい

本授業では今日の社会的状況における、大学生を中心とした青年期の心の在り方の特徴や問題点およびその課題について、教育心理学や教育臨床の立場から探っていきます。前期の授業では、生涯発達の観点から青年期の位置づけやその発達課題について学び、現代社会における青年期の延長の様子やアイデンティティの問題などを概観します。続いて後期の授業では、青年期の様々な心の問題について具体的に提起し、今日の社会における青年期の問題の特徴やその社会的な背景要因などについて検討していきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 主として、以下に示すテーマに沿って進めていく予定です。
- ・人の生涯と発達区分
 - ・青年期とその発達課題
 - ・アイデンティティとモラトリアム
 - ・現代社会と青年期の延長
 - ・青年期の心の問題とその要因
 - ・大学生の学業と学生生活
 - ・大学生の就職と将来設計
 - ・大学生の人間関係と恋愛など。

履修上の留意点

履修する学生には、授業に毎回まじめに出席して意欲的に取り組むことを期待します。

成績評価の方法

成績の評価は期末試験の得点を中心にして、毎回の授業への出席状況や受講態度などの平常点を加味して行ないます。

教科書

使用する教科書については、初回の授業の中で伝える予定です。

参考書等

授業中に必要に応じて、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していきます。

その他

受講学生には「学ぶ意欲」をしっかりとって、積極的に取り組むことを望みます。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 生物学【2〔生態と進化〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 社福心法A政選 法B選 | | | | |
| 担当者名 | 清水 善和 <small>しみず よしかず</small> | | | | |

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を背負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この多様、複雑な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の「進化」、「多様性」、「遺伝子」を3つのキーワードにして、生物の進化や生態の実際を体系的に紹介するとともに、進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
 - 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンブリアの爆発
 - (4) 生物の上陸 (5) 大量絶滅
 - 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計
 - (5) 動物と植物の系統
 - 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比
 - (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
 - 第5章 生物の人口論－産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K淘汰 (3) 食う・食われる関係
 - (4) 生命表
 - 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
 - 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化)
 - (4) 人体の特徴
 - 第8章 進化論－進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論と宗教
 - 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸
 - (4) 生産諸量
 - 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環
 - (5) 地球環境の形成
 - 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
 - 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯
 - (4) 多様性の危機
 - 第13章 人為と生物－生物界のグローバルゼーション
 - (1) 里山の生物 (2) 都市化と生物 (3) 帰化種の侵入

成績評価の方法 前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書 講義内容を記述した「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。受講者は清水のHPより自由にダウンロードして利用できる。

参考書等 「web版教科書」にて章ごとに紹介する。

その他 講義に必要な図表は章ごとに1枚のプリントにして配布する。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 地球科学【5〔自然景観の成り立ち〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A政選 法B選 | | | | |
| 担当者名 | いちかわ きよし 市川 清士 | | | | |

講義のねらい

地球が誕生して46億年といわれています。この間、地球はたえず表情を変化させつづけてきました。では、私たちの生活している周辺の自然景観、たとえば山や川、平野や海洋などはいつどのようにしてできたのでしょうか？ 本講義では、この問いに答えるために地形、気候、水文などの地球表面の現象を対象として、その成り立ちについて探っていきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、大陸の成り立ちや造山運動（プレートテクトニクス）、地震、氷河期（気候変動）などの大きなスケールの変動について探っていきます。
後期では、前期の内容をふまえて、南関東を中心とした「身近な自然景観」の成り立ちについてより具体的に探っていきたいと思います。

履修上の留意点

高校で使用した地図帳を用意すること（できれば最新のものが望ましい）。

成績評価の方法

授業への積極性・レポート・学年末の試験を総合して評価を行います。

教科書

『地球学入門 ―惑星地球と大気・海洋のシステム―』（東海大学出版会）2,940円

参考書等

参考書はその都度紹介します。

その他

一般的な講義を主とし、スライド・OHP・ビデオによる説明を入れて皆さんが興味を持てるような講義を行おうと考えています。
また、駒沢公園など近くに行き実際に野外観察もする予定です。

| | | | | | |
|------|---------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 自然環境論【8〔生物の集団と環境〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 法A政選 法B選 | | | | |
| 担当者名 | 坂巻 ^{さかまき} 義章 ^{よしあき} | | | | |

講義のねらい

地球環境の変化は現代の重要な問題の1つである。これは、個人の専門や興味に関係なく我々に降りかかってくる。この状況の中で人間を含めた自然、それを取り巻く環境について正しい理解をもつことは必要不可欠である。この講義では生物の生活と環境の関係を理解する事を基本とし、生態系の成り立ちやその中で起こる調節、人間による攪乱などについて取り上げる。これらの知識を基礎にこれからの環境変化についてどう対処するかを考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1,2)地球 (3) 環境とは何か (4) 生物とは何か (5,6)生物の歴史と環境 (7,8)生物の進化 (9,10)生物の分布 (11,12)環境への適応 (13)前期のまとめと試験
後期 (14,15)食物連鎖とエネルギー流 (16)生態ピラミッド (17)個体群 (18)出生と死亡 (19)競争と住み分け (20)捕食 (21)共生と寄生 (22)土壌と分解者 (23)物質循環 (24)里山の生態系 (25)人口問題と環境問題 (26)まとめと試験

履修上の留意点

スケジュールは基本である。開始後に理解度によって進度を調整したり、新たな内容についても触れるなどの変更はありうる。大学生として授業に参加する基本的なマナーは守って欲しい。

成績評価の方法

出席点と筆記試験で行う。途中で課題を出すこともあるので、その場合はこれも加える。

教科書

指定しない

参考書等

指定しない。必要な場合にプリントを配布することがある。

その他

講義形式の授業とする。

| | | | | | |
|------|---------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 自然環境論【10〔生物の集団と環境〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A政選 法B選 | | | | |
| 担当者名 | 坂巻 ^{さかまき} 義章 ^{よしあき} | | | | |

講義のねらい

地球環境の変化は現代の重要な問題の1つである。これは、個人の専門や興味に関係なく我々に降りかかってくる。この状況の中で人間を含めた自然、それを取り巻く環境について正しい理解をもつことは必要不可欠である。この講義では生物の生活と環境の関係を理解する事を基本とし、生態系の成り立ちやその中で起こる調節、人間による撓乱などについて取り上げる。これらの知識を基礎にこれからの環境変化についてどう対処するかを考えたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期 (1,2)地球 (3) 環境とは何か (4) 生物とは何か (5,6)生物の歴史と環境 (7,8)生物の進化 (9,10)生物の分布 (11,12)環境への適応 (13)前期のまとめと試験
後期 (14,15)食物連鎖とエネルギー流 (16)生態ピラミッド (17)個体群 (18)出生と死亡 (19)競争と住み分け (20)捕食 (21)共生と寄生 (22)土壌と分解者 (23)物質循環 (24)里山の生態系 (25)人口問題と環境問題 (26)まとめと試験

履修上の留意点

スケジュールは基本である。開始後に理解度によって進度を調整したり、新たな内容についても触れるなどの変更はありうる。大学生として授業に参加する基本的なマナーは守って欲しい。

成績評価の方法

出席点と筆記試験で行う。途中で課題を出すこともあるので、その場合はこれも加える。

教科書

指定しない

参考書等

指定しない。必要な場合にプリントを配布することがある。

その他

講義形式の授業とする。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 自然誌【1（現代の自然像）】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏経 A 経商法 A 政選 | | | | |
| 担当者名 | 清水 善和・篠原 正雄・山縣 毅 | | | | |

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？ 大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは次の通りである。すなわち、我々は、100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのない存在である。一方で、科学技術の発展は、人類を育ててきた地球の自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえず、社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする3名の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向かいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員3人により、1人8回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄

- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
- (2) 銀河の起源と進化（宇宙の大規模構造、ダークマター、銀河）
- (3) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
- (4) 太陽系の起源（太陽系起源仮説、太陽系外惑星、宇宙の有機化合物）
- (5) 宇宙の中の地球（太陽の進化、太陽放射の変動、地球軌道、隕石、銀河系）

第2講 地球の進化 山縣毅

- (1) 大陸と海洋の形成（海の誕生、地球の内部構造の変化）
- (2) 大陸の漂流（大陸移動説、プレートテクトニクス、プレリウムテクトニクス）
- (3) 変動する地球（巨大山脈の形成、火山、地震）
- (4) 地球と生命の共進化（地球表層の環境変遷、生物の進化・大量絶滅）

第3講 生命の起源と進化 清水善和

- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
- (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
- (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
- (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）
- (5) 人類と地球環境（生態系、食物連鎖、物質の循環、地球温暖化）

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、教員ごとに計3回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

教員ごとに小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に3人の採点を合算して成績評価とする。追試験は行わないので、教員ごとの指示に従ってそのつど評価を受けること。

教科書

特になし。教員ごとにプリント等を配布する。

参考書等

各教員がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 数学【1〔微積分学入門〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 小沢 誠 <small>おざわ まこと</small> | | | | |

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に従って以下の項目を解説する。

1. 集合と写像
2. 数列
3. 連続関数
4. 1変数関数の微分
5. 多変数関数の微分
6. 積分

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。

教科書

沢田賢／渡辺展也／安原晃 共著『大学で学ぶ 微積分』サイエンス社
1050円（税込）ISBN4-7819-1082-3

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

| | | | | | |
|------|----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 数学【2〔線形代数学入門〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | おさわ まこと 小沢 誠 | | | | |

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に従って以下の項目を解説する。

1. 文字の使用について
2. 行列
3. 連立一次方程式
4. ベクトル空間
5. 線形写像
6. 行列式
7. 固有値・固有空間

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。

教科書

沢田賢／渡辺展也／安原晃 共著『大学で学ぶ 線形代数』（サイエンス社）
1050円（税込）ISBN4-7819-1092-0

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 数学【3〔現代数学入門〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 福田 ^{ふくだ} 賢一 ^{けんいち} | | | | |

講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計り、実践的な応用力の養成を目指す。
本年度は情報環境への理解を深めるため、基礎情報理論・情報数理分野を充実させる。時間に余裕があれば、経済工学・金融工学の数理的基礎にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

前期： 論理の基礎と言語、情報理論の数理と論理、論理設計・論理回路、情報機器の理解、コンピュータ・携帯電話、通信機器の理解と数理、線型代数とその応用。
後期： 線型計画法、確率現象と社会現象、保険の数理、微積分とその応用、交通・運輸の数理、経済・経営の数理基礎。

履修上の留意点

予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、系統性の強い学術分野であるから、基本的な定義、性質を明確にするとともに、基本的な事項の確実な理解・運用能力が必要とされる。また、社会・経済現象に対し興味を持ち、基礎的な認識を深める必要もある。

成績評価の方法

前後期試験結果を中心に、レポート、出欠状況を加味し、総合的に判断する。

教科書

使用しない。教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。また、内外の関連する公的な機関等のサイト等も紹介する。

参考書等

必要となり次第指示する。配布する教材、資料等に明示する。

その他

教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に言うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。

可能な限り演習を行い理解の徹底を図る。

| | | | | | |
|------|-----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 情報数学【(情報と論理)】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選 経B法B営B選 | | | | |
| 担当者名 | 坂野井 <small>さかのい</small> 和代 <small>かずよ</small> | | | | |

講義のねらい

情報処理・情報科学等で使用する基礎的な数学について学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、記数法など基礎的な数学知識について学んだ後、情報処理において必要となる概念である集合と論理について学ぶ。後期は主に確率と統計について勉強してゆく。講義時間中に例題を解くなど、実際に手を動かして数学に慣れる講義を目指す。

履修上の留意点

予備知識・教科書は特に必要とせず、その都度、資料配付や説明を行う。ただし、講義は必ず毎回出席し、ノートを取り、出題された例題や課題を解いているものとする。つまり、レポートは講義に出席していないと解答することは難しい。

成績評価の方法

評価は原則として年に3回程度のレポートによって評価する。その他、講義時間中の発言も評価に含める。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

野々山隆幸監修、石原光／小堆光喜共著『入門 情報処理数学』（実教出版）2,200円

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 物理学【1〔光と物質〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 禅仏経 A 経商法 A 政選 | | | | |
| 担当者名 | 篠原 ^{しのはら} ^{まさお} 正雄 | | | | |

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取る。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきた。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げる。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

波としての光

光線 影 鏡 屈折 屈折楼 透明人間 スペクトル 虹の七色と三原色

波動 光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 電波 X線とガンマ線

光子 原子構造と光 電磁波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めする。数学的な予備知識はいらない。

成績評価の方法

期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となる。しかし、期末試験の比重は15%程度であり、数回のテストを含む平常点を中心に評価する。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円＋税

参考書等

講義の中で適宜紹介する。

その他

理解を深めるためにはほぼ毎回問題を考えてもらう。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 化学【2 衣食住の化学】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経A経商法A政選 | | | | |
| 担当者名 | まきおか よしかず 牧岡 良和 | | | | |

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。講義では、はじめに、化学物質の生体・環境への作用を理解するために必要な化学の基礎について解説する。その後、衣食住の化学として、各論の解説を行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) 有機化学・無機化学の導入 (2) 物質の成り立ち (3) 水の性質 (4) 有機化学の基礎 (5) 合成繊維 (6) 染料 (7) 合成洗剤と水質汚濁
後期 (8) 太陽光発電 (9) 遺伝子 (10) 燃料電池 (11) バイオ燃料 (12) 食品の安全性 (13) 住環境と化学物質

履修上の留意点

上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックを取り上げるなど、柔軟に進めていく。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。なお、授業中の私語・飲食・講義と無関係な用途での携帯電話の使用は禁止。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 宇宙科学【1〔星と銀河〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | しのはら まさお 篠原 正雄 | | | | |

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介する。
観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展している。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされた。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進める。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげる。
観測：望遠鏡 スペクトル 年周視差と距離
太陽：構造 エネルギー源
恒星：恒星の分類 連星 変光星 恒星の質量 恒星の進化
後期は銀河をとりあげる。
銀河系：星団 星雲 銀河系の渦巻き構造と星生成領域 銀河回転と暗黒物質
銀河：銀河の分類 距離 銀河団 宇宙の大規模構造
宇宙：宇宙膨張 暗黒エネルギー ビッグ・バン

成績評価の方法

中間試験および学年末に行う筆記試験の結果により評価する。平常点も考慮する。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円＋税

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 宇宙科学【2〔星と銀河〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 篠原 ^{しのはら} 正雄 ^{まさお} | | | | |

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介する。
 観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展している。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされた。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進める。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげる。
 観測：望遠鏡 スペクトル 年周視差と距離
 太陽：構造 エネルギー源
 恒星：恒星の分類 連星 変光星 恒星の質量 恒星の進化
 後期は銀河をとりあげる。
 銀河系：星団 星雲 銀河系の渦巻き構造と星生成領域 銀河回転と暗黒物質
 銀河：銀河の分類 距離 銀河団 宇宙の大規模構造
 宇宙：宇宙膨張 暗黒エネルギー ビッグ・バン

成績評価の方法

中間試験および学年末に行う筆記試験の結果により評価する。平常点も考慮する。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円＋税

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する。

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | コンピュータ基礎【1〔コンピュータの実際〕】 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選 | | | | |
| 担当者名 | おざわ まこと 小沢 誠 | | | | |

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。

この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等

<http://www.tg.rim.or.jp/~hexane/ach/>
<http://www.shoshinsha.com/hp/>

その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | コンピュータ基礎【2〔コンピュータの実際〕】 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選 | | | | |
| 担当者名 | やまもと ひろのぶ 山本 博信 | | | | |

講義のねらい

問題を解決するために、わたしたちはパソコンを道具にします。その具体的方法は、情報科学を基礎としてみなさんが習得してこられたスキルを土台にしつつ、さらに高度なスキルやコンセプト・ケーパビリティを交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

・パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集（コーディングについて）。

履修上の留意点

本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。半期の授業です。

成績評価の方法

- ・課題 10%
- ・授業最終日に実施する確認試験 25%
- ・定期試験 35%
- ・出席状況 30%

教科書

『新基礎コンピュータ演習』山本誠次郎・井内善臣（実教出版）151P、¥1890（ISBN4407301147）

参考書等

『ITリテラシーへの招待』大田幸雄（パーソナルユーザ利用出版社）237P、¥1680（ISBN4894717220）

その他

パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアドレスの取得が必須です。いつでもやって登録するか1回目の授業で補足説明します。

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | コンピュータ基礎【3〔コンピュータの実際〕】 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選 | | | | |
| 担当者名 | おがわ けんじろう 小川 健次郎 | | | | |

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。センテンスからパラグラフへの運用能力向上をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの順番にそって、まずは英文を読み、その英文を利用して、語のならばかえ、作文を行なう。

履修上の留意点

授業は予習をしてこること。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

『Major Countries in the World -世界の主要国-』（鳳書房）1,800円

| | | | | | |
|------|----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | コンピュータ基礎【4〔コンピュータの実際〕】 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政選 | | | | |
| 担当者名 | おざわ まこと 小沢 誠 | | | | |

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。

この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等

<http://www.tg.rim.or.jp/~hexane/ach/>
<http://www.shoshinsha.com/hp/>

その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも大切です。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | コンピュータ基礎【5〔コンピュータの実際〕】 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選 | | | | |
| 担当者名 | 澤口 隆 <small>さわぐち たかし</small> | | | | |

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用したCADイメージ、映画などで用いられるリアルなCG映像や、インターネットブラウザ上でのFLASHアニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。
 本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSは Windows を使い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。
 その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。
 Web サイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること (キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | コンピュータ基礎【6〔コンピュータの実際〕】 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選 | | | | |
| 担当者名 | おざわ まこと 小沢 誠 | | | | |

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。

この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等

<http://www.tg.rim.or.jp/~hexane/ach/>
<http://www.shoshinsha.com/hp/>

その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | コンピュータ基礎【7〔コンピュータの実際〕】 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選 | | | | |
| 担当者名 | やまもと ひろのぶ 山本 博信 | | | | |

講義のねらい

問題を解決するために、わたしたちはパソコンを道具にします。その具体的方法は、情報科学を基礎にしてみなさんが習得してこられたスキルを土台にしつつ、さらに高度なスキルやコンセプト・ケーパビリティを交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。

講義の内容・
授業スケジュール

・パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集（コーディングについて）。

履修上の留意点

本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。半期の授業です。特段の事情で休むことが当初から予想される学生は、その期の授業の履修申請はしないこと。

成績評価の方法

- ・課題 10%
- ・授業最終日に実施する確認試験 25%
- ・定期試験 35%
- ・出席状況 30%

教科書

『新基礎コンピュータ演習』山本誠次郎・井内善臣（実教出版）151P、¥1890（ISBN4407301147）

参考書等

『ITリテラシーへの招待』大田幸雄（パーソナルユーザ利用出版社）237P、¥1680（ISBN4894717220）

その他

パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアドレスの取得が必須です。いっとうやって登録するか1回目の授業で補足説明します。

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | コンピュータ基礎【8〔コンピュータの実際〕】 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選 | | | | |
| 担当者名 | おがわ けんじろう 小川 健次郎 | | | | |

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | コンピュータ基礎【9〔コンピュータの実際〕】 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選 | | | | |
| 担当者名 | おざわ まこと 小沢 誠 | | | | |

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。

この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等

<http://www.tg.rim.or.jp/~hexane/ach/>
<http://www.shoshinsha.com/hp/>

その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも大切です。

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | コンピュータ基礎【10〔コンピュータの実際〕】 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選 | | | | |
| 担当者名 | さわぐち たかし 澤口 隆 | | | | |

講義のねらい

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSはWindowsを用い、アプリケーションはAdobe Photoshopを使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Webサイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windowsの基本操作はマスターしていること(キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上。

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|------|----|---|
| 科目名 | コンピュータ基礎【11〔コンピュータの実際〕】 | 開講 | 夏季集中 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選 | | | | |
| 担当者名 | 元木 光雄 <small>もとき みつお</small> | | | | |

講義のねらい

コンピュータの原理とインターネットの原理や原則を学ぶ。特に、インターネットで実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータの動作原理、特にOSの役割やファイルシステムについて学ぶ。また、多数のコンピュータがネットワークで相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上でどのようなサービスが利用できるのか、実際のサービスを利用しながら理解する。具体的には、インターネット上のサービスとして、電子メール、WWWなどのサービスをとりあげ、実習の形で利用する。このようなサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄も、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

また、Web ページを記述するHTMLの基本を通して、論理的構造を持った文書とは何かを学ぶ。

- 7/31 コンピュータの基本構造と Windows の基本操作
- 8/1,2 インターネットの原理と実際の利用
- 8/3,6 論理的構造を持った文書のHTMLによる記述

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となるので、必ず事前に総合情報センターで利用申請をして電子メールのアドレスを取得しておくこと。取得していない場合、単位取得に支障がある可能性がある。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う予定である。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程：7月31日～8月3日・6日の1～3時限

予備日：8月7日の1～3時限

| | | | | | |
|------|-----------------------------------|----|------|----|---|
| 科目名 | コンピュータ基礎【13〔コンピュータの実際〕】 | 開講 | 夏季集中 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政選 | | | | |
| 担当者名 | <small>やまもと ひろのぶ</small> 山本 博信 | | | | |

講義のねらい

問題を解決するために、わたしたちはパソコンを道具にします。その具体的方法は、情報科学を基礎にしてみなさんが習得してこられたスキルを土台にしつつ、さらに高度なスキルやコンセプト・ケーパビリティを交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

・パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集（コーディングについて）。

履修上の留意点

本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。

成績評価の方法

- ・課題 30%
- ・授業最終日に実施する確認試験 40%
- ・出席状況 30%

教科書

新基礎コンピュータ演習、山本誠次郎・井内善臣、実教出版、(151P、¥1890) ISBN4407301147

参考書等

ITリテラシーへの招待、大田幸雄、パーソナルユーザ利用出版社、(237P、¥1680)、ISBN 4894717220

その他

パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアドレスの取得が必須です。いっとうやっけて登録するか1回目の授業で補足説明します。

授業日程：7月31日～8月3日・6日の4～6時限

予備日：8月7日の4～6時限

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|------|----|---|
| 科目名 | コンピュータ基礎【14〔コンピュータの実際〕】 | 開講 | 夏季集中 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選 | | | | |
| 担当者名 | ながさか ひろふみ 長坂 浩史 | | | | |

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握と一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。また、Web ページ作成の基本を学び、それによってインターネットを利用した情報収集・発信の実習をする。

講義の内容・授業スケジュール

総合情報センターのパソコン（OSはWindows）を使用し、実習を行う。ワープロソフトによる文章加工、Excel による表計算・データ処理、インターネット上のサービス利用（電子メール、WWW）等を通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成をしてもらう。この資料は Web ページの体裁で作成してもらうので、HTMLの入門等、Web ページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。
予備知識は仮定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。
また授業開始前に情報センターの利用登録をしておくこと。（課題は基本的にファイルの形で提出してもらうが、各自バックアップ用の領域を持っていることが前提である。そうでなければ、初日・2日目はMOディスクまたはフロッピーディスクを持参すること。）

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。
実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評価はつかないと思っよい。
逆に、1日でも休むと全課題の提出は困難になるので、特別な事情がない限り毎回出席すること。

教科書

使用しない。教材・資料・編集素材は、ファイルの形で配布する。

参考書等

同上

その他

授業日程：7月31日～8月3日、6日の1～3時限
予備日：8月7日の4～6時限

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|------|----|---|
| 科目名 | コンピュータ基礎【15〔コンピュータの実際〕】 | 開講 | 夏季集中 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選 | | | | |
| 担当者名 | おがわ けんじろう 小川 健次郎 | | | | |

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請をしておくこと。

なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法

評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教科書

必要に応じて適宜指定する予定である。

参考書等

必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程：(15) 7月31日～8月3日、6日1～3時限

：(16) 7月31日～8月3日、6日4～6時限

予備日：(15) 8月7日の1～3時限

：(16) 8月7日の4～6時限

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|------|----|---|
| 科目名 | コンピュータ基礎【16〔コンピュータの実際〕】 | 開講 | 夏季集中 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選 | | | | |
| 担当者名 | おがわ けんじろう 小川 健次郎 | | | | |

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請をしておくこと。
なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法

評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教科書

必要に応じて適宜指定する予定である。

参考書等

必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程：(15) 7月31日～8月3日、6日1～3時限

：(16) 7月31日～8月3日、6日4～6時限

予備日：(15) 8月7日の1～3時限

：(16) 8月7日の4～6時限

| | | | | | |
|------|---------------------------------------|----|------|----|---|
| 科目名 | コンピュータ基礎【17〔コンピュータの実際〕】 | 開講 | 夏季集中 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選 | | | | |
| 担当者名 | 谷本 ^{たにもと} 玲大 ^{さちひろ} | | | | |

講義のねらい

課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

7/31 4時限 ガイダンス 5～6限 情報検索
 8/1 Word
 8/2 Word・画像処理
 8/3 } Excel
 8/6 }

※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある。

履修上の留意点

初級向け。実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。教室に備付のパソコンを使用するのでKOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要。各自、駒澤大学総合情報センターに学生証持参の上、一週間以上前に申請し、【履修前に取得完了】のこと。

成績評価の方法

初回講義欠席者は単位認定しない。受講態度や出席状況等の平常点(40%)、課題・レポート(60%)。総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外。遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。申請が遅れたり、失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。講義中に他学生に迷惑となるような行為のあった場合、教員の指示に従わない場合は、履修許可を取り消すことがある。

教科書

小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』
 (講談社現代新書1603) 2002/04、714円 ISBN:4-061496034

その他

授業日程: 7月31日～8月3日・6日4～6時限
 予備日: 8月7日の4～6時限

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|------|----|---|
| 科目名 | コンピュータ基礎【18〔コンピュータの実際〕】 | 開講 | 夏季集中 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選 | | | | |
| 担当者名 | おざわ まこと 小沢 誠 | | | | |

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。

この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等

<http://www.tg.rim.or.jp/~hexane/ach/>
<http://www.shoshinsha.com/hp/>

その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも大切です。

授業日程：7月31日～8月3日、6日4～6時限

予備日：8月7日の4～6時限

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | コンピュータ基礎【19〔コンピュータの実際〕】 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選 | | | | |
| 担当者名 | さかのい かずよ 坂野井 和代 | | | | |

講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その中でも電子メールやWWWといったサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。その際、よくありがちなセキュリティ問題についても触れる。さらに、具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうした実習を通して、コンピュータの操作方法に慣れると共に、コンピュータやインターネットの利用方法を技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は携帯すること。

成績評価の方法

評価は授業時間中に出題する2～3回程度の課題によって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | コンピュータ基礎【20〔コンピュータの実際〕】 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選 | | | | |
| 担当者名 | 坂野井 和代 <small>さかのい かずよ</small> | | | | |

講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その中でも電子メールやWWWといったサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。その際、よくありがちなセキュリティ問題についても触れる。さらに、具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうした実習を通して、コンピュータの操作方法に慣れると共に、コンピュータやインターネットの利用方法を技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は携帯すること。

成績評価の方法

評価は授業時間中に出題する2～3回程度の課題によって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | コンピュータ応用【1〔コンピュータの原理〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選 | | | | |
| 担当者名 | 坂野井 和代 <small>さきのい かずよ</small> | | | | |

講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また、これらのプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを知る。

講義の内容・授業スケジュール

まず初めに、コンピュータの動作原理およびプログラミングについて簡単に学ぶ。その後、主に前期は Visual Basic という言語を使ってプログラミングの基礎を学ぶ。さらにいくつかの問題に対して、実際にプログラムを作成する。後期は、このようなプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを実習により確かめる。

履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は必要としない。しかし必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、WWWの利用など）はマスターしていること。これらの操作ができないと実習についてくることは難しい。またプログラミングの際に、数学や英語に関する知識が多少必要となる。実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。長期に休んだ場合の復活は難しいので、留学、就職活動や教育実習などで3回以上休むことが当初から予想される学生は、その年の授業は履修申請しないこと。

成績評価の方法

評価は授業時間中に出題する課題によって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

山本信雄著『Visual Basic Vol.1 はじめてのプログラミング』（翔泳社）1,900円
ISBN4-88135-718-2
瀬戸遙著『10日でおぼえる Excel VBA 入門教室』（翔泳社）2,800円
ISBN4-7981-0773-5

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | コンピュータ応用【2〔コンピュータの原理〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選 | | | | |
| 担当者名 | 坂野井 和代 <small>さかのい かずよ</small> | | | | |

講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また、これらのプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを知る。

講義の内容・
授業スケジュール

まず初めに、コンピュータの動作原理およびプログラミングについて簡単に学ぶ。その後、主に前期は Visual Basic という言語を使ってプログラミングの基礎を学ぶ。さらにいくつかの問題に対して、実際にプログラムを作成する。後期は、このようなプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを実習により確かめる。

履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は必要としない。しかし必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、WWWの利用など）はマスターしていること。これらの操作ができないと実習についてくることは難しい。またプログラミングの際に、数学や英語に関する知識が多少必要となる。実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。長期に休んだ場合の復活は難しいので、留学、就職活動や教育実習などで3回以上休むことが当初から予想される学生は、その年の授業は履修申請しないこと。

成績評価の方法

評価は授業時間中に出題する課題によって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

山本信雄著『Visual Basic Vol.1 はじめてのプログラミング』（翔泳社）1,900円
ISBN4-88135-718-2
瀬戸遙著『10日でおぼえる Excel VBA 入門教室』（翔泳社）2,800円
ISBN4-7981-0773-5

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 人類学【1〔人類の進化〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | しのだ けんいち 篠田 謙一 | | | | |

講義のねらい

人類学はひとことで言えば「人間の生物学」ということですが、その包含する分野は漠然としていて、簡単に捉えることは難しいものです。本講義では、現在「人類学」の名の下に行われている具体的な研究内容を紹介し、人類学とはどのような学問であるのかを理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容をそれぞれ1回ないし2回で講義します。前期は基本的には人類の進化を、後期は日本人の起源を中心とした話になります。
 「人類学の歴史と包括する分野」「霊長類学」「化石人類の発見史」「霊長類の進化と猿人」「原人から新人への進化」「現代人の起源」「分子人類学」「日本人の起源」「歴史時代における日本人の変化」「成長」「新大陸の人類学」

履修上の留意点

出席を重視しますので、講義に参加できることを前提に履修してください。

成績評価の方法

毎回、課題もしくは小試験を行い、その成績を総合して評価します。

教科書

中橋孝博著『日本人の起源』（講談社メチエ）ISBN4-06-258318-6

参考書等

特に指定しませんが講義の中で紹介します。

その他

本講義では、単に講師の話聞くだけでなく、皆さんに考えて頂くような講義をしたいと思っていますので、主体的に参加していただくことを望みます。

| | | | | | |
|------|---------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 人類学【2〔人類の進化〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 篠田 ^{しのだ} 謙 ^{けんいち} 一 | | | | |

講義のねらい

人類学はひとことでは「人間の生物学」ということですが、その包含する分野は漠然としていて、簡単に捉えることは難しいものです。本講義では、現在「人類学」の名の下に行われている具体的な研究内容を紹介し、人類学とはどのような学問であるのかを理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容をそれぞれ1回ないし2回で講義します。前期は基本的には人類の進化を、後期は日本人の起源を中心とした話になります。

「人類学の歴史と包括する分野」「霊長類学」「化石人類の発見史」「霊長類の進化と猿人」「原人から新人への進化」「現代人の起源」「分子人類学」「日本人の起源」「歴史時代における日本人の変化」「成長」「新大陸の人類学」

履修上の留意点

出席を重視しますので、講義に参加できることを前提に履修してください。

成績評価の方法

毎回、課題もしくは小試験を行い、その成績を総合して評価します。

教科書

中橋孝博著『日本人の起源』（講談社メチエ）ISBN4-06-258318-6

参考書等

特に指定しませんが講義の中で紹介します。

その他

本講義では、単に講師の話聞くだけでなく、皆さんに考えて頂くような講義をしたいと思いますので、主体的に参加していただくことを望みます。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 心理学【4〔ヒューマン・ウォッチング〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 法A政選 法B選 | | | | |
| 担当者名 | 仲渡 <small>なかと えみ</small> 江美 | | | | |

講義のねらい

「人とは、何か」についての答えを探るのが、心理学という学問である。日常、私たちは、特に意識せず「見る」、「聴く」、「思い出す」、「考える」といった様々な行動を行なっているが、その背景には複雑な仕組みがある。例えば、「横顔や後ろ姿からでも親友をすぐに見つけることができるのは、なぜ。」、「自分の名前を呼ばれるとすぐに気づくのは、なぜ。」、「語呂合わせをして覚えた電話番号をいつまでも覚えているのは、なぜ。」など、人がどのような行動を行なうのか、なぜそのような行動を取るのかについての仕組みを心理学の様々な領域から捉え、日常生活での私たちの見方、考え方に新しい視点を与えて、自己や他者を理解していくことが本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

日常生活の中で、人が起こす行動とその仕組みについて、知覚、学習、記憶、人格、発達、臨床といった心理学の各領域から学んでいく。具体的なスケジュールについては、第1回目の講義で提示する予定である。

履修上の留意点

「理解する」ためには、講義の内容を自分の視点で改めて捉え直すことが必要である。そのために、授業中、講義の内容に関して自分なりの意見や感想などを書いてもらう予定である。

成績評価の方法

講義の出席状況と年度末の筆記試験の結果から、総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義時にいくつか紹介する。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 心理学【8〔人間関係を考える〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A政選 法B選 | | | | |
| 担当者名 | すずき じゆんいち 鈴木 順一 | | | | |

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツの学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強する）ことではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

【前期】 [1]学習とは？ 授業方針 [2]エンカウンター（出会いと人間関係づくり） [3]グループ形成と集団規範 [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]無意識の心の働き（精神分析的人格理論） [9]環境を知る働き（感覚・知覚・認知）

【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12] 自他肯定の人間関係 [13]学習理論と行動療法 [14]relaxationによる心身の健康回復

履修上の留意点

最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただき、毎回グループごとに自筆で出席をとり本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協学習習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範を守ることと、全回出席することが求められます。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。

成績評価の方法

出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。平常点で評価しますので、学年末定期試験及び追・再試験はありません。

教科書

使用しません。授業内で紹介する参考図書や下記参考書の指摘する部分などを読み概念学習を進めていただきます。

参考書等

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学―体験をととして学ぶ心理学―』（福村出版）

その他

すべての「心理学」の授業で、心理学科卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|------|----|---|
| 科目名 | 心理学【12〔心を科学する〕】 | 開講 | 夏季集中 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選 経B法B営B選 | | | | |
| 担当者名 | ふかぼり ともなり 深堀 友寛 | | | | |

講義のねらい

身体的な異質性も然ることながら、人間には固有の性格、価値観、知能、行動パターンといった精神的（心理的）な異質性が認められる。それらを包括し、人間は個性を獲得する。しかし、人間とは決して一人では生きていけない。これはこの世に生を授かり生を全うするまで続くのである。人生とは、いわば異なる個性との共存である。個性が異なれば、そこから衝突や誤解が生じ、人間関係に支障を及ぼすこともしばしばである。
本講義では個と、個の集合体である「社会」を心理学的側面から理解していくことを目的とする。本講義を通じ、少しでも心理学の世界に興味を持って頂ければ幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

パーソナリティ、学習心理学、集団・社会心理学、臨床心理学、生涯発達心理学等を講義する予定である。

履修上の留意点

短期間で集中的に行われる講義なので、主体的に講義に参加できる姿勢が望まれる。受動的にしか参加できない学生には、本講義の性質は不向きであろう。

成績評価の方法

講義最終日に行われる筆記試験と、出席率による総合評価。

教科書

特に指定しない。

参考書等

重野純『キーワードコレクション 心理学』（新曜社）1994年
中村昭二『心理学概説』（八千代出版）1982年

その他

授業日程：7月31日～8月3日・6日・7日、1～5時限

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 総合I 1〔仏教と自然〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | よつや こうどう 四津谷 孝道 | | | | |

講義のねらい

「エコロジー」というものが、大きな社会的な且つ学問的な課題になって久しいが、仏教学の分野においても「エコロジー」との関連ですでに多くの研究が蓄積されつつある。本講座では、それらの研究を参照しながら、具体的テーマに焦点をしばりながら、「仏教と自然」に関する検討を進めてゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

今年度は、「肉食と菜食主義」というテーマを、仏教を中心としたインド思想全体の中で検討する。授業は、以下のようなテーマの下で進めていく。

インドの宗教（バラモン教）の基本的な理解
 インドの宗教（仏教・ジャイナ教）の基本的な理解
 肉食と菜食主義（概観）
 ヴェーダ時代の肉食思想と菜食主義
 祭式にみる肉食思想と菜食主義
 バラモン教にみる肉食思想と菜食主義
 輪廻・解脱と肉食・菜食主義（1）
 輪廻・解脱と肉食・菜食主義（2）
 インドの法典に示された肉食と菜食主義
 パーリ仏教聖典に示された肉食と菜食主義
 三種浄肉（1）
 三種浄肉（2）
 仏教の戒律にみる肉食と菜食主義（1）
 仏教の戒律にみる肉食と菜食主義（2）
 植物は生き物か（1）
 植物は生き物か（2）
 大乘仏教における非肉食思想（1）
 大乘経典における非肉食思想（2）
 如来蔵・仏性思想と非肉食思想
 慈悲と菜食主義
 宮沢賢治（1）
 宮沢賢治（2）
 聖なる牛と不浄なる豚
 ディープ・エコロジー（1）
 ディープ・エコロジー（2）

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

授業において適宜に配付する。

参考書等

必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 総合I 2〔仏教と社会〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | くまもと えいじん 熊本 英人 | | | | |

講義のねらい

日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。

講義の内容・
授業スケジュール

社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。
 仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。生死、人権、女性、家族、平和といったキーワードから、仏教の立場、仏教の功罪、仏教への期待などをみていくことで、現代社会への問題提起を行いたい。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

適宜レポートを課す。年度末の筆記試験と合わせて評価する。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 総合I 3〔仏教と芸術〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | むらまつ てつふみ 村松 哲文 | | | | |

講義のねらい

本講義では、仏教美術の誕生から伝播について、インド・西域・中国・朝鮮半島の仏像・仏画をスライドを写して概観する。同じモチーフが時代や地域によって変化してゆく過程を、歴史的な背景と照らし合わせながら考察してゆく。講義を通して、信仰が生み出した深遠なる美の表現を眼と心で会得してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕
 仏教美術の世界（1～2）
 インドの仏教美術（3～5）
 西域の仏教美術（6～8）
 初期の敦煌石窟（9～11）
 後期の敦煌石窟（12～15）

〔後期〕
 炳靈寺石窟（16～17）
 麦積山石窟（18～20）
 雲岡石窟（21～23）
 龍門石窟（24～27）
 朝鮮三国の仏教美術（28～30）
 以上は予定で、講義の合間に特定の意匠（仏像の胸飾・宝冠・袈裟など）についても考察する。

履修上の留意点

博物館・美術館で開催される仏教美術関係の展覧会には、積極的に足を運ぶこと。

成績評価の方法

出席率・レポート・授業態度・定期試験などを総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

講義中に適宜参考書を紹介する。

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 総合Ⅱ 1〔駒澤大学の歴史〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 熊本 史雄・大城 道則・小泉 雅弘・佐々木 真・杉山 清彦・廣瀬 良弘 | | | | |

講義のねらい

本講義では、スライドや写真資料などを豊富に織り交ぜながら、駒澤大学の歴史につき概述します。

駒澤大学は、平成14年(2002)に「開学120周年」を迎えました。これは、駒澤大学の前身・曹洞宗大学林専門学本校が設置された、明治15年(1882)を起点としたものです。しかし、駒澤大学の起源は遠く戦国時代の終わり、文禄元年(1592)にまでさかのぼることができます。その年、曹洞禅の研究と漢学の振興を目的として、「学林」が開かれました。実に415年前の話になります。“日本一古い大学”と形容される所以です。最近では、駅伝や野球、サッカー、空手と、スポーツ部門でもその名を轟かせている駒澤大学ですが、こうした古くからの伝統と学風も、現在の駒澤大学に受け継がれている大事な要素です。

本講義を通じて、駒澤大学の歴史を学ぶとともに、“駒澤スピリット”を感じ取り、“駒澤アイデンティティ”を形成して下さい。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期：1. 授業計画とガイダンス
 2. 道元と曹洞宗
 3. 永平寺と総持寺
 4. 吉祥寺施檀林の誕生
 5. 学寮での厳しい修行
 6. 学寮から学校へ
 7. 明治政府の宗教・教育政策
 8. 曹洞宗大学の発足
 9. 日ヶ窪から駒沢へ
 10. 大学令と「駒澤大学」の誕生
 11. 「大正教養主義」と駒大生
 12. 「禅文化歴史博物館」の見学
- 後期：13. 「郊外」の誕生と駒大 ～玉電の開通と世田谷の発展～
 14. 戦時下の駒大 ～学徒動員と学徒出陣～
 15. 世界の大学との比較① ～古代エジプトの教育～
 16. 世界の大学との比較② ～ヨーロッパの大学 宗教機関から世俗機関へ～
 17. 世界の大学との比較③ ～中国における科挙制度～
 18. 世界の大学との比較④ ～中国の近代化構想と教育～
 19. 占領政策と新制大学の設立
 20. 東京オリンピックと駒大
 21. 駒大の名物教授/駒大図書館所蔵の貴重書・稀覯本
 22. 学生運動/部活動
 23. スポーツにみる駒大の躍進 ～駅伝・野球・サッカー～
 24. 国際交流における駒澤大学 ～留学・学術交流～

履修上の留意点

4年間を過ごすことになる駒澤大学のことを、広く、深く知って下さい。駒澤大学に対する理解と愛着が深まることを願っています。

成績評価の方法

学年末の期末試験。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 総合II 2 [自然観察入門富浦をめぐる人と自然] | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 清水 善和・漆原 和子・小沢 誠・小高 昭一・坂野井 和代・桜井 邦夫・篠原 正雄・柳澤 紀夫・山縣 毅 | | | | |

講義のねらい

教場での通常の講義では、自然の現物を示せないもどかしさがある。自然を理解するためには、自然を観察し、データを取り、解析し、結果を出すという科学的な研究手法の一部を実体験することが重要だからである。一方、我々の身近に接する自然は、生の自然ではなく、人間の営みの内にある自然である。ある地域の自然を総合的に理解するためには、自然をめぐる歴史的、地理的な背景を知る必要がある。本科目では、まず、前期半期で植物、鳥類、地形・地質、天体、環境などの観察やデータ処理の方法を紹介する。一部の講義では大学キャンパスや駒沢公園を利用した実習も行う。次に、夏休み中（7月下旬）に房総半島の富浦にある駒澤大学富浦セミナーハウスにて、4泊5日の泊り込みの集中講義と野外実習を行い、富浦周辺の自然をトータルに理解することを試みる。夜には天体望遠鏡を用いて天体観測の実習も行う。これらの講義や実習を通して、自然の見方、接し方、自然科学的な考え方の基本を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容で前期の講義と夏休みの富浦での実習を行う。内容に応じて9名の教員が交代しながら講義と実習を担当する。なお、後期の講義はない。

- 前期（半期）：本校での講義（一部実習を含む）
 - (1) ガイダンス（抽選）、(2) 自然観察の方法、(3) 植物の観察1、(4) 植物の観察2、(5) バードウォッチング1、(6) バードウォッチング2、(7) 地球科学的な見方1、(8) 地球科学的な見方2、(9) 地球環境の見方1、(10) 地球環境の見方2、(11) 天体観測の方法1、(12) 天体観測の方法2、(13) 富浦実習に向けて
- 富浦での講義と実習：7月16日（月）午後—20日（金）午前（4泊5日）
午前の講義、午後の実習（植物、地形・地質、地理・歴史）、夜の天体観測など。

履修上の留意点

- 前期半期の講義と夏休み中の実習の両者を合わせて単位を認定するので、富浦の実習に参加できない人は履修できない。前期の講義に毎回欠かさず出席し、夏休み中の実習に参加する人のみ履修すること。また、本科目を9月卒業のための単位に加えることはできないので注意すること。
- 富浦への旅費とセミナーハウスの宿泊費（1泊4000円×4日）は学生の自己負担とする。
- 実習を伴う科目の性格上、履修人数の上限を30名とする。4月の初回の講義で詳しいガイダンスを行い、履修希望者が定員を越える場合には、その場で抽選を行うので、履修希望者は必ず初回の講義に出席すること。

成績評価の方法

合計9名の教員が分担して講義と実習を行うので、各教員が適宜、レポート、小テストなどを課して評価を行う。また、富浦の実習については、現地での実習をふまえた総合的なレポートを課す。以上の評価点と出席点とを合算して最終的な成績の判定を行う。なお、科目の性格上、追試は行わない。

教科書

特になし。各教員が必要に応じてプリント等を配布する。

参考書等

各教員が必要に応じて紹介する。

その他

定員30名を越える希望者がある場合は抽選を行うので、履修希望者は必ず4月の初回講義に出席すること。

| | | | | | |
|------|----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 総合Ⅲ 1〔人権と社会問題〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選 | | | | |
| 担当者名 | ピアス, D. M. | | | | |

講義のねらい

This being the most advanced English course available, its first intention is to prepare for studying abroad; it should provide an approximate experience of what it is like to attend a university-level course in a foreign country. Students will not study English, but study something else in English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material. Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, controversial, and intellectual levels. Emphasis is placed on learning to converse intelligently, that is, to communicate thought in spoken language. Time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

講義の内容・授業スケジュール

SCHEDULE OF TOPICS

| | |
|---------------------|-------------------|
| CLASS 1 rights | CLASS 16 abortion |
| CLASS 2 rights | CLASS 17 abortion |
| CLASS 3 rights | CLASS 18 abortion |
| CLASS 4 income | CLASS 19 racism |
| CLASS 5 income | CLASS 20 racism |
| CLASS 6 income | CLASS 21 racism |
| CLASS 7 income | CLASS 22 racism |
| CLASS 8 feminism | CLASS 23 suicide |
| CLASS 9 feminism | CLASS 24 suicide |
| CLASS 10 feminism | CLASS 25 suicide |
| CLASS 11 feminism | CLASS 26 suicide |
| CLASS 12 euthanasia | CLASS 27 war |
| CLASS 13 euthanasia | CLASS 28 war |
| CLASS 14 euthanasia | CLASS 29 war |
| CLASS 15 euthanasia | CLASS 30 war |

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are vital; only practice improves English. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, TAKE SOME OTHER COURSE. In this class you will be speaking English all the time. Your final grade depends 70% on your class performance. Attendance is extremely important, whereas examinations have minor effect on the final grade. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because final grade is relative to his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

Textbook and materials: We will probably use Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the

教科書

first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary.
There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

| | | | | | |
|------|----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 総合Ⅲ 2〔欧米の教育と日本の教育〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選 | | | | |
| 担当者名 | おかざき としいちろう 岡崎 寿一郎 | | | | |

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論じます。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 総合Ⅲ 3〔フランス現代文化史〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選 | | | | |
| 担当者名 | 桑田 禮彰 <small>くわた のりあき</small> | | | | |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | フランスにおける現代（特に第2次大戦後）の文化の歴史を概観します。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | <p>ここで扱う「文化」とは、文学（バタイユ、ブランショ他）、演劇（アルトー、ジュネ、イヨネスコ他）、美術（ピカソ、セザンヌ、ジャコメッティ、スタール他）、音楽（ブーレーズ他）、映画（ゴダール他）などの芸術にとどまらず、哲学（サルトル、メルロ＝ポンティ、フーコー、ドゥルーズ他）、精神分析（ラカン他）、人類学（レヴィ＝ストロース他）、歴史学（ブローデル他）、社会学（バルト他）などの学問も含まれます。</p> <p>講義では、時の流れに沿って過去から現在へ向かいながら、こうした文化界における重要な具体的な事件（哲学書出版、芝居公演、美術展など）を取り上げ、当時の政治・社会的背景の上に位置付けてみます。一方では個々の文化的事件をできるかぎり具体的に追いつつ、他方ではフランス現代文化全体を大きな流れとして提示し、そこから「知識人」「戦争」「消費社会」「芸術と政治」「ニヒリズム」などの問題を考えて行きます。</p> <p>もちろん「フランス現代」という時空枠は暫定的なもので、講義はこの枠をはみ出します。たとえば、この時代のフランス文化はドイツ文化の大きな影響のもとにありましたが、現代の「知識人」のフランス的性格を考えるためには歴史を遡る必要もあります。</p> <p>尚、この講義は、Jean-PaulAron, Les modernes, Gallimard, 1984を下敷にします。</p> |
| 履修上の留意点 | 履修者にフランス語の知識は必要ありません。 |
| 成績評価の方法 | 学年末試験 |
| 教科書 | 特に指定しません。 |
| 参考書等 | 講義で指示します。 |

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 総合Ⅳ 1〔現代アメリカ事情〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選 | | | | |
| 担当者名 | 林 明人 <small>はやし あきと</small> | | | | |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義の内容・授業スケジュール | 現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion,affirmative action,euthanasia,Brady Bill等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。 |
| 履修上の留意点 | 遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めません。 |
| 成績評価の方法 | ①試験、②レポート、③出席で総合評価するが、出席は3分の2を越えていなければならない。出席以外のそれぞれの評価が一つでも4割に満たない場合は単位を認めない。 |
| 教科書 | プリントを配布します。 |

| | | | | | |
|------|----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 総合Ⅳ 2〔シアトル市のNPOとまちづくり〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選 | | | | |
| 担当者名 | にしむら ゆうこ 西村 祐子 | | | | |

講義のねらい

前期はアメリカのシアトルを中心にNPO,NGO（非営利組織）におけるまちづくり（コミュニティビルディング）、後期の前半は日本の神奈川県を中心に発達しつつあるNPO間のネットワークについて考察する。後期後半はインドにおけるNGO,NPOについて考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：アメリカの非営利組織と日本の非営利組織との違い
 コミュニティ・ビルディングとNPO
 シアトルのまちづくり
 シアトル・アジア系住民のまちづくりとNPO
 アメリカにおける移民とNPO
 自治体とNPOの協働について：日本との比較
 神戸市・横浜市、川崎市などの事例研究
 後期：日本のNPO,インドのNPO,NGO
 日本のまちづくり政策とNPO
 世田谷区のまちづくりとNPO
 まちづくり協議会とNPO
 神奈川県・横浜市におけるNPOと外国人労働者
 インド社会概観
 インド社会とNGO
 南インドのNGOとコミュニティビルディング
 行政とNPO,NGOのかかわり：タミルナードゥ州、ケーララ州などを事例として。

履修上の留意点

インターネットによる資料調査をおこなう。またビデオなども使用。受講人数制限あり。学内で使用するコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席率、レポート内容）重視。

教科書

『草の根NPOのまちづくり：シアトルからの挑戦』（勁草（けいそう）書房）、その他。

参考書等

教場で指定（インターネットサイトなど。）

その他

ゲストレクチャーを後期に2回予定している。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 総合Ⅳ 3〔ポスト・モダンの世界〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選 | | | | |
| 担当者名 | 丸小 哲雄 <small>まるこ てつお</small> | | | | |

講義のねらい

本講座は、総合科目と専門科目の「あいまいな」通路を拓き、連動していくことが狙いである。「いい大学を出て、大企業に就職する」という「幸福な方程式」から絶対に避けることのできない遇有的な不確実性にどのように対応するかという「人生の方程式」に向けて講義してゆく。そこで「いま・ここ」における社会現象に向き遇って問題意識を高めてもらうために、「生活知」（人間の時間）と「世界知」（科学の時間）を、つまり「熱い知」と「冷たい知」を結び付けて、その中間にあるあいまいな生の「遇有性」（不確実の時代）のダイナミズムを自分の主体的な「生活知」のなかで生かせるように講義を進める。

講義の狙いは、「近代化とは何か」を問うために、「ポストモダンの世界」を開き、モダン近代化批判する主体的な能力を育むことで現代文明の本質を捉え直すことにある。ここには近代化批判による現代文明論と主体性の確立という二つの大きな特徴がある。一つ目の特徴は、近代化における科学観・社会観・人間観を構造的・思想的に見直しするために、近代知の権力の座（特権化された場）を移動・転倒させ、固定概念の構造をこじ開けることである。二つ目の特徴は、聴講生自らが近代知批判の複眼的な思考や答えに逢着する過程のなかで、自ら置かれている現状を対象化（＝他者）して、日常世界にそれを重ね合わせて、「自分の居場所探し」（主体性の確立）を確保することである。

講義の内容・授業スケジュール

社会的な問題（現象）を取り上げてコメントし、問題点を指摘して、モダン（近代史）とポストモダン（現代史）のズレとその課題を認識するために、クラス外では文庫本・新書版の読書課題もありますが、本講義の骨子は以下の通りです。

- 1) 総合Ⅳの性格と意義
- 2) 現代という時代の捉え方
- 3) 「プリモダン」・「モダン」と「ポストモダン」という言葉の定義と時代認識の問題
- 4) ルネッサンス以後の人間観・宇宙観・社会観の思想的な変遷
- 5) 言語の恣意性：ラングとパロール（ソシュールの言語観など）
- 6) モダンとポストモダンにおけるヴィジュアル系の変遷：建築の変遷、広告及び世界万博の変遷、エロスの変遷、ファッション・モードの変遷など。
- 7) 理性批判の整理：思想史の観点（ポストモダン）からモダン批判
 - ① プレモダン・モダンという近代史（ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクスなど）
 - ② モダン思想的批判の源泉（ニーチェ・フランクフルト学派・ハイデガーなど）
 - ③ 合理性と非合理性理の問題（マックス・ヴェーバーなど）
 - ④ モダン批判：外部の力と内部の力（ミッシェル・フーコーなど）
- 8) ポストモダンを乗り越えるための主体性の問題
- 9) レヴェュー：アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対する批判

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

平常クラスでの発表（出席率と質疑応答）、前期と後期のリーディング・テスト課題、学年末に提出するターム・ペーパー

教科書

- ・プリント使用：読書課題のリスト配布（レポート作成方法、提出日、提出場所も指示）
- ・多くのプリントを配布しますので、そのファイル用具を用意すること

参考書等

講義のときに、随時指示します。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 総合VI 1〔民族とは何か〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 大野 <small>おおの ゆうじ</small> 祐二 | | | | |

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論（文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など）についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとりまします。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験（またはレポート）、および小テストで評価します。

教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等

原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』（筑摩書房）
吉野耕作著『文化ナショナリズムの社会学』（名古屋大学出版会）
李孝徳著『表象空間の近代』（新曜社）

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 総合VI 2〔イスラム〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 吉田 <small>よしだ きょうこ</small> 京子 | | | | |

講義のねらい

本講義は、イスラームの基本的理念、信仰上の儀礼、日常の規定、宗教思想などについて、概論的講義を行い、初歩的なイスラームの知識を提供するものである。

講義の内容・授業スケジュール

- ①イスラームの預言者ムハンマド
 - ②イスラームの啓典クルアーン
 - ③イスラームの世界観
 - ④イスラームの実践
 - ⑤イスラームの分派
 - ⑥イスラーム神秘主義
- これらの項目を各2～3回ずつ行う予定。

履修上の留意点

授業中の疑問点やコメント回答を毎回提出してもらい、それらに対する返答を習週行う。

成績評価の方法

毎回提出のコメント用紙を出席表とする。出席率（3分の2以上）と試験による総合評価。

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 総合VI 3〔フェミニズム・ジェンダー〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | はやくわ のりよ 早川 紀代 | | | | |

講義のねらい

この世のなかには、男性と女性、女性と男性の両性から成りたっています。この両性の関係は私たちの社会の中で、どんな風に構成されているだろうか。男も女も人間らしくいきでゆくことができる両性関係はどんな関係だろうか。私たちが理想とする両性関係をどんな風にしてつくていったらよいか、皆さんとともに考えます。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- a. ジェンダーってなに？
フェミニズムやジェンダーという考え方がうまれた歴史背景と私たちがもっている女らしさ、男らしさの内容を考えます。
- b. 労働とジェンダー
企業の雇用戦略が大変貌をとげている現在、男女の企業における配置はどのようになっているか、その原因はなにか、雇用機会均等法は機能しているか、家族と労働生活は両立できるのか、など、私たちが直面している問題を考えます。

後期

- c. 家族とジェンダー
皆さんの来歴をたどりながら、現在の家族の変貌、そこからでてくる問題をとりあげ、未来の家族像を考えます。恋愛や結婚、夫妻、親子の歴史を簡単に古代からふりかえりながら、私たちの将来像を考えます。
- d. セクシュアリティとジェンダー
今日程、性のありかたが多様になって、変化している時代はないでしょう。性同一障害やホモセクシャルな関係、性暴力の問題など、人間の性のありかたを考えます。

履修上の留意点

毎回ではありませんが、感想や意見を書いてもらいます。それが出席評価になりますから、就職活動や病気を除いて欠席しないこと。

成績評価の方法

出席回数、夏休みレポート、後期期末試験（論述）によって成績評価する。講義の内容がいかされているかが評価の基準になる。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

資料を随時配布する。

その他

授業は講義、討論、映画鑑賞をふくむ。

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 総合VII 1〔トラブルと法的解決〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | <small>たかはし ひろき</small> 高橋 洋城・ <small>かわぐち ゆきみ</small> 川口 幸美・ <small>たけなか ちか</small> 竹中 智香・ <small>はらだ けいいちろう</small> 原田 啓一郎・ <small>ふじもと しげる</small> 藤本 茂・ <small>まつむら いたる</small> 松村 格 | | | | |

講義のねらい

日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。

法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。

担当教員の順番や講義内容は、KOMSY内の「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。

- 1 高橋 洋城 トラブルが法の問題になるとき
- 2 川口 幸美 現代社会と商法
- 3 藤本 茂 現代雇用社会と労働法
- 4 原田啓一郎 大学生活と社会保障の法的トラブル
- 5 竹中 智香 変化する市民生活と民法
- 6 松村 格 刑事事件と法定手続

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当回数の中で実施する試験（担当教員により、担当枠の最後に試験を実施する場合や毎回小テストを実施する場合がある）の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。

担当教員が実施する試験を2回以上欠席（不受験）した場合には、全体の評価が0点となり、その時点で単位取得が不可能になるので注意して欲しい。

追試験は、講義の形態上、行わない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。六法は毎回忘れずに、持参すること。

| | | | | | |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 総合VII 2〔都市論〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | <small>うちうみ まり</small> <small>うらた さなえ</small> <small>さかい あや</small> <small>はやかわ よしき</small> <small>ほりうち やすし</small> 内海 麻利・浦田 早苗・坂井 文・早川 純貴・堀内 康史 | | | | |

講義のねらい

大都市は多様な問題が集積する場である。過密化と空洞化、犯罪、失業、ゴミ問題、再開発、国際化など。しかしこれらは、独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にほかならない。都市の現状を政治学あるいは社会や建築及び都市計画学の観点から概観し、その将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

5名の講師により、各々4回又は6回の講義を担当する。その順序、時期と講義内容については以下の通り。

- 内海麻利『都市論』ガイダンス（1回：4月）
- 内海麻利「都市計画制度とその動向」（4回：4月・5月）
都市の物的な計画、実現手段である都市計画制度は、土地利用や道路・公園等の都市施設整備、市街地開発など、都市を形成するための様々なルールや仕組みを提供してきた。本講義では、社会情勢を踏まえ着目すべき都市計画制度を概観するとともに、その動向に見られるまちづくりのあり方考える。
- 早川純貴「まちづくりと住民参加」（4回：5月・6月）
いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。
- 浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」（4回：6月・7月）
イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、居住などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。
- 堀内康史 「都市とコミュニティ」（6回：9月・10月）
都市を社会学的な視点からとらえ、都市における人間関係（あるいはコミュニティ）を中心に見ていく。都市化とコミュニティの変化、社会階層とコミュニティの関係、グローバリゼーションとコミュニティの変化、などのテーマを考察していく。
- 坂井 文「都市を公共空間から読む」（6回：11月・12月）
都市の形成とともに、広場や公園などの近代公共空間は形成されてきた。公園の誕生にとともに、伝統的な都市空間の社会的な意味はどう変化してきたのだろうか。ロンドンと江戸・東京の都市の歴史を振り返り、また現在の政策を考察しながら、都市における公共空間のあり方考える。

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判断し、それらを内海が総合して評価する。

3. 外国語科目

3. 外国語科目

〔英語〕

| 科目名 | 曜日・時間 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|--------------------|-------|---------|------|----|--------|-----|
| 英語IA | 土1 | 法A1年 | 通年 | 2 | 増田 恵子 | 195 |
| 英語IA | 土1 | 法A1年 | 通年 | 2 | 岩原 康夫 | 195 |
| 英語IA | 土1 | 法A1年 | 通年 | 2 | 熊沢 和明 | 196 |
| 英語IA | 土1 | 法A1年 | 通年 | 2 | 飯沼 好永 | 196 |
| 英語IA | 土1 | 法A1年 | 通年 | 2 | 依田 里花 | 197 |
| 英語IA | 土1 | 法A1年 | 通年 | 2 | 山岸 二郎 | 197 |
| 英語IA | 土1 | 法A1年 | 通年 | 2 | 真砂 久晃 | 198 |
| 英語IA | 土2 | 政1年 | 通年 | 2 | 西原 克政 | 198 |
| 英語IA | 土2 | 政1年 | 通年 | 2 | 手島 敬子 | 199 |
| 英語IA | 土2 | 政1年 | 通年 | 2 | 依田 里花 | 199 |
| 英語IA | 土2 | 政1年 | 通年 | 2 | 田中 靖子 | 200 |
| 英語IA | 土2 | 政1年 | 通年 | 2 | 吉沢 栄治郎 | 200 |
| 英語IA 【〔基礎英語特別クラス〕】 | 月1 | 法A政営A1年 | 通年 | 2 | 牧野 輝良 | 201 |
| 英語IB | 水3 | 法A1年 | 通年 | 2 | 木元 喜久子 | 202 |
| 英語IB | 水3 | 法A1年 | 通年 | 2 | 藤井 道行 | 202 |
| 英語IB | 水3 | 法A1年 | 通年 | 2 | 海琳 泰子 | 203 |
| 英語IB | 水3 | 法A1年 | 通年 | 2 | 亀田 三重子 | 203 |
| 英語IB | 水1 | 法A1年 | 通年 | 2 | 木元 喜久子 | 204 |
| 英語IB | 水1 | 法A1年 | 通年 | 2 | 藤井 道行 | 204 |
| 英語IB | 水1 | 法A1年 | 通年 | 2 | 海琳 泰子 | 205 |
| 英語IB | 水2 | 政1年 | 通年 | 2 | 木元 喜久子 | 205 |
| 英語IB | 水2 | 政1年 | 通年 | 2 | 藤井 道行 | 206 |
| 英語IB | 水2 | 政1年 | 通年 | 2 | 海琳 泰子 | 206 |
| 英語IB | 水2 | 政1年 | 通年 | 2 | 濱口 真木 | 207 |
| 英語IB | 水2 | 政1年 | 通年 | 2 | 亀田 三重子 | 207 |
| 英語IB 【〔基礎英語特別クラス〕】 | 水4 | 法A政1年 | 通年 | 2 | 濱口 真木 | 208 |
| 英語IIA | 金2 | 法A2年 | 通年 | 2 | 照山 雄彦 | 209 |
| 英語IIA | 金2 | 法A2年 | 通年 | 2 | 西田 義和 | 209 |
| 英語IIA | 金2 | 法A2年 | 通年 | 2 | 市川 仁 | 210 |
| 英語IIA | 金2 | 法A2年 | 通年 | 2 | 塚本 利男 | 210 |
| 英語IIA | 木3 | 法A2年 | 通年 | 2 | 堀 千和子 | 211 |
| 英語IIA | 木3 | 法A2年 | 通年 | 2 | 尾上 典子 | 211 |
| 英語IIA | 木3 | 法A2年 | 通年 | 2 | 加藤 佐和子 | 212 |
| 英語IIA | 金4 | 政2年 | 通年 | 2 | 風間 則比古 | 212 |
| 英語IIA | 金4 | 政2年 | 通年 | 2 | 木村 正俊 | 213 |
| 英語IIA | 金4 | 政2年 | 通年 | 2 | 古富 猛 | 213 |
| 英語IIA | 金4 | 政2年 | 通年 | 2 | 岩永 祥恵 | 214 |
| 英語IIA | 金4 | 政2年 | 通年 | 2 | 永野 光一 | 214 |
| 英語IIB | 火3 | 法A2年 | 通年 | 2 | 鈴木 美貴子 | 215 |
| 英語IIB | 火3 | 法A2年 | 通年 | 2 | 林 明人 | 215 |

外国語

| | | | | | | |
|-------|----|------|----|---|--------|-----|
| 英語IIB | 火3 | 法A2年 | 通年 | 2 | 岡崎 寿一郎 | 216 |
| 英語IIB | 火3 | 法A2年 | 通年 | 2 | 岡本 誠 | 216 |
| 英語IIB | 金1 | 法A2年 | 通年 | 2 | 太田 雅子 | 217 |
| 英語IIB | 金1 | 法A2年 | 通年 | 2 | 安齋 薫 | 217 |
| 英語IIB | 金1 | 法A2年 | 通年 | 2 | 池上 賀英子 | 218 |
| 英語IIB | 火1 | 政2年 | 通年 | 2 | 三幣 友行 | 218 |
| 英語IIB | 火1 | 政2年 | 通年 | 2 | 岸本 茂和 | 219 |
| 英語IIB | 火1 | 政2年 | 通年 | 2 | 岩山 義春 | 219 |
| 英語IIB | 火1 | 政2年 | 通年 | 2 | 足田 和人 | 220 |
| 英語IIB | 火1 | 政2年 | 通年 | 2 | 鈴木 美貴子 | 220 |
| 英語IID | 水2 | 法A2年 | 通年 | 2 | 前田 脩 | 221 |
| 英語IID | 水2 | 法A2年 | 通年 | 2 | 川崎 浩太郎 | 221 |
| 英語IID | 水2 | 法A2年 | 通年 | 2 | 真砂 久晃 | 222 |
| 英語IID | 水2 | 法A2年 | 通年 | 2 | 水崎 野里子 | 222 |
| 英語IID | 水2 | 法A2年 | 通年 | 2 | 外池 一子 | 223 |
| 英語IID | 水2 | 法A2年 | 通年 | 2 | 牧野 輝良 | 223 |
| 英語IID | 水2 | 法A2年 | 通年 | 2 | 岸本 茂和 | 224 |
| 英語IID | 水2 | 法A2年 | 通年 | 2 | 三芳 康義 | 224 |
| 英語IID | 水2 | 法A2年 | 通年 | 2 | 朝川 真紀 | 225 |
| 英語IID | 土1 | 政2年 | 通年 | 2 | 田中 靖子 | 225 |
| 英語IID | 土1 | 政2年 | 通年 | 2 | 西原 克政 | 226 |
| 英語IID | 土1 | 政2年 | 通年 | 2 | 広川 治 | 226 |
| 英語IID | 土2 | 政2年 | 通年 | 2 | 増田 恵子 | 227 |
| 英語IID | 土2 | 政2年 | 通年 | 2 | 飯沼 好永 | 227 |
| 英語IID | 土2 | 政2年 | 通年 | 2 | 山岸 二郎 | 227 |

【ドイツ語】

| 科目名 | 曜日・時限 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|---------|-------|----------------|------|----|--------|-----|
| ドイツ語IA | 木4 | 法A1年 政1年 | 通年 | 2 | 河上 和史 | 228 |
| ドイツ語IB | 月1 | 法A1年 政1年 | 通年 | 2 | 柴野 博子 | 228 |
| ドイツ語IIA | 月3 | 国地文環境日外考商政営A2年 | 通年 | 2 | 柴野 博子 | 229 |
| ドイツ語IIA | 月3 | 国地文環境日外考商政営A2年 | 通年 | 2 | 飯塚 公夫 | 229 |
| ドイツ語IIA | 水3 | 禅仏英経A法A2年 | 通年 | 2 | 柴野 博子 | 230 |
| ドイツ語IIA | 水3 | 禅仏英経A法A2年 | 通年 | 2 | 本橋 右京 | 230 |
| ドイツ語IIB | 月4 | 禅仏経A法A2年 | 通年 | 2 | 飯塚 公夫 | 231 |
| ドイツ語IIB | 水2 | 国日外考商政2年 | 通年 | 2 | 薮下 紘一 | 231 |
| ドイツ語IIB | 水2 | 国日外考商政2年 | 通年 | 2 | 森 公成 | 232 |
| ドイツ語IID | 木2 | 法A2年 政2年 | 通年 | 2 | 志真 斗美恵 | 232 |

【フランス語】

| 科目名 | 曜日・時限 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|---------|-------|-------------|------|----|-------|-----|
| フランス語IA | 木4 | 法A1年 政1年 | 通年 | 2 | 伊藤 なお | 233 |

| | | | | | | |
|----------|----|--------------------|----|---|-------|-----|
| フランス語IB | 月1 | 法A1年 政1年 | 通年 | 2 | 遠山 博雄 | 233 |
| フランス語IIA | 月3 | 国地文環境日外考商政営A2 年 | 通年 | 2 | 遠山 博雄 | 234 |
| フランス語IIA | 月3 | 国地文環境日外考商政営A2 年 | 通年 | 2 | 前田 祝一 | 234 |
| フランス語IIA | 水3 | 禅仏英経A法A2年 | 通年 | 2 | 小玉 齊夫 | 235 |
| フランス語IIA | 水3 | 禅仏英経A法A2年 | 通年 | 2 | 遠山 博雄 | 235 |
| フランス語IIB | 月4 | 禅仏経A法A2年 | 通年 | 2 | 菅谷 暁 | 236 |
| フランス語IIB | 水2 | 国日外考商政2年 | 通年 | 2 | 畑中 千晶 | 236 |
| フランス語IIB | 水2 | 国日外考商政2年 | 通年 | 2 | 小玉 齊夫 | 237 |
| フランス語IID | 木2 | 法A2年 政2年 | 通年 | 2 | 小玉 齊夫 | 237 |

〔中国語〕

| 科目名 | 曜日・時間 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|--------|-------|--------------------|------|----|--------|-----|
| 中国語IA | 木4 | 法A1年 政1年 | 通年 | 2 | 三田村 圭子 | 239 |
| 中国語IB | 月1 | 法A1年 政1年 | 通年 | 2 | 李 雲 | |
| 中国語IA | 木4 | 法A1年 政1年 | 通年 | 2 | 岩崎 皇 | 240 |
| 中国語IB | 月1 | 法A1年 政1年 | 通年 | 2 | 岩崎 皇 | |
| 中国語IIA | 月3 | 国地文環境日外考商政営A2 年 | 通年 | 2 | 橋本 幸枝 | 240 |
| 中国語IIA | 月3 | 国地文環境日外考商政営A2 年 | 通年 | 2 | 福地 桂子 | 241 |
| 中国語IIA | 月3 | 国地文環境日外考商政営A2 年 | 通年 | 2 | 児島 弘一郎 | 241 |
| 中国語IIA | 月3 | 国地文環境日外考商政営A2 年 | 通年 | 2 | 弘兼 加奈子 | 242 |
| 中国語IIA | 月3 | 国地文環境日外考商政営A2 年 | 通年 | 2 | 江林 英基 | 242 |
| 中国語IIA | 水3 | 禅仏英経A法A2年 | 通年 | 2 | 秋元 翼 | 242 |
| 中国語IIA | 水3 | 禅仏英経A法A2年 | 通年 | 2 | 児島 弘一郎 | 243 |
| 中国語IIA | 水3 | 禅仏英経A法A2年 | 通年 | 2 | 李 雲 | 243 |
| 中国語IIA | 水3 | 禅仏英経A法A2年 | 通年 | 2 | 岩崎 皇 | 244 |
| 中国語IIB | 月4 | 禅仏経A法A2年 | 通年 | 2 | 橋本 幸枝 | 244 |
| 中国語IIB | 月4 | 禅仏経A法A2年 | 通年 | 2 | 梅田 雅子 | 245 |
| 中国語IIB | 月4 | 禅仏経A法A2年 | 通年 | 2 | 弘兼 加奈子 | 245 |
| 中国語IIB | 水2 | 国日外考商政2年 | 通年 | 2 | 根岸 政子 | 246 |
| 中国語IIB | 水2 | 国日外考商政2年 | 通年 | 2 | 秋元 翼 | 246 |
| 中国語IIB | 水2 | 国日外考商政2年 | 通年 | 2 | 岩崎 皇 | 247 |
| 中国語IIB | 水2 | 国日外考商政2年 | 通年 | 2 | 児島 弘一郎 | 247 |
| 中国語IID | 木2 | 法A2年 政2年 | 通年 | 2 | 佐藤 普美子 | 248 |
| 中国語IID | 木2 | 法A2年 政2年 | 通年 | 2 | 天野 節 | 248 |

〔スペイン語〕

| 科目名 | 曜日・時間 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|----------|-------|--------------------|------|----|---------------|-----|
| スペイン語IA | 木 4 | 法A1年 政1年 | 通年 | 2 | 萩野 雅司 | 249 |
| スペイン語IA | 木 4 | 法A1年 政1年 | 通年 | 2 | 齋藤 明美 | 249 |
| スペイン語IB | 月 1 | 法A1年 政1年 | 通年 | 2 | 上野 勝広 | 250 |
| スペイン語IB | 月 1 | 法A1年 政1年 | 通年 | 2 | 真下 祐一 | 250 |
| スペイン語IIA | 月 3 | 国地文環境日外考商政営A2 年 | 通年 | 2 | 真下 祐一 | 251 |
| スペイン語IIA | 月 3 | 国地文環境日外考商政営A2 年 | 通年 | 2 | 上野 勝広 | 251 |
| スペイン語IIA | 水 3 | 禅仏英経A法A2年 | 通年 | 2 | 大岩 功 | 252 |
| スペイン語IIA | 水 3 | 禅仏英経A法A2年 | 通年 | 2 | 真下 祐一 | 252 |
| スペイン語IIB | 月 4 | 禅仏経A法A2年 | 通年 | 2 | 大岩 功 | 253 |
| スペイン語IIB | 水 2 | 国日外考商政2年 | 通年 | 2 | 大岩 功 | 253 |
| スペイン語IID | 木 2 | 法A2年 政2年 | 通年 | 2 | ナバロ、ホワ ンJ. | 254 |

〔ロシア語〕

| 科目名 | 曜日・時間 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|---------|-------|--------------------|------|----|----------------|-----|
| ロシア語IA | 木 4 | 法A1年 政1年 | 通年 | 2 | 大須賀 史和 | 256 |
| ロシア語IB | 月 1 | 法A1年 政1年 | 通年 | 2 | 木村 英明 | 257 |
| ロシア語IIA | 月 3 | 国地文環境日外考商政営A2 年 | 通年 | 2 | 木村 英明 | 257 |
| ロシア語IIA | 水 3 | 禅仏英経A法A2年 | 通年 | 2 | 杉山 秀子 佐藤 和子 | 258 |
| ロシア語IIB | 月 4 | 禅仏経A法A2年 | 通年 | 2 | 木村 英明 | 258 |
| ロシア語IIB | 水 2 | 国日外考商政2年 | 通年 | 2 | 佐野 朝子 | 259 |
| ロシア語IID | 木 2 | 法A2年 政2年 | 通年 | 2 | クロチコフ、 Y. | 259 |

《再 クラス》

〔英 語〕

| 科 目 名 | 曜日・時間 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|-------------|-------|-------------------|------|----|--------|-----|
| 英語IA〔再クラス〕 | 月1 | 全学科（フレB除く）234年 | 通年 | 2 | 濱口 真木 | 307 |
| 英語IA〔再クラス〕 | 月1 | 全学科（フレB除く）234年 | 通年 | 2 | 松堂 啓子 | 307 |
| 英語IA〔再クラス〕 | 月2 | 全学科（フレB除く）234年 | 通年 | 2 | 岩井 洋美 | 308 |
| 英語IA〔再クラス〕 | 月2 | 全学科（フレB除く）234年 | 通年 | 2 | 牧野 輝良 | 308 |
| 英語IA〔再クラス〕 | 土3 | 全学科（フレB除く）234年 | 通年 | 2 | 熊沢 和明 | 309 |
| 英語IA〔再クラス〕 | 火5 | 全学科（フレB除く）234年 | 通年 | 2 | 埜 美智子 | 309 |
| 英語IA〔再クラス〕 | 木2 | 全学科（フレB除く）234年 | 通年 | 2 | 丸小 哲雄 | 310 |
| 英語IA〔再クラス〕 | 木3 | 全学科（フレB除く）234年 | 通年 | 2 | 近藤 真影 | 310 |
| 英語IA〔再クラス〕 | 土1 | 全学科（フレB除く）234年 | 通年 | 2 | 岡本 誠 | 311 |
| 英語IA〔再クラス〕 | 土3 | 全学科（フレB除く）234年 | 通年 | 2 | 岩原 康夫 | 311 |
| 英語IA〔再クラス〕 | 土2 | 全学科（フレB除く）234年 | 通年 | 2 | 熊沢 和明 | 312 |
| 英語IB〔再クラス〕 | 月1 | 全学科（フレB除く）234年 | 通年 | 2 | 高見 陽子 | 312 |
| 英語IB〔再クラス〕 | 月4 | 全学科（フレB除く）234年 | 通年 | 2 | 菅原 典子 | 313 |
| 英語IB〔再クラス〕 | 月5 | 全学科（フレB除く）234年 | 通年 | 2 | 佐藤 江里子 | 313 |
| 英語IB〔再クラス〕 | 水1 | 全学科（フレB除く）234年 | 通年 | 2 | 落合 和昭 | 314 |
| 英語IB〔再クラス〕 | 木2 | 全学科（フレB除く）234年 | 通年 | 2 | 高柳 文江 | 314 |
| 英語IB〔再クラス〕 | 土3 | 全学科（フレB除く）234年 | 通年 | 2 | 山岸 二郎 | 315 |
| 英語IB〔再クラス〕 | 木3 | 全学科（フレB除く）234年 | 通年 | 2 | 太田 由紀子 | 315 |
| 英語IIA〔再クラス〕 | 月4 | 全学科（フレB除く）34年 | 通年 | 2 | 竹村 恵都子 | 316 |
| 英語IIA〔再クラス〕 | 月5 | 全学科（フレB除く）34年 | 通年 | 2 | 山口 晃 | 316 |
| 英語IIA〔再クラス〕 | 火4 | 全学科（フレB除く）34年 | 通年 | 2 | 三幣 友行 | 317 |
| 英語IIA〔再クラス〕 | 火4 | 全学科（フレB除く）34年 | 通年 | 2 | 澤田 真弓 | 317 |
| 英語IIA〔再クラス〕 | 水1 | 全学科（フレB除く）34年 | 通年 | 2 | 前田 脩 | 318 |
| 英語IIA〔再クラス〕 | 木2 | 全学科（フレB除く）34年 | 通年 | 2 | 外池 一子 | 318 |
| 英語IIA〔再クラス〕 | 木3 | 全学科（フレB除く）34年 | 通年 | 2 | 古富 猛 | 319 |
| 英語IIA〔再クラス〕 | 土3 | 全学科（フレB除く）34年 | 通年 | 2 | 飯沼 好永 | 319 |
| 英語IIB〔再クラス〕 | 月4 | 禅仏国英歴日外考経商現法A政34年 | 通年 | 2 | 岡崎 寿一郎 | 320 |
| 英語IIB〔再クラス〕 | 月4 | 禅仏国英歴日外考経商現法A政34年 | 通年 | 2 | 大淵 利春 | 320 |
| 英語IIB〔再クラス〕 | 月4 | 禅仏国英歴日外考経商現法A政34年 | 通年 | 2 | 佐藤 アヤ子 | 321 |
| 英語IIB〔再クラス〕 | 月5 | 禅仏国英歴日外考経商現法A政34年 | 通年 | 2 | 安齋 薫 | 321 |
| 英語IIB〔再クラス〕 | 月5 | 禅仏国英歴日外考経商現法A政34年 | 通年 | 2 | 芝田 興太郎 | 321 |
| 英語IIB〔再クラス〕 | 水1 | 禅仏国英歴日外考経商現法A政34年 | 通年 | 2 | 矢島 直子 | 322 |
| 英語IIB〔再クラス〕 | 水1 | 禅仏国英歴日外考経商現法A政34年 | 通年 | 2 | 相馬 美明 | 322 |
| 英語IIB〔再クラス〕 | 土3 | 禅仏国英歴日外考経商現法A政34年 | 通年 | 2 | 本間 俊一 | 323 |

| | | | | | | |
|-------------|----|-------------------|----|---|--------|-----|
| 英語IIB〔再クラス〕 | 土3 | 禅仏国英歴日外考経商現法A政34年 | 通年 | 2 | 手島 敬子 | 323 |
| 英語IID〔再クラス〕 | 水2 | 法A34年 | 通年 | 2 | 前田 脩 | 221 |
| 英語IID〔再クラス〕 | 水2 | 法A34年 | 通年 | 2 | 川崎 浩太郎 | 221 |
| 英語IID〔再クラス〕 | 水2 | 法A34年 | 通年 | 2 | 真砂 久晃 | 222 |
| 英語IID〔再クラス〕 | 水2 | 法A34年 | 通年 | 2 | 水崎 野里子 | 222 |
| 英語IID〔再クラス〕 | 水2 | 法A34年 | 通年 | 2 | 外池 一子 | 223 |
| 英語IID〔再クラス〕 | 水2 | 法A34年 | 通年 | 2 | 牧野 輝良 | 223 |
| 英語IID〔再クラス〕 | 水2 | 法A34年 | 通年 | 2 | 岸本 茂和 | 224 |
| 英語IID〔再クラス〕 | 水2 | 法A34年 | 通年 | 2 | 三芳 康義 | 224 |
| 英語IID〔再クラス〕 | 水2 | 法A34年 | 通年 | 2 | 朝川 真紀 | 225 |
| 英語IID〔再クラス〕 | 土1 | 政34年 | 通年 | 2 | 田中 靖子 | 225 |
| 英語IID〔再クラス〕 | 土1 | 政34年 | 通年 | 2 | 西原 克政 | 226 |
| 英語IID〔再クラス〕 | 土1 | 政34年 | 通年 | 2 | 広川 治 | 226 |
| 英語IID〔再クラス〕 | 土2 | 政34年 | 通年 | 2 | 増田 恵子 | 227 |
| 英語IID〔再クラス〕 | 土2 | 政34年 | 通年 | 2 | 飯沼 好永 | 227 |
| 英語IID〔再クラス〕 | 土2 | 政34年 | 通年 | 2 | 山岸 二郎 | 227 |

〔ドイツ語〕

| 科目名 | 曜日・時限 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|---------------|-------|-------------------------|------|----|--------|-----|
| ドイツ語IA〔再クラス〕 | 水5 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 本橋 右京 | 324 |
| ドイツ語IA〔再クラス〕 | 木1 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 志真 斗美恵 | 324 |
| ドイツ語IA〔再クラス〕 | 土4 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 南 はるつ | 325 |
| ドイツ語IA〔再クラス〕 | 金4 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 井村 行子 | 325 |
| ドイツ語IA〔再クラス〕 | 土3 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 杉本 正俊 | 326 |
| ドイツ語IB〔再クラス〕 | 月5 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 飯塚 公夫 | 326 |
| ドイツ語IB〔再クラス〕 | 火5 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 岡本 時子 | 327 |
| ドイツ語IB〔再クラス〕 | 土4 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 杉本 正俊 | 327 |
| ドイツ語IB〔再クラス〕 | 土3 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 岡本 時子 | 328 |
| ドイツ語IIA〔再クラス〕 | 水1 | 禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 | 通年 | 2 | 森 公成 | 328 |
| ドイツ語IIB〔再クラス〕 | 水1 | 禅仏国歴日外考経商現法A政34年 | 通年 | 2 | 森 公成 | |
| ドイツ語IIA〔再クラス〕 | 水4 | 禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 | 通年 | 2 | 本橋 右京 | 329 |
| ドイツ語IIB〔再クラス〕 | 水4 | 禅仏国歴日外考経商現法A政34年 | 通年 | 2 | 本橋 右京 | 329 |
| ドイツ語IIA〔再クラス〕 | 土3 | 禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 | 通年 | 2 | 南 はるつ | |
| ドイツ語IIB〔再クラス〕 | 土3 | 禅仏国歴日外考経商現法A政34年 | 通年 | 2 | 南 はるつ | |
| ドイツ語IID〔再クラス〕 | 木2 | 法A政34年 | 通年 | 2 | 志真 斗美恵 | 232 |

〔フランス語〕

| 科目名 | 曜日・時限 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|---------------|-------|----------------|------|----|-------|-----|
| フランス語IA〔再クラス〕 | 月5 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 前田 祝一 | 330 |
| フランス語IA〔再クラス〕 | 火5 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 芦原 眷 | 330 |
| フランス語IA〔再クラス〕 | 木1 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 小玉 齊夫 | 331 |

| | | | | | | |
|----------------|----|-----------------------------|----|---|--------|-----|
| フランス語IA〔再クラス〕 | 金1 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 菅原 猛 | 331 |
| フランス語IA〔再クラス〕 | 土3 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 谷川 かおる | 332 |
| フランス語IB〔再クラス〕 | 月5 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 菅谷 暁 | 332 |
| フランス語IB〔再クラス〕 | 火5 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 今関 アン | 333 |
| フランス語IB〔再クラス〕 | 木5 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 伊藤 なお | 333 |
| フランス語IB〔再クラス〕 | 土4 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 谷川 かおる | 334 |
| フランス語IIA〔再クラス〕 | 水1 | 禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年 | 通年 | 2 | 畑中 千晶 | 334 |
| フランス語IIB〔再クラス〕 | 水1 | 禅仏国歴日外考経商現法A政 34年 | 通年 | 2 | 畑中 千晶 | |
| フランス語IIA〔再クラス〕 | 水4 | 禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年 | 通年 | 2 | 沼倉 広子 | 335 |
| フランス語IIB〔再クラス〕 | 水4 | 禅仏国歴日外考経商現法A政 34年 | 通年 | 2 | 沼倉 広子 | |
| フランス語IIA〔再クラス〕 | 土3 | 禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年 | 通年 | 2 | 前田 祝一 | 335 |
| フランス語IIB〔再クラス〕 | 土3 | 禅仏国歴日外考経商現法A政 34年 | 通年 | 2 | 前田 祝一 | |
| フランス語IID〔再クラス〕 | 木2 | 法A政34年 | 通年 | 2 | 小玉 齊夫 | 237 |

〔中国語〕

| 科目名 | 曜日・時限 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|--------------|-------|-----------------------------|------|----|--------|-----|
| 中国語IA〔再クラス〕 | 月5 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 児島 弘一郎 | 336 |
| 中国語IB〔再クラス〕 | 月5 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 児島 弘一郎 | |
| 中国語IA〔再クラス〕 | 火5 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 本間 由香利 | 336 |
| 中国語IB〔再クラス〕 | 火5 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 本間 由香利 | |
| 中国語IA〔再クラス〕 | 木1 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 天野 節 | 337 |
| 中国語IB〔再クラス〕 | 木1 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 天野 節 | |
| 中国語IA〔再クラス〕 | 金1 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 児島 弘一郎 | 337 |
| 中国語IB〔再クラス〕 | 金1 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 児島 弘一郎 | |
| 中国語IA〔再クラス〕 | 土3 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 張 渭涛 | 338 |
| 中国語IB〔再クラス〕 | 土3 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 張 渭涛 | |
| 中国語IA〔再クラス〕 | 土4 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 弘兼 加奈子 | 338 |
| 中国語IB〔再クラス〕 | 土4 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 弘兼 加奈子 | |
| 中国語IA〔再クラス〕 | 土3 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 蘭 明 | 339 |
| 中国語IB〔再クラス〕 | 土3 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 蘭 明 | |
| 中国語IIA〔再クラス〕 | 月5 | 禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年 | 通年 | 2 | 梅田 雅子 | 339 |
| 中国語IIA〔再クラス〕 | 木5 | 禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年 | 通年 | 2 | 岩崎 皇 | 340 |
| 中国語IIA〔再クラス〕 | 土3 | 禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年 | 通年 | 2 | 大久保 明男 | 340 |
| 中国語IIB〔再クラス〕 | 水4 | 禅仏国歴日外考経商現法A政 34年 | 通年 | 2 | 李 雲 | 341 |
| 中国語IIB〔再クラス〕 | 水5 | 禅仏国歴日外考経商現法A政 34年 | 通年 | 2 | 李 雲 | 341 |

| | | | | | | |
|--------------|----|------------------|----|---|--------|-----|
| 中国語IIB〔再クラス〕 | 土4 | 禅仏国歴日外考経商現法A政34年 | 通年 | 2 | 蘭明 | 342 |
| 中国語IID〔再クラス〕 | 木2 | 法A政34年 | 通年 | 2 | 佐藤 普美子 | 248 |
| 中国語IIB〔再クラス〕 | 木2 | 法A政34年 | 通年 | 2 | 天野 節 | 248 |

外国語

〔スペイン語〕

| 科目名 | 曜日・時限 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|----------------|-------|-------------------------|------|----|-----------|-----|
| スペイン語IA〔再クラス〕 | 水5 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 大岩 功 | 343 |
| スペイン語IB〔再クラス〕 | 水5 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 大岩 功 | |
| スペイン語IA〔再クラス〕 | 金1 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 齋藤 明美 | 343 |
| スペイン語IB〔再クラス〕 | 金1 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 齋藤 明美 | |
| スペイン語IA〔再クラス〕 | 土4 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 亀山 晃一 | 344 |
| スペイン語IB〔再クラス〕 | 土4 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 亀山 晃一 | |
| スペイン語IA〔再クラス〕 | 月5 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 大岩 功 | 344 |
| スペイン語IB〔再クラス〕 | 月5 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 大岩 功 | |
| スペイン語IA〔再クラス〕 | 土3 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 荻野 恵 | 345 |
| スペイン語IB〔再クラス〕 | 土3 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 荻野 恵 | |
| スペイン語IA〔再クラス〕 | 土3 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 佐藤 麻里乃 | 345 |
| スペイン語IB〔再クラス〕 | 土3 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 佐藤 麻里乃 | |
| スペイン語IIA〔再クラス〕 | 水1 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 齋藤 明美 | 345 |
| スペイン語IIB〔再クラス〕 | 水1 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 齋藤 明美 | |
| スペイン語IIA〔再クラス〕 | 水4 | 禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 | 通年 | 2 | 大岩 功 | 346 |
| スペイン語IIB〔再クラス〕 | 水4 | 禅仏国歴日外考経商現法A政34年 | 通年 | 2 | 大岩 功 | |
| スペイン語IIA〔再クラス〕 | 土3 | 禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 | 通年 | 2 | 亀山 晃一 | 346 |
| スペイン語IIB〔再クラス〕 | 土3 | 禅仏国歴日外考経商現法A政34年 | 通年 | 2 | 亀山 晃一 | |
| スペイン語IID〔再クラス〕 | 木2 | 法A政34年 | 通年 | 2 | ナバロ、ホワンJ. | 254 |

〔ロシア語〕

| 科目名 | 曜日・時限 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|---------------|-------|-------------------------|------|----|----------------|-----|
| ロシア語IA〔再クラス〕 | 火5 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 杉山 秀子 廣田 英靖 | 347 |
| ロシア語IB〔再クラス〕 | 火5 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 杉山 秀子 廣田 英靖 | |
| ロシア語IA〔再クラス〕 | 水1 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 佐野 朝子 | 347 |
| ロシア語IB〔再クラス〕 | 水1 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 佐野 朝子 | |
| ロシア語IA〔再クラス〕 | 金1 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 木村 英明 | 348 |
| ロシア語IB〔再クラス〕 | 金1 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 木村 英明 | |
| ロシア語IA〔再クラス〕 | 土4 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 安德 ニーナ | 348 |
| ロシア語IB〔再クラス〕 | 土4 | 全学科(フレB除く)234年 | 通年 | 2 | 安德 ニーナ | |
| ロシア語IIA〔再クラス〕 | 火4 | 禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 | 通年 | 2 | クロチコフ、Y. | 349 |
| ロシア語IIB〔再クラス〕 | 火4 | 禅仏国歴日外考経商現法A政34年 | 通年 | 2 | クロチコフ、Y. | |

| | | | | | | |
|---------------|----|-------------------------|----|---|----------|-----|
| ロシア語IIA〔再クラス〕 | 木5 | 禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 | 通年 | 2 | 大須賀 史和 | 349 |
| ロシア語IIB〔再クラス〕 | 木5 | 禅仏国歴日外考経商現法A政34年 | 通年 | 2 | 大須賀 史和 | |
| ロシア語IIA〔再クラス〕 | 土3 | 禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 | 通年 | 2 | 安德 ニーナ | 350 |
| ロシア語IIB〔再クラス〕 | 土3 | 禅仏国歴日外考経商現法A政34年 | 通年 | 2 | 安德 ニーナ | |
| ロシア語IID〔再クラス〕 | 木2 | 法A政34年 | 通年 | 2 | クロチコフ、Y. | 259 |

《選 択 科 目》

| 科 目 名 | 曜日・時限 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|----------|-------|-------------------------------|------|----|-------------|-----|
| 英文講読 | 水1 | 禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | 通年 | 4 | 林 明人 | 260 |
| 英文講読 | 水2 | 禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | 通年 | 4 | 矢島 直子 | 260 |
| 英文講読 | 水1 | 禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | 通年 | 4 | 牧野 輝良 | 261 |
| 時事英語研究 | 月4 | 禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | 通年 | 4 | 高野 秀夫 | 261 |
| 時事英語研究 | 火2 | 禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | 通年 | 4 | 林 明人 | 262 |
| 時事英語研究 | 火2 | 禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | 通年 | 4 | 岸本 茂和 | 262 |
| 時事英語研究 | 月4 | 禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | 通年 | 4 | 落合 和昭 | 263 |
| 時事英語研究 | 月4 | 禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | 通年 | 4 | 矢島 直子 | 263 |
| マルチ・メディア | 火5 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | 通年 | 2 | 落合 和昭 | 264 |
| マルチ・メディア | 木4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | 通年 | 2 | 大庭 直樹 | 265 |
| マルチ・メディア | 火1 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | 通年 | 2 | 西村 祐子 | 266 |
| マルチ・メディア | 水3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | 通年 | 2 | 大庭 直樹 | 267 |
| 英会話I | 月1 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 | 通年 | 2 | ロビン、 G. F. | 267 |
| 英会話I | 月2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 | 通年 | 2 | ロビン、 G. F. | 268 |
| 英会話I | 火1 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 | 通年 | 2 | ウェルズ、 J. K. | 269 |

外国語

| | | | | | | |
|--------|-----|---------------------------------------|----|---|------------------|-----|
| 英会話I | 火 3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選 | 通年 | 2 | ウェルズ、 J. K. | 270 |
| 英会話I | 水 2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選 | 通年 | 2 | ソルタ、 P. N. F. | 271 |
| 英会話I | 水 3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選 | 通年 | 2 | ソルタ、 P. N. F. | 272 |
| 英会話I | 木 2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選 | 通年 | 2 | レーン、 C. M. | 273 |
| 英会話I | 木 3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選 | 通年 | 2 | レーン、 C. M. | 274 |
| 英会話I | 金 3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選 | 通年 | 2 | ピアス、 D. M. | 275 |
| 英会話I | 金 4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選 | 通年 | 2 | ピアス、 D. M. | 276 |
| 英会話I | 土 1 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選 | 通年 | 2 | レイン、 R. V. | 277 |
| 英会話I | 土 2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選 | 通年 | 2 | ラッセル、 S. J. | 278 |
| 英会話II | 水 1 | 全学科(フレB除く)234選 | 通年 | 2 | ソルタ、 P. N. F. | 279 |
| 英会話II | 土 1 | 全学科(フレB除く)234選 | 通年 | 2 | ラッセル、 S. J. | 280 |
| 英会話II | 土 2 | 全学科(フレB除く)234選 | 通年 | 2 | レイン、 R. V. | 281 |
| 英会話III | 火 2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 | 通年 | 2 | ウェルズ、 J. K. | 282 |
| 英会話III | 木 2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 | 通年 | 2 | ピアス、 D. M. | 283 |
| 英語LLI | 月 2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選 | 通年 | 2 | 西村 祐子 | 284 |
| 英語LLI | 火 3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選 | 通年 | 2 | 埴 美智子 | 284 |
| 英語LLI | 火 4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選 | 通年 | 2 | 埴 美智子 | 285 |

| | | | | | | |
|------------------|----|---------------------------------------|----|---|-----------|-----|
| 英語LLI | 水3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選 | 通年 | 2 | 西村 祐子 | 285 |
| 英語LLI | 木3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選 | 通年 | 2 | 外池 一子 | 286 |
| 英語LLI | 木4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選 | 通年 | 2 | 外池 一子 | 287 |
| 英語LLI | 金2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選 | 通年 | 2 | 甲斐 捷子 | 288 |
| 英語LLI | 土2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選 | 通年 | 2 | 久保 ひさ子 | 288 |
| 英語LLII | 月3 | 全学科(フレB除く)234選 | 通年 | 2 | 西村 祐子 | 289 |
| 英語LLII | 木2 | 全学科(フレB除く)234選 | 通年 | 2 | 高橋 明子 | 289 |
| 英語LLII | 金3 | 全学科(フレB除く)234選 | 通年 | 2 | 甲斐 捷子 | 290 |
| 英語LLIII | 火2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 | 通年 | 2 | 甲斐 捷子 | 290 |
| 英語LLIII | 水2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 | 通年 | 2 | 西村 祐子 | 291 |
| 英語LLIII | 土3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 | 通年 | 2 | 久保 ひさ子 | 291 |
| ドイツ語コミュニケーションI | 木3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 | 通年 | 2 | 小林 ゲアリンデ | 292 |
| ドイツ語コミュニケーションII | 木4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 | 通年 | 2 | 小林 ゲアリンデ | 292 |
| ドイツ語IA(選) | 火2 | 全学科(フレB除く)選 | 通年 | 2 | 松岡 晋 | 293 |
| ドイツ語IB(選) | 金2 | 全学科(フレB除く)選 | 通年 | 2 | 井村 行子 | 293 |
| ドイツ語II(選) | 木5 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 | 通年 | 2 | 井村 行子 | 294 |
| フランス語コミュニケーションI | 月2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 | 通年 | 2 | ラリア・三倉、M. | 294 |
| フランス語コミュニケーションII | 月3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 | 通年 | 2 | ラリア・三倉、M. | 294 |
| フランス語IA(選) | 火2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 | 通年 | 2 | 出口 雅敏 | 295 |
| フランス語IA(選) | 木3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 | 通年 | 2 | 前田 祝一 | 295 |
| フランス語IB(選) | 金2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 | 通年 | 2 | 桑田 禮彰 | 296 |
| フランス語II(選) | 木5 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 | 通年 | 2 | 桑田 禮彰 | 296 |
| 中国語コミュニケーションI | 月3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 | 通年 | 2 | 岩崎 皇 | 297 |

外国語

| | | | | | | |
|------------------|----|---------------------------------|----|---|---------------|-----|
| 中国語コミュニケーションII | 木3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 | 通年 | 2 | 曹 泰和 | 297 |
| 中国語IA (選) | 火2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 | 通年 | 2 | 吉田 建一郎 | 298 |
| 中国語IA (選) | 木3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 | 通年 | 2 | 宮本 厚子 | 298 |
| 中国語IB (選) | 土2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 | 通年 | 2 | 蘭 明 | 299 |
| 中国語II (選) | 木5 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 | 通年 | 2 | 三田村 圭子 | 299 |
| スペイン語コミュニケーションI | 木3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 | 通年 | 2 | ナバロ、 ホワンJ. | 299 |
| スペイン語コミュニケーションII | 木4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 | 通年 | 2 | ナバロ、 ホワンJ. | 300 |
| スペイン語IA (選) | 火2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 | 通年 | 2 | 亀山 晃一 | 300 |
| スペイン語IB (選) | 金2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 | 通年 | 2 | 齋藤 明美 | 301 |
| スペイン語II (選) | 木5 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 | 通年 | 2 | 荻野 雅司 | 301 |
| ロシア語コミュニケーションI | 月5 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 | 通年 | 2 | 安德 ニーナ | 302 |
| ロシア語コミュニケーションII | 月4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 | 通年 | 2 | 安德 ニーナ | 302 |
| ロシア語IA (選) | 火5 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 | 通年 | 2 | クロチコフ、 Y. | 303 |
| ロシア語IB (選) | 金2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 | 通年 | 2 | 木村 英明 | 303 |
| ロシア語II (選) | 木1 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 | 通年 | 2 | クロチコフ、 Y. | 304 |
| 朝鮮語IA (選) | 火2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 | 通年 | 2 | 宋 美玲 | 304 |
| 朝鮮語IB (選) | 木2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 | 通年 | 2 | 宋 美玲 | 305 |
| 朝鮮語II (選) | 火3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 | 通年 | 2 | 宋 美玲 | 305 |

英 語 I A

〈英語 I Aの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのびます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1年 | | | | |
| 担当者名 | 増田 恵子 <small>ますだ けいこ</small> | | | | |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 英語による意志伝達のうち、おもにライティングのスキルを伸ばすことを目標とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 英語の文法を復習しながら、さまざまな表現法などを学び、英作文の練習をおこなっていく。 |
| 履修上の留意点 | 3分の2以上の出席。十分な予習と授業への積極的な参加姿勢が必要となる。 |
| 成績評価の方法 | 出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。 |
| 教科書 | 『Welcome to Collage English』(南雲堂) 1900円 ISBN4-523-17462-8 |

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1年 | | | | |
| 担当者名 | 岩原 康夫 <small>いわはら やすお</small> | | | | |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらおう。 |
| 履修上の留意点 | 学生諸君の予習を前提にしてクラスを進める。 |
| 成績評価の方法 | 前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。 |
| 教科書 | 『Cultivating Writing Skills』(朝日出版) 2000円 ISBN4-255-15280-2 |

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語ⅠA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1年 | | | | |
| 担当者名 | くまきわ かずあき 熊沢 和明 | | | | |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 口語英語の基礎的な運用能力を引き伸ばすことをねらいとします。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 平易な口語英作文の教科書を使い、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワーク、書き取り、聞き取り作業を中心にした実習形式を取り入れた授業とします。 |
| 履修上の留意点 | 英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。 |
| 成績評価の方法 | 出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。 |
| 教科書 | 『Enjoy Expressing Yourself』（金星堂） |
| その他 | PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。 |

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語ⅠA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1年 | | | | |
| 担当者名 | いづねま よしなが 飯沼 好永 | | | | |

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 入学時の英語力を基礎とし、より正確な英語表現を身に付けることを目的とします。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 大学生の日常生活に基づいた例文等が取り上げられているので、各自の実状に合った英文も作成できるよう、基本的な英語表現を学びながら、応用的な英語表現の修得も目指します。 |
| 履修上の留意点 | 積極的に授業に参加してください。 |
| 成績評価の方法 | 成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。 |
| 教科書 | 山村三郎、木下裕昭、小峰和子『Expanding Your Writing Skills』（朝日出版） 1,600円 ISBN4-255-15269-1 |

| | | | | | |
|------|-----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1年 | | | | |
| 担当者名 | 依田 ^{よだ} 里花 ^{りか} | | | | |

講義のねらい

英語で表現することに違和感を無くすことが本講義のねらいです。文法や構文の基礎を徹底させながら、初めは短い文から徐々に長い文へと、量もより多く書けるように発展させていきます。

履修上の留意点

辞書（英和・和英）は必ず持参すること。（電子辞書可）

成績評価の方法

授業での姿勢を重視し、提出物と定期試験（前期・後期）の結果と合わせて総合的に評価します。

教科書

『Get It Write—コーパス活用英文ライティング入門—』（桐原書店）¥1,800 ISBN 4-342-54780-5 C1082

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1年 | | | | |
| 担当者名 | 山岸 ^{やまぎし} 二郎 ^{じろう} | | | | |

講義のねらい

日常よく使われる表現を英文で書く。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの英文を聴き取り、文章を暗誦してそれを書き表わす。Listenig, Speaking から Writing へと学習を発展させて、発音やリズムに習熟して、その定着を計る。プリントを入れて、一定量の英文を書けるようにする。

履修上の留意点

予習をしてくる。授業に取り組む姿勢が成果を左右する。

成績評価の方法

小テスト、レポート、試験など総合的に評価する。

教科書

『Focus on Communication I』（朝日出版社）ISBN 978-4-255-15442-8

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1年 | | | | |
| 担当者名 | まきご ひさあき 真砂 久晃 | | | | |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力向上を目指す。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。 |
| 履修上の留意点 | 出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。 |
| 成績評価の方法 | 成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2 前期、後期共、成績は(100点満点) = 出席点(20~30%) + テスト(70~80%)となる。 |
| 教科書 | 『English Writing for Global Communication』(金星堂) 1,950円(税別) ISBN978-4-7647-3834-8 C1082 |

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政1年 | | | | |
| 担当者名 | にしほみ かつまさ 西原 克政 | | | | |

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 英単語850語で日常生活の表現が可能であるという Basic English の思考方法を実践する。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | ワークブックの練習問題の解答を受講者に板書してもらい、それを添削し解説しながら進める。 |
| 履修上の留意点 | 予習に全力を注いで準備しておくこと。 |
| 成績評価の方法 | 授業回数の3分の2以上出席のこと。平常の授業がすべてであるので、受講者のプレゼンテーションをその都度評価し、平均点を成績とする。 |
| 教科書 | 牧雅夫編著『英語表現トレーニング』(北星堂書店) 1,365円 |

| | | | | | |
|------|-------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政1年 | | | | |
| 担当者名 | 手島 敬子 | | | | |

講義のねらい

日常生活において実際に活用できる「ライティング」能力を習得することを目指します。

履修上の留意点

毎回、予習と課題の提出が必要となります。教室以外でも積極的に学習に取り組んで下さい。和英辞典、必ず持参。

成績評価の方法

前期・後期試験、課題、授業への参加度、出席状況などに基づき総合的に評価します。

教科書

村田和代著『English Composition Workbook, Second Edition』（マクミランランゲージハウス）¥1800 ISBN 4-7773-6069-5

| | | | | | |
|------|-------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政1年 | | | | |
| 担当者名 | 依田 里花 | | | | |

講義のねらい

英語で表現することに違和感を無くすことが本講義のねらいです。文法や構文の基礎を徹底させながら、初めは短い文から徐々に長い文へと、量もより多く書けるように発展させていきます。

履修上の留意点

辞書（英和・和英）は必ず持参すること。（電子辞書可）

成績評価の方法

授業での姿勢を重視し、提出物と定期試験（前期・後期）の結果と合わせて総合的に評価します。

教科書

『A Natural Writing Book』（鶴見書店）¥1,500 ISBN 4-7553-0308-7 C1082

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政1年 | | | | |
| 担当者名 | 田中 ^{たなか やすこ} 靖子 | | | | |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 本講義では始めに基本的なライティングによって口語英語表現に慣れながら、次第に実践的な英語運用力（スピーキング力）を高めていくことをねらいとします。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 本講義では今まで身につけた英語力を基に身近な話題を英語で表現できるような pair-work, presentation などの activities を行います。 表現力を高めていけるように、基礎的な文法事項や語法の復習をしながら、授業を構成していきます。 |
| 履修上の留意点 | 本授業は事前に課題を出しそれを基に授業を展開します。 |
| 成績評価の方法 | この授業では休まずに出席して activities に参加することが求められます。前期、後期ともに3分の2以上の出席を必要とします。さらに授業中の積極的な参加が、評価の基準となることに留意してください。評価は前期・後期テスト、課題の評価、授業への参加状況などを総合して行います。 |
| 教科書 | 教場にて指示します。 |

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政1年 | | | | |
| 担当者名 | 吉沢 ^{よしざわ えいじろう} 栄治郎 | | | | |

| | |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | ともかくも、ごく普通の日本語を数多く英訳していく練習をします。覚えなければ始まらないことが多いのですが、要は、いっぺんにやろうとしないで、できるだけ一定時間を和文英訳にあてることです。地道に、コツコツです。チリも積もれば山となる、のことわざ通りです。 |
| 履修上の留意点 | 和英辞典を利用のこと。 |
| 成績評価の方法 | ペーパーテストと出席状況を見て評価します。 |
| 教科書 | 使用しません。 |

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA 【〔基礎英語特別クラス〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A政堂A1年 | | | | |
| 担当者名 | 牧野 ^{まきの} 輝良 ^{てるよし} | | | | |

講義のねらい

英語の基本を正確に身につけること。

講義の内容・
授業スケジュール

毎時間テキストを1課ずつ学習し、3課終了毎に小テストを行ない、記憶を深める。

履修上の留意点

よく予習復習し、授業にはよく出席し、辞書持参し、辞書活用に慣れること。

成績評価の方法

小テストと期末の記述試験の成績による。

教科書

『大学英文法 A to Z』（金星堂）1,300円 ISBN4-7647-3697-7

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語I B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1年 | | | | |
| 担当者名 | 木元 喜久子 <small>きもと きくこ</small> | | | | |

講義のねらい

環境、教育、福祉、健康・医療など様々な分野の記事を読みながら、実践的な英文読解スキルを学ぶだけでなく、国際視野や感覚を磨くと共に、世界情勢への理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

様々な記事の速読と精読を通して英文読解力の向上をめざす。内容把握の設問、リスニング演習による概要のまとめ方に加え、文脈で理解する語い等の練習問題を通して英語の総合的・実践的な力を養成する。

履修上の留意点

十分な予習と積極的な参加・発表が求められる。授業中には英和辞典を必ず持参のこと。

成績評価の方法

成績は出席率（全授業の2/3以上）、授業中の発表・課題と前・後期試験の結果を総合して評価する。

教科書

『good News — Book I』(桐原書店) ¥1800 ISBN 978-4-342-54950-2

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語I B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1年 | | | | |
| 担当者名 | 藤井 道行 <small>ふじい みちゆき</small> | | | | |

講義のねらい

新聞英語に慣れ親しむ授業です。といっても、特別な英語ではありません。基本的な文の構造を理解していれば十分読みこなせるものです。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」に即したテキストを読みます。各UNITは、英文の難易度、内容等に基づいて、速読と精読を織り交ぜて読み進めます。語彙力の強化、音声面にも時間が許す限り時間を割きます。

成績評価の方法

1年に4回（前期2回・後期2回）行う試験の出来が評価の決め手になります。ただし、出席不良の場合は、受験資格を失うので注意すること。

教科書

「ニュースメディアの英語－演習と解説2007年度版」(朝日出版) ¥1,600 ISBN978-4-255-15436-7

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語I B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1年 | | | | |
| 担当者名 | みたま やすこ 海琳 泰子 | | | | |

講義の内容・授業スケジュール

Reading - アメリカの科学史家 A. Bowdoin Van Riper の著書より12章を選んで作られたテキストを読む。最先端の現代科学が直面している問題が、大衆文化の中でどのように描かれているか論じている。Listening - BBC World のニュースの聞き取り、新聞記事の dictation。

成績評価の方法

前・後期末試験と年間8回の小テストを実施。期末試験は、いかなる理由でも、又、一回でも欠試の場合は単位修得不可能。

教科書

A. Bowdoin Van Riper 原著、野崎嘉信編著
Science in Popular Culture 「ポピュラーカルチャーの科学」(南雲堂) 1800円
ISBN 4-523-17522-5 C0082

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語I B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1年 | | | | |
| 担当者名 | かめた みえこ 亀田 三重子 | | | | |

講義のねらい

ビデオテープとその内容を検討し、生きた英語を身につけさせる事を目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進め、テープを聞いたり応用問題や会話も行います。

履修上の留意点

授業の予習をする事。宿題を提出する事。

成績評価の方法

日常授業での発表、小テスト、前後期の試験、出席状況、を総合的に評価します。

教科書

初回の授業の時にお知らせします。

| | | | | | |
|------|--------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語ⅡB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 法A1年 | | | | |
| 担当者名 | 木元 喜久子 | | | | |

講義のねらい

スポーツ、音楽、サブ・カルチャー、環境、経済、社会と多方面の英字新聞の記事を読みながら、実践的な英文読解スキルを学ぶだけでなく、国際視野や感覚を磨くと共に、世界情勢への理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

さまざまな記事の速読と精読を通して英文読解力の向上を目指す。内容把握の設問、リスニング演習による概要のまとめ方に加え、英語ニュースを読むための基本文法、語いと表現に関する練習問題を通して英語の総合的、実践的な読解力を養成する。

履修上の留意点

十分な予習と積極的な参加・発表が求められる。授業中には英和辞典を必ず持参のこと。

成績評価の方法

成績は出席率（全授業の2/3以上）、授業中の発表・課題と前・後期試験の結果を総合して評価する。

教科書

「English in the Media 2007」（金星堂）¥1800 —ISBN 978-4-7647-3841-6

| | | | | | |
|------|-------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語ⅡB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 法A1年 | | | | |
| 担当者名 | 藤井 道行 | | | | |

講義のねらい

平易な英文の伝える内容を目と耳から、正確にキャッチできるスキルを身につけること。

講義の内容・授業スケジュール

授業の始めに、準備運動として、語彙・文法事項の整理に役立つ問題集に取り組みます。そのあと、「講義のねらい」に即したテキストを読みます。「健康」と「環境」をテーマとした、リスニングの比重の高い、CD付属のテキストです。

成績評価の方法

年間通して4回（前・後期各2回）行う試験の出来が評価の決め手となります。ただし、出席不良の場合は、受験資格を失うので注意すること。

教科書

- (a) 「英検2級・TOEFL対策問題集 第5版」（松柏社、¥900）
ISBN4-88198-503-5
- (b) “The Global Topics of Health and Environment from VOA —健康と環境：身近なトピックから国際問題まで”
（松柏社、¥1,900）ISBN4-88198-573-6

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語I B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1年 | | | | |
| 担当者名 | 海琳 ^{みたま} 泰子 ^{やすこ} | | | | |

講義の内容・
授業スケジュール

Reading - 人間の知力の結集が生み出したITは、現代社会のあたりまえの状況となりつつある、医療、環境、娯楽などすべての分野で smart を追求していくと、どんな未来社会になるのであろうか、Listening - BBC World のニュースの聞き取り、新聞記事の dictation。

成績評価の方法

前、後期末試験と年間8回の小テストを実施。期末試験は、いかなる理由でも、又、一回でも欠試の場合は単位修得不可能。

教科書

Jim Knudsen 著、上垣公明注、Future Smart 「インテリジェントな未来へ」(南雲堂) 1600円 ISBN4-523-17524-1 C0082

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語I B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政1年 | | | | |
| 担当者名 | 木元 ^{きもと} 喜久子 ^{きくこ} | | | | |

講義のねらい

環境、教育、福祉、健康・医療など様々な分野の記事を読みながら、実践的な英文読解スキルを学ぶだけでなく、国際視野や感覚を磨くと共に世界情勢への理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

様々な記事の速読と精読を通して英文読解力の向上をめざす。内容把握の設問、リスニング演習による概要のまとめ方に加え、文脈で理解する語い等の練習問題を通して英語の総合的・実践的な力を養成する。

履修上の留意点

十分な予習と積極的な参加・発表が求められる。授業中には英和辞典を必ず持参のこと。

成績評価の方法

成績は出席率(全授業の2/3以上)、授業中の発表・課題と前・後期試験の結果を総合して評価する。

教科書

『good News - Book I』(桐原書店) ¥1800 ISBN 978-4-342-54950-2

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語ⅠB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政1年 | | | | |
| 担当者名 | 藤井 道行 <small>ふじい みちゆき</small> | | | | |

講義のねらい

500語前後で書かれた、まとまった内容を持つ平易な英文を速く、正確に読み取るスキルを身につけること。

講義の内容・授業スケジュール

他国の「食卓」を素材とした、食欲と知的好奇心を刺激するテキストを読みます。テキストの内容を目で楽しむだけでなく、耳でも楽しむユトリを持ちたいと思います。

成績評価の方法

年間通して4回（前・後期各2回）行う試験の出来が評価の決め手となります。ただし、出席不良の場合は、受験資格を失うので注意すること。

教科書

“Hungry Planet -地球の食卓” （松柏社、¥1,900）
ISBN4-88198-601-5

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語ⅠB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政1年 | | | | |
| 担当者名 | 海琳 泰子 <small>みたま やすこ</small> | | | | |

講義の内容・授業スケジュール

Reading - 2006年8月、私はWienより、国境を越えて、Budapest, Praha, Bratislavaへと出かけた。東方拡大で進化しつづけるEUに注目しよう。アメリカ人の描くヨーロッパ10都市を巡るが、私の14回の旅行の写真と体験談で、情報を追加、比較する。Listening - BBC Worldのニュースの聞き取り、新聞記事のdictation。

成績評価の方法

前、後期末試験と年間8回の小テストを実施。期末試験は、いかなる理由でも、又一回でも欠試の場合は、単位修得不可能。

教科書

Gary B. Rodgers 他著 European Vacation 「ヨーロッパ周遊案内」(松柏社) 1600円
ISBN 4-88198-565-5

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政1年 | | | | |
| 担当者名 | 濱口 真木 <small>はまぐち まき</small> | | | | |

- 講義のねらい** 大学入試で学んだ英語を基礎に、英語の読解力と表現力の一層の向上を目指す。
- 講義の内容・授業スケジュール** テキストを読みすすめていく。また、必要に応じて英語雑誌などからのプリントを配布し、英語を正確に読み取る練習をする。
- 履修上の留意点** 授業は平常点を重視するので、必ず予習をして授業に参加してください。
- 成績評価の方法** 出席や発表などの平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）の総合評価とします。
- 教科書** 「オンラインニュースで学ぶ世界情勢」New Windows on the World（成美堂）¥1,800－ISBN 4-7919-1043-5

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政1年 | | | | |
| 担当者名 | 亀田 三重子 <small>かめだ みえこ</small> | | | | |

- 講義のねらい** ビデオテープを中心に、生きた英語を学び、応用して発信出来るまでもってゆく事。
- 講義の内容・授業スケジュール** テキストに添ってテープを聞いたり、記事を読み進めたりし、又、練習問題をします。
- 履修上の留意点** 記事を読んでくる事。宿題はしてくる事。
- 成績評価の方法** 日常の授業、前後期テスト、又、小テスト、出席状況を総合的に評価します。
- 教科書** 初回の授業でお知らせします。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IB【(基礎英語特別クラス)】 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A政1年 | | | | |
| 担当者名 | 濱口 真木 | | | | |

外国語

講義のねらい

これまでに学んだ英語を基礎に、基本的な文法・構文を重点的にチェックしつつ、総合的な読解能力を伸ばす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読みすすめていく。また、英語力の向上を図るため、小テストもおこなう。

履修上の留意点

授業は平常点を重視するので、必ず予習をして授業に参加してください。

成績評価の方法

出席や発表などの平常評価(50%)、前期・後期試験(50%)の総合評価とします。

教科書

Cultural Walks in Britain 「イギリス文化散策」(成美堂) ¥1,800-ISBN4-7919-0542-3

英 語 II A

〈英語 II Aの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I Aを基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

| | | | | | |
|------|---------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IIA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A2年 | | | | |
| 担当者名 | 照山 ^{てるやま} 雄彦 ^{ゆうひこ} | | | | |

講義のねらい IAを基礎として、IIAでは、より高度な英語の運用能力を身につけるようにする。

講義の内容・授業スケジュール 簡単な英文の構造を学び、さらに自ら英文を書けるようにします。同時に身近な話題を題材にして文章表現と会話表現を身につけることを訓練します。

履修上の留意点 宿題を毎回出すので、必ずやってくること。

成績評価の方法 毎時間授業を始める前に小テストを行うので、その結果と授業の態度、出席状況を考慮して評価を行う。

教科書 未定

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IIA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A2年 | | | | |
| 担当者名 | 西田 ^{にしだ} 義和 ^{よしかず} | | | | |

講義のねらい 英語学習の基本的な方法は、英文の内容を正しく読み、理解することである。それに加えて英文をある程度の速度で読めるようになることも大切なことである。この授業ではこのようなことを踏まえて、総合英語的な教材を選び、英文和訳、和文英訳等を行うことにより、さらなる英語力の向上を目指すつもりである。

講義の内容・授業スケジュール 前期・後期を通じて可能な限り、多くの学生にやってもらいたいと思っている。学生諸君は毎時間必ず訳読なり質問なりの指名があると思ってください。

履修上の留意点 予習や復習は必ずして、授業には積極的に参加してください。また、辞書は必ず持参してください。

成績評価の方法 出席状況、授業態度、発表の内容、テスト等を総合して評価を行う。なお、単位取得は三分の二以上の出席を前提とする。

教科書 現在ではまだ未定ですので、四月の開講時に指示する。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IIA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A2年 | | | | |
| 担当者名 | 市川 仁 <small>いちかわ ひとし</small> | | | | |

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 和文英訳を数多くこなすことでさまざまな英語表現を学んでいきます。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 学生の皆さんの口頭発表と板書による発表を中心にして授業を進めていきます。 |
| 履修上の留意点 | 必ず予習をして授業に出席してください。 |
| 成績評価の方法 | 授業中の発表と前期・後期の試験を総合して評価します。原則として全授業回数の3分の2以上の出席を条件とします。 |
| 教科書 | 岸野英治『コミュニケーションのための英文法・英作文』（英宝社）1,900円 ISBN4-269-32018-4 |

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IIA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A2年 | | | | |
| 担当者名 | 塚本 利男 <small>つかもと としお</small> | | | | |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 1Aを基礎として、より高度な英語の運用能力を身につけます。そのために、絶えず文法・構文、語彙などの知識の増強を図りながら、自分のこと、家族のこと、学生生活のこと等の身近の事柄、社会問題などのさまざまな話題について自分の意見が書けるようになることを目指す。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 会話をモデルに練習問題を解きながら重要表現の応用練習をします。各1回の授業の総仕上げとして毎回授業の最後に身近な事柄、議論や論争を巻き起こしやすい問題、例えば、家族、学生生活、アメリカ社会における銃、公害問題等について小論文を書き提出してもらいます。 |
| 履修上の留意点 | 授業の予習をすること。辞書を持ってくること。 |
| 成績評価の方法 | 授業における発表・小論文と前・後期の試験に基づく。特に、平常授業を重視しますので、総授業数の3分の2以上は必ず出席すること。 |
| 教科書 | 『グローバル社会の英語作文』安達一美・中植雅彦他（株）金星堂 1,950円+税 ISBN 978-4-7647-3834-8 C1082 |

| | | | | | |
|------|--------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語II A | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A2年 | | | | |
| 担当者名 | 堀 千和子 | | | | |

講義のねらい

身の回りのことをどのように英語で表現するかを学び、自分の意見を明確に書く技術を習得してもらいます。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、センテンス・レベルで自分の伝えたいことを正確に英語で表現することを、また、有機的に構成されるパラグラフを書くことを目標に、英作文の練習をしていきます。後期ではいろいろなパターンで書かれたエッセイを勉強し、学年末には5～6段落からなるエッセイ（主題は自由）を提出してもら予定です。

履修上の留意点

授業には必ず自分のテキストを持参し、集中して臨むこと。毎回、簡単な課題をして提出してもらいますので、辞書を持参することが望ましい。

成績評価の方法

成績は、前・後期の試験、授業中の自主的な発言などの貢献度、提出物、休暇中の課題から総合的に判断する。欠席は1回につき2点の減点とし、通年の授業回数の3分の1以上の欠席で失格とする。欠席分を補う提出物はないので、くれぐれも欠席しないこと。試験は前期・後期のいずれかに欠席した場合は単位取得の意志がないものと見なされるので、両試験とも必ず出席すること。

教科書

追って指示します。

| | | | | | |
|------|--------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語II A | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A2年 | | | | |
| 担当者名 | 尾上 典子 | | | | |

講義のねらい

現代のアメリカ文化形成に決定的な役割を演じてきた幾つかの大企業について論じたテキストを使用し、アメリカのビッグ・ビジネスの企業研究・アメリカ文化研究を行なうとともに、実践的な英語運用能力の向上をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを翻訳させながら、同時にアメリカのビッグ・ビジネスに関係する様々な資料を配布し、読解・聴解・作文などの英語運用能力の向上を目標とする。

履修上の留意点

正当な理由なくして年間の出席率が2/3に満たない者および授業態度の著しく悪い者は落第させる。
毎回、授業のための予習・復習を充分にしておいてもらいたい。

成績評価の方法

評価は、授業態度、出席率、年2回の前・後期試験、小テストなどによって、総合的に判断する。

教科書

廣原真由子・Blake Baxter 共著『Big Business in America (ビジネスとアメリカ文化)』(成美堂)

外国語

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IIA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 法A2年 | | | | |
| 担当者名 | 加藤 佐和子 <small>かとう さわこ</small> | | | | |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 現代社会が抱える様々な問題に関するエッセイを読み英文読解力つける。同時に、それらの社会問題を議論し、英語の伝達能力をつける。更に、オフィスなどで実際に使われる英語表現を覚え、実生活に役立つ英語のスキルを伸ばしていく。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | マルチメディアの教室で、L.Lの機械とパソコンを使って授業を行う。授業は、前半と後半に分けて行う。前半は、テキストを1課ずつ進み、内容のまとめとディスカッションをする。後半は、officeなどで使われる模範文型を耳で聞き、それをタイピングすることで、実務能力をつける。 |
| 履修上の留意点 | 予習・復習を必ずすること。 パソコンの操作は、各自自習すること。 |
| 成績評価の方法 | 小テスト25% 授業参加度25% まとめテスト50% |
| 教科書 | Reading for the Times (英進社) A Shorter Course in Office English (南雲堂) |

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IIA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 政2年 | | | | |
| 担当者名 | 風間 則比古 <small>かざま のりひこ</small> | | | | |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 英語に限らず外国語の勉強は hearing, speaking, reading, writing を総合的に行なうことが不可欠ですが、ここでは主に reading を通して書かれている内容を理解することを重点的に行ないます。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 様々なエピソードについて書かれた文を読んで、その背景にある西洋の歴史や文化に触れる。 |
| 成績評価の方法 | 評価は出席、発表、前期と後期の試験結果などを総合して決める。 |
| 教科書 | 『There's a reason for everything (西洋故事来歴ものがたり)』(マクミラン) |

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IIA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政2年 | | | | |
| 担当者名 | 木村 正俊 <small>きむら まさとし</small> | | | | |

講義のねらい

英文の理解力を高めるとともに英語の実践的な運用能力を向上させる。

講義の内容・授業スケジュール

時事的な英文を題材に、読み、聴き、話し、書く四技能を伸ばす訓練を行う。英文を書くこととくに重点を置く。音声教材を併用し聴く力を高める。

履修上の留意点

授業では訓練を多く行うので、欠席しないこと。

成績評価の方法

平常点評価。随時行う小試験やレポートの成績、毎回の授業への出席・参加状況等を合わせて総合的に評価する。

教科書

宮本倫好／伊藤典子編著『ニュースメディアの英語－演習と解説2007年版』
(朝日出版社) ¥1,600 ISBN 978-4-255-15436-7

参考書等

とくに使用しない。

その他

教室で指示する。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IIA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政2年 | | | | |
| 担当者名 | 古富 猛 <small>ことみ たけし</small> | | | | |

講義のねらい

日本人が何年も英語を学校で時間をかけて学んでいるのに、スピーキングが苦手であることは周知の事実である。私自身もネイティブ・スピーカーとの会話に四苦八苦している。これからの政治科の学生さんも、グローバル化している現在、語学能力は欠かせないものであろう。何とか身につける指針だけでも示したいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

やはり日本人はリーディング能力を生かすべきだと痛感している。ストーリー性のあるテキストを選んで多読をし、パターン・プラティクスを心がけてもらいたい。

履修上の留意点

授業は予習をしてきてもらいたい。

成績評価の方法

出席と発表を日常の評価とし、前・後期の筆記試験で総合的に評価します。

教科書

教場にて詳しく指示します。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IIA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政2年 | | | | |
| 担当者名 | いわなが よしえ 岩永 祥恵 | | | | |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 本講義では日常生活に密接に関連しているものの、ややもすれば敬遠しがちなサイエンス系の読み物をもとに、内容を把握しながら科学への関心を高め、議論の幅を広げていくことを目標とする。パラグラフライティングの基礎を高めることを目的とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | サイエンス系の英語テキストを用いて、内容把握、問題点指摘、ディスカッションを行う。授業の進度に応じてリスニング練習を適宜行う。 |
| 履修上の留意点 | 毎回の授業への積極的な参加。辞書を持参すること。 |
| 成績評価の方法 | 出席、予習、課題提出、試験等を総合的に判断して評価する。詳細は開講時に説明する。 |
| 教科書 | 吉田信介ほか著『オンラインで学ぶVOAサイエンス系総合英語』（松柏社 2002年） |
| 参考書等 | 開講時に指示する。 |

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IIA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政2年 | | | | |
| 担当者名 | ながの こういち 永野 光一 | | | | |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | IAを基礎として、より高度な英語による意志伝達（ライティングとスピーキング）の力を養成。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | Q&A やペア／グループ・ワーク、ロール・プレイなどの聞く・話す活動や、パラグラフやより長い作文を書く活動を行います。 |
| 履修上の留意点 | 授業中の学習活動に積極的に参加すること。原則として3分の2以上出席すること。 |
| 成績評価の方法 | 出席、学習活動への積極的な参加、小テスト、ライティングや発表などの課題を重視し、総合的に評価。 |
| 教科書 | 『Let's Write and Communicate! (コミュニケーションのための基礎英作文)』（金星堂） ISBN4-7647-3714-0-0 C1082 |

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading: I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の 3 分の 2 以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

| | | | | | |
|------|---------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語 II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法 A2 年 | | | | |
| 担当者名 | 鈴木 美貴子 | | | | |

講義のねらい

英文読解力を高める。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに従って、現代の色々な分野の記事を読む。随時こちらで用意した TOEIC 練習問題や英字新聞記事を読む。

履修上の留意点

予習必須。必ず辞書持参。

成績評価の方法

出席状況、前・後期試験、提出物により総合的に評価する。

教科書

「グローバル・ビュー」(朝日出版社、1800円)
ISBN978-4-255-15441-1 C1082

| | | | | | |
|------|---------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語 II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法 A2 年 | | | | |
| 担当者名 | 林 明人 | | | | |

講義のねらい

この授業は精読を通し、未知の語を含んだ長文であっても辞書を用いながら何とか文の要素を把握できるようになることを目的とします。自らの英語の知識を駆使し、長文を解読することが、まるで推理小説を読むようにスリリングだと実感できるようになります。あらかじめ各ユニットの試訳を皆さんに提出してもらい、質問をしながら授業を進めます。

講義の内容・授業スケジュール

この授業は精読を通し、未知の語を含んだ長文であっても辞書を用いながら何とか文の要素を把握できるようになることを目的とします。自らの英語の知識を駆使し、長文を解読することが、まるで推理小説を読むようにスリリングだと実感できるようになります。あらかじめ各ユニットの試訳を皆さんに提出してもらい、質問をしながら授業を進めます。

履修上の留意点

遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の出入りは認めない。

成績評価の方法

①試験②ユニットの試訳③出席で総合評価するが、出席は 3 分の 2 を越えていなければならない。出席以外のそれぞれの評価が一つでも 4 割に満たない場合は単位を認めない。

教科書

4 月に教場で指示します。

| | | | | | |
|------|-----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A2年 | | | | |
| 担当者名 | 岡崎 寿一郎 <small>おかざき としいちろう</small> | | | | |

- 講義のねらい** 語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。
- 履修上の留意点** テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。
- 成績評価の方法** 平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価とします。
- 教科書** 岡崎寿一郎編註『禅と日本文化』（太陽社）1,400円

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A2年 | | | | |
| 担当者名 | 岡本 誠 <small>おかもと まこと</small> | | | | |

- 講義のねらい** 読解力の養成を目指す、というのが一番の目標ではあるが、聴く力も養いたい。リスニングは日本の学生が最も苦手とするところであるからである。英語の学習もいよいよ終わり、というところで、オールラウンドな英語力を備えるようにしたい。
- 講義の内容・授業スケジュール** 読む材料・聴く材料ともにこちらで用意する。なるべく法学部の学生諸君に向けた内容にしたい。
- 履修上の留意点** 辞書は必携。予習も必須。着帽厳禁。ケータイは off にしておくこと。
- 成績評価の方法** 前期・後期の試験の結果、指名されたときの発表状況・出席状況・遅刻状況・受講態度等の総合評価とする。
- 教科書** 特定のものは使用しない。

| | | | | | |
|------|---------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A2年 | | | | |
| 担当者名 | 太田 <small>おおた</small> 雅子 <small>まさこ</small> | | | | |

講義のねらい 英文を上から順に理解していく訓練を行なう。

講義の内容・授業スケジュール 最初は精読、慣れてきたら速読の練習をする。

履修上の留意点 予習は必須。

成績評価の方法 平常点と前期・後期試験

教科書 『English through the News Media 2007 Edition』（朝日出版）

| | | | | | |
|------|---------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A2年 | | | | |
| 担当者名 | <small>あんざい かおる</small> 安齋 薫 | | | | |

講義のねらい これまでに学んだ基礎を生かしながらさらに多くの量を読めるようにする。同時に Listening 能力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 毎回発表形式を取り入れながらテキストを進めていく。

履修上の留意点 予習をしてくること。

成績評価の方法 出席状況（3分の2以上の出席が原則）、前期後期試験、レポートから総合的に評価する。

教科書 『Dynamic Business and the Environment』（南雲堂）¥1900
ISBN978-4-523-17532-2

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A2年 | | | | |
| 担当者名 | 池上 賀英子 <small>いけがみ かえこ</small> | | | | |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 英語IBの学習の延長上において、英語の国際性への認識と、日本人としての自覚と大学生としての教養を、英語学習の座標軸として、英文の文意把握能力を養う。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | テキストを読み進めると同時に、ビデオ（VHS、DVD）等を補助教具として用いる。 |
| 履修上の留意点 | 授業には予習を第一義とすること。3分の2以上出席し授業に積極的に参加すること。 |
| 成績評価の方法 | 日常の発表と個々の成長を重視し、前期後期の試験の結果を加えて、総合的に評価する。 |
| 教科書 | 未定 |

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政2年 | | | | |
| 担当者名 | 三幣 友行 <small>みねさ ともゆき</small> | | | | |

| | |
|----------------|--------------------------------------|
| 講義のねらい | 英語IBで学んだ事を基礎として、英語を正しく読む力のさらなる向上を目指す |
| 講義の内容・授業スケジュール | 予習を前提として授業をすすめる |
| 履修上の留意点 | 欠席が全体の3分の1を超えたら単位を認めない |
| 成績評価の方法 | 出席点、平常点、小テスト点、定期テストを総合的に評価する |
| 教科書 | 未定 |
| その他 | その他詳しい事は授業開始時に説明する |

| | | | | | |
|------|-----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政2年 | | | | |
| 担当者名 | 岸本 <small>きしもと</small> 茂和 <small>しげかず</small> | | | | |

講義のねらい

つねに基本に立ち返りつつ授業をすすめてゆきたい。テキストの内容は日常生活に垣間見られる”ふしぎ”を解説しよう。本文および問題は受講者が読みかつ解いてゆく。

講義の内容・授業スケジュール

「習うより馴れろ」をモットーに、一年間でできるかぎりの量をこなしてゆきたいとねがっている。夏季休暇にはテキスト以外の assignments を課すことになるかもしれない。

履修上の留意点

授業には英和辞書をかみならずもってくる。電子辞書も可。予習は必須。

成績評価の方法

出欠席を勘案しつつ試験結果を重んじる。試験は前期・後期の2回。全授業日数の3分の1以上欠席のばあいには「不可」とする。

教科書

『Ever Wonder Why?』（トムソンラーニング）定価1,800円

| | | | | | |
|------|-----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政2年 | | | | |
| 担当者名 | 岩山 <small>いわたま</small> 義春 <small>よしはる</small> | | | | |

講義のねらい

単語の意味を調べても和訳できない学生が多い。まず、英文の大意を把握することを心がけ、読む能力をつけることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

米国の文化や社会の危機を扱ったテキストを読みすすみます。一日に約4ページ読む予定です。

履修上の留意点

授業は予習をしてこよう。毎回レポートを提出してもらいます。

成績評価の方法

毎日の授業で訳せるかどうかを重視し、レポートや前・後期の試験の結果から総合的に評価します。

教科書

『Books as Opinion Makers』（松柏社）

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語ⅡB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政2年 | | | | |
| 担当者名 | あしだ かずひと 足田 和人 | | | | |

| | |
|----------------|---------------------------------------------|
| 講義のねらい | 読解力を発展させ、ある程度の内容の英文を速読し、大意を把握できるような英語力をつける。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 読解、速読、およびリスニングなどを演習形式で行う。 |
| 履修上の留意点 | 授業時間の3分の1以上を欠席すると、不合格となる。 |
| 成績評価の方法 | 毎時間小テストを行い平常点とし、前後期試験の点数を評価して加える。 |
| 教科書 | 授業時間内に配布する。 |
| 参考書等 | 必要に応じて配布・紹介する。 |

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語ⅡB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政2年 | | | | |
| 担当者名 | すずき みきこ 鈴木 美貴子 | | | | |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 英文読解力を高める。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | テキストに従って、現代の色々な分野の記事を読む。随時こちらで用意したTOEIC練習問題や英字新聞記事を読む。 |
| 履修上の留意点 | 予習必須。必ず辞書持参。 |
| 成績評価の方法 | 出席状況、前・後期試験、提出物により総合的に評価する。 |
| 教科書 | 「グローバル・ビュー」(朝日出版社、1800円) ISBN978-4-255-15441-1 C1082 |

英 語 II D

〈英語 II Dの授業内容と履修上の留意点〉

専門学部にそった英語のテキストを用いおこなう講読の授業です。

外国語

| | | | | | |
|------|----------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IID 英語IID〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A2年 法A34年 | | | | |
| 担当者名 | まえだ おさむ 前田 脩 | | | | |

講義のねらい

時事英語を読む中で、法律の初歩的知識と法律用語を学びます。

講義の内容・ 授業スケジュール

時事英語のテキストを読み進めると同時に、英文による法律関係の記事を使用します。

履修上の留意点

授業は予習し、積極的に参加してください。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期後期の結果を入れて総合的に評価します。

教科書

「ニュースメディアの英語 2007年度版」朝日出版 1800円 ISBN978-4-255-15436-7

| | | | | | |
|------|----------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IID 英語IID〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A2年 法A34年 | | | | |
| 担当者名 | かわさき こうたろう 川崎 浩太郎 | | | | |

講義のねらい

本講義においては、ここ数年の新聞記事等を読むことを通して、広範な分野にまたがる語彙力を増強し、より早く多く、かつ正確に読めるようになることを目標とします。

講義の内容・ 授業スケジュール

法的諸問題を含むウェブ上の新聞記事の読解を行っていきます。毎時間全員に発表してもらうので必ず予習してきて下さい。

履修上の留意点

毎時間必ず辞書を持ってくること。

成績評価の方法

出席点、発表点50%、年2回のレポート50%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書

佐藤公雄／Bill Benfield『New Windowson the World』成美堂 ¥1800（税別）
ISBN4-7919-1043-5

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IID 英語IID〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 法A2年 法A34年 | | | | |
| 担当者名 | 真砂 <small>まなご</small> 久晃 <small>ひさあき</small> | | | | |

講義のねらい

法学部2年次生の講読授業。社会科学系の英語の読解力向上を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2
前期、後期共、成績は(100点満点) = 出席点(20~30%) + テスト(70~80%)となる。

教科書

『Why Is That?』(金星堂) 1,800円 税別 ISBN4-7647-3751-5 C1082

| | | | | | |
|------|-----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IID 英語IID〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 法A2年 法A34年 | | | | |
| 担当者名 | 水崎 <small>みずさき</small> 野里子 <small>のりこ</small> | | | | |

講義のねらい

法学を含む社会科学系の英語の文章を読み、内容を正確に把握出来ること。

講義の内容・
授業スケジュール

授業はテキストを使用する。一授業一課を予定しているが、進度は学生の方々の状況に応じて決める。進行に応じて、文法、英語文の構造、英語の語彙などの説明を加えて行く。一テキストで通年を予定しているが、折に応じてサブ・テキストを使用する。

履修上の留意点

授業には積極的に参加して欲しい。平常点を総合的に加味する。

成績評価の方法

前期後期二度の試験に平常点を加えて総合評価する。

教科書

『構造で読む社会科学エッセイ』(Out Look On Society) 南雲堂、1785円

参考書等

とくになし

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A2年 法A34年 | | | | |
| 担当者名 | どろいけ かずこ 外池 一子 | | | | |

講義のねらい

法律をテーマにした様々なエピソードを読んで、法律に関する語彙を身につけると同時に、法律に関する知識や異文化に対する理解を深めることを目指します。また、量をたくさん読んで、ある程度の長さのあるものを速く正確に読めるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

基本的にはテキストを読んでいます。随時、法律に関する興味深い出来事やニュースなどを扱った新聞や雑誌の記事などの副教材も使用します。

履修上の留意点

必ず予習をして出席すること。予習をしてこなかった場合は出席と認めません。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示します。

その他

日ごろから新聞を読んだりニュースを聞いたりして、自分の身の回り・日本そして世界が直面するさまざまな問題に目を向け、それらについて自分の意見を持つよう心がけてください。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A2年 法A34年 | | | | |
| 担当者名 | まきの てるし 牧野 輝良 | | | | |

講義のねらい

英文の原書講読に役立つように長文を構文、内容の理解を目指して読み進める。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを出来るだけ正確に読む訓練をする。

履修上の留意点

授業はよく予習しておくこと。

成績評価の方法

授業中の発表、宿題提出、試験の結果等を総合的に評価する。

教科書

『真の国際化とは』（成美堂）980円 ISBN4-7919-1236-5

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IID 英語IID〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A2年 法A34年 | | | | |
| 担当者名 | 岸本 茂和 <small>きしもと しげかず</small> | | | | |

講義のねらい

著者の個人史をとおして、いわゆる「国際化」の時代に生きるとは何かを読んでゆく。

講義の内容・授業スケジュール

1年間でできるかぎりの分量をこなしたい。つねに基礎に戻り精読と速読をまじえて授業をすすめるつもり。夏季休暇には課題を課すことになるであろう。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくる。電子辞書も可。予習は必須。

成績評価の方法

出欠席を勘案しつつ試験結果を重んじる。試験は前期・後期の2回。全授業日数の3分の1以上欠席のばあいは「不可」とする。

教科書

『グローバルな時代を生きる』（成美堂） 定価 1,300円

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IID 英語IID〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A2年 法A34年 | | | | |
| 担当者名 | 三芳 康義 <small>みよし やすよし</small> | | | | |

講義のねらい

TOEFLなどのような英文（勿論社会科学系も含めて）の読解力の向上はかることを目指します。

履修上の留意点

授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとります。

成績評価の方法

授業中の口頭発表、出席率、小テスト（4回から6回）などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教科書

Paul Edmund・Nancy McKinnon 著 Developing Skills for the TOEFL iBT: Reading, Intermediate, Compass Publishing, 1890円 ISBN1-59966-004-0

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IID 英語IID〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A2年 法A34年 | | | | |
| 担当者名 | 朝川 ^{あさかわ} 真紀 ^{まき} | | | | |

講義のねらい

英文を読んで身近な法律知識を習得し、法律に関する専門用語を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを使用して、新聞やニュースで取り上げられた事件の裁判を読んでいきます。また簡単な法律英語を暗記していきます。

履修上の留意点

授業は休まず、毎回予習をしてください。

成績評価の方法

課題提出、普段の発表、前期後期試験によって総合的に評価します。

教科書

寺内一著『総合英語：日常の中の法律』（三修社）¥1800 ISBN 4-384-33337-4

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IID 英語IID〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政2年 政34年 | | | | |
| 担当者名 | 田中 ^{たなか} 靖子 ^{やすこ} | | | | |

講義のねらい

本授業では、英語で幅広い分野の基礎的な知識を吸収して、さらにそれを生かして自分の意見を英語で述べる力をつけていくことをねらいとしています。

講義の内容・
授業スケジュール

速読の力を高めていけるように授業を構成していきます。パラグラフの特徴をとらえパラグラフ毎に、長い文を速読速解できるように進めていきます。
基礎的な文法事項や語法を丁寧に確認しながら、読解力を高めていけるように授業を構成していきます。さらに、発展させて読解で得た知識と今までの経験とともにして、自分の考えをまとめて表現できるような発表の機会も設けます。

履修上の留意点

本授業は事前の予習を前提として進めていきます。

成績評価の方法

この授業では休まずに出席して activities に参加することが求められます。前期、後期ともに3分の2以上の出席を必要としています。授業中の課題への取り組みや発表などが、評価の基準となることに留意してください。評価は前期・後期テスト、課題の評価、授業への参加状況などを総合で行います。

教科書

教場にて指示します。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政2年 政34年 | | | | |
| 担当者名 | にしはら かつまさ 西原 克政 | | | | |

講義のねらい

日常生活の教養となる西洋の思考の枠組の基本的な知識を修得しておくことが必要である。そのための英語を用いての訓練と位置付けている。

講義の内容・授業スケジュール

知識と知恵の相違を通して、最終的には知恵の獲得の重要性を論じる。知識を知恵に変える技術とは何なのかを、平易な英文で読み解く訓練をする。

履修上の留意点

授業に際し、予習に最も力を入れること。

成績評価の方法

授業回数の3分の2以上の出席が必要となる。通常の授業がすべてであるという観点から、授業内評価を実施し、受講者のプレゼンテーションを評価判定する。評価方法は第1回目の授業で詳しく述べるので、必ず出席のこと。

教科書

Joan McConnell, *Lessons on Life* (Kinseido, 1999) ¥1890

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政2年 政34年 | | | | |
| 担当者名 | ひろかわ おさむ 広川 治 | | | | |

講義のねらい

映画のシナリオや関連記事をテキストとし、文法や表現を確認しながら、リスニング、単語力、読解力を高めていくことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

初回の授業で説明する。

履修上の留意点

遅刻は欠席扱いとする。授業中の居眠り、私語などは厳しくチェックする。

成績評価の方法

前・後期のテストと平常点で評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

授業内で紹介の予定。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IID 英語IID〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政2年 政34年 | | | | |
| 担当者名 | 増田 恵子 <small>ますだ けいこ</small> | | | | |

講義のねらい

リーディングの基礎を固めながら、より多くの英文をより速く、しかも精確に読む能力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となる。

履修上の留意点

積極的に授業へ参加することが望ましい。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。

教科書

『Know Your Law』（南雲堂）1600円 ISBN4-523-17361-3

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IID 英語IID〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政2年 政34年 | | | | |
| 担当者名 | 飯沼 好永 <small>いひぬま よしなが</small> | | | | |

講義のねらい

アメリカの政治学者の論文を読みながら、論文レベルの英語を正確に理解する力を身に付けることを目指します。また、日本語と英語では文章構造だけでなく、パラグラフ（段落）の構成も異なるので、英語の文章を読む上で必要とされる基本的事項も併せて学習していきます。

履修上の留意点

受け身の姿勢ではなく、予習を通し自己の英語力の現状を把握し、向上させることを心がけて下さい。

成績評価の方法

成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行います。

教科書

開講時に指示します。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IID 英語IID〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政2年 政34年 | | | | |
| 担当者名 | 山岸 二郎 <small>やまぎし じろう</small> | | | | |

講義のねらい

英文に慣れ、語法に習熟し、語彙の拡大に努める。

講義の内容・
授業スケジュール

英国の歴史と文化を扱った Essay を講読する。英文講読力強化のために、構造の理解に意を用い、大局的に内容を読み取れるようにする。ある国の歴史と文化を知ることが、人間とその国の社会ルールを理解にも役立つ。

履修上の留意点

予習をしておくこと。

成績評価の方法

小テスト、レポート、テスト、発表等総合して評価する。

教科書

「イギリス文化散策」（成美堂）ISBN4-7919-0542-3

〔ドイツ語〕

外国語

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語IA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1年 政1年 | | | | |
| 担当者名 | かわかみ かずひと 河上 和史 | | | | |

講義の内容・授業スケジュール

近代化の歩み、敗戦とその後の経済的繁栄など、ドイツは日本と多くの共通点を持つ国です。しかしその一方、ドイツは日本と対照的な面も多く持っています。今、我々と我々の国が直面している様々な問題を考えようとするとき、「ドイツ」はいろいろなヒントを与えてくれるはずです。知っているようで意外に知らない「ドイツ」、そして「ヨーロッパ」とあらためて出会うために、これから一年間「もう一つの外国語」を学びます。授業は単に「文法」の習得だけでなく、「話す」練習にかなり時間を使い、またビデオなどによって多角的で楽しいものにするつもりです。

成績評価の方法

授業と試験を総合して判断する。

教科書

「独和辞典」は必ず必要ですが、最初の授業でいくつか紹介しますので、あわてて買う必要はありません。教科書は「プリント」を使います。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語IB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1年 政1年 | | | | |
| 担当者名 | しばの ひろこ 柴野 博子 | | | | |

講義のねらい

この授業では、ドイツ人の生活や文化についてのある程度まとまった文章を読んで、文法で学ぶ表現形式が実際の場でどのように使われているかを見ていきます。ドイツ語の学習を通して、ドイツの文化にも関心を持っていただければと思っています。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、一步一步積み重ねていくことが非常に大切です。できるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

小塩節『希望のドイツ語（新訂版）』（朝日出版社）2,300円

| | | | | | |
|------|----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語IIA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 国地文環境日外考商政営A2年 | | | | |
| 担当者名 | 柴野 博子 | | | | |

講義のねらい

中級程度の文章で書かれた、ドイツ人のものの見方をテーマにしたテキストを読んでいきます。私達がドイツあるいは日本文化について考えるきっかけになれば、と思っています。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは、1年生の文法を復習あるいは補足しながら、ゆっくり進んでいきます。後半は、少し速度を早め、11月にはテキストを読み終える予定です。12月には、ドイツ文学の名作（たとえばシュティフター）を読んでみましょう。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強は、短い時間でも、毎日つづけることが大切です。予習、復習をして、特別の事情がない限り、毎回出席して下さい。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

大谷弘道『ドイツ人を知る9章+1』（三修社）2,500円

| | | | | | |
|------|----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語IIA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 国地文環境日外考商政営A2年 | | | | |
| 担当者名 | 飯塚 公夫 | | | | |

講義のねらい

一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。映画を見ながら文章を読むことで、文章が生きてくることを体験すること。

講義の内容・授業スケジュール

おおよそのスケジュール①前期前半：一年の文法の復習と、未修部分があればその部分の補習（コピー練習問題中心）②前期後半：練習問題と平行して、映画を見ながらテキストである映画シナリオの読解③後期：映画をみながら、テキストであるシナリオの読解。（映画は、『Paris je t'aime（アイ・ラブ・ユー・パリ）』というオムニバス・フランス映画の、ドイツ人監督トム・ティクヴァが監督したエピソードです。）

履修上の留意点

辞書を毎回持ってくること（完全に予習している人は持ってこなくてもよろしい）。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。

成績評価の方法

前期後期各1回の筆記試験及び平常点（＝発表点）。

教科書

Tom Tykwer『True』（ISBN:3-936298-12-2）。大変きれいな本なので、購入をおすすめしますが、ドイツから直接取り寄せなければならないので、学内での購入は事務的に不可能ですから、自分で洋書店かアマゾンで購入してください。もちろん、こちらでもコピーを用意します。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語II A | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏英経 A 法 A2 年 | | | | |
| 担当者名 | 柴野 博子 <small>しばの ひろこ</small> | | | | |

- 講義のねらい** 中級程度の文章で書かれた、ドイツ人のものの見方をテーマにしたテキストを読んでいきます。私達がドイツあるいは日本文化について考えるきっかけになれば、と思っています。
- 講義の内容・授業スケジュール** はじめは、1年生の文法を復習あるいは補足しながら、ゆっくり進んでいきます。後半は、少し速度を早め、11月にはテキストを読み終える予定です。12月には、ドイツ文学の名作（例えばヘッセ）を読んでみましょう。
- 履修上の留意点** ドイツ語の勉強は、短い時間でも、毎日つづけることが大切です。予習、復習をして、特別の事情がない限り、毎回出席して下さい。
- 成績評価の方法** 年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。
- 教科書** 大谷弘道『ドイツ人を知る9章+1』（三修社）2,500円

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語II A | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏英経 A 法 A2 年 | | | | |
| 担当者名 | 本橋 右京 <small>もとはし うきょう</small> | | | | |

- 講義のねらい** リライト版でグリム童話を読みます。ドイツ語初級文法を確認・復習しながら、ドイツ語の理解と読解力を養います。
- 講義の内容・授業スケジュール** 比較的平易な表現を通してドイツ語に慣れて行きましょう。初級文法では十分時間をかけることができなかった項目は、その都度プリントで補足します。
- 履修上の留意点** しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。
- 成績評価の方法** 前期・後期の試験や出席などで総合評価します。
- 教科書** Wundt・本橋 『グリム童話で学ぶドイツ語 PartII』 （郁文堂）
- 参考書等** 『グリム童話集』の翻訳がたくさん出版されています。

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏経A法A2年 | | | | |
| 担当者名 | 飯塚 公夫 <small>いらいづか きみお</small> | | | | |

講義のねらい

一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。映画を見ながら文章を読むことで、文章が生きてくることを体験すること。

講義の内容・授業スケジュール

おおよそのスケジュール①前期前半：一年の文法の復習と未修部分があればその部分の補習（コピー練習問題中心）②前期後半：練習問題と平行してテキストの読解③後期：テキストの読解（テキストは昨年作られた『最後の列車』というドイツ映画のノベライゼーションです。アウシュヴィッツへ送られる最後のユダヤ人移送者の物語です。DVDが出ると思いますので、映画を見ながら、いくつかの場面をピックアップしてその部分を訳していくこととなります。）

履修上の留意点

辞書を毎回持ってくること（完全に予習をしている人は持ってこなくてもよろしい）。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。

成績評価の方法

前期後期各一回の筆記試験及び平常点（＝発表点）

教科書

Bernd Philipp/Renate Wiechmann「Der letzte Zug」(ISBN:3-7466-2311-1)。購入に関しては、ドイツから直接取り寄せなければならないため、学内での購入は事務的に不可能なので、自分で洋書店かアマゾンかで購入してください。もちろんこちらでもコピーを用意します。

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 国日外考商政2年 | | | | |
| 担当者名 | 藪下 紘一 <small>やぶした こういち</small> | | | | |

講義のねらい

注がたくさんついてますが、それを参考にして訳して行きます。毎回当ります、予習をして来る事。

成績評価の方法

7月、12月の試験+平常点。

教科書

『こんにちは！ドイツです』（朝日出版）¥1900+税。

| | | | | | |
|------|-----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 国日外考商政2年 | | | | |
| 担当者名 | もり こうせい 森 公成 | | | | |

講義のねらい

ドイツ語IAとIBを基礎とした、初級から中級にかけての講読中心の授業です。文法の復習をしながら、いろいろなタイプのドイツ語に触れます。ドイツの歌もいくつか紹介します。

講義の内容・授業スケジュール

用意したプリントによって授業を行います。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。

履修上の留意点

最初の授業時にドイツ語で読んでみたいものを書いていただきますので、あらかじめ考えておいてください。授業への積極的な参加を希望しています。また、3分の1以上休んだ場合は(遅刻と早退は2回で1回休みとみなします)、原則として定期試験の成績いかんに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

成績評価の方法

定期試験(年2回)、出席率、夏季休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。

教科書

テキストはこちらで用意します。

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語IID ドイツ語IID〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A2年 政2年 法A政34年 | | | | |
| 担当者名 | しま とみえ 志真 斗美恵 | | | | |

講義のねらい

1年次に学習したドイツ語の知識を丁寧に総復習しながら、さらに、読む・聞く・話す・書く能力を深めていくことを目標としています。テキストをつうじて、ドイツの日常生活や文化にも触れていきたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

DVD(ビデオ)やCDをつかって生きたドイツ語に触れながら、多くの練習問題に取り組んでいきます。

履修上の留意点

聞き取り、書き、声に出して言うことを、一人ひとりが、積極的に取り組む授業にしたいと思っています。かならず予習をしたうえで、辞書をもって教室にきてください。テキストとあわせて、プリントでの問題にも取り組んでいきます。

成績評価の方法

前期・後期の試験および平常点(含・問題プリントの提出)で総合的に評価します。

教科書

清野智昭「ドイツ語の時間<ビデオ教材 恋するベルリン> DVD付」朝日出版社 2600円 ISBN978-4-255-25303-9 C1084

〔フランス語〕

| | | | | | |
|------|----------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語IA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1年 政1年 | | | | |
| 担当者名 | 伊藤 ^{いとう} なお | | | | |

講義のねらい

一年かけてフランス語文法の基礎を習得します。

講義の内容・授業スケジュール

日常よく使われる単語と表現を用いて基礎的な文法を体系的に学んでいきます。テキストにそって各文法事項を理解したうえで、数多くの練習問題に取り組みます。発音練習と音読にも力を注ぎます。

履修上の留意点

授業にはただ出席するだけでなく、積極的に参加して下さい。毎回与えられる宿題を必ずしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。

教科書

内藤 陽哉著『新カイエ・ドゥ・フランセ』（駿河台出版） 2310円

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語IB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1年 政1年 | | | | |
| 担当者名 | 遠山 ^{とみやま} 博雄 ^{ひろお} | | | | |

講義のねらい

ある程度まとまったやさしい文章やスケッチを読み取り、発音できるようになること。

講義の内容・授業スケジュール

必要な文法事項の説明をしてから、辞書を使って応用していきます。リスニングと発音練習もあわせて行ないます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で取り組むこと。大きな声を出すこと。遅刻をして説明を聞きもらさぬこと。

成績評価の方法

筆記試験を2回行ないます。その中にリスニングも含まれます。

教科書

中村敦子『友だちとフランス語を。』（白水社）2,520円 ISBN4-560-06060-6

参考書等

最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語IIA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 国地文環境日外考商政営A2年 | | | | |
| 担当者名 | とよやま ひろお 遠山 博雄 | | | | |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 辞書を使ってやさしいフランス語の文章やスケッチを読み、発音すること。口語的な有用表現を覚えること。後期はフランスの社会や時事問題についての知識をフランス語を通じて学ぶこと。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1年次でやり残した文法事項の説明をまずすませ、その他の文法事項は復習したり追加しながら、辞書を片手に精読していきます。リスニングも行ないます。 |
| 履修上の留意点 | 必ず辞書を持って出席し、自分で調べて取り組むこと。発音をおろそかにしないこと。 |
| 成績評価の方法 | 2回の筆記試験を行ないます。その中にリスニングも含まれます。 |
| 教科書 | 澤田直他著『アミカルマン』（駿河台出版社）2,625円 ISBN4-411-01093-3 |

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語IIA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 国地文環境日外考商政営A2年 | | | | |
| 担当者名 | まえだ のりかず 前田 祝一 | | | | |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | レベルを中級フランス語に設定します。したがって、一年生で学んだフランス語の後半部分を学習し直し、さらに豊かなフランス語の世界への参入を試みます。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | テキストに沿って進め、細かいニュアンスの把握にも挑戦しましょう。 |
| 履修上の留意点 | 初級フランス語IA・IBの単位の未修者は、自分で参考書などで勉強する覚悟でいて下さい。 |
| 成績評価の方法 | 基本的には前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、授業中の課題や出席の状況にも配慮します。 |
| 教科書 | 数江編『フランス史』（白水社）1,200円 |

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語II A | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禪仏英経 A 法A2年 | | | | |
| 担当者名 | 小玉 ^{こだま} 齊夫 ^{なりお} | | | | |

講義のねらい

既に初級文法をある程度はマスターした人を対象に、フランス語を聞きとり、話し、書く能力をいっそう高めることを目的とします。「短期セミナー」に参加しようと考えている人は、ぜひ、取得するように希望します。

講義の内容・授業スケジュール

個々の場面に応じた実際的なフランス語を、話し、聞き、書く練習が繰り返されると考えてください。

履修上の留意点

初級文法の教科書はつねに授業に持ってくること。「分からないこと」は、授業時間中に分からせるように努めること。それだけでなく早く進むので、予習復習に時間をかけること。出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのような授業にしていきたいと思っています。

成績評価の方法

ふだんの授業への参加の度合い（提出物も多いはずですが）、それと、後期の試験で判定します。

教科書

高橋 他著 『エクスプレッション 1』（第三書房、1500円）
ISBN978-4-8086-2165-0 C1085

参考書等

『和仏小辞典』（白水社）。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語II A | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禪仏英経 A 法A2年 | | | | |
| 担当者名 | 遠山 ^{とおやま} 博雄 ^{ひろお} | | | | |

講義のねらい

辞書を使ってやさしいフランス語の文章やスケッチを読み、発音すること。口語的な有用表現を覚えること。後期はフランスの社会や時事問題についての知識をフランス語を通じて学ぶこと。

講義の内容・授業スケジュール

1年次でやり残した文法事項の説明をまずすませ、その他の文法事項は復習したり追加しながら、辞書を片手に精読していきます。リスニングも行ないます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で調べて取り組むこと。発音をおろそかにしないこと。

成績評価の方法

2回の筆記試験を行ないます。その中にリスニングも含まれます。

教科書

澤田直他著 『アミカルマン』（駿河台出版社）2,625円 ISBN4-411-01093-3

| | | | | | |
|------|-----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏経 A法A2年 | | | | |
| 担当者名 | すがい さとる 菅谷 暁 | | | | |

講義のねらい

教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。フランス語を読む力を養うとともに、フランス文化についての理解を深めます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験によります。

教科書

ポームルー著『セレクション・時事フランス語1997-2002』（朝日出版社）1,890円

その他

毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正確に発音し、訳せるようにしておいてください。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 国日外考商政 2年 | | | | |
| 担当者名 | ほたなか ちあき 畑中 千晶 | | | | |

講義のねらい

リスニング力を強化しながら、フランス語でコミュニケーションする能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。

履修上の留意点

自宅学習とクラスでの活動を連動させることで、力が伸びていきます。宿題には必ず取り組むようにしてください。

成績評価の方法

前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題、小テストなど）20%、夏季休暇の課題10%、出席10%

教科書

中井珠子『コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門（教科書版）』（白水社）1,800円

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 国日外考商政2年 | | | | |
| 担当者名 | 小玉 齊夫 <small>こだま なりお</small> | | | | |

講義のねらい

既に初級文法をある程度はマスターした人を対象に、フランス語を聞きとり、話し、書く能力をいっそう高めることを目的とします。「短期セミナー」に参加しようと考えている人は、ぜひ、取得するように希望します。

講義の内容・授業スケジュール

個々の場面に応じた実際のフランス語を、話し、聞き、書く練習が繰り返されると考えてください。

履修上の留意点

初級文法の教科書はつねに授業に持ってくる。「分からないこと」は、授業時間中に分からせるように努めること。それだけでなく早く進むので、予習復習に時間をかけること。出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのような授業にしていきたいと思っています。

成績評価の方法

ふだんの授業への参加の度合い（提出物も多いはずですが）、それと、後期の試験で判定します。

教科書

高橋 他著 『エクспレシオン1』（第三書房、1500円）ISBN978-4-8086-2165-0 C1085

参考書等

『和仏小辞典』（白水社）。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語II D フランス語II D〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A2年 政2年 法A政34年 | | | | |
| 担当者名 | 小玉 齊夫 <small>こだま なりお</small> | | | | |

講義のねらい

フランスの、経済、歴史、地理、教育、文化等、さまざまな分野での基礎的な知識を読み取っていく授業です。概略的な情報では、底が浅くて不十分ではないか、という懸念はありますが、より深くフランスを知るためのきっかけとなれば、と思っています。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文法の復習も含めて、ややゆっくりと読み進んでいき、後期からは、多くの文に触れるために、他のプリント教材なども、見てみたいと思います。

履修上の留意点

予習・復習を必ずしてから、出席すること。授業には初級文法の教科書ならびに辞書（仏和）を持ってくる。「分からないこと」は授業中に「分かったこと」に変えるよう努めること。

成績評価の方法

ふだんの授業への「参加」状態、提出物の評価、さらに、前期および後期の試験（後期の方を重視）によって成績評価をします。出席は、特別な理由がある時を除き、するのが当たり前です。よって、「出席点」などは設定しません。

教科書

トザン著 『現代フランスの基礎知識』（改訂版）（白水社、1900円）ISBN978-4-560-01175-3

中 国 語

外国語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・文型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA－ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA－ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

中国語ⅡA

ⅠA－ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1～2篇の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・文型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

ⅠA－ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA－ⅠBに準ずる。

【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまうなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りのあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社）2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年 小学館）語法解説や図版豊富。6,300円

相原茂『講談社中日辞典〔第二版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年 三省堂）4,000円／『小型版』（2004年）2,800円

武信彰『プログレッシブ中国語辞典』（1998年 小学館）3,500円／『コンパクト版』（2004年）2,600円

また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の2点も、初心者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容をもつ優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』（2002年 白水社）7,800円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』（1987年 大修館書店）8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元があれば重宝するであろう。

対外経貿大学・商務印書店・小学館『日中辞典〔第2版〕』（2002年 小学館）7,000円

倉石武四郎・折敷瀬興『岩波日中辞典〔第2版〕』（2001年 岩波書店）5,000円

| | | | | | |
|------|-------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語ⅠA・中国語ⅠB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1年 政1年 | | | | |
| 担当者名 | 三田村 圭子・李 雲 | | | | |

講義のねらい

発音（ピンイン＝中国語の表音ローマ字発音法）と基本文法を覚え、会話や文章の基本表現を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①文字・語義・文法・表現などの面から日中両語を比較し、その異同を認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を覚える。
- ②発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などを反復練習する。
- ③文法は教科書の展開に従い、文型を解析する。文法を理解してから応用会話や作文練習を行なう。

履修上の留意点

出欠は成績に加味するので、欠席数の多い学生は単位をとるのが難しい。

成績評価の方法

前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

教科書

『中国語へのアプローチ』楊凱栄・張麗郡（朝日出版社）2300円

参考書等

授業開始時に説明する。

その他

李雲先生とのペアであることに注意すること。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語IA・中国語IB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1年 政1年 | | | | |
| 担当者名 | いわさき ひろし 岩崎 皇 | | | | |

- 講義のねらい** 中国語という言語を体験してもらうことが目標です。とりわけ発音が重要ですから、繰り返し練習します。
- 講義の内容・授業スケジュール** ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。
- 履修上の留意点** 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、部活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得はできません。
- 成績評価の方法** 4分の3以上の出席を前提とした上で、年間4回以上行う試験で判断します。
- 教科書** 遠藤光暁「北京物語」（朝日出版社）2,500円（本体）

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語IIA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 国地文環境日外考商政営A2年 | | | | |
| 担当者名 | はしもと さちえ 橋本 幸枝 | | | | |

- 講義のねらい** あまり長くなく、比較的読み易い文章をきちんと読めるようになることを目指す。既習の文法を定着させ、更に補語や複文表現を学ぶ。また発音をしっかり習熟させる。
- 講義の内容・授業スケジュール** 本文がきちんと訳せるかチェックし、単語の意味、文章構造、文法事項を解説する。練習問題により理解できたか確かめる。2週間に1課の目安で進めていく。
- 履修上の留意点** 欠席しないように。課題をしっかりとやってくること。
- 成績評価の方法** 出席状況、授業態度、課題、前後期の期末テストで総合的に評価する。
- 教科書** 杉野元子著『大学生のための現代中国12話』（白帝社）2625円

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語II A | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 国地文環境日外考商政営A2年 | | | | |
| 担当者名 | 福地 桂子 <small>ふくち けいこ</small> | | | | |

講義のねらい

自分で辞書をひいて、簡単な文章が読めることを目指す。
文法は中国語Iで学んだ基礎を定着させ、さらに接続詞を使った複文を学ぶ。
中国語Iに引き続き、正確な発音の練習に力を入れる。
中国の社会文化に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

中国の文化を紹介した文章を読む。
文法事項を体系的に把握する。
下記の教科書を用い、だいたい2週間に1課の進捗で進めていく。

履修上の留意点

必ず予習してくること。
授業に辞書を携帯すること。

成績評価の方法

前後期（各2回）の総合テスト、小テスト、授業での発表内容、出席状況（3/4以上出席すること）を総合して評価する。

教科書

名和又介『ビデオで学ぶ中国文化』（金星堂）2,800円

| | | | | | |
|------|----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語II A | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 国地文環境日外考商政営A2年 | | | | |
| 担当者名 | 児島 弘一郎 <small>こじま こういちろう</small> | | | | |

講義のねらい

中国語Iで学習した発音・単語・文法事項を復習しつつ、中国文化に関するテキストを精読し、中国語の文章を理解するための総合的な力を養成します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの訳読と練習問題は受講者を随時指名して進め、発音の矯正、単語の解説、文法事項の整理、構文・文脈の把握などを行ないます。中国文化に関連する書籍・写真や具体的なモノに触れる機会も、多く設ける予定です。

履修上の留意点

毎回の出席と予習・復習は不可欠です。有効な勉強法については、教場で指導します。また、辞書をこまめにひく習慣を身につけてください。

成績評価の方法

前期・後期の試験、数回実施する小テスト、出席状況によって総合的に評価します。

教科書

荒屋勸・尹景春・阿部博幸『中国と日本』（朝日出版社）2100円 CD付

参考書等

辞書や中国文化の理解に資する参考書などは、教場で紹介します。

その他

語学はコツコツやるよりほか上達の方途はありません。毎回の授業に、真摯かつ謙虚に臨んでください。

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語II A | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 国地文環境日外考商政管A2年 | | | | |
| 担当者名 | 弘兼 加奈子 <small>ひろかね かなこ</small> | | | | |

講義の内容・授業スケジュール

一年次で学んだことを定着させ、更に発展させることを目標とする。
課文には高校の漢文でなじみ深いものも一部含まれる。翻訳が中心となるが、発音・声調も重視していく。

成績評価の方法

年数回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

于振領『中国歴史故事』（駿河台出版社）1500円

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語II A | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 国地文環境日外考商政管A2年 | | | | |
| 担当者名 | 江林 英基 <small>こうりん ひでもと</small> | | | | |

講義のねらい

講読と文法をかねた中級テキストを用いて、文章を正確に読み、文法を理解することによって翻訳力の育成をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

語句と文章の意味を説明して、文形の構造（文法）を解説する。朗読力を高めるため文章を読ませる。二週間に一課の進度で授業を進めていく。

履修上の留意点

三分の二以上の出席が必要、授業中に私語を禁止する。

成績評価の方法

出席状況、学習態度、宿題、小テスト、学期末テストによって総合的に評価する。

教科書

中川正之、沈国威編著『中国語中級教科書（読物、文法編）』（白帝社）1400円。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語II A | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏英経 A 法 A2年 | | | | |
| 担当者名 | 秋元 翼 <small>あきもと なるく</small> | | | | |

講義の内容・授業スケジュール

初級の文法の復習をしながら、最初は「矛盾」や「塞翁が馬」のような故事を易しい文で読んでいく。前半では読解力の基礎を養い、後半では中国人のために書かれた文を辞書を引きながら読む段階へと進む。

履修上の留意点

使用する教科書の文章は比較的短いので暗記する努力をして欲しい。暗記は語彙を増やすばかりでなく、読解力を養うためにも大いに役立つであろう。4分の3以上の出席が必要。

成績評価の方法

平常の学習態度や到達度と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教科書

董燕・遠藤光暁著『読む中国語』（朝日出版社）2200円

| | | | | | |
|------|----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語II A | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏英経 A 法A2年 | | | | |
| 担当者名 | 児島 <small>こじま こういちろう</small> 弘一郎 | | | | |

講義のねらい

中国語Iで学習した発音・単語・文法事項を復習しつつ、中国の生活習慣に関するテキストを精読します。基礎的な読解力を養いつつ、身近な事柄について適切に表現できるようになることが目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの訳読と練習問題は受講者を随時指名して進め、発音の矯正、単語の解説、文法事項の整理、構文・文脈の把握などを行ないます。日中の生活習慣、考え方の違いなどについての理解も深めます。

履修上の留意点

毎回の出席と予習・復習は不可欠です。有効な勉強法については、教場で指導します。また、辞書をこまめにひく習慣を身につけてください。

成績評価の方法

前期・後期の試験、数回実施する小テスト、出席状況によって総合的に評価します。

教科書

張継濱・小川文昭『中国ってどんな国？—生活風景点描—』（白水社）2000円 CD付

参考書等

辞書や中国理解に資する参考書などは、教場で紹介します。

その他

語学はコツコツやるよりほか上達の方途はありません。毎回の授業に、真摯かつ謙虚に臨んでください。

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語II A | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏英経 A 法A2年 | | | | |
| 担当者名 | 李 <small>り うれん</small> 雲 | | | | |

講義のねらい

講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進捗で授業を進めていく。

履修上の留意点

授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

成績評価の方法

出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

教科書

阪口直樹等『ストラクチャー—構造から学ぶ入門中国語』（朝日出版社）2,415円

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語II A | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏英経A法A2年 | | | | |
| 担当者名 | いわさき ひろし 岩崎 皇 | | | | |

- 講義のねらい** 中国語の文章を読むことを通して、文法知識の確認と会話等にも使える語彙量を増やすことが目標です。テキストは中国を紹介するエッセイです。
- 講義の内容・授業スケジュール** 授業はテキストに沿って進めますが、訳すだけでは、中国語そのものを覚えることがなかなかできません。書くこと、聞くこと、音読することで練習していきます。
- 履修上の留意点** 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、部活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得ができなくなります。
- 成績評価の方法** 4分の3以上の出席を前提とした上で、試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。
- 教科書** 張継濱、小川文昭『中国ってどんな国？』（白水社）2,100円

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏経A法A2年 | | | | |
| 担当者名 | はしもと さちえ 橋本 幸枝 | | | | |

- 講義のねらい** 正確な発音がしっかり定着すること。いろいろな場面における基本的な会話ができるようになること。平易な中国語を聞いて理解できるようになること。
- 講義の内容・授業スケジュール** まず発音が更に定着するよう本文の音読をする。教科書の会話文を覚え、生徒同士会話するチャンスを多く設ける。また、教科書の練習問題に添ってリスニングの練習をする。2週間に1課の目安で進めていく。
- 履修上の留意点** 欠席しないように。課題をしっかりとやってくること。
- 成績評価の方法** 出席状況、授業態度、課題、前後期の期末テストで総合的に評価する。
- 教科書** 陳浩・梁月軍『中国語会話ステップアップ』（郁文堂）2,415円

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏経A法A2年 | | | | |
| 担当者名 | 梅田 雅子 <small>うめだ まさこ</small> | | | | |

講義のねらい

一年時に学習した文法内容を整理・復習しながら、聞き取り能力の向上と発音の練習を重点的に行う。知らない単語でも、ピンインを見て正確に発音できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1：文法事項などの確認と練習。
 - 2：本文・新出単語の発音練習と意味の確認。
 - 3：会話や問答の練習。
 - 4：練習問題の答え合わせ。
 - 5：本文の暗記と発表。(二人一組で本文の練習を行い、暗記の後、発表する。その際、適宜、発音の確認と矯正を行う。特に読み間違いやすいピンインに注意すること。)
- ★2回の授業で1課進む予定。
★時々、今までに習った単語の聞き取り小テストを行う。

履修上の留意点

- 3 / 4 以上の出席が必要。
- 予習復習必須。
- 辞書(日中・中日)持参。
- 添付のCDを何度も聞くこと。
- 授業中は恥ずかしがらずに、大きな声を出すよう心がける。

成績評価の方法

平常点(出席・授業態度・小テスト)40%、前期試験：30%、後期試験：30%

教科書

『中国語明明白白』(東方書店) ISBN 4-497-20024-8

参考書等

日中・中日辞典を持ってくる。電子辞書でも可。出版社は問わないが、日本の漢字音から引ける索引がついている辞書が望ましい。

その他

外国語の練習は、カラオケの練習に似ています。実際の正しい発音を聞いていないと、なかなか正確に発音できません。CDをたくさん聞いてください。

また、暗記というと、大変そうに思う人が多いですが、前年度の学生さんを見てみると、若だけあってみな15分ほどで覚えてしまっています。難しく考えず、大きな声で練習しましょう。

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏経A法A2年 | | | | |
| 担当者名 | 弘兼 加奈子 <small>ひろかね かなこ</small> | | | | |

講義の内容・授業スケジュール

全15課の課文を通し、中国の現在の状況を学んでいく。テキストには文化的、社会的、経済的な視点から見たテーマが取り上げられている。

成績評価の方法

年数回の試験と教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

村松恵子・董紅俊『中国語中級テキスト China Now』(白帝社) 2400円

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語ⅡB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 国日外考商政2年 | | | | |
| 担当者名 | ねがし まさこ 根岸 政子 | | | | |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 1年次に習得した基本文法を復習しながら、身近な会話をもとにして「読む」「聞く」「話す」を中心とした中国語の習得をめざす。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 会話を中心としたテキストを使用し、3回で2課のペースで進めていく。 |
| 履修上の留意点 | 平常の反復練習が上達への鍵であるから、大きな声を出して何回も読むこと。必ず予習、復習を行い、授業時には中日辞典を持参すること。 |
| 成績評価の方法 | 前期後期の試験4回（中間を含む）、小テスト、出席状況、授業への参加度などで評価する。 |
| 教科書 | 守屋宏則・陳淑梅・劉光赤『メグの中国ホームスティ』（同学社）2,500円 |

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語ⅡB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 国日外考商政2年 | | | | |
| 担当者名 | あきもと たすく 秋元 翼 | | | | |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義の内容・授業スケジュール | 初級の復習をしながら、日常生活に必要な語彙や表現を増やしていく。出てくる文法はほとんど初級で学んだものだが、それを聞いて分かり、口に出して言えるようにする。教室では口頭練習を多くする。 |
| 履修上の留意点 | 予習・復習をきちんとし、教室ではできるだけ教科書から目を離し、耳と口を働かせて音声面の能力を高めて欲しい。4分の3以上の出席が必要。 |
| 成績評価の方法 | 平常の学習態度や到達度と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。 |
| 教科書 | 塚本慶一監修・劉穎著『2年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2200円 |

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 国日外考商政2年 | | | | |
| 担当者名 | 岩崎 皇 <small>いわさき ひろし</small> | | | | |

講義のねらい

言葉の勉強は、まず単語をきちんと覚えていくことから始まります。そして、単語を覚えるど一口に言っても、音を覚え、表記を覚え、意味を覚えるという3つの側面がそろっていないとなりません。テキストを使うと、最も重要な音を覚えることがおろそかになりがちです。この授業では中国語の音声的訓練が中心になるので、聞くこと、声に出して読むことに最大の努力を払ってください。

なお、テキストは上海を題材としているので、本学の短期留学夏期中国語セミナーにも大変役立つと思います。

講義の内容・授業スケジュール

授業はテキストに沿って進めていきますが、適宜プリントを配布します。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得が不可能となりますので注意してください。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは大きなものを年間4回行います。その他単語テストなど小テストも行います。

教科書

石慧敏、金子真也『上海びより』（好文出版）2,100円

| | | | | | |
|------|----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 国日外考商政2年 | | | | |
| 担当者名 | 児島 弘一郎 <small>こじま こういちろう</small> | | | | |

講義のねらい

中国語Iで学習した発音・単語・文法事項を復習しつつ、ヒアリング・会話を中心としたコミュニケーション能力の向上を図ります。

講義の内容・授業スケジュール

会話文例・文法ポイント・反復練習・ヒアリングから成るテキストを随時指名して進め、発音の矯正、単語の解説、文法事項の整理、聴き取り、ペアによる対話の実践などを行いません。中国語の音声面に重点を置いた授業です。

履修上の留意点

毎回の授業が貴重な練習の場となるので、出席を怠らないこと。また、失敗を懼れず積極的に取り組む気持ちも必要です。

成績評価の方法

前期・後期の試験、数回実施する小テスト、出席状況によって総合的に評価します。

教科書

塚本慶一監修・劉穎著『2年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2200円 CD付

参考書等

辞書や役立つ音声教材などは、教場で紹介します。

その他

教場は練習の場ですから間違っても構いません。毎回の授業に積極的に参加してください。

外国語

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語IID 中国語IID〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A2年 政2年 法A政34年 | | | | |
| 担当者名 | 佐藤 普美子 <small>さとう ふみこ</small> | | | | |

| | |
|----------------|-----------------------------------------|
| 講義のねらい | 激動する中国の今を、最新の記事やヴィヴィッドなテーマを通して学ぶ。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1課を2回の授業で進める。 |
| 履修上の留意点 | 毎回必ず予習をしておくこと。辞書も持参すること。 |
| 成績評価の方法 | 前後末試験の成績と平常点（出席、小テスト）を総合的に評価する。 |
| 教科書 | 三瀧正道・陳祖蓓『時事中国語の教科書—2007年度版』（朝日出版社）1995円 |
| 参考書等 | 授業時に紹介する。 |

| | | | | | |
|------|----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語IID 中国語IID〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A2年 政2年 法A政34年 | | | | |
| 担当者名 | 天野 節 <small>あまの せつ</small> | | | | |

| | |
|---------|--------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 最新の中国の記事を講読し、読解力を養うとともに現代中国事情の一端を学ぶこと。 |
| 履修上の留意点 | 遅刻・早退・欠席をせず、予習、復習をすること。 |
| 成績評価の方法 | 出席点（30％）＋課題提出あるいは小テスト（10％）＋前・後期計2回の期末テストの平均（60％） |
| 教科書 | 三瀧正道＋陳祖蓓＝共著『時事中国語の教科書—2007年度版』（朝日出版）1995円 |
| 参考書等 | 授業の中で提示する。 |

〔スペイン語〕

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語IA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1年 政1年 | | | | |
| 担当者名 | 荻野 ^{おぎの} 雅司 ^{まさじ} | | | | |

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようにします。
さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行うことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回正規のテストを行いますが、総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

教科書

細川幸夫著『英語からスペイン語へ』（弘学舎）

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語IA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1年 政1年 | | | | |
| 担当者名 | 齋藤 ^{さいとう} 明美 ^{あけみ} | | | | |

講義のねらい

基礎文法を楽しく勉強しながら、スペイン語を使って簡単なコミュニケーションを取れることを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

文法に関しては直接法現在と過去の学習を中心に基本を固めます。また日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学び、一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテンポップスや話題の映画なども紹介していきます。

履修上の留意点

スペイン語で初歩的な「読む」「聞く」「書く」「話す」技能を身につけるためには毎回の予習・復習が大切です。最初は文法や単語を覚えるのが大変ですが、きっと次第にスペイン語を使うことが楽しくなるでしょう。

成績評価の方法

毎回の授業参加や演習課題そして各期末の達成度チェックによります。

教科書

未定

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語IB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1年 政1年 | | | | |
| 担当者名 | 上野 勝広 <small>うえのかつひろ</small> | | | | |

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音・文法・語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。
また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』（同学社）2,500円

参考書等

初回の授業で紹介します。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語IB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1年 政1年 | | | | |
| 担当者名 | 真下 祐一 <small>ましむ ゆういち</small> | | | | |

講義のねらい

世界中で用いられているスペイン語の初歩を学びます。読み書きの練習を通し文法や語彙に関する知識を少しずつ蓄えていながら、正確な発音で生き生きとした表現ができるよう、また話し相手の言うことが確実に理解できるよう、総合的なスペイン語能力の開発を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の目次に沿って進めます。はじめに各課のテーマについて解説を行い、次に練習問題によって理解を確実にします。

履修上の留意点

初級の授業ゆえ根気よく勉強を続ける必要があります。学習の動機を保てるよう常日頃スペイン語圏のニュースに注意しててください。また、大きな声ではっきりと話す習慣が身につくよう積極的な姿勢で授業にのぞんでください。毎回かならずあたります。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストの結果などで評価します。

教科書

山道佳子・他 『スペイン語でお願いします!』（同学社）

参考書等

西和辞典を一冊。『改訂版現代スペイン語辞典』（白水社）など。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語II A | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 国地文環境日外考商政営A2年 | | | | |
| 担当者名 | 眞下 祐一 <small>ましも ゆういち</small> | | | | |

講義のねらい

一年次で学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の目次に沿って授業を進めます。一年次の復習の後、動詞の接続法の活用まで学びます。授業中に練習問題のプリントを配布します。

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストなどの結果で評価します。

教科書

東京大学教養学部スペイン語部会『ディメロースペイン語初級一』（朝日出版社）

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語II A | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 国地文環境日外考商政営A2年 | | | | |
| 担当者名 | 上野 勝広 <small>うえの かつひろ</small> | | | | |

講義のねらい

スペイン語Iで学習した基礎（発音・文法・語彙）を確認しながら発展させるクラスです。前期は既習事項の復習にも重点を置きます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～15課まで、後期は16課～22課を学習します。随時プリントも配布し、口頭および筆記の練習を追加します。またテキスト後半のエッセイを随時取り上げ、読解力の向上を図ります。

履修上の留意点

休まず遅れずきちんと授業に参加することが肝要です。授業には必ず辞書を持参すること。スペイン語本文の音読や練習問題は、指名して読んだり答えてもらいます。原則的に毎回課題があり、翌週の授業でチェックします。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

菊田 和佳子／丹波 美佐子『二つの世界で』（同学社） 2,700円

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語IIA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏英経A法A2年 | | | | |
| 担当者名 | おおいわ いさお 大岩 功 | | | | |

- 講義のねらい** スペイン語Iで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。
- 講義の内容・授業スケジュール** 初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。
- 履修上の留意点** 予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。
- 成績評価の方法** 出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
- 教科書** 大岩功著『やさしいスペイン語文法』（三修社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。
- 参考書等** 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語IIA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏英経A法A2年 | | | | |
| 担当者名 | ましも ゆういち 真下 祐一 | | | | |

- 講義のねらい** 一年次で学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。
- 講義の内容・授業スケジュール** 教科書の目次に沿って授業を進めます。一年次の復習の後、動詞の接続法の活用まで学びます。授業中に練習問題のプリントを配布します。
- 履修上の留意点** 予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。
- 成績評価の方法** 100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストなどの結果で評価します。
- 教科書** 東京大学教養学部スペイン語部会『ディメロース페인語初級一』（朝日出版社）

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏経 A 法A2年 | | | | |
| 担当者名 | おおいわ いさお 大岩 功 | | | | |

講義のねらい

スペイン語Iで学習した内容をさらに発展させ、簡単な新聞記事などのスペイン語の原文を読めるようになることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習しながら、簡単な文章を読んでいます。その後、さらに新しい文法項目の学習と平行して、少しずつ複雑な文章の読解にチャレンジします。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりとやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、授業中に適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

国本伊代著『スペイン語でニュースを読む』朝日出版社

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『やさしいスペイン語文法』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 国日外考商政2年 | | | | |
| 担当者名 | おおいわ いさお 大岩 功 | | | | |

講義のねらい

スペイン語Iで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりとやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを勘案して総合的に評価します。

教科書

大岩功著『やさしいスペイン語文法』（三修社）
長文読解用の教材については、プリントを適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）

| | | | | | |
|------|----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語IID スペイン語IID〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A2年 政2年 法A政34年 | | | | |
| 担当者名 | ナバロ、ホワンJ. | | | | |

講義のねらい

一年次で学んだ文法をふまえ、命令形（規則動詞、不規則動詞、肯定、否定）を勉強します。次に直説法点過去、線過去（規則動詞、規則動詞）を学びます。さらに再帰動詞などを扱います。最後に直説法過去完了、未来、過去未来、および関係代名詞の使い方を学びます。授業中にプリントを配布します。各課短い読解が最初にあり、次に文法のまとめと練習、最後に会話の練習です。毎回、次の課の説明をします。

講義の内容・授業スケジュール

動詞の過去形（不完了過去・不定過去）を中心に勉強する。各一課は、短い文章や会話及び練習問題で構成されている。

履修上の留意点

予習として単語の意味などは辞書で調べて頂きたい。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

この講義の初回授業時間に教室にて配布するプリントを使用する。

ロシア語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキナ語、セルビア語、マケドニア語、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです、これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多に価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際的に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

ⅠA・ⅠB：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

ⅡA・ⅡB：一年のⅠA・ⅠBのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷 正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村 彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

| | | | | | |
|------|---------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ロシア語IA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1年 政1年 | | | | |
| 担当者名 | おおすか ふみかす 大須賀 史和 | | | | |

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

講義の内容・授業スケジュール

2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。前期は、イントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円＋税

参考書等

『露和辞典』

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ロシア語I B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1年 政1年 | | | | |
| 担当者名 | 木村 英明 <small>きむら ひであき</small> | | | | |

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

講義の内容・授業スケジュール

2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。前期は、イントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円＋税

参考書等

『露和辞典』

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ロシア語II A | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 国地文環境日外考商政営A2年 | | | | |
| 担当者名 | 木村 英明 <small>きむら ひであき</small> | | | | |

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

『やさしいロシア語読本』（大学書林）。1年次に使用した教科書と文法表。

その他

プリント配布。教場にて指示します。

| | | | | | |
|------|-------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ロシア語II A | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏英経 A 法A2年 | | | | |
| 担当者名 | 杉山 秀子・佐藤 和子 | | | | |

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

『やさしいロシア語読本』(杉山秀子他著)(大学書林)、一年次に渡した文法表。

参考書等

露和辞典

その他

プリント配布。教場にて指示します。

| | | | | | |
|------|------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ロシア語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏経 A 法A2年 | | | | |
| 担当者名 | 木村 英明 | | | | |

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

- ・アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- ・日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- ・やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- ・かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- ・中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年で使用した教科書、および1年のときに渡した文法表。

その他

プリント配布。

| | | | | | |
|------|-------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ロシア語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 国日外考商政2年 | | | | |
| 担当者名 | 佐野 <small>さの</small> 朝子 | | | | |

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

平常点で評価する。

教科書

『やさしいロシア語読本』(大学書林)を使用します。

その他

プリント配布。

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ロシア語IID ロシア語IID〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A2年 政2年 法A政34年 | | | | |
| 担当者名 | クロチコフ, Y. | | | | |

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

『やさしいロシア語読本』(大学書林)

その他

ビデオ、オーディオ等を使用します。

| | | | | | |
|------|-------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英文講読 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | はやし あきと 林 明人 | | | | |

講義の内容・授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようになれば幸いです。

履修上の留意点

遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めない。

成績評価の方法

①試験、②レポート、③出席、④発表で総合評価するが、出席は3分の2を越えていなければならない。出席以外のそれぞれの評価が一つでも4割に満たない場合は単位を認めない。

教科書

教員が作成したものを uses。

| | | | | | |
|------|-------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英文講読 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | やじま なおこ 矢島 直子 | | | | |

講義のねらい

現在イギリスで日常使われている英語を学びます。2006年2月にロンドンで上演された戯曲を読みます。残念ながら、芝居は見えていません。

講義の内容・授業スケジュール

本を読み、意味を取っていきます。その際、どういう事を伝えようとしているのか、想像力を働かせて読み取ること。現代チャキチャキの言葉で書かれていますから、見た目は易しくて、内容を理解するのは難しいです。できれば、1年間で最後まで読み終えたいです。

履修上の留意点

ほとんど毎回当てて、読んで意味を言ってもらいますから、必ず1回の授業の全範囲を予習してこること。辞書の文例まで読まないで、意味が分からないことがあります。1回目の授業から必ず出席してください。

成績評価の方法

平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に判断して評価します。

教科書

Laura Wade, 「Other Hands」 Oberon Modern Plays, £8.99, ISBN 1-84002-650-2.

| | | | | | |
|------|-------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英文講読 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | まきの てるよし 牧野 輝良 | | | | |

講義のねらい

英語の長文の内容理解に努める。

講義の内容・
授業スケジュール

英文の構造をしっかりと学習し、毎時間3頁読み進めることを目安とする。

履修上の留意点

テキストの文章がかなり長いから、履修者は指名されたら内容の発表、和訳ができるようによく自習しておくこと。

成績評価の方法

授業中の発表、和訳、期末テストを総合的に評価するが、英語の理解力に力点をおく。

教科書

『西欧文明をどう理解するか』（南雲堂）1,600円＋税 ISBN4-523-03656-X

| | | | | | |
|------|-------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 時事英語研究 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | たかの ひでお 高野 秀夫 | | | | |

講義のねらい

今や、日常生活のなかに real time で入って来る世界のニュースを捉える学修は欠かせない。この時事英語の授業では、できるだけ新しい英語ニュースの教材で、時々刻々と変わる国内外の動向を異文化の視点で捉え、国際社会の理解に努め、英語力増強を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書では、時事英語 (Current English) の特徴“最初の部分で全文の内容が捉えられるように書かれている”を読み込んで生きた英語の理解に努める。

履修上の留意点

毎時間、英語での質疑応答があるので予習は欠かせないこと。
英語で世界の動きを捉える習慣を身に付けること。

成績評価の方法

前、後期末テスト、平常点（出席点、レポート等）

教科書

- ・ TV News Watching 21 Approaches (北星堂)
- ・ An Introduction to Media English (北星堂)
- ・ プリント

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 時事英語研究 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 林 明人 <small>はやし あきと</small> | | | | |

講義のねらい

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。
尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

講義の内容・授業スケジュール

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読んだりします。

履修上の留意点

遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めません。

成績評価の方法

①試験、②レポート、③出席で総合評価するが、出席は3分の2を越えていなければならない。出席以外のそれぞれの評価が一つでも4割に満たない場合は単位を認めない。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

『Sanseido's Dictionary of News English』（三省堂）

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 時事英語研究 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 岸本 茂和 <small>きしもと しげかず</small> | | | | |

講義のねらい

1980年以降のアメリカ社会でどんなことが起こってきたか。それを解く鍵のことばが、“racism”（人種差別主義）・“sexism”（性差別主義）・“political correctness”（政治的妥当性）・“multiculturalism”（多文化主義）などだ。すこしむつかしいかもしれないが、読みごたえのあるいい文章だ。できるだけ読みすすみたい。

講義の内容・授業スケジュール

この授業はいわゆる講義ではなくふつうの英語のクラスだ。
「時事英語研究」と銘うちなながら新聞・雑誌をよまないのを不審におもうのもっともだが、時事関係の文書については随時プリントを配布する。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくること。電子辞書も可。予習は必須。

成績評価の方法

試験は前期・後期の2回。欠席が授業日数の3分の1を越えればはいは「不可」とする。

教科書

『現代アメリカの<美德>』（朝日出版社）定価1,359円+税

その他

受講者は40人を上限とする。

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 時事英語研究 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 落合 <small>おちかい かずあき</small> 和昭 | | | | |

講義のねらい

新聞、雑誌、ニュース等の英語のヒヤリングと読解。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、主として、二つの部分からなる。第一の部分では、ニュース英語のヒヤリングやディクテーションをする。第二の部分では、新聞、雑誌、ニュース等の英語を正確に読む練習をする。

履修上の留意点

授業は、徹底した演習形式をとるため、学生の予習を前提にして、進める。できるだけ多くの学生に、順不同に当て、積極的に参加してもらうために、受講学生を70人以下に制限する。受講希望者が70人を越えた場合は、最初の授業で、抽選を行う。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は年間約10回前後の提出を予定。授業中の発表等に関しては、できるだけ多くの学生に当てるように気をつける）。出席率が平常授業（前期・後期試験は除く）の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。また、遅刻は2回で、欠席1回とし、30分以上の遅刻は欠席とする。

教科書

- 『続・英字新聞用語速習法』 マクミラン 1600円
ISBN4-89585-524-4
- 『読んで学んで英字新聞』 英宝社 1600円
ISBN978-4-269-190302 C1082
- プリント

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 時事英語研究 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 矢島 <small>やじま なおこ</small> 直子 | | | | |

講義のねらい

アメリカ、イギリスの新聞を読めるようになってもらいたいです。

講義の内容・授業スケジュール

英字紙の電子版を編集した教科書の中から記事を読んでもらい、意味を取っていきます。必要な場合は、文法・構文の説明をし、全体を把握してもらうようにします。進み具合は、学生次第です。

履修上の留意点

毎回どんどん当てて読んでいってもらいますから、辞書を引いてしっかり予習してきて下さい。必ず1回目の授業から出席すること。

成績評価の方法

平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に判断して評価します。

教科書

- 佐藤公雄『オンラインニュースで学ぶ世界情勢』成美堂、¥1,800円 ISBN 4-7919-1043-5。

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | マルチ・メディア | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | おちあい かずあき 落合 和昭 | | | | |

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞（せりふ）を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底的な演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、かなりつらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講するように心がけてもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は46名しか入れないLL教場を使用するので、46名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験は全評価の40%（前期試験が20%、後期試験が20%）である。課題、小テスト、授業中の発表等は60%とする。課題は10回程度、一回の授業に、全員が最低一回は当てるように努める。出席率は平常授業（前期・後期試験は除く）3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。また、遅刻2回で、欠席1回とし、30分以上の遅刻は欠席とする。出席率が3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書

- 『映画総合台本 ノッティングヒルの恋人』 松柏社
- 『イディオム書き取り練習帳』 鶴見書店
- 『L.A.ビート、ビデオで見るロサンジェルス』 朝日出版社
1800円 ISBN4-255-15322-1 C1082

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | マルチ・メディア | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | おおば なおき 大庭 直樹 | | | | |

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。

第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいく、ことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。

第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。

第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。

第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらおう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | マルチ・メディア | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | にしむら ゆうこ 西村 祐子 | | | | |

外国語

講義のねらい

英語による欧米の学部レベルの授業を体験させ、英語によるプレゼンテーション能力、聞き取り、理解力、読解力、作文能力などを総合的に高めるクラス。前半、後半ともそれぞれ8回程度アメリカシアトル市のワシントン大学とテレビ会議システムをつなぎ、インターアクティブなレクチャーを進める。テレビ会議を行わない週には英語でレクチャー内容の復習、予習などを行う。講義は社会科学系のテーマで、現代日本社会論、日米のNPO比較、NPOにおけるインターンシップの詳細などである。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：米国ソーシャルワークとコミュニティビルディングの歴史をワシントン大学側がレクチャー（計4回）。日本現代社会論（社会福祉政策、公益法人とNPO,現代若者文化、ジェンダーなど）を西村がレクチャー（計4回）。(授業はワシントン大学ソーシャルワーク学部学生と共同聴講)。隔週でテレビ会議に備え、前回レクチャーの復習と次回レクチャーの予習を教場授業で行う。
9-12月：現代日本社会論のレクチャーをテレビ会議システムで8回にわたりワシントン大学に配信。ここで本授業受講者はテーマを現代社会論の中から決めてそれぞれ15分程度のプレゼンテーションを行う。

履修上の留意点

受講資格は最低TOEIC650 (TOEFL500) レベル以上であること。第一回授業でスクリーニングを行う。英語圏への留学希望者などで英語力アップをめざす学生は積極的に受講してほしい。

成績評価の方法

平常点（出席点、発表など）で評価。定期試験は行わない。

教科書

教場にて指定。

参考書等

授業で指定。

その他

本学ではじめてのテレビ会議によるインターアクティブな日米共同授業であり、本学とワシントン大学の交流プロジェクトの一環となる授業である。この授業とは別にこの授業の受講者に限り、夏季はシアトル市で実際にNPOのインターンシップに参加できる。また、冬季はこの授業を受講しているワシントン大学学生が日本のNPOでの研修に参加する。

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | マルチ・メディア | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | おのば なつき 大庭 直樹 | | | | |

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいくことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。
 第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。
 第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

外国語

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらおう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらおう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英会話I | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 | | | | |
| 担当者名 | ロビン, G. F. | | | | |

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, on which they will be graded.

講義の内容・授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test, which will be given at the end of each term.

教科書

FIFTY FIFTY STUDENT BOOK 1 WARREN WILSON ROGER BARNARD ISBN-10 9620056655 10 digit

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英会話I | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 | | | | |
| 担当者名 | ロビン, G. F. | | | | |

外国語

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, on which they will be graded.

講義の内容・
授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test, which will be given at the end of each term.

教科書

FIFTY FIFTY
STUDENT BOOK 1
WARREN WILSON
ROGER BARNARD
ISBN-10 9620056655
10 digit

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英会話I | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 | | | | |
| 担当者名 | ウェルズ, J. K. | | | | |

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I
Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容・授業スケジュール

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).
Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write and, which you will perform in the classroom. Do not worry, it is fun!

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Attendance : 50%
Tests : 25% (one test each semester)
Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.
The first class is very important, so please do not be absent!

その他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英会話I | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政管A放1234選 | | | | |
| 担当者名 | ウェルズ, J. K. | | | | |

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容・授業スケジュール

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write and, which you will perform in the classroom. Do not worry, it is fun!

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Attendance : 50%
 Tests : 25% (one test each semester)
 Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5sized prints so a notebook larger than B5should be used. Notebooks will be checked in the second class.

The first class is very important, so please do not be absent!

その他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英会話I | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 | | | | |
| 担当者名 | ソルタ、P. N. F. | | | | |

講義のねらい

Introduction and Class Goals: English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. This course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・授業スケジュール

Class Contents: Fifteen units from a textbook and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are:

- Unit 1: Introductions / Classroom Language
- Unit 2: Likes and Dislikes / Adjectives
- Unit 3: Locations / Telephoning (1)
- Unit 5: There is ... There are... / Quantities
- Unit 6: Have..., Want..., Would like..., / Shopping (1)
- Unit 7: Uncountable nouns / At a Restaurant
- Unit 9: Present Continuous / telephoning (2)
- Unit 10: Fashion / Shopping (2)
- Unit 12: Present Simple / Occupations
- Unit 13: Adverbs of frequency / Routines (1)
- Unit 14: Transportation / Work & School
- Unit 15: The Present Tenses / Frequency

履修上の留意点

Class Regulations and Prerequisites: It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where all the teaching will be done in English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

Student Evaluation: A final grade will be based on two measures: an end-of-year exam (60%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

教科書

Textbook and Materials: **Communicate: book 1a** / David Paul / Macmillan Language-House, ¥1,230, ISBN 0-435-26119-3.

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英会話 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 | | | | |
| 担当者名 | ソルタ, P. N. F. | | | | |

講義のねらい

Introduction and Class Goals: English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. This course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・授業スケジュール

Class Contents: Fifteen units from a textbook and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are:

- Unit 1: Introductions / Classroom Language
- Unit 2: Likes and Dislikes / Adjectives
- Unit 3: Locations / Telephoning (1)
- Unit 5: There is ... There are... / Quantities
- Unit 6: Have..., Want..., Would like..., / Shopping (1)
- Unit 7: Uncountable nouns / At a Restaurant
- Unit 9: Present Continuous / telephoning (2)
- Unit 10: Fashion / Shopping (2)
- Unit 12: Present Simple / Occupations
- Unit 13: Adverbs of frequency / Routines (1)
- Unit 14: Transportation / Work & School
- Unit 15: The Present Tenses / Frequency

履修上の留意点

Class Regulations and Prerequisites: It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where all the teaching will be done in English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

Student Evaluation: A final grade will be based on two measures: an end-of-year exam (60%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

教科書

Textbook and Materials: **Communicate: book 1a** / David Paul / Macmillan Language-House, ¥1,230, ISBN 0-435-26119-3.

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英会話 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 | | | | |
| 担当者名 | レーン, C. M. | | | | |

講義のねらい

This class concentrates on improving communication and fluency skills in English. Most Japanese university students already have basic vocabulary and grammatical skills in English. However, they are unable to use them when speaking. Therefore, this course aims to help students learn to use the knowledge they already have, and then to build on this knowledge. During the first semester basic conversation skills will be covered, through pair work and group work, which will be followed during the second semester by more in depth conversational discussions, also in pairs, small groups and through whole class activities. By the end of the year students should feel more confident when speaking English, and should have the ability to hold simple conversations in English, as well as being able to give their opinion on various topics.

講義の内容・
授業スケジュール

(If the above is too detailed then please use the below instead)
During the first semester students will study basic conversation patterns and will gain confidence and fluency skills in making general conversation. At the end of the first semester students will be required to give a three-minute speech talking about general themes. Then, during the second semester more time will be spent on group discussions whereby the students will be invited to give their opinions on a variety of topics chosen by the teacher. At the end of the year students will give a presentation in small groups on a topic of their choice.

履修上の留意点

As this is an oral English class students will not improve unless they attend most of the classes. Students who are absent without a good reason more than twice a semester will find it hard to pass. Moreover, while it is not necessary for students to be able to speak English really well to enter this class, they must try to speak English as much as they can. If a student is too shy or unable to try then they might find this class difficult.

成績評価の方法

(ア) Attendance 20%
(イ) Participation during class 50%
(ウ) Homework 10%
(エ) Individual presentation 10%
(オ) Group presentation 10%As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教科書

A good dictionary
A file to keep work sheets together-A4 size

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英会話 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 | | | | |
| 担当者名 | レーン, C. M. | | | | |

講義のねらい

This class concentrates on improving communication and fluency skills in English. Most Japanese university students already have basic vocabulary and grammatical skills in English. However, they are unable to use them when speaking. Therefore, this course aims to help students learn to use the knowledge they already have, and then to build on this knowledge. During the first semester basic conversation skills will be covered, through pair work and group work, which will be followed during the second semester by more in depth conversational discussions, also in pairs, small groups and through whole class activities. By the end of the year students should feel more confident when speaking English, and should have the ability to hold simple conversations in English, as well as being able to give their opinion on various topics.

講義の内容・授業スケジュール

(If the above is too detailed then please use the below instead)
 During the first semester students will study basic conversation patterns and will gain confidence and fluency skills in making general conversation. At the end of the first semester students will be required to give a three-minute speech talking about general themes. Then, during the second semester more time will be spent on group discussions whereby the students will be invited to give their opinions on a variety of topics chosen by the teacher. At the end of the year students will give a presentation in small groups on a topic of their choice.

履修上の留意点

As this is an oral English class students will not improve unless they attend most of the classes. Students who are absent without a good reason more than twice a semester will find it hard to pass. Moreover, while it is not necessary for students to be able to speak English really well to enter this class, they must try to speak English as much as they can. If a student is too shy or unable to try then they might find this class difficult.

成績評価の方法

- (ア) Attendance 20%
- (イ) Participation during class 50%
- (ウ) Homework 10%
- (エ) Individual presentation 10%
- (オ) Group presentation 10%

教科書

- A good dictionary
- A file to keep work sheets together-A4 size

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英会話 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 | | | | |
| 担当者名 | ピアス, D. M. | | | | |

講義のねらい

Program Content:

During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning English, but using the English you already know. The program should enable you to perform very simple activities such as foreign travel, chatter with foreigners, and effective communication in practical circumstances. Concentration on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC patterns is a long-range effort to improve your qualifications. There will be intensive practice in composition as well.

講義の内容・授業スケジュール

SCHEDULE OF TOPICS

| | | | |
|----------|-------------------|----------|----------------|
| CLASS 1 | addressing people | CLASS 16 | consumption |
| CLASS 2 | addressing people | CLASS 17 | courtship |
| CLASS 3 | social hierarchy | CLASS 18 | courtship |
| CLASS 4 | social hierarchy | CLASS 19 | adolescence |
| CLASS 5 | self expression | CLASS 20 | adolescence |
| CLASS 6 | self expression | CLASS 21 | social classes |
| CLASS 7 | gift-giving | CLASS 22 | social classes |
| CLASS 8 | gift-giving | CLASS 23 | candor |
| CLASS 9 | informality | CLASS 24 | candor |
| CLASS 10 | informality | CLASS 25 | authority |
| CLASS 11 | news coverage | CLASS 26 | authority |
| CLASS 12 | news coverage | CLASS 27 | employment |
| CLASS 13 | personal freedom | CLASS 28 | employment |
| CLASS 14 | personal freedom | CLASS 29 | politicians |
| CLASS 15 | consumption | CLASS 30 | politicians |

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: *Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.* Your final grade depends 70% on your classes performance, in every class. Records are kept of your participation in every single class meeting. Attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Students are graded according to improvement during the year; an "A" is possible for anyone.

教科書

Textbook and materials: We will probably use Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group, as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英会話 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 | | | | |
| 担当者名 | ピアス, D. M. | | | | |

外国語

講義のねらい

Program Content:

During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning English, but using the English you already know. The program should enable you to perform very simple activities such as foreign travel, chatter with foreigners, and effective communication in practical circumstances. Concentration on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC patterns is a long-range effort to improve your qualifications. There will be intensive practice in composition as well.

講義の内容・授業スケジュール

SCHEDULE OF TOPICS

| | | | |
|----------|-------------------|----------|----------------|
| CLASS 1 | addressing people | CLASS 16 | consumption |
| CLASS 2 | addressing people | CLASS 17 | courtship |
| CLASS 3 | social hierarchy | CLASS 18 | courtship |
| CLASS 4 | social hierarchy | CLASS 19 | adolescence |
| CLASS 5 | self expression | CLASS 20 | adolescence |
| CLASS 6 | self expression | CLASS 21 | social classes |
| CLASS 7 | gift-giving | CLASS 22 | social classes |
| CLASS 8 | gift-giving | CLASS 23 | candor |
| CLASS 9 | informality | CLASS 24 | candor |
| CLASS 10 | informality | CLASS 25 | authority |
| CLASS 11 | news coverage | CLASS 26 | authority |
| CLASS 12 | news coverage | CLASS 27 | employment |
| CLASS 13 | personal freedom | CLASS 28 | employment |
| CLASS 14 | personal freedom | CLASS 29 | politicians |
| CLASS 15 | consumption | CLASS 30 | politicians |

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: *Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.* Your final grade depends 70% on your classes performance, in every class. Records are kept of your participation in every single class meeting. Attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Students are graded according to improvement during the year; an "A" is possible for anyone.

教科書

Textbook and materials: We will probably use Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group, as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英会話I | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 | | | | |
| 担当者名 | レイン, R. V. | | | | |

講義のねらい

This course will help students to: 1] use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2] improve their presentation skills.

講義の内容・授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities [done in pairs] to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving one-minute presentations on a TV commercial of their choice in front of the class.

履修上の留意点

Students are expected to participate actively in class and practice the textbook activities at home. Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as on attendance and class participation.

教科書

author: Steven Molinsky and Bill Bliss
title: Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4
publisher: Longman
date: 2003
ISBN 0-13-183937-3

APPROX, 45 COPIES OF TEXTBOOK ARE NEEDED FOR THIS CLASS

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英会話I | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 | | | | |
| 担当者名 | ラッセル, S. J. | | | | |

外国語

講義のねらい

English Conversation 1 is for students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive-style learning will be a feature of the classes so, good attendance will be required.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive intention to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and an electronic dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

English Firsthand Book 1 ISBN 962-00-5345-1
Published by Longman

| | | | | | |
|------|----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英会話II | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234選 | | | | |
| 担当者名 | ソルタ, P. N. F. | | | | |

講義のねらい

Aims and Objectives: English Conversation II was designed for high school graduates, who have studied English for at least six years at junior and senior high school, and have successfully completed English Conversation I. The course provides such students with the necessary environment in which to improve upon and expand their abilities to communicate in natural spoken English. This naturally leads to greatly increased confidence in oral communications. The course seeks to give students the necessary competence in talking about various everyday topics that will enable them to establish and maintain meaningful relationships with native English speakers of their own age.

講義の内容・授業スケジュール

Course Contents: A textbook with 12 units and the instructors worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered in this course are:

Unit 1: Personal information / Talking about likes and dislikes

Unit 2: Friends & Friendship / Personal experiences

Unit 3: Romantic relationships / Dating

Unit 4: Shopping

Unit 5: Summer vacations / Domestic & foreign Travel (1)

Unit 6: Jobs / Job interviews

Unit 7: Opinions / Reasons for opinions

Unit 8: Music / Pop groups

Unit 9: Personality / Strengths & Weaknesses

Unit 10: Money & Budgets / Prices & Numbers

Unit 11: Responses in various situations / Stories

Unit 12: Plans for the future

履修上の留意点

Registration Requirements & Class Rules: It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years, and have passed English Conversation I. Students must be willing and able to take a class where all teaching is done in English, and where students are required to speak English at all times.

Students should also note that constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation II.

成績評価の方法

Grading and Evaluation: A final grade will be based on two measures: an end-of-year exam (60%), and a mark based on a student's attitude towards the class and class performance throughout the year (40%). The End-of-term exam will normally be a ten-minute one-to-one interview with the teacher. If student numbers are too large to make this type of exam practical, then an exam with listening and written exercises will be used.

Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+ 10%) or two absences (+ 5%) throughout the year.

教科書

Textbook: **Face To Face: English for Today's Generation**, Dale Fuller & Corey Fuller, Macmillan LanguageHouse. Student's Book 1 (¥2,100 + tax).

| | | | | | |
|------|----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英会話II | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234選 | | | | |
| 担当者名 | ラッセル, S. J. | | | | |

外国語

講義のねらい

English Conversation 2 is for intermediate level students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive intention to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

English Firsthand 2 ISBN 962-00-5347-8
Published by Longman

| | | | | | |
|------|----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英会話II | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234選 | | | | |
| 担当者名 | レイン, R. V. | | | | |

講義のねらい

This course will help students to: 1] use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2] improve their presentation-giving skills.

講義の内容・授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities [done in pairs] to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving one-minute presentations on a TV commercial of their choice in front of the class.

履修上の留意点

Students are expected to participate actively in class and practice the textbook activities at home. Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.

教科書

author: Steven Molinsky and Bill Bliss
 title: Side by Side, 3rd Edition, **BOOK 4**
 publisher: Longman
 date: 2003
 ISBN 0-13-183937-3

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英会話III | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | ウェルズ, J. K. | | | | |

講義のねらい

English Conversation III

Welcome to my class! I hope you will challenge yourself speaking English openly on a variety of subjects and activities. This is NOT a beginner's class and the class is held (in most cases) entirely in English. It is usually a small class, so there should be much opportunity for you to speak.

講義の内容・
授業スケジュール

First Semester: Emphasis will be put on working with your partners and talking about a variety of subjects I give you. Your first semester exam will be based on speaking ability and you will be marked accordingly.

Second Semester: Partner and group activities will enhance your speaking ability. Your final exam will be an interesting and creative dialogue that you and your partner write. It will be performed in front of everyone.

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and know you can attend regularly also.

It is preferred that you not take English Conversation I and English Conversation III at the same time.

The first class is very important, so please do not be absent!

Auditing my class will be granted based upon the size of the class. Please talk to me about this.

成績評価の方法

Attendance : 50%

Tests : 25% (one test each semester)

Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz; class participation is important)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you with in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

その他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many, many years. I am sure some of you know me and maybe I taught you English Conversation I. If you want to challenge yourself further, please join my class. I will interview you briefly the first class period to see if your English is good enough to join this class. It is NOT a beginner's class. See you in class! John Wells

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英会話III | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | ピアス, D. M. | | | | |

講義のねらい

This is the highest level of English conversation practice offered by the university; accordingly we will present the most difficult material possible to speed your success in English fluency.

講義の内容・授業スケジュール

Free conversation is urged at all occasions. Topics of a very wide variety will be introduced by practice dialogues which you will work through in dialogue or group. When applicable, we will exchange our own opinions, orally, about the topic presented in the dialogue. Speech practice will be conducted on three different levels. 1) Daily conversation, which you are already capable of conducting; practice is to amplify your present ability. 2) Conversation on a semi-abstract level, which will be accomplished through a mixture of lecture and dialogue. Topics will be cultural and sociological. This type of conversation is to accelerate your fluency in conducting intelligent conversation in English. 3) Academic conversation. Material will cover ethical-social topics such as human rights, income distribution, war, suicide, etc, in a mixture of lecture and dialogue, with subsequent free exchange of opinions. This level requires an entirely new world of vocabulary and speech patterns that never appear in ordinary English conversation. Academic conversation prepares many of you for overseas university study.

履修上の留意点

Grammar, reading, and composition will be practiced every week, in an oral style that you have never before encountered.

成績評価の方法

Three absences per semester permitted. Tests are purely didactic; they are not a disciplinary tool to monitor whether you are studying. Grading is likely to be generous, as anybody who qualifies for a class like this is evidently sincere and self-motivated; using grades as a whip is unnecessary. Classes proceed closely according to the textbook; coming to class without the textbook counts as an absence.

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語LLI | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 | | | | |
| 担当者名 | にしむら ゆうこ 西村 祐子 | | | | |

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現を学習。フラッシュカードを使って基本表現を覚えつつCDで発音とイントネーションを修正しながら聞き取り力を増強する。ペアワークをおこなう。
9-12月：ビデオをみながら話の内容を英語で説明、簡単な英語のプレゼンテーションを繰り返しおこない、英語で話すことになる。

履修上の留意点

全員コンピュータIDを取得しておくこと。(総合情報センターで取得可能)。

成績評価の方法

出席は4分の3以上であること、平常点としての小テスト、発表などによる。定期試験は実施しない。

教科書

Essential Listening 3 (Macmillan)、フラッシュカードとCD (別配布)

参考書等

授業中に提示する。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語LLI | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 | | | | |
| 担当者名 | はなわ みちこ 埴 美智子 | | | | |

講義のねらい

PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール

日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。

履修上の留意点

表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。

成績評価の方法

日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

‘Experience America!’ - An Authentic DVD English Language Text - (金星堂) ¥2,300

参考書等

その都度黒板に板書し、案内する。

その他

いろいろなテーマが出てくるので、英語圏文化についての知識を増やす努力をする。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語LLI | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 | | | | |
| 担当者名 | 埴 美智子 <small>はなわ みちこ</small> | | | | |

講義のねらい

PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール

日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。

履修上の留意点

表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。

成績評価の方法

日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

‘Experience America!’ – An Authentic DVD English Language Text –
(金星堂) ¥2,300

参考書等

その都度黒板に板書し、案内する。

その他

いろいろなテーマが出てくるので、英語圏文化についての知識を増す努力をする。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語LLI | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 | | | | |
| 担当者名 | 西村 祐子 <small>にしむら ゆうこ</small> | | | | |

講義のねらい

基本的な表現をつかっても「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現を学習。フラッシュカードを使って基本表現を覚えつつCDで発音とイントネーションを修正しながら聞き取り力を増強する。ペアワークをおこなう。
9-12月：ビデオをみながら話の内容を英語で説明、簡単な英語のプレゼンテーションを繰り返しおこない、英語で話すことになれる。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員駒澤大学のコンピュータIDを取得しておくこと。

成績評価の方法

出席は4分の3以上であること、平常点としての小テスト、発表などによる。定期試験は実施しない。

教科書

Essential Listening 3 (Macmillan)、フラッシュカードとCD (別配布)

参考書等

教場で指定する。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語LLI | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 | | | | |
| 担当者名 | どのいけ かずこ 外池 一子 | | | | |

外国語

講義のねらい

リスニングに欠かせない英語の音声変化と聴き取りのストラテジーを体系的に学習し、その後比較的短いモノローグやダイアログ、英語のニュースなどを正確に聴き取れるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

1. テキストに従って、以下の項目を学習します。
 - (a) 個音（母音、子音）の識別
 - (b) 連結
 - (c) リダクション（機能語の弱形・縮約形）
 - (d) 脱落・同化
 - (e) リズム、イントネーション
2. 実際の聴き取り練習を行いながら、さまざまなリスニングのストラテジーを身につけていきます。

履修上の留意点

授業はCALL教室で行います。コンピューターを使用しますから、受講前にユーザーIDとパスワードを取得しておくこと。
また、初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示します。

その他

毎週きちんと予習をして出席すること。予習をしていなかった場合は出席とは認めません。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語LLI | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 | | | | |
| 担当者名 | とのいけ かずこ 外池 一子 | | | | |

講義のねらい

リスニングに欠かせない英語の音声変化と聴き取りのストラテジーを体系的に学習し、その後比較的短いモノローグやダイアログ、英語のニュースなどを正確に聴き取れるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

1. テキストに従って、以下の項目を学習します。
 - (a) 個音（母音、子音）の識別
 - (b) 連結
 - (c) リダクション（機能語の弱形・縮約形）
 - (d) 脱落・同化
 - (e) リズム、イントネーション
2. 実際の聴き取り練習を行いながら、さまざまなリスニングのストラテジーを身につけていきます。

履修上の留意点

授業はCALL教室で行います。コンピューターを使用しますから、受講前にユーザーIDとパスワードを取得しておくこと。
また、初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示します。

その他

毎週きちんと予習をして出席すること。予習をしていなかった場合は出席とは認めません。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語LLI | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 | | | | |
| 担当者名 | 甲斐 捷子 | | | | |

講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音と習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期でビデオを終了し、後期は American Accent Training のCDを使用してレベルアップを図ります。このハンドアウトは開講時に配布します。テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期でビデオを終了し、後期は American Accent Training のCDを使用してレベルアップを図ります。このハンドアウトは開講時に配布します。

履修上の留意点

ビデオ、CDとも、図書館の視聴覚室で視聴できます。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教科書

Sounds Right! Sounds Good! マクミランランゲージハウス 2, 000円

参考書等

American Accent Training 2nd ed. Barrons

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語LLI | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 | | | | |
| 担当者名 | 久保 ひさ子 | | | | |

講義のねらい

海外旅行で場面別に、一回で通じる短い、英会話を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

旅行英会話の短文を、パソコン使用で、聞きとり、書きとり、反復練習する。コミュニケーションできるようにするため、さらに暗記する。毎回、小テストあり。

履修上の留意点

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習点と小テストの合計点

教科書

マイケル・ブラウン「旅行でしゃべる英会話」南雲堂

| | | | | | |
|------|----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語LLII | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234選 | | | | |
| 担当者名 | 西村 祐子 | | | | |

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルIを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルIIではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得し、概略を説明していく作業を繰り返す。また、テキストを使用してより正確な表現、高度な表現ができる訓練をおこなう。電子メールで提出する課題英作文による書く訓練、多様な文章を読む訓練も併用する。授業はすべて英語でおこない、質問も英語でのみ受けつける。学生同士の英語での話し合いやペアワークなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標はTOEIC700-800程度。LLIにくらべ、難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現の復習と聞き取り、プレゼンテーション。教科書はUnit 8-12まで。
9-12月：LLIIIへの橋渡しとして、書き方とプレゼンテーションに力点をのいた授業。

履修上の留意点

宿題提出はメールまたは大学教場の共有フォルダーのなかにいれる。受講学生は全員駒澤大学のコンピュータIDを取得しておくこと。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点重視（出席率、発表内容など。）

教科書

テキスト：New Headway Pre-intermediate (Oxford Univ. Press.)

参考書等

使用ビデオ：New Headway (elementary), および (pre-intermediate)、その他。

その他

前年度LL2の同じ授業をとった学生でも聴講できる。このためテキストは1-7を飛ばし、UNIT8から後半部を集中的にとりあげる（次年度は1-7を用いる）。

| | | | | | |
|------|----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語LLII | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234選 | | | | |
| 担当者名 | 高橋 明子 | | | | |

講義のねらい

ニュースや映画などの多量の英語を聴き取って内容を理解し、学習した英語表現を実際に運用できるよう練習を重ねていきます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に聴き取りの練習を進め、進度に応じてやや専門的なテーマのスピーチや映画などの教材を学習していきます。TOEICのリスニング・セクションの問題の練習もします。

履修上の留意点

毎回の授業での学習の積み重ねが大事なので、欠席をなるべくしないことを心がけてください。また、受講前にユーザーIDとパスワードを取得してください。

成績評価の方法

平常点（出席状況や小テストなど）と前期・後期の試験結果とを総合して評価します。

教科書

『CNN：ビデオで見る世界のニュース（8）』（朝日出版社）2,000円＋税
ISBN978-4-255-15432-9

| | | | | | |
|------|----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語LLII | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234選 | | | | |
| 担当者名 | 甲斐 捷子 | | | | |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 日常の卑近な問題から現代の諸問題まで、ディスカッションできるところまで、英語の運用能力を高めることが、この授業の目的です。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 全12章のうち、6章を前期で、残り6章を後期でクリアする予定です。 |
| 履修上の留意点 | 特にLLの授業ですので、遅刻、欠席をしないようお願いします。 |
| 成績評価の方法 | 一応の目安として、クイズ30%、前期試験30%、後期試験40%、とします。 |
| 教科書 | アメリカ口語教本 中級用 WilliamS. Clark 著 研究社 2, 600円 |

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語LLIII | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | 甲斐 捷子 | | | | |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 日常の卑近な問題から、現代の諸問題までディスカッションできるところまで、英語の運用能力を身につけることがこの授業の目的です。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 前期6～7章、後期6～7章の予定で進みます。 |
| 履修上の留意点 | LLの授業につき、特に遅刻、欠席をしないようお願いします。 |
| 成績評価の方法 | 一応の目安として、クイズ30%、前期試験30%、後期試験40%とします。 |
| 教科書 | アメリカ口語教本 上級用 WilliamS. Clark 著 研究社 3, 000円 |

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語LLIII | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | にしむら ゆうこ 西村 祐子 | | | | |

講義のねらい

レベルIIでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざしたが、このレベルIIIはそれより一層高度な会話表現力およびプレゼンテーション能力を習得することをめざす。また、欧米の大学留学のための準備クラスとして、多様な英文を読み、概略を英語でまとめたり、いくつかのトピックについてのプレゼンテーションをおこなったりもする。LLII同様、授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、グループワークも取り入れる。LLレベルIIを終了し、英検準一級程度（TOEICレベル650以上）の学生を対象とする。このレベルに達していない学生はレベルIIを受講することをすすめる。

外国語

講義の内容・授業スケジュール

4－7月：教科書のUnit 8－12まで。ビデオのサマリーを中心としたプレゼンテーション。
9－12月：教科書の前半部分を使い、多様な文章を読みながら感想を記述し、発表する訓練を繰り返し行う。ビデオの英語による概略説明も続ける。TOEICの模擬テストなども行う。

履修上の留意点

大学のコンピュータIDを必ず事前に取得しておく。レベルIIIは例年高度なクラスなので途中で落伍しないためにも履修の前にLLIIの内容とよく比較して検討してほしい。

成績評価の方法

平常点重視（出席率、プレゼンテーションなど）。定期試験はおこなわない。

教科書

New Headway Upper Intermediate. (Oxford Univ. Press)

その他

最初と最後にTOEICの模擬などを授業で行い、到達度をチェックする。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語LLIII | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | くぼ ひさこ 久保 ひさ子 | | | | |

講義のねらい

英語講演等をおおよそ、理解でき、さらに、ディベートできる程度をめざしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを、聞きとり、書きとり、解答し、再生し反復練習する。

履修上の留意点

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習の合計点

教科書

World Times of Japan, Michigan Action English Step 6

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語コミュニケーションI | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | 小林 ^{こばやし} ゲアリンデ | | | | |

- 講義のねらい** ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。
- 講義の内容・授業スケジュール** 日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。
- 成績評価の方法** 定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。
- 教科書** テキストは教室で配布する。
- その他** ビデオ、カセットを使用する。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語コミュニケーションII | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | 小林 ^{こばやし} ゲアリンデ | | | | |

- 講義のねらい** ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拓げることを目標とする。
- 講義の内容・授業スケジュール** 話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。
- 成績評価の方法** 定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。
- 教科書** テキストは教室で配布する。
- その他** ビデオを使用する。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語IA (選) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科 (フレB 除く) 選 | | | | |
| 担当者名 | まつおか すずむ 松岡 晋 | | | | |

講義のねらい

週一回、一年間の授業でドイツ語の初級文法をマスターすることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語のアルファベット、発音規則の説明から始めて、冠詞、動詞の現在時制、過去時制、完了自制等々という具合にゆっくりと文章構造と表現様式の理解を深めてゆきます。補助的に適宜ネイティブ・スピーカーの発音を収録したCDを用いることも考えております。ともかくゆっくりと、皆さんとともに先へ進んでゆくつもりです。

履修上の留意点

文法の学習は積み重ねですから、定期的出席が前提条件です。また、初回の授業のさいに中型の「独和辞典」を何種類か紹介いたしますので、そのうちの一つを入手し、以降つねに持参ください。

成績評価の方法

期末試験 (7月)、学年末試験 (1月) 以外に何度か小テストを行ないます。そのほかに平常点 (出席率、授業中に指名された時の口頭練習の結果など) を加味して成績評価をいたします。筆記試験と平常点の成績評価に占める割合は同等であると考えてください。

教科書

未定

その他

実際のドイツ語の文章に慣れるために、その都度の文法事項に即した例文を収めたプリントを何度か配布いたします。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語IB (選) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科 (フレB 除く) 選 | | | | |
| 担当者名 | いむら ゆきこ 井村 行子 | | | | |

講義のねらい

ドイツ語を実際に使えるようにするとともに、ドイツについての知識の習得に努めます。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に沿って進めます。

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績によります。

教科書

近藤/小林/新倉/松尾『Dialog 一ペーシック版』(郁文堂)

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語II (選) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | 井村 行子 <small>いむら ゆきこ</small> | | | | |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | ドイツ語のレベルアップとともに、ドイツについての知識を深めます。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 最初に復習を行った後、前期に少なくとも3課まで、後期はそれ以降に進める予定です。 |
| 成績評価の方法 | 前期と後期の筆記試験の成績によります。 |
| 教科書 | 近藤／小林／新倉／松尾『Dialog ーステップアップ版』(郁文堂) |
| その他 | 最初に『Dialog ーベーシック版』のSzene4と5を1年次の復習を兼ねて使いますが、もっていない場合にはコピーを用意しますので、こちらは購入する必要はありません。 |

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語コミュニケーションI | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | ラリア・三倉 <small>らりあ・みくら</small> , M. | | | | |

| | |
|---------|------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。 |
| 成績評価の方法 | 筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。 |
| 教科書 | 高橋・ジュンタ共著『ヌーヴォー・ク・ドゥ・クール』 第三書房 ISBN 4-8086-2136-3 |

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語コミュニケーションII | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | ラリア・三倉 <small>らりあ・みくら</small> , M. | | | | |

| | |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。 |
| 成績評価の方法 | 筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。 |
| 教科書 | MONNERIE著BIENVENUE EN FRANCE TOME 1 (Didier HATIER) プリント資料を学生に与えますので、学生は、格別に教科書を買う必要がありません。 |

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語IA（選） | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | でぐち まきとし 出口 雅敏 | | | | |

講義のねらい

この授業では、フランス語文法の基礎を学習してゆきます。文法の基礎をしっかりと身につけることは、フランス語の世界に入ってゆくための大切なプロセスです。ですから、この入口で躓かぬよう、じっくり基礎固めをすることが授業の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、文法事項の簡潔なまとめと練習問題から成っています。授業は、文法事項の具体的説明の後、練習問題に取り組む、という形で進行します。加えて、フランス語の読み方や仏和辞書の引き方についても慣れてもらいます。

履修上の留意点

辞書を持参して下さい。やむをえず欠席する場合は、理由を書面にて提出して下さい。

成績評価の方法

前期・後期の期末試験と通常点によって評価します。

教科書

斎藤昌三『《新版》ル・フランセ』（白水社）1,750円

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語IA（選） | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | まえだ のりかず 前田 祝一 | | | | |

講義のねらい

フランス語の言語としての特性を理解してもらうこと。そして、少しでも使いこなせるようになること。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な基本語・文型を身につけて、少しずつ積み重ね、言葉の世界を広げ、深めてゆく。つまり、毎日が新しいことの学習です。

履修上の留意点

したがって、毎日が新しいことの学習であり、それらが理解できていることが、次の回の出発点ですから、欠席しないで持続させること。それが終着点での満足感になるはずです。

成績評価の方法

平常点としますが、ペーパーテストも随時行ないます。

教科書

内藤・玉田著『フランス語へのパスポート（改訂版）』（白水社）1,800円

| | | | | | |
|------|----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語ⅠB (選) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | <small>くわた のりあき</small> 桑田 禮彰 | | | | |

講義のねらい

フランス語の基礎の習得。

講義の内容・授業スケジュール

まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。

履修上の留意点

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

林田遼右著『パリ散歩』(朝日出版社) 2,600円+税

参考書等

そのつど授業で指示します。

| | | | | | |
|------|----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語Ⅱ (選) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | <small>くわた のりあき</small> 桑田 禮彰 | | | | |

講義のねらい

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・授業スケジュール

比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

荒木善太他著『ヴァリエテ・フランセーズ2007』(朝日出版社) 本体1,900円+税

参考書等

そのつど授業で指示します。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語コミュニケーションI | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | 岩崎 皇 <small>いわさき ひろし</small> | | | | |

講義のねらい

コンピュータ教場の機能を使って、中国語の音声聞き取り能力を養うことが目標です。聞き取りは会話の前提となる能力であり、もっとも大事なものです。まずは、これまで習ったことを聞いて分かるようにすることが、直接の目的になります。

講義の内容・授業スケジュール

基本的には、テキストに沿って聞き取りの練習を行っていきませんが、必要に応じて他の音声教材も使います。授業の合間に、中国のテレビ番組などの映像も見ます。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。欠席した場合は、そのつど課題を提出してもらいます。未提出が3回を越えるときは単位取得ができません。ただし、課題提出は授業に全く取って代わることはできないので、欠席が7回を越えてはいけません。
卒業年次生は就職活動等を考慮して、欠席回数を10回まで許容しますが、課題にかんしては上と同じです。
なお、これまで中国語を勉強したことのない人、および中国語を母語とする人は履修しないでください。

成績評価の方法

履修上の留意点にある条件を満たした上で、毎回の授業への取り組み、および前期1回、後期1回のテストで評価を行います。

教科書

楊達他著「新・聞こえる中国語」(南雲堂) 2,940円

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語コミュニケーションII | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | 曹 泰和 <small>そう たいわ</small> | | | | |

講義のねらい

簡単な会話の習得。ヒヤリングの力の向上。初級文法の復習

講義の内容・授業スケジュール

会話とヒヤリングを中心にして授業を行う。日常会話や基本文型を繰り返し練習する。

履修上の留意点

積極的に会話の練習に参加すること。なお、中国語コミュニケーションIを履修しなくても、この授業は履修できる。2年生から4年生まで履修可。IA・IB既習程度

成績評価の方法

出席、授業態度、テストで総合評価する。

教科書

竹島金吾 監修 竹島 毅著『中国語さらなる一步』(白水社) 2,200円+税

参考書等

授業の中で紹介する。

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語ⅠA（選） | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | よしだ たていちろう 吉田 建一郎 | | | | |

- 講義のねらい 中国語の基礎力を身につける。
- 講義の内容・授業スケジュール 発音の基礎であるピンインを習得した上で、短い会話文を題材として基本的な語彙と表現を学んでいきます。
- 履修上の留意点 大きな声を出して積極的に発音練習に参加しましょう。携帯電話の使用、私語、内職などは、真剣に学習に取り組んでいる他の学生にとって極めて迷惑なので絶対に行わないでください。
- 成績評価の方法 平常点と定期試験により評価します。
- 教科書 南雲智・趙暉『始めよう！中国語』（白水社）2,205円

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語ⅠA（選） | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | みやもと あつこ 宮本 厚子 | | | | |

- 講義のねらい 中国語の基礎を身につける。
- 講義の内容・授業スケジュール 発音を学んだ後、会話文を通して、基本的な文法を学び、語彙を増やしてゆく。
- 履修上の留意点 毎回暗誦あるいは聞き取り（小テスト）を行うので十分に復習をして授業に臨むことが求められる。
- 成績評価の方法 年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点（暗誦・小テストを含む）で評価する。
- 教科書 プリント配布。
- その他 詳細は開講時に説明する。

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語I B (選) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 蘭 明 | | | | |

講義の内容・授業スケジュール

前期は最初の一カ月（4回に分け）において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語1』（朝日出版社）2,835円

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語II (選) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | 三田村 圭子 | | | | |

講義のねらい

基礎中国語を復習し、聞く・話す・書くを反復練習することで、より実践的な中国語を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①基礎中国語で学習した重要な文法や発音を復習する。
- ②教科書の進度にしたがって、会話を暗記し、また簡単な文章を書けるように練習する。

履修上の留意点

出欠は成績に加味するので、欠席の多い学生は単位取得が難しい。欠席が3分の1以上の場合、採点評価の対象外とする。

成績評価の方法

前・後期の中間期末試験（全4回）と平常点で総合評価する。本文の暗記も点数に加算する。

教科書

塚本慶一『2年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2200円

参考書等

授業開始時に説明する。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語コミュニケーションI | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | ナバロ, ホワンJ. | | | | |

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

『Viaje al español』
テキスト及びVTR教材

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語コミュニケーションII | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | ナバロ、ホワンJ. | | | | |

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

『Viaje al español 上級編』
テキスト及びビデオ教材

| | | | | | |
|------|-----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語IA (選) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | <small>かめやま こういち</small> 亀山 晃一 | | | | |

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語IB (選) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | さいとう あけみ 齊藤 明美 | | | | |

講義のねらい

基礎文法を習得しながらスペイン語で「聞く」「読む」「話す」「書く」ことができるバランスの取れた基本的コミュニケーション能力を伸ばします。

講義の内容・授業スケジュール

文法に関しては初級文法の復習をしながら直接法の習得を目指します。また日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学び、スペイン語圏で安心して生活できるコミュニケーション能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテンポップスや話題の映画なども紹介していきます。

履修上の留意点

レベルが上がれば上がるほど、文法や語彙習得するためには多大な時間と努力が必要です。自ら楽しみながら勉強するコツを見つけましょう。

成績評価の方法

毎回の授業参加や演習課題そして各期末の達成度チェックによります。

教科書

未定

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語II (選) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | おざの まさじ 荻野 雅司 | | | | |

講義のねらい

スペイン語Iで学習したものを更に広く深く学ぶ事で、実際に使えるスペイン語を習得することを第一の目的とします。さらに、学期が終る頃には、通常のスペイン語IIの一段上のレベルが身に付いている事を狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Iで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外にテープ、ビデオ、更に広くスペイン文学作品の抜粋を含めた多様なプリント類を併用します。これにより、生きたスペイン語と同時に、例えばその片鱗だけでも、スペイン語本来の持つ美しさにも触れる様にします。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、特別な事情がある場合を除き、可能な限りコンスタントに出席出来る学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

佐藤玖美子著「新・何を話しましょうか」
(弘学舎)

その他

出来るだけ詳しい西和辞典(例、小学館「西和中辞典」等)を用意したい。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ロシア語コミュニケーションI | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | 安徳 ^{あんどく} ニーナ | | | | |

講義のねらい

ロシア語I、IIで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。
日常の話題等についても自由に会話ができるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S,KHAVRONINA著「RUSSIAN AS SPEAK IT」(ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ロシア語コミュニケーションII | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | 安徳 ^{あんどく} ニーナ | | | | |

講義のねらい

日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)

その他

講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ロシア語IA (選) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | クロチコフ, Y. | | | | |

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディール・ランゲージを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音やアクセントに重点をおき、後期は短文の読みや文法をくり返し学びます。

成績評価の方法

テストは行わず、平常点で評価。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円、プリント配布。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

参考書等

『露和辞典』

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ロシア語IB (選) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 木村 英明 | | | | |

講義のねらい

ユーラシア大陸にまたがる広大なロシアは、100に及ぶ民族を抱えた歴史的、文化的に多様な国家です。ソ連崩壊後の長い混迷を経て、現在は再び経済や文化の領域で飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は、隣国である日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの現況、習慣や文化にも触れていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。ビデオ等の映像資料も利用したいと思います。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ロシア語II (選) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | クロチコフ, Y. | | | | |

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 朝鮮語IA (選) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | さん みりよん 宋 美玲 | | | | |

講義のねらい

朝鮮語Iの授業は、同一の教員がそれぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。IAのクラスは会話中心、IBのクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に多様な資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはIAのクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、IBのクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

出席・授業への参加度および、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

IA：長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語 (会話編1)』(白帝社) 1,800円+税

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社) 1,000円

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 朝鮮語I B (選) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 宋 美玲 <small>ソン ミリョン</small> | | | | |

講義のねらい

朝鮮語Iの授業は、同一の教員がそれぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。IAのクラスは会話中心、IBのクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に多様な資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはIAのクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、IBのクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

出席・授業への参加度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

IB：長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語（読んで書こう1）』（白帝社）2,400円＋税

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 朝鮮語II (選) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | 宋 美玲 <small>ソン ミリョン</small> | | | | |

講義のねらい

基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。プリント資料による読解・作文の練習とドラマなどの聞き取り練習を通して実践的な習得を目指す。なお、多様な映像の資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試みる。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをもって基本的な文法及び表現に基づいた文型練習を行う。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって作文や読解の能力を強化していく。

履修上の留意点

韓国語の文字と発音を覚え、初歩的な文法事項を学習した人を対象とするので、まったく初めての人は朝鮮語Iのほうを受講すること。受講生は、テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

野間秀樹著『至福の朝鮮語』（朝日出版社）2,900円

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円
金美仙著『韓国語用言 活用と用言』（三修社）2,500円＋税

《再履修クラス》〔英語〕

| | | | | | |
|------|----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語ⅠA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 濱口 眞木 | | | | |

講義のねらい

これまで学んできた英語を基礎として、基本的な文法・構文を再確認しつつ、総合的な英語の運用能力をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読みすすめていく。また、英語力の確認と向上を図るため、小テストもおこなう。

履修上の留意点

授業は平常点を重視するので、必ず予習をして授業に参加してください。

成績評価の方法

出席や発表などの平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）の総合評価とします。

教科書

前期・Focus on Communication 1「基本文型からコミュニケーションへ」
後期・Focus on Communication 2「音の理解からコミュニケーションへ」
朝日出版社 ￥1,400-ISBN978-4-255-15442-8・978-4-255-15443-5

| | | | | | |
|------|----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語ⅠA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 松堂 啓子 | | | | |

講義のねらい

基礎的な文法を確認しながら、短い英文を書けるようにする。また、リスニング力の強化も併せて行う。

履修上の留意点

単位取得には、三分の二以上の出席が必要である。

成績評価の方法

試験の結果、課題等を含めて総合的に評価する。

教科書

『Three-line Writing in English』成美堂 ￥1800 ISBN4-7919-1041-9

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 岩井 洋美 <small>いらい ひろみ</small> | | | | |

講義のねらい

基本文法を復習すると同時に語彙と表現を増やし、自分の事や身近な事をライティング、スピーキングの両面でやりとりすることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に進めていきます。口頭での質疑応答、聞き取り、英作文の練習問題を行います。スピーキングや復習テストをクラス内で随時行う予定です。

履修上の留意点

欠席、遅刻をしないことと1回めの授業に必ず出ること。出席とやる気のある授業態度を最も重視します。8回以上の欠席、4回以上連続の無断欠席をした者は単位は取れません。

成績評価の方法

出席、授業態度の平常点100、前・後期試験各100、スピーキングテスト復習テスト100、合計240点以上で単位取得とします。

教科書

1回目の授業までに大学教科書売り場で購入して置いてください。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 牧野 輝良 <small>まきの てるよし</small> | | | | |

講義のねらい

英文構造の理解をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間リーダの部分を読み、その後日本文に訳し提出すること。

履修上の留意点

かならず出席し、指名されたら和訳が出来るように予習しておくこと。

成績評価の方法

3課進む毎に和訳の小テスト、毎時間の和訳の提出、期末テスト等により総合的に評価する。

教科書

田本 & Sanada 著『基本英語表現』（成美堂）1,600円
ISBN4-7919-4907-2 C1082

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | くまさわ かずあき 熊沢 和明 | | | | |

講義のねらい

英語の基礎的な口語運用能力を確認し、コミュニケーション能力を引き伸ばすことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

平易なコミュニケーション能力開発用教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。

履修上の留意点

英語が苦手でも積極手に授業参加する姿勢を評価します。

成績評価の方法

出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。
PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。

教科書

『NEW ACTIVATOR』（金星堂）

その他

土曜3限

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | はなわ みちこ 埴 美智子 | | | | |

講義のねらい

英語の運用能力養成をめざす。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力の養成をめざす。同時に文章表現も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの中から多様な英語表現を習得する。日本語に訳さないで英語の表現として身につける習慣をつけていく。

履修上の留意点

辞書を使う場合も出来るだけ英英辞典を使う習慣を身につけていく。

成績評価の方法

日常の出席状況を重視し、普段の授業態度、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

『Appreciating European Culture 一生まれ変わるヨーロッパ』
（成美堂）1,800円

参考書等

その都度黒板に板書し案内する。

その他

大切なことばを一つでも多く頭に入れ必要な時すぐに使える努力をする。

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 丸小 ^{まるこ} 哲雄 ^{てつお} | | | | |

講義のねらい

広告制作のしくみとそのイデオロギーを捉えることは広告の解読になる。同時に人々の欲望を管理している広告を読み解くことは、消費者として喪失している主体性を回復することでもある。

講義の内容・授業スケジュール

リスニングとリーディングによって読込みと思考を養い、発信型のコミュニケーション力を補完していきます。

履修上の留意点

質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習がこのクラスの前提条件です。私語は厳禁。

成績評価の方法

出席、平常テスト、レポート作成課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者に別途評価します。

教科書

- ・リーディングとリスニングのテキスト
- 1. Decoding Advertisements 英宝社
- 2. Daily Life Listening 英宝社 ISBN4-269-44041-4 C1082

参考書等

参考書を随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも配布します。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 近藤 ^{こんどう} 真彫 ^{まほり} | | | | |

講義のねらい

英文ニュース記事を読みながら、時事英語の読解力、語彙力をつけ、その内容について英語で意見が述べられるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

最新の英字新聞やインターネットのニュースサイトからの記事を、単語や表現に注意しながら読んでいきます。その上で、英語での意見の表現法を学びながら、記事内容について自分の意見を述べる練習をします。

履修上の留意点

必ず辞書を持参してください。

成績評価の方法

前期と後期の定期試験の成績（50％）と通常の授業での課題（50％）を総合して評価します。

教科書

授業の第一回目に指示します。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 岡本 誠 <small>おかもと まこと</small> | | | | |

講義のねらい 日本人の学生が弱点としている聴く力を養成したく、聴いて書いていく、つまり原稿を書き上げていく作業を行う。つまり、Writingを聴く力を前提にしてやろうというわけである。

講義の内容・授業スケジュール なにを聴くか、その材料はこちらから提供するが、英語の慣用的な表現がどのようないきさつで日常の言語生活に定着したのか説明したものである。原稿を書き上げたら、その独特の表現を自分でも使えるようにしてほしい。

履修上の留意点 辞書必携。着帽禁止。ケータイは off。

成績評価の方法 発表状況・出席状況・遅刻状況・テストの結果等の総合評価。

教科書 特定のものは使用しない。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 岩原 康夫 <small>いわはら やすお</small> | | | | |

講義のねらい 英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。

講義の内容・授業スケジュール クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらおう。

履修上の留意点 学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。

成績評価の方法 前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。

教科書 Cultivating Writing Skills（朝日出版）2000円 ISBN4-255-15280-2

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | くまざわ かずあき 熊沢 和明 | | | | |

講義のねらい

英語の基礎的な語学力を確認し、能力を引き伸ばすことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

平易な総合学習教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。

履修上の留意点

英語が苦手でも積極手に授業参加する姿勢を評価します。

成績評価の方法

出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。
PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。

教科書

『今日の問題二つの見方
Opposite Opinions on News Topics』 Brian Powle 著
長阪 朱美 編 1785円

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | たかみ ようこ 高見 陽子 | | | | |

講義のねらい

英文を速く的確に読むための基礎を身につけることを主な目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

音読やリスニングを通して英語のリズムに慣れることと、精読とは異なる「理解しながら読む」方法に慣れること、この二点を軸に英文を読みこなすための基礎的な練習をします。英文を読む際は、まず全体に目を通して要点と話の流れを把握してから、もう一度詳しく読み直しして一回目の読解内容を確認します。

履修上の留意点

必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

全授業回数の3分の2以上の出席が必要です。前・後期末試験の結果をベースに、小テスト・レポート等の結果と授業中の取り組みなどの平常点を加味して、総合的に評価します。

教科書

テキストについては、第一回目の授業で指示します。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語I B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 菅原 <small>すがわら のりこ</small> 典子 | | | | |

講義のねらい

比較文化論的観点に立ち日米の文化や考え方の違いについて学びながら、英語の運用能力向上をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めながら、練習問題もやっていきます。

履修上の留意点

授業は予習をしてくること。

成績評価の方法

前期後期の試験の結果をベースに、日常の発表、出席状況、態度等を入れて総合的に評価します。

教科書

Simply America, Simply Japan 『ちょっと日米比較』 Jim Knudsen、石井隆之、金澤順一、木村博晃、樋口忠彦、松田聡太郎、村松秀紀 南雲堂 定価1470円（税込） ISBN4-523-17308-7

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語I B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 佐藤 <small>さとう えりこ</small> 江里子 | | | | |

講義の内容・授業スケジュール

テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。その他に、補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力を身につけることをめざす。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないので注意すること。

成績評価の方法

定期試験（50％）と小テスト、提出物、発表などの平常点（50％）から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。

教科書

『大学生のための初級英語』（南雲堂）¥1900＋税

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | おちあい かずあき 落合 和昭 | | | | |

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、現代口語英語で書かれた文章とヒヤリングを通して、口語表現に慣れ、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階は、ヒヤリングや書き取りのなかで使用されている慣用表現の意味や用法を、テキストを通して、確認する。第四段階は、学生に会話文の発音練習をしてもらう。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

成績評価の方法

前期試験が20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等が60%。出席率は平常授業（前期・後期試験は除く）3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。また、遅刻2回で、欠席1回とし、30分以上の遅刻は欠席とする。

教科書

『音の理解からコミュニケーションへ』 朝日出版社 1400円
ISBN978-4-255-15443-5
『初めてのビジネス英語、大学からビジネス・ワールドへ』 金星堂 1800円
ISBN4-7647-3655-1

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | たかやなぎ ふみえ 高柳 文江 | | | | |

講義のねらい

英文の逐一の翻訳ではなく、英文を速やかに、かつ、正確に理解する事をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

簡潔な文章のReadingだけではなく、Listeningにも重点がおかれます。章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法についての演習問題により更なる理解を深めるよう構成されています。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には2/3以上の出席が必須です。座席指定

成績評価の方法

試験（前期試験・後期試験）60%、日常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み）40%

教科書

第1回目の授業にて通知します。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | やまぎし じろう 山岸 二郎 | | | | |

講義のねらい

英文の基本構造を理解すると共に運用力の向上に努める。

講義の内容・
授業スケジュール

文型を意識しながら英文を読み、それをテープで聴きリズムに慣れる。授業ではこの訓練に集中する。音声によるアプローチは、英語再入門には効果的学習法である。

履修上の留意点

ノートを用意する。短文を暗誦して書き留める。随時小テストで学習内容を確認し、その定着を計る。

成績評価の方法

平常の学習を重視する。小テスト、発表、レポート、テスト等総合して評価する。

教科書

『Focus on communication (1)』（朝日出版社）

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | おおた ゆきこ 太田 由紀子 | | | | |

講義のねらい

聴解力と読解力を養う。それを可能にするべく単語力、構文理解力を高める。また扱う資料を通して英語圏の文化についての理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの映画を鑑賞する。それと平行して彼の自伝を読む。映画鑑賞については英語字幕にする場合と日本語字幕にする場合とあるが、これにより読解力と聴解力を養う。映画の粗筋（英文）も読む予定だが、映像と音声で展開された物語の要約に触れることで英語の理解力を高めたい。そして映画に関係の深い箇所を彼の自伝 My Autobiography から抜粋して読む。これについては音声テープもついているので利用する。いずれの作業においても英文法の確認作業をする。

履修上の留意点

毎回の授業に参加し、作業をすることが実力向上につながる。そう心得てほしい。

成績評価の方法

授業時の応答および小テスト、そして前期・後期の最終授業日に実施する試験結果を総合する。

教科書

随時、プリントを配布する。

参考書等

安井稔 『英文法総覧』（開拓社）、江川泰一郎 『英文法解説』（金子書房）
Charles Chaplin. My Autobiography (Penguin Modern Classics Non-Fiction)
チャールズ・チャップリン 『チャップリン自伝』 中野好夫訳（新潮文庫 上下巻に分冊。下巻は絶版）

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IIA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 全学科（フレB除く）34年 | | | | |
| 担当者名 | 竹村 恵都子 <small>たけむら えつこ</small> | | | | |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------|
| 講義のねらい | 主として Speaking や Writing の英語運用能力を高めることを目的とします。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | テキストを中心に、テープも利用しながら演習形式で授業を進めます。 |
| 履修上の留意点 | 遅刻・欠席をせず、予習を含め、積極的な授業参加をすること。 |
| 成績評価の方法 | 前期・後期の試験を主として、授業時の発表及び出席率などを総合的に評価します。 |
| 教科書 | 未定 |

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IIA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 全学科（フレB除く）34年 | | | | |
| 担当者名 | 山口 晃 <small>やまぐち あきら</small> | | | | |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | IAを土台にして、さらに豊かな表現ができるようになってほしい。そのため、同じことが様々に表現できることを授業の中で感じとってほしい。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | IAのとき以上に複合的な文脈を把握する練習をしたい。表現のためのもとなる思考を深める工夫をしたい。 |
| 履修上の留意点 | 語学の授業なので、出席は重視する。発表には加わってもら。遅刻は授業のさまたげになるので、注意してほしい。 |
| 成績評価の方法 | 出席回数、授業での発表、レポート、テストの四つを総合的に考えて評価する。 |
| 教科書 | プリントを配布する。辞書は毎回かならず持ってくること。 |

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IIA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）34年 | | | | |
| 担当者名 | 三幣 友行 <small>みねさ ともゆき</small> | | | | |

講義のねらい 英語IAで学んだことを基礎にして、英語による意思伝達能力の向上をはかることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 教科書にそって英語の口語表現を学んでいく。

履修上の留意点 予習を前提として授業をすすめる。

成績評価の方法 前期試験、後期試験、小テスト、出席点、平常点を総合的に評価する。

教科書 未定

その他 詳しいことは初回の授業で説明する。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IIA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）34年 | | | | |
| 担当者名 | 澤田 真弓 <small>さわだ まゆみ</small> | | | | |

講義のねらい 毎回興味深いエッセイを取り上げて簡単な英語表現を学び、リスニングやリーディングの能力を総合的に伸ばすことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。

履修上の留意点 積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法 出席回数、発表や提出物、毎回行う確認テストの結果を総合的に判断して評価します。

教科書 Blake Baxter 著、大橋久利 編 『The Culture of Clothes 世界の衣生活』（成美堂）
1,600円 ISBN4-7919-1258-6

| | | | | | |
|------|-----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IIA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）34年 | | | | |
| 担当者名 | まえだ おさむ 前田 脩 | | | | |

講義のねらい

英文になれ、やさしい英語による表現を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

比較的短い英文を読み、その英文に沿った英語表現とリスニングをおこないます。

履修上の留意点

授業は予習をしてくることを、求められた英語表現レポートは必ず提出してください。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期と後期の試験結果を総合的に評価します。

教科書

「エンジョイ・イングリッシュ」朝日出版 1700円 ISBN4-255-15390-6 C1082

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IIA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）34年 | | | | |
| 担当者名 | そのいけ かずこ 外池 一子 | | | | |

講義のねらい

現在日本や世界でいろいろ議論を巻き起こしているテーマを取り上げて、それらの問題について英語で自分の考えを述べられるようになることを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は基礎的な英語の力（読む・書く）があることを確認します。（e-learning教材を使用する場合があります。）後期はさまざまなテーマについて英語で意見を述べる訓練をします。

履修上の留意点

コンピューター教室を使用する場合があるのでユーザーIDおよびパスワードを取得しておく事。基本的なコンピューターの操作ができることが望ましい。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示します。（e-learning教材使用の場合、教材費4,000円）

その他

日ごろから新聞を読んだりニュースを聞いたりして、自分の身の周り・日本そして世界が直面するさまざまな問題に目を向け、それらについて自分の意見を持つよう心がけてください。

| | | | | | |
|------|-------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IIA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）34年 | | | | |
| 担当者名 | 古富 ^{ことぶ たけし} 猛 | | | | |

講義のねらい

日本人が何年も英語を学校で時間をかけて学んでいるのに、スピーキングが苦手であるのは周知の通りである。私自身もネイティブ・スピーカーとの会話に四苦八苦している。これからの学生さんはもっと語学をやらざるを得ないであろう。異文化との接触はストレスにもなるが、好奇心を捨てない限り、これほどおもしろいものはない。自らの心を鎖国状態にして、メリットは何もない。よって何とか身につける指針だけでも示したいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

やはり日本人はリーディング能力を生かすべきだと痛感している。多読用のテキストを選び、パターン・プラクティスこそが、英語を身につける第一歩と心がけてもらいたい。

履修上の留意点

授業は予習をしてきてもらいたい。

成績評価の方法

出席と発表を日常の評価として、平常点とし、前・後期の筆記試験で総合的に評価を出します。

教科書

教場にて、追って指示します。

| | | | | | |
|------|---------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IIA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）34年 | | | | |
| 担当者名 | 飯沼 ^{いひぬま} 好永 ^{よしなが} | | | | |

講義のねらい

英語の基本的な文法事項を確認しながら、自分の考えを表現できる英語力を身に付けること目指します。

履修上の留意点

予習を忘れずに、積極的に授業に参加してください。

成績評価の方法

出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行います。

教科書

『The Real World Today New Edition』桐原書店 ￥750 ISBN4-342-41200-4

| | | | | | |
|------|----------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語II B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英歴日外考経商現法 A 政34年 | | | | |
| 担当者名 | おかざき としちろう 岡崎 寿一郎 | | | | |

講義のねらい

子供は6才で基本的な文法力を、10才で基本的な抽象能力を、大学の二、三年で高度な抽象能力を獲得します。それ故、英語の学習にあっても、基本的な文法の理解から出発します。文の五型・日本語の文法概念にはない冠詞・前置詞の理解と修得を徹底し、練習問題の活用を通して、ラディカルな文章表現能力の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの正確な理解のため、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価の出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)の総合評価。

教科書

柳瀬正人註 『イギリスの諺、さまざま』 太陽社 ¥1,200

| | | | | | |
|------|---------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語II B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英歴日外考経商現法 A 政34年 | | | | |
| 担当者名 | おおぶち としはる 大淵 利春 | | | | |

講義のねらい

英語IBの内容を発展させ、さらなるリスニング力、リーディング力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに15分程度リスニングの練習を行い、そのあとで教科書の本文を読み進めていく。毎回最低一回はすべての学生が発言する機会をもうけたい。プリント等も適宜使用する。

履修上の留意点

英和辞書持参のこと。予習を行うこと。

成績評価の方法

前、後期二回の試験成績をベースにしつつ、出席状況、授業態度などの平常点も考慮し、総合的に評価する。

教科書

『English in the Media 英語ニュースで読む現代社会2007』(金星堂) ISBN978-4-7646-3841-6

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語II B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英歴日外考経商現法A政34年 | | | | |
| 担当者名 | 佐藤 <small>さとう</small> アヤ子 <small>あやこ</small> | | | | |

講義のねらい

英語のパラグラフの読み方を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

毎回プリントを配り、そのプリントに沿って授業を進めます。授業前に前回に行った授業の単語テストを行います。

履修上の留意点

毎回単語テストがありますので復習が必然です。従って欠席すると総合点が減ります。

成績評価の方法

日常の小テスト、及び前後期の試験結果を入れて総合的に判断します。

教科書

当分の間、プリントを使用します。

| | | | | | |
|------|---------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語II B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英歴日外考経商現法A政34年 | | | | |
| 担当者名 | 安齋 <small>あんざい</small> 薫 <small>かおる</small> | | | | |

講義のねらい

Listening能力の向上とともに、さらに多くの量を読めるようにする

講義の内容・授業スケジュール

毎回発表形式を取り入れながらテキストを進めていく。

履修上の留意点

予習をしてくること。

成績評価の方法

出席状況（3分の2以上の出席が原則）、前期後期試験、レポートから総合的に評価する。

教科書

『English with Hit Songs』成美堂 ¥1700 ISBN4-7919-4581-6

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語II B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英歴日外考経商現法A政34年 | | | | |
| 担当者名 | 芝田 <small>しばた</small> 興太郎 <small>こうたろう</small> | | | | |

講義のねらい

「読解力の増進は多読から」。平易な英文に絶えず親しみ、語学力を高めたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に沿って読んでゆく予定。随時、別の読み物を加えたい。

履修上の留意点

自宅学習が欠かせない。辞書必携。

成績評価の方法

授業の始めと終りに行なう小テスト。出席率、積極性、礼儀を総合的に判断。

教科書

Lori Howard 著『Read All About It Book2』（OXFORD）

| | | | | | |
|------|---------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語II B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英歴日外考経商現法 A 政34年 | | | | |
| 担当者名 | <small>やじま なおこ</small> 矢島 直子 | | | | |

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 大学中級程度の英文を読めるようにすること。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 英文を読んで、時に文法、構文の説明をしながら、理解できるようにしていきます。練習問題も解きます。進度は学生次第です。 |
| 履修上の留意点 | 毎回どんどん当ててやってもらいますから、必ず予習すること。1回目の授業から出席して下さい。 |
| 成績評価の方法 | 平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に判断して評価します。 |
| 教科書 | 竹下裕子、他、「世界の多様な英語1」、松柏社、¥1,900、ISBN 4-88198-599-X |

| | | | | | |
|------|----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語II B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英歴日外考経商現法 A 政34年 | | | | |
| 担当者名 | <small>そうま よしあき</small> 相馬 美明 | | | | |

| | |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 「英語II Bの授業内容」 IBの英語を基礎として、様々な英語の運用能力（発話・読解・聴解）を身につける。また、様々な検定試験などにも対応すべく、TOEIC・TOEFLのリスニング・セクションの問題などにも触れ、聴解力を高めていく。 |
| 成績評価の方法 | 出席に関しては、基本的に全出席を期待し、前期・後期に行う試験、および授業で課すレポート、また授業態度などを総合的に評価する。 |
| 教科書 | 開講時に指示する。 |

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語II B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英歴日外考経商現法 A 政34年 | | | | |
| 担当者名 | 本間 俊一 <small>ほんま としかず</small> | | | | |

講義の内容・
授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

履修上の留意点

毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

Checknote For Business Trends (金星堂) 1,100円
ISBN4-7647-3717-5

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語II B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英歴日外考経商現法 A 政34年 | | | | |
| 担当者名 | 手島 敬子 <small>てじま けいこ</small> | | | | |

講義のねらい

「英文読解力向上」をテーマに、短時間に効率よく、また適切に英文の内容を読み取る練習を行っていきます。

履修上の留意点

授業は予習を前提に進めていきます。教室以外でも積極的に学習に取り組んで下さい。英和辞典、必ず持参。

成績評価の方法

前期・後期試験、課題、授業への参加度、出席状況などにに基づき総合的に評価します。

教科書

William M. Balsamo 著『New Issues for Global Change and Challenges』金星堂 ¥1500
ISBN4-7647-3820-1

〔ドイツ語〕

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語IA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 本橋 右京 <small>もとはし うきょう</small> | | | | |

講義のねらい

伝統的な配列にしたがってドイツ語初級文法を学びます。やさしい例文にできるだけ多くあたり、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。

講義の内容・授業スケジュール

文法をアルファベット、発音から復習します。ドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに毎時間配布する練習問題で理解を確実なものとしします。

履修上の留意点

予習・復習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

諏訪田 清 『新訂・ドイツ文法18歩』（同学社）

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語IA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 志真 斗美恵 <small>しま とみえ</small> | | | | |

講義のねらい

さまざまな理由でもう一度ドイツ語1Aを履修することになった方たちのクラスですが、編入等ではじめてドイツ語に触れる方もおいでです。全員が、気持ちを新たにドイツ語に取り組んでいきましょう。新しい言葉を学び、未知の文化に触れていくことは楽しいことです。無理なく、一步一步進めるよう、やさしいテキストをつかい、ドイツ語の知識を確実なものにしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

文法の説明だけでなく、CDを使い、聞き取り、書き、話すことを繰り返しおこないます。さらに、授業で習った知識を、その場で確かなものとするため、毎回できるだけ多くの練習問題に取り組んでいきます。

履修上の留意点

欠席をするとわからなくなるのは当然ですが、とりわけドイツ語の文法は、積み重ねが大事です。必ず出席してください。

成績評価の方法

前期・後期試験および平常点で総合的に評価します。

教科書

- 1) 入谷・河野・小林・小松・佐原
- 2) ようこそベルリンへ！ ―独検4級対応―
- 3) 同学社
- 4) 2500円
- 5) ISBN4-8102-0726-2 C1084

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語IA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 南 <small>みなみ はるつ</small> はるつ | | | | |

講義のねらい

比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に沿って前期は発音、冠詞類、動詞の現在人称変化、前置詞について、後期は形容詞、助動詞、複合動詞、過去形・現在完了形、関係代名詞について学習します。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

前期試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。

教科書

高橋・城間著『お洒落なドイツ語』（朝日出版社）

参考書等

随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語IA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 井村 <small>いむら ゆきこ</small> 行子 | | | | |

講義のねらい

ドイツ語文法の基礎を復習します。

講義の内容・授業スケジュール

基本的な文法事項を説明しながら、簡単な問題を練習します。

履修上の留意点

何はともあれ出席を心がけてください。

成績評価の方法

前期と後期の学期末に筆記試験を行います。

教科書

諏訪田清『ドイツ語文法18課』（同学社）

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語ⅠA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | すぎもと まさとし 杉本 正俊 | | | | |

講義のねらい

この授業は、学生がドイツ語の知識を全く無い事を前提に、あらゆる観点からドイツ語への入門を行う。ただ文法事項は正しく理解しながら進んで行く。

講義の内容・授業スケジュール

指定する教科書に従って授業を行うが、発音に関しては別にプリントを用意する。

履修上の留意点

なるべく予習不要な、楽しい授業を心掛けるが、必要な課題は必ずしっかりとやってもらおう。授業内容は十分に理解することが必要であり、重要な項目は反復して説明し、折にふれて復習する。

成績評価の方法

成績は、期末テストの他に、日常の授業への取り組み方を特に重視する。授業中のまちがった解答は必ずしもマイナスの評価にはならない。自分の考えを発表することが大切である。

教科書

教科書 ステップバイステップ15
著者：新妻孝一 兼子安弘 渡部敏一
発行所：東洋出版株式会社 ￥1900

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語ⅠB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | しいづか きみお 飯塚 公夫 | | | | |

講義のねらい

正規の授業と同じで、ドイツ語の基本をやっていきます。発音・文法の理解・内容の読み取りが中心となります。

講義の内容・授業スケジュール

教科書通りに、文法説明・発音練習・練習問題・文章の読解という手順でやっていきます。

履修上の留意点

一年の語学は続き物ですので、途中抜けたときは、その分は自分でやっておいてもらわないと、ついていけなくなると思います。その場合は責任は当人にありますから、心してください。「やる気」もさることながら、「根気」がないと一年持ちませんよ。

成績評価の方法

前期後期各一回の筆記試験と平常点（＝発表点）。

教科書

宇佐美幸彦他著「ドイツめぐり（ユーロ版）」（朝日出版社）2,400円

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語ⅡB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 岡本 ^{おかもと} 時子 ^{ときこ} | | | | |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 初歩の簡単なドイツ語を理解したり使ったりする運用能力をつけることが主たる目標だが、併せてドイツ語圏の文化や歴史についても学ぶ。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 前期は現在時制の単文と格を中心に、後期は複合時制や複文まで拡大させて学習する。 |
| 履修上の留意点 | 授業は前回の内容の上に組み立てて行うので、休まず出席すること。 |
| 成績評価の方法 | 期末試験の結果、出席、学習意欲等を総合して評価する。 |
| 教科書 | 開講時に指定する。 |
| 参考書等 | 必要に応じて授業中に指示する。 |
| その他 | 火曜5時限 |

| | | | | | |
|------|---------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語ⅡB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 杉本 ^{すぎもと} 正俊 ^{まさとし} | | | | |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | この授業は、学生にドイツ語の知識が全く無いことを前提に、あらゆる観点から、ドイツ語への入門を行う。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 指定する教科書に従って授業を進めるが、発音に関しては独自のプリントを用意する。 |
| 履修上の留意点 | なるべく予習不要な、又楽しい授業を心掛けるが、必要最少限の課題は必ずしっかりとやっもらう。授業内容は十分に理解することが必要。重要な項目は反復して説明し、折にふれて復習する。 |
| 成績評価の方法 | 成績は、期末テストの他に、日常の授業への取り組み方を特に重視する。授業中のまちがった解答は必ずしもマイナスの評価にならない。自分の考えを発表することが大切である。 |
| 教科書 | 教科書 楽しいドイツ語トレーニング 著者：太田隆士 明石真和 櫻井千絵 発行所：三修社 ￥2100 |

| | | | | | |
|------|----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語IB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 岡本 時子 | | | | |

講義のねらい

初歩の簡単なドイツ語を理解したり使ったりする運用能力をつけることが主たる目標だが、併せてドイツ語圏の文化や歴史についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期は現在時制の単文と格を中心に、後期は複合時制や複文まで拡大させて学習する。

履修上の留意点

授業は前回の内容の上に組み立てて行うので、休まず出席すること。

成績評価の方法

期末試験の結果、出席、学習意欲等を総合して評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

必要に応じて授業中に指示する。

その他

土曜3時限

| | | | | | |
|------|---------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語IIA〔再クラス〕 ドイツ語IIB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年 | | | | |
| 担当者名 | 森 公成 | | | | |

講義のねらい

ドイツ語IAとIBを基礎とし、それを実践的に発展させる授業です。文法の復習をしながら、総合的なドイツ語能力の向上をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

一年をかけて下記の教科書を終わらせます。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。

履修上の留意点

授業への積極的な参加を希望します。また、3分の1以上休んだ場合は（遅刻と早退は2回で1回休みとみなします）、原則として定期試験の成績いかに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

成績評価の方法

定期試験（年2回）、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。

教科書

早川東三、Michael Muenzer 共著 『新・ドレーガー失踪事件』（第三書房）2,100円

| | | | | | |
|------|-------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語II A〔再クラス〕 ドイツ語II B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考経商現法 A 政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法 A 政34年 | | | | |
| 担当者名 | もとほし うきよう 本橋 右京 | | | | |

- 講義のねらい** 初級文法の配列に則った読章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得して行きます。
- 講義の内容・授業スケジュール** 初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本表現はできるだけ覚えましょう。
- 履修上の留意点** テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。
- 成績評価の方法** 前期・後期の試験や出席などで総合評価します。
- 教科書** 橋本・Neuberger 『楽しく学ぼうドイツとドイツ語』（三修社）

| | | | | | |
|------|-------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語II A〔再クラス〕 ドイツ語II B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考経商現法 A 政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法 A 政34年 | | | | |
| 担当者名 | みなみ はるつ 南 はるつ | | | | |

- 講義のねらい** ドイツ語IA及びIBで学んだことを基礎として、難解な文法項目の基礎を身につけます。
- 講義の内容・授業スケジュール** 形容詞、関係代名詞、受動態、接続法について教科書に沿って学習していきます。それに関連した比較的容易な問題を解きながら、同時に読解力も身につけましょう。その際必要があれば今まで学習した項目についても復習します。
- 履修上の留意点** 出席を重視します。
- 成績評価の方法** 前期試験、後期試験、平常点、出席状況を総合して評価します。
- 教科書** 南道子他著『ドイツ語の上にも一年』（同学社）2300円
- 参考書等** 随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

〔フランス語〕

外国語

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語IA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 前田 祝一 <small>まえだ のりかず</small> | | | | |

- 講義のねらい** 初めてのフランス語を学習するものとして、ABCの基礎から開始します。
- 講義の内容・授業スケジュール** 練習問題をくりかえし教室で実践して、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。
- 履修上の留意点** 毎週の授業が、その前までの学習成果の上に立っての新しい項目の勉強ですから、決して欠席しないこと。欠席を重ねると取り残されてしまいますから、ご用心。
- 成績評価の方法** 前・後期のペーパー・テストで成績評価をしますが、出席状況や教室での課題の消化状況にも配慮します。
- 教科書** 西南学院大学編 『大学生のフランス語－文法・読本・練習－』（白水社）1,700円

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語IA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 芦原 眷 <small>あしはら けん</small> | | | | |

- 講義のねらい** 1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。
- 履修上の留意点** 教科書と同時に辞書を持参して下さい。
- 成績評価の方法** 毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。
- 教科書** 中山真彦『ミニ・ボンジュール・パリ』（白水社）

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語IA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 小玉 斉夫 <small>こたま なりお</small> | | | | |

講義のねらい フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール 一回の授業で、一課を学習する、という速度で、進んでいく予定です。出来れば、各課終了時にまとめとしての小テストを行い、より確実な記憶・学習をめざします。

履修上の留意点 特別な事情がないかぎり、毎回必ず出席すること。再履修になった原因の大半は、なんらかの理由で出席を怠ったからです。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。執念ぶかく授業についていくこと。

成績評価の方法 上記の小テストの提出状況、その成績、ならびに前期・後期の試験の成績によって、判定します。出席は、するのが当然、というより、学生の「権利」です。

教科書 内藤 著 『新カイエ・ドゥ・フランセ』（駿河台出版社、2200円）ISBN978-4-411-00820-6

参考書等 辞書については初めの授業時に説明します。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語IA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 菅原 猛 <small>すがはら たけし</small> | | | | |

講義のねらい 英語以外にも外国語を一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

講義の内容・授業スケジュール 1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点 教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法 再履修クラスですから、欠席は許されません。年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。

教科書 「基礎入門タブロー・グラメール」 久富 健著（朝日出版社） ¥2,200
ISBN4-255-35137-6 C1085

| | | | | | |
|------|-----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語IA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | <small>たにかわ かおる</small> 谷川 かおる | | | | |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 文法の基礎を学んだ後に、なるべく数多くの練習問題を行い、基礎力を養います。毎回、小テストを行い、重要な項目を暗記します。 |
| 履修上の留意点 | 出席重視。辞書は毎回持参すること。 |
| 成績評価の方法 | 前期・後期試験、および小テストなど。 |
| 教科書 | 『街かどのフランス語一新訂版』、瀬戸秀一他著（朝日出版社）2100円 |
| 参考書等 | 授業中に紹介する。 |
| その他 | 全員参加の演習方式ですので、積極的に参加してください。 |

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語IB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | <small>すがや さとる</small> 菅谷 暁 | | | | |

| | |
|---------|---------------------------------------|
| 講義のねらい | 初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。 |
| 履修上の留意点 | 休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。 |
| 成績評価の方法 | 前期末と後期末の試験、および小テストによります。 |
| 教科書 | 藤田著『新・彼女は食いしん坊! 1』（朝日出版社）2,625円 |

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語IB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 今関 <small>いませき</small> アン | | | | |

講義のねらい

一年時に習得できなかった箇所を確実なものにし、フランス旅行で困らない最低限のコミュニケーション能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

CDの聞き取り、単語調べ、その場での会話練習、練習問題など。

履修上の留意点

2/3の出席は最低条件である。なお教科書も携行せず、漫然と椅子に座っていて出席点を貰おうなどと考えるのは言語道断である。予習し、積極的に授業に参加し、課題の提出をもって初めて出席と見なす。就職活動・疾病などでやむを得ず欠席する場合は、出席に相当する課題を出す。

成績評価の方法

2/3以上の出席（25%）＋夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』（白水社）の実力テスト（25%）＋前・後期定期試験（50%）

教科書

内村瑠美子著『フランス語でサバイバル!』（白水社）2,000円

参考書等

仏和辞典、『ふらんす夏休み学習号』（白水社）（7月中に大学内紀伊國屋書店で購入）
清岡智比古著『フラ語入門、わかりやすさにもホドがある』（白水社）1,500円

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語IB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 伊藤 <small>いとう なお</small> なお | | | | |

講義のねらい

フランス語の基礎を学習し、実用に適した知識を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール

必要な文法事項を解説しながら、日常会話と練習問題によってフランス語表現の習得と定着を図ります。音としてのフランス語に馴染んでもらうため、発音には力を注ぎます。また簡単な文章の読解にも取り組みます。テキストの文化・社会紹介欄をもとにフランスがどのような国かについての知識も得られるようにしましょう。

履修上の留意点

積極的に授業に参加し、ためらわずに発話練習、練習問題に取り組むことが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。

教科書

フランソワ・ルーセル、丸川 誠司 『トーム・アン』（第三書房）本体2,000円

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語ⅠB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 谷川 <small>たにかわ かおる</small> かつる | | | | |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | フランス語の基礎をゆっくり勉強しなおします。フランス語とフランス文化に親しみつつ、フランス語会話を習得します。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 毎週、重要な基本文法の解説の後、それがきちんと活用できるよう練習問題や暗唱に取り組んでもらいます。 |
| 履修上の留意点 | 出席重視。辞書は必ず持参すること。 |
| 成績評価の方法 | 前期・後期の試験に、毎週行う小テストの点を加味し、総合的に評価します。 |
| 教科書 | 『フランス語でサバイバル』（白水社）2,000円 |

| | | | | | |
|------|---------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語ⅡA〔再クラス〕 フランス語ⅡB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年 | | | | |
| 担当者名 | 畑中 <small>はたなか ちあき</small> ちあき | | | | |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 易しいフランス語で書かれた笑い話を読みながら、読解力を伸ばしていく。日本語に訳すことよりも、内容を素早く的確に把握する読み方ができるようになることを目指す。また、読解と連動させて、語彙・文法・コミュニケーションなどの力も総合的に伸ばしていきたい。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。 |
| 履修上の留意点 | 毎回、辞書を持参してください。 |
| 成績評価の方法 | 前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題など）20%、夏期休暇の課題10%、出席10% |
| 教科書 | リリアヌ・ラタンジオ、村松定史著 『続・小さなコントー読解からコミュニケーションへー（CD付）』 駿河台出版社 2004年 2500円 |

| | | | | | |
|------|-------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語II A〔再クラス〕 フランス語II B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考経商現法 A 政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法 A 政34年 | | | | |
| 担当者名 | 沼倉 広子 | | | | |

講義のねらい

初級文法の基本項目を復習しながら読む、書く、力をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

日常生活文、インタビュー、アンケート、メール文、時事文など変化に富んだ文体に触れつつ、フランスの日常生活に対する興味を深める。

履修上の留意点

出席はとらないが、毎回練習問題を提出させるので休まないことが肝要。

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点を大いに重視する。

教科書

パシヨネマン2 阿南婦美代 セシル・モラン著 第三書房
2400円 ISBN978-4-8086-2185-8 C1085

| | | | | | |
|------|-------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語II A〔再クラス〕 フランス語II B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考経商現法 A 政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法 A 政34年 | | | | |
| 担当者名 | 前田 祝一 | | | | |

講義のねらい

中級フランス語ですが、初級の後半部分を重点的に復習しつつ、平易な物語を少しずつ読み進めてゆきます。

講義の内容・
授業スケジュール

学生の側が主体的に授業参加できるように、工夫しましょう。

履修上の留意点

フランス語IA・IBの単位未修者は自分で参考書などを求めて、勉強するよう努めて下さい。

成績評価の方法

成績は基本的には、前・後期のペーパー・テストで評価しますが、出席状況や課題にも配慮します。

教科書

数江編『合本・愉快的なコント』（第三書房）2,000円

〔中国語〕

| | | | | | |
|------|----------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | こじま こういちろう 児島 弘一郎 | | | | |

講義のねらい

外国語としての中国語の基礎を習得し、異文化を深く理解するための土台作りをします。「読む、書く、話す、聴く」の4つの能力に関する基礎的な訓練を行ないますが、特に発音・ピンイン・簡体字の習得については、徹底的に指導します。

講義の内容・授業スケジュール

開講後しばらくは、中国語の発音体系を集中的に学習します。その後、基本構文や基礎的な単語の習得を図りますが、年間を通じて、正しい発音を身につけることが最も重要な課題となります。

履修上の留意点

毎回の授業が貴重な訓練の場ですから、積極的に参加して下さい。有効な自宅学習の方法も指導しますので、十分に復習を行ない、今年こそ単位を取得しましょう。

成績評価の方法

前期・後期の試験、数回実施する小テスト、出席状況によって、総合的に評価します。

教科書

加藤阿幸ほか『総合現代中国語—会話と閲読—』（中国詩文研究会発行、東方書店出版、1800円、CD付）。

その他

新たな気持ちで取り組めるよう、こちらもいろいろ工夫します。一緒に楽しんで勉強しましょう。
月曜5時限

| | | | | | |
|------|-------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | ほんま ゆかり 本間 由香利 | | | | |

講義のねらい

中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では先に進むのではなく、確実に発音ができること、語順を理解し定着させることを目的とします。

履修上の留意点

必ず出席して声を出して発音練習すること。

成績評価の方法

出席を重視し、平常点（授業態度）、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。

教科書

方如偉・王智新・鏡屋一『《新版》中国語10課』（白水社）2,100円

参考書等

授業の中で紹介する。

| | | | | | |
|------|----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語IA〔再クラス〕・中国語IB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 天野 節 <small>あまの せつ</small> | | | | |

| | |
|---------|----------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 発音、基礎的な文法、構文を修得し、簡単な会話練習をし、中国語の基本を身につけること。 |
| 履修上の留意点 | 遅刻、早退、欠席をせず、予習、復習をすること。 |
| 成績評価の方法 | 出席点（30％）＋課題の提出あるいは小テスト（10％）＋前後期計2回の期末テストの平均点（60％）。 |
| 教科書 | 荒川清秀著『〔改訂版〕簡明中文システム15』（同学社2200円税別） |
| 参考書等 | 授業の中で提示する。 |

| | | | | | |
|------|----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語IA〔再クラス〕・中国語IB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 児島 弘一郎 <small>こじま こういちろう</small> | | | | |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 外国語としての中国語の基礎を習得し、異文化を深く理解するための土台作りをします。「読む、書く、話す、聴く」の4つの能力に関する基礎的な訓練を行ないますが、特に発音・ピンイン・簡体字の習得については、徹底的に指導します。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 開講後しばらくは、中国語の発音体系を集中的に学習します。その後、基本構文や基礎的な単語の習得を図りますが、年間を通じて、正しい発音を身につけることが最も重要な課題となります。 |
| 履修上の留意点 | 毎回の授業が貴重な訓練の場ですから、積極的に参加して下さい。有効な自宅学習の方法も指導しますので、十分に復習を行ない、今年こそ単位を取得しましょう。 |
| 成績評価の方法 | 前期・後期の試験、数回実施する小テスト、出席状況によって、総合的に評価します。 |
| 教科書 | 夏宇継『大学生の中国語―基礎からステップアップ―』（金星堂、2200円、CD付）。 |
| その他 | 新たな気持ちで取り組めるよう、こちらもいろいろ工夫します。一緒に楽しんで勉強しましょう。 金曜1時限 |

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 張 渭涛 <small>ちやう いとう</small> | | | | |

講義のねらい

中国語の基礎になる発音、語彙、基本文型、基本文法をしっかりと身につける。中国語の表音記号であるピンインを全て声に出して読めるようになることが第一目標。中国語の独特の魅力を体感して、だんだん「漢語」の語感を養っていきます。

講義の内容・授業スケジュール

まずは、中国式ローマ字表記ピンインを正確に読み、書けるようにする。その後は、日本人学生の中国における留学生生活を舞台とする食堂、郵便局、試験などの場面で交わされる典型的な会話文を学びながら、体系的に初級中国語文法を無理なく理解していく。

履修上の留意点

元気よく、積極的に授業に参加すること。今年は絶対単位を取る気で、中国語と中国の世界に関する知識欲を再発見して欲しい。

成績評価の方法

出席率、小テスト、授業時の意欲、期末テストの結果から総合的に評価します。出席は最重視。週に90分間の授業を最後までずっと頑張っていていけば、必ずためになる。

教科書

相原茂・李貞愛『北京コレクション入門篇』（朝日出版社）2,625円

参考書等

推奨辞書は開講時に説明する。

その他

ピンインから始めて、積極的に会話の機会を作り、CDをBGMとして聞き、話すようにしましょう。

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 弘兼 加奈子 <small>ひろかね かなこ</small> | | | | |

講義の内容・授業スケジュール

当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行う。テキストは会話を中心とした本文、文法、練習問題から成っており、バランスの取れた学力向上を目指す。

成績評価の方法

年数回の試験と教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

南雲智・趙暉『始めよう！中国語』（白水社）2,100円

| | | | | | |
|------|-------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 蘭 明 | | | | |

講義の内容・授業スケジュール

前期は最初の一ヵ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語1』（朝日出版社）2,835円

| | | | | | |
|------|-------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語ⅡA〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 | | | | |
| 担当者名 | 梅田 雅子 | | | | |

講義のねらい

物語の講読を通して、一年次の学習を基礎に、語彙・基礎文法・読解力の向上を図る。

講義の内容・授業スケジュール

- 1：本文の発音と、意味の確認。
 - 2：本文中の文法項目の確認。
 - 3：練習問題の答え合わせ。
- ★文法項目は本文にあわせて、適時復習する。

履修上の留意点

3/4以上の出席が必要。予習復習必須。辞書持参。特に、その場で辞書を引かせるので、辞書は必ず持ってくること。

成績評価の方法

平常点（出席・授業態度・小テスト）40%、前期試験：30%、後期試験：30%

教科書

八木章好編著『漢語趣話一文法中心の中級読本』（白帝社）1,890円
ISBN4-89174-411-1

参考書等

中日辞典を教室に持ってくること。電子辞書でも可。出版社は問わないが、日本の漢字音から引ける索引がついている辞書が望ましい。

| | | | | | |
|------|-------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語II A〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 | | | | |
| 担当者名 | いわさき ひろし 岩崎 皇 | | | | |

講義のねらい

中国語の文章を読むことを通して、文法知識の確認と会話等にも使える語彙量を増やすことが目標です。テキストは中国を紹介するエッセイです。

講義の内容・授業スケジュール

授業はテキストに沿って進めますが、訳すだけでは、中国語そのものを覚えることがなかなかできません。書くこと、聞くこと、音読することで練習していきます。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、部活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得ができなくなります。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提とした上で、試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。

教科書

張継濱、小川文昭『中国ってどんな国?』（白水社）2,100円

| | | | | | |
|------|-------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語II A〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 | | | | |
| 担当者名 | おおくぼ あきお 大久保 明男 | | | | |

講義のねらい

中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

基本的に教科書に沿って授業を進める。折に触れて中国の社会や文化に関することを紹介したり、ビデオを見たりする予定。

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法

出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教科書

尹景春・竹島毅『中国語さらなる一步』（白水社）

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語II B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国歴日外考経商現法 A 政34年 | | | | |
| 担当者名 | 李 ^{りうん} 雲 | | | | |

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。 |
| 履修上の留意点 | 平常の練習が大切なので必ず出席すること。 |
| 成績評価の方法 | 筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。 |
| 教科書 | 関中研「中国語@キャンパス」(会話編) 朝日出版社 2,300円 |
| その他 | 内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。水曜4時限 |

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語II B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国歴日外考経商現法 A 政34年 | | | | |
| 担当者名 | 李 ^{りうん} 雲 | | | | |

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。 |
| 履修上の留意点 | 平常の練習が大切なので必ず出席すること。 |
| 成績評価の方法 | 筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。 |
| 教科書 | 関中研「中国語@キャンパス」(会話編) 朝日出版社 2,300円 |
| その他 | 内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。水曜5時限 |

| | | | | | |
|------|---------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語II B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国歴日外考経商現法A政34年 | | | | |
| 担当者名 | 蘭 ^{らん} 明 ^{めい} | | | | |

外国語

| | |
|----------------|----------------------------------------|
| 講義のねらい | 基礎文型を復習し、日常生活でよく使う表現を習得する。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 発音の練習・基礎文法の確認・会話文の暗誦という三つの内容を中心に進めていく。 |
| 履修上の留意点 | 授業時には大きな声で読むこと。欠席しないこと。 |
| 成績評価の方法 | 出席を重視する。宿題など提出物も評価に加味する。 |
| 教科書 | 董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語2』（朝日出版社）2,835円 |

〔スペイン語〕

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語IA〔再クラス〕・スペイン語IB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | おおいわ いさお 大岩 功 | | | | |

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説を演習をベースに、教科書の会話文に応じて会話の練習なども行います。ピギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。授業には辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

平常授業中に適宜行う小テスト、前期・後期末テストの得点、および出席状況、受講の積極性を勘案して総合的に評価します。

教科書

土井裕文他著『スペイン料理はいかが？』同学社

参考書等

推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『やさしいスペイン文法』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

| | | | | | |
|------|-----------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語IA・スペイン語IB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | さいとう あけみ 齋藤 明美 | | | | |

講義のねらい

初級文法の復習を通し、スペイン語やスペイン語圏に関する生活・文化などに対する関心を育てる。スペイン語を使って簡単なコミュニケーションを取れることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

直接法現在などの初歩文法を復習しながら、日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学びます。一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し文化に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテンポップスや話題の映画なども紹介していきます。

履修上の留意点

遅刻・早退をせず自ら興味をもって学習に打ち込む姿勢がスペイン語習得の鍵です。

成績評価の方法

毎回の授業参加や演習課題・小テストそして各期末の達成度チェックによります。

教科書

未定

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語ⅠA〔再クラス〕・スペイン語ⅠB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | かめやま こういち 亀山 晃一 | | | | |

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当たって役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語ⅠA〔再クラス〕・スペイン語ⅠB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | おおいわ いさお 大岩 功 | | | | |

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説を演習をベースに、教科書の会話文に応じて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。授業には辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

平常授業中に適宜行う小テスト、前期・後期末テストの得点、および出席状況、受講の積極性を勘案して総合的に評価します。

教科書

大岩功著『やさしいスペイン語文法』（三修社）
長文読解用の教材については、適宜プリントを用意する。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語ⅠA〔再クラス〕・スペイン語ⅠB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | おぎの めぐみ 荻野 恵 | | | | |

講義のねらい → スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。

成績評価の方法 → 成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。

教科書 → 荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』（大学書林）

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語ⅠA〔再クラス〕・スペイン語ⅠB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | さとう まりの 佐藤 麻里乃 | | | | |

成績評価の方法 → 試験は行わず、毎回の授業内で行う課題により評価する（このため出席は必須である）。

教科書 → 宮本博司『簡単なスペイン語18課』大学書林

参考書等 → 西和辞典（出版社は不問）

| | | | | | |
|------|---------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語ⅡA〔再クラス〕 スペイン語ⅡB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年 | | | | |
| 担当者名 | さいとう あけみ 齋藤 明美 | | | | |

講義のねらい → 基礎文法の復習を通し、スペイン語やスペイン語圏に関する生活・文化などに対する関心を育てる。スペイン語を使って簡単なコミュニケーションを取れることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール → 直接法現在形、過去形や命令形など基礎文法を復習しながら、日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学びます。一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し文化に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテンポップスや話題の映画なども紹介していきます。

履修上の留意点 → 遅刻・早退をせず自ら興味をもって学習に打ち込む姿勢がスペイン語習得の鍵です。

成績評価の方法 → 毎回の授業参加や演習課題・小テストそして各期末の達成度チェックによります。

教科書 → 未定

| | | | | | |
|------|---------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語II A〔再クラス〕 スペイン語II B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年 | | | | |
| 担当者名 | おおいわ いさお 大岩 功 | | | | |

講義のねらい

スペイン語Iで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを勘案して総合的に評価します。

教科書

中川清、児玉悦子著『皆のスペイン語』（弘学社）
その他、必要なプリント教材を適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『やさしいスペイン語文法』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

| | | | | | |
|------|---------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語II A〔再クラス〕 スペイン語II B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年 | | | | |
| 担当者名 | かみやま こういち 亀山 晃一 | | | | |

講義のねらい

基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

〔ロシア語〕

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ロシア語IA〔再クラス〕・ロシア語IB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 杉山 ^{すずやま} 秀子・廣田 ^{ひろた} 英靖 ^{ひでやす} | | | | |

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ロシア語IA〔再クラス〕・ロシア語IB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 佐野 ^{さの} 朝子 ^{あさこ} | | | | |

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ロシア語IA〔再クラス〕・ロシア語IB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 木村 <small>きむら ひであき</small> 英明 | | | | |

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。
 会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならないよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

| | | | | | |
|------|----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ロシア語IA〔再クラス〕・ロシア語IB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 全学科（フレB除く）234年 | | | | |
| 担当者名 | 安徳 <small>あんどく</small> ニーナ | | | | |

講義のねらい

基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布する。

| | | | | | |
|------|-------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ロシア語II A〔再クラス〕 ロシア語II B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考経商現法 A 政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法 A 政34年 | | | | |
| 担当者名 | クロチコフ、Y. | | | | |

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

その他 ビデオ、オーディオ等を使用します。

| | | | | | |
|------|-------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ロシア語II A〔再クラス〕 ロシア語II B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考経商現法 A 政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法 A 政34年 | | | | |
| 担当者名 | <small>おおすか ふみかず</small> 大須賀 史和 | | | | |

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

その他 ビデオ、オーディオ等を使用します。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ロシア語II A〔再クラス〕 ロシア語II B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考経商現法 A 政営 A34年 禅仏国歴日外考経商現法 A 政34年 | | | | |
| 担当者名 | 安徳 <small>あんどく</small> ニーナ | | | | |

| | |
|----------------|-------------------------------|
| 講義のねらい | 一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 教科書に基づいて講義を進める。 |
| 履修上の留意点 | 要点の復習は必ずしてほしい。 |
| 成績評価の方法 | 講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。 |
| 教科書 | 桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社） |
| 参考書等 | 必要に応じてその都度資料を配布する。 |

4. 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

| | 1時限 (政治) | | 2時限 (法律一) | | 3時限 (法律二) | |
|-----|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 水曜日 | ※森本 | ゴルフ | ※館岡 | ゴルフ | ※森本 | ゴルフ |
| | 大石 | 簡化太極拳 | 秋田 | トレーニング | 大石 | ミニサッカー |
| | 牧野 | 室内球技 | 竹田 | 体操・トランポリン | 竹田 | 体操・トランポリン |
| | 竹田 | 体操・トランポリン | 牧野 | 室内球技 | 秋田 | トレーニング |

※は、科目の主担当者

保健体育

「生涯スポーツ実習 I～IV」開講種目一覧

(於：本校体育館)

| | 月曜日 | | 火曜日 | | 水曜日 | | 木曜日 | | 金曜日 | | |
|-----|-----|-------|-----|--------|-------|-------|-----|----------|-----|----------|----------|
| 1時限 | | | | | | | | | | | |
| 2時限 | 渡 | 前期・基礎 | 大石 | 前期・応用 | 田中 | 前期・基礎 | 村松 | 前期・応用 | 牧野 | 前期・応用 | |
| | | 室内球技 | | ミニサッカー | | フットサル | | 卓球 | | バスケットボール | |
| | 辺 | 後期・基礎 | | 後期・応用 | 後期・基礎 | 後期・応用 | | 卓球 | | バスケットボール | |
| | | 室内球技 | | ミニサッカー | フットサル | 卓球 | | バスケットボール | | | |
| 3時限 | 渡 | 前期・応用 | 大石 | 前期・基礎 | 田中 | 前期・基礎 | 鈴木 | 前期・基礎 | 牧野 | 前期・基礎 | |
| | | 室内球技 | | 簡化太極拳 | | フットサル | | 卓球 | | バスケットボール | |
| | 辺 | 後期・応用 | | 後期・基礎 | | 後期・基礎 | | 後期・応用 | | 卓球 | バスケットボール |
| | | 室内球技 | | 簡化太極拳 | | フットサル | | 卓球 | | バスケットボール | |
| 4時限 | 大石 | 前期・応用 | | | | | 鈴木 | 前期・応用 | | | |
| | | 簡化太極拳 | | | | | | バドミントン | | | |
| | | 後期・応用 | | | | | | 後期・応用 | | | |
| | | 簡化太極拳 | | | | | | バドミントン | | | |

4. 保健体育科目

| 科目名 | 曜日・時間 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|------------------------------|-------|-------------------------------|------|----|-------|-----|
| 健康・スポーツ実習(ゴルフ) | 水 2 | 法A1選 | 通年 | 2 | 舘岡 儀秋 | 361 |
| 健康・スポーツ実習 (トレーニング) | 水 2 | 法A1選 | 通年 | 2 | 秋田 浩一 | 362 |
| 健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン) | 水 2 | 法A1選 | 通年 | 2 | 竹田 幸夫 | 363 |
| 健康・スポーツ実習 (室内球技) | 水 2 | 法A1選 | 通年 | 2 | 牧野 茂 | 364 |
| 健康・スポーツ実習(ゴルフ) | 水 3 | 法A1選 | 通年 | 2 | 森本 葵 | 365 |
| 健康・スポーツ実習 (ミニサッカー) | 水 3 | 法A1選 | 通年 | 2 | 大石 武士 | 366 |
| 健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン) | 水 3 | 法A1選 | 通年 | 2 | 竹田 幸夫 | 367 |
| 健康・スポーツ実習 (トレーニング) | 水 3 | 法A1選 | 通年 | 2 | 秋田 浩一 | 368 |
| 健康・スポーツ実習(ゴルフ) | 水 1 | 政 1 選 | 通年 | 2 | 森本 葵 | 369 |
| 健康・スポーツ実習 (室内球技) | 水 1 | 政 1 選 | 通年 | 2 | 牧野 茂 | 370 |
| 健康・スポーツ実習 (簡化太極拳) | 水 1 | 政 1 選 | 通年 | 2 | 大石 武士 | 371 |
| 健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン) | 水 1 | 政 1 選 | 通年 | 2 | 竹田 幸夫 | 372 |
| 健康・スポーツ実習 (トレーニング) | 特 4 | 法A政234年 | 集中授業 | 2 | 秋田 浩一 | 373 |
| 健康・スポーツ実習(太極拳) | 特 4 | 法A政234年 | 集中授業 | 2 | 大石 武士 | 374 |
| 健康・スポーツ実習(卓球) | 特 4 | 法A政234年 | 集中授業 | 2 | 村松 誠 | 375 |
| 健康・スポーツ実習 (室内球技) | 特 4 | 法A政234年 | 集中授業 | 2 | 山口 良博 | 376 |
| 健康・スポーツ実習(卓球) | 特 4 | 法A政234年 | 集中授業 | 2 | 鈴木 淳平 | 377 |
| 健康・スポーツ実習 (ソフトボール) | 特 4 | 法A政234年 | 集中授業 | 2 | 高橋 俊介 | 378 |
| 健康・スポーツ実習 (トレーニング&太極拳) | 特 4 | 法A政234年 | 集中授業 | 2 | 光永 吉輝 | 379 |
| 健康・スポーツ実習 (室内球技) | 特 4 | 法A政234年 | 集中授業 | 2 | 村松 誠 | 380 |
| 生涯スポーツ実習I (前期・基礎)(室内球技) | 月 2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 | 半期 | 1 | 渡辺 一郎 | 381 |
| 生涯スポーツ実習II (前期・基礎)(室内球技) | 月 2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 | 半期 | 1 | 渡辺 一郎 | 381 |
| 生涯スポーツ実習III (前期・基礎)(室内球技) | 月 2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 | 半期 | 1 | 渡辺 一郎 | 381 |
| 生涯スポーツ実習IV (前期・基礎)(室内球技) | 月 2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 | 半期 | 1 | 渡辺 一郎 | 381 |

| | | | | | | |
|--------------------------------|----|-------------------------------|----|---|-------|-----|
| 生涯スポーツ実習I (後期・基礎)(室内球技) | 月2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 | 半期 | 1 | 渡辺 一郎 | 381 |
| 生涯スポーツ実習II (後期・基礎)(室内球技) | 月2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 | 半期 | 1 | 渡辺 一郎 | 381 |
| 生涯スポーツ実習III (後期・基礎)(室内球技) | 月2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 | 半期 | 1 | 渡辺 一郎 | 381 |
| 生涯スポーツ実習IV (後期・基礎)(室内球技) | 月2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 | 半期 | 1 | 渡辺 一郎 | 381 |
| 生涯スポーツ実習I (前期・応用)(室内球技) | 月3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 | 半期 | 1 | 渡辺 一郎 | 382 |
| 生涯スポーツ実習II (前期・応用)(室内球技) | 月3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 | 半期 | 1 | 渡辺 一郎 | 382 |
| 生涯スポーツ実習III (前期・応用)(室内球技) | 月3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 | 半期 | 1 | 渡辺 一郎 | 382 |
| 生涯スポーツ実習IV (前期・応用)(室内球技) | 月3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 | 半期 | 1 | 渡辺 一郎 | 382 |
| 生涯スポーツ実習I (後期・応用)(室内球技) | 月3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 | 半期 | 1 | 渡辺 一郎 | 382 |
| 生涯スポーツ実習II (後期・応用)(室内球技) | 月3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 | 半期 | 1 | 渡辺 一郎 | 382 |
| 生涯スポーツ実習III (後期・応用)(室内球技) | 月3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 | 半期 | 1 | 渡辺 一郎 | 382 |
| 生涯スポーツ実習IV (後期・応用)(室内球技) | 月3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 | 半期 | 1 | 渡辺 一郎 | 382 |
| 生涯スポーツ実習I (前期・応用)(簡化太極拳) | 月4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 | 半期 | 1 | 大石 武士 | 383 |
| 生涯スポーツ実習II (前期・応用)(簡化太極拳) | 月4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 | 半期 | 1 | 大石 武士 | 383 |
| 生涯スポーツ実習III (前期・応用)(簡化太極拳) | 月4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 | 半期 | 1 | 大石 武士 | 383 |
| 生涯スポーツ実習IV (前期・応用)(簡化太極拳) | 月4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 | 半期 | 1 | 大石 武士 | 383 |
| 生涯スポーツ実習I (後期・応用)(簡化太極拳) | 月4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 | 半期 | 1 | 大石 武士 | 383 |
| 生涯スポーツ実習II (後期・応用)(簡化太極拳) | 月4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 | 半期 | 1 | 大石 武士 | 383 |
| 生涯スポーツ実習III (後期・応用)(簡化太極拳) | 月4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 | 半期 | 1 | 大石 武士 | 383 |
| 生涯スポーツ実習IV (後期・応用)(簡化太極拳) | 月4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 | 半期 | 1 | 大石 武士 | 383 |
| 生涯スポーツ実習I (前期・応用)(ミニサッカー) | 火2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 | 半期 | 1 | 大石 武士 | 384 |
| 生涯スポーツ実習II (前期・応用)(ミニサッカー) | 火2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 | 半期 | 1 | 大石 武士 | 384 |
| 生涯スポーツ実習III (前期・応用)(ミニサッカー) | 火2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 | 半期 | 1 | 大石 武士 | 384 |

| | | | | | | |
|--------------------------------|----|-------------------------------|----|---|-------|-----|
| 生涯スポーツ実習IV (前期・応用)(ミニサッカー) | 火2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 | 半期 | 1 | 大石 武士 | 384 |
| 生涯スポーツ実習I (後期・応用)(ミニサッカー) | 火2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 | 半期 | 1 | 大石 武士 | 384 |
| 生涯スポーツ実習II (後期・応用)(ミニサッカー) | 火2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 | 半期 | 1 | 大石 武士 | 384 |
| 生涯スポーツ実習III (後期・応用)(ミニサッカー) | 火2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 | 半期 | 1 | 大石 武士 | 384 |
| 生涯スポーツ実習IV (後期・応用)(ミニサッカー) | 火2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 | 半期 | 1 | 大石 武士 | 384 |
| 生涯スポーツ実習I (前期・基礎)(簡化太極拳) | 火3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 | 半期 | 1 | 大石 武士 | 385 |
| 生涯スポーツ実習II (前期・基礎)(簡化太極拳) | 火3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 | 半期 | 1 | 大石 武士 | 385 |
| 生涯スポーツ実習III (前期・基礎)(簡化太極拳) | 火3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 | 半期 | 1 | 大石 武士 | 385 |
| 生涯スポーツ実習IV (前期・基礎)(簡化太極拳) | 火3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 | 半期 | 1 | 大石 武士 | 385 |
| 生涯スポーツ実習I (後期・基礎)(簡化太極拳) | 火3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 | 半期 | 1 | 大石 武士 | 385 |
| 生涯スポーツ実習II (後期・基礎)(簡化太極拳) | 火3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 | 半期 | 1 | 大石 武士 | 385 |
| 生涯スポーツ実習III (後期・基礎)(簡化太極拳) | 火3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 | 半期 | 1 | 大石 武士 | 385 |
| 生涯スポーツ実習IV (後期・基礎)(簡化太極拳) | 火3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 | 半期 | 1 | 大石 武士 | 385 |
| 生涯スポーツ実習I (前期・基礎)(フットサル) | 水3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 | 半期 | 1 | 田中 佳孝 | 386 |
| 生涯スポーツ実習II (前期・基礎)(フットサル) | 水3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 | 半期 | 1 | 田中 佳孝 | 386 |
| 生涯スポーツ実習III (前期・基礎)(フットサル) | 水3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 | 半期 | 1 | 田中 佳孝 | 386 |
| 生涯スポーツ実習IV (前期・基礎)(フットサル) | 水3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 | 半期 | 1 | 田中 佳孝 | 386 |
| 生涯スポーツ実習I (後期・基礎)(フットサル) | 水3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 | 半期 | 1 | 田中 佳孝 | 386 |
| 生涯スポーツ実習II (後期・基礎)(フットサル) | 水3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 | 半期 | 1 | 田中 佳孝 | 386 |
| 生涯スポーツ実習III (後期・基礎)(フットサル) | 水3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 | 半期 | 1 | 田中 佳孝 | 386 |
| 生涯スポーツ実習IV (後期・基礎)(フットサル) | 水3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 | 半期 | 1 | 田中 佳孝 | 386 |
| 生涯スポーツ実習I (前期・基礎)(フットサル) | 水2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 | 半期 | 1 | 田中 佳孝 | 387 |
| 生涯スポーツ実習II (前期・基礎)(フットサル) | 水2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 | 半期 | 1 | 田中 佳孝 | 387 |

| | | | | | | |
|-------------------------------|----|-------------------------------|----|---|-------|-----|
| 生涯スポーツ実習III (前期・基礎)(フットサル) | 水2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 | 半期 | 1 | 田中 佳孝 | 387 |
| 生涯スポーツ実習IV (前期・基礎)(フットサル) | 水2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 | 半期 | 1 | 田中 佳孝 | 387 |
| 生涯スポーツ実習I (後期・基礎)(フットサル) | 水2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 | 半期 | 1 | 田中 佳孝 | 387 |
| 生涯スポーツ実習II (後期・基礎)(フットサル) | 水2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 | 半期 | 1 | 田中 佳孝 | 387 |
| 生涯スポーツ実習III (後期・基礎)(フットサル) | 水2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 | 半期 | 1 | 田中 佳孝 | 387 |
| 生涯スポーツ実習IV (後期・基礎)(フットサル) | 水2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 | 半期 | 1 | 田中 佳孝 | 387 |
| 生涯スポーツ実習I (前期・応用)(卓球) | 木2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 | 半期 | 1 | 村松 誠 | 388 |
| 生涯スポーツ実習II (前期・応用)(卓球) | 木2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 | 半期 | 1 | 村松 誠 | 388 |
| 生涯スポーツ実習III (前期・応用)(卓球) | 木2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 | 半期 | 1 | 村松 誠 | 388 |
| 生涯スポーツ実習IV (前期・応用)(卓球) | 木2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 | 半期 | 1 | 村松 誠 | 388 |
| 生涯スポーツ実習I (後期・応用)(卓球) | 木2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 | 半期 | 1 | 村松 誠 | 388 |
| 生涯スポーツ実習II (後期・応用)(卓球) | 木2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 | 半期 | 1 | 村松 誠 | 388 |
| 生涯スポーツ実習III (後期・応用)(卓球) | 木2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 | 半期 | 1 | 村松 誠 | 388 |
| 生涯スポーツ実習IV (後期・応用)(卓球) | 木2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 | 半期 | 1 | 村松 誠 | 388 |
| 生涯スポーツ実習I (前期・基礎)(卓球) | 木3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 | 半期 | 1 | 鈴木 淳平 | 389 |
| 生涯スポーツ実習II (前期・基礎)(卓球) | 木3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 | 半期 | 1 | 鈴木 淳平 | 389 |
| 生涯スポーツ実習III (前期・基礎)(卓球) | 木3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 | 半期 | 1 | 鈴木 淳平 | 389 |
| 生涯スポーツ実習IV (前期・基礎)(卓球) | 木3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 | 半期 | 1 | 鈴木 淳平 | 389 |
| 生涯スポーツ実習I (後期・基礎)(卓球) | 木3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 | 半期 | 1 | 鈴木 淳平 | 389 |
| 生涯スポーツ実習II (後期・基礎)(卓球) | 木3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 | 半期 | 1 | 鈴木 淳平 | 389 |
| 生涯スポーツ実習III (後期・基礎)(卓球) | 木3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 | 半期 | 1 | 鈴木 淳平 | 389 |
| 生涯スポーツ実習IV (後期・基礎)(卓球) | 木3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 | 半期 | 1 | 鈴木 淳平 | 389 |
| 生涯スポーツ実習I (前期・応用)(バドミントン) | 木4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 | 半期 | 1 | 鈴木 淳平 | 390 |

| | | | | | | |
|-----------------------------------|-----|-------------------------------|----|---|-------|-----|
| 生涯スポーツ実習II (前期・応用) (バドミントン) | 木 4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 | 半期 | 1 | 鈴木 淳平 | 390 |
| 生涯スポーツ実習III (前期・応用) (バドミントン) | 木 4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 | 半期 | 1 | 鈴木 淳平 | 390 |
| 生涯スポーツ実習IV (前期・応用) (バドミントン) | 木 4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 | 半期 | 1 | 鈴木 淳平 | 390 |
| 生涯スポーツ実習I (後期・応用) (バドミントン) | 木 4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 | 半期 | 1 | 鈴木 淳平 | 390 |
| 生涯スポーツ実習II (後期・応用) (バドミントン) | 木 4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 | 半期 | 1 | 鈴木 淳平 | 390 |
| 生涯スポーツ実習III (後期・応用) (バドミントン) | 木 4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 | 半期 | 1 | 鈴木 淳平 | 390 |
| 生涯スポーツ実習IV (後期・応用) (バドミントン) | 木 4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 | 半期 | 1 | 鈴木 淳平 | 390 |
| 生涯スポーツ実習I (前期・応用) (バスケットボール) | 金 2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 | 半期 | 1 | 牧野 茂 | 391 |
| 生涯スポーツ実習II (前期・応用) (バスケットボール) | 金 2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 | 半期 | 1 | 牧野 茂 | 391 |
| 生涯スポーツ実習III (前期・応用) (バスケットボール) | 金 2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 | 半期 | 1 | 牧野 茂 | 391 |
| 生涯スポーツ実習IV (前期・応用) (バスケットボール) | 金 2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 | 半期 | 1 | 牧野 茂 | 391 |
| 生涯スポーツ実習I (後期・応用) (バスケットボール) | 金 2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 | 半期 | 1 | 牧野 茂 | 391 |
| 生涯スポーツ実習II (後期・応用) (バスケットボール) | 金 2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 | 半期 | 1 | 牧野 茂 | 391 |
| 生涯スポーツ実習III (後期・応用) (バスケットボール) | 金 2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 | 半期 | 1 | 牧野 茂 | 391 |
| 生涯スポーツ実習IV (後期・応用) (バスケットボール) | 金 2 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 | 半期 | 1 | 牧野 茂 | 391 |
| 生涯スポーツ実習I (前期・基礎) (バスケットボール) | 金 3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 | 半期 | 1 | 牧野 茂 | 392 |
| 生涯スポーツ実習II (前期・基礎) (バスケットボール) | 金 3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 | 半期 | 1 | 牧野 茂 | 392 |
| 生涯スポーツ実習III (前期・基礎) (バスケットボール) | 金 3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 | 半期 | 1 | 牧野 茂 | 392 |

| | | | | | | |
|------------------------------------|-----|-----------------------------------------|------|---|------------|-----|
| 生涯スポーツ実習IV (前期・基礎)(バスケットボール) | 金 3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 | 半期 | 1 | 牧野 茂 | 392 |
| 生涯スポーツ実習I (後期・基礎)(バスケットボール) | 金 3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 | 半期 | 1 | 牧野 茂 | 392 |
| 生涯スポーツ実習II (後期・基礎)(バスケットボール) | 金 3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 | 半期 | 1 | 牧野 茂 | 392 |
| 生涯スポーツ実習III (後期・基礎)(バスケットボール) | 金 3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 | 半期 | 1 | 牧野 茂 | 392 |
| 生涯スポーツ実習IV (後期・基礎)(バスケットボール) | 金 3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 | 半期 | 1 | 牧野 茂 | 392 |
| 生涯スポーツ演習I (シーズン基礎)(ゴルフ) | 特 3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経B法B営B選 | シーズン | 2 | 佐藤 政之 他 | 393 |
| 生涯スポーツ演習I (シーズン応用)(ゴルフ) | 特 3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経B法B営B選 | シーズン | 2 | 佐藤 政之 他 | 393 |
| 生涯スポーツ演習II (シーズン基礎)(スキー・スノーボード) | 特 3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経B法B営B選 | シーズン | 2 | 山口 良博 他 | 394 |
| 生涯スポーツ演習II (シーズン応用)(スキー・スノーボード) | 特 3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経B法B営B選 | シーズン | 2 | 山口 良博 他 | 394 |
| 生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎)(テニス) | 特 4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 | 集中授業 | 1 | 江口 淳一 | 395 |
| 生涯スポーツ実習 (集中前期・応用)(テニス) | 特 4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 | 集中授業 | 1 | 江口 淳一 | 395 |
| 生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎)(ゴルフ) | 特 4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 | 集中授業 | 1 | 三幣 晴三 | 396 |
| 生涯スポーツ実習 (集中後期・応用)(ゴルフ) | 特 4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 | 集中授業 | 1 | 三幣 晴三 | 396 |
| 健康・スポーツ論 1 | 水 1 | 法A政1選 | 半期 | 2 | 館岡 儀秋 | 397 |
| 健康・スポーツ論 1 | 水 4 | 法A政1選 | 半期 | 2 | 牧野 茂 | 398 |
| 健康・スポーツ論 2 | 火 4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 | 半期 | 2 | 大石 武士 | 399 |
| 健康・スポーツ論 2 | 水 4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 | 半期 | 2 | 三幣 晴三 | 400 |
| 健康・スポーツ論 2 | 木 4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 | 半期 | 2 | 村松 誠 | 401 |
| 健康・スポーツ論 2 | 金 4 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 | 半期 | 2 | 牧野 茂 | 402 |

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ実習(ゴルフ) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1選 | | | | |
| 担当者名 | たておか よしかき 館岡 儀秋 | | | | |

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70％・実技点（実技テストを含む）30％の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ実習(トレーニング) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1選 | | | | |
| 担当者名 | あきた こういち 秋田 浩一 | | | | |

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス(有酸素運動)・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局(NASA)で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムIIという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2時限目：カイザーカムII最大筋力測定
- 3時限目：〃
- 4時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5時限目：トレーニング
- 6時限目：トレーニング
- 7時限目：トレーニング
- 8時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 9時限目：トレーニング
- 10時限目：トレーニング
- 11時限目：トレーニング
- 12時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 13時限目：トレーニング
- 14時限目：トレーニング
- 15時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウエア、体育館シューズ(室内専用)を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容(毎時間記録をする)、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

その他

ストレッチ体操の各種、器具のいらないトレーニング方法(単独法、対人法)などを各時間に詳しく講義する。

| | | | | | |
|------|---------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ実習(体操・トランポリン) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1選 | | | | |
| 担当者名 | 竹田 幸夫 <small>たけだ ゆきお</small> | | | | |

講義のねらい

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：マッサージ法
- 5 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 6 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 7 時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台
- 8 時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン
- 9 時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒
- 10 時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン
- 11 時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒
- 12 時限目：発展技の練習
- 13 時限目：自主練習
- 14 時限目：自主練習
- 15 時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、授業時間内の指示を守ること。

成績評価の方法

健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれに課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定するので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

その他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

| | | | | | |
|------|-----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ実習(室内球技) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1選 | | | | |
| 担当者名 | まきの しげる 牧野 茂 | | | | |

講義のねらい

バスケットボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容等の説明
(バスケットボール)
- 2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3時限目：ハーフコート2対1、ゲーム(1次リーグ)
- 4時限目：ハーフコート3対2、ゲーム(1次リーグ)
- 5時限目：ハーフコート4対3、ゲーム(1次リーグ)
- 6時限目：フルコート3対2、ゲーム(2次リーグ)
- 7時限目：フルコート4対3、ゲーム(2次リーグ)
- 8時限目：ハーフコート3対3、ゲーム(2次リーグ)
- 9時限目：ハーフコート4対4、ゲーム(2次リーグ)
(バドミントン)
- 10時限目：ラケットティング、ストロークの基本技術、ドライブ
- 11時限目：スマッシュ、ドロップ、クリアー、ミニゲーム
- 12時限目：サービス、ネットショット、シングルスゲーム
- 13時限目：サービス、ロブ、プッシュ、シングルスゲーム
- 14時限目：ストロークの応用、ダブルスゲーム
- 15時限目：ダブルスゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。60点以上を合格とする。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ実習(ゴルフ) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1選 | | | | |
| 担当者名 | もりのもと まもる 森本 奏 | | | | |

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11 時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12 時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15 時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

出席を重視する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ実習(ミニサッカー) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 法A1選 | | | | |
| 担当者名 | おおいし たけし 大石 武士 | | | | |

講義のねらい

ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容・授業スケジュール
 1時限目：オリエンテーション
 2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
 3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
 4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
 10時限目～14時限目：ゲーム
 15時限目：まとめ

履修上の留意点

- 1) 定員：35名
- 2) 服装は、一般的な運動服装が良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。
- 3) 教場：体育館

成績評価の方法

評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

| | | | | | |
|------|---------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ実習(体操・トランポリン) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1選 | | | | |
| 担当者名 | 竹田 <small>たけだ</small> 幸夫 <small>ゆきお</small> | | | | |

講義のねらい

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目：＼
- 4 時限目：マッサージ法
- 5 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 6 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 7 時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台
- 8 時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン
- 9 時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒
- 10 時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン
- 11 時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒
- 12 時限目：発展技の練習
- 13 時限目：自主練習
- 14 時限目：自主練習
- 15 時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、授業時間内の指示を守る。

成績評価の方法

健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれに課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定してあるので、受講生はその中から自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

その他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ実習(トレーニング) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1選 | | | | |
| 担当者名 | あきた こういち 秋田 浩一 | | | | |

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないしていると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・
授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2 時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3 時限目：＃
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5 時限目：トレーニング
- 6 時限目：トレーニング
- 7 時限目：トレーニング
- 8 時限目：負荷を男子は2 kg up、女子は1 kg up
- 9 時限目：トレーニング
- 10 時限目：トレーニング
- 11 時限目：トレーニング
- 12 時限目：負荷を男子は2 kg up、女子は1 kg up
- 13 時限目：トレーニング
- 14 時限目：トレーニング
- 15 時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいろいろなトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ実習(ゴルフ) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政1選 | | | | |
| 担当者名 | もりもと まもる 森本 葵 | | | | |

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。
生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11 時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12 時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15 時限目：実技テスト

履修上の留意点

- 1. 服装は、一般的な運動服装とする。
- 2. シューズは、運動靴とする。
- 3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

| | | | | | |
|------|-----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ実習(室内球技) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政1選 | | | | |
| 担当者名 | まきの しげる 牧野 茂 | | | | |

講義のねらい

バスケットボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容等の説明
(バスケットボール)
- 2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3時限目：ハーフコート2対1、ゲーム(1次リーグ)
- 4時限目：ハーフコート3対2、ゲーム(1次リーグ)
- 5時限目：ハーフコート4対3、ゲーム(1次リーグ)
- 6時限目：フルコート3対2、ゲーム(2次リーグ)
- 7時限目：フルコート4対3、ゲーム(2次リーグ)
- 8時限目：ハーフコート3対3、ゲーム(2次リーグ)
- 9時限目：ハーフコート4対4、ゲーム(2次リーグ)
(バドミントン)
- 10時限目：ラケットティング、ストロークの基本技術、ドライブ
- 11時限目：スマッシュ、ドロップ、クリアー、ミニゲーム
- 12時限目：サービス、ネットショット、シングルスゲーム
- 13時限目：サービス、ロブ、プッシュ、シングルスゲーム
- 14時限目：ストロークの応用、ダブルスゲーム
- 15時限目：ダブルスゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。60点以上を合格とする。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ実習(簡化太極拳) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政1選 | | | | |
| 担当者名 | 大石 武士 <small>おおいし たけし</small> | | | | |

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、将来、生涯スポーツの一つとしての基礎をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肘
- 5 時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ実習(体操・トランポリン) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政1選 | | | | |
| 担当者名 | 竹田 ^{たけだ} ^{ゆきお} 幸夫 | | | | |

講義のねらい

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：マッサージ法
- 5 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 6 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 7 時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台
- 8 時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン
- 9 時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒
- 10 時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン
- 11 時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒
- 12 時限目：発展技の練習
- 13 時限目：自主練習
- 14 時限目：自主練習
- 15 時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、授業時間内の指示を守ること。

成績評価の方法

健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれに課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定してあるので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

そ の 他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|------|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ実習(トレーニング) | 開講 | 集中授業 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A政234年 | | | | |
| 担当者名 | あきた こういち 秋田 浩一 | | | | |

講義のねらい

基礎的な体力要素がある筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
- 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用方の説明、最大筋力の測定
- 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 2日目 午後：トレーニング
- 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
- 3日目 午後：トレーニング
- 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 4日目 午後：12分間走
- 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 5日目 午後：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意すること。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

その他

- 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期)7月17日(火)～21日(土)、(後期)1月5日(土)～9日(水)
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備考：集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|------|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ実習(太極拳) | 開講 | 集中授業 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A政234年 | | | | |
| 担当者名 | おおいし たけし 大石 武士 | | | | |

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、将来、生涯スポーツの一つとしての基礎をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション
：重心の移動・腹式呼吸運動
- 1日目午後：第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅
- 2日目午前：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 2日目午後：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 3日目午前：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 3日目午後：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 4日目午前：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 4日目午後：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 5日目午前：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 5日目午後：総合・テスト

履修上の留意点

服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

そ の 他

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(火)～21日(土)、(後期) 1月5日(土)～9日(水)
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|------|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ実習(卓球) | 開講 | 集中授業 | 単位 | 2 |
| 担当 | 法A政234年 | | | | |
| 担当者名 | 村松 誠 <small>むらまつ まこと</small> | | | | |

講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

その他

30分以上の遅刻は認めない。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(火)～21日(土)、(後期) 1月5日(土)～9日(水)
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|------|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ実習(室内球技) | 開講 | 集中授業 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A政234年 | | | | |
| 担当者名 | やまぐち よしひろ 山口 良博 | | | | |

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

そ の 他

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月17日（火）～21日（土）、（後期）1月5日（土）～9日（水）
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|------|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ実習(卓球) | 開講 | 集中授業 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A政234年 | | | | |
| 担当者名 | 鈴木 淳平 <small>すずき じゅんぺい</small> | | | | |

講義のねらい

1. 卓球を教材に用い、身体運動の実践のなかで、その楽しさや重要性を理解する。技術やルール等を習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的技能を身につける。
2. 技術練習やゲームを行う中で、その運営を仲間と協力して行っていく社会性・協調性を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目：ラケットの持ち方、スイングとフットワーク、シングルス・ゲーム
- 2日目：サーブとレシーブ、ラリー、ダブルス・ゲーム
- 3日目：ドライブ（フォアハンド・バックハンド）、スマッシュ、ゲーム
- 4日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦
- 5日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦

履修上の留意点

スポーツウェア（上下）、室内用のシューズ着用で受講する。

成績評価の方法

出席状況、運動への積極性、受講態度、技術・体力などから総合的に評価する。

その他

- 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月17日（火）～21日（土）、（後期）1月5日（土）～9日（水）
7月17日及び1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎第1体育館に集合。
 - (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
 - (3) 実施場所：玉川校舎第1体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備考：集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

| | | | | | |
|------|---------------------------------|----|------|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ実習(ソフトボール) | 開講 | 集中授業 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A政234年 | | | | |
| 担当者名 | 高橋 俊介 <small>たかはし しゅんすけ</small> | | | | |

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1日目
 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの補球、トスバッティング、走塁練習、その他）
 午後：同上
- 第2日目
 午前：ゲーム
 午後： ”
- 第3日目
 午前： ”
 午後：審判法・ゲーム
- 第4日目
 午前： ”
 午後： ”
- 第5日目
 午前： ”
 午後： ”

履修上の留意点

一般的の体育服装を用意すること。野球用ユニホームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

その他

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月17日（火）～21日（土）、（後期）1月5日（土）～9日（水）
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

| | | | | | |
|------|-----------------------|----|------|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ実習(トレーニング&太極拳) | 開講 | 集中授業 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A政234年 | | | | |
| 担当者名 | みつねが よしてる 光永 吉輝 | | | | |

講義のねらい

この講義では午前には、体力の基礎である、筋力、持久力、柔軟性をトレーニングの授業で学び、午後の講義では、バランス、集中力、呼吸法によるリラクセスの方法を太極拳で学ぶことをねらいとしている。

簡化太極拳は、簡単なものから複雑なものへ、やさしいものから難しいものへと構成されていて、学びやすく、覚えやすいようになっている、全コース八組(24式)あって、練習では全コース通してやってもいいし、あるいは一組が2~4式となっているが、ここでは、第一組から第四組(11式)までを学ぶねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目
午前：オリエンテーション・体力測定
午後：オリエンテーション・基本動作・第一組(3式)
- 2日目
午前：カイザーカムIIの使用説明、最大筋力測定
午後：第一組、第二組(3式)
- 3日目
午前：トレーニング
午後：第一組、第二組、第三組(2式)
- 4日目
午前：トレーニング
午後：第一組、第二組、第三組、第四組(3式)、総合
- 5日目
午前：体力測定
午後：総合(1~11式)、テスト

履修上の留意点

服装は、トレーニングウェア。実技は、体育館地下一階トレーニング上で行うので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。
尚、太極拳は最終日に演武テストを行う。

その他

- 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期)7月17日(火)~21日(土)、(後期)1月5日(土)~9日(水)
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00~12:00、13:00~15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備考：集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

| | | | | | |
|------|------------------|----|------|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ実習(室内球技) | 開講 | 集中授業 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A政234年 | | | | |
| 担当者名 | むらまつ まこと 村松 誠 | | | | |

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3時限目：ハーフコート2対1、ゲーム(1次リーグ)
- 4時限目：ハーフコート3対2、ゲーム(1次リーグ)
- 5時限目：ハーフコート4対3、ゲーム(1・2次リーグ)
- 6時限目：ハーフコート3対3、ゲーム(2次リーグ)
- 7時限目：ゲーム(2次リーグ)
(バレーボール)
- 8時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム(リーグ戦)
- 9時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：ゲーム(トーナメント)
(バドミントン)
- 12時限目：ラケットティング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。ボールを扱う競技においては手のつめを短く切ること。体育館専用シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点(70点)、実技点(20点)、態度点(10点)の配分で評価する。

そ の 他

- 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期)7月17日(火)～21日(土)、(後期)1月5日(土)～9日(水)
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・基礎）（室内球技） | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選 | | | | |
| 担当者名 | <small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎 | | | | |

講義のねらい

半期間にバスケットボール、フットサル、卓球の3種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 3時限目～6時限目：総合練習、ゲーム
- 7時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 8時限目～11時限目：総合練習、ゲーム
- 12時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等）
- 13時限目～15時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス）

履修上の留意点

1. 本校第一体育館で行う。
2. 定員は40名とする。
3. 服装は一般的のスポーツウエア、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点70点、実技点20点、態度点10点

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・応用）（室内球技） | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選 | | | | |
| 担当者名 | <small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎 | | | | |

講義のねらい

半期間にバスケットボール、フットサル、卓球の3種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション
 2時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
 3時限目～6時限目：総合練習、ゲーム
 7時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
 8時限目～11時限目：総合練習、ゲーム
 12時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等）
 13時限目～15時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス）

履修上の留意点

1. 本校第一体育館で行う。
2. 定員は40名とする。
3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点70点、実技点20点、態度点10点

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・応用）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・応用）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・応用）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・応用）（簡化太極拳） | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選 | | | | |
| 担当者名 | おおいし たけし 大石 武士 | | | | |

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のためKOMANet・インターネットで配信（学内のみ）の予定。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5時限目：第三組 左攢雀尾・右攢雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：体育館

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・応用）（ミニサッカー） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・応用）（ミニサッカー） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・応用）（ミニサッカー） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・応用）（ミニサッカー） | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選 | | | | |
| 担当者名 | おおいし たけし 大石 武士 | | | | |

講義のねらい

ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
- 3 時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
- 4 時限目～9 時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
- 10 時限目～14 時限目：ゲーム
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

- 1) 定員：35名
- 2) 服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。
- 3) 教場：体育館

成績評価の方法

評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・基礎）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・基礎）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・基礎）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・基礎）（簡化太極拳） | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選 | | | | |
| 担当者名 | おおいし たけし 大石 武士 | | | | |

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のためKOMANet・インターネットで配信（学内のみ）の予定。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身撒ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：体育館

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・基礎）（フットサル） | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選 | | | | |
| 担当者名 | たなか よしたか 田中 佳孝 | | | | |

講義のねらい

室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、ルール説明
- 2 時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 3 時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム
- 4 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、ゲーム
- 5 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム
- 6 時限目：ゲーム
- 7 時限目：ゲーム
- 8 時限目～14 時限目：ゲーム
- 15 時限目：まとめと評価

履修上の留意点

実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。遅刻は認めない。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。
成績評価を受けるには2/3の出席日数が必要。

その他

定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・基礎）（フットサル） | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選 | | | | |
| 担当者名 | たなか よしたか 田中 佳孝 | | | | |

講義のねらい

室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、ルール説明
- 2時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 3時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム
- 4時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、ゲーム
- 5時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム
- 6時限目：ゲーム
- 7時限目：ゲーム
- 8時限目～14時限目：ゲーム
- 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。成績評価を受けるためには2/3の出席日数が必要。

その他

定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・応用）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・応用）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・応用）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・応用）（卓球） | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選 | | | | |
| 担当者名 | むらまつ まこと 村松 誠 | | | | |

講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の实技テストは行なわない。

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・基礎）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・基礎）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・基礎）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・基礎）（卓球） | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選 | | | | |
| 担当者名 | 鈴木 <small>すずき じゆんへい</small> 淳平 | | | | |

講義のねらい

1. 卓球を教材に用い、身体運動の実践のなかで、その楽しさや重要性を理解する。技術やルール等を習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的技能を身につける。
2. 技術練習やゲームを行う中で、その運営をクラスの仲間と協力して行っていく社会性・協調性を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ラケットの持ち方、スイングとフットワーク、シングルス・ゲーム
- 3時限目：サービスとレシーブ、ラリー、ダブルス・ゲーム
- 4時限目：ドライブ（フォアハンド・バックハンド）、スマッシュ、ゲーム
- 5時限目～：総合練習、ゲーム、リーグ戦

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行う。
3. スポーツウェア（上下）、体育館用のシューズ着用で受講する。

成績評価の方法

出席状況、運動への積極性、受講態度、技術・体力などから総合的に評価する。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・応用）（バドミントン） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・応用）（バドミントン） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・応用）（バドミントン） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・応用）（バドミントン） | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選 | | | | |
| 担当者名 | すすき じゆんぺい 鈴木 淳平 | | | | |

講義のねらい

バドミントンを生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。シングルス、ダブルス等のゲームを通じて技術・戦術を習得し、試合の運営、マナーやエチケット等も学んでいく。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット、シングルス・ゲーム
- 4 時限目：半面での簡易ゲーム、シングルス、ダブルス・ゲーム
- 5 時限目：〃
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目～15時限目：総合練習・ゲーム

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ(前期/後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期/後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期/後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期/後期・応用)(バスケットボール) | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選 | | | | |
| 担当者名 | まきの しげる 牧野 茂 | | | | |

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート 2 対 1
- 3 時限目：2 ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3 対 3 ゲーム
- 4 時限目：2 マン・ファースト・ブレイク、フルコート 2 対 1、3 対 3 ゲーム
- 5 時限目：3 マン・ファースト・ブレイク、フルコート 3 対 2、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：4 マン・ファースト・ブレイク、フルコート 4 対 3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（1）ハーフ・コート 2 対 2、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（2）ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（3）ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：モーション・オフENSE（1）ハーフ・コート 2 対 2、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：モーション・オフENSE（2）ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：モーション・オフENSE（3）ハーフ・コート 4 対 4、ゲーム（リーグ戦）
- 13 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ(前期/後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期/後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期/後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期/後期・基礎)(バスケットボール) | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選 | | | | |
| 担当者名 | まきの しげる 牧野 茂 | | | | |

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
- 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
- 7時限目：著名なマンツーマン・オフense(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 8時限目：著名なマンツーマン・オフense(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 9時限目：著名なマンツーマン・オフense(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目：モーション・オフense(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：モーション・オフense(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 12時限目：モーション・オフense(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦)
- 13時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 14時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 15時限目：実技テスト、ゲーム(リーグ戦)

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点(70点)、実技テスト(20点)、態度点(10点)

| | | | | | |
|------|--------------------------------------------------|----|------|----|---|
| 科目名 | 生涯スポーツ演習I（シーズン基礎）（ゴルフ） 生涯スポーツ演習I（シーズン応用）（ゴルフ） | 開講 | シーズン | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経B法B営B選 | | | | |
| 担当者名 | 佐藤 政之 他 | | | | |

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション：
 - 1回目 4月7日（土）12：20～12：40 2研-102教場
 - 2回目 4月14日（土）12：20～12：40 2研-102教場

※本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業：7月17日（火）13：00～16：10 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目 9月10日（月）
 - 講義：9：00～12：10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎
 - 実技：13：00～17：30 打撃練習
 - ※注意：1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月11日（火） 実技・講義：11：00～18：00 打撃練習・ゴルフ規則I、その他
 - 3日目 9月12日（水） 実技・講義：8：30～17：00 打撃練習・ラウンド・ゴルフ規則II
 - 4日目 9月13日（木） 実技・講義：8：30～17：00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括
 - 5日目 9月14日（金） 実技・講義：8：30～13：30 打撃練習・ラウンド・閉校式

履修上の留意点

- 生涯スポーツ演習I（シーズン基礎・シーズン応用）を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。
1. 実習日程：平成19年9月10日（玉川校舎）・9月11日～14日（現地：3泊4日）
 2. 場所：
 - 宿泊：マロウドインターナショナルホテル成田
286-0121 千葉県成田駒井野763-1
電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112
 - 練習場コース：ダイナミックゴルフ成田
289-2231 千葉県香取郡多
 3. 定員：40名
 4. 集合解散：
 - （1）集合 9月10日（月）午前9時 玉川校舎 305教場
9月11日（火）午前11時 ダイナミックゴルフ成田
 - （2）解散 9月14日（金）午後12時30分：予定 ダイナミック成田
 5. 受講料：35,700円（左記金額には、交通費は含まれない。）
 6. 納入期間：平成19年5月21日（月）～6月2日（土）
証明書自動発行機（教務部ロビー設置）で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康科学部門（第2研究館9館資料室）に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
 7. 服装・用具
 - （1）一般的なゴルフ服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要）
 - （2）ゴルフシューズ（ソフトスパイクに限る）は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - （3）グローブは、必ず各自で用意すること。
 - （4）ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習（5日間）によって2単位が認められる。成績は講義・実技の出席状況講義・実技テスト実習参加態度等総合的に評価される。

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------------------------|----|------|----|---|
| 科目名 | 生涯スポーツ演習II(シーズン基礎)(スキー・スノーボード) 生涯スポーツ演習II(シーズン応用)(スキー・スノーボード) | 開講 | シーズン | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経B法B営B選 | | | | |
| 担当者名 | 山口 良博 他 | | | | |

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにグレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくグレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション1回目 4月7日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月14日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 1月9日(水) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目 1月29日(火)
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 1月30日(水)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目 1月31日(木)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目 2月1日(金)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 2月2日(土)
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習IIシーズン・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成20年1月29日(火)~2月2日(土)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グランド 電話(0195)73-5019
- 3) 定 員：スキー 20名
スノーボード 30名(但し、初心者に限る)
- 4) 受 講 料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成19年5月21日(月)~6月2日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急にスポーツ・健康科学部門(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------------------|----|------|----|---|
| 科目名 | 生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）(テニス) 生涯スポーツ実習（集中前期・応用）(テニス) | 開講 | 集中授業 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴史外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | えぐち じゆんいち 江口 淳一 | | | | |

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標としている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自律的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

（基礎）…初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

（応用）…エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：ラケットティング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 1日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ
- 2日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 2日目午後：ラリーの応用とミニゲーム
- 3日目午前：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 3日目午後： ” ” ” ” （戦術と応用）
- 4日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 4日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ
- 5日目午前：トーナメント形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：7月17日（火）～21日（土）
7月17日更衣の上、午前10時にテニスコート集合
- (2) 実施時間：午前10：00～12：00
午後13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は、集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。特・4時限で提出すること。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------------------|----|------|----|---|
| 科目名 | 生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）（ゴルフ） 生涯スポーツ実習（集中後期・応用）（ゴルフ） | 開講 | 集中授業 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 三幣 晴三 <small>みゆき はるみ</small> | | | | |

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講生同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義：スイングの基本
- 2日目実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）
講義：マナーとエチケット
- 3日目実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）
講義：ゴルフルール
- 4日目実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5日目実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装：一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
- (2) グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

その他

- (1) 実施期間：1月7日（日）～11日（木）
1月7日午前10時に玉川校舎集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、1,000円程度必要である。
- (5) 定員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ論 1 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A政1選 | | | | |
| 担当者名 | たておか よしあき 館岡 儀秋 | | | | |

講義のねらい

健康を保持することは、すべての個人の願望にはかならないが、現代社会においては健康そのものの捉えかたが多様化している。また、運動やスポーツが健康増進の手段として考えられてきたが、その方法を誤ると健康を阻害する一面も内在している。健康管理を人に頼るのではなく、自主管理していくための基礎的知識を解説する。

人間の根源とも言える性に関連するエイズの諸問題を解説し、HIV感染者・エイズ患者を差別することなく、偏見を抱くことなく、エイズと共存する社会の実現のための知識・態度を解説する。

私たちは、いつ、どこで、どのような急病・事故・災害に出会うかわからない。このようなときに、医師以外の一般人でも、器具や薬品を使わずにできる一次救命処置の基礎的知識を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：人間と健康（体力と健康）
- 3 時限目： " （寿命と健康）
- 4 時限目： " （運動不足症）
- 5 時限目： " （健康管理法）
- 6 時限目：献血と血液製剤
- 7 時限目：エイズ（エイズの現状と推移）
- 8 時限目： " （エイズの予防・検査・治療）
- 9 時限目： " （人権と差別）
- 10 時限目：体力とトレーニング（トレーニングの方法・運動処方）
- 11 時限目：救命救急（一次救命処置）
- 12 時限目： " （一次救命処置）
- 13 時限目： " （一次救命処置）
- 14 時限目： " （応急処置）
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

- 授業時間内に次のことを発表するので注意すること。
- (1) 「小テスト」の期日（1、2回実施する予定）
 - (2) 「レポート」の提出期日（1、2回）

成績評価の方法

「小テスト」70%、「レポート」30%で総合評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』
『学生のための性とエイズ』（朝倉書店）
『救命救急』（小学館）

その他

授業は主に講義形式で行うが、ビデオ等も活用する。

| | | | | | |
|------|-----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ論 1 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 法A政1選 | | | | |
| 担当者名 | まきの しげる 牧野 茂 | | | | |

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、生涯にわたって、健康寿命をのばすための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か（1）
- 3 時限目：健康とは何か（2）
- 4 時限目：恒常性と適応、ストレス学説
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：健康の保持増進（1）
- 7 時限目：健康の保持増進（2）
- 8 時限目：WHOの総合健康指標
- 9 時限目：運動と健康
- 10 時限目：栄養と健康
- 11 時限目：睡眠と健康
- 12 時限目：嗜好品と健康
- 13 時限目：感染症について（1）
- 14 時限目：感染症について（2）
- 15 時限目：筆記試験

成績評価の方法

数回の小テストと学期末の筆記試験で評価する。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参考書等

講義のなかで紹介する。

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ論 2 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | おおいし たけし 大石 武士 | | | | |

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならぬ処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参考書等

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カヅサ出版）1,700円
- 2 『最新図解救命救急－応急手当の手引き－』（小学館）700円

その他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ論 2 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 三幣 晴三 <small>みねき はるみ</small> | | | | |

講義のねらい

健康は、人間が生きて何かを実現していく上で最も重要な基本的な前提条件である。本講義は、医学的見地からの健康を論じるだけでなく、人間が生きがいを持って生きる上で身体的・精神的健康を獲得するための実践的条件を検証するものである。

スポーツは過去から現代まで人類が営々と築きあげてきた文化である。スポーツは実践だけでなく、観ることやマスコミからの多くのインフォメーションによってわれわれ現代人にさまざまな影響を及ぼしている。スポーツを狭い領域からだけ論じるのではなく、我々が生き生きと生きるために必要な情報としてのスポーツの価値を論じるものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康とは何かI
- 3 時限目：同 II
- 4 時限目：同 III
- 5 時限目：同 IV
- 6 時限目：同 V
- 7 時限目：ストレスとは何かI
- 8 時限目：同 II
- 9 時限目：スポーツ論I
- 10時限目：同 II
- 11時限目：同 III
- 12時限目：同 IV
- 13時限目：同 V
- 14時限目：健康のまとめ
- 15時限目：スポーツ論のまとめ

履修上の留意点

毎時限配布するプリントを重視して進める。

成績評価の方法

出席・欠席を特に重視する。また、授業中に行われる小テストの成績も重要である。

教科書

特に指定するものはない。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ論 2 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | 村松 <small>むらまつ まこと</small> 誠 | | | | |

講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代といわれる。健康に関する情報は、マスコミにあふれている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、しっかりとした健康観を持つことは、適切な選択をするために大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中で最も健康な次期といわれるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：健康観の変遷
- 3時限目：現代の健康観
- 4時限目：健康の成立要因
- 5時限目：健康の成立条件
- 6時限目：病気の原因
- 7時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8時限目：現代の感染症
- 9時限目：喫煙と健康
- 10時限目：飲酒と健康
- 11時限目：ストレスと健康
- 12時限目：食べ物と健康
- 13時限目：運動と健康
- 14時限目：環境と健康
- 15時限目：まとめ

成績評価の方法

数回のレポート、小テストなどを行い、これを加味して評価する。

教科書

特に指定はしない。参考図書についてはその都度提示する。

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ論 2 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴史外考社福心経商現法A政営A選 | | | | |
| 担当者名 | まきの しげる 牧野 茂 | | | | |

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンス、アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か（1） 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か（2）
- 4 時限目：健康とは何か（3）
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進（1） 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進（2） 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10 時限目：日常生活と健康（1） 運動・栄養・休養（1）
- 11 時限目：日常生活と健康（2） ”・”・”（2）
- 12 時限目：日常生活と健康（3） 嗜好品と健康
- 13 時限目：感染症について（1） インフルエンザ、結核
- 14 時限目：感染症について（2） 性行為感染症
- 15 時限目：筆記試験

履修上の留意点

数回の小テストと学期末の筆記試験で評価する。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参考書等

「健康科学—知っておきたい予防医学—」（丸善）1,900円
「ライフスタイルと健康の科学」（不昧堂出版）2,400円
他は、講義のなかで紹介する。

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

1 法律学科フレックスA

Ⅱ. 専門教育科目

- ・フレックスB時間帯（月～金の6・7時限、土の3～7時限）に開講されている科目はフレックスBの専門教育科目のページを参照してください。（P.797）
- ・科目名の前に※印が付いている科目はフレックスA生の科目ですが、フレックスB時間帯に開講しています。フレックスBの専門教育科目のページを参照してください。
- ・配当学科
法律学科フレックスA…法A 法律学科フレックスB…法B 政治学科…政

(1) 法律学科フレックスA

| 科目名 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|-----------|--------------------------------------|------|----|--------|-----|
| 法学概論 | 法A1必(16年度以降入学生) | 半期 | 2 | 高橋 洋城 | 411 |
| 法学概論A | 法A1必(15年度以前入学生) | 半期 | 2 | 高橋 洋城 | |
| 法学概論 | 法A1必(16年度以降入学生) | 半期 | 2 | 北野 かほる | 412 |
| 法学概論A | 法A1必(15年度以前入学生) | 半期 | 2 | 北野 かほる | |
| 公法入門 | 法A1必(16年度以降入学生) | 半期 | 2 | 松本 英俊 | 413 |
| 法学概論B | 法A1必(15年度以前入学生) | | | 塩入 みほも | |
| 公法入門 | 法A1必(16年度以降入学生) | 半期 | 2 | 松村 格 | 414 |
| 法学概論B | 法A1必(15年度以前入学生) | | | 金子 昇平 | |
| 私法入門 | 法A1必(16年度以降入学生) | 半期 | 2 | 鶴井 俊吉 | 415 |
| 法学概論B | 法A1必(15年度以前入学生) | | | 中田 英幸 | |
| 憲法 | 法A1必 | 通年 | 4 | 山本 龍彦 | 416 |
| 憲法 | 法A1必 | 通年 | 4 | 西 修 | 417 |
| 民法総則 | 法A1必 | 半期 | 4 | 向田 正巳 | 417 |
| 民法総則 | 法A1必 | 半期 | 4 | 熊谷 芝青 | 418 |
| 刑法総論 | 法A1必 | 半期 | 4 | 山口 邦夫 | 419 |
| 刑法総論 | 法A1必 | 半期 | 4 | 松村 格 | 420 |
| 会社法 | 法A2選必(16年度以降入学生) 法A2必(15年度以前入学生) | 通年 | 4 | 荒木 正孝 | 421 |
| 債権総論 | 法A2選必 | 通年 | 4 | 中田 英幸 | 422 |
| 物権法 | 法A2選必 | 通年 | 4 | 鶴井 俊吉 | 423 |
| 行政法 | 法A2選必(16年度以降入学生) | 通年 | 4 | 金子 昇平 | 424 |
| 行政法総論 | 法A2選必(15年度以前入学生) | 通年 | 4 | 金子 昇平 | |
| 刑法各論 | 法A2選(16年度以降入学生) | 通年 | 4 | 松村 格 | 425 |
| 刑法各論 | 法A2選必(15年度以前入学生) | 通年 | 4 | 松村 格 | |
| 裁判法 | 法A2選(16年度以降入学生) 法A2選必(15年度以前入学生) | 通年 | 4 | 五百田 俊治 | 426 |
| 国際法 | 法A2選(16年度以降入学生) 法A2選必(15年度以前入学生) | 通年 | 4 | 王 志安 | 427 |
| 有価証券法 | 法A34選(16年度以降入学生) 法A2選必(15年度以前入学生) | 通年 | 4 | 中濱 義章 | 428 |
| 商法総則・商行為法 | 法A2選(16年度以降入学生) 法A34選必(15年度以前入学生) | 通年 | 4 | 川口 幸美 | 429 |

| | | | | | |
|---------|---------------------------------------|----|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 担保物権法 | 法A34選(16年度以降入学生) 法A34選必(15年度以前入学生) | 通年 | 4 | 鶴井 俊吉 | 430 |
| 家族法 | 法A34選(16年度以降入学生) | 通年 | 4 | 竹中 智香 | 431 |
| 相続法 | 法A34選必(15年度以前入学生) | 通年 | 4 | 竹中 智香 | |
| 保険・海商法 | 法A34選(16年度以降入学生) 法A34選必(15年度以前入学生) | 通年 | 4 | 濱田 盛一 | 432 |
| 民事訴訟法 | 法A34選(16年度以降入学生) 法A34選必(15年度以前入学生) | 通年 | 4 | 坂本 恵三 | 433 |
| 刑事訴訟法 | 法A34選(16年度以降入学生) 法A34選必(15年度以前入学生) | 通年 | 4 | 松本 英俊 | 434 |
| 労働法 | 法A34選(16年度以降入学生) 法A34選必(15年度以前入学生) | 通年 | 4 | 藤本 茂 | 435 |
| 社会保障法 | 法A34選(16年度以降入学生) 法A34選必(15年度以前入学生) | 通年 | 4 | 原田 啓一郎 | 436 |
| 行政救済法 | 法A34選(16年度以降入学生) | 通年 | 4 | 金子 昇平 | 437 |
| 行政法各論 | 法A34選必(15年度以前入学生) | 通年 | 4 | 金子 昇平 | |
| 国際紛争解決法 | 法A34選(16年度以降入学生) 法A34選必(15年度以前入学生) | 通年 | 4 | 王 志安 | 438 |
| 国際私法 | 法A34選(16年度以降入学生) 法A34選必(15年度以前入学生) | 通年 | 4 | 佐々木 彩 | 439 |
| 新入生演習 | 法A1選(16年度以降入学生) | 通年 | 2 | 松村 格 川口 幸美 原田 啓一郎 鶴井 俊吉 北野 かほる 荒木 正孝 金子 昇平 山口 邦夫 藤本 茂 大宮 隆 中濱 義章 竹中 智香 | 440 |
| 比較憲法 | 法A12選 法B12選 | 通年 | 4 | 西 修 | 441 |
| 法社会学 | 法A12選 法B12選 | 通年 | 4 | 岡寄 修 | 442 |
| 日本法制史 | 法A12選 法B12選 | 通年 | 4 | 茂野 隆晴 | 443 |
| 西洋法制史 | 法A12選 法B12選 | 通年 | 4 | 北野 かほる | 444 |
| 政治学原論 | 法A12選 法B12選 | 通年 | 4 | 大塚 桂 | 445 |
| 政治史 | 法A12選 法B12選 | 通年 | 4 | 村井 良太 | 446 |
| 経済原論 | 法A12選 法B12選 | 通年 | 4 | 村松 幹二 | 446 |

| | | | | | |
|--------|----------------|----|---|--------|-----|
| 行政学 | 法A12選 法B12選 | 通年 | 4 | 児玉 博昭 | 447 |
| 法律時事英語 | 法A12選 法B12選 | 通年 | 4 | 牧野 和夫 | 447 |
| 刑事政策 | 法A2選 法B2選 | 通年 | 4 | 覚正 豊和 | 448 |
| 法思想史 | 法A2選 法B2選 | 通年 | 4 | 高橋 洋城 | 450 |
| 債権各論 | 法A2選 法B2選 | 通年 | 4 | 青野 博之 | 452 |
| 英米法 | 法A2選 法B2選 | 通年 | 4 | 北野 かほる | 453 |
| 仏法 | 法A2選 法B2選 | 通年 | 4 | 上井 長久 | 454 |
| 独法 | 法A2選 法B2選 | 通年 | 4 | 山口 邦夫 | 455 |
| 基礎演習 | 法A2選 | 通年 | 4 | 池田 実 | 456 |
| 基礎演習 | 法A2選 | 通年 | 4 | 今尾 真 | 457 |
| 基礎演習 | 法A2選 | 通年 | 4 | 覚正 豊和 | 458 |
| 基礎演習 | 法A2選 | 通年 | 4 | 富井 幸雄 | 459 |
| 基礎演習 | 法A2選 | 通年 | 4 | 向田 正巳 | 460 |
| 基礎演習 | 法A2選 | 通年 | 4 | 和知 恵一 | 461 |
| 基礎演習 | 法A2選 | 通年 | 4 | 村木 保久 | 462 |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 小林 弘人 | 462 |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 中田 英幸 | 463 |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 早川 純貴 | 464 |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 相田 敏彦 | 465 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 相田 敏彦 | |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 青野 博之 | 466 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 青野 博之 | |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 荒木 正孝 | 467 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 荒木 正孝 | |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 王 志安 | 468 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 王 志安 | |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 大塚 桂 | 469 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 大塚 桂 | |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 大宮 隆 | 469 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 大宮 隆 | |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 大山 礼子 | 470 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 大山 礼子 | |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 金子 昇平 | 471 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 金子 昇平 | |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 川口 幸美 | 471 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 川口 幸美 | |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 北野 かほる | 472 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 北野 かほる | |

| | | | | | |
|-------------|--------------|----|---|--------|-----|
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 小堀 訓男 | 473 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 小堀 訓男 | |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 佐藤 多美夫 | 474 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 佐藤 多美夫 | |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 塩入 みほも | 475 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 塩入 みほも | |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 高橋 洋城 | 476 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 高橋 洋城 | |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 竹中 智香 | 477 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 竹中 智香 | |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 竹花 光範 | 478 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 竹花 光範 | |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 鶴井 俊吉 | 478 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 鶴井 俊吉 | |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 中濱 義章 | 479 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 中濱 義章 | |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 西 修 | 479 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 西 修 | |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 原田 啓一郎 | 480 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 原田 啓一郎 | |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 日笠 完治 | 481 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 日笠 完治 | |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 藤本 茂 | 482 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 藤本 茂 | |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 松村 格 | 483 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 松村 格 | |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 松本 英俊 | 484 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 松本 英俊 | |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 三竹 直哉 | 485 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 三竹 直哉 | |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 向田 正巳 | 486 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 向田 正巳 | |
| 演習I | 法A3選 | 通年 | 4 | 山口 邦夫 | 486 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 山口 邦夫 | |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 小林 弘人 | 487 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 早川 純貴 | 487 |
| 演習II | 法A4選 | 通年 | 4 | 真下 英二 | 488 |
| 外書講読I (英書) | 法A3選 法B3選 | 通年 | 4 | 王 志安 | 488 |
| 外書講読II (英書) | 法A4選 法B4選 | 通年 | 4 | 王 志安 | |
| 外書講読I (英書) | 法A3選 法B3選 | 通年 | 4 | 金子 昇平 | 489 |
| 外書講読II (英書) | 法A4選 法B4選 | 通年 | 4 | 金子 昇平 | |

| | | | | | |
|-------------------|----------------|----|---|--------|-----|
| 外書講読I (英書) | 法A3選 法B3選 | 通年 | 4 | 川口 幸美 | 490 |
| 外書講読II (英書) | 法A4選 法B4選 | 通年 | 4 | 川口 幸美 | |
| 外書講読I (独書) | 法A3選 法B3選 | 通年 | 4 | 松村 格 | 491 |
| 外書講読II (独書) | 法A4選 法B4選 | 通年 | 4 | 松村 格 | |
| 外書講読I (仏書) | 法A3選 法B3選 | 通年 | 4 | 中野 裕二 | 491 |
| 外書講読II (仏書) | 法A4選 法B4選 | 通年 | 4 | 中野 裕二 | |
| 外書講読I (中国書) | 法A3選 法B3選 | 通年 | 4 | 江林 英基 | 492 |
| 外書講読II (中国書) | 法A4選 法B4選 | 通年 | 4 | 江林 英基 | |
| 登記法 | 法A34選 法B34選 | 通年 | 4 | 田沼 浩 | 493 |
| 税法 | 法A34選 法B34選 | 通年 | 4 | 中江 博行 | 494 |
| 地方自治法 | 法A34選 法B34選 | 通年 | 4 | 富井 幸雄 | 495 |
| 環境法 | 法A34選 法B34選 | 通年 | 4 | 仲田 孝仁 | 496 |
| 経済法 | 法A34選 法B34選 | 通年 | 4 | 若林 亜理砂 | 497 |
| 消費者法 | 法A34選 法B34選 | 通年 | 4 | 向田 正巳 | 498 |
| 知的財産権法 | 法A34選 法B34選 | 通年 | 4 | 盛岡 一夫 | 499 |
| 民事執行・保全法 | 法A34選 法B34選 | 通年 | 4 | 福永 清貴 | 499 |
| 倒産処理法 | 法A34選 法B34選 | 通年 | 4 | 鈴木 貴博 | 500 |
| 法哲学 | 法A34選 法B34選 | 通年 | 4 | 高橋 洋城 | 501 |
| 法律学特殊講義 〔法女性学〕 | 法A34選 法B34選 | 通年 | 4 | 井上 匡子 | 502 |
| 財政学 | 法A34選 法B34選 | 通年 | 4 | 里中 恆志 | 503 |
| 国際関係論 | 法A34選 法B34選 | 通年 | 4 | 三船 恵美 | 504 |
| 経済政策 | 法A34選 法B34選 | 通年 | 4 | 森岡 仁 | 505 |
| 社会政策 | 法A34選 法B34選 | 通年 | 4 | 原田 啓一郎 | 505 |

| | | | | | |
|----------|----------------|----|---|---------------------------------|-----|
| ※実務演習I | 法A34選 法B34選 | 通年 | 4 | 中野 辰久 | 843 |
| ※実務演習II | 法A34選 法B34選 | 通年 | 4 | 鶴井 俊吉 上野 雅祥 小林 覚 杉山 真一 | 844 |
| ※実務演習III | 法A34選 法B34選 | 通年 | 4 | 木村 美隆 | 844 |
| 現代企業論 | 法A34選 法B34選 | 半期 | 2 | 齊藤 正 | 506 |

法

律

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 法学概論 法学概論A | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1必(16年度以降入学生) 法A1必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | たかよし ひろき 高橋 洋城 | | | | |

講義のねらい

法学部に入っはじめて法学を学ぶひとに、法学科目履修の前提となるような知識を身につけてもらうことが、第1のねらいです。法学学習の上で必要になる、現実をイメージしながらその法的構造を読みとる力の基礎的感覚を開発することが、第2のねらいです。はじめてのことばかりで、最初はとまどうかもしれませんが、休まずに学習するよう心がけてください。

講義の内容・授業スケジュール

1. 法のイメージと法学部の講義科目
 - (1) 法とは何か
 - (2) 法学部ではどう学ぶか
2. 法の一般的分類
 - (1) 法の分類
 - (2) 法令の種類
3. 近代日本法とその社会
 - (1) 国家と社会
 - (2) 近代日本が受け継いだ法
 - (3) 近代法の変容
4. 立法の角度からの法
 - (1) 制定法主義とその法源
 - (2) 法の体系性
5. 司法の角度からの法
 - (1) 紛争解決の仕組みと機構
 - (2) 紛争の種類と解決の類型
6. 法令の解釈
 - (1) 事実の法的再構成
 - (2) 事実への法令のあてはめ

法
律

履修上の留意点

半期科目で集中的に多くのことを学びます。継続的に出席することが必要です。授業中に小テストを実施することもありますので、休まないようにしてください。

成績評価の方法

前期授業最終時間の試験。小テストやレポートなどが課される場合は、その評価を加味します。

教科書

伊藤正己・加藤一郎編『現代法学入門〔第4版〕』補訂版（有斐閣双書52）有斐閣

参考書等

竹下・福井編『はじめての法学』成文堂
その他の参考書は随時紹介します。授業中に参考資料を配ることもあります。配付資料は原則として研究室などでの追加請求には応じませんので、必ず出席して受け取るようにしてください。

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 法学概論 法学概論 A | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1必(16年度以降入学生) 法A1必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 北野 <small>きたの</small> かほる | | | | |

講義のねらい

法学部に入ってはじめて法学を学ぶひとに、法学科履修の前提となるような知識を身につけてもらうことが、第1のねらいです。法学学習の上で必要になる、現実をイメージしながらその法的構造を読みとる力の基礎的感覚を開発することが、第2のねらいです。はじめてのことばかりで、最初はとまどうかもしれませんが、休まずに学習するよう心がけてください。

法 律

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 法のイメージと法学部の講義科目
 - (1) 法とは何か
 - (2) 法学部ではどう学ぶか
2. 法の一般的分類
 - (1) 法の分類
 - (2) 法令の種類
3. 近代日本法とその社会
 - (1) 国家と社会
 - (2) 近代日本が受け継いだ法
 - (3) 近代法の変容
4. 立法の角度からの法
 - (1) 制定法主義とその法源
 - (2) 法の体系性
5. 司法の角度からの法
 - (1) 紛争解決の仕組みと機構
 - (2) 紛争の種類と解決の種類
6. 法令の解釈
 - (1) 事実の法的再構成
 - (2) 事実への法令のあてはめ

履修上の留意点

半期科目で集中的に多くのことを学びます。継続的に出席することが必要です。授業中に小テストを実施することもありますので、休まないようにしてください。

成績評価の方法

前期授業最終時間の試験。小テストやレポートなどが課される場合は、その評価を加味します。

教科書

伊藤正己・加藤一郎編『現代法学入門〔第4版〕』（有斐閣双書52）有斐閣

参考書等

竹下・福井編『はじめての法学』成文堂
 その他の参考書は随時紹介します。授業中に参考資料を配ることもあります。配付資料は原則として研究室などでの追加請求には応じませんので、必ず出席して受け取るようにしてください。

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 公法入門 法学概論B | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1必(16年度以降入学生) 法A1必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | まつもと ひでとし しおひろ みほも 松本 英俊・塩入 みほも | | | | |

講義のねらい

平成16年度から、従来の法学概論を区分けして、法学概論・公法入門・私法入門とし、それぞれ2単位ずつ、計6単位とした。今年度は、公法入門を2名で6回ずつ担当する。内容は、前半を刑法入門、後半を行政法入門とし、それぞれ最終回に試験を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前半（刑法入門）

1. 刑法とはどのような法律か（国家法体系の中での位置づけ）
2. 刑罰について（国家刑罰権・刑による威嚇と現実の裁判）
3. 犯罪が成立するための要件（なぜ逮捕されるのか・裁判を受ける権利）
4. いわゆる罪刑法定主義について（事後法の禁止と法の適正手続）
5. まとめと質疑応答
6. 試験

後半（行政法入門）

1. 行政法とは何か
2. 行政法の法源
3. 行政法の領域
4. 法治行政
5. 行政作用と法
6. 試験

法
律

履修上の留意点

前半と後半で担当者も講義内容も異なるため、各担当者の話は、5回しかない。したがって、1回の欠席もゆるがせにできない。さもなければ試験の成績にひびくことになる。

成績評価の方法

成績は、前半と後半の各試験を合計して評価するが、試験はそれぞれの担当者の講義最終時間とする（計2回）。どちらか一方が不可となれば単位を取得することが難しくなるので注意すること。

教科書

前半・後半ともに教科書は使用しない。

参考書等

参考書はその都度紹介するので、積極的に読書するようにしてほしい。

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 公法入門 法学概論B | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1必(16年度以降入学生) 法A1必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | まつむら いたる かねこ しやうへい 松村 格・金子 昇平 | | | | |

法
律

| | |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 刑法の使命と刑法の原理・原則を学習し、刑法と何か、刑罰の目的は何かを学習する。 |
| 講義の内容・ 授業スケジュール | 刑法の意義、犯罪の成立要件と刑罰の目的ないし本質、刑法上の原理・原則、刑法の使命について学習し、刑法総論の導入を容易にする。 |
| 履修上の留意点 | 毎週出席して参加してノートをとることが不可欠です。教科書とノートおよび六法全書を必携すること。参考書とか判例解説は現段階では不要です。 |
| 成績評価の方法 | 小テストで評価します。 |
| 教科書 | 松村 格著『刑法学への誘い』八千代出版(2400円+税) |
| 参考書等 | なし。 |

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 私法入門 法学概論 B | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1必(16年度以降入学生) 法A1必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | つるい しゆんきち なかた ひでゆき 鶴井 俊吉・中田 英幸 | | | | |

講義のねらい

この科目は、法律学科の新入生がこれから私法分野の科目を学んでいく上で、必要な基礎的な知識を身につけていくために設けられているものです。

本来、「私法」は個人の日常生活に密接に関連した問題を扱い、身近な分野であるはずですが、「公法（憲法や刑法）」に比べると近寄りにくい。その理由は、登記簿・契約書・手形・小切手など一般の学生にとって必ずしも親しみのわかないものが次々に出てくるし、少なくとも、学生の日常生活からかけ離れ、具体的問題としてイメージすることができないことにあります。そこで、現実の社会生活における身近な問題や具体的事案を多く取り上げ、興味を持てるように講義を進めます。

講義の内容・ 授業スケジュール

学習の順番や方法は、それぞれの先生が工夫して、講義を進めていきますが、共通して学ぶ項目は以下の通りです。

1. 法の分類と私法の意義
 - (1) 公法と私法 (2) 私法 (3) 公私混合法 (4) 新たな法領域
2. 私法の基本原理
 - (1) 序説 (2) 近代私法の基本原理 (3) 現代における近代私法原理の修正
3. 私法の法源
 - (1) 序説 (2) 制定法 (3) 慣習法 (4) 判例 (5) 条理
4. 私法の効力
 - (1) 序説 (2) 時に関する効力 (3) 人に関する効力 (4) 場所に関する効力
5. 私法の適用と解釈
 - (1) 序説 (2) 裁判外の紛争解決 (3) 裁判による紛争解決 (4) 私法の適用と解釈
6. 私法上の権利
 - (1) 権利とは何か (2) 私権の種類 (3) 私権の社会性
7. 財産法と家族法

成績評価の方法

半期科目であるため、前期末・授業時間内に行う試験による評価が中心になる。しかし、先生によっては、出席点や質疑と応答による平常点を加味することもあります。

教科書

担当の先生から指示があった場合には、それに従ってください。

参考書等

講義の際に紹介するので、積極的に読書するようにしてください。

| | | | | | |
|------|---------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 憲法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A1必 | | | | |
| 担当者名 | 山本 ^{やまもと} 龍彦 ^{たつひこ} | | | | |

法
律

講義のねらい

「ルール」としての「法」は、「われわれを縛るもの」というネガティブなイメージを喚起することがある。しかし、「憲法」にはこのような「法」イメージが当てはまるのか。本講義は、「立憲主義」の考え方を基軸に、憲法上の人権や統治システムを学習することで、この点について“じっくり”考えてもらうことを目的とする。また、それによって、「憲法」を好きになってもらえれば幸いである。

講義の内容・
授業スケジュール

まずは、「立憲主義」の歴史的展開などを追い、「憲法とは何か」について大まかなイメージをもってもらう。その後、国民主権、基本的人権の原理、平和主義といった憲法の基本原理について説明を加える。前期は、このような基礎理論に加えて、包括的人権としての幸福追求権や法の下での平等、表現の自由などの精神的自由権、職業選択の自由などの経済的自由権、生存権などの社会権その他の人権について学ぶ。さらに、憲法上の権利の「使い手」となるのは誰か、憲法は私人間にも適用されるかといった総論的問題にも触れたい。後期は、主として統治機構（国会、内閣、裁判所）について学習する。

履修上の留意点

ここでは、故芦部信喜博士の次の言葉を挙げておきたい。「嫌悪を感じながら勉強するのは、悲劇である」。

成績評価の方法

定期試験の結果に基づき評価を行う。ただし、講義への積極的な姿勢や、質問に対する回答などの日常的学習活動についても加点的に考慮する。

教科書

日笠完治『憲法がわかった（改訂版）』（法学書院、2003年）、2,730円（978-4587535360）。

参考書等

小山剛・新井誠・山本龍彦『憲法のレシピ』（尚学社、2007年3月公刊予定）。その他、最新の法令集、判例集を用意してほしい。

| | | | | | |
|------|---------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 憲法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A1必 | | | | |
| 担当者名 | にし おさむ 西 修 | | | | |

講義のねらい

憲法はいうまでもなく国の最高法規であり、かつ基本法である。憲法に関する基礎的知識を養い、さらに理解を深めるよう、ビデオ、書画カメラ、コピーの配布など、さまざまな工夫をこらして講義を進めていく。

講義の内容・
授業スケジュール

取り扱う主な項目は、以下のとおり。

- | | |
|-----------------|------------------|
| (1) 日本国憲法の制定過程 | (9) 社会権 |
| (2) 憲法の改正と限界 | (10) 身体の自由 |
| (3) 国民主権と象徴天皇制 | (11) 国会の組織と機能 |
| (4) 基本的人権の歴史と意義 | (12) 内閣の機能、議院内閣制 |
| (5) 日本国憲法と平和主義 | (13) 司法の構造と権限 |
| (6) 法の下での平等 | (14) 憲法の保障 |
| (7) 精神的自由権 | (15) 財政・地方自治 |
| (8) 経済的自由権 | |

法
律

成績評価の方法

前期と後期の試験、時おりとるかもしれない出席を総合的に評価する。授業中試験をする可能性があるので注意すること。

教科書

西 修編著『エレメンタリ憲法』（成文堂）2001年 2,700円＋税

参考書等

(1)西 修著『日本国憲法成立過程の研究』（成文堂）2004年 6,000円＋税
(2)『ポケット六法』（有斐閣）、『コンパクト六法』（岩波書店）、『デイリー六法』（三省堂）など最新の法令集。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 民法総則 | 開講 | 半期 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A1必 | | | | |
| 担当者名 | むかいだ まさみ 向田 正巳 | | | | |

講義のねらい

本講義では民法典第1編総則編についての解説を行います。民法とはいかなる法律か、その概要を述べた後、総則に関わる制定法と判例について具体的に検討を行います。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義ではまず私法の体系のなかで、民法の占める位置について検討します。次に民法の体系について検討し、近代市民社会における商品交換法としての民法の性質について考えます。これらの基礎的作業を経た後、総則の各条文と関連する制定法、判例について検討するというようにします。検討の中心となるのは第5章の法律行為の規定と、第2章、第3章の人、法人についての規定です。

履修上の留意点

民法総則は必修科目とされており、法学部で開設されている科目のなかでも特に重要な科目です。授業の無断欠席や私語などは厳に慎み、これからの4年間の法律学習の基礎を作ってください。

成績評価の方法

小テスト、期末テストにより評価します。

教科書

我妻栄ほか『民法1 総則・物権法（第2版）』勁草書房

参考書等

『民法判例百選I 総則・物権 第5版新法対応補正版』有斐閣

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 民法総則 | 開講 | 半期 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A1必 | | | | |
| 担当者名 | 熊谷 ^{くまがい} 芝青 ^{しばい} | | | | |

講義のねらい

市民生活と密接な民法全体の総論的講義を行う。民法の基本的な原理や原則を基礎にした体系的知識が得られることを目的とする。民法典の条文を中心とした規範が実際の事案に適用されることを念頭に置きながら講義を進めていく。学修後、判例でどのように実際の法条文が適用されているかを理解し、発展的学習のための基礎固めができるようにしたい。併せて民法総則を学ぶことで、法律学の考え方を習得することをも目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1: 民法学の基礎
法的三段論法と民法の適用・法律解釈の種類
- 2: 私的自治の原則
私的自治の原則・意思能力・無効
- 3: 行為能力制度
制限行為能力者・制限能力者の行為・取消
- 4: 法律行為
成立要件・有効要件（公序良俗違反・強行法規違反）
- 5: 意思の不存在
心裡留保・虚偽表示・錯誤
- 6: 意思の瑕疵
詐欺・強迫・消費者契約法
- 7: 代理と代理権濫用
- 8: 表見代理
110条の表見代理・109条の表見代理・112条の表見代理・表見代理の重畳適用
- 9: 無権代理
無権代理と相続・利益相反行為
- 10: 時効総則
時効の援用・時効の利益の放棄・時効の中断
- 11: 取得時効
- 12: 消滅時効

履修上の留意点

教科書と六法は必ず持参すること。出席を毎回とることはしないが、数回不定期にとるので注意されたい。また当然のことであるが、受講中の飲食・携帯電話の使用は禁止であり、それに違反した場合、その時点で落第とする場合がある。
また板書を多用するので、ノートと筆記道具は必携である。

成績評価の方法

期末試験の成績を中心に行う。出席点を加味する。
また飲食・携帯電話使用の場合にはその時点で落第とする場合がある

教科書

近江幸治『民法講義I総則(第5版)』（成文堂、2005）

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 刑法総論 | 開講 | 半期 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A1必 | | | | |
| 担当者名 | 山口 邦夫 <small>やまぐち くにお</small> | | | | |

講義のねらい

一年次の専門科目として、高校時代の学習あるいは予備校時代の勉強方法から、一日も早くぬけ出し、大学における真の学問を学ぶ姿勢になってもらうことを主眼に講義をする。大学生としての自覚をもち、講義や読書を通じて、みづから積極的に学ぶ態度を身につけるように諸君も努力してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

次の2期に分けて講義をする。I期(9・10月)、II期(11・12月)。
 I期。学問とは何か。特に学問の限界について考える。それから、法律学とは何か。法律学の体系における刑法学の位置づけへと進む。
 刑法における刑罰と犯罪概念を中心に、法治国家の原則として罪刑を法定しておくことの意味を検討する。
 II期。ドイツの構成要件論を手がかりに、犯罪論の構築の仕方について、数種のパターンを考えて講義をする。その際、違法と責任との区別を峻別する立場から解説をする。
 犯罪の既遂・未遂について、昔の学派の争いを考慮しながら、未遂処罰の根拠、さらに過失犯に実行行為があるか否かを考えながら、故意犯と過失犯との区別について検討する。最後に二人以上の犯罪者が加わる共犯の問題について論究し、刑法学の概説を終る。

法
律

履修上の留意点

原則として出席はとらない。ただし、上記の各期ごとのまとめとして、小テストを時間内に行う予定である。
 質問時間は、研究室2719号に掲示してある。毎週2～3時間は、毎年確保しているので、この時間内は、自由に質問が可能である。

成績評価の方法

上記の小テストが実行できれば、その結果と、学年末試験の成績とを総合して評価し、単位を認定する。

教科書

教科書は、原則として使用せずに講義をすすめ、そのつど参考書を紹介する。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 刑法総論 | 開講 | 半期 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A1必 | | | | |
| 担当者名 | まつむら いたる 松村 格 | | | | |

法
律

講義のねらい

刑法総論は、犯罪論・刑罰論・罪数論から成りますが、時間数の都合上、犯罪論に絞って講義します。刑法ないし刑法学を支えている基本原理（罪刑法定主義・責任主義・謙抑主義）および刑法の使命（人権保障・法益保護・秩序維持）については、公法入門の刑法部門で学習したので、その知識を前提として講義を進めます。しかし、刑法の基本原理と使命を理解していないと刑法総論を理解することは不可能なので、今一度、充分に復習して講義に臨んでほしい。その上で、構成要件論、違法論・責任論・未遂論・共犯論について講義します。通説・判例を中心にしながらも、私の考え方も主張します。学生諸君は、どの見解を採用してもかまわないが、すべての問題点について一貫した論理を展開するように学習してください。そして、自分の考えで犯罪論上の諸問題を解決することができるようになってほしい。

講義の内容・授業スケジュール

構成要件論・違法論・責任論・未遂論・共犯論の順序で講義します。

履修上の留意点

刑法は、生命・自由・財産を剥奪する強力な制裁を有する法律ですから、厳密な理論構成が必要です。そのためには、緻密な論理の展開が必要です。その点が、私法と異なります。したがって、授業に欠席すると、論理の一貫性を習得することができず、結局、刑法を理解することができなくなりますので、欠席しないようにしてください。また、教科書や参考書を読むだけでは、「なぜか」ということが理解できません。「なぜ」有罪になるのか、「なぜ」無罪になるのか、その理由づけがなければ意味がありません。その点について全てを教科書や参考書に記述することは不可能です。黒板に書いて補充説明しますが、黒板に書いたことだけをノートに写しても意味はありません。講義中の先生の話をよく聞いて自分でノートをとる必要があります。そして、納得するまで教科書を何度も読んでください。また、六法全書は、語学における辞書と同じですから、授業には必需書です。判例解説書を参考にすることも必要です。

成績評価の方法

年度末の試験によって評価します。必要に応じて小テストをしてGPA評価に算入します。年度末試験は論文式です。1度しかありませんので、日々の予習・復習が大切です。論文式試験では、「なぜか」ということを採点者に納得させる論証が必要ですので、作文力を養ってください。

教科書

松村格著『日本刑法総論教科書』（八千代出版）3,500円

参考書等

指定図書・松村格著『刑法学への誘い』八千代出版
松村他著『刑法総論』ミネルヴァ書房
斉藤誠二編『演習ノート刑法総論』法学書院
参考文献・別冊ジュリスト『刑法判例百選I・総論（第五版）』（有斐閣）
曾根／日高編『刑法判例 5 刑法総論』法学書院

その他

教科書と六法全書およびノートは必携のこと。参考書については、刑法の基本的理解が不足している者は指定図書①を、詳細な学習を欲する者は指定図書②を、万偏なく簡潔に理解したい者は指定図書③を購入するとよい。授業では具体的な判例を勉強するために、参考文献②を使用するので購入することを勧める。司法試験目的の者は、参考文献②の購入を勧める。

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 会社法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A2選必(16年度以降入学生) 法A2必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | あらき まさたか 荒木 正孝 | | | | |

講義のねらい

この講義では、会社法（株式会社、持分会社〈合名会社、合資会社、合同会社〉）の重要かつ基礎的な事項について解説するが、とくに現代の経済活動において最も大きな役割を果たしている株式会社の法規制について一年の大半の時間を割くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

大企業から零細企業まで多くの企業が株式会社の形態をとり、株式会社が現代の経済を担い、多数の人々に商品やサービスを提供し、労働の場を提供するという社会的な機能を通して国民の生活に計り知れない影響を与えている。この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などに関する私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点をおき、そこにおける基本的かつ重要な問題を取り上げて解説し、また実務の対応なども検討し、会社法の基本的な考え方を理解してもらうことを目的とする。

平成18年5月1日に「会社法」が施行された。この会社法は、従来片仮名文語体で表記されていた商法第二編、有限会社法、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律について平仮名口語体化してひとつの法典にまとめたものであり、かつ近年、毎年のように行われて来た法改正を全体的に調整し、社会情勢の変化に対応するために各種制度の見直しを行うものである。今年、この新会社法について、株式会社の設立の概要、設立の手続き、発起人の意義、設立中の法律関係、設立の無効、設立の登記、設立関与者の責任などについて説明し、株式制度においては、株式の意義、株式の内容・種類、株式の流通、株主の権利、自己株式、株式の併合・分割・償却、単元株、利益供与の禁止などに触れ、会社の管理・運営については、機関の意義、株主総会、会社役員を選任・解任、取締役、取締役会、代表取締役、監査役・監査役会、委員会設置会社、役員損害賠償責任などについて解説する。

履修上の留意点

会社法は、民法を前提としているから、民法総則、物権法、債権法などの知識があると理解が容易である。ただ、これらの知識がなくても、講義の内容を理解するために必要な民法の規定や基本概念については、その都度説明するつもりであるから、民法＝財産法について十分な知識がなくても受講には差し支えない。教場には、必ず最新の六法を持参する必要がある。

成績評価の方法

成績は、年度末に行なわれるペーパーテストの点数で評価します。

教科書

教科書は、授業の初めに指示します。

参考書等

会社法判例百選（別冊ジュリストNO.180）（有斐閣）

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 債権総論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A2選必 | | | | |
| 担当者名 | なかた ひでゆき 中田 英幸 | | | | |

講義のねらい

本講義は、債権法の共通規則である債権総論を学習することを目的とする。債権総論とは、具体的には民法第3編債権第1章総則（およびその特別法）を指し、債権に関して共通して妥当する規則をまとめたものである。それゆえ、債権総論は債権法の根幹を成すが、難解な領域でもある。講義は、抽象的な規定の有する実際的な意味を明らかにして、わかり易くする。

講義の内容・ 授業スケジュール

（前期(1)～(3)、後期(4)～(6)）

- (1)序論
（①債権総論とは何か②債権とは何か）
- (2)債権の「目的」
（①債権の「目的」の意味②債権の種類）
- (3)債権の効力
（①履行の強制②債務不履行③責任財産の保全④第三者による債権侵害⑤債権者遅滞）
- (4)債権債務の移転
（①債権譲渡②債務引受）
- (5)債権の消滅
（①弁済②供託③代物弁済④相殺⑤更改・免除・混同）
- (6)多数当事者の債権関係
（①債権者が多数である関係②分割債務③不可分債務④連帯債務⑤保証債務）

履修上の留意点

最新の六法を必ず持参すること。講義の内容などについて良く分からない点や疑問に思うことがあれば、いつでも質問してほしい。

成績評価の方法

期末試験により評価する。

教科書

野村豊弘ほか著『民法III－債権総論（第3版）』（有斐閣、2005年）

参考書等

星野英一ほか編『民法判例百選II債権（第5版新法対応版）』（有斐閣、2005年）
他の文献は講義中に指示する。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 物権法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A2選必 | | | | |
| 担当者名 | つるい しゆんきち 鶴井 俊吉 | | | | |

講義のねらい

物権法の分野について基本的な理解ができるように、できるだけ各制度についての具体的事例をあげて解説する。そして個々の制度や条文が、現実社会で起きるどのような場合を想定して設けられたものであるかを理解できるように講義を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

物権法は、民法典の第二編「物権」のうち、第1章「総則」、第2章「占有権」、第3章「所有権」、第4章「地上権」、第5章「永小作権」、第6章「地役権」までを対象とする。第7章以降は、3年次以降の「担保物権法」の領域である。

講義スケジュールとしては、ほぼこの順序で解説するが、物権法において、重要であって複雑な問題がある。不動産売買をめぐるトラブルなどにみられるように、契約による物権変動において、物権の移転はいつ生ずるのか、また物権変動に関して、第三者が生じたとき、どのように解決されているか、理論的にもわかりづらい領域であるため、多くの時間を割くつもりである。

法
律

履修上の留意点

物権法は、解釈学上においても体系的理解が困難な分野であるといわれている。それは立法の沿革に基づいている。現行民法がドイツ民法を継受してできあがっているにもかかわらず、物権法の主要な部分については、フランス民法の影響を強く受けているからである。それゆえに講義に出席しないとなかなか興味を持てないし、理解しづらい分野であるので、毎時限の出席と予習を強く希望する。

なお、民法現代語化や不動産登記法の改正（平成16年）にともない、必ず平成19年度版の六法を持って講義に出席してください。

成績評価の方法

年度末に行なわれるペーパーテストの点数で評価する。

教科書

「民法2物件」第2版（有斐閣アルマ）を予定している。

参考書等

講義の最初に指示する。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 行政法 行政法総論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A2選必(16年度以降入学生) 法A2選必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 金子 昇平 | | | | |

法
律

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない新たな法分野が続出しているといえる。例えば、行政手続法の制定をはじめ、情報公開法、個人情報保護法、環境アセスメント法等を挙げることが出来るが、これらの法領域に対応すべく行政法の理論を考えていかなければならない。

そこで講義においては、行政法総論での、基本的な原理や原則に対する、よりアップ・トゥ・デートな課題を積極的に掲示し、諸君とともに、問題発見と問題解決のための法的手法を考えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 行政法の基礎
 - ①行政と法の一般的関係 ②日本行政法の基本構造 ③行政法の法源 ④行政法の基本原理
- 2) 行政過程論
 - ①行政立法 ②行政行為 ③行政上の契約 ④行政指導 ⑤行政計画
- 3) 行政上の一般的制度
 - ①行政上の義務履行確保 ②即時強制 ③行政調査 ④行政手続 ⑤行政情報管理
- 4) 行政過程における私人
行政過程における私人の地位及び、行為

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

塩野宏『行政法I』（行政法総論）〔第四版〕有斐閣

参考書等

塩野宏他編『行政判例百選I、II』（第五版）（有斐閣）

| | | | | | |
|------|----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 刑法各論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A2選(16年度以降入学生) 法A2選必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | まつむら いたる 松村 格 | | | | |

講義のねらい

刑法各論は、刑法典各則の個別構成要件の解釈を主流とします。それぞれの構成要件が、犯罪を構成する要素を規定しているわけですが、それぞれの構成要件が何らかの法益を保護しているわけですから、その法益保護と人権保障という刑法の使命を念頭におきながら、どのように構成要件要素を解釈すれば最も妥当性があるのかを学びます。また、他の構成要件との関連性をも見ていきます。

講義の内容・授業スケジュール

刑法典の各則は、国家的法益に対する罪・社会的法益に対する罪・個人的法益に対する罪の順序で規定されていますが、われわれの最も身近な個人的法益に対する罪から学習します。そして、個人的法益に対する罪も、生命に対する犯罪・身体ないし健康に対する犯罪・自由または名誉に対する犯罪・財産に対する犯罪の順序で学習していきます。

履修上の留意点

刑法は、生命・自由・財産を剥奪する強力な制裁を有する法律ですから、法益保護はもちろんのこと、人権保障のためにも、謙抑性を念頭におきながら構成要件の解釈をするように努めてください。そして、そのためにも、例えば、行為無価値論による解釈と結果無価値論に基づく解釈を比較検討することも必要です。その点に注意して、講義中の先生の話をよく聞いてノートをとる必要があります。なお、構成要件の解釈を主流とする刑法各論ですから、六法全書を携帯しないで授業に参加することは無意味です。六法全書を忘れた場合には、図書館で借りるなりしてでも携帯してください。さもなければ、受講を拒絶します。なお、刑法各論は、刑法総論の上に成り立っていますので、刑法総論を理解修得し単位を取得していなければ履修する意味がありません。

成績評価の方法

年度末の試験によって評価します。必要に応じて小テストをしてGPA評価に参入します。年度末試験は論文式です。論文式試験では、「なぜか」ということを採点者に納得させる論証が必要です。作文力を養ってください。必要に応じて、刑法総論における基本事項について質問することがあります。履修者が少人数の場合には、出欠をとります。

教科書

松村 格著『日本刑法各論教科書』八千代出版

参考書等

指定図書・松村他著『刑法各論』ミネルヴァ書房
参考文献①別冊ジュリスト『刑法判例百選II・各論〔第五版〕』有斐閣(2200円)
②曾根・日高編『基本判例5 刑法各論』法学書院(2000円)

その他

授業には、教科書とノートおよび六法全書は必携のこと。判例解説は、参考文献②を使用するので、購入を勧める。司法試験目的の学生には、参考文献①の購入を勧める。

| | | | | | |
|------|----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 裁判法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A2選(16年度以降入学生) 法A2選必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 五百田 俊治 | | | | |

法
律

講義のねらい

裁判手続上の基本原則を講義しつつ、弁護士の視点から、裁判（特に民事裁判）の実体について説明します（例えば、証拠としての書証の重要性、判決と和解の違い、最高裁判所の意義等）

講義の内容・
授業スケジュール

(1) 民事手続の流れ (2) 請求・主張・立証の各段階における基本概念 (3) 口頭弁護の諸原則とその実態 (4) 口頭弁論における当事者の欠席 (5) 貸金返還請求訴訟における当事者の主張・立証 (6) 建物明渡訴訟の実体 (7) 弁論主義と職権探知主義 (8) 証拠の概念 (9) 書証の重要性 (10) 立証責任の分配 (11) 経験則と自由心証主義 (12) 上告審における審理の特色 (13) 刑事手続の流れ (14) 刑事手続における証拠法の特色 (15) 無罪事例の検討

履修上の留意点

できるだけ具体的に裁判の流れや特色を講義したいと考えています。

成績評価の方法

学年末の試験のみで評価する。
資料等の持ち込みは一切不可。
追試は行わない。

教科書

4月に出版予定

参考書等

特にありません。適宜レジメを配布します。

その他

講義方式で行います。

| | | | | | |
|------|----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 国際法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A2選(16年度以降入学生) 法A2選必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | おう しあん 王 志安 | | | | |

講義のねらい

国際法学の基礎知識を修得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家および国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における未承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

後期では、前期の基礎知識の修得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論および外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論および実行、国際地域、国際海域および宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式および効力に関する法規則、外交関係および領事関係における特権および免除などを取り上げる。

履修上の留意点

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的な資質をのばすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意思をしっかりと修得する必要もある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。

成績評価の方法

成績は年末の定期試験で決定する。ただし、前期小テストや講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

王志安・飯田順三『国際法への誘い』（八千代出版）2006年

参考書等

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（上）（東信堂）2002年 2,800円
市販されている国際条約集

その他

授業はすべて講義方式で行い、適宜に参考資料を配付し、power point を利用した講義を行ないます。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

| | | | | | |
|------|-----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 有価証券法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A34選(16年度以降入学生) 法A2選必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 中濱 義章 | | | | |

法
律

講義のねらい

手形小切手法の基本的な原則・制度を理解し、諸問題を検討することを通じて有価証券法理の基礎を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は以下の順に行い、各項目ごとに1～2回程度の授業時間を割り当てる。講義の内容は、制度の概要を解説し、具体例を通じて問題点の検討をおこなう。

- 1 手形・小切手の意義および性質
- 2 手形法・小切手法の意義および役割
- 3 手形行為の意義・特色
- 4 手形行為の成立時期
- 5 手形能力、手形行為と意思表示に関する一般原則
- 6 代理人・代表者による手形行為
- 7 無償代理と偽造
- 8 手形関係と手形の実質関係
- 9 手形の振出
- 10 白地手形
- 11 手形の裏書
- 12 為替手形の引受、手形保証
- 13 手形上の権利の取得と善意取得制度
- 14 手形上の権利と手形抗弁
- 15 手形上の権利の消滅
- 16 支払・不渡・遡及
- 17 小切手特有の法制度
- 18 振込・振替など新たな決済システムに関する諸問題

履修上の留意点

六法は小型のものでかまいませんので2007年版を携行して下さい。例えば、『ポケット六法』(有斐閣)、『コンパクト六法』(岩波書店)、『ディリー六法』(三省堂)など。
民法(財産法関係科目)および商法科目を履修済み、あるいは履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験での評価を予定していますが、レポートを課す場合もあります。

教科書

濱田惟道『手形法小切手法』(文真堂)

参考書等

開講時に指示します。
『別冊ジュリスト 手形小切手判例百選(第6版)』(有斐閣)
山下友信=神田秀樹編『商法判例集』(有斐閣)

| | | | | | |
|------|-----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 商法総則・商行為法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A2選(16年度以降入学生) 法A34選必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | かわぐち ゆきみ 川口 幸美 | | | | |

講義のねらい

民法は私人の一般的な法律関係を規律する法であるのに対して、商法は、営利を目的とする商人・会社の法律関係を規律する法と言える。また、商法は、商法総則、会社法、商取引の3つの分野から構成される。本講義では、商法総則と商行為法（商取引）を取り扱うものとする。具体的には商事売買取引の概要とその法律問題の検討を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- ①－⑥は商法総則、⑦－⑩は商取引法（一部消費者保護法を含む）であり、各テーマを2～3回に分けて講義を行う。
- | | |
|-------------------|--------------------------|
| ①商法総則（商法の意義） | ②商法の適用（商行為概念・商人概念） |
| ③営業譲渡（商号の保護） | ④商号 |
| ⑤商業使用人（支配人・その他） | ⑥商業登記（9条1項と2項の法的効力） |
| ⑦商事売買取引（国際売買取引契約） | ⑧運送契約 |
| ⑨仲立人・取次人・商事代理 | ⑩その他（銀行取引・消費者取引・フランチャイズ） |

法
律

履修上の留意点

教科書と最新の六法（判例付きのものは除く）を必ず持参すること。また、商法は民法の特別法であり、体系的な理解を得るためにも、民法科目（特に民法総則と債権）を同時履修するか、履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験の成績をもって評価する。出席は原則として取らないので、出席点は考慮しない。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

鴻常夫著「商法総則」（弘文堂）
江頭憲治郎著「商取引法（第三版）」（弘文堂）
別冊ジュリスト 商法総則・商行為法判例百選（第4版）

その他

（当然のことですが）授業中に私語・携帯の使用は厳しく注意します。場合によっては退室を命ずる。

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 担保物権法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A34選(16年度以降入学生) 法A34選必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 鶴井 俊吉 <small>つるい しゅんきち</small> | | | | |

講義のねらい

この講義では、民法典の第二編「物権」のうちで、留置権、先取特権、質権、抵当権を中心に、譲渡担保、仮登記担保等が対象となる。担保物権制度は、資本主義経済の発展に伴って、その重要性がますます増大している。今日、財産法領域で最も変化の多いところであり、取引界の要請により、新しい法令が制定され、年々歳々進展し、著しく変動している。

講義の内容・
授業スケジュール

私たちが土地を買い、建物を建てる、あるいは自動車を買うという場合に、多くは金融機関から融資を受けることになるが、金融機関では何らかの担保を要求してくる。この場合に、抵当権や質権といった担保物権を金融機関に設定する。このように小は個人の資金調達のため、あるいは大は、企業の活動資金獲得のために担保は重要な役割を担っている。担保物権法のもつ経済的意義は極めて重要である。

しかし、学生にとって担保物権法は、民法の中で最も難解なところと感じられ、また比較的なじめない領域だと思われる。それは、多数の関係当事者が複雑に絡み合い、また解釈上でも技術的性格が強いことに原因がある。

そこで講義では、担保物権法の基礎的な考え方を理解できるように、できるだけ判例等の具体例をとりあげ、図解してわかりやすいように心掛ける予定でいる。

履修上の留意点

学期の初めには、担保物権法の主要な部分についての概略の説明を予定している。それによって担保制度の全体像がおおよそ把握できるであろう。それゆえ、最初から講義に出席しないと理解できなく、なかなか興味が持てなくなるので、毎時限の出席と予習を強く希望する。

なお、民法現代語化や不動産登記法が改正（平成16年）されたので、必ず平成19年度版の六法をもって講義に出席してください。

成績評価の方法

年度末の定期試験の結果と講義出席の状況を考慮して総合的に評価する。

教科書

「民法3担保物権」第2版（有斐閣アルマ）を予定している。

参考書等

講義の最初に指示する。

| | | | | | |
|------|---------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 家族法 相続法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A34選(16年度以降入学生) 法A34選必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | たけなか ちか 竹中 智香 | | | | |

講義のねらい

民法典第五編「相続法」は第4編「親族法」と深く関連していることから、前期に親族法を概説したうえで、後期で相続法の説明に入ります。親族法は、われわれにとって最も身近な家族生活を規制する法律であり、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的变化、さらには少子化・超高齢化、女性の社会進出といったさまざまな社会の動向に影響を受けています。社会の変化に伴って生じてきた問題に対して、親族法がどのように対応しているかを、具体的な裁判例の紹介も交えながら、検討していきます。一方、後期に取り上げる相続法も、第二次大戦の敗戦後、戦前の家督相続が庶子均分共同相続へと変遷し、さらに近年、遺言制度の利用も増加するなど、著しく変化している分野です。本講義では、こうした変遷の内容とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

- [前期]
- (1) 家族法と財産法の相違と家族法の特徴、欧米家族法との比較とわが国の家族法の特徴
 - (2) 氏と戸籍、親族
 - (3・4) 婚姻：婚約、婚姻成立の要件
 - (5・6) 婚姻：婚姻の効果、夫婦財産制
 - (7) 婚姻解消
 - (8・9) 親子：実親子関係
 - (10・11) 親子：養親子関係
 - (12) 後見・保佐・補助、扶養
- [後期]
- (1) わが国の相続法の変遷とその背景
 - (2) 相続人
 - (3～5) 相続の効力：相続財産の範囲
 - (6) 相続の効力：相続分
 - (7) 相続の効力：遺産の共有
 - (8・9) 相続の効力：遺産分割、相続回復請求権
 - (10) 相続の承認・放棄、財産分離、相続人の不存在
 - (11・12) 遺言と遺留分

履修上の留意点

身近な問題を取り上げる分野とはいえ、難解なテクニカルタームが多用されています。講義を受ける際には、教科書の該当部分を読んだうえで、分からない文言を調べておくことが望まれます。

成績評価の方法

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。

教科書

有斐閣双書『民法(8)親族[第4版増補補訂版]』(有斐閣)1,600円
有斐閣双書『民法(9)相続[第4版増補版]』(有斐閣)1,600円

参考書等

六法
久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選[第6版]』(有斐閣)2,200円
『法律学小辞典』(有斐閣)4,500円

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 保険・海商法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A34選(16年度以降入学生) 法A34選必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 濱田 盛一 <small>はまた せいいち</small> | | | | |

講義のねらい

保険契約法および海商法の基礎的知識を習得することがこの講義の目的です。保険法ですが、私たちは、火災・自動車事故・病気などいろいろな危険にさらされて生活しております。これらの危険を予防・軽減することはできますが、それをすべて除去することはできません。ここに保険制度が必要な理由があります。保険は、共通する危険をもつ者たちがあらかじめ保険料を拠出し、その拠出金を損害を被った者の損害の補填に充てる制度です。このように保険制度は私たちにとって有用なものです。これが濫用されるおそれがあります。それは、少額の保険料で多額の保険金を取得することが可能だからです。新聞などで報道される保険金殺人事件は濫用の代表的なものです。この講義では、保険制度のもつこの2つの側面を法的視点から考察しようとするものです。

次に海商法ですが、海商法は船舶を手段とする海上企業活動に関する法です。船舶は、交通手段としては時代遅れのようにも思われますが、物品の運送については、依然として重要な地位にあります。また、海商法は、その起源を中世の慣習法に求めることができます。そのため、この分野には独特の制度がみられます。この講義では、海上物品運送契約を中心に概要をみることにします。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、保険制度の仕組み、損害保険の仕組みを中心に概説します。後期は、火災保険・自動車保険・生命保険を解説し、その後海商法を概説します。

履修上の留意点

私法の基本法である民法を修得していることが望ましいです。

成績評価の方法

原則として学期末試験により評価します。試験は持込み不可で行います。出席を数回とる予定です。これは、成績評価の際に加点事由とします。

教科書

山野嘉朗・山田康彦編『現代保険・海商法30講（第6版）』（中央経済社）4,000円（税別）

その他

授業は、講義形式で行います。

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 民事訴訟法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A34選(16年度以降入学生) 法A34選必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 坂本 恵三 | | | | |

講義のねらい

民事訴訟法(判決手続)の基本的な内容を習得することを目的とします。講義内容としては、基本的に第一審判決手続のうちいわゆる複雑訴訟を除く部分を中心とします。

講義の内容・授業スケジュール

1. 民事訴訟法の講義に入る前に(1) 民事裁判はどのように行われるのか?
法律による裁判・裁判の三段論法
2. 民事訴訟法の講義に入る前に(2) 訴訟で勝った場合どうなるのか?
判決の確定と判決の効力についての基礎知識
3. 裁判所(1) 裁判権と管轄、移送
4. 裁判所(2) 裁判官の除斥・忌避・回避
5. 当事者(1) 当事者の概念と当事者の確定
6. 当事者(2) 当事者能力と訴訟能力、訴訟上の代理人
7. 訴え 訴えの概念と訴えの種類
8. 訴訟物
9. 訴訟物についての処分権主義(一部認容判決、一部請求)
10. 訴え提起の効果(二重起訴の禁止、時効中断の効果)
11. 期日・期間・送達
12. 口頭弁論の審理方式に関する諸原則
13. 口頭弁論および口頭弁論における当事者の欠席
14. 弁論主義(訴訟資料の収集に関する原則)
15. 弁論主義が問題となる具体的ケース
16. 当事者の訴訟行為
17. 証拠(1) 証拠の概念、証明を要しない事項
18. 証拠(2) 裁判上の自白
19. 証拠(3) 証拠調べの手続き
20. 当事者の訴訟行為による訴訟の終了
21. 判決による訴訟の終了(判決の種類、判決の成立、判決の効力の基礎知識)
22. 既判力(1) 既判力の基準時
23. 既判力(2) 既判力の客観的範囲
24. 既判力(3) 既判力の主観的範囲

法
律

履修上の留意点

民法(財産法)の科目をできるだけよい成績で履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験の成績によって評価する。

教科書

一応推薦できるものとして、上原敏夫他著『民事訴訟法』有斐閣Sシリーズの最新版を挙げておきますが、他に気に入ったものがあればそれで構いません。他にすすめられる教科書や参考書については講義で指示します。また必要に応じて講義レジュメを配布します。

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 刑事訴訟法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A34選(16年度以降入学生) 法A34選必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 松本 英俊 <small>まつもと ひでとし</small> | | | | |

法
律

講義のねらい

我々は日々、事件の大小にかかわらず、多くの事件報道、犯罪報道に接している。社会的に重大な事件であればその報道も大量になされる。しかし、日常的に我々が接する、このような情報は概ね捜査段階という刑事司法手続のごく一部にすぎない。また、公判段階の問題については、その情報量はとりわけ少ないといえよう。

本講義では、まず刑事司法手続の全体像を確認・把握し、報道や捜査段階および公判段階等に見られる問題点を刑事司法の理念をふまえて検討することを目的とする。

講義では、憲法・刑事訴訟法の理念に基づいた解釈から、現状を批判的に検討し、実務上どのような問題があるのかを考え、あるべき司法の姿を展望する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期

- (1・2) 刑事手続の概観・基本原理
- (3・4) 捜査の全体像・捜査の端緒
- (5・6) 任意捜査と強制捜査
- (7・8) 証拠の収集
- (9・10) 逮捕・勾留
- (11・12) 被疑者取調べ
- (13) 被疑者の防御

後期

- (14・15) 公訴・検察官制度
- (16・17・18) 訴因を巡る諸問題
- (19・20) 公判手続
- (21) 証拠の基本原則
- (22) 排除法則
- (23) 自白法則
- (24・25) 伝聞法則
- (26) 上訴・再審

履修上の留意点

テキストおよび六法を持参すること。日ごろから問題意識を持ち、新聞・テレビ等の犯罪報道にも注意を向けてもらいたい。

成績評価の方法

原則として、定期試験により評価する。適宜、小テストやレポートを課し、その結果も参考とする。
追試験は実施しない。

教科書

参考書等を授業で紹介します。

参考書等

松尾浩也・井上正仁編『刑事訴訟法判例百選（第七版）』（有斐閣）2,100円

その他

授業は講義形式で行う

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 労働法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A34選(16年度以降入学生) 法A34選必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 藤本 ^{ふじもと} 茂 ^{しげる} | | | | |

講義のねらい

今日、労働法の対象である雇用社会は、リストラ、解雇や能力主義人事管理の導入などが行われ、日本型雇用システムの見直しがなされています。

労働法は、この雇用社会において生じる紛争を法的解決方法を検討する法領域です。この変化に無関係ではられません。

この変化は労働法の領域でも雇用関係法領域に大きく関わってきます。特に、労働時間法、労働契約法、雇用平等法などです。

講義では、雇用関係法領域を中心に、雇用社会の変化を頭の隅に置きつつ、これまで形成定着した労働法理の基礎を学びます。また、変化する法制度をまなびます。こうして、主に雇用関係法領域を概観し現代的課題に対して自ら考える視座を身につけてもらうことをねらいとしています。

法
律

講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、基礎的知識をまなぶとともに、現代的課題に触れます。以下に、アウトラインを示します。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本の雇用システムの変容と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 労働条件の変更
- (8) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (9) 人事異動－配転、出向、転籍
- (10) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (11) 賃金、賞与、退職金
- (12) 労働時間、時間外労働
- (13) 休憩、休日、休暇
- (14) 労働災害など

履修上の留意点

毎時間出席。授業のマナーは守ること。

授業は、配布するレジュメと資料を使って行います。レジュメには取り上げる項目が挙げられているだけです。内容は授業で埋められていきます。ノートをとることが必要ですし予習復習は欠かせません。

また、憲法、民法総則、債権総論、債権各論、社会保障法、社会政策といった近接した専門科目や労働経済なども履修すること（あるいは履修済みであること）が望ましい。

成績評価の方法

学年末試験（論述式）がメインで、出席、レポートなどとともに総合的に評価して決めます。確認テストや中間試験も評価の対象です。

追試験は実施します。

教科書

教科書は、ベーシック労働法（浜村彰ほか著・有斐閣）、労働法（浅倉むつ子ほか著・有斐閣）が手ごろでしょう。物足りなさを感じる受講生は、労働法（菅野和夫著・弘文堂）がいいでしょう。教科書は予習復習をするうえで必要です。少なくとも1冊は用意してください。

参考書等

労働判例百選第7版（別冊ジュリスト）、六法は用意してください。六法は、法改正がありますから、最新のものを用意する必要があります。また、労基法施行規則の載っているものが必要です。第1回目の授業で紹介します。

その他

各項目についてイメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 社会保障法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A34選(16年度以降入学生) 法A34選必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 原田 啓一郎 <small>ほらだ けいちろう</small> | | | | |

法
律

講義のねらい

今日の社会保障制度が本格的に構築されたのは、第二次世界大戦後であったこともあり、社会保障法学が本格的な法学の一研究領域として認知されたのはごく最近である。社会保障は、第一義的には国民の生活保障を目的とする制度であり、その重要性は私たちの日常生活において無視し得ないものになっている。本講義では、社会保障法の基礎と個別制度の特質・内容の理解を通して、社会保障の法的理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 社会保障とその特質
- II 社会保障法の理論と課題
- III 年金制度——国民年金、厚生年金、企業年金
- IV 社会手当制度
- V 医療保障制度——国民健康保険、健康保険
- VI 労災保険制度
- VII 雇用保険制度
- VIII 社会福祉制度
- IX 公的扶助制度

履修上の留意点

社会保障の法政策論などは、同担当者による「社会政策」で詳細に取り扱う。

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教科書

教科書は講義開講時に指定する。
六法は、『社会保障法令便覧』(労働調査会)を必ず携帯すること。

参考書等

適宜紹介する。

その他

履修にあたっては、憲法、行政法、民法、労働法、社会政策、法哲学などの科目を既修若しくは履修中であることが望ましい。

| | | | | | |
|------|---------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 行政救済法 行政法各論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A34選(16年度以降入学生) 法A34選必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | かわこ しょうへい 金子 昇平 | | | | |

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていなかった、新たな法分野が続出している。例えば、行政手続法、情報公開法等の制定をはじめ、各行政分野ごとの基本法が整備されようとしている。また現実の行政需要も変化、発達し、その適正化が求められている。

講義は、行政紛争解決の手法として、行政救済法を、主な内容として行う。そこで具体的に、どのような国家賠償事件、行政事件が存在し、何が法律上の問題となっているのか、また、どのように法的解釈を、すべきかについて説明していきたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

行政法の基本的な原理や原則に対する、再学習をし、行政法と行政救済法とのリンケージを確認しながら講義を行う。

- 1) 行政争訟法
 - (1) 行政上の不服申立（行政不服審査法）、(2) 苦情処理、オンブズマン、(3) 行政事件訴訟（行政事件訴訟法）
- 2) 国家補償法
 - (1) 国家賠償（国家賠償法）、(2) 損失補償

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

塩野宏『行政法II』（行政救済法）〔第四版〕有斐閣

その他

塩野宏他編『行政判例百選I・II』第五版（有斐閣）

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 国際紛争解決法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A34選(16年度以降入学生) 法A34選必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | おう しあん 王 志安 | | | | |

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界および適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能および事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決および世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査および調停といった制度の展開および適用、国連における紛争処理の制度的展開および現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続きおよび制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判および国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立およびその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしっかり取ってもらいたい。

power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

学年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストや出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002年 2,000円

参考書等

市販されている国際条約集および国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業はPower Pointを使って講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めるところもある。

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 国際私法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A34選(16年度以降入学生) 法A34選必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 佐々木 彩 | | | | |

講義のねらい

法律関係の構成要素に外国に関連する要素が一つでも含まれる場合を、一般に渉外的法律関係と呼ぶ。そして、渉外的法律関係に適用すべき法律を指定する規定を定めているのが国際私法である。国際私法は、渉外的法律関係によって生じる紛争を円滑に解決に導く手段のみならず、予めどの国の法律を適用することとなるのか等の予測可能性を高めてくれることにも役立つ。わが国では「法の適用に関する通則法」という法律を中心に国際私法が形成されている。国際私法は、民法や商法のような実質法のように私法問題の判断基準となる法律とは規律する領域を異にしており、異なる次元に位置づけられるものとして、上位規範等と呼ばれることがある。このような他の分野と異なる国際私法的センスを習得できるように講義を進めたいと考えている。国際私法は時として難解な科目であると捉えられがちであるが、国際結婚・離婚、国際養子縁組、国際契約等に関する身近な問題を具体例として取り上げ、できる限り分かり易いものとなるように工夫を試みたい。

法
律

講義の内容・
授業スケジュール

前期：国際私法総論（4～6月）、国際家族法（6～7月）
後期：国際家族法（9～11月）、国際財産法（11～12月）

履修上の留意点

基礎となる他の科目（特に家族法）について基礎知識を有することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の筆記試験による。

教科書

『国際家族法要説 新訂補正版』笠原俊宏 高文堂出版社

参考書等

いずれかの六法を常に携帯すること。

その他

授業は講義によって進行するが、時折、事例を設定して、皆で一緒に考えることも予定している。

| | | | | | |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 新入生演習 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A1選(16年度以降入学生) | | | | |
| 担当者名 | <small>まつむら いたる かねこ しろうへい おおみや たかし かわぐち ゆきみ きたの かおる たけなか ちか つるい しゆんきち</small> 松村 格・金子 昇平・大宮 隆・川口 幸美・北野 かほる・竹中 智香・鶴井 俊吉・ <small>なかはま よしあき ふじもと しげる ほらだ けいいちろう あらき まさたか やまぐち くにお</small> 中濱 義章・藤本 茂・原田 啓一郎・荒木 正孝・山口 邦夫 | | | | |

講義のねらい

この科目は、法学部に入学してはじめて法律学を学ぶ法律学科の新入生が、これから法律学を学んでいく上で必要な基礎的な勉学の方法を身につけていくために設けるものです。選択科目ですが、できる限り多くの学生が積極的に履修し、4年間の法律学の学修を効果的に行うための基本を習得することを期待します。

授業は、一週おきに、教室と研究室での指導による学習を組み合わせた形態で行います。教室で教わったり体験したりしたさまざまな知識や学習方法を、次の週に研究室で先生と相談したり、指導に従って自習したりしながら、発展させて、自分なりに最も適切な勉学方法を探し当て、開発していったと欲しいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

学習の順番や指導の方法はそれぞれの先生が工夫して、学生のみなさんの習熟度を見ながら組み立てていきますが、共通して学ぶ項目は以下の通りです。数字の順番の通りにすべて学習していくというよりも、いろいろな項目を組み合わせて、全体としてこれらの基本的なスキルが身につけていくものとして、考えられています。

1. 基本的な学習施設
 - ・図書館や情報センターの利用方法と文献の探し方・調べ方
 - ・教室での講義の受け方とノートの取り方
2. 基本的な書籍の利用方法
 - ・六法全書の読み方と使い方
 - ・法学用語集や辞書の活用方法
 - ・法律学的な文章の読み方とまとめ方
3. 発展的な書籍の活用
 - ・法学文献以外の書籍から法についての感覚を学ぶ
 - ・注のある文献の読み方と注の使い方
4. 法学学習に必要な文の書き方と書くための作業
 - ・レジュメ・レポート・答案のまとめ方と書き方
 - ・ゼミなどでの発表のし方
5. 将来設計と学修
 - ・卒業後の進路をどう考え、法律学科での学修をどう生かすか

履修上の留意点

一週おきの教室での一斉授業への出席は当然ですが、研究室での指導に課題を課されたり面接があったりする場合には、担当の先生の指示に従って学習してください。

成績評価の方法

出席点および課題提出評価点を総合して成績評価します。

教科書

指定教科書はありません。

参考書等

参考書、課題図書は、各クラス担当の先生がその都度指示します。

| | | | | | |
|------|---------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 比較憲法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A12選 法B12選 | | | | |
| 担当者名 | にし おさむ 西 修 | | | | |

講義のねらい

比較憲法は、世界の憲法動向を知り、日本国憲法を広い視野から眺めるといって非常に大きな効用をもっている。本講義は、主要諸国のみならず、アジアや発展途上国の憲法をも対象にして、立体的に組み立てる。

講義の内容・ 授業スケジュール

おおむね以下の内容になる。(1) 比較憲法とは(研究の意義、比較の対象、方法、限界など)(2) 欧米主要諸国の憲法(アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリアなど)の概要、(3) アジアおよび発展途上国の憲法(中国、韓国、北朝鮮、タイ、カンボジアなど)の概要、(4) 項目別の比較(平和主義、家族条項など)。

履修上の留意点

- (1) 開講時にシラバスを配付するようにする
- (2) 日本国憲法との関連で問題意識をもつこと
- (3) 私語は絶対に慎むこと
- (4) 途中からの入退室はしないこと。

成績評価の方法

原則として試験結果にもとづき評価する。

教科書

年度内に作成の予定だが、コピーなどを配付する。

参考書等

- (1) 西修著『憲法体系の類型的研究』(成文堂)1997年
- (2) 取り扱う内容に応じて指定する。

その他

授業中に試験をする可能性があるので、注意すること。

| | | | | | |
|------|-----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 法社会学 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A12選 法B12選 | | | | |
| 担当者名 | おがき おさむ 岡寄 修 | | | | |

講義のねらい

法社会学は、自然科学の領域で成功を収めた近代科学の手法を基礎に、19世紀には心理学、社会学などの個別科学が次々と成立する中で、解釈法学とは異なる新たな法律学を目指して誕生した学問である。講義では、学問の変遷や知識の歴史を振り返り、法社会学誕生に到る経緯を辿る。次いで、今日の学問の主流を成す科学的思考と、今日の社会のモデルを成す市民社会との間には、知識と社会における個人主義とデモクラシーを成し遂げた点で、重要な関連性があることを論じ、この観点から今日の日本の分析も試みる。後期に法解釈論を採り上げる場面では、20世紀初めのアメリカにおいて、市場経済と契約自由の堅持を求める自由放任経済陣営と、それを修正しより平等な社会の実現を求めた革新主義陣営との価値の対立を視野に入れ、法解釈とは何かを論じる。

講義の内容・授業スケジュール

前期：知識の歴史とその展開。法解釈学の伝統手法。科学と市民社会に共通する個人主義とデモクラシー。エールリッヒの唱えた新たな法学。日本の社会分析。
後期：20世紀初めアメリカ産業社会の到来。市場経済論とその修正要求。双方の価値の対立を背景とした法解釈論争。ホームズ、パウンド、デューイのプラグマティズム法学。それを受け継いだリアリズム法学。

履修上の留意点

法解釈学への関心の他に、知識論や歴史、日本社会の構造などにまで、多くの方面に幅広い関心を持ってほしい。

成績評価の方法

夏休み中の課題とするレポートと、学年末の論述試験とを合計し、成績を決める。

教科書

講義内容を一冊でカバーできる書物はないので、教科書は指定しない。その代わり、講義の際には、数多くの文献引用をしたプリントを配布し、それを用いて講義を進める。

参考書等

参考書としては、講義中にも紹介するが、ここでは碧海純一『法と社会：新しい法学入門』中公新書 No.125 (1967) を挙げておく。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本法制史 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A12選 法B12選 | | | | |
| 担当者名 | しげの たかはる 茂野 隆晴 | | | | |

講義のねらい

基礎法学の一つとしての法制史は、文字通り、法学教育における史学である。「日本法制史」は日本国民の法生活の歴史的考察を行うものである。年間の授業は上古・中古・中世・近世・近代の五期に分ち順次行なっていく。
年間の講義を通じて、日本の法文化への愛着が深まったと言われるようになればと思う。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 序 日本法制史を学ぶにあたって
 I 日本法制史とは
 II 基礎法学のなかの法制史
 III 日本法制史の時代区分
 IV 日本法制史教育の沿革
 第1章 上古（氏族法時代）
 (1) 総説(2) 氏族制度(3) 法の始源(4) 法の分化ほか
 第2章 中古（律令法時代）
 (1) 総説(2) 律令法ほか
 第3章 中世（武家法時代前期）
 (1) 法の系統(2) 分国法〔国法〕(3) 起請文ほか
 第4章 近世（武家法時代後期）
 (1) 織豊二氏の法令(2) 徳川幕府の法令ほか
 第5章 近代（含む幕末）
 (1) 大津事件(2) 治安維持法(3) 明治民法
 (3) 婚姻関係(4) 婚姻に関することわざと川柳ほか

法
律

履修上の留意点

史資料に則り行う授業なので、テキストは必ず揃えて欲しい。授業中の私語は当然ながら厳禁ゆえ、守れない者があれば直接にも指摘することになる。

成績評価の方法

年間1度の定期試験に加えて平常点として出席点により総合的な評価をなす。

教科書

大久保治男・茂野隆晴共著『日本法制史』（高文堂出版社）3,000円
ISBN4-7707-0041-5 C1332

参考書等

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史史料60選』（芦書房）2,300円
ISBN4-7556-1128-8 C0032

その他

最終授業時に年間のまとめを行う。

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 西洋法制史 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 法A12選 法B12選 | | | | |
| 担当者名 | 北野 <small>きたの</small> かほる | | | | |

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会的法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度は講義内容を大幅に変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 政治学原論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A12選 法B12選 | | | | |
| 担当者名 | おおつか かつら 大塚 桂 | | | | |

講義のねらい

I自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれません。政治学のみならずひろく隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377（直）です。

II講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と解明ができるように基礎的的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

講義の内容・授業スケジュール

III講義のすすめかた

現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

IV講義の内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

A政治学の課題と対象、ならびに方法

B政治の原理的究明

(1) 政治的なるもの

～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従

(2) 共同体的なるもの

～国家、社会、主権、法

(3) イデオロギー的なるもの

～イデオロギー、正義、自由、平等、人権（シティズンシップ）

C政治の実体論的究明

(1) 制度論的究明

～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制

(2) 機能論的究明

～政党、圧力団体、市民参加、マスコミ、政治教育、政治的社会化

成績評価の方法

V成績評価

単位の認定は、ペーパー試験を中心におこないます。

成績評価は

中間試験：50%

学年末試験：50%

以上の割合によるものとします。

なお、追試験も実施します。

教科書

大塚桂『政治学原論序説』（勁草書房）3,296円

大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

参考書等

上記教科書の巻末にある参考文献を参照のこと。

その他

学習にあたっては、大塚編「補章オリエンテーション政治学」『政治学へのいざない』（成文堂）、大塚編『日本の政治学』（法律文化社）等を参考にしてください。

| | | | | | |
|------|-------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 政治史 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A12選 法B12選 | | | | |
| 担当者名 | 村井 良太 | | | | |

講義のねらい

政治は広く私達の生活に関係しており、また私達は主に選挙を通じて政治を形作っていく立場にもあります。したがって政治を知ることが社会人の大事なたしなみといえます。本講義は、法律学科の1・2年生を対象としていますので、社会人の素養としての活きた政治史を心がけ、政治史上の基本的な知識を修めるとともに、歴史的な分析を通じて現在への政治的理解を深めることを目的としています。

本年度の「政治史」では、戦前・戦中の遺産を踏まえた上で、私達の生きる戦後日本の歩みを振り返ります。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、以下を予定しています。スケジュールなど詳細は開講後にお知らせします。
 前期：(1)「帝国」日本の遺産 (2)敗戦と占領 (3)占領改革 (4)吉田政権と講和 (5)鳩山政権と五五年体制の成立 (6)岸政権と日米安保条約の改定
 後期：(7)池田政権と高度経済成長 (8)佐藤政権と沖縄返還 (9)危機の七〇年代 (10)保守復調と「国際国家」日本 (11)冷戦終結と湾岸戦争 (12)問われる「戦後」

履修上の留意点

履修する学生には、出席と積極的な授業参加を求めます。

成績評価の方法

成績は、随時おこなう出席調査と、中間レポート、学年末試験によって評価します。

教科書

五百頭旗真編『〔新版〕戦後日本外交史』有斐閣、税込2,100円、ISBN:464112258X。

参考書等

参考図書は講義のなかで随時紹介していきます。

| | | | | | |
|------|-------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 経済原論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A12選 法B12選 | | | | |
| 担当者名 | 村松 幹二 | | | | |

講義のねらい

経済学の基礎概念を学び、現代経済への理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、マクロ経済学を中心に、経済学の考え方と日本経済の現状、国際経済について解説する。

後期は、ミクロ経済学を中心に、消費者行動、企業行動、市場競争と政府の役割について解説する。

成績評価の方法

成績評価は、期末試験による。

教科書

未定

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 行政学 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A12選 法B12選 | | | | |
| 担当者名 | 児玉 博昭 <small>こだま ひろあき</small> | | | | |

講義のねらい

行政学は、現代における行政の諸現象を、社会管理と政治行政関係の両観点から、制度・組織・活動の各要素について考察する学問である。この講義は、行政学の全体像を把握し、基礎を理解することを目標とする。

この講義では、はじめに、行政学の対象である行政とは何か、現代の行政国家がどのように成立し、それを受けて行政学がどのように発展してきたかを見る。次いで、制度論として現在の政府体系、政治と行政の関係、中央政府と地方政府の関係を明らかにする。組織論では官僚制の理論と現代組織論をふまえ行政組織の特徴と公務員制度の仕組みを述べる。活動論からは政策の決定・執行・評価の過程、行政責任と民主的統制のあり方を考える。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目を予定している。

1. 行政とは何か
2. 行政国家の成立
3. 行政学の発展と行政改革
4. 現代の政府体系
5. 内閣制度と政官関係
6. 地方自治と分権改革
7. 官僚制の理論
8. 現代組織論
9. 日本の行政組織と行政改革
10. 公務員制度と人事システム
11. 行政活動と政策
12. 政策過程
13. 政策の執行と評価
14. 行政責任と参加

履修上の留意点

行政の現象は広範囲に及び、日常生活とも密接に関わる。行政学の学習にあたっては社会生活全般に関心を持つことが大切である。

成績評価の方法

学期末試験（50％）と学年末試験（50％）によって相対的に評価する。

教科書

森田朗『現代の行政（改訂版）』（放送大学教育振興会）2,000円

参考書等

授業内に適宜指示するか、印刷して配布する。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 法律時事英語 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A12選 法B12選 | | | | |
| 担当者名 | 牧野 和夫 <small>まきの かずお</small> | | | | |

講義のねらい

国際取引やビジネスの場で実際に使用されている法律英語のキーワードを分かり易く解説することにより「法律英語」の実際を学習することをねらいとしています。社会に出てからも直ちに役立つように、実践的、実務的な内容で、具体例を挙げつつ講義を進めます。

講義の内容・授業スケジュール

下記の順序で進める予定です。

- (1) 英米法の考え方
- (2) 英文契約の基礎
- (3) 国際ビジネスにおける法律英語キーワード
- (4) インターネット上の取引におけるキーワード

履修上の留意点

講義を中心に進めますので、出来る限り講義へ出席することを要望します。

成績評価の方法

学年末筆記試験1回（論文式。但し、教科書・ノート持込み可とする）

教科書

牧野和夫著『法律英語入門』（プロスパー企画）2,800円＋税

参考書等

河村賞治他著『国際法務グローバル・スタンダード17ヶ条』（プロスパー企画）4,300円（税別）

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 刑事政策 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A2選 法B2選 | | | | |
| 担当者名 | かくしよ じよかず 覚正 豊和 | | | | |

講義のねらい

犯罪とは何か、刑罰とは何か、非収容者の処遇の実態、犯罪者をどのように再社会化させるかなどについて単なる犯罪対策にとどまるのではなく、その社会的・文化的要因や身体的要因、犯罪学仮説、警察機構、刑事司法対策等の諸問題にわたり比較犯罪学的展開を踏まえた上で理解させていきたい。そして、犯罪学における基本理念をわが国の理論的現状をも対比しつつ、国際的動向との関係から正しく捉え犯罪を防衛するための合理的、合目的な手段・方法を探求していくことを目的とする。今日、とうとうと流れる国際社会において、犯罪者という社会のもっとも片隅においやられた人権の在り方を考えるということは、ますます重要な問題になってくるはずである。講義を通じてそれを概観していきたい。

法

律

講義の内容・
授業スケジュール

- | | |
|------|-------------------------------------------------------|
| 回数 | 授業の内容 |
| 第1回 | 受講のガイダンス 刑事政策の意義と課題 刑事政策、犯罪学と規範学の相違について学ぶ。 |
| 第2回 | 犯罪学の歴史と展開 その起源から近代学説までを学ぶ。 |
| 第3回 | 現代犯罪学の課題 ラベリング理論、非犯罪化、非刑罰化、社会的統制理論などについて学ぶ。 |
| 第4回 | 犯罪の理念 犯罪とはなにか。日常わたしたちが用いるよりも広義なものであることを学ぶ。 |
| 第5回 | 刑事政策と暗数 犯罪統計と暗数の意味、被害調査、事故報告調査などについて学ぶ。 |
| 第6回 | 犯罪の原因(1) 身体的・生理的要因について学ぶ。 |
| 第7回 | 犯罪の原因(2) 個人環境的要因について学ぶ。 |
| 第8回 | 犯罪の原因(3) 社会環境的要因について学ぶ。 |
| 第9回 | 刑罰の意義・機能・沿革 意義機能はもちろん一般予防、特別予防、抑制主義、処罰の種類などについて学ぶ。 |
| 第10回 | 死刑 憲法と死刑、存廃論、代替刑について学ぶ。 |
| 第11回 | 自由刑 意義、歴史的考察、短期自由刑、不定期刑などについて学ぶ。 |
| 第12回 | 財産刑 罰金の意義、特質、罰金と科料などについて学ぶ。 |
| 第13回 | 保安処分 意義、種類、要件などについて学ぶ。 |
| 第14回 | 少年保護手続 家庭裁判所と少年審判、少年法改正問題について学ぶ。 |
| 第15回 | 定期試験(予定) |
| 第16回 | 犯罪者の処遇 意義、原則、動向について学ぶ。 |
| 第17回 | 犯罪者の刑事司法政策(1) 警察 微罪処分、ダイヴァーションなどについて学ぶ。 |
| 第18回 | 犯罪者の刑事司法政策(2) 検察 起訴猶予などについて学ぶ。 |
| 第19回 | 犯罪者の刑事司法政策(3) 裁判 量刑基準、宣告猶予、執行猶予、判決前調査などについて学ぶ。 |
| 第20回 | 矯正の意義・目的 矯正処遇の意義、目的、観念、矯正処遇の原則などについて学ぶ。 |
| 第21回 | 受刑者の処遇 法的地位、処遇原則、分類処遇、死刑確定者の処遇などについて学ぶ。 |
| 第22回 | 犯罪の予防 意義、予防、予防活動、予測、問題点などについて学ぶ。 |

講義の内容・
授業スケジュール

- 第23回 更生保護
意義、措置、概況などについて学ぶ。
- 第24回 恩赦・資格制度
恩赦の種類、効力、存在理由などについて学ぶ。
- 第25回 被害者補償
意義、歴史、必要性、法的性質などについて学ぶ。
- 第26回 各犯罪と対策
少年非行、女性犯罪などについて学ぶ。
- 第27回 各種犯罪と対策
組織犯罪、ホワイトカラー犯罪などについて学ぶ。
- 第28回 各種犯罪と対策
薬物、アルコール犯罪などについて学ぶ。
- 第29回 まとめ
討論及び質疑
- 第30回 定期試験

履修上の留意点

初回の授業において指示する。

成績評価の方法

定期試験および平常点

教科書

斉藤静敬著『刑事政策』（創成社）

参考書等

授業において指示する。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 法思想史 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A2選 法B2選 | | | | |
| 担当者名 | たかはし ひろき 高橋 洋城 | | | | |

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということが自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史には限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・
授業スケジュール

以下に掲げる時系列に沿った講義を柱とし、その過程でいくつかの重要な法概念については、時代横断的な考察をも交えていく。

第 I 部 古典的自然法論とその背景的世界像

- [1] 講義のねらい、対象、重点、注意事項などについて / プラトンの法思想：『国家』を中心に考察する
- [2] アリストテレスの法思想：アリストテレス哲学の基礎理論を考察する
- [3] アリストテレスの法思想（続）：正義論、政治体制論を中心に考察する
- [4] キリスト教とローマ法：ヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたキリスト教およびローマ法に由来する諸概念・思想について概説的な紹介を行なう。
- [5] 中世自然法論：トマス・アクィナスの自然法論を中心に論ずる。題材は主として『神学大全』に拠る。

第 II 部 近代自然法論の思想

- [6] 近代的世界像と社会契約説総説
- [7] ホッブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心に考察する
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に考察する。また特に、所有権論史におけるロック所有権論の意義に着目する
- [9] ルソーの法思想：『社会契約論』『不平等起源論』を題材に考察する / 近代自然法論まとめ
- [10] カントの哲学と法思想 批判哲学の意義とその法理論への展開を考察する。特にカントに於ける「公論」の意義を検討する

第 III 部 19世紀以降の法思想・法律学の潮流

- [11] 近代市民社会の思想：18世紀～19世紀の自然法論の果たした役割、およびヘーゲル法哲学について論ずる
- [12] 19世紀の法律学の動向：歴史法学・概念法学についてとりあげる。
- [13] 概念法学批判
- [14] 法実証主義の諸形態
- [15] 現代法理論の動向

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験と平常点によって評価する。平常点には小テスト、課題レポート等が含まれるが、これらは加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

法思想史に関する概説書の例として

- ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。
- ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。

講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 債権各論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A2選 法B2選 | | | | |
| 担当者名 | 青野 <small>あおの ひろゆき</small> 博之 | | | | |

講義のねらい

債権各論とは、民法典のうち、第3編「債権」の第2章「契約」、第3章「事務管理」、第4章「不当利得」および第5章「不法行為」をいう。

たとえば、Aが自己所有の土地をBに売却する契約をBとの間で締結した場合には、Aは、Bに対して代金を払うように請求することができる。つまり、代金債権が発生する。また、Cの家にDの運転する車がぶつかって、家が壊れた場合には、Cは、Dに対して賠償金を払うように請求することができる。つまり、損害賠償債権が発生する。このように、債権は、契約、不法行為など、さまざまな理由によって発生する。このような債権発生原因について考察するのが、債権各論である。具体的には、たとえば不法行為では、どんな場合に損害の賠償を求めることができるか、どのような損害の賠償を求めることができるかが問題となる。

なお、債権の発生原因のうち、債権各論で学ぶのは、契約、事務管理、不当利得および不法行為だけであるが、これらが債権発生原因の主要なものである。

講義の内容・授業スケジュール

契約の成立（申込、承諾）
 契約の効力（同時履行の抗弁権、危険負担）
 契約の解除
 所有権移転型の契約（贈与、売買、交換）
 貸借型の契約（消費貸借、使用貸借、質貸借）
 労務提供型の契約（雇傭、請負、委任、寄託）
 その他の契約
 事務管理
 不当利得
 不法行為の要件
 不法行為の効果
 特殊な不法行為

履修上の留意点

できるだけ債権総論も受講してほしい。債権各論を理解するために重要な科目だからである。また、これ以外の民法の科目も受講すると、民法全体の理解につながる。

質問は大歓迎である。講義の中では、私からも質問するので、答えてほしい。双方向の講義を目指している。

成績評価の方法

質問した回数および私からの質問に対する解答の回数を重視する。解答が正しいかどうかではなく、考えて解答することに意味がある。安心して答えてほしい。

受講者がそれほど多くなければ、質問と応答による平常点だけで成績を評価する。しかし、平常点で成績を評価することができないほど受講生が多ければ、年度末の試験を行う。試験を行う際には、いっさいの持ち込みを不可とする。

教科書

大島俊之ほか著『プリメール民法4・債権各論（第3版）』（法律文化社）2005年 2,700円
 教科書は上記のものを使うが、自分が気に入ったもの、手持ちのものがあれば、それでもよい。

参考書等

講義に際して紹介する。

その他

出席し、質問し、私からの質問に答える、積極的な学生であってほしい。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英米法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A2選 法B2選 | | | | |
| 担当者名 | きたの かほる 北野 かほる | | | | |

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 法系
 - 第1節 近代法の法系
 - (1) 西洋近代法 (2) 二大法体系 (3) 大陸法系あるいはローマ法系
 - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
 - 第2節 イギリス法の特徴
 - (1) 一般的特徴 (2) 歴史的特徴
 - 第3節 英米法の分類
 - (1) 法域 (2) 法源 (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - (1) 歴史的連続性 (2) 法系としての特徴
 - 第2節 法観念の社会性
 - (1) 法の観念 (2) 法システムにおける裁判の位置 (3) 救済と権利
 - 第3節 法思考の実務性
 - (1) 総論 (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
 - 第1節 判例法
 - (1) 判例法 (2) 判決における法考察 (3) 判例法の考察
 - 第2節 判例法の理論
 - (1) 外枠 (2) 内実 (3) 先例性の判断
 - 第3節 制定法の解釈
 - (1) 制定法の位置づけ (2) 厳格な文理解釈の理論
- 第4章 裁判所制度
 - 第1節 イギリスの裁判所制度
 - 第2節 アメリカ合衆国の裁判所制度

法
律

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

試験準備には講義ノートが最も有効である。各自注意して出席し、ノートをとること。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 仏法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A2選 法B2選 | | | | |
| 担当者名 | 上井 長久 <small>うえい たけひさ</small> | | | | |

講義のねらい

本講義は、フランス法のうち、とくにフランス私法の根幹をなす諸問題を対象として、フランス私法の基底を理解することを目的とする。近現代の私法の基本的問題ばかりでなく、古代フランク時代と封建制度下の中世の法とにわけられる古法の時代、および自由と平等を旗印とした大革命に始まる革命期の法すなわち中間法の時代の私法をも本講義の課題としているのはそのためである。フランスの近現代法は、19世紀初頭に統一的な成文法により樹立され発展したが、それまでの法を基礎として統一・整備されたものである。フランスの近現代の私法を深く理解するためには、古法、中間法をも学ぶ必要がある。本講義は、そのようなフランスでいわゆるフランス私法の序論と歴史と称する領域を原典資料（法文、判例、学説、一般論述等）により理解しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

本講義は、まず、近現代のフランス公・私法の基礎であるフランス人権宣言と19世紀におけるその開化を学び、次いでフランスの革命期および近現代の私法の基本的問題を検討し、後に、その基本的問題さらには近現代の私法の個別的問題と出来るだけ関係づけながら古法における私法の歴史を考察する。講義の内容は、具体的には以下の通りであるが、その各項目について原典資料を解説しながら講義を進める。なお、フランスの革命期から今日までの政治、行政、裁判制度についても、適宜折り込み説明する。

I. 革命期および近現代の私法の基本的問題……（前期）

1. 人権宣言と自由の確立

(1) 人権宣言の着想の背景・精神・性質・効力・趨勢

(2) 人権宣言の内容——基本的人権、各種自由権、法の下での平等、法律の支配、政治組織の原理（国民主権、権力分立）

(3) 公的自由と私的自由

2. 法典編纂とその後の私法の変遷

(1) 法典化の意義・目的 (2) ナポレオンの5法典と王令・中間法

(3) 法典編纂の経緯と問題点 (4) 近現代における私法の変遷

3. 判例の効力

(1) 判決の構造と判例 (2) 判例観の変遷（古法、中間法）

(3) 判決の既判力、判例の拘束力と創造力

(4) 法律の解釈と法学の法律学化（注釈学派、科学学派）

II. 私法の歴史……（後期）

1. フランク王国の法

(1) 法源（法の属人性） (2) 社会経済制度—人の身分、土地（個人、共同）所有形態、形式主義的契約、教会と家族財産（相続、贈与、遺贈）、フランクの家族共同体とローマの個人的家族制度 (3) 訴訟制度

2. 高期中世（制限王政期）の法

(1) 法源（法の属地性、ローマ法の再生、教会法の編纂、慣習法） (2) 社会経済制度—階級制、封建的土地所有（分割所有権）と自由地、形式主義的契約と合意主義的契約、家族制度（教会婚、自由処分と家族遺留分、夫婦財産共有制）

(3) 都市の社会経済制度—ブルジュア身分大市・市の組織と取引、同業組合の組織と規約

3. 絶対君主制（旧体制）の法

(1) 法源（慣習法の編纂、ローマ法の第二の再生、王令）

(2) 社会経済制度—階級制の変遷、封建的土地所有制度の変遷

履修上の留意点

フランス法とフランス語に興味があれば、楽しく受講してもらえます。

成績評価の方法

成績評価は、学年末の定期試験で行う。

教科書

上井長久著プリント版 Introduction au droit privé 及び Histoire du droit privé（最初の講義の時に配付する予定）

参考書等

ジャン・アンベール著三井哲夫=菅野一彦訳『フランス法制史』（白水社文庫クセジュ）
山口俊夫『概説フランス法 上』（東大出版会）

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 独法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A2選 法B2選 | | | | |
| 担当者名 | 山口 邦夫 <small>やまぐち くにお</small> | | | | |

講義のねらい

外国法の一種類としてドイツ法全般について一年間で講義をすることは不可能なので、日本が明治以降、政治上の理由から、先進国の外国法を多数継受してきたなかで、ドイツ法のはたした役割が大きかったので、その点を中心に講義をする。したがって、ドイツ法の歴史も近世以降に限定し、特に19世紀以降の立法と日本が継受する際に最も強く影響を受けたドイツの法律を中心とする。明治期の仏法・英法の影響については、各自学習することが望ましい。

講義の内容・授業スケジュール

一年を次の4期に分けて講義をする。
 I期 4/5月、II期 6/7月、III期 9/10月、IV期 11/12月。
 I期 プロイセン憲法と明治憲法との関連、特に Kaiser と天皇との比較。次にドイツ民法第一草案と日本民法との関連。パンデクテンシステムの導入。行政法の分野について。
 II期 一般ドイツ商法典と日本の商法との関連。民商統一論。社会法、経済法など。
 III期 刑法及び手続法（特に民事訴訟法と刑事訴訟法）の分野において、ドイツ法が日本法に与えた影響について。
 IV期 ドイツの法思想家のうち、I期からIII期において対象とした分野で影響を与えた法学者の思想をドイツの原書を参考に解説する。

履修上の留意点

当然ドイツ語を履修した2年生以上の学生を念頭において講義をする。授業中にドイツ語の条文などが登場するので、他の外国語の履修者には不相当と考えるが、単位取得を目的としなければ聴講可能である。

成績評価の方法

毎年10人前後の小クラスなので、毎回出席をとり、平常点に、年2回のレポート提出によって単位の認定を行う。いわゆる学年末試験は行わない。

参考書等

Gerd Kleinheyer/Jan Schroder, Deutsche und Europäische Juristen aus neun Jahrhunderten. 4. Aufl. 1996. (初版の和訳あり)

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 基礎演習 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A2選 | | | | |
| 担当者名 | 池田 実 <small>いけだ みのる</small> | | | | |

講義のねらい

文献・判例の調べ方、レポート・論文作成のルールなど、法学研究の方法を習得するとともに、3年次からの演習に備え、憲法に関するさまざまな問題への関心を高めることを目的としています。前期は、教科書を講読しながら、関連法令や学説・判例にも広く接し、日本国憲法の基礎的理解を深めることに重点を置きます。後期は、前期から引き続く内容に加え、担当教員の与える課題や学生から提起された問題について、全員が調べ、まとめ、報告し、討論することを通じて、憲法に対する多角的な視点と広い問題関心を育んでいきます。

法 律

講義の内容・ 授業スケジュール

- [前期] (1)～(4) 憲法の入門的講義、法学研究の方法、文献・判例の調べ方(図書館ガイダンス)
 (5)～(13) 日本国憲法に定める統治機構に関する演習
 [後期] (14)～(20) 日本国憲法に定める基本的人権に関する演習
 (21)～(26) 自由課題演習

履修上の留意点

演習は、教員と学生が一体となってつくりあげる授業ですから、遅刻や無断欠席は厳に慎んでください。

成績評価の方法

出席、研究報告、発言、レポート等を総合的に評価します。

教科書

野畑・池田・渡邊・清水『テキストブック日本国憲法』(嵯峨野書院)

参考書等

授業時に適宜指示します。

その他

法令や判例を緻密にフォローする生真面目さと、若者らしい柔軟かつ大胆な発想で憲法を科学する遊び心とを兼ね備えた、バイタリティあふれる学生諸君の履修を期待します。

| | | | | | |
|------|-----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 基礎演習 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A2選 | | | | |
| 担当者名 | いまお まこと 今尾 真 | | | | |

講義のねらい

具体的事例（判例・教室説例）を素材として、民法の知識および経験則を総動員して、紛争を解決する際の法的なものの考え方（法的思考法）を身につけ、その考え方を実際に紛争に当てはめ妥当な結論を導く（法解釈学の技術的訓練）という能力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール

本演習は、これから法律学、特に民法を本格的に学習するための基礎学力を習得することを目的とする。具体的には、民法総則の法律問題を素材として、民法の考え方、文献の読み方、討論の仕方、文章の書き方の訓練を行う。参加者は、教科書の指定されたテーマに関する諸文献を検索・熟読すること（読む）、法的争点を抽出してこれをめぐる判例・学説の解決策の当否を自分の頭で考えること（考える）、自分の考えを明快に展開して他人と討論できること（論ずる）等が要求される。また、随時、重要で基本的な問題について、レポート作成（書く）を義務づけ、その一部ものを講評して、法律の文章・論文の書き方をもあわせて指導する。前期は民法総則の重要判例を、後期は物権法および債権法の重要判例を学習する予定である。4月開講時に詳細な予定表を配布する。

法
律

履修上の留意点

①無断欠席は厳禁。小生とゼミ員との高度な信頼関係を忘れずに。②サブゼミは自覚と責任感をもって行うこと。これができない者は単位認定が困難である。③毎回のゼミで必ず発言することを心がける。④高い理想をもって、日々精進すること。

成績評価の方法

出席点・レポート・演習での発言内容等を総合評価

教科書

川井健・鎌田薫・平野裕之編『新判例マニュアル民法I〔総則〕』（三省堂）2000年

参考書等

（1）星野英一・平井宣雄・能見善久編『民法判例百選I総則・物権〔第五版〕』（有斐閣）別冊ジュリスト159号2001年
（2）加藤一郎・米倉明編『民法の争点I（総則・物権・親族・相続）』（有斐閣）ジュリスト増刊1985年

| | | | | | |
|------|---------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 基礎演習 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A2選 | | | | |
| 担当者名 | かくしろう ともかず 寛正 豊和 | | | | |

講義のねらい

この演習は刑事法における基礎的な問題の考察を通じて、法的知識を修得するとともに法的思考を形成することを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

犯罪の成立要件である構成要件該当性、違法性、責任についての基本的な問題は勿論、死刑、保安処分、児童虐待、家庭内暴力、ストーカー、少年犯罪や各種犯罪および犯罪被害者補償などについて扱っていきたいと思っている。おおむね以下のような進行予定である。

- (1) ガイダンス
- (2) 演習の運営について
- (3) 刑事法学の研究手法、文献、判例の調べ方
- (4) ～ (10) 各自発表テーマの設定と準備の仕方（レジメの書き方）
 - ・テーマ設定の理由
 - ・テーマの関する争点や問題点
 - ・テーマの関する学説の検討
 - ・テーマの関する判例の検討
 - ・テーマの関する諸外国の実態
 - ・テーマの関する自分の意見
- (11) ～ (25) 個別報告
- (26) 総括

履修上の留意点

演習は講義科目と異なり、ゼミナリストの主体的、積極的な参加により成り立つものであることを心がけて欲しい。

成績評価の方法

出席状況と平常点で総合評価する。

教科書

特に指定しない

参考書等

参考書は授業時に適宜指示する

その他

時間の許す限りにおいて、刑事裁判の傍聴や刑事施設の見学等を行いたい。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 基礎演習 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A2選 | | | | |
| 担当者名 | 富井 幸雄 <small>とみい ゆきお</small> | | | | |

講義のねらい

憲法の基本事項を習得するとともに、憲法判例の読み方を会得する。教科書の熟読、判例の熟読、報告と討論を通じて、難解な憲法の理論を自分の肉とするとともに、公務員試験等の憲法の問題を解けるまでの実力を養成することをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

教科書等のあらかじめ指定した箇所と判例を熟読した上で、受講生間で順番に報告し、それをもとに討論する。受講生主体で授業は運営され、教員は時々質問をしてさきやかに演習に参加する。

教科書の理論を受講生同士の討論で確認し、関連する判例を検討して、憲法の理解を深めていく。

前期は、憲法の基本原理と統治機構（国会、内閣、裁判所）について勉強する。後期は人権（自由権、社会権、国務請求権、新しい人権）をカバーする。

法
律

履修上の留意点

演習なので出席しなければ意味がない。通年で5回欠席すれば、その時点で単位認定の資格を失うものとする。遅刻の扱いについては開講時に決める。十分な事前の準備と予習をし、演習には積極的に参加する。演習での発言の内容は問わないので臆することなく議論に参加してほしい。ただし、明らかに予習してこなかったと認められるときは減点の対象となる。

成績評価の方法

平常点（出席と演習での Academic Performance（演習での積極性））と、前期のテストと夏休みの簡単なレポートで評価する。割合は平常点が60%、前期テストが20%、レポートが20%とする。

教科書

教科書として、芦部信喜・高橋和之補訂『憲法』（岩波書店）と、憲法判例百選I・II（第4版）を使用する。

その他

公務員や法科大学院進学希望者を主な対象とするが、そうでないものでも憲法に関心がある者も歓迎する。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 基礎演習 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A2選 | | | | |
| 担当者名 | 向田 <small>むかいだ まさみ</small> 正巳 | | | | |

法
律

講義のねらい

この基礎演習では、3年次以降に民法や憲法などの専門演習に参加することを希望する学生を念頭において、私の専門である民法を中心に、民法、憲法などの近代法の基礎を学び、さらに近代法成立の基礎となった近代市民社会がいかに成立したかを検討していきます。民法、憲法などの近代法の基礎を学んで3年次以降の専門演習に備えること、さらにそれらの法律が生まれる基礎となった近代市民社会の政治的、経済的、思想的な特質を理解することが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

まず演習参加者全員で民法の基礎について書かれた文献などをあらかじめ読み、報告者を決めてその内容について発表をしてもらい、それをもとに全員で議論をします。これらの課程を通じて文献の探し方、レポートの作り方、発表や議論の仕方を学びます。これが基本となりますが、さらに演習中には高校時代に学んだ日本史、世界史などの社会科の知識を確認したり、大学に入ってから学ぶ経済学や政治学などの法律学以外の社会科学にも言及したりして、法と歴史、法と経済、法と政治などの関係について基礎的な理解を深めたいと思います。これにより大学の法学部における学習の体系化を図り、より実り豊かなものにしていければと思います。

履修上の留意点

民法など法律学の基礎をしっかりと学び、法律学の学習を将来の自己の進路希望に役立てることを真剣に考えている学生の演習参加を希望します。

成績評価の方法

出席、発表、議論参加などから総合的に評価します。無断欠席は厳に慎んでください。

教科書

演習の始めに指示します。

その他

コンパ、合宿を予定しています。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 基礎演習 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A2選 | | | | |
| 担当者名 | 和知 恵一 <small>わち けいいち</small> | | | | |

講義のねらい

本演習は、三年次以降における民法の専門演習に参加するために必要な基礎知識を整理・確認し、より高度な研究に対する準備を行うことを目的とする。判例や関連文献の収集方法および利用の仕方、レポート・論文の作成方法、報告・討論の仕方などの修得に努める。

講義の内容・
授業スケジュール

前半は、民法総則に関する基本的な事例問題をテーマとして、参加者全員にレポートを作成してもらい、割り当てられた数名のグループが報告を行う。その報告を基に、全員で議論する。
後半は、各人（グループ）が興味・関心を持った具体的事件について、それぞれがレポートし、全員で議論する。

履修上の留意点

全員がレポート作成・発表・討論に参加することが義務付けられる。したがって、自主性・積極性・責任感を持った、意欲有る学生の参加を期待する。又コンピューターを利用して、インターネットにアクセスし、判例や文献の検索を行うことも考えており、多少のコンピューターの知識があることが望ましい。受講前に学内コンピューター使用のIDを取得しておくこと。

成績評価の方法

受講態度、提出レポートおよび報告内容を総合的に評価する。（出席することは当たり前のことであり欠席は減点とする。）

教科書

法令集（六法）を必ず持参すること。その他については、授業中に適宜指示します。

その他

理由のない欠席があった場合は退ゼミしていただきます。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 基礎演習 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A2選 | | | | |
| 担当者名 | 村木 <small>むらき やすひさ</small> 保久 | | | | |

法
律

講義のねらい

刑法さらに法律の基本的な知識を確認するとともに、専門ゼミのために備えて、基本的な研究の方法—文献の調べ方・読み方、判例の調べ方・読み方、レジュメ・レポートの作成方法、報告の仕方—および論理的な思考方法を学び実際に行います。

講義の内容・授業スケジュール

主として刑法総論の基礎（因果関係・正当防衛と緊急避難など）をテーマに研究・報告・質疑を行います。

第1回 授業にあたっての注意を述べ、課題の分配などを予定しています。

第2回（第3回） 報告の例を示しゼミの進め方を学びます。

第3回（第4回）～ スケジュールに沿って担当者が報告しこれについて質疑を行う。

ゆとりがあれば、学生自らがテーマを選び報告してもらうことにします。

履修上の留意点

演習なので報告者以外の者も積極的に参加することが期待します。

報告者は報告1週間前に参加者に配付するレジュメを作成し提出すること。

成績評価の方法

平常点で評価します。出席および講義への参加の態度—（報告者としての）レジュメ・報告内容、授業時間における質疑—などにより評価します。

教科書

とくに指定しません。

参考書等

授業時間内に必要に応じて指示します。

その他

ゼミ形式でレジュメを配付します。

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 | | | | |
| 担当者名 | <small>こばやし ひろひと</small> 小林 弘人 | | | | |

講義のねらい

この演習は3年生を対象とする。ここでは、行政法のうち「行政作用法」および「行政救済法」分野の基礎的知識を深めることを目的とする。具体的には25～30の論題を事前に提示し、その問題を演習時間又はゼミ合宿などで検討する。なお、当然のことであるが、演習参加者の事前の準備および教場などでの活発な発言がとくに望まれる。

後期においては、公務員受験志望者の希望もとり入れたようなゼミにしたい。ゼミにとって必要なことからはすべて演習初日に説明する。

成績評価の方法

出席状況、ゼミでの報告、質問など総合的な観点から評価する。

参考書等

新山一雄著『行政法』（法学書院）1,800円

藤田宙靖著『行政法入門』（有斐閣）1,900円

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 | | | | |
| 担当者名 | 中田 <small>なかつ ひでゆき</small> 英幸 | | | | |

講義のねらい

本演習の目的は、財産法に関する判例を素材として、民法の解釈を学習することにある。紛争が発生した経緯を理解し、望ましい結論（法的判断）を考えることにより、法の運用を学び、法的思考を養う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、財産法に関する基本判例を演習の素材とする。演習参加者は、初回に報告する判例を選び、報告前にレジメの配布・参考文献の指定をすること。報告者は、演習での質疑応答を踏まえて、簡単なレポートを作成すること。

後期は、最近の判例（ジュリスト1313号の平成17年度重要判例解説の判例を候補とするが、他の最近の判例でも良い）を演習の素材とする。演習の進め方は前期と同様である。

前期・後期ともに、適宜基礎知識の確認を行う。

以上の内容は、演習参加者の希望や参加人数によって変更することがある。

履修上の留意点

毎回出席すること。演習では積極的に発言してほしい。

成績評価の方法

報告内容、演習での発言、レポートにより評価する。発言は、結論よりも、結論に至るまでの理由づけや思考過程を重視する。

参考書等

演習にて適時指示する。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 | | | | |
| 担当者名 | 早川 ^{はやかわ} 純貴 ^{としき} | | | | |

法
律

講義のねらい

当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成19年度の前期・統一テーマは「政策のあとさき」である。国の法律や地方自治体の条例などが成立した背景と、実際に政策として施行された後の効果・社会的影響（地元への影響）を調べ、立法者の意図と現実とのズレを分析し、なぜ違い（期待と結果のズレ）が生じたのかを考えてみたい（例えば大店法と地元商店街の衰退、農業補助金と日本の食糧自給率低下、情報公開と個人情報保護法のギャップ、建物規制と環境保護の難しさ、男女雇用機会均等法と女性の雇用の実情 etc.）。さらに、その法律や条令をどのように改正したら（あるいは実施の過程をどう工夫したら）所期の効果を達成できるかを議論してみよう。

履修上の留意点

当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、ここではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法

個々人の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。

教科書

教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | あいた としひこ 相田 敏彦 | | | | |

講義のねらい

一言でいえば、マスコミ、広告・広報、情報化がゼミのテーマである。マスコミは興味深いだけでなく、政治学の根底にかかわる領域である。テレビCMを含め、広告・広報はどんな企業・組織体にとっても重要な問題であり、実社会とつながりの深い実践的テーマである。パソコン・ケータイ・インターネットに象徴される情報化の急速な進行も、身近な生活から企業内にまでおよんでいる。メディア・広告・情報化の3領域のなかから、各自に、またグループ単位に好きなテーマを選択し、資料調べ・発表・討論などを行ないながらまとめてゆく。合宿やふだんの授業で友人との親しきが増すだけでなく、人前での発言・発表能力、ものを書きまとめる能力を2年次より一層高めくゆったり・楽しく・着実に>進展・燃焼する場としてのゼミにしたい。当ゼミの特徴を一言でいえば、おもしろさプラス実践性の高い役に立つ知識の習得プラスコミュニケーション能力の向上である。

法
律

講義の内容・授業スケジュール

<基礎演習>に記載の内容を参照。それをいっそう高度化したい。

成績評価の方法

平常点。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | あのの ひろゆき 青野 博之 | | | | |

法
律

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 民法に関する判例や事例を用いて、具体的な判断能力を養うことを目的とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 演習受講者をグループに分けて、そのグループ毎に、テーマを自由に選択する。テーマは民法に関するものであれば、分野は問わない。テーマは、判例から取り上げられることが多いが、マス・メディアで報道されたばかりのものでもよい。 |
| 履修上の留意点 | 担当グループは、テーマに関する資料の要旨（レジュメ）を少なくとも1週間前に配布すること。 演習をどのように進めていくかは、それぞれの担当グループにゆだねる。担当者が報告し、（指名しながら？）質疑応答する場合、担当者が裁判官の役割を果たし、他の者を原告・被告に分けて議論する場合などが考えられる。 |
| 成績評価の方法 | 出席して、しっかり発言をしたか、担当者として十分な準備をしたかなど総合して判断する。ゼミは、発言することがポイントである。そのことを基準として、成績を評価する。 |
| 教科書 | 指定しない。 |
| 参考書等 | 判例を扱うときは、民集（最高裁判所民事判例集）などの判例集を丁寧に読んでくること。 |
| その他 | 議論に積極的に参加し、たくさん発言する学生であってほしい。 希望者は、できれば、事前に先輩または私に演習の内容や進行方法を聞いておくとよい。その意味でも、履修前の見学はよい機会である。見学を歓迎する。 |

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | あらき まさたか 荒木 正孝 | | | | |

講義のねらい

会社法や手形・小切手法の講義、またはこれらを理解するのに必要な民法総則、物件法および債権法など各種の講義で聞いた個々の知識や考え方が本当に学生諸君の血となり肉となったかどうかは、実際に具体的な問題に取り組み、多くの人々が納得するような妥当な解決を導き出すことができるか否かにかかっている。この演習では、講義で修得した個別の知識を総合し、それをより深く理解し、十分に応用できる力をつけることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

この演習では、基礎的知識を確認する作業を常に心掛けながら、具体的には、会社法と手形・小切手法に関する裁判例の中から参加者が希望するテーマや課題について発表してもらい、そのレポートを中心に活発な議論を展開するという方法で進めます。本年度は、会社法の大改正にも相当の時間を割くつもりです。

履修上の留意点

参加者は、自分が発表を担当しないときでも毎時限必ず質問したり、問題提起をするつもりで予習し、積極的に発言するようにして下さい。演習では出席を重視します。夏季と冬季（学年末試験終了後）に合宿を予定しています。必ず参加して教場では望めない参加者間の全人格的な触れ合いを表現したいと思っています。

成績評価の方法

出席と平常の発言や活動を考慮して評価します。

参考書等

神作・藤田・江頭・岩原編『会社法判例百選』（有斐閣）、鴻・竹内・江頭・岩原・山下編『手形小切手判例百選』（5版）（有斐閣）などを予定していますが、その他については必要な都度指示します。

| | | | | | |
|------|----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | おう しあん 王 志安 | | | | |

法
律

講義のねらい

国際裁判および国内裁判の判例の分析を通して、現代国際法の適用過程を検証する。具体的に、慣習国際法が裁判においてどのように確認され、適用されるか、また条約がどのように適用されるかを実際の判例において分析する。そして演習を通して国際法に関する知識だけでなく、判例分析や報告書又は小論文の作成に関する知識および能力をも養っていただきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

テーマとして国家の領域紛争、国際法における承認および人権問題にかかわる判例を選定し、判例の読解および関連の参考資料の学習を通して国際法の適用における実情および問題を明らかにしていく。前期において特定の中心テーマを基準に選定された事例の勉強となるが、後半において参加者の関心を尊重して個別の判例の分析を中心に演習を行っていききたい。また、夏休みでは、原文（英文）の国際判例を読み解くための合宿を行う。

履修上の留意点

出席および配布された資料を事前に読むことを要求する。

成績評価の方法

演習への参加状況および報告に望む態度や積極性を考慮して評価する。

教科書

『判例百選国際法』（有斐閣）2001年

その他

ゼミに関する情報などは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | おおつか かつら 大塚 桂 | | | | |

講義のねらい

政治学における基礎的的原理的研究をおこないます。基礎研究にあたっては、古典的文献の取り組みが不可欠です。政治原理・哲学・国家論に関心のある学生の参加を期待します。

講義の内容・
授業スケジュール

I政治学の基本文献を輪読する。
II共通テーマを設定し、共同研究をおこなう（例えば、明治の政治家たち、自由主義の系譜）。
IIIゼミ生各自が定めた個人研究の発表とそれに対する指導をおこなう。

法
律

履修上の留意点

一定の読書と思索をつみかさねてきた学生の参加を切望します。政治学原論か現代国家論を履修し、私の政治学に対する姿勢を理解してくれる学生さん、いらっしゃい！

成績評価の方法

平常点

教科書

教員が準備し提供します。

参考書等

参考書として、拙著をあげておきます。図書館等で目を通しておいください。大塚『フランスの社会連帯主義』（成文堂）、同『ラスキとホップハウス』（勁草書房）、同『多元的国家論の展開』（法律文化社）、同『多元的国家論の周辺』（信山社）、同『近代日本の政治学者群像』（勁草書房）、同『明治国家と岩倉具視』（信山社）、同『明治維新の思想』（成文堂）、同『ヨーロッパ政治理念の展開』（信山社）。

その他

4年次生は就職活動を最優先させます。金銭的負担（OB会・合宿等）、規則、束縛は一切ありません。年1～2回のお食事会を開催しますが、教員がゼミ生をご招待いたします。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | おおみや たかし 大宮 隆 | | | | |

講義のねらい

家族法の研究上、知っておいてほしいと思われる裁判例をとりあげる。

履修上の留意点

予習が必要である。

成績評価の方法

年間を通して、総合的に評価する。

教科書

泉久雄他編『家族法基本判例32選』（信山社）2,500円

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | おおやま れいこ 大山 礼子 | | | | |

法
律

講義のねらい

この演習は、議会を中心とする政治制度について理解を深め、学生が主体的に考えるための基礎を築くことを目的としています。各自が意欲をもって積極的に参加することが条件ですが、自分自身で文献やインターネットを活用し、物事を調べる能力が身につくように配慮したいと考えています。また、自分の主張を他人に理解してもらうために必要な、論理の組み立て方、表現の仕方の学習も重視します。

3年次演習Iの後期に各自のテーマで5千字程度の論文をまとめ、4年次の演習IIでは3年次の論文をさらに発展させ、2万字程度のゼミ論文執筆に挑戦します。書く技術を修得してもらうため、細かく添削しますので、最後までやり遂げてください。

講義の内容・
授業スケジュール

3年次の前期は政治関係の基礎的文献を講読し、基礎知識を確認します。後期には学生が選択したテーマで報告を行ってもらい、4年次でのゼミ論文執筆につながるようにします。学生の希望によって、グループ研究や討論なども実施します。

4年次はゼミ論文の執筆を中心とする予定です。なお、個人研究のテーマは政治制度に限らず、広く政治に関わることであれば自由に選択可能です。

希望により、夏期の合宿または集中ゼミ、国会見学などを行います。

履修上の留意点

日頃から新聞の政治面の記事を読み、積極的に討論に参加すること。

成績評価の方法

平常点（ゼミ論文の評価を含む）。

そ の 他

無断欠席、遅刻厳禁。周囲の状況をよく見て、自分に求められている役割を積極的に果たすこと。ゼミのイベント時は原則として禁煙。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | かねこ しょうへい 金子 昇平 | | | | |

講義のねらい

本演習においては、行政上の諸制度、行政法規の仕組及び複雑多様な法現象を広範囲にとりあげ、現代のあるべき行政法理論について理解を深めていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

ゼミ生の関心のあるテーマについて、判例研究及び、学术论文の書評を行い、参加者全員と共に、議論をつくしたいと思っている。演習の内容については、例えば、環境の問題、教育の問題、公務員の問題、地方自治の問題、租税の問題、医療の問題、高齢者の問題、福祉の問題等である。

年二回、七月、二月にゼミ合宿を行い、研究の成果を発表し、討論を行う。

年二回、公的施設の見学会を行う。

履修上の留意点

ゼミ生は、あらかじめ該当する判例、法令等を読みこなして欲しい。六法を持参すること。判例、論文、法律を知ることだけではなく、現実の社会の実態についても、調査し、国・地方公共団体に出向いて、担当者と面会し、取材してもらいたい。

成績評価の方法

出席（ゼミ、見学会、合宿等）により評価する。

教科書

適宜指示する。

その他

発表者は、レジュメを作成し、論点及び、自分の意見を発表する。全員が、議論に参加出来ることを望む。

法
律

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | かわぐち ゆきみ 川口 幸美 | | | | |

講義のねらい

会社法の重要問題を中心に、判例・学説を検討することで、会社法制度についての基本的な理解を深めると同時に、事実から法的問題を発見し、問題を法的に分析して法的論理を展開する基礎的な力を身につけることを目的とします。そのため、判例研究と事例研究を取り混ぜながら、研究する予定です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期と後期に私の方から要項を配布し、演習の内容とスケジュールを相談します。基本的には、前期は、会社法総論、株式会社の設立、株式を、後期には、株主総会、取締役・取締役会を研究する予定です。夏は、合宿を行い、株式会社法に関する法律討論会や、最新判例の研究を行います。そして、2月にはゼミ会誌（昇山会誌—最新号は、7号です）を刊行します。

履修上の留意点

ゼミの議論に積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

レポーターとしての報告を中心に、平常点を加味して評価します。

教科書

『会社法判例百選』第6版（有斐閣）1,900円

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | 北野 <small>きたの</small> かほる | | | | |

法
律

| | |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 英米法の諸特徴について具体的に理解を深める。 |
| 講義の内容・ 授業スケジュール | ゼミ員全員で検討のうえ選んだテキストを輪読形式で読み進める。毎回担当を決め、テキスト内容のほか関連事項を調査・報告させ、それにつき全員で討論する。 |
| 成績評価の方法 | 演習I（三年次生）はゼミでの報告・発言をもとに平常点評価。 演習II（四年次生）は上記のほか卒業研究発表と卒業レポートにより評価。 |
| 教科書 | 提示する候補の中からゼミ員全員が検討して決定する。 |
| 参考書等 | 随時適宜紹介する。 |
| その他 | 十分な事前学習が要求される。受け身の出席はしないこと。 英米法の講義を受講済か、受講中であることが要求される（単位は修得していなくても構わない）。 |

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | こほり のりお 小堀 訓男 | | | | |

講義のねらい

国家は国際社会にあって、外部から受けるインパクトに対し、さまざまなアクションを引起す。これを国家の行動と呼ぶならば、国家は国際社会のなかで行動するための何らかの基準があるのではないか、という素朴な疑問をもって、戦争・紛争・国家間の経済問題・国家の統合などを研究の素材としてとりあげ、それらの事象を分析する。つまり、この演習では、国家には何らかの行動基準があるのではないかという問題意識をもって、諸種の国際事象を分析、考察する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回から第4回までの演習では、“国際政治とは、いかなるものか”をテーマに討論し全員が国際政治について共通の認識をもてるようにする。

第5回から第8回までの演習では、国家についての基礎的知識を得るために、国家論の諸説を整理する。殊に、国家・民族・階級について、各自研究し討論する。

第9回からの演習では、戦争・紛争・国家間の経済問題・国家の統合などの具体的な事象について、興味あるテーマを各自が選び、その現象を分析しながら、国家の内部に含まれている民族や階級が、その国家の行動にどのように作用しているかを考察し、国家の行動基準の法則性の有無を検討する。

履修上の留意点

問題意識を明確にもった学生の受講を希望する。殊に国家の政策決定について興味をもっている学生の受講をのぞむ。

成績評価の方法

講義中の発言、研究発表の内容で評価する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

演習に関連したビデオ（20世紀の戦争の記録など）を見る予定である。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | 佐藤 多美夫 <small>さとう たみお</small> | | | | |

講義のねらい

刑法を知るためには、犯罪について刑法総論及び各論で修得した基礎的知識を具体的に当てはめてみるのが有用である。しかし具体的事実を刑法の立場から眺めてみることは意外と難しいと思われるので、ひとつ一つ、一行一行、理解を得ながら進めることにする。

本演習の目標は結局のところ、具体的な事実^に刑法を適用して解決することにある。この目標を達成するためには、事実に含まれている刑法上の論点を抽出してその論点について自己の立場から態度決定して結論を提示することが必要である。一般的に結論には多角的・多面的な見方があり得るので相手の立場・考え方にも耳を傾けそれに対して自己の見解を論理的に主張し説得力のある反批判ができることが必要である。これにより自らの結論の妥当性を検証することができる。

講義の内容・
授業スケジュール

判例、事例を素材にして罪刑法定主義、因果関係、不作為犯、違法性、正当防衛、緊急避難、故意と事実の錯誤、過失犯、違法性の意識、責任能力、未遂、共犯、傷害罪、窃盗罪、強盗罪、詐欺罪などを扱う。

履修上の留意点

刑法に興味がある。
刑法がわかりたい。
刑法が知りたい。
刑法が使いたい。

成績評価の方法

レポート、発言、出席等を総合評価

教科書

刑法の基本書・判例集等 演習時間に随時指摘する。

その他

「見えざる刑法」が見えてくれば幸いである。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | 塩入 <small>しおひいり</small> みほも | | | | |

| | |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 行政法上の諸問題をとり上げて、演習を行います。他から教授されるだけの受動的な学問ではなく、判例及び学説を自分なりに分析・検討する作業を通じて能動的に研究し、報告し、且つ他の者と法律学的討論を行えるための能力を鍛錬することを目的とします。 |
| 講義の内容・ 授業スケジュール | 当演習は、学生諸君の主体性を重視し、基本的には、毎回学生一人一人に研究報告をしてもらい、報告後に全員でディスカッションする、という形式で行っていきます。テーマについては、行政法総則一般、行政訴訟法、行政手続法、情報公開法などの各分野から重要なテーマを選び、学生各自の希望を踏まえた上で割り当てます。 |
| 履修上の留意点 | 公務員、行政書士等の国家試験受験者には特に有意義であると思われませんが、それ以外の者でも無論履修可能です。 |
| 成績評価の方法 | 平常点（出席・報告・発言等）により成績評価を行います。 |
| 教科書 | 未定 |
| 参考書等 | 初回授業の際に紹介します。 |

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | たかはし ひろき 高橋 洋城 | | | | |

法
律

講義のねらい

この演習は、法律の解釈論や政策論の基礎となる原理的な議論に関心を持つ学生のために「法哲学演習」として開講するものである。「法律学の学習の中で培った知見を応用する」と同時に、それを「哲学や社会科学その他を含む広い文脈のなかで捉えなおすこと」、この両方が本演習の目標であるが、さらに社会科学的文章の扱い方に慣れることや、報告や討論の中で問題を掘り下げ能力の養成も本演習の中で心がけたい。

講義の内容・授業スケジュール

<基本方針> 1年間を通じて扱う統一テーマを設定して演習を進めていく。とりあげる内容は、現代の法的问题の検討を中心にする場合と、古典的文献精読を中心に進める場合と、年度ごとに重点の置き方を変えていく。2007年度は法思想史上の古典の講読を主体とする予定である。

本年度の具体的なテーマは演習開始時に相談の上決定するので未定であるが、参考までに過去にとりあげた題材やテーマを紹介しておく。

テーマの一例：配分的正義と福祉国家 公正の概念 平等論 格差社会 所有権論
購読文献の一例：J.S. ミル『自由論』、J. ロック『統治論』、ドゥオーキン『権利論』

<年間スケジュール> 前期は、選定した文献についての報告を軸にし、テーマに関する議論を参加者全員が共有することを目指す。後半は、そこから発展したテーマやさらに議論を深めるための文献を割り当て、より各参加者の関心に引きつけた報告を行なってもらう予定。

<運営方法> 毎回の演習は、報告・質疑・討論の形式で運営する。参加人数が多い場合には、報告者の他、あらかじめコメンテーターを指定する。

履修上の留意点

常に積極的に発言すること、おそれずに聞くこと、調べる手間を厭わないことを、演習参加者の姿勢として求める。

成績評価の方法

平常点（出席、報告および討論における発言を勘案して評価）と全日程終了後提出のレポートにより総合評価する。

教科書

特に指定しない。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | たけなか ちか 竹中 智香 | | | | |

講義のねらい

民法第4編の「親族法」と第5編の「相続法」は私たちの生活に最も身近な家族生活を規制する法律です。私たちの家庭生活を取り巻く環境は、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的変化、少子化・超高齢化、女性の社会進出、戦前の家督相続から庶子均分共同相続への変遷、近年増加してきた遺言制度の利用等々に対して、日々刻々と変化しつつあります。このような変化に対して親族法、相続法がどのように対応しているか、どのような限界があり、どのように改善を図るべきなのかについて、判例を題材にして、毎回学生諸君に報告をしてもらい、その報告をもとに参加者全員で検討・考察します。こうした作業を通して報告の仕方、議論の仕方、法的考察力等の取得を目指します。

法
律

講義の内容・ 授業スケジュール

〔前期〕 親族法における問題点
〔後期〕 相続法における問題点

履修上の留意点

講義とは違い、少人数で行う演習は、ゼミ生同士あるいはゼミ生と教員との議論が可能です。こうした議論をするためには、十分な準備とともに、毎回の出席することが大変重要となります。

成績評価の方法

報告の内容の評価以外に、毎回の出席と、出席時の参加の様子等を考慮して評価します。

教科書

『家族法判例百選 [第6版]』（有斐閣）2,200円

参考書等

内田 貴『民法IV 親族・相続』（東京大学出版会）3,500円

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | たけはな みつのり 竹花 光範 | | | | |

講義のねらい

世界の主要国——アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など——の憲法を比較考察することにより「日本国憲法」の正しい理解を行うとともに、それら諸憲法が定める制度——例えば、議会制度、内閣制度、裁判制度、人権保障の制度など——についても個別研究を行う。

法
律

講義の内容・
授業スケジュール

各自がテーマを設定し個人報告を行うことを基本とする。報告終了後、質疑を中心に全員で討論を行う。なお、合宿の際は、統一テーマを設定し、グループ報告を行うことを原則としている。

履修上の留意点

ゼミの運営はでき得るかぎり、学生の自主性にまかせているので、ゼミ活動に積極的に参加することのできる諸君の応募を期待する。

成績評価の方法

出席点やゼミ活動への参加度等を中心に総合的に判断する。

参考書等

必要に応じて適宜紹介する。

そ の 他

個人報告は義務ではない。従って希望者のみの報告となることもある。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | つるい しゆんきち 鶴井 俊吉 | | | | |

講義のねらい

本演習は、金融取引において重要な役割を担う担保制度に関する問題を検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度は、担保制度を理解するうえで必要な財産法の基礎的な問題を扱う。その方法は、具体的な事案を解決するにあたって、今まで学んできた民法の基本的な原理・原則をどのように活用し、法律構成として妥当な結論に導くかという、問題把握の仕方を重視する。単なる知識をつめこむというゼミではなく、柔軟な物の考え方のできる頭の訓練をしたい。

履修上の留意点

各自がテーマを設定し、個別報告を行い、それに対する質疑という形式で進めるので、積極的に討論に参加できる意欲ある学生を希望する。

成績評価の方法

課題に対するレポートとゼミでの平常点で評価する。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | なかはま よしあき 中濱 義章 | | | | |

講義のねらい

商法の重要問題を検討することを通じて、法制度の理解を深めると同時に、社会的史実から法的問題を抽出し、法的に分析し論理展開するための基礎的な力を身につけることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

商法、会社法、手形法・小切手法に関する重要判例研究または事例研究として毎回一つのテーマを取り上げ、報告者による報告の後、全員で討議します。
なお、参加者の希望によっては、前期に基礎的理解のための簡単な問題演習を行います。

履修上の留意点

参加者は、自分が発表を担当しないときでも、積極的に発言するようにして下さい。演習では出席を重視します。

成績評価の方法

出席と議論への参加態度、報告の内容で評価します。

教科書

必要に応じて資料を配付するほか、適宜指示します。

法
律

| | | | | | |
|------|---------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | にし おさむ 西 修 | | | | |

講義のねらい

私は、演習をつぎのように位置づけたいと考えます。すなわち、マスプロ教育に陥りがちな一方通行を補うべく、双方向性を大切に、履修生と教師、履修生同士のディスカッションを多用して、みずからを磨きあげる場であると。そしてそれは、たんに勉強ばかりでなく、合宿などを通じて、心のふれあいのなかから、あらたな自分を見つけたす場でもあると。こんな場にするために、私はつぎのような方針でのぞみたいと思っています。

- (1) ゼミのモットーは「出会い、学び合い、そして人間愛」です。
- (2) とくに少人数の場合、日々のふれあいが大切なので、毎回、出席すること。
- (3) ディスカッションには、積極的に参加し、かならず発言すること。

講義の内容・授業スケジュール

前記と後期に分け、前期は1、2冊の本を精読し、それについてディスカッションをします。共通に読む本は開講時に指定。またディスカッションの内容としては、(1) 日本国憲法の成立過程とその法的問題点、(2) 憲法第9条をめぐる諸問題、(3) 世界の憲法トレンド、(4) 人権の現代的意味などを考えています。その他、年に1～2回の合宿を行います。また合宿中に私の落語を聴かされることがあります。

成績評価の方法

出席、発言、課題論文などを総合的に判断する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

適宜紹介する。

| | | | | | |
|------|----------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | ほらだ けいいちろう 原田 啓一郎 | | | | |

法
律

講義のねらい

講学上の理論に終始せず、現実社会に軸をおいて、理論と現実の乖離や接点を認識しながら、社会保障に関する法的問題を受講生が主体的に検討することにより、社会的事実^①に即しながら法学的討論ができる能力を涵養することを目的とする。その際の検討素材として政策論議や裁判例などがあるが、フィールドワークや関係機関・当事者へのヒアリングといった手法で積極的に社会保障の現場に飛び込むことにより、社会保障の法的問題を実感・抽出することを忘れてはならない。

講義の内容・
授業スケジュール

社会保障法の各領域（年金・医療・福祉・生活保護・雇用・労災など）の基本的な学習を行ったうえで、受講生と相談をして決定する。
社会保障関係の行政機関、政策担当者、施設、社会保障受給者／利用者等へのヒアリングを通して、随時「社会」と接する機会を設ける。その一環として、社会福祉法人・世田谷ボランティア協会との連携により、世田谷区内の病院・福祉施設での施設体験学習を実施している。

履修上の留意点

社会保障法の修得にあたっては、憲法・行政法・民法・労働法等といった主要な法分野の素養が必要である。ゼミへの参加のみならず、他の法分野の積極的な学習が望まれる。
ゼミでの検討成果は、ゼミ論文としてまとめることを予定している。

成績評価の方法

平常点（ゼミ論文の成果を含む）

そ の 他

当演習では、受講生の積極的な勉学態度が要求される。①法的に重要な事実^②は何か、②問題点をどのように抽出するのか、③問題点についてどのような理論的解決を図るべきか等について、自分の頭で考えてみる^③ことが求められる。
仲間との連帯と社会性を身につける機会として、ゼミ合宿（年2回）やゼミコンパを積極的に^④行っている。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | ひかさ かんじ 日笠 完治 | | | | |

講義のねらい

研究会としては、最新の憲法問題を常にフォローすることを目標とする。一方、教育的には、受講者各自が関心のある憲法問題について研究する能力を身につけることを目標とする。担当者としては、一生涯にわたって付き合いのできる仲間づくりを考えている。

講義の内容・授業スケジュール

第1段階は、社会事象への深い関心の惹起、憲法学の基礎能力の修得（教科書レベル）。
第2段階は、専門書や法律雑誌掲載の論文を理解する能力の修得（社会で通用するレベル）。
第3段階は、各自が専門的な意見を発信することができる能力の獲得。

履修上の留意点

積極的で責任感のある学生諸君の演習参加を期待している。研究会参加者の共同学習によって、法学検定試験、行政書士試験などにも挑戦していただく。演習Iと演習IIは続けて履修してもらいたい。

3年次は個別演習を繰り返し行い、基礎力を充実する。

4年次は各自の研究関心により卒業論文を作成する。

成績評価の方法

3年生は、日常の研究活動について、積極性、成果などにに基づき評価する。

4年生は、主として卒業論文を評価の対象とする。

教科書

特に指定しない。前提としては、1年次学習した日笠完治『憲法がわかった』（法学書院）は、復習をしておいてほしい。

参考書等

近年利用したものとしては、

- ①赤坂・大沢・井上・工藤『ファーストステップ憲法』（有斐閣）
- ②大沢秀介『はじめての憲法』
- ③小林孝輔『憲法演習自習セレクト50』（一粒社）
- ④高橋・大石『憲法の争点』（有斐閣）
- ⑤芦部信喜先生、佐藤幸治先生、樋口陽一先生など大家の教科書などがある。

その他

ゼミの年間行事としては、

- ①新入ゼミ生歓迎会（4月）
- ②前期打ち上げ（7月）
- ③夏合宿（9月）
- ④バーベキュー大会（11月）
- ⑤後期打ち上げ（1月）
- ⑥ゼミ論集『自由と権利』発行（2月）
- ⑦卒業論文集完成（2月）
- ⑧春合宿・4年生の歓送会を兼ねる（2月か3月）などがある。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | ふじもと しげる 藤本 茂 | | | | |

講義のねらい

わが国雇用社会は、経済構造の変化に伴う雇用システムの変容、少子高齢社会の到来、労働者意識の多様化などにより大きく変わろうとしています。最近の労働基準法改正、労働契約法制、個別労働紛争処理制度などに関する議論はその表われです。この現代労働法の対象である雇用社会を知り、今までの労働法理の基礎を自ら学びとる場が演習だと思っています。

法
律

講義の内容・
授業スケジュール

本演習では、テーマを各自受講生が関心のあるところから、自ら選択し勉強し、理解を深めたところで発表し、議論する方法をとっています。特に発表し議論するところに重点を置いています。

夏季には研究合宿を行ないます。

履修上の留意点

演習のいいところは、大いに勉強し、恥をかくところにあります。出席は大前提。評価はそのあと。

ゼミ運営に積極的に関わることも大切だと考えています。

講義科目として、憲法、民法総則、債権総論・各論、社会保障法、社会政策は、ぜひとも、履修してください。

成績評価の方法

出席、積極的発言、ゼミ運営への積極的参加など。平常時の積極的な姿勢で評価します。追試はありません。

教科書

開講時に話しをします。

参考書等

必要に応じて、〈調べ方〉を教えます。参考書というより法律雑誌の論文等が重要になります。自分で探ることが勉強の第一歩と思っています。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | まつむら いたる 松村 格 | | | | |

講義のねらい

刑法総論の講義で学習したことを基礎にして、具体的な事例をどのように解決すれば、刑法の基本原則に反することなく刑法の使命（法益保護・人権保障・秩序維持）に適うかを考えることを目的とします。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期の前半に、刑法総論の基本的事項について総復習します。毎回全員に質問することによって、刑法総論の理解度を確認します。理解度が足りない学生は履修を断ります。前期の後半以降は、各人が最も関心のある問題点ないし争点を選び、それについて研究したことを発表し、各人の質疑応答によって研究を深めていきます。

履修上の留意点

刑法総論の単位を取得していなければ履修することはできません。毎週、基本書・参考書・判例解説書・六法全書・ノートを携帯して出席してください。参加することが不可欠ですから、理由なき欠席は許しません。毎回必ず何らかの意見を（その是非・妥当性は別として）主張することを義務とします。意見表明のない学生には、履修途中でも脱退してもらいます。

成績評価の方法

普段の授業における予習・復習の内容、質疑応答回数と内容、研究発表の内容によって評価します。試験はしません。

教科書

松村ほか『刑法総論』ミネルヴァ書房（3800円）
別冊ジュリスト『刑法判例百選I総論【第五版】』有斐閣

参考書等

参考書は予定しない。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | まつもと ひでとし 松本 英俊 | | | | |

法
律

講義のねらい

演習I・IIでは、刑事手続全体を概観した上で、捜査および公判段階における問題を扱う。判例を中心に具体的事例に則して、捜査・公判段階の主要な論点について、問題の所在や学説などを検討し、解決の展望を探る。

講義の内容・
授業スケジュール

前期はテキストや基本書の輪読を中心に行い、刑事訴訟法の基礎的な知識を身につける。後期は判例百選や判例集掲載の主要判例や比較的最近の判例を素材に、事例研究を行う。

履修上の留意点

刑事訴訟法、刑法、刑事法関連科目を履修していることが望ましい。
担当者の報告に基づいて全員で議論するが、報告担当者以外の者も毎回のテーマについて事前に準備して、自分の見解を持った上で参加し、議論に際しては積極的に発言すること。

成績評価の方法

授業での報告および発言などにより、総合的に評価する。適宜、レポートを課し、その結果も参考とする。

教科書

未定

参考書等

松尾浩也・井上正仁編『刑事訴訟法判例百選（第七版）』（有斐閣）2,100円

その他

報告者を決め、報告者は論点の整理と検討のための素材を十分な事前準備の上、報告する。授業では、報告者の報告に基づいて、全員で討論を行う。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | 三竹 直哉 <small>みたけ なおや</small> | | | | |

講義のねらい

比較政治学的な研究を自らやってみる演習です。

講義の内容・ 授業スケジュール

年によって、参加者によって異なります。個人研究中心ですが、原則として研究テーマは比較政治学やその他三竹担当の授業内容に関連したものとします。下記授業用ホームページで確認してください。

履修上の留意点

たくさん書き、本や論文にたくさん接し、図書館にたくさん行ってもらいます。そういうことが「楽しい」と思う人向けの演習です。

この演習の内容は、下記のホームページで詳しく見ることができます。現在履修している学生のみなさんの様子もわかりますし、履修にあたって必要な条件も書いてありますので、私の演習に応募される方は、<必ず>参照して下さい。

4年次にも必ず履修登録し、就職活動と両立させ、最後まできちんとゼミを続けることも条件のひとつにしています。

成績評価の方法

平常点と論文によります。詳しいことは下記サイトをご覧ください。

教科書

たくさんあります。その都度、指示します。

参考書等

その都度、指示します。

その他

授業用ホームページ：
<http://www.jj.em-net.ne.jp/~bamboos/>

URLが変更になる可能性があります。その場合、Googleなどで三竹直哉と入れて検索してみてください。見つからなければ、下記までメールでご連絡ください。

mitake@komazawa-u.ac.jp

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | むかいだ まさみ 向田 正巳 | | | | |

講義のねらい

本演習では、判例研究を通じて、民法を基礎から学びます。民法の基本判例を読みながら民法における基本的なものの考え方、法的思考の基本を学び、演習参加者が裁判実務、ビジネス法務実務、行政実務等それぞれの進路においてその知識を活かす術を学ぶことが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

まず判例百選等でとりあげられるような基本判例を読みながら民法の基礎的な論点を学習し、それを通して判例の読み方、教科書のまとめ方、本文などの資料調査と研究報告の方法について学びます。次に10月くらいからになると思いますが、最高裁判所民事判例集等から最新の判例をゼミのグループ単位で選び、判例のなかから民法解釈上の論点を抽出し、従来の学説、判例に照らし合わせながら検討するという作業を行います。最後に時間があれば参加者が各自、関心のあるテーマにつき個別に報告、レポートを提出してもらいます。

履修上の留意点

民法の基礎をしっかりと学び、民法の学習を将来の自己の進路希望に役立てることを真剣に考えている学生の演習参加を希望します。

成績評価の方法

出席、発表、議論参加などから総合的に評価します。無断欠席は厳に慎んでください。

教科書

演習の始めに指示します。

その他

コンパ、合宿を予定しています。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 法A3選 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | やまぐち くにお 山口 邦夫 | | | | |

講義のねらい

1・2年次において、刑法総論及び刑法各論ともに履修済みの3年生を中心に進める刑事法演習である。当然、少年法をも含む、刑事政策的な問題意識を持つことが望まれる。

講義の内容・授業スケジュール

1年間を下記の4期に分けて、討論の問題を考えている。
第I期（4・5月）罪刑の法定をする政治的意味及び犯罪不成立の事由について。
第II期（6・7月）刑事責任のとらせ方と少年事件における、いわゆる保護処分について。
第III期（9・10月）生命・身体に対する侵害犯罪と財産犯の諸問題について。
第IV期（11・12月）いわゆるセクハラ問題と性犯罪との関連と峻別について。

履修上の留意点

毎時間出席し、討論に積極的に参加できる者が望ましい。また年4回ぐらい発表の機会があるので、自分の意見を発表する能力が必要である。

成績評価の方法

演習の成績評価は、講義科目と違い試験は行わない。毎回発表する際のレジメの作成及びその発表内容、さらに他人の発表に対しての討論の仕方・内容などを総合して評価する。したがって、一ヶ年、出席すれば、単位取得については問題はない。

教科書

判例を中心に、法解釈を考えるので判例集そのものが教材になる。判例を解説した書物なども参考になるが、毎時間、資料については、注意するので、あらかじめ指定する書物はない。

| | | | | | |
|------|-----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | 小林 弘人 <small>こばやし ひろひと</small> | | | | |

講義のねらい

この演習は、原則として、私の演習Iを履修した4年生を対象とする。内容は、行政法の全領域におよび、行政法総論の知識の再確認を行う。具体的には、演習参加者各自に研究テーマを設定してもらい、その設定されたテーマについて、演習時間又は合宿等で発表を義務づける。

なお、前期においては要望があれば、各種公務員試験のための「技術的指導」を行うことも可能である。

演習に必要な文献、その他の事項については、すべて演習初日に指示する。

成績評価の方法

出席状況、ゼミでの報告、質問など総合的観点から評価する。

法
律

| | | | | | |
|------|----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | 早川 純貴 <small>はやかわ よしき</small> | | | | |

講義のねらい

当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成19年度の前期・統一テーマは「政策のあとさき」である。国の法律や地方自治体の条例などが成立した背景と、実際に政策として施行された後の効果・社会的影響（地元への影響）を調べ、立法者の意図と現実とのズレを分析し、なぜ違い（期待と結果のズレ）が生じたのかを考えてみたい（例えば大店法と地元商店街の衰退、農業補助金と日本の食糧自給率低下、情報公開と個人情報保護法のギャップ、建物規制と環境保護の難しさ、男女雇用機会均等法と女性の雇用の実情 etc.）。さらに、その法律や条令をどのように改正したら（あるいは実施の過程をどう工夫したら）所期の効果を達成できるかを議論してみよう。

履修上の留意点

当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、ここではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法

個々人の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。

教科書

教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

| | | | | | |
|------|-------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 法A4選 | | | | |
| 担当者名 | 眞下 英二 | | | | |

講義のねらい

現実の政治・行政の観察・問題発見・提案能力を培うことを目的とする。
田丸ゼミの学生を対象に、卒業論文の作成、あるいは研究発表の完成に向けて取り組みます。

履修上の留意点

無断欠席は認められません。やむを得ず欠席する場合には、必ず事前に連絡を入れること。

成績評価の方法

平常点

教科書

特になし

法
律

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 外書講読I (英書) 外書講読II (英書) | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 法A3選 法B3選 法A4選 法B4選 | | | | |
| 担当者名 | 王 志安 | | | | |

講義のねらい

国際法にかかわる入門的英文教科書、国内・国際裁判の判決原文を講読することを通して、法律文書によく使われる基礎的な表現法、専門用語および英米や国際裁判判例の基本構造を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では主に入門的教科書を中心に、専門知識を表現する英文になれることに重点を置き、文書の翻訳、解説を通して英語と専門知識を習得してゆく。後半では前期の勉学を踏まえて、英米の国内裁判の判決および国際司法裁判所の判決を選定し、翻訳を通して判決文の基本構造、専門用語および特徴を勉強する。

履修上の留意点

国際法にかかわる外書の購読となるので、国際法の講義を習得したことが不可欠です。また、英文の新聞紙をだいたい読める程度のレベル英語能力をもつことが望ましい。
尚、少人数の教育となるので、興味をもって必ず参加するという積極性をもつ学生が期待される。

成績評価の方法

講義への出席状況、担当された翻訳作業の完成度、講義における参加の積極性を中心に、総合的に判断する。

教科書

開講時にプリントを配布する。

参考書等

開講時に指定する。

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 外書講読I (英書) 外書講読II (英書) | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法B3選 法A4選 法B4選 | | | | |
| 担当者名 | 金子 昇平 | | | | |

講義のねらい

講義のねらいは、アメリカの憲法や法律、あるいは重要と思われる論文や判例を読むことによって、単なる法知識を得ることのみならず、その基本的な考え方をつかみとっていききたい。すなわち英語を読むだけでなく、考える講義をしていきたい。

そのためには、基礎的学習として法律英語を知ることであり、英単語やテクニカル・タームを豊富に身につけることである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、主にアメリカ合衆国憲法等の基本的なものを選び講読する。憲法は、構成要素としての統治機構（立法権、行政権、司法権）や、基本的人権について、どの様に規定しているのか、それぞれの意義及び内容について検討してみる。

後期は、受講生の希望をとり入れながら、あらためて指示したい。

履修上の留意点

英和辞典（和英辞典）は、持参すること。英単語の意味がわからないからこそ、辞典が必要である。受講生は、出来るだけ多く、辞典に当たることを身につけて欲しい。

成績評価の方法

講義への出席状態と、発表の評価で成績評価を行う。

教科書

開講時にプリントを配布する。

参考書等

講義内容に応じて適宜指示する。

| | | | | | |
|------|----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 外書講読I (英書) 外書講読II (英書) | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法B3選 法A4選 法B4選 | | | | |
| 担当者名 | <small>かわぐち ゆきみ</small> 川口 幸美 | | | | |

講義のねらい

この講義では、まずは法律に関する英文に慣れ、法律用語等の基礎知識の習得から始めて、最終的には初歩的な英語の学術論文を読みこなすことを目的とする。また、法と経済学の視点から見た日本の法制度の矛盾や問題点について議論し、それを通じて日本の法制度について理解を深めることも期待する。

法
律

講義の内容・
授業スケジュール

複数の著書あるいは論文から、受講者の希望を参考に、いくつかのテーマをとりあげて、毎回担当者を決めて、翻訳と解説をしてもらう。

履修上の留意点

基礎的な英文読解力に加え、報告担当者は担当部分の全訳と内容について補足説明できるよう下調べをしてくること。報告内容が不十分であればやり直しさせることもあるので気をつけること。また他の受講生も内容について必ず予習をし、質問および感想を提示できるよう準備しておくこと。

成績評価の方法

出席と報告内容および質問・意見等、平常時の受講態度で評価する。

教科書

Curtis J. Milhaupt & Mark D. West, *Economic Organizations and Corporate Governance in Japan* (Oxford, 2004).
Ramseyer, J. Mark/ Nakazato, Minoru, *Corporate Governance in Japan Japanese Law: An Economic Approach* (University of Chicago Press, 2001).

参考書等

辞書、参考書、辞典等については随時指示する。

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 外書講読I (独書) 外書講読II (独書) | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法B3選 法A4選 法B4選 | | | | |
| 担当者名 | まつむら いたる 松村 格 | | | | |

講義のねらい

ドイツ語の法学文献を読むことを通して、ドイツ人の法的感覚・法意識・法理論の構成を学習し、日本人のそれらと比較することによって、日本と日本人の法意識についての長短を知ることがを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

ドイツ語の法学文献を逐条解釈していきます。私が毎週指定した範囲の文章について、受講生が予習してきて全員が順番で翻訳発表することになります。そして、解釈の是非を相互に指摘しながら読み進めます。

履修上の留意点

毎週出席して参加することが不可欠です。日本の法学・法哲学・法理論の基本書を参考にしながら、講読すると理解しやすいです。ドイツ語の文法書と独和辞典を常に携帯してください。ノートに原文と訳文を筆記することも良策です。

成績評価の方法

普段の予習・復習の態度と講読力および出席回数によって評価します。

教科書

未定。第1回目の授業に配布します。

参考書等

未定。

法
律

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 外書講読I (仏書) 外書講読II (仏書) | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法B3選 法A4選 法B4選 | | | | |
| 担当者名 | たかの ゆうじ 中野 裕二 | | | | |

講義のねらい

比較的平易なフランス語で書かれた文献を読むことで、フランスの法律・政治に関する知識を深めることを目的とします。フランス語の授業ではありませんので、初級程度のフランス語ができることを前提に授業を進めます。

講義の内容・
授業スケジュール

この講義は、法律学科・政治学科に同時に開講されているので、フランスの共和制の原則、統治機構、人権などに関する文献を読んでいきます。

まず、フランス語を正しい日本語に翻訳し、文法などを確認し、次にその内容について確認していきます。

受講生が初級程度のフランス語が理解できているかどうかを確認するため、第1回目の授業では簡単なテスト(仏語検定4級程度)を行います。

履修上の留意点

初級程度のフランス語を理解していること。

成績評価の方法

期末試験を実施します。期末試験を6割、出席状況、発表内容を4割の比率で成績評価とします。

教科書

受講生の読解力によって教材を選びますので、現在は未定です。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 外書講読I (中国書) 外書講読II (中国書) | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A3選 法B3選 法A4選 法B4選 | | | | |
| 担当者名 | こうりん ひでもと 江林 英基 | | | | |

講義のねらい

現在の中国は経済の改革・開放政策をとっており、これを実現するため、1982年に四回目の新憲法を制定・施行し、その後数回にわたる改正を行った。その他の法律もこの憲法に基づき、“雨後春筍”のようにつぎつぎ公布された。“一衣帯水”の隣国である中国を認識することが必要である以上、その法制から着手しなければならないのである。

法
律

講義の内容・
授業スケジュール

この授業は中国憲法138条の条文に書かれている中国の内政と外交方針、国民の基本権利と義務、人民代表大会の権限、人民政府の組織などを主な内容とする。

履修上の留意点

授業の進度は一週間5ページ程度である。学生諸君に朗読させ、法律用語、条文の構造（文型）を説明しながら立法理由と現在状況を論評する。

成績評価の方法

出席率、学習態度、レポートなどを判断基準として総合的に評価する。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

江英居著『中国憲法』（大学書林）3,500円、『中華人民共和国法律匯編』（北京人民出版社）

その他

学生への要望：授業中私語禁止。

| | | | | | |
|------|-----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 登記法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A34選 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | たぬま ひろし 田沼 浩 | | | | |

講義のねらい

初めて登記法を学ぶ者にも、以前勉強したことのある者にも、民法・会社法・商法の手続法としての「不動産登記法・商業登記法」が現在の取引社会においてどのような役割を担っているのか、両法のより深い理解を図ります。また、登記簿等のオンライン閲覧や今後予想されるオンライン登記申請に伴う情報リテラシー（活用）能力を養います。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）（1・2）登記法概論（3）不動産登記法総則・商業登記法総則（4～6）民法典物権編総則にかかる不動産登記（7～9）所有権にかかる不動産登記（10～13）民法典相続編にかかる不動産登記（後期）（14～18）担保物権にかかる不動産登記（19）会社法第四章登記、商法第三章商業登記（20～25）会社法にかかる商業登記（26）まとめ

履修上の留意点

不動産に関する取引全体の流れに対して、情報として重要な役割を果たす不動産登記を理解することを目指し、会社法と相関させることによって会社の起業や取引先の情報収集に役立つ商業登記法の知識を最低限習得できるように努めます。受講者は民法典第二編物権、第三編債権、第五編相続、会社法の履修を望みます。また、この講義を受講することが望ましい者として、将来、不動産・金融関係の会社に就職を希望する者、起業して自営業を目指す者、そして司法書士試験を受験したいと考えている者に限らず、広く対象とします。

成績評価の方法

学年末試験の結果と提出物（前期レポート）の内容に依拠して行います。問題作成及び成績評価にあたっては、講義に積極的に参加した人が有利になるように配慮します。

教科書

『窓口の相談事例にみる事項別不動産登記のQ&A180選』（日本法令不動産登記研究会編）2,200円

参考書等

法務省民事局編『不動産登記実務 [五訂版]』（法曹会）4,000円模範六法 三省堂5,460円

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 税法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A34選 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | なかえ ひろゆき 中江 博行 | | | | |

法
律

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 現代生活においては、我々は租税に無関心であることはできない。なぜならば、日常生活では取引・契約は必ず発生し、そこには、通常、課税関係が生じる。 そこで、本講義では、租税の機能・役割から、租税法上の考え方を身につけてもらう。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | (前期) 1. 租税の目的・意義 2. 租税法主義の原則と租税回避について 3. 所得概念と所得税の基本構造 4. 税務調査 (後期) 1. 相続税法の基本構造 2. 法人税の課税根拠と企業利益 3. 消費税法のしくみ |
| 履修上の留意点 | 会計学、財政学、簿記学等の科目の履修が望ましい。またレポートの提出を随時求めるが、提出がない場合には期末試験の受験資格を失うこともあるので注意すること。 |
| 成績評価の方法 | 講義中に課すレポート及び期末試験の結果を総合して評価する。(定期試験60%、レポート30%、講義の参加態度10%) |
| 教科書 | 中江博行『法人税法講座』(税務経理協会) |
| 参考書等 | 六法(税法掲載のもの)、別冊ジュリスト『租税判例百選』第4版(有斐閣) |
| その他 | 随時、税務・会計に関するメディア情報を取りあげる。世の中の動きに注意を払って貰いたい。質問は、原則、講義終了時に行うが、E-mail・ip5@p-five.comでも受け付ける。 |

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 地方自治法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A34選 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | とみい ゆきお 富井 幸雄 | | | | |

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

法
律

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻りに法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成19年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 環境法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A34選 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | なかつ たかひと 仲田 孝仁 | | | | |

講義のねらい

本講義の目的は、受講者に広く環境問題に関心を持たせることは言うまでもなく、「環境法」の法的枠組みを理解させ、「法」という道具を用いることで、各人が環境問題への具体的解決策を導くための糸口を与えることにある。履修者諸君には、本講義の履修後に、環境問題を一歩踏み込んで解釈・分析する視点を持つことが期待される。

講義の内容・
授業スケジュール

環境法に係る共通的な法理論・原則を概説した後、個別的な実定環境法へと講義内容を展開する。1. 開講の辞、2. 環境法の歴史、3. 環境法の諸原則、4～5. 公害対策基本法から環境基本法へ、6～9. 廃棄物・リサイクルと法（(1)～(4)）、10. 化学物質管理と法、11～13. 大気・水・土壌環境保全と法（(1)～(3)）、14～15. 自然環境保全と法、16～17. 環境影響評価と法、18～20. 環境紛争と司法的・行政的解決（(1)～(3)）、21. 道路公害訴訟の現状と課題、22. 環境行政組織／公害紛争処理と環境ADR、23～24. 地球温暖化対策と法、25. 環境法における市民の役割、26. 最終講—環境法の未来

履修上の留意点

学生諸君との対話を重視し、頻繁に発言やメモの提出を求める。講義自体はパワーポイントやビデオ等を用い、視覚に訴えることで分かりやすさを心がけたい。講義内容は基礎的な事項を中心に進めるが、最新判例や理論の動向も加味していく。また、具体的な事例を取り上げ、それらの問題の所存や解決策を諸君とともに模索していく。

成績評価の方法

期末試験の成績（80％）及び平常点（出席点・発言点・レポート、20％）を総合的に評価する。詳しくは、開講時に説明する。

教科書

使用しない。

参考書等

別冊ジュリスト『環境法判例百選』（有斐閣）2004年等。
その他は授業時に指示する。

その他

講義においては、レジュメを配布する。

| | | | | | |
|------|---------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 経済法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A34選 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | わかばやし ありさ 若林 亜理砂 | | | | |

講義のねらい

経済法の中心をなす独占禁止法を理解をすることを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

講義の内容・授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

法
律

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教科書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参考書等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

その他

授業は毎回配布するレジュメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 消費者法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A34選 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 向田 <small>むかいだ</small> 正巳 <small>まさみ</small> | | | | |

講義のねらい

本講義では、民法の特別法としての消費者法についての概説を行います。消費者法という法典があるわけではありませんが、消費者を保護し、その権利を守るための法としてはさまざまなものがあります。私たちは消費者として生活に必要な商品を購入しながら暮らしていく中で、さまざまな法的トラブルに直線します。消費者を保護する法として、どのようなものがあるかを知ることは、健全な社会生活をおくる上で、とても大切なことです。本講義では民法についての基本的な知識を確認しながら、商品を買うときにだまされたとき、欠陥商品を買ってしまったときなど、消費生活上のさまざまな法的トラブルにいかに対処すべきか、事例を用いながら学んでいくことにします。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義では前期に主に製造物責任法を、後期に主に消費者契約法を検討します。基本的な授業の進め方は以下の通りです。

前期：製造物責任法について

- 1 民法と製造物責任法
- 2 民法における不法行為責任についての確認
- 3 製造物責任法についての各論点の検討

後期：消費者契約法について

- 1 民法と消費者契約法
- 2 民法における契約責任についての確認
- 3 消費者契約法についての各論点の検討

履修上の留意点

消費者法は民法の特別法ですから、本講義の履修者には当然のことながら民法の基礎知識が必要となります。履修者は消費者法の各論点を検討する際には、必ず民法の体系を念頭においた考察をするように心がけてください。

成績評価の方法

期末試験と小テストによって評価します。

教科書

未定。授業の始めに指示します。

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 知的財産権法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A34選 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 盛岡 <small>もりおか</small> 一夫 <small>かずお</small> | | | | |

講義のねらい

知的財産権法には、狭義の工業所有権法（特許法・実用新案法・意匠法・商標法）の他に著作権法等が含まれている。知的財産権法は知的所有権法または無体財産権法といわれることもある。

知的財産権法全般についての基礎理論を理解できるように、わかりやすく講義したいと考えている。学説・判例の対立している点については、これに関連する学説・判例を紹介し、問題点の所在をあきらかにしたい。

特許法においては、発明の定義、特許を受けるための要件、従業者が発明をした場合の法律関係、特許権の侵害に対する救済方法、実施契約等について、実用新案法においては、特許法との相違について、商標法については、商標登録要件および類似商標について詳しく解説する。著作権法および不正競争防止法についても講義する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：4月・5月・6月 特許法・実用新案法、7月 意匠法
後期：9月・10月 商標法、11月 著作権法、12月 不正競争防止法

成績評価の方法

後期に行なう平常試験および学年末試験によって評価する。

教科書

盛岡一夫『知的財産法概説』（法学書院）

参考書等

特許庁編『工業所有権法逐条解説』（発明協会） 中山信弘『工業所有権法上』（弘文堂）
鴻・紋谷・中山編『特許判例百選』（有斐閣） 斉藤・半田『著作権判例百選』（有斐閣）

| | | | | | |
|------|-----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 民事執行・保全法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A34選 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 福永 <small>ふくなが</small> 清貴 <small>きよたか</small> | | | | |

講義のねらい

本講義では、民事執行・民事保全の両手続のうち、とくに民事執行手続を中心に、その解釈上の重要問題と全体構造の理解を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、まず総論として、判決手続・執行手続・保全手続の概要や執行手続の種類・態様、民事執行手続の理念・基本構造等について説明する。その後、各論として、強制執行手続（債務名義・執行文・執行関係訴訟等）と担保権実行手続とを比較しながら講義する。後期後半には、民事保全手続（保全命令の発令手続・保全執行手続）について講義する予定である。

履修上の留意点

民法（特に債権法・担保物権法）および民事訴訟法を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

前・後期の期末試験の成績によって評価する。

教科書

『わかりやすい民事執行法・民事保全法』生熊長幸 著 成文堂 3,300円＋税
ISBN4-7923-2500-5

参考書等

「民事執行法判例百選」。その他適宜紹介する。

その他

授業方法は、講義形式である。但し、受講生が少数の場合は、ゼミ形式で行うこともある。適宜、プリントや資料を配布し、毎回具体的な事例を題材として講義する予定である。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 倒産処理法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A34選 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 鈴木 貴博 <small>すずき たかひろ</small> | | | | |

講義のねらい

破産法を中心に倒産法制の概要とその基本事項に関する理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

倒産処理手続は、債務者、債権者、担保権者など多数の利害関係人の利益が錯綜する。そのため、手続の基準は債権者の平等な取扱いや社会経済上の不利益の回避といった要請に応え、多数の利害関係人を納得させるように機能することが期待される。このような手続の必要に伴う法律関係の修正・変更について手続の概要とともにまなんでいくことにする。

1. 倒産法制の概観
2. 破産原因・破産能力
3. 破産申立てと破産宣告手続
4. 別除権・相殺権
5. 破産財団をめぐる法律関係
6. 財団再建・取戻権
7. 破産手続の主体
8. 否認権・配当
9. 免責・破産犯罪

法
律

履修上の留意点

民事法関連科目（民法・商法・民事訴訟法など）を履修済みであることが望ましい。その他、受講にあたって必要なことは開講時に指示する。

成績評価の方法

簡単なレポートと定期試験の総合評価により行う。

教科書

徳田和幸『ブレップ破産法』第3版（弘文堂）2005年 1,260円

参考書等

山本和彦『倒産処理法入門』第2版（有斐閣）2005年 2,100円

伊藤真『破産法』第4版（有斐閣）2005年 4,200円

青山善充・伊藤真・松下淳一編『倒産判例百選』第3版（有斐閣）2005年 2,730円

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 法哲学 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A34選 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 高橋 ^{たかはし} 洋城 ^{ひろぎ} | | | | |

講義のねらい

本講義では、近現代法の仕組・思考方法の基礎について検討するために必要な様々な分析枠組、原理や概念等々を学び、批判的思考のツールとして、他の法律学の学習や日常的な法との関わりの中で使えるものにしていくことを第一の目標とする。その過程では、しばしば「当然だと思っていたことがかえってわからなくなる」こともあろう。しかし「あらためて考え直してみる」という過程で、様々な思想や思考法に触れ理解を深めることは、将来、自らの力であらためて根本的な問題を考えてゆくための手がかり・突破口を得ることにもつながるであろう。

講義の内容・授業スケジュール

法理論史において繰り返し論じられてきた諸トピックの中から以下の論点をとりあげ、本年度の講義の大項目とする。各項目の中では、理論的分析、思想史的背景、さらに現代の具体的諸問題を念頭に置いた検討を加えていく。項目によって扱いは異なるが、できるだけ具体的な諸問題と法哲学的問題の関連が理解できるような授業の進行を心がけるつもりである。授業はおおむね以下の順序で進行する。

序論 法哲学の課題・対象について概観し、履修のための導入とする。

第 I 部 自然法論と法実証主義

- [2] 古典的自然法論を中心に、自然法論に関する基礎的理解を図る。
- [3] 近代自然法論、および18世紀以降の自然法論の展開について概観する。
- [4] 法実証主義の基礎的理解を図る。
- [5] 法実証主義の展開とその様々な形態について、19世紀～20世紀を中心に概観する。法と道徳の問題 強制力等、その区別に関する理論の批判的検討。
- [6] 前回までの考察を基に、法と道徳の関係の問題等、自然法論と法実証主義の対立点を考察する。

第 II 部 正義論

- [7] 法と正義の問題について概観、およびアリストテレスの正義論を軸にその基礎的理解を図る。
- [8] 正義論の現代的展開および、現代の法律学ないし現代社会の諸問題との関連について事例を参照し検討する。

第 III 部 法解釈と法の客観性の問題

- [9] 概念法学という用語とその背景を紹介・検討するとともに、自由法運動や英米圏におけるリアリズム法学などこれに対抗する法理論史を概観する。
- [10] 日本における戦後法解釈学論争の意義とその背景を、その背景も含めて紹介・検討する。
- [11] 前回の続き。さらに法解釈学論争以降の我が国における諸理論についても概括的に触れる。
- [12] 法解釈に関する諸理論の現代的展開を、欧米におけるそれを中心に紹介する。まずガダマーをはじめとする哲学的解釈学の紹介と、法学におけるその意義について考えてみる。
- [13] ドゥオーキンの理論やドイツの論証理論等、法解釈理論の現代的展開について引き続き考察を進める。

履修上の留意点

講義に際しては、受講者において、少なくとも本講義履修対象年次までの必修科目についてその基本的・原理的部分の理解があることを前提に進める。その点に不安がある場合には、受講にあたって十分な自助努力が必要となることを了解しておいてほしい。

成績評価の方法

年度末の定期試験を主とし、平常点を加味して評価する。平常点は、授業時間内の小テスト・レポートを予定しているが、受講者の人数によっては出席点を加味する場合もある。以上についての詳細やその他の評価基準・方針は第1回の講義において伝えるので、必ず出席すること。

参考書等

開講時に紹介する。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 法律学特殊講義（法女性学） | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A34選 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 井上 匡子 <small>いのうえ まさこ</small> | | | | |

講義のねらい

法には、性別が必要か？
ジェンダーとは、性別に関する新しい考え方・視点、社会を分析する際の重要な枠組みの一つです。本講義では、ジェンダーの視点から法学の世界を捉え直します。

講義の内容・授業スケジュール

法の世界や法律の条文の中に性別があるのでしょうか？憲法では男女の平等がうたわれているし、私人間の契約は、男性が締結しても女性が締結しても、その効果は同じはずですが。法の世界は男女の区別をしないことで、平等な中立性を実現しようとしてきた「はず」だったのではないのでしょうか。他方で、現実には女学生の就職にせよ、管理職や議員などの女性比率にせよ、男性と女性の格差が大きいのも、確かなことです。

講義の中では、これら二つの相反する考え方が成立する背景を学び、さらには架橋することを目指します。見慣れた法の世界が全く違って見えてくるはずですが。

近年、ドメスティックバイオレンスが流行語となり、DV防止法が制定・改定され、男女共同参画基本法の実践を通じたジェンダーの主流化が政府や自治体の政策推進における目標の一つとされています。その中で、ジェンダーは社会的な注目を集める観念であるだけでなく、法学の世界においても、重要な要素となりつつあります。

1 イントロダクション／2～5 ジェンダーとはなにか／6 人権とジェンダー／7 リプロダクティブ・ヘルス／ライツ／8・9 国際法とジェンダー／10～14 親密圏における法律問題とジェンダー／15・16 雇用とジェンダー／17～21 暴力とジェンダー／22 男女共同参画とジェンダーの主流化／23 再び ジェンダーとはなにか

成績評価の方法

定期テストと不定期の提出物による総合評価とする

参考書等

杉田・川崎編『現代政治理論』有斐閣アルマ 2005.12
朝倉むつ子監修『導入対話による ジェンダー法学 第2版』不磨書房 2005.4

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 財政学 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A34選 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 里中 ^{さとなか} 恆志 ^{つねし} | | | | |

講義のねらい

財政意志の形成、租税負担配分、歳出の効率と合理性等について基礎的な判断能力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

(第1回) 年間授業計画の説明、(第2回) 公共財と公共部門、(第3回) 財政収入の歴史、(第4回) 予算編成と査定、(第5回) 予算編成と政党、(第6回) 予算政府案と議会審議、(第7回) 予算の執行と競争入札、(第8回) 予算の政治過程、(第9回) 租税原則学説、(第10回) 給与所得税、(第11回) 申告所得税と累進課税、(第12回) 法人税と徴税技術、(第13回) 国際化と移転価格税制、(第14回) 一般消費税と付加価値、(第15回) 地方税と地方歳出、(第16回) 地方財政調整の制度、(第17回) 機関費と純粋公共財、(第18回) 公共事業費と費用＝便益分析、(第19回) 公共事業費と公共財産の形成、(第20回) 社会保障関係費と所得再分配、(第21回) 補助金とスピルオーバー、(第22回) 公債と公債費負担、(第23回) 総需要管理政策と国民所得、(第24回) 課税乗数と均衡予算定理、(第25回) 公債による財源調達と債券価格、(第26回) 大量国債の累積と限界、(第27回) 財政金融政策と国際収支、(第28回) 財政投融资と政府貯蓄、(第29回) 試験と評価についての説明

法
律

履修上の留意点

関連科目として「価格理論」、「国民所得論」、「行政法」の履修が望ましい。

成績評価の方法

年度末テストとして行われる筆記試験による。試験は論述式による。自筆のノート持込可。

教科書

里中恆志＝八巻節夫編著『新財政学』(文真堂) 3,200円 ISBN4-8309-4546-2 C3033

参考書等

北川力編『図説日本の財政』各年度版(東洋経済新報社)
中谷巖著『入門マクロ経済学』(日本評論社)

その他

授業の方法は講義形式による。

| | | | | | |
|------|-------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 国際関係論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A34選 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 三船 恵美 | | | | |

講義のねらい

国際関係論の概念や理論、現代国際関係の枠組み、国際関係における諸問題などについて勉強しましょう。

講義の内容・授業スケジュール

1. イントロダクション
2. 国際関係のアクター
3. 国際関係の分析視角
4. 日本の領域と日韓関係
5. 日本の領域と日中関係
6. 国益とパワー
7. 安全保障の概念と類型
8. 人間の安全保障とODA外交
9. 国連と日本
10. 《9・11》以後のアメリカ外交：テロ・WMD・MD
11. 北朝鮮問題と国際関係
12. 日米同盟と米中関係・日中関係
13. 中央アジアをめぐる多国間協議と中露関係：CIS・EAES・SCO・CICA
14. APEC、ARF、「1+10」、東アジア共同体構想
15. AUの枠組み・ソマリア・ルワンダ・スーダンからみる国連の限界
16. EUの枠組み・EU拡大とその影響
17. イラン問題
18. 地球環境問題をめぐる政治と経済
19. リアリズム
20. ネオ・リアリズム
21. ゲーム理論
22. リベラリズム
23. ネオ・リベラリズム
24. マルキシズム
25. グローバル・ガバナンス論、デモクラティック・ピース論、平和研究
26. #2～9、19～25のクイズ (=小テスト)
27. クイズの解説
28. 総括

履修上の留意点

授業中の私語は厳禁。テストを放棄した場合にレポートは課しません。就職活動や部活で欠席した人を特別扱いしません。配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。欠席した場合の授業内容は、各自の責任で補って下さい。
日米中関係に関心の高い学生には、「政治学特殊講義（3）」（前期開講科目）の履修を勧めます。

成績評価の方法

試験（100％）。

教科書

山田高敬・大矢根聡著『グローバル社会の国際関係論』（有斐閣）¥2,000 ISBN 4-641-17325-7
天児慧『中国・アジア・日本』ちくま新書、2006年、700円＋税。
これら2冊でカバーできない内容については、資料を配付します。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 経済政策 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A34選 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 森岡 仁 <small>もりおか じん</small> | | | | |

講義のねらい

経済学の実践部門としての経済政策が自由主義経済に成立した過程と、そこではたす役割を明らかにする。人口高齢化や少子化の経済的帰結にも言及し、最後に高齢化社会における経済政策と人口政策の関係を論ずる。

講義の内容・授業スケジュール

I. 現代経済と経済政策 II. 経済政策学の発展 III. 現代経済政策の課題 IV. 経済の成長政策 V. 経済の安定政策 VI. 産業組織政策 VII. 社会均衡化政策 VIII. 経済政策と人口政策

履修上の留意点

日常生活に生起する経済問題に日頃から関心を抱き、自分達の身の回りにある経済問題の解決手段として経済政策を考え、学ぶことが大切である。

成績評価の方法

学年末の定期試験、授業の出席状況

教科書

森岡他著『現代経済政策』（千倉書房）1975年

| | | | | | |
|------|----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 社会政策 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A34選 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 原田 啓一郎 <small>はらだ けいいちろう</small> | | | | |

講義のねらい

社会政策は、市場経済の限界や市場経済が生み出す弊害から、人々を保護し、国民生活のリスクを社会的に軽減、防止する目的で発展してきたものである。本講義では、社会政策の理論的理解を行うとともに、社会政策の過去と現状を再評価しながら、社会政策の課題を展望することを目的とする。具体的には、労働政策・社会保障政策について、法学・経済学・社会学・政治学などの知見を用いながら、理論的課題を学際的かつ多角的視点で理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- I 社会政策の原理
 - 1 社会政策とは
 - 2 社会政策の歴史
 - 3 福祉国家と福祉社会
- II 社会政策の諸相
 - 1 労働時間と社会政策
 - 2 賃金と社会政策
 - 3 労働市場と社会政策
 - 4 所得保障と社会政策
 - 5 サービス保障と社会政策
- III 社会政策の理論的視点

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教科書

講義開講時に指定する。

参考書等

参考文献については、適宜指示する。

その他

日頃より新聞、雑誌等で社会の動向を注視してほしい。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 現代企業論 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法A34選 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | さいとう ただし 齊藤 正 | | | | |

講義のねらい

野村ホールディングス（旧野村證券）の提供による本講座は、「資本市場の役割と証券市場」をテーマとして、野村ホールディングス、野村総合研究所の現役スタッフによって講義される。証券投資に関する基礎から出発するので、証券業務にはじめて触れる者にも十分対応しうる授業である。また、現役スタッフによる「現場」の動向をも織り交ぜた講義であり、証券業界のみならず、広く金融業界への就職を検討する際に大いに参考になることが期待される。

講義の内容・授業スケジュール

以下の進行を予定しているが、講師の都合によって変更される場合があるので、毎回の授業においてスケジュールを確認しておくこと。

- 1 ガイダンス
- 2 経済情報のとらえ方
- 3 経済成長と金融資本市場
- 4 証券投資のリスクとリターン
- 5 株式市場の役割
- 6 債券市場の役割
- 7 投資信託の役割
- 8 ポートフォリオの考え方
- 9 市場のグローバル化
- 10 資産運用とライフプランニング
- 11 資本市場と投資家心理
- 12 個人投資家
- 13 ベンチャーとIPO

履修上の留意点

定期試験および追試験は実施しない。

成績評価の方法

出席点とレポート点で評価する。

教科書

教科書は特に指定しないが、毎回、レジユメを配布する。パワーポイントを用いた授業となる予定。

参考書等

氏家純一編『日本の資本市場』東洋経済新報社、2002年。
福光寛・高橋元編著『ベーシック 証券市場論』同文館出版、2004年。

その他

企業の現役スタッフによる講義であり、定刻に開始し、4年生の就職活動による場合を除き原則として遅刻は認めない。また、私語など受講態度に問題がある場合、退室を指導することがある。

II 專 門 教 育 科 目

2 政 治 学 科

Ⅱ. 専門教育科目

(2) 政治学科

| 科目名 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|----------|---------------------------------------------------|------|----|----------------|-----|
| 政治学概論 | 政1必 | 通年 | 4 | 浦田 早苗 早川 純貴 | 515 |
| 政治学概論 | 政1必 | 通年 | 4 | 早川 純貴 浦田 早苗 | 516 |
| 政治学概論 | 政1必 | 通年 | 4 | 三竹 直哉 中野 裕二 | 517 |
| 憲法 | 政1必 | 通年 | 4 | 竹花 光範 | 518 |
| 政治学原論 | 政1234選必(15年度以降入学生) 政2必(14年度以前入学生) | 通年 | 4 | 大塚 桂 | 520 |
| 現代政治理論 | 政1234選必(15年度以降入学生) 政234選必(14年度以前入学生) | 通年 | 4 | 山崎 望 | 521 |
| 日本政治論 | 政1234選必 | 通年 | 4 | 大山 礼子 | 522 |
| 政治思想史 | 政1234選必(15年度以降入学生) 政234選必(14年度以前入学生) | 通年 | 4 | 清滝 仁志 | 523 |
| 行政法 | 政1234選必(15年度以降入学生) 政234選必(14年度以前入学生) | 通年 | 4 | 児玉 博昭 | 524 |
| 国際政治学 | 政1234選必 | 通年 | 4 | 小堀 訓男 | 524 |
| 政治制度論 | 政1234選必 | 通年 | 4 | 大山 礼子 | 525 |
| 政治過程論 | 政1234選必 | 通年 | 4 | 早川 純貴 | 526 |
| 日本政治史 | 政1234選必(15年度以降入学生) 政234選必(14年度以前入学生) | 通年 | 4 | 村井 良太 | 527 |
| ヨーロッパ政治史 | 政1234選必 | 通年 | 4 | 浦田 早苗 | 527 |
| 地方行政 | 政234選必(行政メディア) 政234選(国際) 政234選必(14年度以前入学生) | 通年 | 4 | 内海 麻利 | 528 |
| 政策決定論 | 政234選必(行政メディア) 政治234選(国際) 政234選必(14年度以前入学生) | 通年 | 4 | 児玉 博昭 | 529 |
| 行政法総論 | 政234選必(行政) 政234選(国際メディア) 政234選必(14年度以前入学生) | 通年 | 4 | 塩入 みほも | 530 |
| 行政法各論 | 政234選必(行政) 政234選(国際メディア) 政234選必(14年度以前入学生) | 通年 | 4 | 塩入 みほも | 530 |
| 地方自治法 | 政234選必(行政) 政234選(国際メディア) 政234選必(14年度以前入学生) | 通年 | 4 | 富井 幸雄 | 531 |

| | | | | | |
|-------------|---------------------------------------------------|----|---|--------|-----|
| 民法（総則・物権法） | 政234選必（行政） 政234選（国際メディア） 政234選（14年度以前入学生） | 通年 | 4 | 須賀 昭徳 | 532 |
| 刑法総論 | 政234選必（行政） 政234選（国際メディア） 政234選（14年度以前入学生） | 通年 | 4 | 佐藤 多美夫 | 533 |
| 労働法 | 政234選必（行政） 政234選（国際メディア） 政234選（14年度以前入学生） | 通年 | 4 | 藤本 茂 | 534 |
| 刑事政策 | 政234選必（行政） 政234選（国際メディア） 政234選（14年度以前入学生） | 通年 | 4 | 覚正 豊和 | 535 |
| 社会政策 | 政234選必（行政） 政234選（国際メディア） 政234選（14年度以前入学生） | 通年 | 4 | 原田 啓一郎 | 537 |
| 環境政策 | 政234選必（行政） 政234選（国際メディア） 政234選必（14年度以前入学生） | 通年 | 4 | 横田 匡紀 | 538 |
| 国際関係論 | 政234選必（国際） 政234選（行政メディア） 政234選必（14年度以前入学生） | 通年 | 4 | 三船 恵美 | 540 |
| 比較政治学 | 政234選必（国際メディア） 政234選（行政） 政234選必（14年度以前入学生） | 通年 | 4 | 三竹 直哉 | 541 |
| 国際行政学休講 | | | | 休講 | |
| 国際経済学 | 政234選必（国際） 政234選（行政メディア） 政234選必（14年度以前入学生） | 通年 | 4 | 徳永 俊明 | 542 |
| 国際法 | 政234選必（国際） 政234選（行政メディア） 政234選必（14年度以前入学生） | 通年 | 4 | 齋藤 洋 | 543 |
| 北米政治論（1） | 政234選必（国際） 政234選（行政メディア） 政1234選必（14年度以前入学生） | 半期 | 2 | 小堀 訓男 | 544 |
| 北米政治論（2） | 政234選必（国際） 政234選（行政メディア） 政1234選必（14年度以前入学生） | 半期 | 2 | 小堀 訓男 | 545 |
| 東南アジア政治論（1） | 政234選必（国際） 政234選（行政メディア） 政1234選必（14年度以前入学生） | 半期 | 2 | 深尾 康夫 | 546 |
| 東南アジア政治論（2） | 政234選必（国際） 政234選（行政メディア） 政1234選必（14年度以前入学生） | 半期 | 2 | 深尾 康夫 | 546 |
| 中国政治論（1） | 政234選必（国際） 政234選（行政メディア） 政1234選必（14年度以前入学生） | 半期 | 2 | 竹花 光範 | 547 |

| | | | | | |
|---------------|---------------------------------------------------|----|---|---------------|-----|
| 中国政治論（２） | 政234選必（国際） 政234選（行政メディア） 政1234選必(14年度以前入学生) | 半期 | 2 | 竹花 光範 | 548 |
| ヨーロッパ政治論（１） | 政234選必（国際） 政234選（行政メディア） 政1234選必(14年度以前入学生) | 半期 | 2 | 中野 裕二 | 549 |
| ヨーロッパ政治論（２） | 政234選必（国際） 政234選（行政メディア） 政1234選必(14年度以前入学生) | 半期 | 2 | 藤嶋 亮 | 550 |
| ヨーロッパ政治論（３） | 政234選必（国際） 政234選（行政メディア） 政1234選必(14年度以前入学生) | 半期 | 2 | 浅見 政江 | 551 |
| ヨーロッパ政治論（４） | 政234選必（国際） 政234選（行政メディア） 政1234選必(14年度以前入学生) | 半期 | 2 | 浅見 政江 | 551 |
| アラブ・イスラム政治論 | 政234選必（国際） 政234選（行政メディア） 政1234選必(14年度以前入学生) | 半期 | 2 | 中島 勇 | 552 |
| 中南米政治論 | 政234選必（国際） 政234選（行政メディア） 政1234選必(14年度以前入学生) | 半期 | 2 | 岸川 毅 | 552 |
| 比較都市論 | 政234選必（国際メディア） 政234選（行政） 政234選(14年度以前入学生) | 通年 | 4 | 内海 麻利 | 553 |
| マス・コミュニケーション論 | 政234選必（メディア） 政234選（行政国際） 政1234選必(14年度以前入学生) | 通年 | 4 | 相田 敏彦 | 554 |
| 数量政治学 | 政234選必（メディア） 政234選（行政国際） 政234選必(14年度以前入学生) | 通年 | 4 | 富崎 隆 | 555 |
| メディア社会論 | 政234選必（メディア） 政234選（行政国際） 政234選必(14年度以前入学生) | 通年 | 4 | 相田 敏彦 | 556 |
| 政治心理学 | 政234選必（メディア） 政234選（行政国際） 政234選必(14年度以前入学生) | 通年 | 4 | 富崎 隆 | 557 |
| 政治社会学 | 政234選必（メディア） 政234選（行政国際） 政234選必(14年度以前入学生) | 通年 | 4 | 中野 裕二 | 558 |
| 政治経済学 | 政234選必（メディア） 政234選（行政国際） 政234選(14年度以前入学生) | 通年 | 4 | 白鳥 浩 | 559 |
| 比較メディア論 | 政234選必（メディア） 政234選（行政国際） 政234選(14年度以前入学生) | 通年 | 4 | 島中 誠 岩崎 宇雄 | 560 |
| 基礎演習 | 政 2 選 | 通年 | 4 | 相田 敏彦 | 561 |
| 基礎演習 | 政 2 選 | 通年 | 4 | 内海 麻利 | 562 |

| | | | | | |
|------------|---------------------------------------|----|---|--------|-----|
| 基礎演習 | 政2選 | 通年 | 4 | 浦田 早苗 | 562 |
| 基礎演習 | 政2選 | 通年 | 4 | 大山 礼子 | 563 |
| 基礎演習 | 政2選 | 通年 | 4 | 清滝 仁志 | 564 |
| 基礎演習 | 政2選 | 通年 | 4 | 小堀 訓男 | 565 |
| 基礎演習 | 政2選 | 通年 | 4 | 塩入 みほも | 565 |
| 基礎演習 | 政2選 | 通年 | 4 | 富崎 隆 | 566 |
| 基礎演習 | 政2選 | 通年 | 4 | 中野 裕二 | 567 |
| 基礎演習 | 政2選 | 通年 | 4 | 早川 純貴 | 568 |
| 基礎演習 | 政2選 | 通年 | 4 | 三竹 直哉 | 569 |
| 基礎演習 | 政2選 | 通年 | 4 | 三船 恵美 | 570 |
| 基礎演習 | 政2選 | 通年 | 4 | 村井 良太 | 571 |
| 比較憲法 | 政234選 | 通年 | 4 | 竹花 光範 | 572 |
| 現代国家論 | 政234選(15年度以降入学生) 政234選必(14年度以前入学生) | 通年 | 4 | 大塚 桂 | 573 |
| 国家安全保障論 | 政234選(15年度以降入学生) 政234選必(14年度以前入学生) | 通年 | 4 | 小堀 訓男 | 574 |
| 外交史 | 政234選(15年度以降入学生) 政234選必(14年度以前入学生) | 通年 | 4 | 村井 良太 | 575 |
| 日本法制史 | 政234選 | 通年 | 4 | 茂野 隆晴 | 576 |
| 西洋法制史 | 政234選 | 通年 | 4 | 北野 かほる | 577 |
| 英米法 | 政234選 | 通年 | 4 | 北野 かほる | 578 |
| 会社法 | 政234選 | 通年 | 4 | 川口 幸美 | 579 |
| 経済法 | 政234選 | 通年 | 4 | 若林 亜理砂 | 580 |
| 国際紛争解決法 | 政234選 | 通年 | 4 | 王 志安 | 581 |
| 刑法各論 | 政234選 | 通年 | 4 | 松村 格 | 582 |
| 民法(債権) | 政234選 | 通年 | 4 | 上井 長久 | 583 |
| 社会保障法 | 政234選 | 通年 | 4 | 原田 啓一郎 | 584 |
| 社会学原理 | 政234選 | 通年 | 4 | 呉 炳三 | 585 |
| 財政学 | 政234選(15年度以降入学生) 政234選必(14年度以前入学生) | 通年 | 4 | 里中 極志 | 586 |
| 経済原論 | 政234選 | 通年 | 4 | 村松 幹二 | 586 |
| 経済政策 | 政234選 | 通年 | 4 | 森岡 仁 | 587 |
| 農業政策 | 政234選 | 通年 | 4 | 溝手 芳計 | 588 |
| 工業政策 | 政234選 | 通年 | 4 | 奥山 雅之 | 589 |
| 商業政策 | 政234選 | 通年 | 4 | 岩下 弘 | 590 |
| 地方財政論 | 政234選 | 通年 | 4 | 篠原 章 | 591 |
| 交通論 | 政234選 | 通年 | 4 | 金 兌奎 | 592 |
| 地域計画論 | 政234選 | 通年 | 4 | 原 昭夫 | 593 |
| 政治学特殊講義(1) | 政234選 | 半期 | 2 | 内海 麻利 | 594 |
| 政治学特殊講義(2) | 政234選 | 半期 | 2 | 中野 裕二 | 595 |
| 政治学特殊講義(3) | 政234選 | 半期 | 2 | 三船 恵美 | 596 |
| 政治学特殊講義(4) | 政234選 | 半期 | 2 | 大山 礼子 | 597 |
| 外書講読I(英書) | 政3選 | 通年 | 4 | 相田 敏彦 | 597 |
| 外書講読II(英書) | 政4選 | 通年 | 4 | 相田 敏彦 | |
| 外書講読I(英書) | 政3選 | 通年 | 4 | 清滝 仁志 | 598 |
| 外書講読II(英書) | 政4選 | 通年 | 4 | 清滝 仁志 | |

| | | | | | |
|--------------|------|----|---|--------|-----|
| 外書講読I (英書) | 政3選 | 通年 | 4 | 三竹 直哉 | 599 |
| 外書講読II (英書) | 政4選 | 通年 | 4 | 三竹 直哉 | |
| 外書講読I (英書) | 政3選 | 通年 | 4 | 山崎 望 | 600 |
| 外書講読II (英書) | 政4選 | 通年 | 4 | 山崎 望 | |
| 外書講読I (独書) | 政3選 | 通年 | 4 | 松村 格 | 601 |
| 外書講読II (独書) | 政4選 | 通年 | 4 | 松村 格 | |
| 外書講読I (仏書) | 政3選 | 通年 | 4 | 中野 裕二 | 601 |
| 外書講読II (仏書) | 政4選 | 通年 | 4 | 中野 裕二 | |
| 外書講読I (中国書) | 政3選 | 通年 | 4 | 江林 英基 | 602 |
| 外書講読II (中国書) | 政4選 | 通年 | 4 | 江林 英基 | |
| 現代企業論 | 政34選 | 半期 | 2 | 齊藤 正 | 603 |
| 演習I | 政3選 | 通年 | 4 | 浦田 早苗 | 604 |
| 演習I | 政3選 | 通年 | 4 | 富崎 隆 | 605 |
| 演習I | 政3選 | 通年 | 4 | 早川 純貴 | 606 |
| 演習I | 政3選 | 通年 | 4 | 山崎 望 | 607 |
| 演習I | 政3選 | 通年 | 4 | 相田 敏彦 | 608 |
| 演習II | 政4選 | 通年 | 4 | 相田 敏彦 | |
| 演習I | 政3選 | 通年 | 4 | 内海 麻利 | 608 |
| 演習II | 政4選 | 通年 | 4 | 内海 麻利 | |
| 演習I | 政3選 | 通年 | 4 | 大塚 桂 | 609 |
| 演習II | 政4選 | 通年 | 4 | 大塚 桂 | |
| 演習I | 政3選 | 通年 | 4 | 大山 礼子 | 610 |
| 演習II | 政4選 | 通年 | 4 | 大山 礼子 | |
| 演習I | 政3選 | 通年 | 4 | 清滝 仁志 | 611 |
| 演習II | 政4選 | 通年 | 4 | 清滝 仁志 | |
| 演習I | 政3選 | 通年 | 4 | 小堀 訓男 | 612 |
| 演習II | 政4選 | 通年 | 4 | 小堀 訓男 | |
| 演習I | 政3選 | 通年 | 4 | 塩入 みほも | 613 |
| 演習II | 政4選 | 通年 | 4 | 塩入 みほも | |
| 演習I | 政3選 | 通年 | 4 | 竹花 光範 | 613 |
| 演習II | 政4選 | 通年 | 4 | 竹花 光範 | |
| 演習I | 政3選 | 通年 | 4 | 中野 裕二 | 614 |
| 演習II | 政4選 | 通年 | 4 | 中野 裕二 | |
| 演習I | 政3選 | 通年 | 4 | 西 修 | 614 |
| 演習II | 政4選 | 通年 | 4 | 西 修 | |
| 演習I | 政3選 | 通年 | 4 | 日笠 完治 | 615 |
| 演習II | 政4選 | 通年 | 4 | 日笠 完治 | |
| 演習I | 政3選 | 通年 | 4 | 三竹 直哉 | 616 |
| 演習II | 政4選 | 通年 | 4 | 三竹 直哉 | |
| 演習I | 政3選 | 通年 | 4 | 三船 恵美 | 617 |
| 演習II | 政4選 | 通年 | 4 | 三船 恵美 | |
| 演習I | 政3選 | 通年 | 4 | 村井 良太 | 618 |
| 演習II | 政4選 | 通年 | 4 | 村井 良太 | |
| 演習I | 政3選 | 通年 | 4 | 山口 邦夫 | 619 |
| 演習II | 政4選 | 通年 | 4 | 山口 邦夫 | |
| 演習II | 政4選 | 通年 | 4 | 浦田 早苗 | 619 |
| 演習II | 政4選 | 通年 | 4 | 早川 純貴 | 620 |

| | | | | | |
|------|-----|----|---|-------|-----|
| 演習II | 政4選 | 通年 | 4 | 真下 英二 | 620 |
|------|-----|----|---|-------|-----|

政
治

| | | | | | |
|------|---------------------------------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 政治学概論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政1必 | | | | |
| 担当者名 | 浦田 ^{うらた} 早苗 ^{さなえ} ・早川 ^{はやかわ} 純貴 ^{よしき} | | | | |

講義のねらい

本講義は3コース(=専門課程)に向けて最初のステップとして、各コースの基本的知識を習得し、各自の政治に対する問題関心を養っていくために設けられている。専門用語や理論の講義に際しては、できるだけ具体的事例に即して説明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- ①現代日本の政治システムとその問題点
- ②官僚と天下り
- ③日本社会の特異性
- ④自由・権利・公共
- ⑤第二次大戦後の国際政治の軌跡
- ⑥西欧の政治制度

【後期】

- ①行動論政治学とその批判
- ②権力論〔実体論と関係論〕
- ③多元主義論と権力エリート論
- ④政党について
- ⑤利益団体について
- ⑥政治参加について〔政治的関心、政治的社会化、投票行動、マス・メディア〕

政
治

履修上の留意点

政治学は権力の形成・行使・監視にかかわる事象を扱う科学であり、権力は悪魔的魅力を有する存在でもある。権力への評価は常に価値の対立を内在する。つまり政治学とはさまざまな価値が交錯する学問であり、薄っぺらな理想論者ではなく、冷徹な現実主義者が学ぶ学問でもある。

成績評価の方法

前後期に試験を実施する。

教科書

前期は教科書を使用する。早川・大山・内海・田丸『政策過程論』(学陽書房)2004年2,600円

参考書等

参考文献については講義の中で随時紹介する。

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 政治学概論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政1必 | | | | |
| 担当者名 | 早川 <small>はやかわ よしき</small> 純貴・浦田 <small>うらた きなえ</small> 早苗 | | | | |

講義のねらい

本講義は3コース(=専門課程)に向けて最初のステップとして、各コースの基本的知識を習得し、各自の政治に対する問題関心を養っていくために設けられている。専門用語や理論の講義に際しては、できるだけ具体的事例に即して説明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- ①行動論政治学とその批判
- ②権力論 [実体論と関係論]
- ③多元主義論と権力エリート論
- ④政党について
- ⑤利益団体について
- ⑥政治参加について [政治的関心、政治的社会化、投票行動、マス・メディア]

【後期】

- ①現代日本の政治システムとその問題点
- ②官僚と天下り
- ③日本社会の特異性
- ④自由・権利・公共
- ⑤第二次大戦後の国際政治の軌跡
- ⑥西欧の政治制度

政
治

履修上の留意点

政治学は権力の形成・行使・監視にかかわる事象を扱う科学であり、権力は悪魔的魅力を有する存在でもある。権力への評価は常に価値の対立を内在する。つまり政治学とはさまざまな価値が交錯する学問であり、薄っぺらな理想論者ではなく、冷徹な現実主義者が学ぶ学問でもある。

成績評価の方法

前後期に試験を実施する。

教科書

後期は教科書を使用する。早川・大山・内海・田丸『政策過程論』(学陽書房)2004年2,600円

参考書等

参考文献については講義の中で随時紹介する。

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 政治学概論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政1必 | | | | |
| 担当者名 | 三竹 ^{みたけ} 直哉・中野 ^{なかの} 裕二 ^{ゆうじ} | | | | |

講義のねらい

本講義は3コース(=専門課程)に向けて最初のステップとして、各コースの基本的知識を習得し、各自の政治に対する問題関心を養っていくために設けられている。専門用語や理論の講義に際しては、できるだけ具体的事例に即して説明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

指定したテキストの内容にそって、政治学の全体を概観する。

- 序 政治学を勉強してみませんか——政治学の視点
- 1 えっ!! 投票するの? 誰に投票するの?——選挙を科学する, 投票行動の研究
 - 2 テレビが政治をつくる?——マスメディアと政治意識
 - 3 政治家ってどんな人?——野心と理念
 - 4 思想と理念の絡み合い——政党, 自民党長期政権の終わり
 - 5 官僚ってどんな人?——官僚制
 - 6 変わる「コネ」社会 日本——ネットワーク社会の政治と利益団体
 - 7 政策のつくられ方——政策過程
 - 8 目立たない最高権力者——孤独な首相
 - 9 自立の気概——日本に地方自治はあるの?
 - 10 世界はどこへ行く?——国際政治
 - 11 役に立つ(?)内政干渉——相互依存下の国際関係
 - 12 21世紀の試練——政治改革と構造改革

【後期】

前期の政治学概論や一年次にとることができる政治学科の授業ではあまり扱われないいくつかのトピックをとりあげる。可能なかぎり多くの授業内活動を行うことによって、社会科学的な思考能力を訓練する。映像教材を多く使用する予定。ただし、教場の条件、参加者の人数や「やる気」などによって、授業のやり方は変わってくる。また、取りあげるトピックは、日本の政治状況や世界情勢の変化にあわせて決めるので、下記のトピックはあくまで例である。

トピック例: 女性と政治、君主制(日本の天皇制を含む)、民族問題、マイノリティ、移民政策、国際協力、生命倫理と政治

履修上の留意点

- ・前後期を通じてきちんと出席すること。
- ・出された課題は必ずやること。
- ・新聞を読むこと。

成績評価の方法

前期と後期の得点を、前期50%後期50%の割合で合計して素点とする。

【前期】前期の最終回に前期の期末テストを実施する。その他、授業時間中にミニテストを行う予定。

【後期】平常点と期末テストによる。

教科書

前期は教科書を使用する。伊藤光利編『ポリティカル・サイエンス事始め(新版)』(有斐閣)2003年 1,900円+税 ISBN:4641086958

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 憲法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政1必 | | | | |
| 担当者名 | たけはな みつりの 竹花 光範 | | | | |

講義のねらい

本講義は、憲法とは何か、憲法はどうあらねばならないかといった視点からの考察を中心に、日本国憲法の存在性格を明らかにすることを目的としている。すなわち、日本国憲法が、どのようにして存在するにいたったのか（憲法の成立過程）、日本国憲法は、どのような憲法として存在しているのか（憲法の性格と特色）、日本国憲法の存在が、どのような結果を生ぜしめているのか（憲法の施行状況）といったことを明らかにしようというのである。

講義の内容・授業スケジュール

そのため、全体を二つに分け、前半は総論的講義、後半は各論的講義を行う。前半の総論的講義は、次のような章節から構成される。

第一章 憲法概念と歴史

(一) 憲法とは (二) 憲法の種類 (三) 憲法の歴史

第二章 日本国憲法成立の経緯と法理

(一) 日本国憲法成立の経緯 (二) 日本国憲法成立の法理

第三章 日本国憲法の特質

(一) 日本国憲法の基本原理 (二) 日本国憲法の特異性

各章節の内容は、それぞれの表題からほぼ明らかなものと思われるが、第一章では、憲法とはどのような規範か、憲法にはどのような種類があるのか、成文の憲法はどのようにして生まれ、どのような発展を遂げて今日にいたっているのかについて述べる。なお、我が国における憲法の歩みということで、明治憲法の成立過程、同憲法の内容、成立後の展開についても概説する。

第二章では、現行日本国憲法が、どのようなプロセスを経て成立するにいたったのか（アメリカの対日政策、極東委員会の動き、日本政府の対応、GHQ民政局の役割、第九〇帝国議会での審議状況等）、日本国憲法の成立を法理上どのように説明したらよいか（明治憲法との関係、占領下の改憲をどう考えるか、八月革命説、改正憲法説、無効論の是非等）を論じる。

第三章では、憲法の分類上から認められる日本国憲法の特異性（例えば、民定憲法なのか、欽定憲法なのか、協約憲法なのか、はたまた占領憲法とよぶべき憲法なのかといった、憲法を成立せしめた主体をめぐって争いがある点等）を指摘し、そのような日本国憲法が、どのような基本原理に依って立っているのか（国民主権の原理、象徴天皇制の原理、平和主義の原理、基本的人権尊重主義の原理）を明らかにする。

一方、後半の各論的講義は、本来なら、日本国憲法の逐条（日本国憲法は世界でも有数の簡略な憲法であるが、それでも全体で、前文と本文十一章103カ条に及ぶ）解説ということであろう。しかし、限られた時間内では、それは、ほとんど不可能に近い。そこで、とりあえず、各章ごとに規定内容や問題点を整理し、一部に立法論的指摘（どこにどのような不都合があり、それをどのように改めたらよいかといった指摘）も加味しつつ、全体として、日本国憲法の性格と特色が理解できるような講義としたい。

もちろん、第九条をはじめ、解釈上の対立が大きい条項や多くの問題を抱えている条項については、判例の紹介をはじめ、比較憲法的な考察を行うなど、特別に時間を割きたいと考えている。

履修上の留意点

講義は教科書を用いて進めるが、時事的な憲法問題をとり上げ解説するなど立体的な講義を心がける予定であり、「教科書を読む」ような講義ではまったくないので、でき得る限り講義に出席することが望まれる。

成績評価の方法

成績評価は、論述型（「について述べよ」ないし「について論じよ」といったタイプの問題）のペーパーテストによって行う。評価に際しては、問いに答えているか（出題された問題に関係のないことを書いた場合は大幅な減点とする）、必要なことが書き込まれているか（簡にして要を得た内容であること、余計なことを多く書いても加点されない）、論理展開に説得力があるか（単なる箇条書きでは論述型の問題に対する解答とはいえない、全体として一つの小論文となっていること）、誤字、脱字がどの程度か（専門用語の誤りは大幅な減点となる）などをチェックする。

教科書

竹花光範『憲法学要論補訂版』（成文堂）3,300円

参考書等

必要に応じて、参考書の紹介、資料の配布等も考えている。

そ の 他

いずれにしても、学生諸君が、憲法に関心をもち、憲法問題を積極的に考えていくよすがとなるような講義を心がけるつもりである。

| | | | | | |
|------|-----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 政治学原論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政1234選必(15年度以降入学生) 政2必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | おおつか かつら 大塚 桂 | | | | |

講義のねらい

I自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれませんが。政治学のみならず隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階(2835)にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377(直)です。

II講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と解明ができるように基礎的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

講義の内容・授業スケジュール

III講義のすすめかた

現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

IV講義の内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

A政治学の課題と対象、ならびに方法

B政治の原理的究明

- (1) 政治的なるもの
～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従
- (2) 共同体的なるもの
～国家、社会、主権、法
- (3) イデオロギー的なるもの
～イデオロギー、正義、自由、平等、人権(シティズンシップ)

C政治の実体論的究明

- (1) 制度論的究明
～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制
- (2) 機能論的究明
～政党、圧力団体、市民参加、マスコミ、政治教育、政治的社会化

成績評価の方法

V成績評価

単位の認定は、ペーパー試験を中心におこないます。

成績評価は、

中間試験：50%

学年末試験：50%

以上の割合によるものとします。

なお、追試験も実施します。

教科書

大塚桂『政治学原論序説』(勁草書房) 3,296円

大塚桂『政治哲学入門』(法律文化社) 2,900円

参考書等

上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。

その他

学習にあたっては、大塚編「補章オリエンテーション政治学」「政治学へのいざない」(成文堂)、大塚編『日本の政治学』(法律文化社)等を参考にしてください。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 現代政治理論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政1234選必（15年度以降入学生） 政234選必（14年度以前入学生） | | | | |
| 担当者名 | やまざき のぞむ 山崎 望 | | | | |

講義のねらい

わたしたちが生きている現代社会がはらむ様々な問題について、現代政治理論の観点から把握し、どのようにそれらの問題に対峙していくのか、それを考える習慣を身につけることが目的です。

講義の内容・授業スケジュール

- 概ね、以下の論点について順次、講義をしていきます
- ・現代政治理論の基礎概念（政治、権力、自由、平等、グローバル化、リスク社会）
 - ・格差社会、「フリーター」、「ニート」、ホームレス、「勝ち組・負け組」
 - ・国民国家、多文化主義、移民、難民、ナショナリズム
 - ・テロ、人道的介入、民族・宗教紛争、内戦、治安・監視社会
 - ・自由民主主義、民主主義の変容、市民社会、公共性、国境を越える民主主義

履修上の留意点

自分が生きてく上で直面せざるを得ないであろう問題について、考える習慣を身につけることが目的なので、毎回出席することを勧める。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

杉田敦・川崎修編2006『現代政治理論』有斐閣アルマ ISBN 4-641-12269-5

参考書等

有賀誠・伊藤恭彦・松井暁編2004『現代規範理論入門ーポストリベラリズムの新展開』ナカニシヤ出版 ISBN 4-88848-850-9

その他

講義形式。講義時に簡易なレジュメを配布する予定。
講義の後半10分にカードを配るので、質問や感想を書いてください。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本政治論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政1234選必 | | | | |
| 担当者名 | 大山 ^{おおやま} 礼子 ^{れいこ} | | | | |

講義のねらい

この講義の目的は、日本の政治のどこが問題なのか、歴史的視点や国際比較の観点から検討し、今後の改革の方向を探ることにあります。たくさん「目からうろこが落ちる」経験をし、いろいろな角度から物事を見られるようになってください。

講義の内容・授業スケジュール

前期は日本の近代政治史を学習し、次の5つの問題を考えます。

- 1) 大日本帝国憲法の起草者たちはどんな国を造ろうとしたのか？
- 2) 戦前の政党政治はなぜ崩壊したのか？
- 3) 戦前と戦後の政治はどう変わったのか？
- 4) 高度成長期に貧富の差が拡大しなかったのはなぜか？
- 5) 自民党優位はなぜ続いたのか？

後期は、国会、内閣、官僚、地方分権、公共事業という5つの切り口から、現代日本の政策決定とその問題点を考察します。

政 治

履修上の留意点

途中で出入りする者、私語する者には、座席の変更や退場を求める場合があります。現代日本の政治が講義の対象となるので、毎日、新聞の政治面に目をとおす習慣をつけること。

成績評価の方法

年度末の定期試験を中心に、数回実施する小テストの結果、授業への参加状況を加味して評価します。

参考書等

参考になりそうな新聞記事等はコピーを配布します。参考文献はKOMSY詳細版で紹介しますので、積極的に読んでください。

その他

毎回の講義の内容等については、原則として前日までにKOMSY詳細版にアップロードします。自宅からもインターネット経由でアクセスできるので、必ず参照すること。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 政治思想史 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政1234選必(15年度以降入学生) 政234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 清滝 ^{きよたき} 仁志 ^{ひとし} | | | | |

講義のねらい

この講義では、ヨーロッパの政治思想史を歴史上の出来事との関連から著述家の視点を通して、具体的に論じます。変動期に生きた人々が同時代をどのように眺め、いかなる心配をし、解決策を考えていったかを明らかにします。

この授業で論じる「思想」とは抽象的概念でなく、現実の政治状況に対応して生まれ、実際の制度・政策と結びつく性格のものであります。講義では、代表的人物の考えを題材に、

- (1) 現在の政治現象を自分で判断する知的能力を身につけていく、
- (2) 欧米の政治・社会・文化を基礎づける知的背景を理解する、ことを目的にします。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 古代ギリシアと政治の誕生
- ② キリスト教秩序の確立と動揺
- ③ ルネサンスと宗教改革—マキアヴェッリ、モア、ルター、カルヴァン—
- ④ 社会契約論の形成と発展—ホブズ、ロック、ルソー—
- ⑤ デモクラシーと自由—バーク、トクヴィル—
- ⑥ 現代民主主義の課題と展望—シュンペーター、ダール—

政
治

履修上の留意点

本講義では次のことをおこないます。

- 1 授業に関する時事問題を取り上げながら、そのポイントを解説
 - 2 授業の冒頭で皆さんの質問に答えて、復習
 - 3 授業中、文章の表現能力を身につけるための練習
- さらに公務員試験やその他の資格試験の関係箇所にも配慮します。

成績評価の方法

授業にきちんと出席し、課題をこなすことで自分の考える力が身についたかを重視します。

- ① 定期試験 (25%) 2008年1月実施
- ② 3回の課題レポート (35%)
6月 (10%)・9月 (15%)・11月 (10%)
- ③ コメント・ペーパー (40%) 授業での意見・質問等を5段階評価

*評価のポイント

- ・授業で取り上げた基礎的知識を理解しているか?
- ・授業で取り上げた話題を自発的・積極的に考え、自分で判断できるか?
- ・自分の考えを的確にまとめ、相手にわかりやすく表現できるか?

教科書

文献は講義・HPを通じて随時紹介。

HP <http://www.bat.alliednet.ne.jp/kiyotaki/>

参考書等

毎回、レジュメと資料を配布。レジュメはHPを通じても入手可。

その他

授業その他の質問は、Eメール (kiyotaki@komazawa-u.ac.jp) でも受け付けます。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 行政学 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政1234選必（15年度以降入学生） 政234選必（14年度以前入学生） | | | | |
| 担当者名 | こだま ひろあき 児玉 博昭 | | | | |

講義のねらい

行政学は、現代における行政の諸現象を、社会管理と政治行政関係の両観点から、制度・組織・活動の各要素について考察する学問である。この講義は、行政学の全体像を把握し、基礎を理解することを目標とする。

この講義では、はじめに、行政学の対象である行政とは何か、現代の行政国家がどのように成立し、それを受けて行政学がどのように発展してきたかを見る。次いで、制度論として現在の政府体系、政治と行政の関係、中央政府と地方政府の関係を明らかにする。組織論では官僚制の理論と現代組織論をふまえ行政組織の特徴と公務員制度の仕組みを述べる。活動論からは政策の決定・執行・評価の過程、行政責任と民主的統制のあり方を考える。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目を予定している。

1. 行政とは何か
2. 行政国家の成立
3. 行政学の発展と行政改革
4. 現代の政府体系
5. 内閣制度と政官関係
6. 地方自治と分権改革
7. 官僚制の理論
8. 現代組織論
9. 日本の行政組織と行政改革
10. 公務員制度と人事システム
11. 行政活動と政策
12. 政策過程
13. 政策の執行と評価
14. 行政責任と参加

政
治

履修上の留意点

行政の現象は広範囲に及び、日常生活とも密接に関わる。行政学の学習にあたっては社会生活全般に関心を持つことが大切である。

成績評価の方法

学期末試験（50％）と学年末試験（50％）によって相対的に評価する。

教科書

森田朗『現代の行政（改訂版）』（放送大学教育振興会）2,000円

参考書等

授業内に適宜指示するか、印刷して配布する。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 国際政治学 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政1234選必 | | | | |
| 担当者名 | こぼり のりお 小堀 訓男 | | | | |

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30％とし、定期試験を70％の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 政治制度論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政1234選必 | | | | |
| 担当者名 | おおやま れいこ 大山 礼子 | | | | |

講義のねらい

民主主義国家においては、政治制度の究極の目的は、いかにして国民の民意を正確に反映する政治を実現するかにあるとよいでしょう。近代の歴史は、よりよい政治制度の探求の歴史だったと考えることもできます。この講義では、こうした視点から政治制度の発展史を辿り、さまざまな制度のもつ意味を検討していきます。たくさん「目からうろこが落ちる」経験をし、いろいろな角度から物事を見られるようになってください。

講義の内容・授業スケジュール

以下の順序を考えていますが、時事問題の解説を織り込むため、変更する場合があります。
 (前期) 政治制度の考察に入る前に、まず、制度の目的であるデモクラシーとは何かについて考え、その後、デモクラシーを実現するための政治制度の発展をイギリス、フランス、ドイツ、日本、アメリカの順で概観します。
 (後期) 前期の知識をもとに、政治制度のさまざまな側面を順次検討し、「制度は政治を変えるか?」という問題を考えていきます。主な項目は、選挙制度、政治資金、議会と政策決定過程、中央地方関係、司法審査制です。

履修上の留意点

途中で出入りする者、私語する者には、座席の変更や退場を求める場合があります。

成績評価の方法

年度末の定期試験を中心に、数回実施する小テストの結果、授業への参加状況を加味して評価します。

参考書等

参考になりそうな新聞記事等はコピーを配布します。参考文献はKOMSY詳細版で紹介しますので、積極的に読んでください。

その他

毎回の講義の内容等については、原則として前日までにKOMSY詳細版にアップロードします。自宅からもインターネット経由でアクセスできるので、必ず参照すること。

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 政治過程論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政1234選必 | | | | |
| 担当者名 | 早川 純貴 <small>はやがわ じゆんき</small> | | | | |

講義のねらい

本年度の政治過程論は、政党および利益団体についての基本概念から最近の理論研究までを検討する。講義では、その時々の方政策事例を織り交ぜながら、政党や利益団体に関する研究とその意義について論じていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期《政党》

- 1 政党の概念について
- 2 政党の発生と展開について
—— ロッカンのテーゼ
- 3 包括政党から選挙政党へ
—— ダウンズの理論と福祉国家
- 4 政党システムについて
—— サルトーリの政党システム
- 5 一党優位政党システム
—— 自民党の場合
- 6 政党組織の研究
—— パネビアンコの理論と
「組織化されたアナーキー」

後期《利益団体》

- 1 利益団体の概念について
- 2 利益団体の発生と展開について
—— 「正統派」の見解
- 3 正統派への批判
—— オルソンとソールズベリ
- 4 利益団体組織の研究
—— ローゼンバーク・モデル
- 5 政策過程における利益団体
—— アメリカのロビイング活動および日本の事例
- 6 政策ネットワークとコーポラティズム

政
治

履修上の留意点

講義では理論の解説に多くの時間をかける。理論の話は継続して聞かないと理解できない。きちんと出席することが肝要である。分からないときは遠慮せず質問すること。質問は学生の権利であり、教員はそれに答える義務がある。

成績評価の方法

中間試験と定期試験の合計点数により評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本政治史 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選必(14年度以前入学生) 政1234選必(15年度以降入学生) | | | | |
| 担当者名 | むらい りょうた 村井 良太 | | | | |

講義のねらい

政治を理解するには、思想分析、比較、一般化など様々な方法がありますが、歴史という経験に学ぶのが政治史です。本講義の目的は、第一に、日本政治史を学ぶことを通じて、日本の置かれてきた立場、選択とその結果について基本的な理解と知識を得ることです。さらに、歴史を学ぶことを通じて、政治を知り、現代を相対化してみる視点を養ってもらいたいと思います。

本年度の「日本政治史」では、現代日本に息づいている民主主義の政治的伝統を、明治維新からおおむね1960年代の政治的経験、なかでも1920年代の日本を中心に論じます。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下を予定しています。スケジュールなど詳細は開講後にお知らせします。
 前期：(1)日本政治の戦前と戦後 (2)開国と維新 (3)日清・日露戦争 (4)相次ぐ動乱と日本
 (5)原内閣と憲政会 (6)原以後の試行錯誤
 後期：(7)1924年憲政危機と西園寺 (8)憲政会の体制内化 (9)政党内閣制の成立 (10)内政から見た十五年戦争 (11)戦後政党政治の出発 (12)光と影の六〇年代

履修上の留意点

履修する学生には、出席と積極的な授業参加を求めます。

成績評価の方法

成績は、随時おこなう出席調査と、中間試験、学年末試験によって評価します。初回の講義で詳しい説明を受けてください。

教科書

村井良太『政党内閣制の成立』有斐閣、税込6,300円、ISBN:464107688X。教科書の利用については、必ず初回の授業で説明を受けてください。

参考書等

参考図書は、講義の中で随時紹介していきます。

政
治

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ヨーロッパ政治史 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政1234選必 | | | | |
| 担当者名 | うらた さなえ 浦田 早苗 | | | | |

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかにし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかには時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀
- ・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

年5～6回とる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した2題を出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

| | | | | | |
|------|-----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 地方行政 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選必（行政メディア） 政234選（国際） 政234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 内海 麻利 <small>うちうみ まり</small> | | | | |

講義のねらい

わが国の地方自治体は、国際化、情報化、高齢化など社会経済の急激な変化にさらされる一方、規制緩和、行政改革、地方分権の推進などの行政システム改革の強い要請のもとで、21世紀の地方自治のあり方を探究する変革期にある。本講義は私たちにとって身近な地方自治体における行政の仕組みや政策課題について、そのあり方を生活者市民の視点から明らかにし、学生諸君の地方自治についての専門知識と理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、地方自治体の政策・制度・管理を中心として多角的に地方行政のあり方を具体的な事例を参照しながら考察し、地方自治に対する主体的な取り組みや可能性またその課題を実践的観点から考えることとしたい。なお、主として地方行政に関する次の枠組みにおいて講義するが、詳しい授業スケジュールについては、第1回目の授業の際に配付する。

- ・都市、社会の変容と自治体行政
- ・地方分権とその改革
- ・政策過程と政策評価
- ・自治体における計画行政
- ・地方自治と条例
- ・市民参加と情報公開

履修上の留意点

地方自治体に関する報道記事や関連の専門誌などに目を配り、地方行政について理解を深めるよう努力を払ってほしい。

成績評価の方法

授業への出席、レポート、学期末試験の成績を中心に評価する。

教科書

早川・内海・田丸・大山『政策過程論』（学陽書房）2004年

参考書等

授業中に随時提示し、さらに詳細な考察を望む学生にはテーマに沿う参考書を推薦する。

| | | | | | |
|------|-----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 政策決定論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選必（行政メディア） 政234選（国際） 政234選必（14年度以前入学生） | | | | |
| 担当者名 | こたま ひろあき 児玉 博昭 | | | | |

講義のねらい

政策学は、政策の決定・実施・評価のメカニズムを考察する学問であり、政治学・行政学・経済学・経営学など諸科学が関係する学際的で実践的な学問である。この講義は、政策決定及び政策分析に関する基礎概念を整理することを目標とする。

この講義では、はじめに、政策学の対象である政策決定とは何か、政策志向がどのように生成され、それを受けて政策学がどのように発展してきたかを見る。次いで、政策決定をとりまく環境と社会構造、政策決定の参加者を明らかにする。そして、政策決定や政策プロセスのモデルについて論じていく。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目を予定している。

1. 政策過程の実際
2. 政策志向の生成
3. 政策科学の発展
4. 政策科学とは何か
5. 政策科学と伝統的諸科学
6. 公共政策とは何か
7. 政策決定の環境
8. 政策決定の社会構造
9. 政策決定の参加者
10. 政策決定
11. 政策過程
12. 政策分析
13. 政策参加
14. 政策実施

履修上の留意点

実際の政策決定は決して機械仕掛けではなく雲のように捉えがたい。政策学の学習にあたっては現実の社会をきちんと見据えて、視野や方法が断片的にならないように心がけることが大切である。

成績評価の方法

課題レポート（50%）と学年末試験（50%）によって相対的に評価する。

教科書

宮川公男『政策科学入門（第2版）』（東洋経済新報社）2,800円

参考書等

授業内に適宜指示するか、印刷して配布する。

その他

教科書の内容に沿って講義を進めるが、政策プロセスを取り上げた映画なども見ていきたい。

| | | | | | |
|------|-----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 行政法総論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選必(行政) 政234選(国際メディア) 政234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 塩入 みほも | | | | |

政治

講義のねらい

存在する法の約9割は行政法です。この講義では、その行政法の基本的な仕組みと理論一般について学びます。行政法は、民法や刑法、憲法等の他の法分野とは異なって、学生レベルではあまり日常生活に直接関連がないと感ぜられがちですが、例えば交通取締・治安等に関わる警察権行使の適法/違法や国家賠償請求の可否など、実は知っておくと便利なことがたくさんあります。また、政治を学ぶ上では、やはり行政法の知識を備え、日本の統治構造を支えている法的実態を知ることが重要でしょう。それを学ぶのが当講義の狙いです。

講義の内容・授業スケジュール

内容としては、まず総則-行政法学の基本原則、諸概念、諸制度等に関する基礎論-を説明し、次に、行政作用論-行政の各種行為形式とその法的性質(法的拘束力の有無など)、行政上の強制措置・制裁、行政調査など-について講義していきます。

履修上の留意点

行政法を初めて学習する者でもその基礎知識を一年間で習得できるよう、判例・通説を引用しながら、出来るだけ解り易く且つ簡潔に説明していくつもりです。特に公務員や行政書士等の国家試験を目指している学生のために、出題頻度の高い問題はその都度指摘します。

成績評価の方法

試験は学年末試験のみ。成績評価は、学年末試験の結果と平常点(不定期に確認する出欠)の総合判断により行ないます。

教科書

特定の教科書は使用しません。但し、オリジナルノートが作れるように毎回丁寧に板書します。

参考書等

最初の講義の際に紹介します。

| | | | | | |
|------|-----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 行政法各論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選必(行政) 政234選(国際メディア) 政234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 塩入 みほも | | | | |

講義のねらい

行政活動に対する国民の権利救済に関する法制度(=行政救済法)について講義します。

講義の内容・授業スケジュール

内容的には、国家賠償、損失補償、行政不服審査、行政事件訴訟の各法制度について講義していきます。

履修上の留意点

行政法の基礎知識を前提とするので、基本的には行政法総論を履修済みであることが望ましいです。ただし、努力次第では、総論との並行又は単独履修も可能です。特に公務員、行政書士等の国家試験を目指している学生のために、出題頻度の高い問題、論点についてはその都度指摘します。

成績評価の方法

定期試験(年度末一回)及び不定期に確認する出欠の総合判断により評価します。

教科書

特定の教科書は使用しません。

参考書等

初回講義時の際に紹介します。

| | | | | | |
|------|-----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 地方自治法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選必(行政) 政234選(国際メディア) 政234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | とみい ゆきお 富井 幸雄 | | | | |

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

『地方自治判例百選(第2版)』(別冊ジュリスト)。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

その他

講義では頻りに法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 民法（総則・物権法） | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選必（行政） 政234選（国際メディア） 政234選(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | すが あきのり 須賀 昭徳 | | | | |

講義のねらい

われわれの日常生活は民法に支配されている。したがって、この社会で活動するには民法についてひとりの知識がなければならない。市民の社会生活には財貨の生産、交換、消費、配分などを目的とする経済生活の面（これを規律する法が財産法）と種族保存を目的とする保族生活の面（これを規律する法が家族法）とがある。この財産法の領域の法が物権法と債権法である。これらの通則として総則がおかれている。本講義では民法第一編総則と第二編物権法について、基本となる知識を持てるようにしたい。なお、時間の関係で総則を中心として詳しく講義をし、物権についてはひとりの知識を持てるようにしていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期（民法総則）

①民法とは何か、民法の歴史 ②民法の基本原則 ③権利の主体（自然人） ④法人（社団法人、財団法人） ⑤権利の客体（物とは） ⑥法律行為（意思の欠缺、瑕疵ある意思表示） ⑦無効と取消 ⑧条件および期限・期間 ⑩時効（取得時効、消滅時効）

後期（物権法）

①物権の意義、種類 ②物権の効力 ③物権の変動 ④占有権 ⑤所有権 ⑥用益物権 ⑦担保物権（法定担保物権） ⑧約定担保物権 ⑨非典型担保（譲渡担保、仮登記担保）

政
治

履修上の留意点

講義にはかならず六法を持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

甲斐道太郎・乾昭三・椿寿夫編『新民法概説（1）総則・物権』（第4版）（有斐閣）2,000円

参考書等

講義の中で指示する。

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 刑法総論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 政234選必(行政) 政234選(国際メディア) 政234選(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 佐藤 多美夫 <small>さとう たみお</small> | | | | |

講義のねらい

この講義では刑法総論の分野を扱います。刑法総論は刑法各論のように殺人罪、窃盗罪といった個々の犯罪を扱うのではなく、それらの犯罪の共通にもっている性格を明らかにしようとする。そこで、犯罪の基本的、重要な課題について、その意義と問題点を学説や判例をふまえながらすすめて、体系的に刑法総論を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

I 序説

- 1 はじめに
- 2 犯罪論の基礎
- 3 罪刑法定主義と刑法の解釈

II 構成要件

- 1 総説
- 2 結果
- 3 実行行為
- 4 因果関係

III 違法性

- 1 総説
- 2 正当業務行為
- 3 正当防衛
- 4 緊急避難

IV 責任

- 1 総説
- 2 責任能力
- 3 故意
- 4 過失
- 5 期待可能性

V 共犯

- 1 総説
- 2 共同正犯、共謀共同正犯、承継的共同正犯、過失の共同正犯
- 3 教唆犯
- 4 幫助犯

VI 共犯の諸問題

- 1 共犯と身分
- 2 不作為と共犯
- 3 共犯と錯誤
- 4 共犯の中止、離脱

VII 罪数と刑罰

成績評価の方法

筆記試験とその他総合評価とする。

教科書

開講時に指示する(欠席しないように)。

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 労働法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選必(行政) 政234選(国際メディア) 政234選(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | ふじもと しげる 藤本 茂 | | | | |

講義のねらい

今日、労働法の対象である雇用社会は、リストラ、解雇や能力主義人事管理の導入などが行われ、日本型雇用システムの見直しがなされています。

労働法は、この雇用社会において生じる紛争を法的解決方法を検討する法領域です。この変化に無関係ではられません。

この変化は労働法の領域でも雇用関係法領域に大きく関わってきます。特に、労働時間法、労働契約法、雇用平等法などです。

講義では、雇用関係法領域を中心に、雇用社会の変化を頭の隅に置きつつ、これまで形成定着した労働法理の基礎を学びます。また、変化する法制度をまなびます。こうして、主に雇用関係法領域を概観し現代的課題に対して自ら考える視座を身につけてもらうことをねらいとしています。

政治

講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、基礎的知識をまなぶとともに、現代的課題に触れます。以下に、アウトラインを示します。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本の雇用システムの変容と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 労働条件の変更
- (8) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (9) 人事異動－配転、出向、転籍
- (10) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (11) 賃金、賞与、退職金
- (12) 労働時間、時間外労働
- (13) 休憩、休日、休暇
- (14) 労働災害など

履修上の留意点

毎時間出席。授業のマナーは守ること。

授業は、配布するレジュメと資料を使って行います。レジュメには取り上げる項目が挙げられているだけです。内容は授業で埋められていきます。ノートをとることが必要ですし予習復習は欠かせません。

また、憲法、民法総則、債権総論、債権各論、社会保障法、社会政策といった近接した専門科目や労働経済なども履修すること（あるいは履修済みであること）が望ましい。

成績評価の方法

学年末試験（論述式）がメインで、出席、レポートなどとともに総合的に評価して決めます。確認テストや中間試験も評価の対象です。

追試験は実施します。

教科書

教科書は、ベーシック労働法（浜村彰ほか著・有斐閣）、労働法（浅倉むつ子ほか著・有斐閣）が手ごろでしょう。物足りなさを感じる受講生は、労働法（菅野和夫著・弘文堂）がいいでしょう。教科書は予習復習をするうえで必要です。少なくとも1冊は用意してください。

参考書等

労働判例百選第7版（別冊ジュリスト）、六法は用意してください。六法は、法改正がありますから、最新のものを用意する必要があります。また、労基法施行規則の載っているものがが必要です。第1回目の授業で紹介します。

その他

各項目についてイメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 刑事政策 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選必(行政) 政234選(国際メディア) 政234選(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | かくしよう とよかず 覚正 豊和 | | | | |

講義のねらい

犯罪とは何か、刑罰とは何か、非収容者の処遇の実態、犯罪者をどのように再社会化させるかなどについて単なる犯罪対策にとどまるのではなく、その社会的・文化的要因や身体的要因、犯罪学仮説、警察機構、刑事司法対策等の諸問題にわたり比較犯罪学的展開を踏まえた上で理解させていきたい。そして、犯罪学における基本理念をわが国の理論的現状をも対比しつつ、国際的動向との関係から正しく捉え犯罪を防衛するための合理的、合目的な手段・方法を探究していくことを目的とする。今日、とうとうと流れる国際社会において、犯罪者という社会のもっとも片隅においやられた人権の在り方を考えるということは、ますます重要な問題になってくるはずである。講義を通じてそれを概観していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- | | | |
|------|-------------------------------------------------------|--------|
| 回数 | 授業の内容 | 政 治 |
| 第1回 | 受講のガイダンス 刑事政策の意義と課題 刑事政策、犯罪学と規範学の相違について学ぶ。 | |
| 第2回 | 犯罪学の歴史と展開 その起源から近代学説までを学ぶ。 | |
| 第3回 | 現代犯罪学の課題 ラベリング理論、非犯罪化、非刑罰化、社会的統制理論などについて学ぶ。 | |
| 第4回 | 犯罪の理念 犯罪とはなにか。日常わたしたちが用いるよりも広義なものであることを学ぶ。 | |
| 第5回 | 刑事政策と暗数 犯罪統計と暗数の意味、被害調査、事故報告調査などについて学ぶ。 | |
| 第6回 | 犯罪の原因(1) 身体的・生理的要因について学ぶ。 | |
| 第7回 | 犯罪の原因(2) 個人環境的要因について学ぶ。 | |
| 第8回 | 犯罪の原因(3) 社会環境的要因について学ぶ。 | |
| 第9回 | 刑罰の意義・機能・沿革 意義機能はもちろん一般予防、特別予防、抑制主義、処罰の種類などについて学ぶ。 | |
| 第10回 | 死刑 憲法と死刑、存廃論、代替刑について学ぶ。 | |
| 第11回 | 自由刑 意義、歴史的考察、短期自由刑、不定期刑などについて学ぶ。 | |
| 第12回 | 財産刑 罰金の意義、特質、罰金と科料などについて学ぶ。 | |
| 第13回 | 保安処分 意義、種類、要件などについて学ぶ。 | |
| 第14回 | 少年保護手続 家庭裁判所と少年審判、少年法改正問題について学ぶ。 | |
| 第15回 | 定期試験(予定) | |
| 第16回 | 犯罪者の処遇 意義、原則、動向について学ぶ。 | |
| 第17回 | 犯罪者の刑事司法政策(1) 警察 微罪処分、ダイヴァージョンなどについて学ぶ。 | |
| 第18回 | 犯罪者の刑事司法政策(2) 検察 起訴猶予などについて学ぶ。 | |
| 第19回 | 犯罪者の刑事司法政策(3) 裁判 量刑基準、宣告猶予、執行猶予、判決前調査などについて学ぶ。 | |
| 第20回 | 矯正の意義・目的 矯正処遇の意義、目的、観念、矯正処遇の原則などについて学ぶ。 | |
| 第21回 | 受刑者の処遇 法的地位、処遇原則、分類処遇、死刑確定者の処遇などについて学ぶ。 | |
| 第22回 | 犯罪の予防 | |

講義の内容・
授業スケジュール

- 第23回 意義、予防、予防活動、予測、問題点などについて学ぶ。
更生保護
- 第24回 意義、措置、概況などについて学ぶ。
恩赦・資格制度
- 第25回 恩赦の種類、効力、存在理由などについて学ぶ。
被害者補償
- 第26回 意義、歴史、必要性、法的性質などについて学ぶ。
各犯罪と対策
- 第27回 少年非行、女性犯罪などについて学ぶ。
各種犯罪と対策
- 第28回 組織犯罪、ホワイトカラー犯罪などについて学ぶ。
各種犯罪と対策
- 第29回 薬物、アルコール犯罪などについて学ぶ。
まとめ
- 第30回 討論及び質疑
定期試験

政
治

履修上の留意点

初回の授業において指示する。

成績評価の方法

定期試験および平常点

教科書

斉藤静敬著『刑事政策』（創成社）

参考書等

授業において指示する。

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 社会政策 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選必(行政) 政234選(国際メディア) 政234選(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 原田 啓一郎 | | | | |

講義のねらい

社会政策は、市場経済の限界や市場経済が生み出す弊害から、人々を保護し、国民生活のリスクを社会的に軽減、防止する目的で発展してきたものである。本講義では、社会政策の理論的理解を行うとともに、社会政策の過去と現状を再評価しながら、社会政策の課題を展望することを目的とする。具体的には、労働政策・社会保障政策について、法学・経済学・社会学・政治学などの知見を用いながら、理論的課題を学際的かつ多角的視点で理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- I 社会政策の原理
 - 1 社会政策とは
 - 2 社会政策の歴史
 - 3 福祉国家と福祉社会
- II 社会政策の諸相
 - 1 労働時間と社会政策
 - 2 賃金と社会政策
 - 3 労働市場と社会政策
 - 4 所得保障と社会政策
 - 5 サービス保障と社会政策
- III 社会政策の理論的視点

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教科書

講義開講時に指定する。

参考書等

参考文献については、適宜指示する。

その他

日頃より新聞、雑誌等で社会の動向を注視してほしい。

| | | | | | |
|------|-----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 環境政策 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選必(行政) 政234選(国際メディア) 政234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | よこた まさとし 横田 匡紀 | | | | |

講義のねらい

環境問題は現代世界の将来にかかわります。従って環境政策は将来の世代の生活にかかわる選択をする営みといえましょう。この講義では、多様化、複雑化、グローバル化している環境問題の状況を踏まえて、環境政策のメカニズムを理解していきます。日本、世界各国、国際社会における環境政策の具体例に言及しながら、行政の視点、企業の視点、市民の視点が交錯する諸相を明らかにします。公務員志望者、マスコミや民間企業志望者あるいは環境問題関連の資格試験なども念頭に置き、有益な情報の提供をこころがけたい。また現代社会の一市民として環境政策をみる視座、問題解決への視座を育成することが期待されます。

講義の内容・授業スケジュール

*前期は「グローバリゼーションと環境問題への対応」と題して、環境政策がグローバルな性質を持つことを理解します。後期は「持続可能な社会のガバナンス」と題して環境問題に対応する社会のあり方を考えます。

前期テーマ「グローバリゼーションと環境問題への対応」

序一将来の世代のための選択：政策科学の視点

- ・環境政策の射程と担い手—ローカルからグローバルへ
- ・環境政策のキーワード

持続可能な発展 予防原則 共通だが差異のある責任原則 等

1. ストックホルムからヨハネスブルクへ

—持続可能な発展をめぐるガバナンスの軌跡

- ・環境のグローバリゼーション
- ・国連人間環境会議と地球サミット
- ・ヨハネスブルク・サミットと制度改革

2. 新しい政策課題

- ・「人間の安全保障」と環境問題
- ・淡水資源のガバナンス
- ・ジェンダー／人権と環境問題
- ・反グローバリゼーションと環境問題

後期テーマ「持続可能な社会のガバナンス」

序一持続可能な社会のキーワード

ガバナンス コモンズ 社会関係資本と環境 政策手法の変質 等

1. 持続可能な社会の政策課題

- オゾン層保護
- 再生可能エネルギー 等

2. 政策統合の諸相

- 環境経営
- 貿易と環境
- エコツーリズム
- 持続可能な交通政策 等

3. 京都議定書と日本の課題

- 地球温暖化のメカニズム
- 京都議定書の国際制度
- 京都メカニズム
- 環境政策の展望

*受講生の関心や授業の進行度に応じて優先順位を変更したり、トピックを選別することがある。

*時事問題を随時とりあげる予定である。

*新聞記事やビデオなどを多用し、理解の深化に努める予定である。

履修上の留意点

講義中は私語厳禁とする。

出席点はないが、出席しないことで生じる不利益は各自の責任となることに注意してください。KOMSのYの詳細情報にも講義情報のエッセンス、試験情報を掲載する予定であり、出席でき

履修上の留意点

なかった学生は確認するように心がけてください。

成績評価の方法

試験を基本とし、レポートや平常点などを加味し総合的に判断する。

参考書等

宮脇・庄司編『グローバル公共政策入門（仮題）』（晃洋書房）近刊
横田匡紀『地球環境政策過程』（ミネルヴァ書房）（第2刷）

その他

環境問題に少しでも関心を持つ学生の履修を歓迎します。

| | | | | | |
|------|-----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 国際関係論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選必(国際) 政234選(行政メディア) 政234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 三船 恵美 | | | | |

講義のねらい

国際関係論の概念や理論、現代国際関係の枠組み、国際関係における諸問題などについて勉強しましょう。

講義の内容・授業スケジュール

1. イントロダクション
2. 国際関係のアクター
3. 国際関係の分析視角
4. 日本の領域と日韓関係
5. 日本の領域と日中関係
6. 国益とパワー
7. 安全保障の概念と類型
8. 人間の安全保障とODA外交
9. 国連と日本
10. 《9・11》以後のアメリカ外交：テロ・WMD・MD
11. 北朝鮮問題と国際関係
12. 日米同盟と米中関係・日中関係
13. 中央アジアをめぐる多国間協議と中露関係：CIS・EAES・SCO・CICA
14. APEC、ARF、「1+10」、東アジア共同体構想
15. AUの枠組み・ソマリア・ルワンダ・スーダンからみる国連の限界
16. EUの枠組み・EU拡大とその影響
17. イラン問題
18. 地球環境問題をめぐる政治と経済
19. リアリズム
20. ネオ・リアリズム
21. ゲーム理論
22. リベラリズム
23. ネオ・リベラリズム
24. マルキシズム
25. グローバル・ガバナンス論、デモクラティック・ピース論、平和研究
26. # 2～9、19～25のクイズ(=小テスト)
27. クイズの解説
28. 総括

政
治

履修上の留意点

授業中の私語は厳禁。テストを放棄した場合にレポートは課しません。就職活動や部活で欠席した人を特別扱いしません。配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。欠席した場合の授業内容は、各自の責任で補って下さい。
日米中関係に関心の高い学生には、「政治学特殊講義(3)」(前期開講科目)の履修を勧めます。

成績評価の方法

試験(100%)。

教科書

野林・大芝・納家・山田・長尾『国際政治経済学・入門』有斐閣アルマ、2003年、2000円＋税。
天児慧『中国・アジア・日本』ちくま新書、2006年、700円＋税。
これら2冊でカバーできない内容については、資料を配付します。

| | | | | | |
|------|-----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 比較政治学 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選必(国際メディア) 政234選(行政) 政234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 三竹 直哉 | | | | |

講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介しますとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ勉強をすることを目標にします。

「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

講義の内容・授業スケジュール

この文章は2006年12月の時点で書いています。授業には、現在世界や日本で起きている出来事を反映させたいです。また、よいドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたくて考えています。そうしたことから、2006年12月の時点で詳細な授業スケジュールは出せません。基本的には、民主化、民族問題、移民政策といったテーマで授業を進めていき、その後方法論の勉強をしたいと思っています。昨年度の授業内容は、下記にある授業用サイトで見ていただけますので、参考にしてください。

授業のやり方は、人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのような雰囲気でもやることもあり得ます。(2006年度の授業は、ゼミのようにやりました。)

履修上の留意点

基本的事項は自分できちんと調べることが前提です。文献を読む課題がたくさん出ますが、読まなければ単位を取れません。中学校の社会科レベルのことが身につけていない人には単位を出せません。新聞を読んでいない人も同様です。(テストでチェックします。)
また、高校の社会科レベルのことで、授業に関連することは自分で学習することが前提です。欠席したときの授業内容は、各自の責任で補ってください。就職活動であろうが、部活動であろうが、欠席した人を特別扱いすることはありません。

成績評価の方法

平常点と定期試験によります。

教科書

高根正昭『創造の方法学』(講談社現代新書)
他にも指定する可能性はあります。
ほぼ毎回、授業前までに読んでくるべき課題文献を指定します。読んでいない場合、出席できないことがあります。

参考書等

授業ごとに課題文献を指定します。授業には必ずそれを読んだうえで参加してもらいます。

その他

この文章は2006年12月時点に書いています。変更もあり得ることを了承のうえ、読んでください。詳しい授業案内・スケジュールは、2007年4月に授業用ホームページに掲載します。
<http://www.jj.em-net.ne.jp/~bamboos/>
URLが変更になる可能性があります。その場合、Googleなどで三竹直哉と入れて検索してみてください。見つからなければ、下記までメールでご連絡ください。
mitake@komazawa-u.ac.jp

| | | | | | |
|------|-----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 国際経済学 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 政234選必(国際) 政234選(行政メディア) 政234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 徳永 俊明 | | | | |

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいますのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としています。同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱として重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

講義の内容・
授業スケジュール

〈講義のテーマ(予定)〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日=第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱の一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済
貿易・国際通貨制度・資本輸出——(「援助」と多国籍企業)・〈南北問題〉と新国際経済秩序
- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

成績評価の方法

成績は世界経済の基本事項、世界経済の“枝葉”ではなく、“幹”の理解度をミニ・レポート(2回予定)および学年末レポートで評価します。配分はミニ・レポート40点、学年末レポート60点。(レポート評価のため追試験は行ないません。)

参考書等

講義の中で適宜紹介します。

| | | | | | |
|------|-----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 国際法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選必(国際) 政234選(行政メディア) 政234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | さいとう ひろし 齋藤 洋 | | | | |

講義のねらい

本講義は、国際法全体(武力紛争法・国際人道法を除く)を概観し、理論および判例を通して国際社会における基本的ルールの理解につとめるものである。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期予定

第1回 講義と試験の説明など

第2～9回 慣習法・条約・日本の政治責任・自衛権・国際法と国内法との関係・国家主権・国境・国籍・国家承認など

第10～16回 地的管轄権(内水・領海・接続水域・EEZ・深海底・領空・宇宙など)

後期予定

第17～23回 地的管轄権の続き、人的管轄権(国籍の取得・犯罪人引渡・政治犯罪人・難民・庇護権など)

第24～25回 外交関係・領事関係・国際機関など

履修上の留意点

指定された教科書を必ず持参すること。ノートはしっかりと取ること。

成績評価の方法

成績は、定期試験のみで評価される。講義に出席していないと解けない問題が出題される。

教科書

齋藤洋『国際法講義ノート・資料2006』(虹有社) 予価2,500円

参考書等

『国際法判例百選』(有斐閣)などの国際法判例集、その他の市販されている国際法概説書

その他

授業は教科書に沿った講義形式で出席はとらない。教科書は他大学の講義と共通しているので早めに入手しないと、年度末には在庫切れで入手できなくなる可能性がある。

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 北米政治論(1) | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政234選必(国際) 政234選(行政メディア) 政1234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | こぼりのりお 小堀 訓男 | | | | |

講義のねらい

この講義のねらいは、“アメリカ政治の特質”を理解することにある。アメリカは、世界中から集まった、多種多様な人種によって形成された不思議な国家である。その不思議な国家を理解するためには、たった一度の独立革命(独立戦争)で国家が成立してしまった様子、アメリカの国家理念、アメリカの政党と政治を考察し理解する必要がある。

講義の内容・
授業スケジュール

1. アメリカ国家の成立過程
2. アメリカ政治の型式
3. アメリカの政党の機能
4. 民主党と共和党——両党の支持者はだれか。
5. 民主党か共和党か——両党の相違点は何か。
6. アメリカ政治の将来

政
治

履修上の留意点

この講義では、アメリカ政治の総論を概説するが、政治学の基礎的な知識を必要とする。基礎的な事項は、その都度明示し解説するが、理解できない点は積極的に質問して欲しい。

成績評価の方法

定期試験70%、授業中の小テスト30%、授業中の積極的な発言も評価の対象とする。

教科書

特定のテキストは使用しない。

参考書等

参考書、雑誌、論文など、講義のなかでその都度紹介する。

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 北米政治論（2） | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政234選必（国際） 政234選（行政メディア） 政1234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | こほり のりお 小堀 訓男 | | | | |

講義のねらい

この講義のねらいは、“アメリカ政治の特質”を理解することにある。そのため、ルーズベルト大統領のニューディール政策からブッシュ大統領までの歴代の大統領の内政と外交を概観する。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. ニューディール体制
2. 第2次大戦後の政治と社会
3. 激動の1960年代
4. 社会変動と政治の対応
5. 1970年代後半の保守化への動き
6. レーガン政権、I期II期
7. ブッシュ政権と社会主義諸国との関係
8. 冷戦終結後のアメリカと国際政治

履修上の留意点

ルーズベルト以後の各大統領の内政と外交について、受講生のなかで希望者が研究発表をおこない、受講生全員で討論しながら理解を深めていきたい。積極的に授業に参加することを望む。

成績評価の方法

定期試験70%、研究発表30%、授業中の積極的な発言も評価の対象とする。

教科書

特定のテキストは使用しない。

参考書等

参考書、雑誌、論文など、講義のなかでその都度紹介する。

その他

今日の問題とアメリカとの関係について、授業中に討論するので、新聞を毎日良く読んでおくこと。

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 東南アジア政治論（1） | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 政234選必（国際） 政234選（行政メディア） 政1234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 深尾 康夫 | | | | |

講義のねらい

東南アジアの特徴として域内各国における民族、宗教、言語、文化などの多様性が指摘されます。本講義では、このような多様性が東南アジア諸国の政治のあり方にどのように影響を及ぼしているのかという側面を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の前半では東南アジアの歴史をさかのぼり、この地域に多様な文化、宗教が域外から流入した背景とそのプロセスを見るときともに、欧米諸国による植民地化を経て第二次大戦後、多くの新興国家が誕生した経緯について学びます。授業の後半ではインドネシアを主な事例として、どのような政治システムが構築され、それがどのように機能してきたかを学びます。

政
治

履修上の留意点

インドネシアを中心とする東南アジア関連のニュース報道に注意してください。

成績評価の方法

期末試験ないし最終レポート60%、小レポート30%、出欠10%に基づいて評価します。

教科書

教科書は特に指定しません。

参考書等

毎回授業時に参考文献リストを配布します。

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 東南アジア政治論（2） | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 政234選必（国際） 政234選（行政メディア） 政1234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 深尾 康夫 | | | | |

講義のねらい

東南アジアは古来文化的・民族的に多様な社会を発展させてきました。第2次大戦後独立を果たし、国造りを始めた大部分の国にとって、国内の多様性を尊重しながらいかに統一国家を維持するのかという問題は、今日に至るまで大きな政治的課題です。本講義では海城部の大国インドネシアを中心に、中央・地方関係の視点からこの課題への対応を探ります。

講義の内容・
授業スケジュール

先ず集権化・分権化など基本的認識について確認後、1970年代以降、今日までの中央・地方関係を事務（仕事）、財政（カネ）、人事（ポスト）における権限がどう変化してきたのかという文脈から学びます。さらにスマトラ島アチェ、ニューギニア島パプアなど国際化してきた国内の分離独立運動との関連からも見ていきます。

履修上の留意点

インドネシアを中心とする東南アジア関連のニュース報道に注意してください。

成績評価の方法

期末試験ないし最終レポート60%、小レポート30%、出欠10%に基づいて評価します。

教科書

教科書は特に指定しません。

参考書等

毎回授業時に参考文献リストを配布します。

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国政治論（1） | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政234選必（国際） 政234選（行政メディア） 政1234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | たけはな みつのり 竹花 光範 | | | | |

講義のねらい

当科目は、地域研究入門講座的な性格をもって設けられたものであり、中国政治の歴史と現状について、正しい理解を得ることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は、辛亥革命以後の中国の政治制度と政治事情の変遷が中心になるが、とくに中華人民共和国建設後は、そうした変遷が、国家の最高法規であるはずの憲法の上に、どのように反映しているかについて詳述する。恐らく、プロレタリア文化大革命から75年憲法の採択あたりまでの講義になるものと思う。

履修上の留意点

時事的な問題をとり上げて解説するなど立体的な講義を心がけるので、できる限り講義には出席すること。

成績評価の方法

成績の評価は、論述型のペーパーテストによって行う。
前もって数題提示し、その中から出題することになるものと思う。

教科書

竹花光範『中国憲法論序説』（成文堂）3,500円

参考書等

参考書（とくに、中国政治史、中国共産党史や現代化路線に関するもの）は、必要に応じて講義の中で紹介する。

その他

中国は「近くて遠い国」であるといわれる。地理的には、まさに隣国といってよく、歴史的にも深い関わりがありながら、お互いの理解は、必ずしも充分とはいえない。そのことが両国の間に不必要な軋轢を生んでいるといってもよいであろう。学生諸君が、正しい中国認識をもって、「あるべき日中関係」を考えるよすがとなるような講義を心がけるつもりである。

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国政治論（2） | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政234選必（国際） 政234選（行政メディア） 政1234選必（14年度以前入学生） | | | | |
| 担当者名 | たけはな みつり 竹花 光範 | | | | |

講義のねらい

当科目は、地域研究入門講座的な性格をもって設けられたものであり、中国政治の歴史と現状について、正しい理解を得ることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

後期においては、78年憲法から現行83年憲法の採択、その後の四度にわたる部分改正について述べることになるが、ここでは、いわゆる「中国の特色をもった社会主義」、すなわち社会主義市場経済体制の特色、並びに問題点についても論及する予定である。

履修上の留意点

時事的な問題をとり上げて解説するなど立体的な講義を心がけるので、できる限り講義には出席すること。

成績評価の方法

成績の評価は、論述型のペーパーテストによって行う。
前もって数題提示し、その中から出題することになるものと思う。

教科書

竹花光範『中国憲法論序説』（成文堂）3,500円

参考書等

参考書（とくに、中国政治史、中国共産党史や現代化路線に関するもの）は、必要に応じて講義の中で紹介する。

その他

中国は「近くて遠い国」であるといわれる。地理的には、まさに隣国といってよく、歴史的にも深い関わりがありながら、お互いの理解は、必ずしも充分とはいえない。そのことが両国の間に不必要な軋轢を生んでいるといつてよいであろう。学生諸君が、正しい中国認識をもって、「あるべき日中関係」を考えるよすがとなるような講義を心がけるつもりである。

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ヨーロッパ政治論（1） | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政234選必（国際） 政234選（行政メディア） 政1234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | なかの ゆうじ 中野 裕二 | | | | |

講義のねらい

本年度の「ヨーロッパ政治論（1）」は「フランスにおける移民・外国人問題」と題して講義します。基礎となる学問的傾向は政治社会学です。フランスは人種、文化、宗教の面で多様な人々をどのような理念・制度に基づいて社会に統合し、彼らと共存しようとしているのか。実際に移民・外国人の抱える困難は何か。政府や政治勢力は移民・外国人問題にどのように対応しているのか。こうした点の検討をとおして「国民とは何か?」、「多様な人々との共存はどのように可能か?」を考えます。

講義の内容・授業スケジュール

プロローグ 「移民社会」フランスの危機——なぜ今「平等」を問うか
 1. ヨーロッパ移民社会の転換とフランス
 2. フランス的平等と「共和国モデル」
 3. 「フランス人になること」と平等の間——移民にとっての国籍
 4. 社会的統合の危機
 5. 平等の再定義へ——エガリテとエキテ
 6. ポジティブ・アクションへ——「教育優先地域」施策を中心に
 7. 移民の文化とそのスティグマ化——「ライシテ」は平等なのか
 8. 強まる排除と行動する移民
 エピローグ

政
治

履修上の留意点

「政治制度論」を受講済みであることを前提として講義します。フランスを直接の対象としますが、「日本の移民・外国人問題は?」「日本の共存理念は?」という問題関心をつねに持って受講してください。時間が許せば、日本の状況を紹介し、比較します。

成績評価の方法

期末試験と授業時間中の小テストなどを総合的に評価します（ただし、受講生が少ない場合は期末試験に代えてレポートを課します。第1回目の授業でいずれかに決めます）。学生に期待される到達レベルを初回の授業で示し、それをもって評価基準とします。なお、授業中の意見・質問などの授業への積極的参加は、補助的に評価します。

教科書

宮島喬『移民社会フランスの危機』岩波書店、2006年、2800円（ISBN4-00-022161-2）
 なお、教科書を要約した毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

参考書等

大山礼子『フランスの政治制度』東信堂、2006年
 田口富久治・中谷義和編『新版 比較政治制度』法律文化社、1999年
 中野裕二『フランス国家とマイノリティ』国際書院、1996年

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ヨーロッパ政治論（2） | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 政234選必（国際） 政234選（行政メディア） 政1234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | みじしま りょう 藤嶋 亮 | | | | |

講義のねらい

1989年の体制転換以降、中・東欧諸国は、民主化と市場経済化を軸とした政治的・経済的・社会的な大変動を経験しましたが、それは2007年のルーマニア・ブルガリアのEU加盟によって一つの区切りを迎えました。本講義では、戦間期・社会主義期という歴史的背景や、他地域との比較を踏まえて、中・東欧諸国の現在の政治や今後の展望について考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 歴史的背景としての戦間期
2. 社会主義体制とその類型
3. 1989年の体制転換と民主化論
4. デモクラシーの固定化と政党システム
5. EU拡大と国内政治
6. 「ヨーロッパ化」と地域の多様性

政治

履修上の留意点

自分なりの問題関心をもって取り組むことが大切なので、できるだけ新聞や、テレビ、インターネットなどを通じて、最新の情報に触れるように心がけてください。

成績評価の方法

学期末の筆記試験によって、成績を評価します。

教科書

特に指定しません。

参考書等

参考文献は、講義中に適宜紹介します。

その他

レジュメを配布し、それに基づいて講義を進めます。

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ヨーロッパ政治論（3） | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 政234選必（国際） 政234選（行政メディア） 政1234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | あさみ まさえ 浅見 政江 | | | | |

講義のねらい

今期は欧州連合（EU:European Union）の政治について講義します。周知のように2007年1月にブルガリアとルーマニアがEUに加盟を果たし、EUの構成国は27カ国となりました。欧州のほとんどの国がEUに加盟しています。現代欧州の政治を語る時、このEUの存在抜きには語り尽くせなくなりました。つまり、EUの権限がここ半世紀の間の徐々に強化され、特に通商政策や農業政策においては、構成国の主権が一部制限され、EUが独占的に権限を行使することができます。もちろん、構成国の主権がすべてに優先される政策領域も当然のことながら存在します。EUとは、複雑怪奇、摩訶不思議な存在だといえます。講義では、このEUの起源を歴史的に遡り、現在のEUの政治のダイナミズムを検証することになります。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1クール：ガイダンス＋欧州とはなにか？（2回）
- 第2クール：EUの歴史 その起源～現代（4回）
- 第3クール：EUとはなにか？ 政治構造と政策領域（4回）
- 第4クール：EUの構成国（2回）
- 第5クール：総括

政
治

成績評価の方法

学期末の試験と日常点（出席他）

教科書

特定のテキストは使用しませんが、毎回レジュメを用意します。参考文献講義中適宜紹介します。

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ヨーロッパ政治論（4） | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 政234選必（国際） 政234選（行政メディア） 政1234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | あさみ まさえ 浅見 政江 | | | | |

講義のねらい

本講座ではドイツ連邦共和国を素材に欧州の政治に関する理解を深めていきます。周知のように「ドイツ」は欧州を代表する主要国のひとつです。その「ドイツ」の誕生から現在に至る歴史を概観し、現在のドイツの政治制度、社会、経済について解説します。さらに欧州連合（EU）の中核的存在である「ドイツ」を欧州統合の文脈で評価してみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1クール：「ドイツ」とは何か・「ドイツ」歴史（5回）
- 第2クール：現代ドイツの政治制度（4回）
- 第3クール：現代ドイツの課題（3回）

履修上の留意点

ドイツを対象に講義を行います。特段ドイツ語の知識は必要ありません。ただ、講義内容を正確に理解し、理解を深めるためには講義中提示した参考文献の手助けが必要です。講義に欠かさず出席することはもちろんのこと、講義を発展的に活用する意気込みのある人の履修を期待します。

成績評価の方法

平常点で評価します。3つのクールの最終回に小テストを実施し、その合計点と出席点で成績評価を行います。

教科書

特定のテキストは使用しませんが、講義中適宜参考文献を提示します。また、随時講義内容に関連するレジュメを配布する予定です。

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | アラブ・イスラム政治論 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 政234選必(国際) 政234選(行政メディア) 政1234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | なかしま いさむ 中島 勇 | | | | |

講義のねらい

現代中東の政治問題を中心に扱う。開講中に発生する事件や紛争を手がかりに、その背景にある民族問題、宗教問題を整理する。中心的テーマは、アラブ・イスラエル紛争、イラク問題、イスラム系組織のテロ問題となる。また一神教の成立など、現在の事件の背景を理解するために必要な歴史にもふれる。

履修上の留意点

ニュースを扱うので、国際報道に関心があることが望ましい。

成績評価の方法

評価は、レポートの提出で行う。

政 治

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中南米政治論 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 政234選必(国際) 政234選(行政メディア) 政1234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | きしかわ たけし 岸川 毅 | | | | |

講義のねらい

比較政治学の観点から、中南米諸国の政治体制の基本構造と変動のメカニズムを解説する。まず独立後の政治史を概観したのち、軍、政党、教会、労組、住民組織、ゲリラ組織など主要アクターの役割を明らかにしつつ、中南米地域に共通して見られる一般的性格や国ごとの独自性を明らかにする。そしてさらに、民主化や経済自由化といった近年の動きが伝統的な政治のあり方をどう変えていったのかを見ていく。

講義の内容・ 授業スケジュール

- (1・2) 中南米政治の歴史的背景
- (3～6) 主要な政治アクター
- (7～9) 革命と革命後政権
- (10・11) 民主化
- (12) 経済自由化
- (13) 中南米政治の新たな課題

履修上の留意点

積極的な質問を期待する。本講義では基礎的知識の提供を目的としているので、より知識を深めたい学生に対しては、専門文献や研究方法を個別に紹介する。

成績評価の方法

学期末に実施する論述式の試験によって評価する。出席点も若干加味する。

教科書

松下洋・乗浩子編『ラテンアメリカ 政治と社会 [全面改訂版]』(新評論) 3,200円

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 比較都市論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選必(国際メディア) 政234選(行政) 政234選(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | うちうみ まり 内海 麻利 | | | | |

講義のねらい

経済成長を目的に都市開発を進めた時代から、地域管理や経営という視点を含む持続的発展を目指した都市づくりが要請される時代へと移行しつつある。このような変化に対し今日の都市づくりは、経済のグローバル化に伴い国内外にわたる地域間競争にさらされ、持続可能性をもって地域ポテンシャルを高めることが期待されている。一方、地方分権改革により各都市独自の政策に基づき、固有の環境や景観、歴史や文化・産業などの資源を活かした個性豊かな都市のあり方が問われている。本講義では持続可能で個性豊かな都市づくりという観点から、諸外国と日本、日本における各都市について比較し、また、先進的な事例をとおして今後の都市政策における学生諸君の専門知識と理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、各回毎に今日的なテーマを設定し、様々な都市のデータ及び都市づくりに関する計画や政策、実践的な取り組み等を提示しながら講義を行うが、詳しい授業スケジュールについては、第1回目の授業の際に配付する。

履修上の留意点

授業時に紹介する教科書や参考書を読み理解を深めるよう努力を払ってほしい。

成績評価の方法

授業への出席、レポート、学期末試験の成績を中心に評価する。

教科書

特に教科書は指定しない。

参考書等

授業中に随時提示し、さらに詳細な考察を望む学生にはテーマに沿う参考書を推薦する。

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | マス・コミュニケーション論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選必(メディア) 政234選(行政国際) 政1234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 相田 敏彦 <small>あいだ としのこ</small> | | | | |

講義のねらい

マス・メディア、とりわけテレビは、いわば空気のように、身近で、かつ、なくてはならないものというのが、私達大部分の実感とってよいと思います。しかしその身近さやおもしろさ、有用性などによって、メディアは実は気づかれない形で私達のものの方や考え方を、さらには感じ方までも形づくる大きな力の一つになっています。
この問題を掘り下げて考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期：「カメラはウソをつかない」か。
新聞記者の「ペンにはウソをつき得る」が、報道のカメラは事実をありのままに伝えてくれるのかどうか。
(1) 原理的検討
記号論やカルチュラル・スタディーズに基づいて、この問題を掘り下げます。
(2) 具体的検討
新聞の具体的写真によって考えてゆきます。
後期：テレビニュースやドラマをめぐって。
(1) ニュースによる‘よびかけ’
私達はニュースによって‘よびかけ’られて、気がつかないうちに‘国民’や‘消費者’に仕立てられます。このことを具体的にかつ論理的に追求します。
(2) 視覚的・言語的言説としてのテレビ
‘現実性効果’、‘埋めこまれた前提’について、構造主義の方法を参考に検討します。
(3) メディアと権力
権力についての新しいとらえ方を学びます。
(4) ドラマの視聴者への影響
テレビドラマの深い影響力を調べます。

成績評価の方法

レポートと学年末試験の成績を中心に評価します。

教科書

使用しません。

参考書等

U. エーコ『記号論』I、II(岩波書店)
児島和人『マス・コミュニケーション受容理論の展開』(東京大学出版会)

| | | | | | |
|------|-----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 数量政治学 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選必(メディア) 政234選(行政国際) 政234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | とみさき たかし 富崎 隆 | | | | |

講義のねらい

「数字」と聞くだけで毛嫌いな学生諸君も多いかもしれませんが、数量的手法は今日の政治学において大変重要となっています。数量的政治分析は、現代政治学で目指された政治学の「科学化」の潮流の中で、戦後アメリカを中心に急速に広がっていき、現代政治学において、もはや主流的スタンスとなっています。実際、アメリカ政治学の代表的学術誌である「American Political Science Review」誌上の論文中、今日では実証的論文のほとんどが広い意味での数量的政治分析(数理・計量モデル)をその論旨の中核に含むものとなっています。

本講義では、数量的政治的分析が政治学全般にその適用範囲を広げてきたことに注目し、それを「マクロ政治学」「ミクロ政治学」「国際政治学」(内容は初回講義時に説明)に分けて紹介し、それが政治的現実をどのように明らかにしたか、また明らかにしていく可能性をもつかについて検討します。

なお、本講義を受講する際、特別な数学素養は必要ありません。政治現象を論理一貫した形で「説明」し(数理モデル)、政治現象が「そうである」ことを確認する(計量モデル)ことの面白さと難しさを追体験し、理解することによって、受講生自らが政治を分析し、理解することへ進む足がかりを提供することが本講義の主要な目的です。また、できるだけ日々の政治トピックとの関連を意識し、数量的政治分析が決して「冷たく」「現実離れ」したものではないことを示したいと思います。

政
治

講義の内容・授業スケジュール

- 講義の内容・授業スケジュール
- I 講義のねらいと数量的分析の基礎
 - II マクロ政治学における数量政治学
 - III ミクロ政治学における数量政治学
 - IV 国際政治学における数量政治学

成績評価の方法

テスト及びレポート・出席などから総合的に評価

教科書

特に使用なし

参考書等

小林良彰編『叢書・社会科学の理論とモデル(全11巻)』(東京大学出版会)

| | | | | | |
|------|-----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | メディア社会論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選必(メディア) 政234選(行政国際) 政234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | あいだ としひこ 相田 敏彦 | | | | |

講義のねらい

いまやすっかり日常語になっている「メディア」「情報(化)社会」、「情報」の観念・概念に関する的確かつ批判的な把握をめざす。そのために、相互に密接に関連する「情報」、「記号」、「メディア」などの概念を掘り下げて検討する。また、さまざまな情報メディア(機器)による媒介的(mediated)関係性という、情報社会の基本的特性、さらに情報社会の問題状況について論じる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 記号論

ことばや映像はいうまでもなく、世の中の森羅万象が記号たり得るとというのが、現代記号論の基本的視角の一つである。常識的な記号の考え方をくつがえすこの視角について述べ、記号論の基本的タームにも言及する。

2. 情報論

通信理論における情報概念は、日常の用語法とはかなり異なる。そこでは情報は確率的な量として定義される。

3. 媒介的關係性、メディア

情報社会の基本的特性は、ケータイ、パソコンなどさまざまな情報メディア(機器)によって媒介された(mediated)関係性・コミュニケーションである。媒介的關係性・コミュニケーションについて論じ、その歴史的展開をふりかえる。

4. 情報社会の問題状況

情報社会の「光」の部分と「闇」の部分の両者に目を配りながら、現代社会の情報化がもつ根幹の問題状況を掘り下げる。

成績評価の方法

課題レポートと学年末試験の予定だが、受講者の人数により、最終的に決定したい。

教科書

ラッシュ『情報批判論』(NTT出版)

参考書等

児島和人(編著)『講座社会学8. 社会情報』(東京大学出版会)
竹内郁郎(編著)『メディア・コミュニケーション論』(北樹出版)
池上嘉彦『記号論への招待』(岩波書店)
その他、授業中に指示する。

| | | | | | |
|------|-----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 政治心理学 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選必(メディア) 政234選(行政国際) 政234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | とみさき たかし 富崎 隆 | | | | |

講義のねらい

民主政治において、国民がどのように政治に参加するかは決定的に重要です。そして、政治心理学とは、政治に参加・関与する人々の心理と行動様式を、個々の市民(や政治家)のミクロ的視点から体系的にとらえようとする研究アプローチです。一般的には、政治心理・政治意識・政治的パーソナリティ・政治文化・政治的社会化等の個別研究領域があります。一方で、近年のグローバル化・情報化、特にインターネットの急速な普及によって人々の情報空間は大きく変容し、研究上も注目を集めつつあります。

本講義では、前半に政治心理学アプローチの諸理論・モデルについて解説します。後半では、今日の日本及び先進各国における市民の政治意識や投票行動について、最近の世論調査データや選挙結果などに基づいた分析事例を紹介します。そして、それが今後の民主政治に対して持つ意味を考察します。また、政治心理を分析する際に必要な計量的分析における方法論についても解説します。

全体としては、政治心理学アプローチによる様々な研究を検討していくことを通じ、現代における政治・社会変動を視野にいれつつ、自由民主主義体制の作動メカニズムを、有権者を中心とした政治心理や行動の側面から明らかにしていくことを目指したいと思います。

政
治

講義の内容・ 授業スケジュール

- I 講義のねらいと基礎
- II 政治心理学の理論とモデル
- III 政治心理の実証分析
- IV まとめ

成績評価の方法

テスト及びレポート・出席などを総合的に評価

教科書

特に使用しない

参考書等

堀江・富田・上條編『政治心理学』(北樹出版、1980年)
小林良彰『選挙・投票行動』(東京大学出版会、2000年)
その他、適時指示する。

| | | | | | |
|------|-----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 政治社会学 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 政234選必(メディア) 政234選(行政国際) 政234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 中野 裕二 | | | | |

政治

講義のねらい

本年度の「政治社会学」の長期的目標は次の二点にあります。第一に、現代社会を分析し、理解し、説明する力を身につけること、第二に、現代社会の諸問題を解決する理論を模索することです。

しかし、直ちに現代社会の現状分析を行うことは不可能です。それは、分析道具である概念や理論を持たないからです。そこで、この講義では、19世紀の社会学者たちが、19世紀社会をいかに分析し、理解し、説明したか？彼らが19世紀社会の諸問題をいかに理論的に解決し、乗り越えようとしたのか？を学びます。

それでは、なぜ19世紀なのか？理由は二つあります。第一に、19世紀社会は、産業革命と市民革命を経た大変動期であり、われわれの現代社会が抱える問題が初期形態として登場した時代であるからです。第二に、それゆえ、19世紀の社会学者たちの理論的営みは、現代政治学の基礎になっているからです。彼らを抜きにして現代政治学を理解することはできません。

講義の内容・授業スケジュール

1. 政治社会学について
2. トクヴィル
3. マルクス
4. コント
5. デュルケム
6. ヴェーバー
7. 20世紀の政治社会学

履修上の留意点

上記のように、社会学者ごとに項目を設けて講義を進めます。しかし、この講義は「学説史」に重点を置くものではありません。それぞれの社会学者たちが、自分の生きた時代の何を問題視し、それをいかに理論的に乗り越えようとしたのか、という知的営みに焦点を当てます。受講生はつねに、現代社会への応用を念頭に置いて、「自分ならばこういう理論を立てる」という心構えをもって望んで欲しいと思います。

成績評価の方法

期末試験と授業時間中の小テストなどを総合的に評価します。学生に期待される到達レベルを初回の授業で示し、それをもって評価基準とします。なお、授業中の意見・質問などの授業への積極的参加は、補助的に評価します。

教科書

教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 政治経済学 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選必(メディア) 政234選(行政国際) 政234選(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | しらとり ひろし 白鳥 浩 | | | | |

講義のねらい

政治と経済は、現代においては社会の両輪にも例えられています。また、積極政治の進展とともに、政治と経済をマクロに理解する視座の重要性が叫ばれています。本講義においては、政治経済学の全体像を学んでもらいます。特に、先進国におけるデモクテシーのあり方は、政治と経済に関する政策的なスタンスの違いに起因することを検討することを目的とします。最終的には、国民国家の発展の到達点といわれる福祉国家を理解することにつなげていきたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容を初めてのひとにもわかるように講義します。

1. 政治と経済
2. 戦後政治経済
3. システム論とレジーム論
4. コーポラティズム
5. 福祉国家論「白鳥・ローズの混合福祉論」
6. 福祉国家論「福祉国家の三つの世界論」
7. 経済と文化の間の政治「ヨーロッパの福祉国家」
8. 北欧の福祉国家の変容
9. 福祉国家としての日本
10. 脱工業化社会に向かうのか？

政
治

履修上の留意点

関心を持って、講義に出席してください。

成績評価の方法

試験を中心とするが、総合的に判断する。

教科書

新川・井戸・宮元・眞柄『比較政治経済学』(有斐閣)2004年

参考書等

井戸『経済危機の比較政治学』(新評論)1998年
眞柄『体制移行の政治学』(早稲田大学出版部)1998年
白鳥編『福祉国家の再検討』(新評論)2000年
授業内で適宜、指示します。

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 比較メディア論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選必(メディア) 政234選(行政国際) 政234選(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 島中 誠・岩崎 宇雄 | | | | |

講義のねらい

(前期) 岩崎宇雄が担当し、以下のような内容で進めます。
この講義の目的は、現代のメディアの状況、構造について、できるだけ広い角度からの理解を進めることにあります。

(後期) 島中誠が担当します。
講義のねらいは、新聞業界の現況と新旧メディアが直面する課題に焦点をあて、職業としての新聞記者のあり方を実体験に基いて紹介することです。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期)
まず産業としてのメディアという面から、メディア産業の構造、メディアと広告、デジタル情報ネットワーク社会化、地上波デジタル化によるメディア産業の構造変化といったテーマをとりあげます。

次に、メディアと政治との関わりについて考察します。情報通信技術の発達によってグローバルに拡大したメディアネットワークが政治に与える影響について、具体的な事例を元に考察を進めます。その中で、メディアリテラシー、デジタルデバイド、インターネットの政治、社会への影響等のテーマについても考察していきます。

(後期)
テーマを挙げれば以下のようなものになります。①新聞の将来②新聞記者の日常③記者に必要な資質と心構え④職業倫理⑤誤報、ねつ造とスクープ⑥国際記者(特派員)と国際報道⑦戦争と戦争報道⑧新聞ジャーナリズムへの批判ー。

履修上の留意点

(後期)
新聞に慣れ親しみ、新聞がいかに重要な情報源であるかを納得してもらいたいと思います。

成績評価の方法

(前期)
学期末試験の成績、授業への積極性、レポート内容等で総合的に評価します。

(後期)
学年末の筆記試験と出席回数を同程度で評価します。毎週出題するクイズ形式のミニテストの成績も加味します。

教科書

(後期)
テキストは使用せず、毎週2～3枚のプリントを配布します。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 基礎演習 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政2選 | | | | |
| 担当者名 | 相田 敏彦 <small>あいだ としひこ</small> | | | | |

講義のねらい

マスコミ、広告、パソコン・インターネット普及などの情報化をめぐる広い領域から各自好きな内容を選んでテーマとする。どの領域も研究の蓄積がなされていると同時に、広告・広報や情報化は、非常に多くの仕事・企業とかかわりをもつ意味で、実践性・実用性が一層顕著になりつつある。テーマの実践性に加え、卒業後も射程に入れて、人前での発言・発表力、報告書・レポートを書く力などの基礎体力のABCからはじめる。討論、ディベート、合宿などゼミ生同士の交流も深め、大学生活の真の燃焼の場として〈ゆったり・楽しく・着実に〉活動する出発点としたい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. テレビニュース・ドキュメンタリー、2. テレビドラマ、3. ケータイ・パソコン、4. 広告・広報、5. メディアと政治、6. その他、の中から、各自が一番興味の持てるテーマを選び、卒業後の進路も一部考慮に入れながら、自主的に（個々に、あるいはグループで）勉強を進めよう。資料としては、図書、雑誌のほかに、テレビ、ラジオ、映画、ビデオ・DVD・ネット資料等々を駆使して、アピール力のある発表（プレゼンテーション）をめざそう。興味を持って調べたことを人前で発表し、かつ、議論することに徐々になれよう（その力をやがて就活にも生かせるよう指導もしたい）。

調整がつけば、ドラマ撮影の見学、プロデューサー・アナウンサー（経験者）（できれば駒大出身の）との接触もはかりたい。

履修上の留意点

ゼミの主役はゼミ生自身であり、運営も大幅に任せられる。

成績評価の方法

平常点

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 基礎演習 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政2選 | | | | |
| 担当者名 | 内海 麻利 <small>うちうみ まり</small> | | | | |

講義のねらい

本基礎演習は、3年次からの演習に向けて、都市政策・地方行政・市民参加・まちづくりに関する基礎的な知識を養い、受講者が持つ問題意識を喚起するとともに、問題を研究する手法、分析力、報告・発表する能力を身につけることを主な目的としている。特にその演習方法は、図書や資料で知識を広げるとともに、3・4年次生との交流や、ワークショップ、フィールドワークなど人との対話や実践的な活動を通して知見を深める。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、研究の方法や進め方、テーマ毎に異なる課題への解決方を理解するため、主に4年次生等が行ってきた研究報告に対してワークショップなどの手法を活用しながら議論する。また、受講者の興味に応じて、参考図書や資料、事例などを紹介し、基礎的な知識を養う。後期では、前期の基礎的な知見を踏まえて、演習期間内において各人が行う研究スケジュールやプログラム（問題意識の発掘、研究テーマ・研究方法の設定、関連文献の収集及び実地調査、とりまとめ方法など）を自ら作成し、各人の問題意識に対する解決策を検討・報告する。例えば、これまでの研究テーマには次のようなものがある。
密集市街地の狭陰道路整備、自治体の財政状況、自治体税制の可能性、地方都市の合併問題、地方及び中心市街地の活性化、景観問題、市民参加手法、介護・医療保険制度、年金制度、人口安定地域の実態調査、環境問題などである。

履修上の留意点

ゼミの運営自体も学生の主体性を重視するため、積極的なゼミ活動への参加が望まれる。

成績評価の方法

出席状況、個々人の発表・報告の充実度、ゼミに対する意欲などを総合的に評価する。

参考書等

個々人の研究テーマに応じて適宜紹介する。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 基礎演習 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政2選 | | | | |
| 担当者名 | 浦田 早苗 <small>うらた さなえ</small> | | | | |

講義のねらい

これまでわれわれが直面してきた、そしてこれからも直面し続ける様々な政治・社会現象について、純粹かつ鋭い視点から問題を喚起し、幅広い柔軟な発想をもって解決策を導きだせる人材を育成することに主眼をおいている。

講義の内容・授業スケジュール

18年度は共通テーマとして「混乱の世界と日本」とし、内外の重要課題について個人研究及びグループ研究が行われた。発表のテーマは『石油とイラク』、『ニート対策』、『格差社会』、『個人情報保護』、『望ましい公共事業』、『介護保険の是正』、『(ディベート) 裁判員制度の是非』、『(ディベート) 消費税引き上げの是非』といったものであった。

履修上の留意点

オリジナリティ溢れる問題解決策・プランニングの作成にはかなりの時間を費やさなければならぬ。

成績評価の方法

発表内容と各自の持つ勉学意欲（発表に対する質問・意見等）によって評価する。

参考書等

文藝春秋編『日本の論点2007』（文藝春秋）2,700円

その他

研究発表では、学生諸君各自が興味あるテーマを自由に選択することができる。年3～4回のコンパと夏合宿が7月にある。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 基礎演習 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政2選 | | | | |
| 担当者名 | おおよま れいこ 大山 礼子 | | | | |

講義のねらい

3年次からの演習に向けての準備過程として、常識的な政治学の知識を確認すること、自分で調べる能力を養うこと、論理的に考え、発表する力をつけることを目標にします。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期)

新聞記事を出発点として、時事的問題の背景や政治学的な意味を考えていきます。ゼミ生全員に毎週、興味を惹かれた新聞記事の切抜きを作ってきてもらい、そこから素材となる記事を選ぶ方法をとりたいと考えているので、ゼミ生にはまず、新聞の政治面を読む習慣をつけることが求められます。

(後期)

少し読み応えのある本をみんなで読む予定です。前期で培った土台をもとに、さらに読解力や論理的思考力を向上させるのが目標です。レジュメ(要約)の作り方、図書館の資料やインターネット上の情報の利用の仕方についても学習します。

履修上の留意点

講義課目と違って演習は学生が作っていくものですから、積極的・主体的に参加すること。

成績評価の方法

平常点によります。

教科書

教科書は使用しませんが、参考書は適宜紹介するので、なるべく多くの文献に挑戦してください。

その他

無断欠席、遅刻厳禁。周囲の状況をよく見て、自分に求められている役割を積極的に果たすこと。ゼミのイベント時は原則として禁煙。

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 基礎演習 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政2選 | | | | |
| 担当者名 | 清滝 ^{きよたき} ひとし 仁志 | | | | |

講義のねらい

本演習では、政治学科の諸科目を履修するのに必要な政治学の基礎知識を学ぶとともに、自分の考えを的確にまとめ、相手にわかりやすく表現する技術を身につけることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

1年をかけて多数の前で話すことに慣れてもらいます。

前期・「文書で自分の意見を発表できるようにする」

テキストを担当者が報告し、議論をする方式をとります。これによって文献を論理的にまとめ、報告する能力をつけます。

前半は一つのテーマのテキストを読んでいきます。後半は様々なテーマからなるテキストを使い、自分に関心のあるものを選び報告・討論します。

後期・「いろいろな話題について意見をすぐに発言できるようにする」

毎回テーマを設定してグループで討論し(別名・ポストイット・ツリー)、全体で報告する方式をとります。就職面接等での集団討論を念頭におきながら、議事進行・意見集約・建設的討論の技術を習得していきます。

履修上の留意点

演習での課題は次のとおり。

- ①資料等を毎回熟読
- ②口頭発表
- ③レポート、ゼミ論文集の作成
- ④グループ討論(議論するだけでなく、司会、書記、タイムキーパー等)

部活・サークル活動等と両立できるように配慮します。

成績評価の方法

演習での報告内容、議論の参加状況、グループでの協力の程度

教科書

なるべく新しく読みやすい新書を選択します(前期)。

その他

ゼミの行事…レクリエーション(BBQ、ハイキング)、ゼミ合宿(夏)、就職セミナー、ゼミ・ツアー旅行(冬)、都内の諸施設見学(日本銀行、皇居、新聞社)

質問があれば、kiyotaki@komazawa-u.ac.jp まで。

(HP) <http://www.bat.alliednet.ne.jp/kiyotaki/>

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 基礎演習 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政2選 | | | | |
| 担当者名 | 小堀 <small>こほり のりお</small> 訓男 | | | | |

講義のねらい

政治学と国際政治学の基礎的な知識を整理しながら理解すると同時に、受講者各自が興味をもっている問題を研究する方法と、発表する能力を訓練する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、政治学と国際政治学の基礎的な知識を受講者全員で討議しながら、講義形式で授業をおこなう。同時に並行して、受講者各自に自分が興味をもっているテーマを提出させ、それをもとに、各自に研究資料や研究方法を指導する。

後期は、それまで指導を受けた各自の研究テーマを各自が発表し、その内容について全員で討論する。討論することによって、研究発表の方法や研究内容・問題点の所在を明らかにし、本格的な演習を受講する能力を身につけたい。

履修上の留意点

問題意識を明確にもった学生の受講を希望する。研究したい、ということと、研究出来るということは別であるが、まず、研究テーマを明確にして研究したいという情熱をもつことが先決である。あとは、この講座で研究するための方法や能力を身につける訓練をしてほしい。

成績評価の方法

講義中の発言、研究発表の内容で評価する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

活発な授業参加と発言を求める。講義に関連したビデオ（各種の国際事象の実録など）を見る予定である。

政治

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 基礎演習 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政2選 | | | | |
| 担当者名 | 塩入 <small>しおいり みほも</small> みほも | | | | |

講義のねらい

三、四年次においていずれかのゼミに所属を希望する者の為に、演習を行える基礎的能力を修得させることを狙いとします。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回各自に特定のテーマについて研究・報告をしてもらい、報告後には全員でディスカッションを行います。テーマは、主として行政法（国家と国民の関係を規制する法）に関する問題と取り上げます。具体的テーマの割り当ては、学生各自の希望を踏まえて決定する予定です。

履修上の留意点

公務員、行政書士等の国家試験の受験を考えている学生には、特に有意義であると思われる。

成績評価の方法

成績評価は、平常点（出席・報告・発言回数等）により行います。

参考書等

適宜必要により指示します。

その他

授業はゼミナール形式で行います。研究・調査方法、報告の仕方、レジュメの書き方等のノウハウは、初回に指導すると共に、その都度必要に応じて教示します。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 基礎演習 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政2選 | | | | |
| 担当者名 | とみさき たかし 富崎 隆 | | | | |

講義のねらい

3年次からの演習に向け、様々な政治課題に関する問題意識、政治学的分析をおこなうための資料収集能力、論理構築能力、プレゼンテーション能力等を養うことを目的とします。
具体的には、前期にグループ対抗のディベートを中心にこない、後期に班毎の共同研究リサーチとプレゼンテーションを中心にこなっていききたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

日本および世界で議論されている具体的政策課題をディベートのテーマとして取り上げます。ディベートとは、ある問題を取り上げ、是非の2チームに分かれ一定の形式に沿って、一種のゲームのように（勝敗を決める形で）討論をおこなうものです。基礎演習での、ディベート実施の目的は、具体的政策課題を採りあげることで、広く政治問題への問題意識をもつと同時に、ディベートを通じ諸君の論理・実証・思考・討論能力を向上させてもらいたいと思います。

前期議論した政策問題を中心に統一テーマを決め、後期に班毎にリサーチを行い、プレゼンテーションをおこなってももらいます。さらに、全体で論集をつくることを目標としたいと思います。

受講生の希望や場合によっては、3・4年の演習にも参加してもらいたいと思います。

成績評価の方法

受講生と相談の上、総合的に評価します。

教科書

特に定めません

参考書等

特に定めません

その他

積極的・主体的参加を期待したいと思います。

政
治

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 基礎演習 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政2選 | | | | |
| 担当者名 | 中野 ^{なかの} 裕二 ^{ゆうじ} | | | | |

講義のねらい

基礎演習の目標

- ・本を読むことに慣れる
- ・自らの主張を説得的に述べる方法を身につける
- ・報告の仕方、討論の仕方を身につける

2007年（平成19年）度の基礎演習では、政治学またはひろく社会科学に関連する本を読みます。事前に分担を決め、報告者は、担当章を自分なりに要約・再構成し、皆の前で発表します。発表とその後の質疑応答を通して、その部分を読んでいない人にも、内容の要点が理解できるようにすることが報告者の目標となります。

前期では、日本の政治を扱った本を読みます。日本の政治において、今日、何が中心的に議論されているのか、その論点は何か、などを議論します。日本の政治に詳しくなるだけでなく、筆者が自分の主張をより説得的に表現する手法として、どのような「道具立て」をしているのかを読み取れることを、さらなる目標としたいと思います。

後期では、私の研究フィールドであるヨーロッパに関する本を読みます。より具体的には、ヨーロッパの移民問題、民族問題、地域主義などに関する本を読みたいと考えています。ヨーロッパの諸問題に関する知識を身につけるだけでなく、日本と比較したとき何が見えてくるのか、という問題関心から読み進めたいと思っています。

政
治

講義の内容・授業スケジュール

以下のような本を読もうと考えていますが、あくまでも予定です。受講生が読みたい本があれば紹介してもらうなどして、何を読むかは全員で決めます。

（前期）

首藤信彦『政治参加で未来をまもろう』（岩波ジュニア新書）

新藤宗幸『行政ってなんだろう』（岩波ジュニア新書）

新藤宗幸『政治とは、なんだろうか』（岩波書店）

（後期）

宮島喬『ヨーロッパ市民の誕生——開かれたシティズンシップへ』（岩波新書）

内藤正典『ヨーロッパとイスラーム——共生は可能か』（岩波新書）

履修上の留意点

本を読むゼミです。グループ研究やディベートはやりません。

読書に関して、私と同じ考えを持つ人の言葉を書いておきます。この考えに賛同する人の受講を期待します。

「インターネットなどによる情報収集と読書とはまるで性格の違うことなのである。私たちは偉大な作家や思想家の書いた一冊の本を読み通すことによって、深く感じることを学ぶのであって、情報を収集しているだけではないのだ」（木田元『猿飛佐助からハイデガーへ』岩波書店、2003年、「はじめに」より）

成績評価の方法

毎回の出席、報告内容、発言回数・内容などを総合的に判断し、評価します。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 基礎演習 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政2選 | | | | |
| 担当者名 | 早川 ^{はやかわ} 純貴 ^{まじき} | | | | |

講義のねらい

基礎演習は3年次からの演習に向け、政治学の基礎的知識を養い、多面的な観察力と深い分析力、さらには資料収集方法を身につけることを目的としている。とりわけ当演習ではこうした能力を、グループ対抗のディベートおよび班毎の研究（フィールドワークを含む）を通して涵養していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ディベートで扱うテーマは日本の政治・社会・経済の諸問題（特に賛否両論が際立つ問題）に限定し、それぞれのテーマについて二つのグループが是側・非側の立場からアプローチしていく。ディベートは勉強の目標であり総括でもある。研究は地方政治が抱えるさまざまな課題について、それぞれ担当の班がフィールドワークを行い、その成果を発表する。また担当した研究についてはレポートを提出をしてもらう。

政治

履修上の留意点

当基礎演習で鍛えて欲しいのは、自分の考えをきちんと言葉で表現できる力、あるいは自分たちの主張を効果的に相手（聞き手）に伝え、十分に納得させる力である。そのためには学生諸君の議論とフィールドワークへの積極的参加を求めたい。

成績評価の方法

議論や調査への参加度、発表の充実度、レポートの内容などを総合して評価する。

教科書

教科書は用いない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 基礎演習 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政2選 | | | | |
| 担当者名 | 三竹 <small>みたけ</small> 直哉 | | | | |

講義のねらい

研究を自らやるための訓練をします。

講義の内容・授業スケジュール

年によって、参加者によって異なります。下記授業用ホームページで確認してください。

履修上の留意点

たくさん書き、本や論文にたくさん接し、図書館にたくさん行ってもらいます。そういうことが「楽しい」と思う人向けの演習です。大学生活で勉強に重点を置く覚悟をして臨んでください。

この基礎演習の内容は、下記のホームページで詳しく見ることができます。現在履修している学生のみなさんの様子もわかりますし、履修にあたって必要な条件も書いてありますので、私の基礎演習に応募される方は、<必ず>参照して下さい。

成績評価の方法

平常点と期末テストによります。詳しいことは下記サイトをご覧ください。

教科書

たくさんあります。その都度、指示します。

参考書等

その都度、指示します。

その他

授業用ホームページ：
<http://www.jj.em-net.ne.jp/~bamboos/>

URLが変更になる可能性があります。その場合、Googleなどで三竹直哉と入れて検索してみてください。見つからなければ、下記までメールでご連絡ください。
mitake@komazawa-u.ac.jp

| | | | | | |
|------|--------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 基礎演習 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政2選 | | | | |
| 担当者名 | 三船 <small>みふね</small> 恵美 <small>えみ</small> | | | | |

講義のねらい

現代の国際関係について自分自身の視角を形成し、それを報告しながら討論することを学ぶのが、本ゼミの目的です。複数の学生全員が同じ考え方をすることはあり得ません。異なる考え方の学生が集まり、異なる価値観に対して排他的になることなく、しかも単なる「仲良し関係」では終わらない知的緊張関係の中で、対立するところは対立し、評価できるところは評価しあうことを学びましょう。自分の意見を単純に主張するだけではゼミに参加する意義がありません。議論は言い争うことと本質的に異質なものです。議論することで自分の意見を主張したり異なる意見を受け入れ、自分の考え方を鍛えるためにゼミは存在します。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

レジュメの書き方、図書館の使い方、レポートの書き方、グループ研究、ディベート

〔後期〕

ディベート、レポート検討

詳細な運営方法とスケジュールについて第1回目の授業で決定するため、初回には絶対に欠席をしないこと。

履修上の留意点

欠席する場合は、必ず連絡して下さい（ゼミ生を通じての連絡でもかまいません）。無断欠席3回で単位を与えません。

国際関係論ゼミの受講生には「国際関係論」の履修を勧めます。

成績評価の方法

出席や発言などの総合評価です。

座っているだけで全く発言をしない学生を出席とは認めません。講義と異なり、ゼミは学生が主体になって運営します。緊張感を失わないで、でも、楽しい、笑顔の絶えないゼミを目指しましょう。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 基礎演習 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政2選 | | | | |
| 担当者名 | 村井 ^{むらい} 良太 ^{りょうた} | | | | |

講義のねらい

この講義は、政治学を学び、政治への理解を深める上での基礎的な技術を身につけることをねらいとしています。教材を読み、レジュメをまとめ、報告し、議論し、レポートを書くなど一通りのことをします。教材には、戦前戦後の日本政治史を始め、現代政治、さらにアメリカやアジアなど他の国々のものも使って、「世界のなかの日本」という広い視座を身につけてもらいたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、簡単な論文や新書などを使って教材の読み方やレジュメのまとめ方、報告やコメントの仕方、レポートの書き方などを広範に学びます。後期は、さらに受講生の意欲によって、合宿やディベート、レポート発表など貪欲に授業を進め、最終的に簡単なゼミ・レポートを提出してもらいます。

履修上の留意点

演習は他の講義以上に、教員、学生ともに参加者全員でつくりあげていくものです。積極的な参加を求めます。

成績評価の方法

成績は、授業への積極性、出席、報告、発言、レポートなどから総合的に判断します。

教科書

テキストはこちらから指定するものもありますが、おおむね話し合いながら決めていきます。

その他

授業の方法は、基本的には、毎回、テキストを指定して、それを輪読しながら議論することになります。報告者はレジュメをつくって報告します。それ以外の学生も、毎回、少なくとも一分間程度の発言を求められます。他にも、受講生の意欲次第でいろいろと取り入れていきたいと思いますので、一緒に創りあげていきましょう。

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 比較憲法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選 | | | | |
| 担当者名 | 竹花 <small>たけはな みつのり</small> 光範 | | | | |

講義のねらい

科学としての憲法学にとって「比較」考察は、自然科学における実験室にも当り、客観性を担保する最も重要な考察方法の一つであることを示す。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1.総論
イ、比較憲法とは。
ロ、比較憲法の効用。
- 2.各論
主要国における「憲法改正の手續と実際」をケース・スタディとして考察を行う。それを通じて、比較憲法とは何か、さらには、その効用について、より具体的な理解を得る。
- 3.その他
主要国憲法については、アメリカ、フランス、ドイツ、中国を中心に、可能かぎり個別考察も行いたい。

政
治

履修上の留意点

教科書を読むような講義では全くない。立法例を示すだけでなく憲法現実にも留意した講義内容となるので、できるかぎり出席が望まれる。

成績評価の方法

年一回、定期試験の時間割により、ペーパー・テスト方式で行う。

教科書

竹花光範著『憲法改正論への招待』成文堂、1900円。

参考書等

講義の中で、必要に応じ紹介する。

その他

毎回ではないが、学生諸君の勉学意欲を刺激する目的で（成績評価にプラスに活用することがあるかもしれない）、時として出欠をとる予定である。

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 現代国家論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選(15年度以降入学生) 政234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | おおつか かつら 大塚 桂 | | | | |

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといいきれのでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 国家論の課題 2. 幕末政治過程 3. 幕末政治思想（水戸学、国学） 4. 公議政体論
5. 太政官制・内閣官制 6. 大日本帝国憲法 7. 法典整備・司法制度 8. 統帥権・戒嚴（令）
9. 地方官官制 10. 自由民権運動 11. 帝国議会 12. 財政制度 13. 教育勅語 14. 国家神道
15. 社会主義運動 16. 大正デモクラシー 17. 天皇機関説 18. 天皇制ファシズム
19. 統制経済 20. まとめ

政
治

成績評価の方法

試験による単位認定 ～中間、期末試験により評価します。
なお、試験は通常の授業時間に実施します。欠試者に対してはレポートを課します。
※追追試験は実施しません。

教科書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3,300円

参考書等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）、『明治国家と岩倉具視』（信山社）、『明治維新の思想』（成文堂）

その他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 国家安全保障論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 政234選(15年度以降入学生) 政234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 小堀 <small>こほり のりお</small> 訓男 | | | | |

講義のねらい

カントがその著、『永遠平和のために』において「相共に生活する人々間の平和状態は、けっして自然状態なのではない。自然状態はむしろ戦争状態である。すなわち、たとえつねに敵対行為が勃発してゐるのではないにしても、絶えずそれによって脅かされているのである。だから平和状態は樹立されなければならない」と述べているごとく、人間が、その長い歴史のうちで不断に希求してきたものは永遠平和であつて、戦争それではなかつたのである。カントによつて提起された「永遠平和」という、この哲学的命題は、皮肉にも彼の夢想曲に終始してきたのが現実の歴史過程の常態である。本講では、「人は何故集団社会を形成するのか、集団を単位とした闘争と、個人レベルでの闘争は何処がどのように違うのか」をテーマに、国家の安全保障を考える。

政治

講義の内容・
授業スケジュール

1. 人は何故集団社会を形成するのか。
2. 近代国家の特質。
3. 国家安全保障の意味・機能・手段。
4. 国家安全保障に関する諸見解。
5. 国家安全保障の理念と現代的課題。

履修上の留意点

「人はなぜ闘争するのか」ということに興味をもっている学生への積極的な参加を望む。

成績評価の方法

ディスカッションでの発言点と期末試験で評価する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

授業中に随時指示する。

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 外交史 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選(15年度以降入学生) 政234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | むらいりょうた 村井 良太 | | | | |

講義のねらい

現在の国際政治は混迷と模索の中にあります。そのような中で、過去の経験から学び、未来への糧としようとするのが、外交史です。日本のような民主主義国家では、外交は国民を離れては成り立ちません。また、相互依存の時代にあつて、外交は生活の中にまで深い影響を及ぼしています。本講義を通じて、社会人の一つの素養としての外交理解を身につけてほしいと思います。

本年度の「外交史」では、下記の教科書を導きに、日本外交の基本的な見方、直面する課題、これからの構想など、日本外交の過去と現在と将来について、テーマに沿って考察します。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下を予定しています。スケジュールなど詳細は開講後にお知らせします。

前期：(1)外交とは何か (2)帝国主義時代 (3)植民地 (4)戦争と民主化 (5)革命
(6)冷戦 (7)安全保障政策 (8)核兵器

後期：(9)経済外交 (10)国際機構 (11)政党政治と外交 (12)グローバリズム
(13)リージョナリズム (14)ナショナリズム (15)新しい国際秩序

政
治

履修上の留意点

履修する学生には、出席と積極的な授業参加を求めます。

成績評価の方法

成績は、随時行う出席調査と、中間レポート、学年末試験によって評価します。

教科書

井上寿一『ブリッジブック日本の外交』信山社、税込2,100円、ISBN:4797223189。

参考書等

参考図書は、井上寿一『日本外交史講義』岩波書店、五百頭旗真編『〔新版〕戦後日本外交史』有斐閣をはじめ講義の中で随時紹介していきます。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本法制史 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選 | | | | |
| 担当者名 | しげの たかはる 茂野 隆晴 | | | | |

講義のねらい

基礎法学の一つとしての法制史は、文字通り、法学教育における史学である。「日本法制史」は日本国民の法生活の歴史的考察を行うものである。年間の授業は上古・中古・中世・近世・近代の五期に分ち順次行なっていく。
年間の講義を通じて、日本の法文化への愛着が深まったと言われるようになればと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 序 日本法制史を学ぶにあたって
- I 日本法制史とは
 - II 基礎法学のなかの法制史
 - III 日本法制史の時代区分
 - IV 日本法制史教育の沿革
- 第1章 上古（氏族法時代）
- (1) 総説 (2) 氏族制度 (3) 法の始源 (4) 法の分化ほか
- 第2章 中古（律令法時代）
- (1) 総説 (2) 律令法ほか
- 第3章 中世（武家法時代前期）
- (1) 法の系統 (2) 分国法〔国法〕 (3) 起請文ほか
- 第4章 近世（武家法時代後期）
- (1) 織豊二氏の法令 (2) 徳川幕府の法令ほか
- 第5章 近代（含む幕末）
- (1) 大津事件 (2) 治安維持法 (3) 明治民法
 - (3) 婚姻関係 (4) 婚姻に関することわざと川柳ほか

履修上の留意点

史資料に則り行う授業なので、テキストは必ず揃えて欲しい。授業中の私語は当然ながら厳禁ゆえ、守れない者があれば直接にも指摘することになる。

成績評価の方法

年間1度の定期試験に加えて平常点として出席点により総合的な評価をなす。

教科書

大久保治男・茂野隆晴共著『日本法制史』（高文堂出版社）3,000円
ISBN4-7707-0041-5 C1332

参考書等

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史史料60選』（芦書房）2,300円
ISBN4-7556-1128-8 C0032

その他

最終授業時に年間のまとめを行う。

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 西洋法制史 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選 | | | | |
| 担当者名 | 北野 <small>またの</small> かほる | | | | |

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

政
治

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度は講義内容を大幅に変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英米法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選 | | | | |
| 担当者名 | 北野 <small>きたの</small> かほる | | | | |

政
治

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1章 法系
 - 第1節 近代法の法系
 - (1) 西洋近代法 (2) 二大法体系 (3) 大陸法系あるいはローマ法系
 - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
 - 第2節 イギリス法の特徴
 - (1) 一般的特徴 (2) 歴史的特徴
 - 第3節 英米法の分類
 - (1) 法域 (2) 法源 (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - (1) 歴史的連続性 (2) 法系としての特徴
 - 第2節 法概念の社会性
 - (1) 法の概念 (2) 法システムにおける裁判の位置 (3) 救済と権利
 - 第3節 法思考の実務性
 - (1) 総論 (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
 - 第1節 判例法
 - (1) 判例法 (2) 判決における法考察 (3) 判例法の考察
 - 第2節 判例法の理論
 - (1) 外枠 (2) 内実 (3) 先例性の判断
 - 第3節 制定法の解釈
 - (1) 制定法の位置づけ (2) 厳格な文理解釈の理論
- 第4章 裁判所制度
 - 第1節 イギリスの裁判所制度
 - 第2節 アメリカ合衆国の裁判所制度

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

試験準備には講義ノートが最も有効である。各自注意して出席し、ノートをとること。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 会社法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選 | | | | |
| 担当者名 | かわぐち けいみ 川口 幸美 | | | | |

講義のねらい

新会社法においては、従来の理念が通用せず、発想が転換している部分も多数見られる。本講義では、新法における会社のうち特に株式会社を中心に、旧商法と比較しながら、その体系的・基礎的理解を得ることを目的とする。具体的には組織管理機構に関する法規制を概観し、事件の分析を通じてその法的問題を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 会社の種類（LLCとLLP） | 2. 会社の設立 |
| 3. 組織と会計（機関設計と会計参与） | 4. 組織と会計（リスク管理と内部統制） |
| 5. 会社の計算（配当・持分変動計算書） | 6. 企業の計算（役員賞与の扱い） |
| 7. 企業買収・再編（三角合併） | 8. 企業買収・再編（新株予約権の強制償却） |
| 9. 企業買収・再編（黄金株と譲渡制限） | 10. その他 |

履修上の留意点

会社法を体系的により深く理解するために、他の商法科目（商法総則・商行為法）および民法科目（特に民法総則・債権法）を現在履修しているか、既履修であることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験の点数による。出席は原則として取らないので、出席点は考慮しないものと考えてください。つまり、就職活動・部活動および病欠等についても、これらの者を優遇することはありません。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

神田秀樹 「会社法（第8版）」（弘文堂）
 ＊タイトルが変更する可能性あり。
 江頭憲治郎・岩原紳作・藤田友敬／編
 別冊ジュリスト「会社法判例百選」

その他

（当然のことですが）授業中に私語・携帯の使用を厳しく注意します。場合によっては退室を命じます。

| | | | | | |
|------|---------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 経済法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選 | | | | |
| 担当者名 | わかばやし ありさ 若林 亜理紗 | | | | |

講義のねらい

経済法の中心をなす独占禁止法を理解をすることを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

政
治

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教科書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参考書等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

その他

授業は毎回配布するレジュメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

| | | | | | |
|------|-----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 国際紛争解決法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選 | | | | |
| 担当者名 | 王 ^{おう} 志安 ^{しあん} | | | | |

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界および適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能および事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決および世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査および調停といった制度の展開および適用、国連における紛争処理の制度的展開および現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続きおよび制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判および国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立およびその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしっかり取ってもらいたい。
power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

学年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストや出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002年 2,000円

参考書等

市販されている国際条約集および国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業はPower Pointを使って講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めるところもある。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 刑法各論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選 | | | | |
| 担当者名 | まつむら いたる 松村 格 | | | | |

講義のねらい

刑法各論は、刑法典各則の個別構成要件の解釈を主流とします。それぞれの構成要件が、犯罪を構成する要素を規定しているわけですが、それぞれの構成要件が何らかの法益を保護しているわけですから、その法益保護と人権保障という刑法の使命を念頭におきながら、どのように構成要件要素を解釈すれば最も妥当性があるのかを学びます。また、他の構成要件との関連性を見てもいきます。

講義の内容・授業スケジュール

刑法典の各則は、国家的法益に対する罪・社会的法益に対する罪・個人的法益に対する罪の順序で規定されていますが、われわれの最も身近な個人的法益に対する罪から学習します。そして、個人的法益に対する罪も、生命に対する犯罪・身体ないし健康に対する犯罪・自由または名誉に対する犯罪・財産に対する犯罪の順序で学習していきます。

政治

履修上の留意点

刑法は、生命・自由・財産を剥奪する強力な制裁を有する法律ですから、法益保護はもちろんのこと、人権保障のためにも、謙抑性を念頭におきながら構成要件の解釈をするように努めてください。そして、そのためにも、例えば、行為無価値論による解釈と結果無価値論に基づく解釈を比較検討することも必要です。その点に注意して、講義中の先生の話をよく聞いてノートをとる必要があります。なお、構成要件の解釈を主流とする刑法各論ですから、六法全書を携帯しないで授業に参加することは無意味ですので、六法全書を忘れた場合には、図書館で借りるなりしてでも携帯してください。さもなければ、受講を拒絶します。なお、刑法各論は、刑法総論の上に成り立っていますので、刑法総論を理解修得し単位を取得していなければ履修する意味がありません。

成績評価の方法

年度末の試験によって評価します。必要に応じて小テストをしてGPA評価に参入します。年度末試験は論文式です。論文式試験では、「なぜか」ということを採点者に納得させる論証が必要です。作文力を養ってください。必要に応じて、刑法総論における基本事項について質問することがあります。履修者が少人数の場合には、出欠をとります。

教科書

松村 格著『日本刑法各論教科書』八千代出版

参考書等

指定図書・松村他著『刑法各論』ミネルヴァ書房
参考文献①別冊ジュリスト『刑法判例百選II・各論〔第五版〕』有斐閣（2200円）
②曾根・日高編『基本判例5 刑法各論』法学書院（2000円）

その他

授業には、教科書とノートおよび六法全書は必携のこと。判例解説は、参考文献②を使用するので、購入を勧める。司法試験目的の学生には、参考文献①の購入を勧める。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 民法（債権） | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選 | | | | |
| 担当者名 | 上井 長久 <small>うえい ながひさ</small> | | | | |

講義のねらい

本講義は、他人に対して、或る物を交付させること、または、或ることを為すことを要求する権利、すなわち債権についての実体的権利関係を総合的に考察するが、それを通して、債権をめぐる問題に対して精通するとともに、柔軟に解決できるように導くことを目標とする。そのように人が人に対して或る事柄を要求することを正当と認め、その請求の実現が当事者間ではかことが出来ない場合に、当事者の一方の訴えに基づき他方の責任を追求するために裁判所が力を貸す関係が債権関係である。そのような人と人の関係は、封建的な身分関係から生じるのではなく、周知のように近現代では多くは契約関係から生じる。その他に、契約関係がなくとも相互扶助、公平、損害補填等の要請に基づく事務管理、不当利得、不法行為などからも債権関係が生じる。

債権法は、その全てについて言えることではないが、合意優先ないし契約自由の原則の及ぶ領域においては、その規定が任意法規性のゆえに日常の経済生活では往々にして、合意により債権法規と異なる生活規範が設定され、また、それが許される法の範疇である。この範疇においては、日常生活の一定の基準たる債権法規の解釈と、その法規を排除した、より有益な準則を設定した生活関係の両方を理解することが必要である。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は、債権総論と債権各論を講義の対象とする。まず債権法全体の仕組み、内容をひととおり説明したうえで、債権一般の通則たる債権総論、次いで債権発生の原因にあたる契約、事務管理、不当利得、不法行為などの債権各論について逐条的かつ重点的に解明する。講義の内容および進行は、具体的には、以下の予定である。

- (1) 債権の意義・性質・社会的機能、債権法の法源、債権法の特質・体系（前期）（第1回）
- (2) 債権の目的・内容（第2回）
- (3) 債権の効力——債務と責任、履行強制（第3回）
- (4) 債務不履行責任（第4、5回）
- (5) 債権の対外的効力——債権者代位権（第6回）
- (6) 詐害行為取消権（債権者取消権）（第7回）
- (7) 多数当事者の債権関係——債権の共有・合有・総有、分割・不可分債権（第8回）
- (8) 連帯債務、保証債務（第9、10回）
- (9) 債権の譲渡、債務の引受（第11回）
- (10) 債権の消滅（第12、13回）
- (11) 契約総則——債権発生原因、契約自由の原則、契約の種類（後期）（第14回）
- (12) 契約の成立（第15回）
- (13) 契約の効力——同時履行の抗弁権（第16回）
- (14) 危険負担、（第17回）
- (15) 第三者のためにする契約（第18回）
- (16) 契約の解除（第19回）
- (17) 贈与、売買、交換（第20回）
- (18) 消費貸借、使用貸借、賃貸借（第21回）
- (19) 雇傭、請負、委任等の契約（第22回）
- (20) 事務管理、不当利得（第23回）
- (21) 不法行為（第24、25回）

履修上の留意点

債権法は、民法学の一分野であるから、必然的に民法の他の分野にも関連する。とくに債権を担保するための担保物権や民法全体の基本原則である民法総則などを扱う「民法I」も併せて履修することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験で行う。

教科書

我妻栄・有泉亨・川井健著『民法2 債権法』（勁草書房）

参考書等

遠藤浩・川井健他編『民法（4）～（7）』（有斐閣双書）および稲本洋之助・上井他共著『民法講義5 契約』（有斐閣大学双書）

| | | | | | |
|------|----------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 社会保障法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 政234選 | | | | |
| 担当者名 | はらだ けいいちろう 原田 啓一郎 | | | | |

講義のねらい

今日の社会保障制度が本格的に構築されたのは、第二次世界大戦後であったこともあり、社会保障法学が本格的な法学の一研究領域として認知されたのはごく最近である。社会保障は、第一義的には国民の生活保障を目的とする制度であり、その重要性は私たちの日常生活において無視し得ないものになっている。本講義では、社会保障法の基礎と個別制度の特質・内容の理解を通して、社会保障の法的理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 社会保障とその特質
- II 社会保障法の理論と課題
- III 年金制度——国民年金、厚生年金、企業年金
- IV 社会手当制度
- V 医療保障制度——国民健康保険、健康保険
- VI 労災保険制度
- VII 雇用保険制度
- VIII 社会福祉制度
- IX 公的扶助制度

政
治

履修上の留意点

社会保障の法政策論などは、同担当者による「社会政策」で詳細に取り扱う。

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教科書

教科書は講義開講時に指定する。
六法は、『社会保障法令便覧』（労働調査会）を必ず携帯すること。

参考書等

適宜紹介する。

その他

履修にあたっては、憲法、行政法、民法、労働法、社会政策、法哲学などの科目を既修若しくは履修中であることが望ましい。

| | | | | | |
|------|-----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 社会学原理 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選 | | | | |
| 担当者名 | お びよんさん 呉 炳三 | | | | |

講義のねらい

社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす社会問題を分析する手法として、社会学の基礎的な概念や理論の使い方を学ぶことを目的とする。またはその身近な社会問題を認識、理解することを通じて、現代社会を展望する視点を養ってもらうことを本講義の目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- I 社会学とは
- II 個人と社会（社会的行為、社会化と人間形成、パーソナリティ・社会的自我、など）
- III 社会集団論（集団の概念、集団の分類、組織と人間など）
- IV 現代家族論（配偶者選択、結婚、家族の構造と機能、家族の現代的課題など）
- V 政治と大衆社会（世論と有権者、世論と政権など）
- VI 職業、労働（職場や人間関係、就職・転職・リストラ、フリーター・ニートなど）
- VIII 若者の犯罪（犯罪の概念、加害者と被害者の関係、犯罪の原因など）
- IX 自殺と社会（自殺の歴史、自殺の背景、自殺の最近の情報など）

以上、講義の予定としているが、受講生の人数などによっては、講義内容を変更することがある。

履修上の留意点

本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業中は指定の教科書や辞書を必ず持参することと、宿題を出すので、宿題をきちんと提出することの出来る学生が受講することを勧める。

成績評価の方法

出席状況、レポートや授業中の発表などの結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 財政学 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選(15年度以降入学生) 政234選必(14年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 里中 恆志 | | | | |

講義のねらい 財政意志の形成、租税負担配分、歳出の効率と合理性等について基礎的な判断能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール (第1回)年間授業計画の説明、(第2回)公共財と公共部門、(第3回)財政収入の歴史、(第4回)予算編成と査定、(第5回)予算編成と政党、(第6回)予算政府案と議会審議、(第7回)予算の執行と競争入札、(第8回)予算の政治過程、(第9回)租税原則学説、(第10回)給与所得税、(第11回)申告所得税と累進課税、(第12回)法人税と徴税技術、(第13回)国際化と移転価格税制、(第14回)一般消費税と付加価値、(第15回)地方税と地方歳出、(第16回)地方財政調整の制度、(第17回)機関費と純粋公共財、(第18回)公共事業費と費用＝便益分析、(第19回)公共事業費と公共財産の形成、(第20回)社会保障関係費と所得再分配、(第21回)補助金とスピルオーバー、(第22回)公債と公債費負担、(第23回)総需要管理政策と国民所得、(第24回)課税乗数と均衡予算定理、(第25回)公債による財源調達と債券価格、(第26回)大量国債の累積と限界、(第27回)財政金融政策と国際収支、(第28回)財政投融资と政府貯蓄、(第29回)試験と評価についての説明

履修上の留意点 関連科目として「価格理論」、「国民所得論」、「行政法」の履修が望ましい。

成績評価の方法 年度末テストとして行われる筆記試験による。試験は論述式による。自筆のノート持込可。

教科書 里中恆志＝八巻節夫編著『新財政学』(文眞堂)3,200円 ISBN4-8309-4546-2 C3033

参考書等 北川力編『図説日本の財政』各年度版(東洋経済新報社)
中谷巖著『入門マクロ経済学』(日本評論社)

その他 授業の方法は講義形式による。

| | | | | | |
|------|-------|----|----|----|---|
| 科目名 | 経済原論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選 | | | | |
| 担当者名 | 村松 幹二 | | | | |

講義のねらい 経済学の基礎概念を学び、現代経済への理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、マクロ経済学を中心に、経済学の考え方と日本経済の現状、国際経済について解説する。
後期は、ミクロ経済学を中心に、消費者行動、企業行動、市場競争と政府の役割について解説する。

成績評価の方法 成績評価は、期末試験による。

教科書 未定

| | | | | | |
|------|-----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 経済政策 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選 | | | | |
| 担当者名 | もりおか じん 森岡 仁 | | | | |

講義のねらい

経済学の実践部門としての経済政策が自由主義経済に成立した過程と、そこではたす役割を明らかにする。人口高齢化や少子化の経済的帰結にも言及し、最後に高齢化社会における経済政策と人口政策の関係を論ずる。

講義の内容・
授業スケジュール

I. 現代経済と経済政策 II. 経済政策学の発展 III. 現代経済政策の課題 IV. 経済の成長政策 V. 経済の安定政策 VI. 産業組織政策 VII. 社会均衡化政策 VIII. 経済政策と人口政策

履修上の留意点

日常生活に生起する経済問題に日頃から関心を抱き、自分達の身の回りにある経済問題の解決手段として経済政策を考え、学ぶことが大切である。

成績評価の方法

学年末の定期試験、授業の出席状況

教科書

森岡他著『現代経済政策』（千倉書房）1975年

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 農業政策 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選 | | | | |
| 担当者名 | みぞて よしかず 溝手 芳計 | | | | |

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、現代の主要な農業問題と農業政策をいくつか取り上げて、経済学の視点から説明します。

政治

講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは（2回）
2. 食料問題と食料政策（5回程度）
3. 農産物価格問題と価格・所得政策（5回程度）
4. 農業の特質と現代農業（4回程度）
5. 戦後日本の農業問題と農業政策－農業構造問題を中心に－（6回程度）

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とします。

教科書

田代洋一『新版農業問題入門』（大月書店）
※ 授業中には使いませんが、予復習してください。

参考書等

大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』（有斐閣）
F. マグドフ他編（中野一新監訳）『利潤への渴望』第5章（大月書店）
梶井功『新基本法と日本農業』（家の光協会）
橋本卓爾ほか編著『食と農の経済学』（ミネルヴァ書房）

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 工業政策 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選 | | | | |
| 担当者名 | おくやま まさゆき 奥山 雅之 | | | | |

講義のねらい

現在、わが国の工業（「ものづくり産業」）は、生産の海外化等の影響で厳しい状況ですが、その一方で独自の技術力や製品開発力を背景に高い国際競争力を発揮している企業も少なくありません。「ものづくり産業」は、わが国の経済を支える主役であり、将来においても重要な産業であることに変わりありません。この講義では、数多くの企業事例を取り上げ、「ものづくり産業」の特徴を確認しながら、それに対する国や地方公共団体の政策の課題と方向性について考察します。

前期では、「ものづくり産業」の現状をさまざまな角度から分析し、その課題と今後の方向性を明らかにします。後期では、環境調和、CSR（企業の社会的責任）、産学連携、知的財産など、「ものづくり産業」をめぐる今日的な題材に検討を加えます。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期（1～3）わが国の工業の役割と特徴
（4～6）戦後における工業の発展と工業政策
（7～9）工場立地の変化と工業集積の効果
（10～13）生産の海外化と空洞化問題
- 後期（14～16）工業の業種別課題（自動車産業、繊維産業ほか）
（17・18）「ソフトなものづくり」産業（アニメーション産業ほか）
（19）産学連携 （20）知的財産の創造・保護・活用
（21・22）工業の環境調和とCSR
（23・24）企業の創業と事業承継、ベンチャービジネス
（25）規制緩和と構造改革特区、企業誘致 （26）まとめ

政
治

履修上の留意点

1年間の講義を通して「ものづくり」を中心とした産業課題に対する問題意識や提言力を身につけてもらうのが目標です。日頃から新聞の経済・産業関連記事に接することが望まれます。

成績評価の方法

成績は学年末試験とレポート提出で評価します。試験およびレポートの内容については、講義に積極的に参加していた人が有利になるように配慮します。追試は行いません。

教科書

特に指定しません。配布する資料によって講義を行います。

参考書等

加藤秀雄『地域中小企業と産業集積』（新評論）

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 商業政策 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選 | | | | |
| 担当者名 | いわした ひろし 岩下 弘 | | | | |

講義のねらい

小売業とまちづくりについて講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
 - 1 90年代の小売商業構造
 - 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
 - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 流通ビジョンと流通政策
 - 1 70年代の流通
 - 2 80年代流通産業ビジョン
 - 3 90年代流通ビジョン
 - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 三 わが国の小売商業調整政策の展開過程
 - 1 百貨店法
 - 1) 第一次百貨店法
 - 2) 第二次百貨店法
 - 2 中小小売商業振興法
 - 3 小売商業調整特別措置法
 - 4 大店法
 - 1) 1973年法
 - 2) 1979年改正法
 - 3) 1991年改正法
 - 5 凍結宣言、要綱及び条例
 - 6 通産省による行政指導＝抑制措置
 - 7 規制緩和
 - 1) 規制緩和の流れ－前川レポート、行革審報告
 - 2) 日米構造問題協議
 - 3) 適正化措置
 - 8 特定商業集積法
 - 9 街づくりと都市計画
- 四 流通政策の転換
 - 1 大店立地法
 - 2 中心市街地活性化法
 - 3 都市計画法
- 五 海外の流通政策
 - 1 イギリス
 - 1) 出店調整政策－都市・農村計画法
 - 2) 日曜営業問題－商店法
 - 2 フランス－ロワイエ法
 - 3 ドイツ－土地利用計画
 - 4 アメリカ－ゾーニング規制

履修上の留意点

- 1 新聞、雑誌、テレビ等を通して流通に関する情報を収集すること。
- 2 授業中はノートをとること。

成績評価の方法

定期試験。

教科書

指定しない。

参考書等

その都度指示する。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 地方財政論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選 | | | | |
| 担当者名 | しのほら あきら 篠原 章 | | | | |

講義のねらい

地方財政の枠組みを理解するとともに、地方財政の基本問題を分析するための基礎的な手法を学ぶことを主眼とする。時事問題なども、折に触れて取り上げる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通じて以下の項目を講義する予定である。

[基礎編] (主として前期)

1. 地方財政論とは何か
2. 財政の機能と地方公共支出の役割
3. 地方公共支出の現状
4. 地方公共支出と公共財供給
5. 租税体系と地方税
6. 地方税制度の歴史と現状
7. 負担と受益
8. 地方債の基礎知識

[応用編] (主として後期)

1. 分権と集権
2. 地方財政調整の実態
3. ケーススタディ：沖縄
4. 地方財政と都市計画・地域開発
5. 地方財政制度の国際比較
6. ケーススタディ：「東京」

履修上の留意点

初学者を対象としたコースだが、財政学の知識があれば、より深く理解することができる。したがって財政学の履修経験があるか、財政学を履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

学期末の筆記試験と授業時の課題（レポート）等によって総合評価する。

教科書

片桐昭泰・兼村高文・星野泉共編著『新版 地方財政論』（税務経理協会刊）2,800円（本体価格）

参考書等

参考書・参考文献・資料等は随時指示する。

その他

テキスト・参考書以外に、新聞等の時事的な資料やビデオ資料等もしばしば利用する予定である。質問等については電子メールでも受けつける。また、篠原ホームページにも講義関連の情報を掲示する予定なので活用してほしい。

| | | | | | |
|------|----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 交通論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選 | | | | |
| 担当者名 | 金 兌奎 <small>きむ てぎは</small> | | | | |

講義のねらい

交通サービス及び交通産業の概念・特徴・分析アプローチなどについて具体的かつ体系的に理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①交通政策の概略：交通政策を学ぶ目的、交通論の対象
- ②交通サービスの需要と供給の特性（2回）
- ③交通サービスへの規制（2回）
- ④運賃理論（2回）
- ⑤運賃政策（3回）
- ⑥交通投資の特徴（2回）
- ⑦前期のまとめ
- ⑧鉄道政策及び鉄道輸送事業の特徴（2回）
- ⑨国鉄の分割民営化、JR・民鉄の現状（2回）
- ⑩航空政策及び航空輸送事業の特徴（2回）
- ⑪航空輸送事業における規制緩和及びローコストキャリアの新規参入（2回）
- ⑫空港整備制度（2回）
- ⑬道路整備制度
- ⑭道路政策及び道路公団の民営化
- ⑮後期のまとめ

履修上の留意点

交通の様々な側面を正確に理解するためには、ミクロ経済の知識を必要とする。受講者は基礎的なミクロ経済学を理解していることが望まれる。

成績評価の方法

平常点（出席、小テストなど）と試験の成績による総合評価

教科書

なし

参考書等

藤井彌太郎・中条潮編『現代交通政策』東京大学出版会、1992年
 山内弘隆・竹内健蔵『交通経済学』有斐閣アルマ、2002年
 杉山雅洋他編著『明日の都市交通政策』成文堂、2003年

その他

授業は、パワーポイントを使って進めるが、補助のプリントを配布する予定である。

| | | | | | |
|------|-------|----|----|----|---|
| 科目名 | 地域計画論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政234選 | | | | |
| 担当者名 | 原 昭夫 | | | | |

講義のねらい

地域とは、立地・規模・歴史・自然・生産形態などにより多様な姿を持ち多種の課題を表出している。そうした地域を見る眼を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 前期：
 - i) 4～5月／地域を知る：地域や都市の姿、成り立ち、現況、動態等を把握する。
 - ii) 6～7月／課題を発見する：地域や都市がどのような課題を抱えているか発見し考察する。
- 2) 後期：
 - i) 9～10月／課題を考える：それらの課題がどのような原因を持つか考える。
 - ii) 11～12月／地域を計画する：地域の課題を解決する方策を考え、将来像を描き提案する。

履修上の留意点

現代日本および世界の地域や都市全般の動向について幅広い関心を持ち、そこでの課題や困難の改善や克服について強い意欲を有し、その解決案を「計画」として提示できること。

成績評価の方法

出席（授業への積極性の評価）およびレポート（年数回、折々の社会や環境について自己の意見・論評・提案等の独自性の評価）。

教科書

原昭夫著『自治体まちづくり』（学芸出版社）2,800円＋税

参考書等

『都市計画』（共立出版）3,800円＋税
 『都市計画論』（NHK出版）2,400円＋税
 その他授業の都度に提示する。

その他

講義形式を基本とし、テーマによってはスライドも使用。聴講人数によっては共同作業型演習（「地域計画作成ワークショップ」）なども考えたい。（前年度は実施した。）

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 政治学特殊講義（1） | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政234選 | | | | |
| 担当者名 | 内海 <small>うちうみ まり</small> 麻利 | | | | |

講義のねらい

近年、社会情勢の変化の中で、市民参加・市民活動が注目されている。特に前者は、政策形成プロセスにおける参加を意味する場合が多く、これは行政が主として担う「公共性」と市民が望む「公共性」との乖離をうめようとするものである。他方、市民活動においては、自治に対する自主的な取り組みやNPO等による公益活動の急速な展開により、地域社会が育て担う「新しい公共」の存在が顕在化している。しかし、こうした市民を中心とした政策形成プロセスや公益活動等には、合意形成や一定の秩序を生み出す政治システムが必要とされる。本講義は全国の事例を通じて市民と公共性との関係を政治という観点からとらえ、その体系と理論、実践手法について学生諸君の専門知識と理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、主として次の視点につき講義するが、その内、数回、講義に関する議論について受講者の考えを発表する機会を設ける。なお、詳しい授業スケジュールについては、第1回目の授業の際に配付する。

- ・市民と公共性
- ・市民団体と市民活動
- ・政策形成プロセスにおける市民参加
- ・合意形成とその手法
- ・コミュニティ・ガバナンス

政
治

履修上の留意点

受講期間に身近な地域の市民参加や市民活動に参加、見学されることが望ましい。

成績評価の方法

授業への出席、発表の充実度などを中心に評価する。

教科書

特に教科書は指定しない。

参考書等

授業中に随時提示し、さらに詳細な考察を望む学生にはテーマに沿う参考書を推薦する。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 政治学特殊講義（2） | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政234選 | | | | |
| 担当者名 | なかの ゆうじ 中野 裕二 | | | | |

講義のねらい

近代以降の政治は、「政治の領域」を限定して議論されてきました。そのひとつが、政治が展開する「公的領域」と非政治的領域たる「私的領域」の区分です。

「公的領域」と「私的領域」はあらかじめ存在するのではなく、人間が概念的に作り上げた領域です。それは、出自や宗教などを理由に人権が侵害されたり、差別されたり、政治から排除されたりしていた不平等な時代から、人間の平等な権利を保障するために作り出された区別なのです。出自や宗教を「私的な事柄」と位置づけることで、逆に出自や宗教にかかわらない市民を見いだし、市民の平等を実現しようとする試みという意義をもちます。

しかし、ある事柄を「私的領域」に位置づけることは、今日幾つかの問題を提起しています。例えば、ドメスティック・バイオレンス（DV）です。妻が夫に暴力をふるわれたとしても、かつては「夫婦げんか」と位置づけられ警察の介入が困難でした。それは、家庭内の出来事が「私的領域」に属するとして、公権力が介入できないと考えられていたからです。しかし、DVを「私的領域」の出来事として放置してよいわけではありません。DVという言葉ができたこと自体が、問題の可視化を物語っています。

それでは、われわれは例えばDVの問題にどのようなスタンスで臨めばよいのでしょうか？それはこれまで政治を語るうえで前提とされてきた「公的領域－私的領域」の区別の問題を再検討するということにつながります。この講義では、できるだけ身近な事例を取り上げて、皆さんと一緒に「公的領域－私的領域」分離の意義と課題について考えてみたいと思います。

政
治

講義の内容・授業スケジュール

- I. 理論編
 1. 「公的領域－私的領域」の分離の理論
 2. 公－私分離への挑戦
- II. 事例編（予定）
 1. DV
 2. 幼児虐待
 3. 性別役割分担――ポジティブ・アクションへ
 4. フリーター、ニート――社会的対応

事例編では、受講生による事例の紹介、意見の発表の機会を設けます。

成績評価の方法

期末試験は行いません。出席、授業時間中の発表などを総合的に評価します。

教科書

教科書は使用しません。

| | | | | | |
|------|------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 政治学特殊講義（3） | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政234選 | | | | |
| 担当者名 | 三船 恵美 | | | | |

講義のねらい

現代中国（1949年～2007年）の政治・外交・国際関係の基本的な知識を学びましょう。日中国交正常化35周年を迎える2007年度の講義では、日中米台関係史を基軸に、中国政治の構造、少数民族問題、台湾問題、人権問題、日中間の歴史問題と戦後賠償放棄の政治過程、日本の対中ODA、日米関係と日中関係の相互影響、中国の反日ナショナリズム、などを勉強しましょう。受講生のなかには高校時代の日本史や世界史の授業で現代史を詳しく勉強していない学生もいる、という前提で講義を進めます。

講義の内容・授業スケジュール

1. イントロダクション
2. 中国の政治制度の基本的なしくみ
3. 台湾・香港の政治制度の基本的なしくみと「一国二制度」・「兩岸関係」
4. 新疆・チベット問題
5. 朝鮮戦争・サンフランシスコ講話条約と日中米台関係、戦後日本の「脱アジア」と対中政策
6. 中ソ対立と米中関係
7. 米中接近と日中関係、日中国交正常化と戦後賠償の放棄
8. 日中平和友好条約、米中国交樹立・米華断交と「台湾関係法」、3つのコミュニケ
9. 中国の改革開放政策と日本の対中国ODA援助、歴史問題をめぐる摩擦の始まり
10. ポスト冷戦と新たな争点
11. 中国の新民族主義と「対日新思考」vs 日本の新ナショナリズム
12. 反中・反日を如何にとらえるか？日中間の新たな争点
13. 2007年の17回党大会に向けた胡錦濤政権
14. 2007年の日中関係・米中関係・日米同盟

履修上の留意点

頻繁に20分以上遅刻してくる受講生には単位を与えない場合もあります。テストを欠席した場合にレポートは課しません。就職活動や部活で欠席した人を特別扱いしません。配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。欠席した場合の授業内容は、各自の責任で補って下さい。

日中間の領土問題、国連外交をめぐる日中関係、東アジア共同体に興味のある学生には、「国際関係論」をあわせて受講することを勧めます。

成績評価の方法

基本的には定期試験（100％）で評価しますが、定期試験を受験しない学生には救済レポートを課すことはしません。

教科書

天児慧『中国・アジア・日本』ちくま新書（ISBN4-480-06326-9）、735円。

毛里和子『日中関係：戦後から新時代へ』岩波新書（ISBN4-00-431021-0 C0231）、777円。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 政治学特殊講義（４） | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政234選 | | | | |
| 担当者名 | おおやま れいこ 大山 礼子 | | | | |

講義のねらい

民主政治のかなめともいえる議会のあり方について考えます。国会の話が中心になりますが、国会を批判するためにも外国の議会の実態をきちんと理解しておく必要があるため、国際比較の観点も重視します。

講義の内容・
授業スケジュール

ほぼ教科書の流れに沿って、議会の機能、議事の運営、法案審議、二院制等のテーマをとりあげます。必ず事前に教科書を手し、ざっと目をとっておいてください。

履修上の留意点

履修者の人数にもよりますが、一方的な講義ではなく、あらかじめ各章ごとのレポートを提出してもらったうえで、みんなで議論しながら進めたいと考えています。したがって、受講生には予習、復習の徹底と積極的な参加が求められます。
最近の国会に関するニュースや話題について、ある程度心得ておいてもらわないと、その先に進めませんので、毎日、新聞の政治欄を読む習慣をつけてください。

成績評価の方法

平常点（履修者の人数が多い場合は変更の可能性あり）

教科書

大山礼子『国会学入門・第2版』（三省堂）2003年

政
治

| | | | | | |
|------|-------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 外書講読I（英書） 外書講読II（英書） | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政3選 政4選 | | | | |
| 担当者名 | あいだ としひこ 相田 敏彦 | | | | |

講義のねらい

メディア、メディア研究関連の英文読解。

履修上の留意点

参加者の力量を配慮して、内容・進度を決めるが、英語が得意科目であることが望ましい。

成績評価の方法

平常点

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 外書講読I (英書) 外書講読II (英書) | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政3選 政4選 | | | | |
| 担当者名 | きよたか ひとし 清滝 仁志 | | | | |

政
治

講義のねらい

この講義では、政治に関する英文に慣れ親しむことから始めて、比較的視野で政治問題・国際問題を学ぶ方法を身につけることを目的にします。「比較は頭脳を明晰にする」(フランスの政治思想家トクヴィルの言葉)のであり、政治学科で学んだ知識をさまざまな分野に活用しようという場合、比較的視点は不可欠です。

さらに新聞・雑誌を読みこなすことのできる基礎的な英文読解能力を身につけます。TOEIC、公務員試験の各種試験における英文読解に対処できるだけの実力をつけることを期待しています。

さらに英文読解を通じて、日本語における論理的思考(ロジカルシンキング)、論文・レポートの作成能力の向上にもつながるように配慮します。

講義の内容・
授業スケジュール

英字新聞に掲載された政治関連の最新の記事を毎週、読んでいきながら、同時に記事に関連した政治学の基礎知識を講義で説明します。

とくに後期では日本の新聞とは違った視点で政治を分析している外国の文献をとりあげ、政治に関する多角的な知識を身につけていただきます。

履修上の留意点

やさしく解説を加えたたくさんの英文を授業で読んでいくことによって長文に慣れていきます。

辞書を何度も引きながらゆっくりと英文を読んでいくのではなく、説明をつけた英文をたくさん読んでいきます。

1年間かけて授業で「たくさん読む」ことが目標です。

英語の成績等に関わりなく参加してください。

英文読解に加え、国際事情・時事問題について理解・関心を深めることを期待しています。

とくに国際問題において日本のメディアを通してだけでは得られない情報をとりあげ紹介していきますので、それらを生かし皆さんの政治を論じる能力を向上させてください。

成績評価の方法

授業の参加状況を勘案します。

評価では、講義を受けることでいかに力をつけたか、を重視します。

定期試験は実施せず、平常点で評価します。

教科書

解説を加えた資料を毎回配布します。英字新聞は朝の短い時間に一般人が読む媒体であり、日本の高校生レベルの英語で書かれていますので、1年かけて慣れ親しむことによってかなり読みこなすことができます。

参考書等

授業と並行して取り組むことをお勧めします。

「毎日1分!英字新聞」<http://www.ka-net.com/magazine.html>

英字新聞を読むための参考書として

伊藤サム『第一線の記者が教える英文記事の読み方』(ジャパントイムズ)

同じ著者の『伊藤サムのこれであなかも英文記者』(ジャパントイムズ)もお勧め。

その他

授業を通じて、身の回りの情報に自発的・積極的に関心を抱く知的習慣が身につくことを期待します。

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 外書講読I (英書) 外書講読II (英書) | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政3選 政4選 | | | | |
| 担当者名 | みたけ なおや 三竹 直哉 | | | | |

講義のねらい

英語で政治学を勉強します。

講義の内容・ 授業スケジュール

参加者の希望や人数によって、内容もやり方も変わってきます。例えば、下記のような内容があり得ます。詳細は参加者と相談して決めます。

履修上の留意点

あくまでも政治学科の専門科目です。「英語の授業」ではありません。政治学科の3年次もしくは4年次生として、当然持っているべき知識は前提として授業を進めます。

授業に関連する新聞記事などを課題として指定しますし、授業で扱った事柄について自ら調べたり勉強したりする課題もたくさん出します。

したがって、自分の将来のために、真剣に政治学や英語を勉強している人向けの授業です。「何となく」ではついて来られません。

中学校の社会科の知識が備わっていない人、高校の社会科レベルの事柄を自分で調べようとしていない人、新聞をこまめに読んでいない人には単位を出しません。(テストでチェックします。)

成績評価の方法

期末テストと小テストを行い、平常点を加味して採点します。一般に外書講読ではテストをやりませんが、テストを行った方がみなさんの力がつくのは明らかですので、この授業ではテストを行います。詳細は授業開始時に説明します。

教科書

英文の本を指定するかもしれませんが、その場合、授業中に案内します。

参考書等

辞書は中辞典以上の大きさのものを持参してください。電子辞書も可です。学習用英英辞典の“Cobuild English Dictionary”はおすすめです。電子辞書も、この辞書が入っているものをすすめます。が、必ず買わなければいけないわけではありません。

その他

このシラバスはあくまでも前年度12月時点での計画に過ぎません。変更もあり得るものであることをご了承いただきたいと思います。おそらく少人数の授業になるでしょうから、参加する学生のみなさんの必要性に応じた授業にしていきたいと思っています。詳しい情報は、下記の授業用サイトで確認して下さい。

<http://www.ji.em-net.ne.jp/~bamboos/>

ホームページのURLが変更になる可能性があります。変更になっていた場合、Googleなどで検索するか、メールで連絡をください。

mitake@komazawa-u.ac.jp

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 外書購読I (英書) 外書購読II (英書) | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政3選 政4選 | | | | |
| 担当者名 | やまざき のぞむ 山崎 望 | | | | |

講義のねらい

英語で書かれた文章を読むことを通じて、日本の視点を相対化しながら、世界の情勢を読み解くことを学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

政治の世界には常に「強調」と「対立」が存在しています。今日、グローバル化によって国際政治と国内政治の垣根は低くなり、一方では社会運動やNGOが国境を越えて展開し人権、貧困、環境破壊など一国では対処できない問題に協調して取り組む「グローバルな市民社会」が生まれています。他方では「テロ」や「人道的介入」など、暴力を伴う対立も国境を越えて展開しています。本ゼミでは主催国家が揺らぐ現代世界における「グローバルな市民社会」の可能性と限界について考えます。

政
治

履修上の留意点

政治学や国際政治学について興味があること。政治学及び国際政治学の基礎について学んでいる事が望ましいです。

成績評価の方法

平常点（出席、報告、討論への参加）による。

教科書

特になし。

参考書等

Mary Kaldor, 2003, 'Global Civil Society: An Answer to War' Polity Press
Jurugen Habermas, 2006, 'The divided west' Polity press
Jonathan Friedman, 2003, 'Globalization, the state, and violence' Altamira Press

その他

ゼミ形式。授業では受講者と相談の上、論文を抜粋して、報告者による内容の要約・報告（日本語）と、それに基づく議論（日本語）を行います。履修者の関心や理解度により、選択する文献や進度については調整する予定なので、関心のある方は臆することなく、是非チャレンジしてください。

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 外書講読I (独書) 外書講読II (独書) | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政3選 政4選 | | | | |
| 担当者名 | まつむら いたる 松村 格 | | | | |

講義のねらい

ドイツ語の法学文献を読むことを通して、ドイツ人の法的感覚・法意識・法理論の構成を学習し、日本人のそれらと比較することによって、日本と日本人の法意識についての長短を知ることがを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語の法学文献を逐条解釈していきます。私が毎週指定した範囲の文章について、受講生が予習してきて全員が順番で翻訳発表することになります。そして、解釈の是非を相互に指摘しながら読み進めます。

履修上の留意点

毎週出席して参加することが不可欠です。日本の法学・法哲学・法理論の基本書を参考にしながら、講読すると理解しやすいです。ドイツ語の文法書と独和辞典を常に携帯してください。ノートに原文と訳文を筆記することも良策です。

成績評価の方法

普段の予習・復習の態度と講読力および出席回数によって評価します。

教科書

未定。第1回目の授業に配布します。

参考書等

未定。

政治

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 外書講読I (仏書) 外書講読II (仏書) | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政3選 政4選 | | | | |
| 担当者名 | なかの ゆうじ 中野 裕二 | | | | |

講義のねらい

比較的平易なフランス語で書かれた文献を読むことで、フランスの法律・政治に関する知識を深めることを目的とします。フランス語の授業ではありませんので、初級程度のフランス語ができることを前提に授業を進めます。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は、法律学科・政治学科に同時に開講されているので、フランスの共和制の原則、統治機構、人権などに関する文献を読んでいきます。
まず、フランス語を正しい日本語に翻訳し、文法などを確認し、次にその内容について確認していきます。
受講生が初級程度のフランス語が理解できているかどうかを確認するため、第1回目の授業では簡単なテスト(仏語検定4級程度)を行います。

履修上の留意点

初級程度のフランス語を理解していること。

成績評価の方法

期末試験を実施します。期末試験を6割、出席状況、発表内容を4割の比率で成績評価とします。

教科書

受講生の読解力によって教材を選びますので、現在は未定です。

| | | | | | |
|------|-----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 外書講読I (中国書) 外書講読II (中国書) | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政3選 政4選 | | | | |
| 担当者名 | 江林 英基 <small>こうりん ひでもと</small> | | | | |

講義のねらい

現在の中国は経済の改革・開放政策をとっており、これを実現するため、1982年に四回目の新憲法を制定・施行し、その後数回にわたる改正を行った。その他の法律もこの憲法に基づき、“雨後春筍”のようにつぎつぎ公布された。“一衣帯水”の隣国である中国を認識することが必要である以上、その法制から着手しなければならないのである。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業は中国憲法138条の条文に書かれている中国の内政と外交方針、国民の基本権利と義務、人民代表大会の権限、人民政府の組織などを主な内容とする。

政

履修上の留意点

授業の進度は一週間5ページ程度である。学生諸君に朗読させ、法律用語、条文の構造(文型)を説明しながら立法理由と現在状況を論評する。

治

成績評価の方法

出席率、学習態度、レポートなどを判断基準として総合的に評価する。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

江英居著『中国憲法』(大学書林)3,500円、『中華人民共和国法律匯編』(北京人民出版社)

その他

学生への要望：授業中私語禁止。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 現代企業論 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 政34選 | | | | |
| 担当者名 | さいとう ただし 齊藤 正 | | | | |

講義のねらい

野村ホールディングス（旧野村證券）の提供による本講座は、「資本市場の役割と証券市場」をテーマとして、野村ホールディングス、野村総合研究所の現役スタッフによって講義される。証券投資に関する基礎から出発するので、証券業務にはじめて触れる者にも十分対応する授業である。また、現役スタッフによる「現場」の動向をも織り交ぜた講義であり、証券業界のみならず、広く金融業界への就職を検討する際に大いに参考になることが期待される。

講義の内容・授業スケジュール

以下の進行を予定しているが、講師の都合によって変更される場合があるので、毎回の授業においてスケジュールを確認しておくこと。

- 1 ガイダンス
- 2 経済情報のとらえ方
- 3 経済成長と金融資本市場
- 4 証券投資のリスクとリターン
- 5 株式市場の役割
- 6 債券市場の役割
- 7 投資信託の役割
- 8 ポートフォリオの考え方
- 9 市場のグローバル化
- 10 資産運用とライフプランニング
- 11 資本市場と投資家心理
- 12 個人投資家
- 13 ベンチャーとIPO

政
治

履修上の留意点

定期試験および追試験は実施しない。

成績評価の方法

出席点とレポート点で評価する。

教科書

教科書は特に指定しないが、毎回、レジュメを配布する。パワーポイントを用いた授業となる予定。

参考書等

氏家純一『日本の資本市場』東洋経済新報社、2002年。
福光寛・高橋元編著『ベーシック 証券市場論』同文館出版、2004年。

その他

企業の現役スタッフによる講義であり、定刻に開始し、4年生の就職活動による場合を除き原則として遅刻は認めない。また、私語など受講態度に問題がある場合、退室を指導することがある。

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政3選 | | | | |
| 担当者名 | 浦田 ^{うらた} ^{さなえ} 早苗 | | | | |

講義のねらい

これまでわれわれが直面してきた、そしてこれからも直面し続ける様々な政治・社会現象について、純粹かつ鋭い視点から問題を喚起し、幅広い柔軟な発想をもって解決策を導きだせる人材を育成することに主眼をおいている。

講義の内容・
授業スケジュール

18年度は共通テーマとして「混乱の世界と日本」とし、内外の重要課題について個人研究及びグループ研究が行われた。発表のテーマは『石油とイラク』、『ニート対策』、『格差社会』、『個人情報の保護』、『望ましい公共事業』、『介護保険の是正』、『(ディベート) 裁判員制度の是非』、『(ディベート) 消費税引き上げの是非』といったものであった。

履修上の留意点

オリジナリティ溢れる問題解決策・プランニングの作成にはかなりの時間を費やさなければならぬ。

成績評価の方法

発表内容と各自の持つ勉学意欲（発表に対する質問・意見等）によって評価する。

参考書等

文藝春秋編『日本の論点2007』（文藝春秋）2,700円

その他

学内のディベート戦に積極的に参加すること、及び年2回の合宿とゼミ論集の刊行を励行している。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政3選 | | | | |
| 担当者名 | とみさき たかし 富崎 隆 | | | | |

講義のねらい

全体としては、現代政治学の理論的・実証研究（特に数量的研究）を「体験すること」を演習の主たる目的としていきたいと思ひます。演習の雰囲気自体は、学生諸君と「創りあげていく」ものだとも思ひます。そして、共同（及び個々に）で研究活動やその他の活動に参加して行く中で、「現代政治をみる視点」を養って欲しいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール

演習の第1の活動は、3年次における共同研究、4年次における卒業論文の作成です。ここでいう「研究」とは、本を読んでまとめることとは基本的に異なります。それは単なる「お勉強」です。本研究会における研究とは、従来世界中で誰も「知らなかった」「そうであるといえなかった」政治現象を「そうである」と確認・発見する作業です。もちろん、そのためには多くの努力と創造性が必要です。

第2に、具体的な、みなさんの毎週の研究会での中心活動は、当面ディベート（模擬討論）になると思ひます。毎週のディベートを通じて、政治学における基本問題に対する理解と問題発見をしてもらいます。研究会でのディベート実施の目的は、政治学の従来の議論の意義と問題点を探ることにあります。しかし、同時にディベートを通じ諸君の論理・実証・思考・討論能力を向上させてもらいたいと思ひます。

第3に、研究会としてインターカレッジ・セミナーに参加していきたいと思ひます。他の参加ゼミとしては、明治大学・小西ゼミ、慶応義塾大学・河野ゼミ、拓殖大学・大谷ゼミなど（予定）があります。このセミナーでは、年1回の共同合宿や講演会、大学対抗のディベート大会などを行なっていく予定です。

政
治

成績評価の方法

受講生と相談の上、総合的に評価します

教科書

特に定めません

参考書等

特に定めません

その他

積極的・主体的参加を期待します

| | | | | | |
|------|----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政3選 | | | | |
| 担当者名 | <small>はやかわ よしき</small> 早川 純貴 | | | | |

講義のねらい

当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成19年度の前期・統一テーマは「政策のあとさき」である。国の法律や地方自治体の条例などが成立した背景と、実際に政策として施行された後の効果・社会的影響（地元への影響）を調べ、立法者の意図と現実とのズレを分析し、なぜ違い（期待と結果のズレ）が生じたのかを考えてみたい（例えば大店法と地元商店街の衰退、農業補助金と日本の食糧自給率低下、情報公開と個人情報保護法のギャップ、建物規制と環境保護の難しさ、男女雇用機会均等法と女性の雇用の実情 etc.）。さらに、その法律や条令をどのように改正したら（あるいは実施の過程をどう工夫したら）所期の効果を達成できるかを議論してみよう。

履修上の留意点

当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、そこではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法

個々人の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。

教科書

教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

| | | | | | |
|------|-----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政3選 | | | | |
| 担当者名 | やまざきのぞむ 山崎 望 | | | | |

講義のねらい

本演習では、国民国家から成り立つ現代世界の変容を二つの観点－「帝国」と新自由主義的グローバル化－から分析します。その上で、世界秩序の変容が生み出す問題にどのように対応するのか、考えることが目的です。演習を通じて「あたり前」と思っている事が「あたり前」ではなく、テロ、戦争、格差といった「大きな問題」が「他人事」ではなく「自分の問題」である事について学んでもらう事が目的です。

講義の内容・授業スケジュール

概ね三つのテーマに分けてゼミを行います。

1. 新自由主義的なグローバル化がもたらす問題を、国内／国際的な格差の増大、貧困、不安定雇用、失業、社会の分断といった観点から取り上げる。
2. 「9. 11」同時多発テロに象徴される新しい時代の暴力について、「帝国」という観点から、アメリカの超大国化、「新しい戦争」、グローバル・テロリズム、宗教原理主義、ネオ・ナショナリズムに注目することで明らかにする。
3. 新自由主義や「帝国」がもたらす問題への対応を、グローバルな市民社会、新しい民主主義、多文化主義などの切り口から探る。

政
治

履修上の留意点

毎回、課題とされた文献をしっかりと読んでからゼミに臨んでください。討論においては積極的に発言してください。詳細はゼミの一回目に説明するので、履修希望者は必ず出席してください。

成績評価の方法

平常点（出席・報告・討論への貢献など総合的に評価）。

教科書

杉田敦・川崎修編2006『現代政治理論』有斐閣アルマ ISBN 4-641-12269-5

参考書等

他の文献については、ゼミの進行に応じて適宜指定します。

その他

ゼミ形式。毎回報告者を指名するので、報告者は課題文献を要約し、報告すること。その後参加者全員で議論します。希望があれば個人研究報告やディベートも行います。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政3選 政4選 | | | | |
| 担当者名 | 相田 敏彦 <small>あいだ としひこ</small> | | | | |

講義のねらい

一言でいえば、マスコミ、広告・広報、情報化がゼミのテーマである。マスコミは興味深いだけでなく、政治学の根底にかかわる領域である。テレビCMを含め、広告・広報はどんな企業・組織体にとっても重要な問題であり、実社会とつながりの深い実践的テーマである。パソコン・ケータイ・インターネットに象徴される情報化の急速な進行も、身近な生活から企業内にまでおよんでいる。メディア・広告・情報化の3領域のなかから、各自に、またグループ単位に好きなテーマを選択し、資料調べ・発表・討論などを行ないながらまとめてゆく。合宿やふだんの授業で友人との親しきが増すだけでなく、人前での発言・発表能力、ものを書きまとめる能力を2年次より一層高め〈ゆったり・楽しく・着実に〉進展・燃焼する場としてのゼミにしたい。当ゼミの特徴を一言でいえば、おもしろきプラス実践性の高い役に立つ知識の習得プラスコミュニケーション能力の向上である。

講義の内容・授業スケジュール

<基礎演習>に記載の内容を参照。それをいっそう高度化したい。

成績評価の方法

平常点。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政3選 政4選 | | | | |
| 担当者名 | 内海 麻利 <small>うちうみ まり</small> | | | | |

講義のねらい

本演習は、社会情勢が変化し、その変革が求められる都市政策・地方行政・市民参加・まちづくりに関連し、柔軟な発想から問題意識を持ち、実践的かつ創造的な新たな知見を自ら探求するとともに、その解決策を提起できる能力を引き出し伸ばすことを主な目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

研究期間内において各人が行う研究スケジュールやプログラム（問題意識の発掘、研究テーマ・方法の設定、関連文献の収集及び実地調査、考察とりまとめなど）を自ら作成し、問題意識に対する新たな知見や解決策を自主的に進める。主にゼミでは発表・報告、ディスカッションを中心に各研究内容を議論する。

履修上の留意点

ゼミの運営自体も学生の主体性を重視するため、積極的なゼミ活動への参加が望まれる。

成績評価の方法

出席状況、個々人の発表・報告の充実度、ゼミに対する意欲などを総合的に評価する。

参考書等

個々人の研究テーマに応じて適宜紹介する。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政3選 政4選 | | | | |
| 担当者名 | おおつか かつら 大塚 桂 | | | | |

講義のねらい

政治学における基礎的・原理的研究をおこないます。基礎研究にあたっては、古典的文献の取り組みが不可欠です。政治原理・哲学・国家論に関心のある学生の参加を期待します。

講義の内容・
授業スケジュール

I政治学の基本文献を輪読する。
II共通テーマを設定し、共同研究をおこなう（例えば、明治の政治家たち、自由主義の系譜）。
IIIゼミ生各自が定めた個人研究の発表とそれに対する指導をおこなう。

履修上の留意点

一定の読書と思索をつみかさねてきた学生の参加を切望します。政治学原論か現代国家論を履修し、私の政治学に対する姿勢を理解してくれる学生さん、いらっしやい！

成績評価の方法

平常点

教科書

教員が準備し提供します。

参考書等

参考書として、拙著をあげておきます。図書館等で目を通しておいてください。大塚『フランスの社会連帯主義』（成文堂）、同『ラスキとホップハウス』（勁草書房）、同『多元的国家論の展開』（法律文化社）、同『多元的国家論の周辺』（信山社）、同『近代日本の政治学者群像』（勁草書房）、同『明治国家と岩倉具視』（信山社）、同『明治維新の思想』（成文堂）、同『ヨーロッパ政治理念の展開』（信山社）。

その他

4年次生は就職活動を最優先させます。金銭的負担（OB会・合宿等）、規則、束縛は一切ありません。年1～2回のお食事会を開催しますが、教員がゼミ生をご招待いたします。

政
治

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政3選 政4選 | | | | |
| 担当者名 | おおよま れいこ 大山 礼子 | | | | |

講義のねらい

この演習は、議会を中心とする政治制度について理解を深め、学生が主体的に考えるための基礎を築くことを目的としています。各自が意欲をもって積極的に参加することが条件ですが、自分自身で文献やインターネットを活用し、物事を調べる能力が身につくように配慮したいと考えています。また、自分の主張を他人に理解してもらうために必要な、論理の組み立て方、表現の仕方の学習も重視します。

3年次演習Iの後期に各自のテーマで5千字程度の論文をまとめ、4年次の演習IIでは3年次の論文をさらに発展させ、2万字程度のゼミ論文執筆に挑戦します。書く技術を修得してもらうため、細かく添削しますので、最後までやり遂げてください。

政治

講義の内容・授業スケジュール

3年次の前期は政治関係の基礎的文献を講読し、基礎知識を確認します。後期には学生が選択したテーマで報告を行ってもらい、4年次でのゼミ論文執筆につながるようにします。学生の希望によって、グループ研究や討論なども実施します。

4年次はゼミ論文の執筆を中心とする予定です。なお、個人研究のテーマは政治制度に限らず、広く政治に関わることであれば自由に選択可能です。

希望により、夏期の合宿または集中ゼミ、国会見学などを行います。

履修上の留意点

日頃から新聞の政治面の記事を読み、積極的に討論に参加すること。

成績評価の方法

平常点（ゼミ論文の評価を含む）。

その他

無断欠席、遅刻厳禁。周囲の状況をよく見て、自分に求められている役割を積極的に果たすこと。ゼミのイベント時は原則として禁煙。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政3選 政4選 | | | | |
| 担当者名 | きよたき ひとし 清滝 仁志 | | | | |

講義のねらい

本演習では、現在の社会における変化を政治学の観点を通じて考えていくことを目的としています。皆さんの生きている現在は、かつてない規模と速さで社会が変化し、今までになく将来が見えない時代となっています。演習では、同時代の状況を理解し、将来自分がどのような知的態度をもって対応すべきか、を解明する手がかりとなるような内容をめざしていきます。

演習を通じて、自分で未来を切り開くための基礎的知識と知的習慣を身につけ、どのように自分が能力を磨き、何をしたいのかを考えることを期待しています。

さらに、文章の表現能力を身につけるための練習や報告の仕方について、演習という特性を生かしながら具体的に指導します。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 講義の内容

① テーマを設定しグループで討論。

就職面接等を念頭におきながら、議事進行・意見集約・建設的討論の技術を習得。

前期はボードを整理しながら皆で意見を集約する方法(別名・ポストイット・ツリー)を学びます。

後期は実践的に相互評価をしながら(別名・金魚鉢)、皆の前で的確な意見をすぐに話す技術を学びます。

② グループごとに順番にニュース解説。

最近の事件をとりあげ、コメントを加えながら背景等の説明。

後期はグループごとに就活面接のポイントを学びます。

(2) 講義の目的

① 政治・経済・社会の基本的問題について理解

② 自分の考えを的確にまとめ、相手にわかりやすく表現する技術を習得

③ さまざまな情報を自分で的確に判断できる知的能力を習得

さらに公務員試験、就職活動に対応できるように配慮します。

履修上の留意点

演習での課題は次のとおり。

① 資料等を毎回熟読

② 口頭発表

③ レポート、ゼミ論文集の作成

④ グループ討論(議論するだけでなく、司会、書記、タイムキーパー等)

部活・サークル活動等と両立できるように配慮します。

成績評価の方法

演習での報告内容、議論の参加状況、グループでの協力の程度

教科書

資料を適宜配布します。

その他

ゼミの行事…レクリエーション(BBQ、ハイキング)、コンパ、ゼミ合宿(夏)、就職セミナー、都内の諸施設見学(国会、日本銀行、皇居、新聞社、諸官庁)、ゼミ・ツアー(冬)

授業中に4年生の就職活動報告などを適宜おこないます。

質問があれば、kiyotaki@komazawa-u.ac.jp まで。

(HP) <http://www.bat.alliednet.ne.jp/kiyotaki/>

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政3選 政4選 | | | | |
| 担当者名 | こほり のりお 小堀 訓男 | | | | |

講義のねらい

国家は国際社会にあって、外部から受けるインパクトに対し、さまざまなリアクションを引起す。これを国家の行動と呼ぶならば、国家は国際社会のなかで行動するための何らかの基準があるのではないかと、という素朴な疑問をもって、戦争・紛争・国家間の経済問題・国家の統合などを研究の素材としてとりあげ、それらの事象を分析する。つまり、この演習では、国家には何らかの行動基準があるのではないかとという問題意識をもって、諸種の国際事象を分析、考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

第1回から第4回までの演習では、“国際政治とは、いかなるものか”をテーマに討論し全員が国際政治について共通の認識をもてるようにする。

第5回から第8回までの演習では、国家についての基礎的知識を得るために、国家論の諸説を整理する。殊に、国家・民族・階級について、各自研究し討論する。

第9回からの演習では、戦争・紛争・国家間の経済問題・国家の統合などの具体的な事象について、興味あるテーマを各自が選び、その現象を分析しながら、国家の内部に包含されている民族や階級が、その国家の行動にどのように作用しているかを考察し、国家の行動基準の法則性の有無を検討する。

履修上の留意点

問題意識を明確にもった学生の受講を希望する。殊に国家の政策決定について興味をもっている学生の受講をのぞむ。

成績評価の方法

講義中の発言、研究発表の内容で評価する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

演習に関連したビデオ（20世紀の戦争の記録など）を見る予定である。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政3選 政4選 | | | | |
| 担当者名 | しおいり みほも 塩入 みほも | | | | |

講義のねらい

行政法上の諸問題をとり上げて、演習を行います。他から教授されるだけの受動的な学問ではなく、判例及び学説を自分なりに分析・検討する作業を通じて能動的に研究し、報告し、且つ他の者と法律学的討論を行えるための能力を鍛錬することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

当演習は、学生諸君の主体性を重視し、基本的には、毎回学生一人一人に研究報告をしてもらい、報告後に全員でディスカッションする、という形式で行っていきます。テーマについては、行政法総則一般、行政訴訟法、行政手続法、情報公開法などの各分野から重要なテーマを選び、学生各自の希望を踏まえた上で割り当てます。

履修上の留意点

公務員、行政書士等の国家試験受験者には特に有意義であると思われませんが、それ以外の者でも無論履修可能です。

成績評価の方法

平常点（出席・報告・発言等）により成績評価を行います。

教科書

未定

参考書等

初回授業の際に紹介します。

政
治

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政3選 政4選 | | | | |
| 担当者名 | たけはな みつのり 竹花 光範 | | | | |

講義のねらい

世界の主要国——アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など——の憲法を比較考察することにより「日本国憲法」の正しい理解を行うとともに、それら諸憲法が定める制度——例えば、議会制度、内閣制度、裁判制度、人権保障の制度など——についても個別研究を行う。

講義の内容・授業スケジュール

各自がテーマを設定し個人報告を行うことを基本とする。報告終了後、質疑を中心に全員で討論を行う。なお、合宿の際は、統一テーマを設定し、グループ報告を行うことを原則としている。

履修上の留意点

ゼミの運営はでき得るかぎり、学生の自主性にまかせているので、ゼミ活動に積極的に参加することのできる諸君の応募を期待する。

成績評価の方法

出席点やゼミ活動への参加度等を中心に総合的に判断する。

参考書等

必要に応じて適宜紹介する。

その他

個人報告は義務ではない。従って希望者のみの報告となることもある。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政3選 政4選 | | | | |
| 担当者名 | なかの ゆうじ 中野 裕二 | | | | |

講義のねらい

自分で研究テーマを決め、年度末にゼミ論文として提出することを目標とします。研究テーマは、受講生の問題関心に即して決定します。「自分はどのようにしてこの事に関心を抱いているのか？」を自問することも大切なことだと考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回の演習の時間は、ゼミ論文の中間報告、または、論文作成のために必要な文献の内容紹介にあてます。毎回1人または2人の報告を行い、内容の発表と質疑応答を通して、論文作成上の問題点を洗い直し、または自分の問題関心の再確認を行います。

履修上の留意点

自発的に研究し、論文をまとめる意志のある学生のみ受講してください。

成績評価の方法

出席、ゼミ論文の提出、報告内容・質疑応答の内容などを総合的に判断し、成績評価とします。

政
治

| | | | | | |
|------|---------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政3選 政4選 | | | | |
| 担当者名 | にし おさむ 西 修 | | | | |

講義のねらい

私は、演習をつぎのように位置づけたいと考えます。すなわち、マスプロ教育に陥りがちな一方通行を補うべく、双方向性を大切にし、履修生と教師、履修生同士のディスカッションを多用して、みずからを磨きあげる場であると。そしてそれは、たんに勉強ばかりでなく、合宿などを通じて、心のふれあいのなかから、あらたな自分を見つけだす場でもあると。こんな場にするために、私はつぎのような方針でのぞみたいと思っています。

- (1) ゼミのモットーは「出会い、学び合い、そして人間愛」です。
- (2) とくに少人数の場合、日々のふれあいが大切なので、毎回、出席すること。
- (3) ディスカッションには、積極的に参加し、かならず発言すること。

講義の内容・
授業スケジュール

前記と後期に分け、前期は1、2冊の本を精読し、それについてディスカッションをします。共通に読む本は開講時に指定。またディスカッションの内容としては、(1) 日本国憲法の成立過程とその法的問題点、(2) 憲法第9条をめぐる諸問題、(3) 世界の憲法トレンド、(4) 人権の現代的意味などを考えています。その他、年に1～2回の合宿を行います。また合宿中に私の落語を聴かされることがあります。

成績評価の方法

出席、発言、課題論文などを総合的に判断する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

適宜紹介する。

| | | | | | |
|------|---------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政3選 政4選 | | | | |
| 担当者名 | <small>ひかさ かんじ</small> 日笠 完治 | | | | |

講義のねらい

研究会としては、最新の憲法問題を常にフォローすることを目標とする。一方、教育的には、受講者各自が関心のある憲法問題について研究する能力を身につけることを目標とする。担当者としては、一生涯にわたって付き合いのできる仲間づくりを考えている。

講義の内容・授業スケジュール

第1段階は、社会事象への深い関心の惹起、憲法学の基礎能力の修得（教科書レベル）。
第2段階は、専門書や法律雑誌掲載の論文を理解する能力の修得（社会で通用するレベル）。
第3段階は、各自が専門的な意見を発信することができる能力の獲得。

履修上の留意点

積極的で責任感のある学生諸君の演習参加を期待している。研究会参加者の共同学習によって、法学検定試験、行政書士試験などにも挑戦していただく。演習Iと演習IIは続けて履修してもらいたい。

3年次は個別演習を繰り返し行い、基礎力を充実する。

4年次は各自の研究関心により卒業論文を作成する。

成績評価の方法

3年生は、日常の研究活動について、積極性、成果などにに基づき評価する。

4年生は、主として卒業論文を評価の対象とする。

教科書

特に指定しない。前提としては、1年次学習した日笠完治『憲法がわかった』（法学書院）は、復習をしておいてほしい。

参考書等

近年利用したものとしては、

- ①赤坂・大沢・井上・工藤『ファーストステップ憲法』（有斐閣）
- ②大沢秀介『はじめての憲法』
- ③小林孝輔『憲法演習自習セレクト50』（一粒社）
- ④高橋・大石『憲法の争点』（有斐閣）
- ⑤芦部信喜先生、佐藤幸治先生、樋口陽一先生など大家の教科書などがある。

その他

ゼミの年間行事としては、

- ①新入ゼミ生歓迎会（4月）
- ②前期打ち上げ（7月）
- ③夏合宿（9月）
- ④バーベキュー大会（11月）
- ⑤後期打ち上げ（1月）
- ⑥ゼミ論集『自由と権利』発行（2月）
- ⑦卒業論文集完成（2月）
- ⑧春合宿・4年生の歓送会を兼ねる（2月か3月）などがある。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政3選 政4選 | | | | |
| 担当者名 | 三竹 直哉 <small>みたけ なおや</small> | | | | |

講義のねらい

比較政治学的な研究を自らやってみる演習です。

講義の内容・ 授業スケジュール

年によって、参加者によって異なります。個人研究中心ですが、原則として研究テーマは比較政治学やその他三竹担当の授業内容に関連したものとします。下記授業用ホームページで確認してください。

履修上の留意点

たくさん書き、本や論文にたくさん接し、図書館にたくさん行ってもらいます。そういうことが「楽しい」と思う人向けの演習です。

この演習の内容は、下記のホームページで詳しく見ることができます。現在履修している学生のみ皆さんの様子もわかりますし、履修にあたって必要な条件も書いてありますので、私の演習に応募される方は、<必ず>参照して下さい。

4年次にも必ず履修登録し、就職活動と両立させ、最後まできちんとゼミを続けることも条件のひとつにしています。

成績評価の方法

平常点と論文によります。詳しいことは下記サイトをご覧ください。

教科書

たくさんあります。その都度、指示します。

参考書等

その都度、指示します。

その他

授業用ホームページ：
<http://www.jj.em-net.ne.jp/~bamboos/>

URLが変更になる可能性があります。その場合、Googleなどで三竹直哉と入れて検索してみてください。見つからなければ、下記までメールでご連絡ください。
mitake@komazawa-u.ac.jp

| | | | | | |
|------|------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政3選 政4選 | | | | |
| 担当者名 | 三船 恵美 | | | | |

講義のねらい

現代の国際関係について自分自身の視角を形成し、それを報告しながら討論することを学ぶのが、本ゼミの目的です。複数の学生全員が同じ考え方をすることはあり得ません。異なる考え方の学生が集まり、異なる価値観に対して排他的になることなく、しかも単なる「仲良し関係」では終わらない知的緊張関係の中で、対立するところは対立し、評価できるところは評価しあうことを学びましょう。自分の意見を単純に主張するだけではゼミに参加する意義がありません。議論は言い争うことと本質的に異質なものです。議論することで自分の意見を主張したり異なる意見を受け入れ、自分の考え方を鍛えるためにゼミは存在します。

講義の内容・授業スケジュール

スケジュールと運営方法は、ゼミ生自らが第1回目のゼミで決めます。

履修上の留意点

欠席する場合は、必ず連絡して下さい（ゼミ生を通じての連絡でもかまいません）。無断欠席3回で単位を与えません。

成績評価の方法

ゼミへの貢献度＋報告＋レジュメ＋レポートの総合評価です。座っているだけの学生を出席とは認めません。講義と異なり、ゼミは学生が主体になって運営します。緊張感を失わないで、でも、楽しい、笑顔の絶えないゼミを目指しましょう。

政
治

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政3選 政4選 | | | | |
| 担当者名 | むらいりょうた 村井 良太 | | | | |

講義のねらい

この講義は、良書を輪読し、議論することを通じて政治への理解を深めることをねらいとしています。そこでは、「世界のなかの日本」という大きな視点に立って、学び、考えてほしいと思います。加えて、読む・書く・話すという基本的な技術を身につけてもらいたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは、論文を用いたり、本を指定したり、学生とも話し合いながら決めていきます。テーマは日本政治史を軸に、おおむね政治・外交・国際関係などに関するものと考えています。始めは論文など簡単なものを使い、次第に内容の濃いものを読んでいきます。加えて、前期に合宿と課題レポート、後期に各自の報告とゼミ論文を予定しています。また、受講生の意欲によって、ディベートにも挑戦したいと考えています。

政
治

履修上の留意点

演習は、他の講義以上に、教員、学生と一緒に創りあげていくものです。積極的な参加を求めます。

成績評価の方法

成績は、授業への積極性、出席、報告、発言、レポートなどから総合的に判断されます。

教科書

テキストは話し合いながら決めていきます。

その他

授業の方法は、基本的には、毎回、テキストを指定して、それを輪読しながら議論することになります。報告者はレジュメをつくって報告します。報告者以外の学生も、毎回、少なくとも一分間程度の発言を求められます。レポートも書き、時にはディベートも行います。まだ若いゼミですので、一緒にスタイルを創っていきましょう。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政3選 政4選 | | | | |
| 担当者名 | 山口 邦夫 <small>やまぐち くにお</small> | | | | |

講義のねらい

1・2年次において、刑法総論及び刑法各論ともに履修済みの3年生を中心に進める刑事法演習である。当然、少年法をも含む、刑事政策的な問題意識を持つことが望まれる。

講義の内容・授業スケジュール

1年間を下記の4期に分けて、討論の問題を考えている。
 第I期(4・5月) 罪刑の法定をする政治的意味及び犯罪不成立の事由について。
 第II期(6・7月) 刑事責任のとらせ方と少年事件における、いわゆる保護処分について。
 第III期(9・10月) 生命・身体に対する侵害犯罪と財産犯の諸問題について。
 第IV期(11・12月) いわゆるセクハラ問題と性犯罪との関連と峻別について。

履修上の留意点

毎時間出席し、討論に積極的に参加できる者が望ましい。また年4回ぐらい発表の機会があるので、自分の意見を発表する能力が必要である。

成績評価の方法

演習の成績評価は、講義科目と違い試験は行わない。毎回発表する際のレジメの作成及びその発表内容、さらに他人の発表に対する討論の仕方・内容などを総合して評価する。したがって、一ヶ年、出席すれば、単位取得については問題はない。

教科書

判例を中心に、法解釈を考えるので判例集そのものが教材になる。判例を解説した書物なども参考になるが、毎時間、資料については、注意するので、あらかじめ指定する書物はない。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政4選 | | | | |
| 担当者名 | 浦田 早苗 <small>うらた さなえ</small> | | | | |

講義のねらい

これまでわれわれが直面してきた、そしてこれからも直面し続ける様々な政治・社会現象について、純粹かつ鋭い視点から問題を喚起し、幅広い柔軟な発想をもって解決策を導きだせる人材を育成することに主眼をおいている。

講義の内容・授業スケジュール

18年度は共通テーマとして「混乱の世界と日本」とし、内外の重要課題について個人研究及びグループ研究が行われた。発表のテーマは『石油とイラク』、『ニート対策』、『格差社会』、『個人情報の保護』、『望ましい公共事業』、『介護保険の是正』、『(ディベート) 裁判員制度の是非』、『(ディベート) 消費税引き上げの是非』といったものであった。

履修上の留意点

オリジナリティ溢れる問題解決策・プランニングの作成にはかなりの時間を費やさなければならぬ。

成績評価の方法

発表内容と各自の持つ勉学意欲(発表に対する質問・意見等)によって評価する。

参考書等

文藝春秋編『日本の論点2007』(文藝春秋) 2,700円

その他

学内のディベート戦に積極的に参加すること、及び年2回の合宿とゼミ論集の刊行を励行している。

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政4選 | | | | |
| 担当者名 | 早川 <small>はやかわ</small> 純貴 <small>よしき</small> | | | | |

講義のねらい

当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成19年度の前期・統一テーマは「政策のあとさき」である。国の法律や地方自治体の条例などが成立した背景と、実際に政策として施行された後の効果・社会的影響（地元への影響）を調べ、立法者の意図と現実とのズレを分析し、なぜ違い（期待と結果のズレ）が生じたのかを考えてみたい（例えば大店法と地元商店街の衰退、農業補助金と日本の食糧自給率低下、情報公開と個人情報保護法のギャップ、建物規制と環境保護の難しさ、男女雇用機会均等法と女性の雇用の実情 etc.）。さらに、その法律や条令をどのように改正したら（あるいは実施の過程をどう工夫したら）所期の効果を達成できるかを議論してみよう。

履修上の留意点

当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、ここではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法

個々人の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。

教科書

教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

| | | | | | |
|------|---------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 政4選 | | | | |
| 担当者名 | 真下 <small>ました</small> 英二 <small>えいじ</small> | | | | |

講義のねらい

現実の政治・行政の観察・問題発見・提案能力を培うことを目的とする。田丸ゼミの学生を対象に、卒業論文の作成、あるいは研究発表の完成に向けて取り組みます。

履修上の留意点

無断欠席は認められません。やむを得ず欠席する場合には、必ず事前に連絡を入れること。

成績評価の方法

平常点

教科書

特になし

Ⅲ 他学部履修科目

①フレックスB時間帯（月～金の6・7時限、土の3～7時限）に開講されている科目は、フレックスBの他学部履修科目（P. ○）を参照してください。②科目名の前に※印が付いている科目は、専門教育科目のページを参照してください。

Ⅲ. 他学部履修科目

- ①フレックスB時間帯（月～金の6・7時限、土の3～7時限）に開講されている科目は、フレックスBの他学部履修科目（P.853）を参照してください。
- ②他学部履修科目は3年次以上を対象とします。
- ③配当学科の（ ）内の学科生は、他学部履修科目として履修できません。

| 科目名 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|-----------|-----------------------------------------------------|------|----|-------|-----|
| 社会福祉発達史 | 他（福）禅仏国英地文環境歴日 外考心経A商法A政営AGM34選 他（福）経B法B営B34選 | 通年 | 4 | 堀 千鶴子 | 627 |
| 日本経済史 | 他（経）禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政GM34選 他（経）法B34選 | 通年 | 4 | 渡邊 恵一 | 628 |
| 日本経済論 | 他（経）禅仏国英地文環境歴日 外考法A政GM34選 他（経）法B34選 | 通年 | 4 | 小林 正人 | 629 |
| 中国経済論 | 他（経）禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政営AGM34選 他（経）法B営B34選 | 通年 | 4 | 小杉 修二 | 630 |
| アメリカ経済論 | 他（経）禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政営AGM34選 他（経）法B営B34選 | 通年 | 4 | 瀬戸岡 紘 | 631 |
| EU統合論 | 他（経）禅仏国英地文環境歴日 外考社福政営AGM34選 | 半期 | 2 | 廣田 愛理 | 632 |
| 現代西欧経済論 | 他（経）禅仏国英地文環境歴日 外考社福政営AGM34選 | 半期 | 2 | 廣田 愛理 | 632 |
| ロシア・東欧経済論 | | | | 休講 | |
| 財務会計論 | 他（商）禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政GM34選 他（商）法B34選 | 通年 | 4 | 小栗 崇資 | 633 |
| 会計監査論 | 他（商）禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政GM34選 他（商）法B34選 | 通年 | 4 | 森田 佳宏 | 634 |
| 管理会計論a | 他（商）禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政34選 他（商）法B34選 | 半期 | 2 | 石川 祐二 | 635 |
| 管理会計論b | 他（商）禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政34選 他（商）法B34選 | 半期 | 2 | 石川 祐二 | 635 |
| 貿易論 | 他（商）禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政営AGM34選 他（商）法B営B34選 | 通年 | 4 | 古沢 紘造 | 636 |

| | | | | | |
|-------------|----------------------------------------------------------|----|---|--------|-----|
| 国際政治学 | 他（政）禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商法A営AGM3 4選 他（政）経B法B営B34選 | 通年 | 4 | 小堀 訓男 | 637 |
| ヨーロッパ政治史 | 他（政）禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商法A営AGM3 4選 他（政）経B法B営B34選 | 通年 | 4 | 浦田 早苗 | 637 |
| 比較政治学 | 他（政）禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商法A営AGM3 4選 他（政）経B法B営B34選 | 通年 | 4 | 三竹 直哉 | 638 |
| 現代国家論 | 他（政）禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商法A営AGM3 4選 他（政）経B法B営B34選 | 通年 | 4 | 大塚 桂 | 639 |
| 経営労務論 | 他（営A）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政GM34選 他（営A）法B34選 | 通年 | 4 | 鹿嶋 秀晃 | 640 |
| 国際経営論 | | | | 休講 | |
| 商業史 | 他（営A）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政34選 他（営A）法B34選 | 通年 | 4 | 山田 勝 | 641 |
| 保険経営論 | 他（営A）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政GM34選 他（営A）法B34選 | 通年 | 4 | 石名坂 邦昭 | 642 |
| 財務会計論 | 他（営A）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政34選 他（営A）法B34選 | 通年 | 4 | 渡邊 恵一郎 | 643 |
| 経営分析論 | 他（営A）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商法A政GM 34選 他（営A）経B法B34選 | 通年 | 4 | 片桐 伸夫 | 644 |
| 税務会計論 | 他（営A）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政34選 他（営A）法B34選 | 通年 | 4 | 高木 克己 | 645 |
| 経営情報論 | 他（営A）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商法A政34選 他（営A）経B法B34選 | 通年 | 4 | 岩淵 匠 | 646 |
| 情報理論 | 他（営A）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商法A政34選 他（営A）経B法B34選 | 通年 | 4 | 西村 和夫 | 647 |
| 経営統計 | 他（営A）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商法A政34選 他（営A）経B法B34選 | 通年 | 4 | 長 国強 | 648 |
| 情報メディア産業論 I | 他（GM）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商政営A34選 | 半期 | 2 | 福家 秀紀 | 649 |

| | | | | | |
|-------------|-----------------------------------|----|---|-------|-----|
| 比較メディア制度論 | 他(GM)禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商政営A34選 | 半期 | 2 | 西岡 洋子 | 649 |
| 都市とメディア | 他(GM)禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商政営A34選 | 半期 | 2 | 高 媛 | 650 |
| グローバルアート政策論 | 他(GM)禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商政営A34選 | 半期 | 2 | 川崎 賢一 | 651 |
| グローバル創造都市論 | 他(GM)禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商政34選 | 半期 | 2 | 川崎 賢一 | 651 |
| 情報保護と社会 | 他(GM)禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商政営A34選 | 半期 | 2 | 苗村 憲司 | 652 |
| 女性史 | | | | 休講 | |
| メディアと表現 | | | | 休講 | |

| | | | | | |
|------|---------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 社会福祉発達史 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 他(福) 禅仏国英地文環境歴日外考心経A商法A政営AGM34選 他(福) 経B法B営B34選 | | | | |
| 担当者名 | 堀 千鶴子 | | | | |

講義のねらい

我が国における、近代以降の社会事業・社会福祉の生成、発展について学ぶ。特に、社会福祉事業・社会福祉に貢献した人物史の足跡をたどることから、社会福祉の歴史を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

| | | | | | |
|----|-------------|---|----|--------------|---|
| 1 | 社会福祉の歴史と人物史 | 1 | 13 | 人物史 | 4 |
| 2 | " " | 2 | 14 | " | 4 |
| 3 | 慈善・救済の時代 | | 15 | " | 4 |
| 4 | 人物史 | 1 | 16 | 社会事業・社会福祉の時代 | |
| 5 | " | 1 | 17 | 人物史 | 5 |
| 6 | " | 1 | 18 | " | 5 |
| 7 | " | 2 | 19 | " | 5 |
| 8 | " | 2 | 20 | " | 6 |
| 9 | " | 2 | 21 | " | 6 |
| 10 | " | 3 | 22 | " | 6 |
| 11 | " | 3 | 23 | 社会事業に生きた女性 | |
| 12 | " | 3 | 24 | 地域の歴史 | |

履修上の留意点

出席を重視する。テキスト必ず持参。

成績評価の方法

出席(40%)、レポート(60%)

教科書

室田保夫「人物で読む近代社会福祉のあゆみ」ミネルヴァ書房 2800円 ISBN4-623-0451-9-6

| | | | | | |
|------|--------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本経済史 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 他(経) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政GM34選 他(経) 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | わたなべ けいいち 渡邊 恵一 | | | | |

講義のねらい

いま私たちを取り巻いているさまざまな経済現象や制度は、どのようにして発生し、発展してきたのであろうか。本講義の目的は、歴史的な視点から日本経済を理解することにある。各時代における個別具体的な問題については、研究史上の論争、最新の実証研究などをわかりやすく紹介しながら、検証・考察を進めていく。現代的問題とのかかわりについても言及し、日本経済をより広い視野から見ることのできる力を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 序. 日本経済史の課題と方法
1. 幕藩制下の経済発展
 2. 幕末開港の歴史的意義
 3. 明治前期の経済政策
 4. 日本産業革命の展開
 5. 第一次世界大戦期の日本経済
 6. 恐慌の時代
 7. 戦時日本経済の展開と崩壊

履修上の留意点

毎回の講義は連続した内容となっている。欠席すればその分だけ話の前後関係がなくなることになり、留意されたい。

成績評価の方法

基本的には期末試験の成績で評価する。不定期に「リアクション・ペーパー」を配布し、講義へ取り組む姿勢を平常点としてチェックすることもある。

教科書

老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史—太閤検地から戦後復興まで—』(税務経理協会, 2002年)。あらかじめ指示したページ範囲を読んでいることを前提に授業を行う。
その他、補助教材として、資料・図表をまとめたプリントを講義時に配布する。後日になって再び参照する資料もあるので、各自ファイルして毎回持参すること。

参考書等

上記教科書の巻末に掲載。個別の問題に関する文献は、講義の中でその都度紹介する。

その他

日本史の知識不問、挫折者歓迎。「経済学」を遠巻きに見ている他学部の方も、どうぞ。

| | | | | | |
|------|-----------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本経済論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 他(経) 禅仏国英地文環境歴日外考法A政GM34選 他(経) 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 小林 ^{こばやし} 正人 ^{まさひと} | | | | |

講義のねらい

日本経済の(第二次世界大)戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになった日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」――とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高――をのりこえてきた。しかし長年の平成不況とグローバルゼーションの中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむために、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- 戦後日本経済の展開過程
景気の現状と雇用情勢
戦後改革
日本の高度経済成長：その国内原因と海外要因
産業政策の役割
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
- 日本の経済発展とイノベーション
イノベーションと産業構造の変化
主要産業の発展過程と現状：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
日本的経営システム／経済システム（欧米諸国との比較）
製品の安全性とPL法
- 日本の経済発展の総括と展望
IT革命のインパクト

履修上の留意点

講義資料をひんぱんに配布する。一度しか配布しないので確実に収集し、保管しておいて、定期試験にそなえることが必要である。教場の前面のスクリーンに講義資料を表示しながら講義をすすめるので、見やすい位置に着席すること。板書はあまりせず、プレゼンテーション中心の講義である。なお、ほとんどの講義資料は「小林研究室」のウェブサイト (<http://www.komazawa-u.ac.jp/kobamasa/>) の「講義」の「日本経済論」のサイトにもできるだけ載せるようにしている。

成績評価の方法

定期試験の成績と、講義の節目に実施する数回の小論文またはレポートの達成度とを総合して評価する。

教科書

なし

参考書等

適時紹介する。なお、経済学の概念や経済用語を調べるための辞典ないし事典を一つは常備してもらいたい(有斐閣、岩波書店、東洋経済新報社などが出版している)。

その他

講義についての質問を歓迎します。ただしそのときは、関連する講義資料を持参することが必要です(有意義な回答のため)。

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国経済論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 他(経) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営AGM34選 他(経) 法B営B34選 | | | | |
| 担当者名 | 小杉 修二 | | | | |

講義のねらい

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大意志向としての「ソ連モデル」、独自の超大国を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」について学ぶ。後期は現在につながる鄧小平モデルの経済発展と問題点について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連モデル期に中国は発展途上国の特徴である機械の生産能力を欠いているという弱点を克服した。現在、中国の知的財産権侵害が問題にもされているが、発展途上国が発展していくとき良かれ悪しかれ、先進的な技術をまねることになる。しかし、世界中のどの国でもまねができるかといえば必ずしもそうではない。まねすることも偉大な能力であることはわが日本が示してきた能力である。まねができるだけの基礎的能力のかなりの部分がこの時期に培われたと考えられる。

また、年9%近い高度経済成長、国民生活の一定の改善もこの時期に達成された。さらに一定の兵器の自給も達成された。

毛沢東モデル時期には国家目標は独自の超大国に切り替えられた。この時期中国は一見すると経済発展に背を向けて「革命」を目指していたなどといわれることもある。しかし、この時期にも6%程度の経済成長があった。しかし、その成果は国民生活のためには使われず、核ミサイルの開発や米ソとの覇権争いのため、また、後にはソ連との戦争に備える臨戦態勢つくり消費されてしまった。そしてこの開発戦略のため、中国経済の効率は低下し、行き詰った。これら二つの時期の中国の行き方は良くも悪くも今日にまで続く影を落としている面がある。

後期は鄧小平モデル期(1978年-)の中国を考える。この時期の中国は、平和共存の戦略の下でもうひとつの超大国を目指すべく目覚ましい経済発展を遂げるにいたった。平和共存への転換は臨戦態勢からの脱却を可能にした。資本が乏しいというのが発展途上国の特徴だが、中国は毛沢東式の共産主義の下に「我慢することが共産主義」だとして、さまざまなキャンペーンを通じて消費を抑制し、工場や核ミサイルの開発をしてきた。毛沢東の後継者たち=「4人組」が敗退したということは、新しい国際条件の下では、国民生活の抑制による経済運営ではなく経済成長による国民生活の向上が新しい経済発展の道として選ばれたということであり、この流れは不可逆的なものである。

新しい発展戦略は外国の技術・資本を積極的に導入することによって可能になった。中国の低賃金労働力もそれを後押しする要因だった。電機産業にみられる「組み合わせ型」の技術による産業分野では中国はテレビ、パソコン、電子レンジ、洗濯機、冷蔵庫等で世界有数の生産国になった。1人あたりの所得も1000ドルを超えるにいたった。

こうした中国の発展を可能にした要因を考えていくと同時に、産業構造の特徴、地域的な産業集積、産業高度化の課題、日中関係、地域格差、階層格差等について考えていく。

履修上の留意点

私語、飲食、携帯電話禁止(授業に集中できない人は出席不可)。

成績評価の方法

前期レポート、後期試験。

教科書

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済開発』(龍溪書舎 1997年)4000円

参考書等

加藤弘之・上原一慶編著『中国経済論』ミネルヴァ書房 2004年、馬成三『中国経済の読み方』ジェトロ2002年

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | アメリカ経済論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 他(経) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営AGM34選 他(経) 法B営B34選 | | | | |
| 担当者名 | 瀬戸岡 紘 <small>せどおか ひろし</small> | | | | |

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・ 授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。
 ◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇
 ヴェンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学
 技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリ
 ティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、
 ◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリ
 カとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、
 瀬戸岡著『アメリカ理念と現実』(時潮社)2005年
 グリーンバーグ・瀬戸岡訳『資本主義とアメリカの政治理念』(青木書店)1994年
 瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』(桜井書店)2003年
 をおすすめします。

他
学
部
履
修
科
目

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | EU統合論 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 他(経) 禅仏国英地文環境歴日外考社福政営AGM34選 | | | | |
| 担当者名 | 廣田 ^{ひろた} 愛理 ^{えり} | | | | |

講義のねらい

本講義は、今日の国際政治経済において大きな影響力を持つEUの制度や政策の歴史と現状について学ぶことで、現在のEUが抱える課題について考えることを目的とします。地域統合の歴史的前例としてのEUについて学ぶことは、単に現在の国際経済を理解する助けとなるだけでなく、今日、「東アジア共同体」という課題をめぐる日本とアジアの関係について考察を深める上でも重要であると思われます。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義の主な内容は以下のとおりです：
- ◇ 両大戦間・戦後復興期の統合構想と運動
 - ◇ EUの制度的起源：ECSCとEEC
 - ◇ 経済統合の拡大と深化
 - ◇ 通貨統合
 - ◇ EUの政策と制度
 - ◇ EUの現在の課題

成績評価の方法

期末試験と平常点（出席、小テストなど）で評価します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

参考書等は必要に応じて講義の際に紹介します。

他学部
履修科目

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 現代西欧経済論 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 他(経) 禅仏国英地文環境歴日外考社福政営GM34選 | | | | |
| 担当者名 | 廣田 ^{ひろた} 愛理 ^{えり} | | | | |

講義のねらい

本講義では、イギリス、フランス、ドイツといった主要国の個別事例を取り上げつつ、第一次大戦期から今日に至る西欧経済の歩みを辿ることで、西欧社会経済の特徴を捉えることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義の主な内容は以下のとおりです：
- ◇ 第一次大戦以前の西欧経済
 - ◇ 第一次大戦とパックス・ブリタニカの動揺
 - ◇ 大衆消費社会のはじまり
 - ◇ 世界恐慌と資本主義の“大転換”
 - ◇ 第二次大戦後の西欧経済社会の再編
 - ◇ 福祉国家の成立と展開
 - ◇ ヨーロッパ経済の分裂から統合へ
 - ◇ 植民地体制の崩壊と南北問題
 - ◇ 資本主義の“黄金時代”
 - ◇ プレトン・ウッズ体制の崩壊とヨーロッパ統合の再活性化
 - ◇ グローバル化の深化と西欧経済

成績評価の方法

期末試験と平常点（出席、小テストなど）で評価します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

参考書等は必要に応じて講義の際に紹介します。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 財務会計論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 他(商) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政GM34選 他(商) 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | おぐり たかし 小栗 崇資 | | | | |

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験および学年末試験により評価します。また、時々、小テストやレポートも実施し、成績評価に加算します。

教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論（第2版）』（白桃書房）

参考書等

小栗・熊谷・陣内・村井編著『国際会計基準を考える－変わる会計と経済』（大月書店）

| | | | | | |
|------|--------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 会計監査論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 他(商) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政GM34選 他(商) 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | もりた よしひろ 森田 佳宏 | | | | |

講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。これは会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これらの財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、会社法、金融商品取引法、企業会計原則等の関係に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

他
履修
学
科
目

講義の内容・
授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査(特に金融商品取引法監査)を中心として、前期は会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度について、後期は監査基準の内容について講義を行う。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学基礎または会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

原則としてレポートおよび期末試験により評価する。

教科書

指定しない。必要に応じて資料を配付する。

参考書等

山浦久司『監査論テキスト』(中央経済社)
友杉芳正『新版スタンダード監査論(第2版)』(中央経済社)
千代田邦夫『現代会計監査論』(税務経理協会)
日本公認会計士協会編『監査小六法(平成18年版)』(中央経済社)
日本公認会計士協会編『監査実務指針ハンドブック(平成19年版)』(中央経済社)

| | | | | | |
|------|--------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 管理会計論a | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 他(商) 禪仏国英地文環境歴日外考社福心法A政GM34選 他(商) 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | いしかわ ゆうじ 石川 祐二 | | | | |

講義のねらい

本講義では、伝統的に管理会計研究の領域において取り扱われてきた諸問題について検討を加える。とりわけ、経営管理者の意思決定を中心として、その意思決定上必要とされる会計情報について学ぶことになる。このことを通じて、会計情報の経営管理的意味を明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、管理会計の基礎的な概念を学ぶことにする。その上で、意思決定に関わる具体的な手法を取り上げることにする。

履修上の留意点

会計学基礎(総論)および簿記論を履修済みであることが好ましい。また、電卓を用いることが多いので、持参すること。

成績評価の方法

前期末の試験により評価する。

教科書

毎回配布するプリントが教科書代わりである。

参考書等

必要に応じて紹介する。

他
学
部
履
修
科
目

| | | | | | |
|------|--------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 管理会計論b | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 他(商) 禪仏国英地文環境歴日外考社福心法A政GM34選 他(商) 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | いしかわ ゆうじ 石川 祐二 | | | | |

講義のねらい

本講義においては、現代において特に注目されている、新たな管理会計研究の領域について取り上げることにする。具体的には、業績評価に関わる新たな手法に検討を加えることや、企業の「経営管理」と「会計」との関係をとらえ直すことが中心的な課題となる。このことを通じて、伝統的な管理会計研究では捕捉しきれなかった会計現象の意味を明らかにしたい。それにより、現代的な意味で、管理会計の社会的機能を理解することが、本講義の目指すところである。

講義の内容・授業スケジュール

伝統的な管理会計研究との相違を明らかにした上で、とくに「リスク・マネジメント」にかかわる会計現象を取り上げ、考察を加えることにする。

履修上の留意点

会計学基礎(総論)および簿記論を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

後期末の試験により評価する。

教科書

石川祐二著『現代ドイツ管理会計制度論』(森山書店)

参考書等

必要に応じて紹介する。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 貿易論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 他(商) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A 政営AGM34選 他(商) 法B 営B34選 | | | | |
| 担当者名 | ふるさわ こうぞう 古沢 紘造 | | | | |

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされる場所まで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 国際政治学 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 他(政) 榊 侖 国英地文環境歴日外考社福心経 A 商法 A 営 AGM34 選 他(政) 経 B 法 B 営 B34 選 | | | | |
| 担当者名 | 小堀 ^{こぼり} ^{のりお} 訓男 | | | | |

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

他
修
科
目

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ヨーロッパ政治史 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 他(政) 榊 侖 国英地文環境歴日外考社福心経 A 商法 A 営 AGM34 選 他(政) 経 B 法 B 営 B34 選 | | | | |
| 担当者名 | 浦田 ^{うらた} ^{さなえ} 早苗 | | | | |

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかにし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかには時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀
- ・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

年5～6回とる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した2題を出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 比較政治学 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 他(政) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A営AGM34選 他(政) 経B法B営B34選 | | | | |
| 担当者名 | 三竹 ^{みたけ 直哉} 直哉 | | | | |

講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介しますとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ勉強をすることを目標にします。

「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

講義の内容・授業スケジュール

この文章は2006年12月の時点で書いています。授業には、現在世界や日本で起きている出来事を反映させたいです。また、よいドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたくと考えています。そうしたことから、2006年12月の時点で詳細な授業スケジュールは出せません。基本的には、民主化、民族問題、移民政策といったテーマで授業を進めていき、その後方法論の勉強をしたいと思っています。昨年度の授業内容は、下記にある授業用サイトで見いただけますので、参考にしてください。

授業のやり方は、人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのような雰囲気でもやることもあり得ます。(2006年度の授業は、ゼミのようにやりました。)

履修上の留意点

基本的事項は自分できちんと調べることが前提です。文献を読む課題がたくさん出ますが、読まなければ単位を取れません。中学校の社会科レベルのことが身につけていない人には単位を出せません。新聞を読んでいない人も同様です。(テストでチェックします。)
また、高校の社会科レベルのことで、授業に関連することは自分で学習することが前提です。欠席したときの授業内容は、各自の責任で補ってください。就職活動であろうが、部活動であろうが、欠席した人を特別扱いはありません。

成績評価の方法

平常点と定期試験によります。

教科書

高根正昭『創造の方法学』(講談社現代新書)
他にも指定する可能性はあります。
ほぼ毎回、授業前までに読んでくるべき課題文献を指定します。読んでいない場合、出席できないことがあります。

参考書等

授業ごとに課題文献を指定します。授業には必ずそれを読んだうえで参加してもらいます。

その他

この文章は2006年12月時点で書いています。変更もあり得ることを了承のうえ、読んでください。詳しい授業案内・スケジュールは、2007年4月に授業用ホームページに掲載します。
<http://www.jj.em-net.ne.jp/~bamboos/>
URLが変更になる可能性があります。その場合、Googleなどで三竹直哉と入れて検索してみてください。見つからなければ、下記までメールでご連絡ください。
mitake@komazawa-u.ac.jp

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 現代国家論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 他(政) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A営AGM34選 他(政) 経B法B営B34選 | | | | |
| 担当者名 | おおつか かつら 大塚 桂 | | | | |

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといいきれるでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 国家論の課題
2. 幕末政治過程
3. 幕末政治思想（水戸学、国学）
4. 公議政体論
5. 太政官制・内閣官制
6. 大日本帝国憲法
7. 法典整備・司法制度
8. 統帥権・戒厳令
9. 地方官官制
10. 自由民権運動
11. 帝国議会
12. 財政制度
13. 教育勅語
14. 国家神道
15. 社会主義運動
16. 大正デモクラシー
17. 天皇機関説
18. 天皇制ファシズム
19. 統制経済
20. まとめ

成績評価の方法

試験による単位認定 ～中間、期末試験により評価します。
なお、試験は通常の授業時間に実施します。欠試者に対してはレポートを課します。
※追試験は実施しません。

教科書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3,300円

参考書等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）、『明治国家と岩倉具視』（信山社）、『明治維新の思想』（成文堂）

その他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 経営労務論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政GM34選 他(営A) 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 鹿嶋 ^{かしま} 秀晃 ^{ひであき} | | | | |

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったようなテーマを掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点は無し。(1) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのではないこと。(2) 携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、単位の認定をしない。

成績評価の方法

評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。受講者数の大小によって変更する場合もあり。

教科書

テキストは年度途中で指定する予定。

参考書等

津田真澄『人事労務管理』(ミネルヴァ書房)1993(定価3,000円程度)、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』(中央経済社)1995(定価2,600円程度)、経営労務をより体系的に深く学習するのにより白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』(東洋経済新報社)1992(定価3,500円程度)をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

その他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。次のURLを参照。<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/>

| | | | | | |
|------|--------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 商業史 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選 他(営A) 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 山田 ^{やまだ まさる} 勝 | | | | |

講義のねらい

大変革の渦中にある現下の商業経営を、歴史的視点から見つめ直し、変革の方向と意味を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 〈A〉 生産主導の商業
 - (1) 商業史の意義と講義の目的
 - (2) パラダイムの発展
 - (3) 利益と継続性
 - (4) 商品と市場
 - (5) 大衆消費社会の特徴
- 〈B〉 需要主導の商業
 - (1) 消費スタイルの変化
 - (2) 充足から満足度重視へ
 - (3) 多様化の要因
 - (4) 「サービス」商品の特徴
 - (5) IT革命と商業経営
 - (6) 生活(文化)の変革と商業

履修上の留意点

教科書の内容を講義で補充していくので、出席はとらないが聴講に努め質問をして欲しい。講義中の私語は他の受講生に迷惑となるので厳禁とする。

成績評価の方法

定期試験による。

教科書

山田勝『商業史概論』(創成社) 3,000円(消費税別)

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 保険経営論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政GM34選 他(営A) 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 石名坂 邦昭 <small>いしなざか くにあき</small> | | | | |

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教科書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参考書等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

| | | | | | |
|------|--------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 財務会計論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選 他(営A) 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 渡邊 恵一郎 | | | | |

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理(測定)と表示方法(伝達)を中心的課題とし、またこれに関するわが国の会社法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- (1) 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- (2) 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- (3) 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、純資産
- (4) 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出(年1回)を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教科書

桜井久勝著『財務会計講義』(中央経済社)

参考書等

日本公認会計士協会編『監査小六法』(中央経済社)

その他

- (1) 授業の方法は、講義による。(2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。

| | | | | | |
|------|-----------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 経営分析論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 他(営A) 禪仏国英地文環境歴日外考社福心経A 商法A 政GM34選 他(営A) 経B法B34選 | | | | |
| 担当者名 | かたぎりのおお 片桐 伸夫 | | | | |

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか(安定性分析)、
 - 2 「儲け」はどうだろうか(収益性分析)、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか(生産性分析)、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか(成長性分析)、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか(社会性分析)、
- といった内容です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析をとりあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、さきやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんので注意ください。

*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析(続)」

☆提出日(授業はじめに配布するシラバスに明記)以外は受け付けませんのでご注意ください。

*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

開講時、指示します。

参考書等

随時、紹介します。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 税務会計論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選 他(営A) 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 高木 ^{たかき} ^{かつみ} 克己 | | | | |

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人(株式会社等)を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。ここでは、法人税法固有の規定(いわゆる別段の定め)が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与(報酬、給料、賞与)の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

他学部
履修科目

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

| | | | | | |
|------|-------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 経営情報論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政34選 他(営A) 経B法B34選 | | | | |
| 担当者名 | いわぶち たくみ 岩淵 匠 | | | | |

講義のねらい

企業活動を支える経営資源には様々なものがある。この資源をいかに整理して重要なものを取り出すかが企業発展のための鍵となる。
本講義では、最近の情報技術で活用されている資源整理のための手法を解説する

講義の内容・
授業スケジュール

- 1.経営情報学と情報科学の基礎(前期)
 - 1)経営科学における情報(4月～5月)
経営科学における情報についての考え方と、企業における情報の利用方法を整理する
 - 2)情報科学における情報(5月～6月)
一般的な情報に関する考え方、コンピュータでの基礎的な情報処理を学習する
 - 3)情報技術(IT)と情報システム(IS)(6月～7月)
金融情報システムやコンビニなどで利用されているPOSシステムなどの最近の情報技術やシステムについて整理する。また、今後ITとISの展望を考察する。
- 2.経営情報学と情報科学の応用(後期)
 - 1)情報システムの種類(9月～10月)
基礎的な数理モデルを使って多々あるシステムを整理し、その特性を学習する。
 - 2)データの加工(11月～12月)
RDBSを利用したデータの整理方法(SQL文の作成)を学習する。
 - 3)シミュレーション(12月～1月)
実際の経営資源データをコンピュータを利用して整理する技術を学習する

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。

成績評価の方法

前期・後期に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も反映する

教科書

未定

| | | | | | |
|------|---------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 情報理論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 商法A 政34選 他(営A) 経B法B34選 | | | | |
| 担当者名 | にしむら かずお 西村 和夫 | | | | |

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C.E.Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報を記録するために十分なCD-ROMの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしてします。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の中間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査桁(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

他学部
履修科目

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクタとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕→ 経営情報論
講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

| | | | | | |
|------|---------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 経営統計 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 商法A 政34選 他(営A) 経B法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 長 ^{なが} 国強 ^{こきやう} | | | | |

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：経営統計の役割、基礎概念

統計特性値：平均、分散、正規分布

市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理

経営時系列：傾向成分の測定、季節指数の計算、時系列予測

経営指数：物価指数、数量指数

統計的意思決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。

| | | | | | |
|------|-----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 情報メディア産業論 I | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経 A 商政営A34選 | | | | |
| 担当者名 | 福家 秀紀 <small>ふけ ひでのり</small> | | | | |

講義のねらい

インターネットの普及により急速な変化をみせる日本のメディア産業の現状と課題を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

・講義の内容

情報メディア産業全体を俯瞰した後に、情報通信ネットワークの機能と役割を分析する。しかる後に、電話や放送など旧来型のネットワークと対比させることによって、インターネットの基本的な構造と特徴、ならびにその構造と特徴が社会経済に与える影響と問題点などについて考察する。

・授業スケジュール

①情報メディア産業とは、②情報メディア産業を理解するためのキーワード (1) : ネットワーク、③情報メディア産業を理解するためのキーワード (2) : デジタル化とモジュール化、④電話網と放送網、⑤携帯電話網、⑥インターネットの基礎 (1)、⑦インターネットの基礎 (2)、⑧情報通信産業、⑨放送産業、⑩ケーブルテレビ産業、⑪新聞産業、⑫コンテンツ産業、⑬まとめ

履修上の留意点

授業中の指示事項が成績評価に反映されるので、授業への出席が単位認定の前提となる。

成績評価の方法

授業中に実施する小テスト、レポート、定期試験を総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

- ・村井純、『インターネット』、岩波書店、650円、4-00-430416-4
- ・湯浅正敏他、『メディア産業論』、有斐閣、1,800円、4-641-17311-7
- ・その他講義の中で適宜紹介する。

その他

レジュメを配布する他、新聞記事なども適宜使用する。

| | | | | | |
|------|-----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 比較メディア制度論 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経 A 商政営A34選 | | | | |
| 担当者名 | 西岡 洋子 <small>にしおか しょうこ</small> | | | | |

講義のねらい

本講義では、米国を中心に、EU主要国、アジア主要国の放送制度について解説する。また、適宜、日本の場合と比較を行うことで、その特徴および制度形成の背景を理解するとともに、日本の制度への適用の可能性を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

各国の規制機関、放送制度、放送産業の概要と動向

履修上の留意点

メディア政策論または、同様の講義を受講していることが望ましい。

成績評価の方法

期末テスト、レポート、平常点などで総合的に判断する。

教科書

授業中に指示する。

参考書等

授業中に指示する。

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 都市とメディア | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経 A 商政営 A34 選 | | | | |
| 担当者名 | 高 媛 <small>こうえん</small> | | | | |

講義のねらい

都市は、種々のメディアが実践する場であると同時に、メディアによって紡ぎ出されたイメージ群から構成される空間でもある。本講義は、都市とメディアに関する基本的な理論を提示した上で、文学、流行歌、広告、映画、ドラマなどに登場する多様な都市像を具体的に検討しながら、都市とメディアとの関係性を読み解いていこうとする。

講義の内容・授業スケジュール

メディア都市の誕生、メディアが変える都市の風景、メディアのなかの都市像、都市空間のなかのメディア、都市というメディアなどの諸テーマに沿って、ビデオ鑑賞や視聴覚教材を交えながら講義する。

履修上の留意点

講義中に取り上げたトピックについて、討論を行うことがあるので、積極的な参加を期待する。

成績評価の方法

出席状況、授業への参加度、毎回講義の最後に提出してもらったコメントの内容、レポートによって総合的に評価する。

教科書

特に指定しない

参考書等

- ・吉見俊哉『都市のドラマトゥルギー——東京・盛り場の社会史』(弘文堂、1987年)、2,300円、ISBN: 4335550294
- ・前田愛『都市空間のなかの文学』(ちくま学芸文庫、筑摩書房、1992年)、1,600円、ISBN: 4480080147
- ・町村敬志・西澤晃彦『都市の社会学』(有斐閣、2000年)、2,300円、ISBN: 4641121036

その他

講義形式

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | グローバルアート政策論 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経 A 商政営 A34 選 | | | | |
| 担当者名 | 川崎 賢一 | | | | |

講義のねらい

現代文化システムの特徴・機能・可能性、について、文化政策 (cultural policies) 特に芸術文化政策をキーワードとして論じる。文化的グローバリゼーションにより、国家単位の文化システムが、越境的・グローバルな展開を遂げつつある、その中核的な機能を果たしている。その成立過程、展開・普及家庭、そして将来の可能性を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

文化政策のオリジナルを、西欧諸国等にイギリスとアメリカに求め、その歴史と展開を概観する。その後1980年代以降のグローバルな展開を、アジア諸国への普及を例とし、比較の観点から概説する。

履修上の留意点

授業以外に、文化政策について調べてもらう予定である。

成績評価の方法

学期末のテスト、あるいは、学期末のレポート、プラス、平常点・出席点等を加算する。

教科書

授業の中で指示する。

参考書等

川崎賢一、「トランスフォーマティブ・カルチャー」、勁草書房、2006年
佐々木・川崎・河島 (共編)、「グローバル化する文化政策」、勁草書房、2007年

他
修
学
科
目
部

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | グローバル創造都市論 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経 A 商政営 A34 選 | | | | |
| 担当者名 | 川崎 賢一 | | | | |

講義のねらい

文化的グローバリゼーションを推進する中核的なトレンドは、創造都市 (Creative Cities) ないし創造産業 (Creative Industries) である。本講義では、創造都市とは何か、どのように成立し、どのように発展しつつあるかを、具体的な例 (ロンドン・ニューヨーク・東京・香港・シンガポール、など) を例にとり、紹介・説明する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義形式で、3つの内容からなる。創造都市と創造産業の成立とその機能。文化的グローバリゼーションと関連付けて、どのように発展したかについて具体的な例を挙げて説明する。最後に、将来的な可能性と問題点について考察する。

履修上の留意点

授業以外に、創造都市について調べてもらう予定である。

成績評価の方法

学期末テスト、あるいは、学期末のレポート、プラス、平均点・出席点等を加算する。

教科書

授業の中で指示する。

参考書等

川崎賢一、「トランスフォーマティブ・カルチャー」、勁草書房、2006年
佐々木雅幸、「創造都市への挑戦」、岩波書店、2001年
J. Florida, The Rise of Creative Class, Basic Books, 2002

| | | | | | |
|------|---------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 情報保護と社会 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商政営A34選 | | | | |
| 担当者名 | 苗村 憲司 | | | | |

講義のねらい

社会活動の全般的な情報化が進展するのにしたがって、情報の価値が増大している。小説、映画、音楽、コンピュータプログラム、データベース、マルチメディア情報等のように経済的価値がありしかも公開された情報については、著作権法等の知的財産権法による保護に適している。企業秘密やプライバシー情報のように経済的価値がありしかも非公開の情報についてはセキュリティ上の対策が必要になる。また、危険な情報から子供を守るための対策も必要となる。この科目では、日本の知的財産戦略および情報セキュリティ政策との関連を含め、情報保護のニーズとこれに対応する種々の社会的方策について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 【第1週】情報化社会における情報の価値とその保護の必要性
- 【第2週～第6週】知的財産権の保護に関する政策と技術
- 【第7週～第11週】情報セキュリティに関する政策と技術
- 【第12週～最終週】グローバル環境における情報保護の課題

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

- 次の2項目を総合して評価する。
1. 授業時間に行うミニテストの成績
 2. 期末試験の成績

教科書

特に定めない。

参考書等

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~naemura/ps/>上に掲載する。

IV 「日本語」・「日本事情」科目

IV. 「日本語」・「日本事情」科目

(対象：外国人留学生・帰国生)

《日本語科目》

| 科目名 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|-----------|---------------------------------|------|----|--------|-----|
| 日本語入門I a | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 大石 真理子 | 657 |
| 日本語入門I b | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 大石 真理子 | 657 |
| 日本語入門II a | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 大石 真理子 | 658 |
| 日本語入門II b | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 大石 真理子 | 658 |
| 日本語I a | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 佐野 典子 | 659 |
| 日本語I b | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 佐野 典子 | 659 |
| 日本語I a | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 多田羅 哲子 | 659 |
| 日本語I b | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 多田羅 哲子 | 660 |
| 日本語II a | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 佐野 典子 | 660 |
| 日本語II b | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 佐野 典子 | 660 |
| 日本語II a | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 多田羅 哲子 | 661 |
| 日本語II b | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 多田羅 哲子 | 661 |
| 日本語III a | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 多田羅 哲子 | 662 |
| 日本語III b | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 多田羅 哲子 | 662 |
| 日本語III a | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 湯村 礼子 | 663 |
| 日本語III b | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 湯村 礼子 | 663 |
| 日本語IV a | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 石川 守 | 664 |
| 日本語IV b | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 石川 守 | 664 |
| 日本語IV a | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 湯村 礼子 | 665 |
| 日本語IV b | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 湯村 礼子 | 665 |

| | | | | | |
|---------|---------------------------------|----|---|--------|-----|
| 日本語V a | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 石川 守 | 666 |
| 日本語V b | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 石川 守 | 666 |
| 日本語V a | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 多田羅 哲子 | 667 |
| 日本語V b | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 多田羅 哲子 | 667 |
| 日本語VI a | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 石川 守 | 668 |
| 日本語VI b | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 石川 守 | 668 |
| 日本語VI a | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 多田羅 哲子 | 669 |
| 日本語VI b | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 1 | 多田羅 哲子 | 669 |

《日本事情科目》

| 科目名 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|-----------------|---------------------------------|------|----|--------|-----|
| 日本事情I〔地理〕 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 2 | 高橋 健太郎 | 670 |
| 日本事情II〔自然〕 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 2 | 清水 善和 | 671 |
| 日本事情III〔歴史〕 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 2 | 井上 桂子 | 672 |
| 日本事情IV〔思想〕 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 2 | 菅原 光 | 673 |
| 日本事情V〔社会〕 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 2 | 山田 信行 | 674 |
| 日本事情VI〔政治・法律〕 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 2 | 三竹 直哉 | 675 |
| 日本事情VII〔文学〕 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 2 | 坂口 博規 | 676 |
| 日本事情VIII〔文化・芸術〕 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 2 | 佐藤 美奈子 | 677 |
| 日本事情IX〔経済〕 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 2 | 小杉 修二 | 678 |
| 日本事情X〔経営〕 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM | 半期 | 2 | 鈴木 幸毅 | 679 |

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語入門I a | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | おおいし まりこ 大石 真理子 | | | | |

講義のねらい ▶ 日本語で短いプレゼンテーションができるようになること。

講義の内容・授業スケジュール ▶ グループを作ってテーマを決め、プレゼンテーションを行う。

履修上の留意点 ▶ 日本語初級学習者のためのクラス

成績評価の方法 ▶ 出席・・・10%
筆記テスト・・・30%
プレゼンテーション・・・60%
(詳細な評価方法は初回の授業で説明します。)

教科書 ▶ 毎回、プリントを用意します。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語入門I b | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | おおいし まりこ 大石 真理子 | | | | |

講義のねらい ▶ 日本語で、さまざまな社会問題についてのプレゼンテーションができるようになること。

講義の内容・授業スケジュール ▶ グループを作ってテーマを決め、プレゼンテーションを行う。

履修上の留意点 ▶ 日本語初級学習者のためのクラス。

成績評価の方法 ▶ 出席・・・10%
筆記テスト・・・30%
プレゼンテーション・・・60%
(詳細な評価方法は初回の授業で説明します。)

教科書 ▶ 毎回、プリントを用意します。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語入門II a | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | おおいし まりこ 大石 真理子 | | | | |

講義のねらい ▶ 日本語で短いプレゼンテーションができるようになること。

講義の内容・授業スケジュール ▶ グループを作ってテーマを決め、プレゼンテーションを行う。

履修上の留意点 ▶ 日本語中級学習者のためのクラス

成績評価の方法 ▶ 出席・・・10%
筆記テスト・・・30%
プレゼンテーション・・・60%
(詳細な評価方法は初回の授業で説明します。)

教科書 ▶ 毎回、プリントを用意します。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語入門II b | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | おおいし まりこ 大石 真理子 | | | | |

講義のねらい ▶ 日本語で、さまざまな社会問題についてプレゼンテーションができるようになること。

講義の内容・授業スケジュール ▶ グループを作ってテーマを決め、プレゼンテーションを行う。

履修上の留意点 ▶ 日本語初級学習者のためのクラス

成績評価の方法 ▶ 出席・・・10%
筆記テスト・・・30%
プレゼンテーション・・・60%
(詳細な評価方法は初回の授業で説明します。)

教科書 ▶ 毎回、プリントを用意します。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語I a | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | 佐野 <small>さの のりこ</small> 典子 | | | | |

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語I b | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | 佐野 <small>さの のりこ</small> 典子 | | | | |

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

「日本語
日本事情」

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語I a | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | 多田 <small>たたら あきこ</small> 羅 哲子 | | | | |

講義のねらい

語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。

講義の内容・授業スケジュール

衣・食・住・学生生活など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語I b | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | 多田羅 <small>たたら あきこ</small> 哲子 | | | | |

講義のねらい 語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。

講義の内容・授業スケジュール 政治・経済・文化・社会問題などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高め・より深く理解できるようにする。

成績評価の方法 出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。

教科書 プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語II a | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | 佐野 <small>さの のりこ</small> 典子 | | | | |

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語II b | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | 佐野 <small>さの のりこ</small> 典子 | | | | |

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語II a | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | 多田羅 ^{たたら あきこ} 哲子 | | | | |

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。
テープで自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語II b | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | 多田羅 ^{たたら あきこ} 哲子 | | | | |

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
言いたいことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。
話し言葉と書き言葉の違いを知る。

講義の内容・
授業スケジュール

意見表明や提案のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・討論を行い、自分の意見とその根拠を文章にまとめることによって論理的に話したり書いたりする練習をする。
テープで、自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

| | | | | | |
|------|---------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語Ⅲ a | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経 A 経商現法 A 政営AGM | | | | |
| 担当者名 | 多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small> | | | | |

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。
聞き取った内容を把握すると共に、相手や立場、場面を考慮してそれにふさわしい言葉で話せるようになることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

ビデオでドラマ・映画・ドキュメンタリーなどを聞き取り、自然な話しかたに慣れる。敬語の使い方、くだけた言い方、改まった言い方、この場合どういえば自然かなど、場面や相手や立場などによって適切に使い分けられるよう練習をする。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書

ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。
辞書を持ってくること。

| | | | | | |
|------|---------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語Ⅲ b | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経 A 経商現法 A 政営AGM | | | | |
| 担当者名 | 多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small> | | | | |

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。
ビデオの内容を把握すると共に、文章力を強化する。

講義の内容・
授業スケジュール

ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。
聞き取った内容、自分の感想、意見とその根拠などについて話し合い、文章にまとめる練習をする。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。

教科書

ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。
辞書を持ってくること。

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語III a | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | 湯村 ^{ゆむら} 礼子 ^{れいこ} | | | | |

講義のねらい

これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。

成績評価の方法

期末試験、小レポート、授業での発表、授業活動、授業態度などを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指定する。

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語III b | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | 湯村 ^{ゆむら} 礼子 ^{れいこ} | | | | |

講義のねらい

これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。

成績評価の方法

期末試験、小レポート、授業での発表、授業活動、授業態度などを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指定する。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語IV a | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM | | | | |
| 担当者名 | いしかわ まもる 石川 守 | | | | |

講義のねらい

日本語の基本を振り返り、よりしっかりした日本語の基礎を身につけるため日本語V・VIの続きの部分をやっていきます。内容は日本語の基礎文法の最終部分を概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語の基礎を日本語V→VIに引き続いて深くじっくりやっていきます。

履修上の留意点

日本語IVは、日本語Vと日本語VIの三つの科目で日本語の基礎文法の全体が復習ができるように構成されています。もう一度しっかりと日本語の基礎を復習したい人にお勧めします。授業順序は日本語V→日本語VI→日本語IVの順でやっていますので、できれば、日本語Vを取り、次に日本語VIそして最後に日本語IVをとってください。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

授業態度を重視しています。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語IV b | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM | | | | |
| 担当者名 | いしかわ まもる 石川 守 | | | | |

講義のねらい

しっかりと日本語の基礎を作り上げるために日本語IVaに引き続き日本語の基礎文法の最終部分をじっくりやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語IVaの続きの部分を行っていきます。日本語の基礎の最終部分から中上級の始めの部分を行っていきます。

履修上の留意点

日本語IVaの続きの内容を行います。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中に自作のプリントを配ります。

参考書等

辞書を持参してください。

その他

授業態度重視しています。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語IV a | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | 湯村 礼子 | | | | |

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

レポートの書き方を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

課題作文（3回）
提出物
授業活動（授業での発言、授業態度など）

教科書

教科書は授業時に指定する。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語IV b | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | 湯村 礼子 | | | | |

「日本語
本事情」

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

説明文、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文（3回）
提出物
授業活動（授業での発言、授業態度など）

教科書

教科書は授業時に指定する。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語Va | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | いしかわ まもる 石川 守 | | | | |

講義のねらい

しっかりとした日本語の基礎を築くために概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。日本語の基本となる部分、呼称や指示詞などからじっくりやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語Vは、日本語VIと日本語IVの三つの科目で日本語の基礎文法の全体が復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人にお勧めします。

履修上の留意点

この日本語V→日本語VI→日本語IVの順に進み、全体として日本語の基礎が復習できるように構成されています。この授業をとられる方はこの三つをセットで取ることをおすすめします。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

受講態度を重視しています。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語Vb | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | いしかわ まもる 石川 守 | | | | |

講義のねらい

日本語 Va に続けて、日本語のしっかりした基礎をつくることを目標にしています。

講義の内容・授業スケジュール

日本語 Va の続きをやっていきます。

履修上の留意点

日本語 Va と同じです。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントなどを配ります。

参考書等

辞書を持ってきて下さい。

その他

受講態度を重視しています。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語V a | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM | | | | |
| 担当者名 | 多田羅 ^{なたら あきこ} 哲子 | | | | |

講義のねらい

読むことを通して日本語の読解力、表現力を高める。特に今、話題になっているニュース等について読んだり説明したり意見を述べたりする力をつける。
レポートを書くための基礎を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

各種の新聞記事など時事問題を中心に自分で調べながら読み、内容について説明したり、意見発表を行う。
それらを文章にまとめる。

成績評価の方法

平常点（小テスト・提出物・授業の参加度）を重視する。期末テストも行う。

教科書

プリント配布する。
辞書を持ってくること。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語V b | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM | | | | |
| 担当者名 | 多田羅 ^{なたら あきこ} 哲子 | | | | |

講義のねらい

読むことを通して日本語の読解力、表現力も高め、時事的問題について読んだり読したり文章で意見を述べたりする力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

各自関心のある内容の記事等を読み、内容を発表する。その内容に関して話し合ったり、文章を書いたりする。

成績評価の方法

平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。期末テストも行う。辞書を持ってくること。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語VI a | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | いしかわ まもる 石川 守 | | | | |

講義のねらい

日本語の基礎文法を日本語Vに引き続き行い、正確な日本語文法の基礎を作るために概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語V a、bで行った日本語の後の部分をやっていきます。講義内容は日本語V→日本語VI→日本語IVの順番で構成されています。したがって本授業は日本語の基礎の中間部に当たります。

履修上の留意点

日本語VIは、日本語Vと日本語VIの三つの科目で日本語の基礎文法の復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人は日本語IV、V、VIの三つをとることをお勧めします。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

授業態度を重視しています。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語VI b | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | いしかわ まもる 石川 守 | | | | |

講義のねらい

日本語の VIa の続きを行い、しっかりした日本語文法の基礎を作ります。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語 VIa の残りの部分を行っていきます。内容は日本語の基礎文法の間部分後半になります。

履修上の留意点

この授業は、日本語 VIa の次の部分を行っていきます。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

受講態度を重視しています。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語VI a | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | 多田羅 ^{たたら あさこ} 哲子 | | | | |

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・
授業スケジュール

雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し、感想や意見を述べる。
現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても各自調べ、確認しながら細部まで理解して読む。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本語VI b | 開講 | 半期 | 単位 | 1 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | 多田羅 ^{たたら あさこ} 哲子 | | | | |

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・
授業スケジュール

雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し感想や意見を述べる。
現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても復習し、確認しながら理解していく。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本事情I〔地理〕 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM | | | | |
| 担当者名 | <small>たかはし けんたろう</small> 高橋 健太郎 | | | | |

講義のねらい

人々の生活や地域社会の特徴と変化などを、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

講義の内容・ 授業スケジュール

この授業では、最初に、日本の地理的特徴や、日本人の文化や生活の地域性について説明する。

その後、受講生2-3人で1つの班を作り、班ごとに、日本の各都道府県の地理的特徴について調べ、授業で発表してもらう。

また、駒澤大学の周辺地域、つまり東京近郊地域の特徴や変容を理解するために、大学の外に出て、見学も行う。

履修上の留意点

第1回目に授業の案内を行うので必ず出席のこと。また、学外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。

成績評価の方法

頻繁に教場で作成してもらう小レポート、班ごとの発表の内容、学外見学のレポート、および学期末レポートで評価する。

教科書

使用しない。授業中にプリントを配布する。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本事情II〔自然〕 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | 清水 ^{しみず} 善和 ^{よしかず} | | | | |

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わさり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3)自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や環境保全のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・授業スケジュール

第I章 位置

1. 国土の範囲
2. 行政区分
3. 位置の特徴

第II章 気候

1. 気候帯
2. 日本近海の流れ
3. 気候の特徴
4. 気団と季節
5. 気象観測
6. 気候と文化

第III章 地質・地形

1. 弧状列島
2. 変動の歴史
3. 多様な地形
4. 火山
5. 地震

第IV章 生物

1. 気候帯と植生帯
2. 生物多様性
3. 生物地理区
4. 里山の生物
5. 帰化生物

第V章 自然保全の諸制度

1. レッドデータブック
2. 国内の法律
3. 国際条約

成績評価の方法

レポート（2回）と出席回数に基づいて評価する。

教科書

講義の内容を日本語の文章で著わした「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。また、それを英語に翻訳した「web版教科書(English version)」も用意する。これらは清水のHPから自由にダウンロードできる。

参考書等

「web版教科書」で分野ごとの参考書を紹介する。

その他

講義に必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する(漢字にはできるだけ読みがなをつける)。なお、英語圏の留学生のために講義内容を英語で著わした「web版教科書(English version)」を用意する。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本事情Ⅲ〔歴史〕 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | 井上 桂子 | | | | |

講義のねらい

本講義では、19世紀以降の日本と中国大陸の文化、人事交流を中心に、大きな歴史の流れの中で両国の人びとがどのような交流し、相互理解に努力したかを学ぶことを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 19世紀－鎖国政策の中での日本の他国関係
2. 中国商人の「唐風説書」の役割
3. 江戸幕府貿易船で上海に行った明治維新のキーマン
4. 日米和親条約と中国
5. 明治維新と中国の反応
6. 駐華公使森有礼と清朝の李鴻章の会談から見えてくるもの
7. 清末の改革維新と日本との関係
8. 孫中山と日本
9. 民間交流と日中関係
10. 戦争中中国大陸で反戦活動
11. 日中国交正常化への道のり

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行い、全般的な講義内容を説明します。特別な予習、復習は必要ありません。

成績評価の方法

出席回数と課題レポートで評価します。

教科書

必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

授業のなかで適宜紹介します。

その他

希望があれば、その日の要点を中国語でも話します。また、中国語で発言してもかまいません。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本事情Ⅳ〔思想〕 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | すがわら ひかる 菅原 光 | | | | |

講義のねらい

近代日本の代表的な思想家を取り上げ、その生い立ちを含めた人物像、並びにその思想内容を紹介し、考察するという形で近代日本思想史を学んでいくことが本講義の目的である。講義では、まずは取り上げる思想家達が活躍していた時期の時代的特徴を押さえるところから出発した後、森有礼、福澤諭吉、西周ら、代表的な思想家について学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

講義はおおよそ、以下の項目に沿って行う。

1. ガイダンス
2. 文明開化とは何か？
3. 森有礼の思想
4. 西周の思想
5. 福澤諭吉の思想
6. 田中正造の思想
7. 武士道
8. 教育思想

履修上の留意点

授業の最後に、簡単なレポートを実施することがある。

成績評価の方法

出席回数と、授業態度、授業の最後に実施する小レポートの評価とを合わせ、総合的に評価する。授業回数のうち8割の出席、小レポートにおいて用紙の8割を埋めることが単位取得の最低条件である。20分以上遅刻した学生、授業態度の悪い学生は、出席としてカウントしないので、注意してほしい。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時に適宜紹介する。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本事情Ⅴ〔社会〕 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM | | | | |
| 担当者名 | やまだ のぶゆき 山田 信行 | | | | |

講義のねらい

この講義では、主として第2次世界大戦後に日本社会が経験した社会変動をふまえて、日本社会の現在と将来を展望する。適宜ビデオ教材などを使用し、日本社会の様々な問題を理解しやすいようにしたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

主な内容は、以下の通り。カッコ内の回数は、当該の項目が授業に当てられるおおよその回数。

1. 戦後日本の社会変動（4回）
2. 現代日本の基本的趨勢（4回）
 - （1）情報化
 - （2）少子・高齢化
 - （3）グローバル化
3. 現代日本の社会問題（4回）
 - （1）若年者問題－フリーター、ニート
 - （2）学力低下問題
 - （3）格差問題

履修上の留意点

ほぼ毎回講義の内容に関するメモを配布するので、それをもとにノートを取るようになってほしい。継続的な出席は、講義の理解を促進する。

成績評価の方法

学期末レポートと平常点による。

教科書

なし。

参考書等

適宜指示する。

その他

希望があれば、その日の要点を英語でも話します。また、英語で発言してもかまいません。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本事情VI〔政治・法律〕 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | 三竹 ^{みたけ なおや} 直哉 | | | | |

講義のねらい

日本の政治について知り、みんなで意見交換します。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のようなトピックを考えていますが、参加者のみなさんの意見を聞いて決めます。

- ◎議会制民主主義
- ◎三権分立と二院制
- ◎天皇
- ◎選挙制度
- ◎政党と派閥
- ◎ナショナリズム
- ◎安全保障
- ◎マイノリティ

履修上の留意点

出席と授業参加を重視します。

成績評価の方法

平常点によります。ただし、出席が少ない人、発言が少ない人などには、期末テストを行う可能性があります。詳細は最初の授業で説明します。

教科書

指定する予定はありません。

その他

I speak English, but students are encouraged to communicate in Japanese.

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本事情Ⅶ〔文学〕 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | さかくち ひろき 坂口 博規 | | | | |

講義のねらい

本講義は、日本語を母国語としない外国人留学生等を中心に、日本の文学作品を歴史的な流れに立って紹介し、日本の美意識を含めて文化の諸相に対する理解を深めることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の古代の文学から近代の文学まで、作品が成立した時代や社会の背景を紹介しつつ、それぞれの時代の美意識の特徴を概説するとともに、作品内容の一部を読みながら、理解を深めることを目標とする。各時限の内容は以下の通り。

- 1、ガイダンス、日本文学のジャンル発生
- 2、古代前期の歌謡
- 3、日本神話・伝説・説話
- 4、古代前期の詩歌
- 5、古代後期の文学とその美意識（1）
- 6、古代後期の文学とその美意識（2）
- 7、中世の文学とその美意識（1）
- 8、中世の文学とその美意識（2）
- 9、近世の文学とその美意識（1）
- 10、近世の文学とその美意識（2）
- 11、近代の文学とその美意識（1）
- 12、近代の文学とその美意識（2）
- 13、日本文学の特質

履修上の留意点

第1回にガイダンスを行い、半期の講義内容を総括するとともに、日本文学に対する受講生の興味・関心を喚起したい。半期の限られた時間の中で日本文学を要約する上で、中心となるのは時代背景の理解と美意識の把握であることを確認したい。なお古典文学の文章は現代語表現と違うので、出来るかぎり現代語に置き換えるか、現代語を添えて紹介する。

成績評価の方法

レポートにより、授業において特に興味・関心を持った内容について受講生自身の所感をまとめてもらう。レポート評価（90%）を中心に、受講姿勢（出席状況・関心の度合等々、10%）を加えて評価する。

教科書

必要に応じて適宜プリントを配布する。

参考書等

授業内で紹介する。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本事情VIII〔文化・芸術〕 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | 佐藤 ^{きとう} 美奈子 ^{みなこ} | | | | |

講義のねらい

「日本文化」とは何か。日本に生まれ育った人でも、この問いにきちんと答えられる人はあまりいません。それは「日本文化」と呼ばれるものが時代によって変化したり、作り変えられたりするものだからではないでしょうか。よって、本授業では「日本文化」を明らかにすることを目的にはしません。むしろ、近代日本において「日本文化」がどのように捉えられてきたのか、という問いに重点を置くことにします。それによって、「日本文化」を通して「日本人」がどのようにアイデンティティを形成してきたのかを、明らかにしていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、明治中期に影響を持った政教社の国粹主義思想を一つの軸として取り上げます。政府の欧米化主義を批判する中で展開された国粹主義思想は、「日本文化」をどのように捉えたのでしょうか。なぜ、そのような思想的潮流が明治半ばに現れたのでしょうか。こういった国粹主義思想の物の見方は、現代日本にどのような影響を与えているのでしょうか。授業ではまず、こういった問いを考えるために必要な基本的知識（幕末から明治にかけての歴史的・社会的背景）を学びます。その上で、国粹主義思想が何を訴えようとしたのか、それはどのような社会的要請と呼応するものであったのか、その後どのような影響を残したのかを考えたいとします。

履修上の留意点

授業開始後の入室（遅刻）は、授業の妨げとなるためいっさい認めません。また私語等のマナー違反にも厳しく対処することになります。

成績評価の方法

期末試験、及び授業時に実施される小テストの総合点で成績を決定します。なお、小テストは毎回授業開始時に、前回の授業内容に基づいて行います。欠席の場合は原則として点数は与えられません。

教科書

特に指定しません。

参考書等

授業時に適宜、紹介します。

その他

講義形式。授業は基本的に日本語で行いますが、授業後の個別質問には英語でも対応します。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本事情IX〔経済〕 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM | | | | |
| 担当者名 | 小杉 修二 <small>こすぎ しゅうじ</small> | | | | |

講義のねらい

日本で学ぶ外国からの留学生の皆さんとともに、主として日本がたどってきた 経済成長というものを理解し、同時に日本語・日本の文化についても理解してもらいたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

経済成長という、経済現象を生物のように扱うこうした用語は何時生まれたのか？はっきりしたことはわかりませんが産業革命以後であることは間違いないでしょう。つまり、産業革命以前は超安定社会、あるいは超停滞社会だったのです。経済の拡大は時にはありますが、ごくたまにおきる事柄でした。継続的に1-2%の経済の拡大が起こるようになったのが産業革命です。これでもそれ以前に比べれば、革命的変化だったのです。

経済成長を測る用語に「経済成長率」というのがあります。例の年・%というやつです。これはお金を借りた時と同じ「複利計算」になります。年利20%でお金を100万円借りれば、4年でいくらになるでしょう。複利計算では（銀行から借りた時と同じです）、207.36万円になります。180万円と答えた人はお金をうっかり借りないほうがいいでしょう。

20%の成長が何年も続くことは考えなくてもいいでしょうが、7%成長が10年続くと元の数の2倍に増える、というのを知っていれば、いかに複利計算がすごいか分かるでしょう。そういう経済成長が今世界のあちこちでおきています。日本の高度経済成長期は年率約10%の成長が19年も続きました。それは19年で終わりましたが、もしそれが100年続いていたら、日本経済の規模は最初の1万3800倍というとんでもない数値になっていたでしょう。

この授業では、経済成長率とは何か、第2次世界大戦後の日本の経済成長は以下に始まったか、経済成長とはどういうことなのか、それはどんな時に起こるのか、その結果はどのようになったのか、成熟経済と経済成長、新たな成長の種、経済成長と心、経済成長と地域環境問題、経済成長と地球規模環境問題等について考えます。

履修上の留意点

出席不良は単位があげられません。

成績評価の方法

出席点と試験による。

教科書

特にありません。

参考書等

特にありません。

その他

ビデオを利用した映像とプリントで行う予定。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 日本事情X〔経営〕 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM | | | | |
| 担当者名 | 鈴木 幸毅 | | | | |

講義のねらい

日本企業の現状と課題について講義し、併せて環境対応の実際について話します。

履修上の留意点

教科書は使用しませんが、必要に応じて参考書は指定します。
講義に際しては、プリントを多く使います。

成績評価の方法

出席を重視します。プリントを音読してもらいます。1回か2回、簡単な課題レポートを提出してもらいます。以上の総合で評価します。

そ の 他

質問（授業中の）を歓迎します。

V 随 意 科 目

V. 随 意 科 目

| 科 目 名 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|-------------|---------|------|----|-------|-----|
| 英語（海外演習） | 全学科1年次～ | | 2 | | 685 |
| フランス語（海外演習） | 全学科1年次～ | | 2 | | 685 |
| 中国語（海外演習） | 全学科1年次～ | | 2 | | 685 |
| 比較思想特講 | 法A政234年 | 通年 | 4 | 小川 順敬 | 686 |

| | | | | |
|------|----------|----|----|---|
| 科目名 | 英語（海外演習） | 開講 | 単位 | 2 |
| 担当 | 全学科1年次～ | | | |
| 担当者名 | | | | |

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、プリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期語学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる英語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。ただし、春季クインズランド大学（オーストラリア）のセミナーに関しては、4年次生は参加できません。

成績評価の方法

現地演習後に各大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

| | | | | |
|------|-------------|----|----|---|
| 科目名 | フランス語（海外演習） | 開講 | 単位 | 2 |
| 担当 | 全学科1年次～ | | | |
| 担当者名 | | | | |

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるプロヴァンス大学（フランス）における短期語学セミナーでの3週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれるフランス語随意科目である。受講対象学生は1年次生から3年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

| | | | | |
|------|-----------|----|----|---|
| 科目名 | 中国語（海外演習） | 開講 | 単位 | 2 |
| 担当 | 全学科1年次～ | | | |
| 担当者名 | | | | |

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期語学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる中国語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 比較思想特講 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法A政234年 | | | | |
| 担当者名 | おがわ としゆき 小川 順敬 | | | | |

講義のねらい

本科目は、宗教的視点の講義と哲学的視点の講義を隔年で開講している。今年度は宗教的視点の講義である。

この講義では、仏教やキリスト教、また日本の民俗宗教などに見られる生命観、人間観（人格概念）について考察したい。

今日、脳死・臓器移植問題の中で、生命の意味が問い直されているが、そういった議論の理解を深めるためにも、宗教的生命観・身体観・人格概念などを整理しておきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は仏教・キリスト教の生命観に関する主要な議論のいくつかを概観しておきたい。その際、教義レベルの観念的な議論だけでなく、仏教文化圏やキリスト教文化圏の社会で実際に行なわれている様々な宗教儀礼などを取り上げ、これらを通して生命観の具体的諸相を比較しておきたい。

後期は日本の民俗宗教に見られるアニミズム的生命観の今日的評価について、いくつかの議論を紹介、概観することとしたい。

また、オセアニアを対象とする人間観、人格概念の具体的な研究を取りあげ、文化人類学、宗教人類学で議論されてきたアニミズム的生命観および人格概念を検討することとしたい。

成績評価の方法

原則としてレポートで評価します。

教科書

教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。また、関連資料はその都度コピーで配布します。

法律学科フレックスB

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗 教 教 育 科 目

1. 宗教教育科目

| 科目名 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|-------------|------------|------|----|--------|-----|
| 仏教と人間 | 法B1必 | 通年 | 4 | 松本 史朗 | 695 |
| 仏教と人間〔再クラス〕 | 経B法B営B234年 | 通年 | 4 | 松本 史朗 | |
| 仏教と人間 | 法B1必 | 通年 | 4 | 村松 哲文 | 695 |
| 仏教と人間〔再クラス〕 | 経B法B営B234年 | 通年 | 4 | 村松 哲文 | |
| 仏教と人間〔再クラス〕 | 経B法B営B234年 | 通年 | 4 | 池田 道浩 | 696 |
| 仏教と人間〔再クラス〕 | 経B法B営B234年 | 通年 | 4 | 熊本 英人 | 696 |
| 仏教と人間〔再クラス〕 | 経B法B営B234年 | 通年 | 4 | 四津谷 孝道 | 697 |
| 仏教と人間〔再クラス〕 | 経B法B営B234年 | 通年 | 4 | 岩永 正晴 | 698 |

| | | | | | |
|------|----------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 仏教と人間 仏教と人間〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B1必 経B法B営B234年 | | | | |
| 担当者名 | まつもと しょう 松本 史朗 | | | | |

講義のねらい

本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、仏教成立以前のインド思想から始めて、仏教の開祖である釈尊の思想、さらに大乘仏教の教典の思想、及び、日本仏教の思想の説明へと進みたい。

成績評価の方法

年度末の試験によって、成績を評価する。

教科書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍）1,400円

| | | | | | |
|------|----------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 仏教と人間 仏教と人間〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B1必 経B法B営B234年 | | | | |
| 担当者名 | むらまつ てつみ 村松 哲文 | | | | |

講義のねらい

東洋世界で生きている我々にとって、仏教は身近な宗教のはずである。ところが案外と知らないことが多いのではないだろうか。いうまでもなく駒沢大学は、仏教精神により建てられた大学である。本学に在籍していることも何かの縁であり、これを機会に仏教を知り、深遠な仏教世界を理解してもらいたい。本講義では、釈尊の生涯、仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えを深めてゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

釈尊の生涯（1～3）、釈尊の教え（4～8）、経典の内容（9～12）、仏教的世界観（13～14）、大乘仏教と小乗仏教（15・16）中国の仏教受容（17）、中国仏教の展開（18）、日本の仏教受容（19）、日本仏教の展開（20）、仏教と仏画で見る仏教（21～30）

履修上の留意点

仏教が日常の社会・生活に如何に関わっているのか考えながら講義に臨むこと。

成績評価の方法

定期試験、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 仏教と人間〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 経B法B営B234年 | | | | |
| 担当者名 | 池田 道浩 <small>いけだ みちひろ</small> | | | | |

講義のねらい

人間と動物の違いの一つに宗教的思考の有無がある。動物は本能的に死を恐れるが、「死後」を恐れることはなく、世界を超越した神を求めることもない。宗教は日常から離れた特別な場所にあるのではなく、人間の日々の生活に密接に関わっている。
本講義は仏教の歴史を概説するものであるが、それを通じて、宗教に関する視点を身に付けていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

仏教の誕生とその歴史を説明していくが、随時、今日の社会や文化における宗教に関わる事例を取り上げ、問題点を説明する。

履修上の留意点

特定の教科書を使用しないため、欠席が重なると授業の流れが理解できないことになる。また、欠席の多い者には評価を与えない。

成績評価の方法

出席と定期試験によって評価を行う。

教科書

特に使用しない。適宜プリントを配布する。

参考書等

講義中に随時紹介する。

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 仏教と人間〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 経B法B営B234年 | | | | |
| 担当者名 | 熊本 英人 <small>くまもと えいじん</small> | | | | |

講義のねらい

仏教の教えと歴史を知ることによって、自分にとって宗教とは何かを考える。

講義の内容・授業スケジュール

仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。仏教の開祖ブッダの伝記や、日本における仏教の歴史や人物などを取り上げて、現代につながる話題として解説していく。

日本人は、なぜ宗教に無関心なのか。実は、意識していないだけで、日常生活の中で宗教的要素に囲まれて生きている。仏教を学ぶことによって、宗教に対する無関心、無自覚が何を意味しているのかを考えてもらいたい。

履修上の留意点

受講態度を重視する。坐禅などの実践体験も行う。

成績評価の方法

年度末の筆記試験の成績に、出席状況、受講態度、通常の小テストを加味して評価する。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 仏教と人間〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経B法B営B234年 | | | | |
| 担当者名 | 四津谷 孝道 <small>よつや こうどう</small> | | | | |

講義のねらい

受講生諸君は、今後少なくとも4年間の大学生活において、様々な機会に仏教というものに接することとなるであろう。そのような機会のひとつであるこの授業において、「仏教と自分との接点を探る」という営みの端緒を見い出してもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業においては、下記のテーマについて、順を追って、できるだけわかりやすく解説を加えていきたい。

宗教としての仏教
 仏教と科学
 仏教と他の宗教
 喩えて語る仏教（1）
 喩えて語る仏教（2）
 縁起・苦・無我
 慈悲
 輪廻と解脱（業について）
 輪廻と解脱（差別思想について）
 仏教以前のインドの宗教（歴史）
 仏教以前のインドの宗教（思想）
 仏陀の伝記（誕生から出家まで）
 仏陀の伝記（悟りと伝道）
 仏陀の伝記（涅槃）
 部派仏教の歴史と思想
 インド仏教（大乘仏教の歴史）
 インド仏教（大乘仏教の思想）
 チベット仏教（転生ラマについて）
 チベット仏教（密教）
 中国仏教（浄土思想）
 中国仏教（禅仏教）
 日本仏教（歴史）
 日本仏教（思想）（1）
 日本仏教（思想）（2）

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

必要な資料等は、授業において随時配付する。

参考書等

授業において随時指示する。

| | | | | | |
|------|---------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 仏教と人間〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経B法B営B234年 | | | | |
| 担当者名 | いわなが しょうせい 岩永 正晴 | | | | |

講義のねらい

曹洞宗によって創立された駒澤大学で学ぶ学生諸君に仏教および曹洞宗の教えに親しんで貰うことを、本講義の目的とします。しかし、永い歴史を有する仏教が生み出した儀礼や慣例、多くの用語や多量の文献など、諸君を仏教から遠ざける要因は少なくないでしょう。本講義では、その要因のひとつ、仏教で用いる用語の解説に主眼を置きながら、仏教の考え方を紹介していきたいと思ひます。宗教にまつわる問題が取り沙汰される昨今、ひとえに熱狂したり嫌ったりするのはなく、宗教および仏教について冷静に考察するための材料を提供したいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を読み進め、解説を行います。また必要に応じてプリントを配布して補足します。

履修上の留意点

成績評価に際しては、出席点やレポートなどの補助的な評価材料を用いないので、授業には積極的に参加して貰いたい。

成績評価の方法

学年末の試験のみによって成績評価を行う。レポート、出席点等はない。

教科書

鎌田茂雄『仏陀の観たもの』（講談社学術文庫）

参考書等

中村元『ブツダ入門』（春秋社）、平川彰『仏教入門』（春秋社）、梶山雄一『空入門』（春秋社）、角田泰隆『道元入門』（大蔵出版）、鏡島元隆『正法眼蔵随聞記に学ぶ』（曹洞宗宗務庁）、末木文美士『日本仏教史—思想史としてのアプローチ』（新潮文庫）、松尾剛次『「お坊さん」の日本史』（日本放送出版協会・生活人新書041）等。その他は講義の中で適宜紹介する。

2. 教養教育科目

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

| 科目名 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|------------------------|------------------------------------|------|----|--------|-----|
| 宗教学【〔比較宗教文化〕】 | 経B法B営B選 経A法A営A放選 | 通年 | 4 | 田中 かの子 | 705 |
| 文学【1〔日本文学「古典」〕】 | 経B法B営B選 経A法A営A放選 | 通年 | 4 | 田中 伸作 | 705 |
| 文学【2〔日本文学「近代」〕】 | 経B法B営B選 経A法A営A放選 | 通年 | 4 | 中西 亮太 | 706 |
| 文学【3〔日本文学「古典」〕】 | 経B法B営B選 経A法A営A放選 | 通年 | 4 | 伴野 英一 | 706 |
| 歴史学【1〔日本近代史〕】 | 経B法B営B選 経A法A営A選 | 通年 | 4 | 林 彰 | 707 |
| 歴史学【2〔中国史概観〕】 | 経B法B営B選 経A法A営A選 | 通年 | 4 | 小林 惣八 | 707 |
| 歴史学【3〔アジア史概観〕】 | 経B法B営B選 経A法A営A選 | 通年 | 4 | 飯山 知保 | 708 |
| 哲学【〔西洋思想の源流〕】 | 経B法B営B選 経A法A営A選 | 通年 | 4 | 滝沢 正之 | 708 |
| 哲学 【〔近代の人間観と世界観〕】 | 経B法B営B選 経A法A営A選 | 通年 | 4 | 伊古田 理 | 709 |
| 哲学【〔現代文明と人間〕】 | 経B法B営B選 経A法A営A選 | 通年 | 4 | 鈴木 聡 | 709 |
| 論理学 【〔科学方法論と現代論理学〕】 | 経B法B営B選 経A法A営A放選 | 通年 | 4 | 伊古田 理 | 710 |
| 論理学 【〔科学方法論と現代論理学〕】 | 経B法B営B選 経A法A営A放選 | 通年 | 4 | 麻生 享志 | 711 |
| 倫理学【〔現代と倫理〕】 | 経B法B営B選 | 通年 | 4 | 古田 知章 | 712 |
| 倫理学【〔人生と倫理〕】 | 経B法B営B選 | 通年 | 4 | 末木 恭彦 | 713 |
| 教育の思想 | 経B法B営B234選 経A法A234選 商政営A234選 | 半期 | 2 | 山本 敏子 | 713 |
| 教育と社会 | 経B法B営B234選 経A法A234選 商政営A234選 | 半期 | 2 | 山本 敏子 | 714 |
| 発達と学習の心理学 | 経B法B営B234選 経A法A234選 商政営A234選 | 半期 | 2 | 三國 隆子 | 715 |
| カリキュラムと学習 | 経B法B営B234選 経A商法A政営A234選 | 半期 | 2 | 三國 隆子 | 715 |

(2) 社会分野

| 科目名 | 担当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|-------------------------|---------------------|------|----|--------|-----|
| 社会科学論 【〔社会認識の思想〕】 | 経B法B営B選 経A法A営A選 | 通年 | 4 | 枝松 正行 | 716 |
| 経済学【〔現代経済と人間〕】 | 経B法B選 経A法A放選 | 通年 | 4 | 沼田 郷 | 717 |
| 社会学【〔現代社会を考える〕】 | 経B法B営B選 経A法A営A放選 | 通年 | 4 | 呉 炳三 | 718 |
| 社会学【〔現代文化を考える〕】 | 経B法B営B選 経A法A営A放選 | 通年 | 4 | 橋爪 敏 | 719 |
| 統計学 【〔社会現象の統計的決定〕】 | 経B法B営B選 経A法A営A選 | 通年 | 4 | 新行内 康慈 | 720 |
| 文化人類学【〔文化と人間〕】 | 経B法B営B選 経A法A営A放選 | 通年 | 4 | 川上 新二 | 721 |
| 文化人類学 【〔諸民族とコスモロジー〕】 | 経B法B営B選 経A法A営A放選 | 通年 | 4 | 杉井 純一 | 722 |
| 政治学 【〔政治システムと政治参加〕】 | 経B法B営B選 経A法A営A選 | 通年 | 4 | 真下 英二 | 723 |
| 政治学【〔国際社会と日本〕】 | 経B法B営B選 経A法A営A選 | 通年 | 4 | 山村 恒雄 | 724 |

(3) 自然分野

| 科目名 | 担当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|---------------------------|--------------------|------|----|-------|-----|
| 心理学 【〔ヒューマン・ウォッチング〕】 | 経A法A営A選 経B法B営B選 | 通年 | 4 | 鈴木 順一 | 725 |
| 心理学 【2 〔人間関係を考える〕】 | 経A法A営A選 経B法B営B選 | 通年 | 4 | 鈴木 順一 | 726 |
| 生物学【〔生態と進化〕】 | 経A法A営A選 経B法B営B選 | 通年 | 4 | 清水 善和 | 727 |
| 生物学【〔生物と環境〕】 | 経A法A営A選 経B法B営B選 | 通年 | 4 | 中村 敏枝 | 728 |
| コンピュータ基礎 【〔コンピュータと情報〕】 | 経B法B選 | 半期 | 2 | 澤口 隆 | 729 |
| コンピュータ基礎 【〔コンピュータと情報〕】 | 経B法B選 | 半期 | 2 | 谷本 玲大 | 730 |
| コンピュータ基礎 【〔コンピュータと情報〕】 | 経B法B選 | 半期 | 2 | 澤口 隆 | 731 |
| コンピュータ基礎 【〔コンピュータと情報〕】 | 経B法B選 | 半期 | 2 | 谷本 玲大 | 732 |
| 地球科学 【〔地球の素顔と地球環境問題〕】 | 経A法A営A選 経B法B営B選 | 通年 | 4 | 加藤 潔 | 733 |
| 地球科学 【〔地球の素顔と地球環境問題〕】 | 経A法A営A選 経B法B営B選 | 通年 | 4 | 加藤 潔 | 734 |
| 自然環境論 【〔宇宙から見た地球環境〕】 | 経A法A営A選 経B法B営B選 | 通年 | 4 | 篠原 正雄 | 735 |

| | | | | | |
|----------------|--------------------|----|---|------|-----|
| 自然環境論【〔生命と環境〕】 | 経A法A営A選 経B法B営B選 | 通年 | 4 | 山縣 毅 | 736 |
| 情報数学【〔情報と論理〕】 | 経A法A営A選 経B法B営B選 | 通年 | 4 | 小沢 誠 | 737 |

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 宗教学【(比較宗教文化)】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経B法B営B選 経A法A営A放選 | | | | |
| 担当者名 | 田中 <small>ななか</small> かのこ <small>かのこ</small> | | | | |

講義のねらい

人間には実に様々な生き方・見方・考え方・信じ方があり、「いのち」あるうちに為しうることに、限りない可能性があるということを、諸宗教の比較は教えてくれる。わたくしたち自身も、そのなかの、かけがえのない一通りの人生を歩んでいる。「～教」や「～教徒」などという、他の人々と区別しうる特徴をもっているかのように錯覚してしまうが、言うまでもなく、信仰者としての彼らが目指すのは、より善い「人間」としてこの一生を全うすることにほかならない。各宗教が人間にどのような有り方を望んでいるのかを、その伝統的な生活文化をとおして俯瞰し、いま、この世界のどこかで生きている、いまだ出会うことのない人々への共感を呼び覚ましてみたい。それが、誤解や偏見のない「人間」理解に繋がれば幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

講義担当者の生活体験をとまなう地域（インド・ヨーロッパ）を中心に、机上では知りえない、かならずしも教義一辺倒ではない信仰生活の多様性について解説する。

履修上の留意点

板書は、即興の覚え書きや、テーマの骨子を素描したものにすぎない。むしろ、講義の言葉や自分の考えに耳を傾けて、積極的にノートしよう。仏教と他宗教との関連性に注目。

成績評価の方法

出席状況、創意・文章力・工夫の楽しみ方を評価する課題レポート。

教科書

拙著『比較宗教学―「いのち」の探究―』（北樹出版）2006年、改版

参考書等

「いのち」の尊さや、異文化間の交流を扱ったもの（書物、映画など）なら何でも。

その他

予定外の試みや受講生の要望などによっては、プログラムを変更することもあります。

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 文学【1〔日本文学「古典」〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経B法B営B選 経A法A営A放選 | | | | |
| 担当者名 | 田中 <small>ななか</small> 伸作 <small>しんさく</small> | | | | |

講義のねらい

軍記物語の代表として知られる『平家物語』は、平家一門をとりまく人々のドラマを実に生き生きと描き出している。その内容・叙述において『平家物語』は非常に中世らしい文学作品であると言えるだろう。この作品を読むことで、古典文学に親しみ、中世における文学のあり方を考えることを目的とする。

また、史実が文学に取り込まれたとき、どのような世界として描かれるのかという歴史文学としての側面も考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

『平家物語』の代表的な句を読み、内容と特色を把握する。また、関連する史料を紹介し、時代背景や文化史的問題も追及する。

成績評価の方法

定期試験の成績による評価。出席状況も重視する。

教科書

『平家物語抄』（おうふう）

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 文学【2〔日本文学「近代」〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経B法B営B選 経A法A営A放選 | | | | |
| 担当者名 | なかにし りょうた 中西 亮太 | | | | |

講義のねらい

この講義では、明治・大正・昭和の著名歌人の歌集を読み、論じていきます。その過程で、受講者が近代短歌への理解を深めることを目指します。五句三十一文字を基本型とする短歌は、明治以降、庶民がみずからの心やみずからの体験した出来事を表現する文学ジャンルとして親しまれました。また一方で、多くの歌人は、この短い定型詩を近代文学として屹立させるべく、新しい表現世界を切り開いてきました。その両面を、この講義では見ていきます。講義で取り上げる歌を一首紹介しておきます。「野に捨てた黒い手袋も起きあがり指指に黄な花咲かせです」（斎藤史『魚歌』）

講義の内容・授業スケジュール

取り上げる歌集は、与謝野晶子『みだれ髪』、石川啄木『一握の砂』、北原白秋『桐の花』、斎藤史『赤光』、前川佐美雄『植物祭』、斎藤史『魚歌』、塚本邦雄『水葬物語』、中城ふみ子『乳房喪失』等を予定しています。授業の流れとしては、前期で明治期と大正の前半、後期で大正の後半と昭和期を扱う予定です。

履修上の留意点

当然のことではありますが、ただ出席するだけでなく、積極的な姿勢での受講を望みます。授業時間中や時間後の質問を歓迎します。

成績評価の方法

前期末と後期末に、試験を実施します。

教科書

高野公彦編『現代の短歌』（講談社学術文庫）
また、授業中、必要に応じて参考プリントを配付します。

参考書等

『短歌シリーズ・人と作品』（桜楓社）
このシリーズで、後世の研究者が書いた晶子・啄木・白秋・茂吉などの評伝や秀歌鑑賞文を読むことができます。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 文学【3〔日本文学「古典」〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経B法B営B選 経A法A営A放選 | | | | |
| 担当者名 | ばんの ひでかず 伴野 英一 | | | | |

講義の内容・授業スケジュール

いわゆる文運東漸期前後から、洒落本を中心として近世戯作文芸を概観する。実際に作品を読むことで、文芸における「滑稽」がどのように表現されるのかを考察する。また、当時の遊里風俗など、作品成立の時代的背景についても適宜触れてゆく。

履修上の留意点

欠席が三分の一に達した場合は単位不認定となる。

成績評価の方法

年度末の定期試験を主とし、出席状況、受講態度を総合的に評価する。臨時にレポートを課す場合がある。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

その都度、講義中に指示する。

| | | | | | |
|------|-----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 歴史学【1〔日本近代史〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経B法B営B選 経A法A営A選 | | | | |
| 担当者名 | はやし あきら 林 彰 | | | | |

講義のねらい

幕末から明治・大正時代にかけての歴史的な流れを、思想・思潮を中心に政治社会の動向をふまえて概観していく予定である。西欧から輸入された近代思想が日本でどのように浸透し、知識人・民衆がどう受容し、在来の伝統的な思想といかに対立・錯綜・混在していくのか。それらを人物・ジャーナリズムなどを中心にみていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、幕末から明治・大正・昭和前期の、いわゆる近代史の概説をこころみる。後期には、著名な人物を取り上げ、論じながら、具体的に日本近代史の歩みを、人物とともにたどることにより、よりいっそうの理解を深める。とくに、体制側の動向（政府ないしは体制側の思想と運動の流れ）と反体制側の運動や思想の動向に留意しながらみていきたい。

成績評価の方法

レポートと定期試験。

教科書

大日方純夫『はじめて学ぶ日本近代史（上）』大月書店、2002年、1800円

参考書等

安在邦夫ほか『日本の近代—国家と民衆』粹出版、1984年、2000円
 早川紀代編『軍国の女たち』吉川弘文館、2005年、2600円
 安在邦夫ほか編『自由民権の再発見』日本経済評論社、2006年、3500円

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 歴史学【2〔中国史概観〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経B法B営B選 経A法A営A選 | | | | |
| 担当者名 | こばやし そうはち 小林 惣八 | | | | |

講義のねらい

中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晉南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
 詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

| | | | | | |
|------|-----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 歴史学【3〔アジア史概観〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経B法B営B選 経A法A営A選 | | | | |
| 担当者名 | 飯山 知保 | | | | |

講義のねらい

歴史上アジアに興亡した諸民族の事跡を理解することは、単に歴史を学習するためのみならず、現在のアジアにおける国家・民族の情勢を把握するためにも重要である。本講義では、そうした諸民族の興亡の通時的考察を通じ、主に現代中国の民族情勢とその淵源を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

現在アジアの民族分布を解説した後、時代を遡り、主に中国を対象として、紀元前から諸民族集団の興亡を通観する。

成績評価の方法

前・後期の教場試験と平常点による総合評価。詳細はおって指示する。

教科書

特になし。

参考書等

講義上で紹介する。

その他

出席による平常点を重視する。

| | | | | | |
|------|-----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 哲学【〔西洋思想の源流〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経B法B営B選 経A法A営A選 | | | | |
| 担当者名 | 滝沢 正之 | | | | |

講義のねらい

西洋哲学史を古代から中世にかけてを中心に紹介する。時間があれば、続けて近世から現代へと時代順に進んでいくことになる。

ただし、書店で手に入る哲学史の入門書のように、哲学者たちの思想をダイジェスト版で紹介することはしない。哲学者本人が書いたテキストそのもの（翻訳ではあるが）を実際に読んでいくことにしたい。もちろんすべてを精読するわけにはいかないの、諸著作の一部を抜き出して検討することになる。

本物の哲学者の本物の哲学書から、哲学的な思考とはどのようなものかを実感することを目指す。それと同時に、はるか昔の頭のよい？人たちがどんな変なことを考えていたのかを楽しんでいきたい。

講義の内容・授業スケジュール

下に指定した教科書『原典による哲学の歴史』の原典の引用部分を丁寧に読み、解説していく。最初から順に読んでいく予定なので、授業スケジュールは教科書の目次を参照されたい。適宜プリントで内容の補足を行う。

履修上の留意点

教科書を必ず入手しておくこと。

成績評価の方法

中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）
授業中に適宜プリントを配布する予定。

参考書等

講義中に適宜指示する。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 哲学【〔近代の人間観と世界観〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経B法B営B選 経A法A営A選 | | | | |
| 担当者名 | 伊古田 理 <small>いこた まさる</small> | | | | |

講義のねらい

現代文明の形成にあたって中核をなした思想である、近代ヨーロッパ思想を紹介し、その問題点を探る。今年度は、特に「機械」について検討する。現代の科学技術文明は、さまざまな機械を製作し、またその前提として自然（および人間）を機械との類比でとらえようとする傾向を明らかに含んでいる。この発想の特性と問題点を探ることが、本年度の課題である。

講義の内容・授業スケジュール

まず、ヨーロッパ思想の源流である古代ギリシャ哲学、キリスト教思想について、必要などころをおさえ、そのうえで近代以降の思想の発展を解説する、という方針をとる。

成績評価の方法

夏期中間試験と冬期定期試験の成績を素点とし、100点満点での素点に対する失点の一定割合を、夏期レポート課題によりリカバーする。

教科書

久保他編『原典による哲学の歴史』（公論社）

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 哲学【〔現代文明と人間〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経B法B営B選 経A法A営A選 | | | | |
| 担当者名 | 鈴木 聡 <small>すずき さとる</small> | | | | |

講義のねらい

本講義では、現代哲学の重要問題を扱った素材を叩き台として、1つの問題をとことん考え抜くという態度を受講者が身につけるための機会を提供したい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、以下のトピックのうちのいくつかを取り上げる予定である。

1. 宇宙のはじまり
2. 懐疑論
3. 意識という謎
4. 推論の落とし穴
5. 他人の心
6. 考える機械
7. 意味とは何か？
8. 道徳を教えるのは神か？
9. 悪について
10. 芸術について
11. 知識について
12. 帰納法の正当化
13. タイム・トラベルは可能か？
14. 人は人を罰しうるか？
15. 人格の同一性
16. 様々なパラドクス

履修上の留意点

欠席・遅刻は一切認めない。必ず予習し、1回の講義につき少なくとも1回は質問すること。

成績評価の方法

成績は、出席状況・講義中の質問によって評価する。

教科書

開講時に指定する。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 論理学【(科学方法論と現代論理学)】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経B法B営B選 経A法A営A放選 | | | | |
| 担当者名 | 伊古田 理 | | | | |

講義のねらい

現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。

具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで(時間の許すかぎり)こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 古典的三段論法 (2) 公理系I～命題論理 (3) 公理系II～述語論理
(4) コンピュータと論理

成績評価の方法

年2回の試験(夏期中間試験+年度末定期試験)を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。

詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。

教科書

野矢茂樹著『論理学』(東京大学出版会)

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 論理学【(科学方法論と現代論理学)】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経B法B営B選 経A法A営A放選 | | | | |
| 担当者名 | あさお たかし 麻生 享志 | | | | |

講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものとするか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで(1) 論理とは何かを考え、(2) 変化する論理学の各内容についての知識を持ち、(3) 日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

論理の本性、真理論、論理パズルとパラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題を考えています。

履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなし、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料(60%)にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。

教科書

なし。

参考書等

多数。講義内にて詳細に説明します。

その他

講義と問題演習(ないし論述筆記)。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。(ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。)この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

| | | | | | |
|------|--------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 倫理学【〔現代と倫理〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経B法B営B選 | | | | |
| 担当者名 | 古田 知章 | | | | |

講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、様々な技術や科学が発達した現代において、それらに向きあう我々自身の方向性が分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、我々は、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知られなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きる我々の向かうべき方向も見えてくる。この見通しの上に立って、現代においての倫理的なあり方を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。倫理的原理についての検討

1. 倫理学における問題の所在 — 倫理的であること —
2. 古代ギリシアにおける様々な倫理思想
3. 中世における宗教的倫理観
4. ルネサンスと宗教改革 — 個としての人間 —
- I. 倫理的原理についての検討（前期の続き）
 - 近・現代における倫理思想 — 主体性と自由の問題 —
- II. 応用倫理学の諸問題への基礎的な検討
 1. 生命の尊厳と人生の質
 2. 人間と環境との関係
 3. 情報と倫理

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 倫理学【〔人生と倫理〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経B法B営B選 | | | | |
| 担当者名 | 末木 <small>すえき</small> 恭彦 <small>やすひこ</small> | | | | |

講義のねらい

倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。人が生きる上に指針を提供する。本科目を通じて、倫理学への基礎的理解を獲得し、自分の生き方を考える手がかりとすることを旨とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業の最初に、倫理とは何か、倫理学とは何か確認する。その後、今年度は環境と倫理の問題について考察を行う。環境問題は現在の世界の大きな課題となっている。しかし、環境の問題は既に古代から取り挙げられて来ている。特に、古代中国のいくつかの学派の議論を取挙げて講義をする。古代中国の環境をめぐる思索を顧みて、そこから現代の環境をめぐる倫理に知恵を汲み上げたい。

履修上の留意点

ノートはしっかりと取る。

成績評価の方法

各学期末の試験と、夏期休暇のレポートにより評価する。

教科書

浅野裕一『古代中国の文明観』（岩波新書）

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 教育の思想 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B234選 経A法A234選 商政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | 山本 <small>やまもと</small> 敏子 <small>としこ</small> | | | | |

講義のねらい

今日の学校教育が抱える様々な問題を解決していくための方向性を探ることを目指して、日本の公教育制度に影響を及ぼした西洋近代の教育思想への理解を深めるとともに、それが成立する以前に日本列島各地に息づいていた民衆教育思想を学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

概略は以下の通りですが、授業のすすめ方や詳しいスケジュールについては初回に具体的な案を提示して、受講者の皆さんと相談の上、決めます。

- ・日本の基層文化に流れる教育の思想
- ・近世の表層文化に現れた教育の思想
- ・西洋近代教育思想の二つの大きな流れ

成績評価の方法

出席状況、学期末レポートなどの総合評価。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する予定です。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

| | | | | | |
|------|---------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 教育と社会 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B234選 経A法A234選 商政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | やまもと としこ 山本 敏子 | | | | |

講義のねらい

近代社会の教育は、全生活領域にわたる経営体としての家共同体の解体および近代国民国家の形成と深く関わっています。近代学校成立以前の社会における多様な教育システムを家共同体との関わりで考察することにより、近代学校システムの特徴や問題点を明らかにするとともに、これからの教育のあり方を模索していきます。

講義の内容・授業スケジュール

様々な教育問題や近年の教育改革の動向にも触れながら、次のような柱立てで進めていく予定です。

- ・「家」が未成立の社会と教育システム
- ・「家」社会の形成と教育システム
- ・「家」の解体と近代学校システムの稼働

成績評価の方法

出席状況、学期末レポートなどの総合評価。

教科書

特に使用せず、必要に応じて資料を配布します。

参考書等

適宜紹介します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

| | | | | | |
|------|---------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 発達と学習の心理学 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 経B法B営B234選 経A法A234選 商政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | みくに りゅうこ 三國 隆子 | | | | |

講義のねらい

- ・子どもから大人へ。人の発達過程について概観する。
- ・発達や個に応じた学習や教育について学ぶ。
- ・以上を踏まえ、学校現場で行われる教育や指導のあり方について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ・発達とは何か
- ・発達の特徴と発達理論
- ・発達観の変遷と教育
- ・学習とは何か
- ・学習と評価
- ・意欲と学習（1）動機づけ理論
- ・意欲と学習（2）自己効力感

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末にレポート試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末レポートを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

| | | | | | |
|------|-------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | カリキュラムと学習 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 担当 | 経B法B営B234選 経A商法A政営A234選 | | | | |
| 担当者名 | みくに りゅうこ 三國 隆子 | | | | |

講義のねらい

- ・学習指導要領から読み取れる、日本の教育課程を理解する。
- ・カリキュラムと学習の効果について学ぶ。
- ・学校現場で行われているカリキュラムの実際と課題について理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・我が国の教育課程
- ・学習指導要領の変遷
- ・教授と学習の効果
- ・カリキュラムと学習の効果
- ・学校教育（1）教育制度・カリキュラムの実際について
- ・学校教育（2）教育評価・今後の課題について

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末にレポート試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末レポートを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 社会科学論【(社会認識の思想)】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経B法B営B選 経A法A営A選 | | | | |
| 担当者名 | 枝松 正行 | | | | |

講義のねらい

社会科学には自然科学や人文科学とは独自の対象把握の方法や体系がある。すなわち、社会現象を形成する個々の人間は、生産的労働を中心とする活動の担い手として、つねに目的意識的な社会活動を行う能動的主体であるにもかかわらず、総体としての社会現象は、市場メカニズムに象徴されるように、人間の意識を超えた物理現象の如き客観的な運動法則に従っている。しかもそれは連続的であると同時に、不連続な飛躍や発展を伴う固有の歴史法則でもある。その意味で、社会科学論は、政治学や経済学、法学、社会学、宗教学、倫理学など個別社会科学全体を貫く普遍的で総体的な発展法則の解明を課題とするメタ社会科学であるといつてよい。

グローバルトリレンマに直面した現代世界は過去に例を見ない大転換期にあるが、歴史科学であると同時に未来科学でも社会科学論こそは、現代社会の変化・生成・発展法則の解明とリスクの回避に究極的な使命を担っている。それゆえ、現代人の歴史的課題とその根本的な解決としての未来社会論を必然的に内包する普遍的な発展法則の理解こそが講義の最終目標となる。

講義の内容・授業スケジュール

講義では、アリストテレスの形而上学、ヘーゲル論理学、マルクス経済学、ヴェーバー社会学、ドラッカー経営学などの方法に学びつつ、社会経済システムの転換メカニズムを解明し、オルタナティブで持続可能なアソシエーション社会への移行を展望する。

このような社会科学的視座の習得を基礎として、さらに、これらを現代社会に適用し、同時多発テロ以降の世界情勢や日本「構造改革」の歴史的な性格を解明するとともに「循環型・男女共同参画社会」への現実的転換を加速しうる実践的な政策・管理科学についても明らかにしていく。

履修上の留意点

日々の経済・社会報道に関心を注ぎ、たえず生の現実素材を取り入れておくこと。

成績評価の方法

前・後期の中間試験ないしレポートと平常点により評価する。

教科書

とくに指定しないが、参考文献はその都度紹介する。

参考書等

大塚久雄『社会科学の方法』岩波新書、渡辺憲正『イデオロギー論の再構築』青木書店、など。

その他

毎回、授業の冒頭で前回授業のカードによる学生諸君の質問・意見・要望に応え、授業に反映させていく。個別の質問・相談は授業終了時に対応する。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 経済学【〔現代経済と人間〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経B法B選 経A法A放選 | | | | |
| 担当者名 | 沼田 郷 <small>ぬまた さとし</small> | | | | |

講義のねらい

現代経済に人間がどのように関わっているのか、またどのような状況におかれているのかをわかりやすく講義したいと考えています。現代経済を読み解くキーワードを理解することが目標となります。

講義の内容・授業スケジュール

・世界経済に関する理論・今日の地球環境・世界の経済格差・大量消費社会の実態・世界の貿易と投資・物質的繁栄の代償・成長するアジアと停滞するアフリカ・環境問題・経済成長と石油資源・開発論の検討・世界の貿易と投資・ODAとは何か・地球環境と資源・環境への取り組み・世界経済と多国籍企業

さしあたり、以上のような項目を準備しています。これ以外にも受講者の意見を取り入れながら随時項目を追加する予定です。また、ビデオなど映像資料を用いることも検討しています。

履修上の留意点

現代経済は非常にめまぐるしく変化しています。特に「グローバリゼーション」は、程度の差こそあれ我々人間に大きな影響を与えています。こうした今日的な問題を扱うため、受講生には日々のニュースに関心をもってもらうことが、本講義履修の留意点になります。

成績評価の方法

学期末の試験は受講生の強い要望がない限り行いません。したがって、レポートの作成を求めます(年間で1、2回)。また、出席カードの提出にかえて、講義終了時に書いていただく講義内容についての小レポートも成績に反映させます。

教科書

本講義の性質上教科書は指定しません。しかしながら、参考文献、資料等に関しては講義の中で随時お知らせいたします。

その他

授業方法は履修人数にもよりますが講義形式で行います。パワーポイントでの授業を基本としますが、必要に応じて資料等の配布も行います。

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 社会学【(現代社会を考える)】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経B法B営B選 経A法A営A放選 | | | | |
| 担当者名 | 呉 <small>びよんさん</small> 炳三 | | | | |

講義のねらい

社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 社会学の基礎概念:

はじめに—社会学とは—(1)

I 行為論:(2) 社会学における行為、(3) 行為者としての個人、(4) 社会化と人間形成、(5) 日本的行為論

II 集団論:(6) 集団の概念、(7) 官僚制理論、(8) 小集団論、(9) 集団の類型、(10) 日本的集団論

(後期) 現代社会の特徴的な諸相:

(11) 家族、(12) 恋愛、(13) 結婚、(14) 若者・IT文化、(15) 少年犯罪、(16) 自殺、

(17) ジェンダー、(18) 少子・高齢、(19) アダルトチルドレン、摂食障害、

(20) 就職、転職、リストラ、(21) フリーター、ニート、引きこもり、(22) 性同一性障害など

以上、講義の予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

履修上の留意点

本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業中は指定の教科書や辞書を必ず持参することと、宿題を出すので、宿題をきちんと提出することの出来る学生が受講することを勧める。

成績評価の方法

出席状況と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 社会学【〔現代文化を考える〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経B法B営B選 経A法A営A放選 | | | | |
| 担当者名 | 橋爪 敏 <small>はしづめ さとし</small> | | | | |

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題－文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等－を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）
その他授業中に適宜指示したい。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 統計学【(社会現象の統計的決定)】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経B法B営B選 経A法A営A選 | | | | |
| 担当者名 | 新行内 ^{しんぎやうち こうじ} 康慈 | | | | |

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 統計学の概要 (2) 度数分布表とヒストグラム (3) 基本統計量
(4) 確率の定義 (5) 場合の数 (6) 和事象・積事象の確率
(7) 演習 (8) 確率変数と確率分布 (9) 平均・分散と期待値
(10) 確率変数の標準化 (11) 正規分布表 (12) 演習 (13) まとめ
(後期) (14) 母集団と標本 (15) 点推定と区間推定 (16) 母平均・母分散の推定
(17) 仮説検定 (18) 母平均・母分散の検定 (19) 母平均の差の推定・検定
(20) 母比率の推定・検定 (21) その他の推定・検定 (22) 演習
(23) 散布図と相関係数 (24) 回帰分析 (25) 回帰分析の応用 (26) まとめ

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

3回の演習と期末試験を総合的に評価します。

教科書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等

石村貞夫『すぐわかる統計解析』東京図書
前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』日本実業出版
永田靖『入門 統計解析法』日科技連出版
東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』東京大学出版

その他

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 文化人類学【〔文化と人間〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経B法B営B選 経A法A営A放選 | | | | |
| 担当者名 | 川上 ^{かわかみ} 新二 ^{しんじ} | | | | |

講義のねらい

文化人類学は、世界各地のさまざまな人々の文化を理解し、さらにそれを通じて究極的には人間の理解を目指そうとする学問です。そして、私たちとは異なる人々の文化を理解するためには、客観的な見方を養う必要があります。見方を誤ると理解ではなく、誤解になってしまう危険性があります。この講義では、異文化を理解するための見方を養うことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文化人類学の特徴、文化とは何か、文化人類学の歴史と代表的な学説を紹介します。後期では、具体的な文化事象をとりあげて（日本、韓国、中国など東アジアの文化を中心に考えています）、文化人類学による見方を紹介します。

成績評価の方法

レポートと学期末の試験で評価します。随意のレポート提出など積極的な姿勢があれば、評価に加えます。

教科書

使用しません。

参考書等

伊藤亜人監訳『韓国文化シンボル事典』平凡社、2006年など。その他、講義のなかで適宜紹介します。

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 文化人類学【(諸民族とコスモロジー)】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経B法B営B選 経A法A営A放選 | | | | |
| 担当者名 | 杉井 純一 <small>すぎい じゆんいち</small> | | | | |

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしぐみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、むずかしさを味わいながら、「異質なものとの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

I 文化人類学の基礎

1. 文化人類学とは何か
2. 文化人類学の歩み(1)
3. 文化人類学の歩み(2)
4. 文化とコミュニケーション
5. 環境と人間(1) 狩猟採集民
6. 環境と人間(2) 牧畜民
7. 環境と人間(3) 農耕民
8. ジェンダー
9. セクシュアリティ
10. 婚姻の形態
11. 家族の多様性
12. 親族と社会

II 民族とコスモロジー

1. 呪術と宗教
2. アニミズム
3. シャーマニズム
4. シンクレティズム
5. 儀礼の構造
6. コスモロジー
7. 神話
8. 政治組織
9. 民族とエスニシティ
10. 民族紛争と戦争
11. 開発と文化
12. 移動の民族誌

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート(20%)、期末試験(60%)、平常点(20%)で評価します。

教科書

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書)800円
 山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣)1,700円
 佐々木宏幹・村武精一編『宗教学人類学』(新曜社)2,200円

その他

できるだけ、ビデオを利用します(年に4~5回程度)。

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 政治学【〔政治システムと政治参加〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経B法B営B選 経A法A営A選 | | | | |
| 担当者名 | 眞下 ^{ました} 英二 ^{えいじ} | | | | |

講義のねらい

そもそも政治とは何か、何のために存在しているのか？政治学の基本的な知識を身につけることにより、社会における政治の役割とわれわれの生活との関わり合いについて考察していく。とりわけ、現代民主主義における参加の問題についても検討を加えていく。

講義の内容・授業スケジュール

春学期：政治学の基本的な概念を中心に検討していく。特に、民主主義に関する問題は、時間をかけて行っていく。

秋学期：より現代的な問題を取り上げながら、現代社会の民主主義の問題について検討を行う。特に、政治システムと政治参加について、より詳細に検討していく予定である。

履修上の留意点

この講義においては、他の履修者の迷惑となるような行為は一切禁止する。当然のことながら、私語は厳禁である。

また、政治学や社会科学全般に関する知識は、必ずしも必要としないが、最低限、社会的な諸問題についての知識を持っていることが期待される。

成績評価の方法

成績評価は、原則的に期末試験の得点のみによって行う。ただし、必要な場合にはレポートを課すこともある。詳細については、講義中に指示する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

加藤秀治郎他『政治学の基礎』（一藝社）2002年
 加藤秀治郎・中村昭雄『新版スタンダード政治学』（芦書房）1999年
 他は追って指示する。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 政治学【(国際社会と日本)】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経B法B営B選 経A法A営A選 | | | | |
| 担当者名 | 山村 ^{やまむら} 恒雄 ^{つねお} | | | | |

講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 地球的問題群
- 4 第二次世界大戦後の国際政治の変容
- 5 冷戦と核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本が直面する諸問題

履修上の留意点

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。

成績評価の方法

夏休み明けのレポートと学期末試験による。なお、夏休み明けのレポートを提出しない者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

授業中、随時指定。

| | | | | | |
|------|---------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 心理学【(ヒューマン・ウォッチング)】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経A法A営A選 経B法B営B選 | | | | |
| 担当者名 | オズキ ジュンイチ 鈴木 順一 | | | | |

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツの学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強する）ことではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子のために「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

【前期】 [1]学習とは？ 授業方針 [2]エンカウンター（出会いと人間関係づくり） [3]グループ形成と集団規範 [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]無意識の心の働き（精神分析的人格理論） [9]環境を知る働き（感覚・知覚・認知）

【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12]自己肯定の人間関係 [13]学習理論と行動療法 [14]relaxationによる心身の健康回復

履修上の留意点

最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただき、毎回グループごとに自筆で出席をとり本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協学習習・相互学習・体験学習・発見学習ですの、集団規範を守ることと、全回出席することが求められます。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。

成績評価の方法

出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。平常点で評価しますので、学年末定期試験及び追・再試験はありません。

教科書

使用しません。授業内で紹介する参考図書や下記参考書の指摘する部分などを読み概念学習を進めていただきます。

参考書等

中村昭之編著『心理学概説』（八千代出版）

その他

すべての「心理学」の授業で、心理学科卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 心理学【2〔人間関係を考える〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経A法A営A選 経B法B営B選 | | | | |
| 担当者名 | 鈴木 順一 <small>すずき じゆんいち</small> | | | | |

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強する）ことではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

【前期】 [1]学習とは？ 授業方針 [2]エンカウンター（出会いと人間関係づくり） [3]グループ形成と集団規範 [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]無意識の心の働き（精神分析的人格理論） [9]環境を知る働き（感覚・知覚・認知）

【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12] 自己肯定の人間関係 [13]学習理論と行動療法 [14]relaxationによる心身の健康回復

履修上の留意点

最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただき、毎回グループごとに自筆で出席をとり本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範を守ること、全回出席することが求められます。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。

成績評価の方法

出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。平常点で評価しますので、学年末定期試験及び追・再試験はありません。

教科書

使用しません。授業内で紹介する参考図書や下記参考書の指摘する部分などを読み概念学習を進めていただきます。

参考書等

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学―体験をとおして学ぶ心理学―』（福村出版）

その他

すべての「心理学」の授業で、心理学科卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 生物学【(生態と進化)】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経A法A管A選 経B法B管B選 | | | | |
| 担当者名 | 清水 ^{しみず} 善和 ^{よしかず} | | | | |

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連綿と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この複雑、多様な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の「進化」、「多様性」、「遺伝子」を3つのキーワードにして、生物の進化や生態の実際を体系的に紹介するとともに、進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンブリアの爆発
 (4) 生物の上陸 (5) 大量絶滅
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計
 (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか
 (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比
 (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 生物の人口論－産めよ殖えよ地に満てよ
 (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K淘汰 (3) 食う・食われる関係
 (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化)
 (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム
 (4) 進化論と宗教
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸
 (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環
 (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯
 (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション
 (1) 里山の生物 (2) 都市化と生物 (3) 帰化種の侵入

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書

講義内容を記述した「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。受講者は清水のHPより自由

教科書

にダウンロードして利用できる。

参考書等

「web版教科書」で章ごとに紹介する。

その他

講義で必要な図表は章ごとに1枚のプリントにして配布する。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 生物学【〔生物と環境〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経A法A営A選 経B法B営B選 | | | | |
| 担当者名 | なかむら としえ 中村 敏枝 | | | | |

講義のねらい

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至った。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろいな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。

後期には、環境問題を取りあげる。科学技術は私たちに快適で豊かな生活をもたらした。しかしその負の部分が近年私たちに脅かしている。その一つである人工化学物質の功罪について考える。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 生物の生活

(1-5) 地球の歴史と生命の起源

(6-13) 生態系のしくみ

(後期) 化学物質の功罪—豊かな生活とそのつけ

(14-21) ゴミ処理とダイオキシン汚染

(22-23) 水銀汚染と水俣病

(24-25) 人工放射性物質汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円

参考書等

授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

| | | | | | |
|------|-----------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | コンピュータ基礎【(コンピュータと情報)】 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B選 | | | | |
| 担当者名 | さわぐち たかし 澤口 隆 | | | | |

講義のねらい

DTP (Desk Top Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用したCADイメージ、映画などで用いられるリアルなCG映像や、インターネットブラウザ上でのFLASHアニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSは Windows を使い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。Web サイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (Hyper Text Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること (キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

| | | | | | |
|------|-----------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | コンピュータ基礎【(コンピュータと情報)】 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B選 | | | | |
| 担当者名 | 谷本 玲大 | | | | |

講義のねらい

課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。
前半では情報検索とマナーについて学び、後半では Word、Excel の基本的な技能を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス／履修許可
 - 2 情報倫理概説／起動～ログオン～終了／検索エンジンとWWW体験
 - 3 画像処理／電子メールのマナーと実習／添付ファイル
 - 4 パスワードの管理／解凍／ファイルの種類と拡張子／タイピング練習
 - 5～8 Word
 - 9～12 Excel
 - 13～15 予備
- ※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある。

履修上の留意点

初心者～中級向け。実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。

成績評価の方法

初回講義欠席者は単位認定しない。受講態度や出席状況等の平常点 (40%)、課題・レポート (60%)。総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外。遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。講義中に他学生に迷惑となるような行為のあった場合、教員の指示に従わない場合は、履修許可を取り消すことがある。

教科書

小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』
(講談社現代新書1603) 2002/04、714円 ISBN: 4-061496034

| | | | | | |
|------|-----------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | コンピュータ基礎【(コンピュータと情報)】 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B選 | | | | |
| 担当者名 | さわぐち たかし 澤口 隆 | | | | |

講義のねらい

DTP (Desk Top Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用したCADイメージ、映画などで用いられるリアルなCG映像や、インターネットブラウザ上でのFLASHアニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSは Windows を使い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。Web サイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (Hyper Text Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること (キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

| | | | | | |
|------|---------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | コンピュータ基礎【(コンピュータと情報)】 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B選 | | | | |
| 担当者名 | 谷本 ^{たにもと} 玲大 ^{さちひろ} | | | | |

講義のねらい

課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。
前半では Excel の使いこなしを目指し、後半では PowerPoint 発表会によって対人コミュニケーション能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス／履修許可
- 2～3 Excel 基礎
- 4～7 Excel 応用
- 8～12 PowerPoint
- 13～15 予備

※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある。

履修上の留意点

中級向け。パソコンでインターネット検索、文章入力ができる程度の技能が必要である。実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。

成績評価の方法

初回講義欠席者は単位認定しない。受講態度や出席状況等の平常点(40%)、課題・レポート(60%)。総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外。遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。講義中に他学生に迷惑となるような行為のあった場合、教員の指示に従わない場合は、履修許可を取り消すことがある。

教科書

小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』
(講談社現代新書1603) 2002/04、714円 ISBN: 4-061496034

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 地球科学【〔地球の素顔と地球環境問題〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経A法A営A選 経B法B営B選 | | | | |
| 担当者名 | 加藤 潔 <small>かとう きよし</small> | | | | |

講義のねらい

最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会があまり無かった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、プレートテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題（地球温暖化など）について触れます。

成績評価の方法

主に期末試験で評価されます。また前・後期に3回ぐらいずつビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます（各5点程度）。

教科書

特に定めない。適宜プリントを配布。

参考書等

『ニューステージ地学図表 新訂』（浜島書店）

その他

プロジェクター、ビデオ等を使用します。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 地球科学【(地球の素顔と地球環境問題)】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経A法A営A選 経B法B営B選 | | | | |
| 担当者名 | 加藤 潔 <small>かとう きよし</small> | | | | |

講義のねらい

最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会があまり無かった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、ブルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題（地球温暖化など）について触れます。

成績評価の方法

主に期末試験で評価されます。また、前・後期に3回ぐらいずつ、ビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます（各5点程度）。

教科書

特に定めない。適宜プリントを配布。

参考書等

『ニューステージ地学図表 新訂』（浜島書店）

その他

プロジェクター、ビデオ等を使用します。

| | | | | | |
|------|----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 自然環境論【(宇宙から見た地球環境)】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経A法A営A選 経B法B営B選 | | | | |
| 担当者名 | <small>しのほら まさお</small> 篠原 正雄 | | | | |

講義のねらい

現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち、宇宙を視点に地球の自然環境について講義します。

多くの要因が複雑に絡みあう地球規模の環境問題について、原因や対策がすでにわかっているとは到底言えません。しかし、地球環境の基礎を形作る事柄についての研究は着実に進んでいます。この講義を通して個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 宇宙と地球環境
自然の階層構造 宇宙137億年の歴史 地球46億年の歴史 地球の進化と地球環境の形成
2. 地球環境の変動
宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動
3. 地球環境問題
オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題
4. 宇宙と地球の未来
文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI (地球外文明探査)

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

木下紀正・八田明夫著『地球と環境の科学』（東京教学社）2,300円＋税

参考書等

講義の中で適宜紹介します。

その他

「宇宙」に関する映像を使うことがあります。教科書外の事柄については適宜プリント等を配布します。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 自然環境論【(生命と環境)】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経A法A営A選 経B法B営B選 | | | | |
| 担当者名 | やまがわ たけし 山縣 毅 | | | | |

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきました。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が地球環境に与える影響、自然と人間の関わりについて考えていくことを目標としています。

講義の内容・授業スケジュール

〔地球表層の環境〕

1. 大気構造とオゾン層
2. 気候の決定要因
3. 生物生存条件としての地球磁場

〔人間活動による環境変化〕

1. 公害問題の変遷
2. 地球温暖化とその要因
3. 大気汚染
4. 酸性雨
5. 光化学スモッグ
6. 海洋汚染
7. 資源とエネルギー

〔自然災害〕：

1. 気候変動
2. 地震とその災害
3. 火山とその災害

成績評価の方法

成績は、定期試験とレポートにて評価します。

教科書

特になし。

参考書等

講義中に紹介します。

その他

講義にて、資料プリントを配布します。

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 情報数学【〔情報と論理〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 経A法A営A選 経B法B営B選 | | | | |
| 担当者名 | 小沢 ^{おざわ} 誠 ^{まこと} | | | | |

講義のねらい

コンピュータサイエンスを学ぶ上で必要な数学を身に着けることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に従って以下の項目を解説する。

1. 集合・・・記号論理、写像、関係
2. ブール代数・・・二進数、電子回路
3. ベクトル・・・ベクトルの演算、ベクトル空間
4. 行列と行列式・・・連立一次方程式、行列の演算、行列式

また、必要に応じてグラフ理論についても解説する。

履修上の留意点

毎回必ず出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の期末試験の結果で評価する。

教科書

野崎昭弘／田中公治 共著『情報数学入門』サイエンス社
1173円（税込）ISBN4-7819-0171-9

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

3. 外国語科目

3. 外国語科目

〔英語〕

| 科目名 | 曜日・時間 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|--------------------|-------|------------|------|----|--------|-----|
| 英語IA | 火7 | 法B1年 | 通年 | 2 | 佐々木 隆 | 745 |
| 英語IA | 火7 | 法B1年 | 通年 | 2 | 吉川 直澄 | 745 |
| 英語IA | 火7 | 法B1年 | 通年 | 2 | 照山 雄彦 | 746 |
| 英語IA | 火7 | 法B1年 | 通年 | 2 | 今井 夏彦 | 746 |
| 英語IA 【〔基礎英語特別クラス〕】 | 金6 | 法B1年 | 通年 | 2 | 樋渡 俊光 | 746 |
| 英語IB | 金7 | 法B1年 | 通年 | 2 | 行廣 泰三 | 747 |
| 英語IB | 金7 | 法B1年 | 通年 | 2 | 杉本 誠 | 747 |
| 英語IB | 金7 | 法B1年 | 通年 | 2 | 木村 正俊 | 748 |
| 英語IB | 金7 | 法B1年 | 通年 | 2 | 笹倉 貞夫 | 748 |
| 英語IB 【〔基礎英語特別クラス〕】 | 木7 | 法B1年 | 通年 | 2 | 杉本 誠 | 749 |
| 英語IA〔再クラス〕 | 月7 | 経B法B営B234年 | 通年 | 2 | 高橋 寛 | 749 |
| 英語IB〔再クラス〕 | 月7 | 経B法B営B234年 | 通年 | 2 | 高橋 寛 | |
| 英語IA〔再クラス〕 | 水6 | 経B法B営B234年 | 通年 | 2 | 熊沢 和明 | 750 |
| 英語IB〔再クラス〕 | 水6 | 経B法B営B234年 | 通年 | 2 | 熊沢 和明 | |
| 英語IA〔再クラス〕 | 水7 | 経B法B営B234年 | 通年 | 2 | 熊沢 和明 | 750 |
| 英語IB〔再クラス〕 | 水7 | 経B法B営B234年 | 通年 | 2 | 熊沢 和明 | |
| 英語IA〔再クラス〕 | 木7 | 経B法B営B234年 | 通年 | 2 | 町田 成男 | 751 |
| 英語IB〔再クラス〕 | 木7 | 経B法B営B234年 | 通年 | 2 | 町田 成男 | |
| 英語IIA | 火6 | 法B2年 | 通年 | 2 | 照山 雄彦 | 752 |
| 英語IIA | 火6 | 法B2年 | 通年 | 2 | 川崎 浩太郎 | 752 |
| 英語IIA | 火6 | 法B2年 | 通年 | 2 | 吉川 直澄 | 753 |
| 英語IIB | 金6 | 法B2年 | 通年 | 2 | 林 孝憲 | 754 |
| 英語IIB | 金6 | 法B2年 | 通年 | 2 | 杉本 誠 | 754 |
| 英語IIB | 金6 | 法B2年 | 通年 | 2 | 行廣 泰三 | 755 |
| 英語IIA〔再クラス〕 | 火6 | 経B法B営B34年 | 通年 | 2 | 尾形 重政 | 755 |
| 英語IIB〔再クラス〕 | 火6 | 経B法B営B34年 | 通年 | 2 | 尾形 重政 | |
| 英語IIA〔再クラス〕 | 木6 | 経B法B営B34年 | 通年 | 2 | 岸本 茂和 | 756 |
| 英語IIB〔再クラス〕 | 木6 | 経B法B営B34年 | 通年 | 2 | 岸本 茂和 | |
| 英語IIA〔再クラス〕 | 土5 | 経B法B営B34年 | 通年 | 2 | 飯沼 好永 | 756 |
| 英語IIB〔再クラス〕 | 土5 | 経B法B営B34年 | 通年 | 2 | 飯沼 好永 | |
| 英語IIA〔再クラス〕 | 土5 | 経B法B営B34年 | 通年 | 2 | 本間 俊一 | 757 |
| 英語IIB〔再クラス〕 | 土5 | 経B法B営B34年 | 通年 | 2 | 本間 俊一 | |

〔ドイツ語〕

| 科目名 | 曜日・時間 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|--------------|-------|------------|------|----|-------|-----|
| ドイツ語IA | 火7 | 法B1年 | 通年 | 2 | 清水 修 | 758 |
| ドイツ語IB | 金7 | 法B1年 | 通年 | 2 | 篠原 敏昭 | 758 |
| ドイツ語IA〔再クラス〕 | 土4 | 経B法B営B234年 | 通年 | 2 | 本橋 右京 | 759 |
| ドイツ語IB〔再クラス〕 | 土4 | 経B法B営B234年 | 通年 | 2 | 本橋 右京 | |
| ドイツ語IIA | 火6 | 法B2年 | 通年 | 2 | 清水 修 | 759 |

| | | | | | | |
|---------------|----|-----------|----|---|-------|-----|
| ドイツ語IIB | 金6 | 法B2年 | 通年 | 2 | 篠原 敏昭 | 760 |
| ドイツ語IIA〔再クラス〕 | 土3 | 経B法B営B34年 | 通年 | 2 | 本橋 右京 | 760 |
| ドイツ語IIB〔再クラス〕 | 土3 | 経B法B営B34年 | 通年 | 2 | 本橋 右京 | |

〔フランス語〕

| 科目名 | 曜日・時間 | 担当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|----------------|-------|------------|------|----|--------|-----|
| フランス語IA | 火7 | 法B1年 | 通年 | 2 | 高橋 明美 | 761 |
| フランス語IB | 金7 | 法B1年 | 通年 | 2 | 木下 雄介 | 761 |
| フランス語IA〔再クラス〕 | 土4 | 経B法B営B234年 | 通年 | 2 | 長谷川 光明 | 762 |
| フランス語IB〔再クラス〕 | 土4 | 経B法B営B234年 | 通年 | 2 | 長谷川 光明 | |
| フランス語IIA | 火6 | 法B2年 | 通年 | 2 | 高橋 明美 | 762 |
| フランス語IIB | 金6 | 法B2年 | 通年 | 2 | 木下 雄介 | 763 |
| フランス語IIA〔再クラス〕 | 土3 | 経B法B営B34年 | 通年 | 2 | 長谷川 光明 | 763 |
| フランス語IIB〔再クラス〕 | 土3 | 経B法B営B34年 | 通年 | 2 | 長谷川 光明 | |

〔中国語〕

| 科目名 | 曜日・時間 | 担当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|--------------|-------|------------|------|----|--------|-----|
| 中国語IA | 火7 | 法B1年 | 通年 | 2 | 塩旗 伸一郎 | 764 |
| 中国語IB | 金7 | 法B1年 | 通年 | 2 | 王 聡 | |
| 中国語IA〔再クラス〕 | 土4 | 経B法B営B234年 | 通年 | 2 | 大久保 明男 | 764 |
| 中国語IB〔再クラス〕 | 土4 | 経B法B営B234年 | 通年 | 2 | 大久保 明男 | |
| 中国語IA〔再クラス〕 | 土3 | 経B法B営B234年 | 通年 | 2 | 曹 泰和 | 765 |
| 中国語IB〔再クラス〕 | 土3 | 経B法B営B234年 | 通年 | 2 | 曹 泰和 | |
| 中国語IIA | 火6 | 法B2年 | 通年 | 2 | 秋元 翼 | 765 |
| 中国語IIB | 金6 | 法B2年 | 通年 | 2 | 王 聡 | 766 |
| 中国語IIA〔再クラス〕 | 土3 | 経B法B営B34年 | 通年 | 2 | 弘兼 加奈子 | 766 |
| 中国語IIB〔再クラス〕 | 土3 | 経B法B営B34年 | 通年 | 2 | 弘兼 加奈子 | |

〔スペイン語〕

| 科目名 | 曜日・時間 | 担当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|----------------|-------|------------|------|----|--------|-----|
| スペイン語IA | 火7 | 法B1年 | 通年 | 2 | 荻野 雅司 | 767 |
| スペイン語IB | 金7 | 法B1年 | 通年 | 2 | 中山 直次 | 767 |
| スペイン語IA〔再クラス〕 | 土4 | 経B法B営B234年 | 通年 | 2 | 栗林 ゆき絵 | 768 |
| スペイン語IB〔再クラス〕 | 土4 | 経B法B営B234年 | 通年 | 2 | 栗林 ゆき絵 | |
| スペイン語IIA | 火6 | 法B2年 | 通年 | 2 | 荻野 雅司 | 768 |
| スペイン語IIB | 金6 | 法B2年 | 通年 | 2 | 中山 直次 | 769 |
| スペイン語IIA〔再クラス〕 | 土3 | 経B法B営B34年 | 通年 | 2 | 栗林 ゆき絵 | 770 |
| スペイン語IIB〔再クラス〕 | 土3 | 経B法B営B34年 | 通年 | 2 | 栗林 ゆき絵 | |

〔ロシア語〕

| 科目名 | 曜日・時間 | 担当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|--------------|-------|------------|------|----|----------------|-----|
| ロシア語IA | 火7 | 法B1年 | 通年 | 2 | 廣田 英靖 | 771 |
| ロシア語IB | 金7 | 法B1年 | 通年 | 2 | 廣田 英靖 | 772 |
| ロシア語IA〔再クラス〕 | 土4 | 経B法B営B234年 | 通年 | 2 | 杉山 秀子 廣田 英靖 | 773 |
| ロシア語IB〔再クラス〕 | 土4 | 経B法B営B234年 | 通年 | 2 | 杉山 秀子 廣田 英靖 | |
| ロシア語IIA | 火6 | 法B2年 | 通年 | 2 | 廣田 英靖 | 773 |

| | | | | | | |
|---------------|----|-----------|----|---|----------------|-----|
| ロシア語IIB | 金6 | 法B2年 | 通年 | 2 | 廣田 英靖 | 774 |
| ロシア語IIA〔再クラス〕 | 土3 | 経B法B営B34年 | 通年 | 2 | 杉山 秀子 廣田 英靖 | 774 |
| ロシア語IIB〔再クラス〕 | 土3 | 経B法B営B34年 | 通年 | 2 | 杉山 秀子 廣田 英靖 | |

《選 択 科 目》

| 科 目 名 | 曜日・時限 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|---------|-------|---------|------|----|---------------|-----|
| 英会話I | 金6 | 経B法B営B選 | 通年 | 2 | ロビン、 G. F. | 775 |
| 英会話II | 金7 | 経B法B営B選 | 通年 | 2 | ロビン、 G. F. | 775 |
| 英語L LI | 火7 | 経B法B営B選 | 通年 | 2 | 川崎 浩太郎 | 776 |
| 英語L LII | 木6 | 経B法B営B選 | 通年 | 2 | 林 明人 | 776 |

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのびします。文章表現の場合、文から段落へ、会話表現の場合、日常基本表現から、多様な会話表現の理解と運用能力を目指します。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B1年 | | | | |
| 担当者名 | ささき たかし 佐々木 隆 | | | | |

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。文章表現の場合、センテンスからパラグラフへ、会話表現の場合、日常基本表現からダイアログ (多様な会話表現の理解と運用能力) をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めると同時に、英語表現に注意を払う。

成績評価の方法

試験の結果を含めた総合判断。

教科書

『アクティブ・コミュニケーション』(南雲堂) 1,300円

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B1年 | | | | |
| 担当者名 | きつかわ なおずみ 吉川 直澄 | | | | |

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、TOEIC® テスト形式の問題演習や日常基本表現の習得を通して、英語の運用力を高める。

講義の内容・授業スケジュール

毎回ハンドアウトを配付し、使用する。再度使用する場合もあるので、きちんと保管していただきたい。

履修上の留意点

きちんと復習をしておくこと。提出物は必ず提出すること。

成績評価の方法

出席 (評価の30%)、授業参加・授業内提出物 (30%)、前期後期試験 (40%) を総合的に検討して評価する。

教科書

未定

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B1年 | | | | |
| 担当者名 | 照山 雄彦 <small>てるやま ゆうひこ</small> | | | | |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 英文を正しく読み、発音して、また英文を正しく理解することを目標とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 上記の内容を達成するために、最重要動詞、最重要名詞、また基礎となる文型をいくもの例題を使った文章を暗記し習得していく。 |
| 履修上の留意点 | 予習を必ずやってくること。 |
| 成績評価の方法 | 毎回初めに小テストを行うので、その結果と授業の態度、出席状況を考慮して評価を行う。 |
| 教科書 | 追って連絡します。 |

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B1年 | | | | |
| 担当者名 | 今井 夏彦 <small>いまい なつひこ</small> | | | | |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 基礎的な文法や語彙、口頭でのコミュニケーションに必要な基本的な表現法を確認します。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1回1章の進度を目安に英文法の復習と口頭での練習をします。 |
| 履修上の留意点 | 必ず辞書を引いて予習をしていくこと。 |
| 成績評価の方法 | 日常点を重視し、前・後期の試験の結果を入れて総合的に評価します。 |
| 教科書 | 『英会話のためのコミュニケーション英作文』松柏社 ¥1,500 ISBN 4-88198-511-6 |

| | | | | | |
|------|---------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA 【〔基礎英語特別クラス〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B1年 | | | | |
| 担当者名 | 樋渡 俊光 <small>ひわたりにしゆんこう</small> | | | | |

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 入学時の英語力を基礎として英語の運用能力の向上をめざす。文章表現の場合、英語文章を形成するパターンの徹底的に理解し、運用できることを目標にする。又会話表現に関しては、多様な会話表現の理解と運用能力の向上をはかる。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 教材を中心に、色々な場面に応じた単語、文章を暗記しそれぞれの単元を通して国際人としての英語力を身につける。 |
| 履修上の留意点 | 前単元の暗記・辞書持参 |
| 成績評価の方法 | 前後期試験・レポート提出により総合的に評価を行う。 |
| 教科書 | Listening Workout for the TOEIC Test(Travel English) ¥1,260- ISBN4-7773-6035-0 (マクミラン・ランゲッチハウス社) |

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。読解力の場合、精読に加えて段落、章などの大意が把握できること、聴解力の場合、大意が把握できることを目指します。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語 I B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法 B1 年 | | | | |
| 担当者名 | ゆきひろ たいぞう 行廣 泰三 | | | | |

講義のねらい

この授業では、読解力の基礎的な技能を身につけることと少しでも「英語を読む楽しさ」が味わうことができることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、イギリス人の日常生活（スポーツ、メディア、大学生活、教育等）を通して英文の読解力を養う。

- 内容： 1. Eating and Drinking
2. Spending Free Time
3. Education and Beyond
4. Spending Money

成績評価の方法

評価の方法は、日常の小テスト（8回前後）発表、出席などを総合的な観点から評価します。

教科書

編著 松尾、千葉、岡崎「Reading Focus of the World」(株)三修社
2006年11月30日 ¥1700+税

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語 I B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法 B1 年 | | | | |
| 担当者名 | すぎもと まこと 杉本 誠 | | | | |

講義のねらい

グローバル化および情報化の時代の中に置かれた私たちには、それに対応できるような英語の運用能力を保持することが求められている。授業では、このような状況において必要とされる英語力を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

経済、環境、医療、福祉などの日常生活に密接な関わりのある記事を多く読み、大意を把握し、語法、リスニング、英訳などの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけることを目的とする。

履修上の留意点

かならず毎時間の予習が必要である。

成績評価の方法

前・後期試験、小テスト、日常の発表、出席率などを総合して評価する。

教科書

『World Events』(オセアニア出版) 1,500円
ISBN4-87203-089-3 C1082

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語ⅠB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B1年 | | | | |
| 担当者名 | 木村 正俊 <small>きむら まさとし</small> | | | | |

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 基礎的な英語の知識を整理するとともに、実際的な英作文力を向上させる。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 基本的な文法事項を確認した後、音声教材で聴き取りと発声の練習を行い、さらに英作文の練習問題で応用能力を涵養する。 |
| 履修上の留意点 | 授業では訓練を多く行うので欠席しないこと。 |
| 成績評価の方法 | 平常点評価。随時行う小試験やレポートの成績、毎回の授業への出席・参加の状況等を合わせて総合的に評価する。 |
| 教科書 | David E.Bramley / 河合忠仁著『基礎会話力をつけるためのコミュニケーション英作文』 松柏社 ¥1700 - ISBN4-88198-597-3 |
| 参考書等 | とくに使用しない。 |
| その他 | 教室で指示する。 |

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語ⅠB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B1年 | | | | |
| 担当者名 | 笹倉 貞夫 <small>ささくら さだお</small> | | | | |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 近年ますます国際化していく現代社会に即応しうるような国際感覚の育成とともに英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 平易な現代アメリカ英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学ぶ。テープ教材併用。 |
| 履修上の留意点 | 予習・復習重視。 |
| 成績評価の方法 | 前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。 |
| 教科書 | M. Vogel 『珍しい事実・記録のビッグブック』(太陽社) ¥1,400 |

| | | | | | |
|------|---------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IB 【〔基礎英語特別クラス〕】 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B1年 | | | | |
| 担当者名 | 杉本 <small>すぎもと</small> 誠 <small>まこと</small> | | | | |

講義のねらい

日常生活の会話を題材としたテキストを使用して、各場面に合う表現練習をし、使える英語が身につく、英語をコミュニケーションの手段として積極的に活用できるようにするのが目的である。グローバル化および情報化の時代の中で、できるだけ多くの記事を読み、大意を把握し、英語の運用能力を高めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

学生生活、ホームステイ、ドライブ、買い物など、若者の生活に密着したテーマをダイアログで紹介し、内容把握、語法、リスニングなどの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけます。

履修上の留意点

かならず毎時間の予習が必要である。

成績評価の方法

前・後期定期試験、小テスト、出席率などを総合して評価する。

教科書

『TOEIC Test Fundamentals』（南雲堂）1,300円 ISBN978-4-523-17533-9

| | | | | | |
|------|---------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA〔再クラス〕・英語IB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B234年 | | | | |
| 担当者名 | 高橋 <small>たかはし</small> 寛 <small>ひろし</small> | | | | |

講義のねらい

英会話でよく用いられる常套句を学ぶとともに、相手に正確に情報を伝えるための正しい文法知識と語彙力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に英会話、英作文の練習としていきます。また併せてリスニングの練習も行います。

履修上の留意点

テキストは必ず購入すること。また毎回英和／和英辞書を持参のこと。

成績評価の方法

1年に2回の定期試験の得点と出席率をもとに評価します。

教科書

『New Activator』（金星堂）ISBN 978-4-7647-3844-7

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA〔再クラス〕・英語IB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B234年 | | | | |
| 担当者名 | 熊沢 和明 <small>くまさわ かずあき</small> | | | | |

講義のねらい

英語の基礎的な語学力を確認し、能力を引き伸ばすことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

平易な総合学習教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。

履修上の留意点

英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。

成績評価の方法

出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。
PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。

教科書

『Why Is That?』（金星堂）

その他

水・6

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA〔再クラス〕・英語IB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B234年 | | | | |
| 担当者名 | 熊沢 和明 <small>くまさわ かずあき</small> | | | | |

講義のねらい

英語の基礎的な語学力を確認し、能力を引き伸ばすことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

平易な総合学習教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。

履修上の留意点

英語が苦手でも積極手に授業参加する姿勢を評価します。

成績評価の方法

出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。
PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。

教科書

『Why Is That?』（金星堂）

その他

水・7

| | | | | | |
|------|--------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IA〔再クラス〕・英語IB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B234年 | | | | |
| 担当者名 | 町田 ^{まちだ しげお} 成男 | | | | |

講義のねらい

英文を通じて様々な教養を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。また、スピード・リーディングの基礎を身につける。

履修上の留意点

英和辞典は必ず持参の事。

成績評価の方法

出席＋発表＋前期後期の試験の総合評価

教科書

未定

英 語 II A

〈英語 II Aの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I Aを基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。文章表現の場合、段階から自由作文へ、会話表現の場合、ダイアログからディスカッションを目指します。

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語II A | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B2年 | | | | |
| 担当者名 | 照山 <small>てるやま ゆうひこ</small> 雄彦 | | | | |

講義のねらい

大学での英語学習の狙いは専門の英語文献読解力を養うことである。そのために修得した英語の文法構造や語彙の知識を基に、実際の英語文献を読解できる能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

上記をふまえ、わからない語句や表現を調べながらテキストの各章を精読し、内容を把握し暗記していくようにする。

履修上の留意点

宿題を毎回出すので、必ずやってくること。

成績評価の方法

毎時間授業を始める前に小テストを行うので、その結果と授業の態度、出席状況を考慮して評価を行う。

教科書

追って連絡します。

参考書等

その都度必要に応じて紹介する。

| | | | | | |
|------|----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語II A | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B2年 | | | | |
| 担当者名 | 川崎 <small>かわさき こうたろう</small> 浩太郎 | | | | |

講義のねらい

I Aを基礎としてさらに高度な意思伝達能力の向上を目的とする。最終的には数パラグラフからなるエッセイで自分の意見を具体的かつ論理的に表現できるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをもとに、パラグラフを書く手順、パラグラフの基本構成、論理展開等を学習する。それを踏まえた上で、教科書の Unit ごとに適切な課題を出すので、それにしたがってエッセイライティングをおこなってもらいます。また、口語表現の学習のため、TOEICのリスニングなどもおこなう予定です。

履修上の留意点

毎時間必ず辞書を持ってくること。

成績評価の方法

出席点、発表点50%、授業中のレポート50%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書

石谷由美子/エマ・アンドリュース『Skills for Better Writing - 構造で書く英文エッセイ』南雲堂 ¥1800 (税別) ISBN4-523-17448-2

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IIA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B2年 | | | | |
| 担当者名 | 吉川 <small>きつかわ なおずみ</small> 直澄 | | | | |

講義のねらい

英語IAを基礎として、TOEIC® テスト形式の問題演習や映像教材の使用を通して、より高度な英語の運用能力を身に付ける。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回ハンドアウトを配付し、それを使用して、課題をこなしていただく。

履修上の留意点

きちんと復習をすること。課題は必ず提出すること。

成績評価の方法

出席（評価の30%）、授業参加・授業内課題（30%）、夏期レポートと後期試験（40%）を総合的に検討した上で評価する。

教科書

未定

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading: I Bを基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

| | | | | | |
|------|---------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B2年 | | | | |
| 担当者名 | 林 <small>はやし</small> 孝憲 <small>たかのり</small> | | | | |

講義のねらい

速読の訓練を行うと同時に、正確に構文を理解して読んでゆく。パラグラフリーディングのスキルを身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

初めにパラグラフごとに要約し、その後、必要に応じて精読も行う。内容は次世代を担うビジネスや環境・健康問題など時事的なものを扱う。

履修上の留意点

単語の意味などの予習が必要となる。

成績評価の方法

平常での発表・出席及び前後期の試験の結果を含め、総合的に評価する。

教科書

『ダイナミックなビジネスと環境』（南雲堂） 1900円 ISBN978-4-523-17532-2

| | | | | | |
|------|---------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B2年 | | | | |
| 担当者名 | 杉本 <small>すぎもと</small> 誠 <small>まこと</small> | | | | |

講義のねらい

グローバル化および情報化の時代の中に置かれた私たちには、それに対応できるような英語の運用能力を保持することが求められる。授業では、このような状況において必要とされる英語力を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

代替エネルギー、環境保護観光、時間などの日常生活に密接な関わりのある記事を多く読み、大意を把握し、語法、リスニング、英訳などの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけることを目的とする。

履修上の留意点

かならず毎時間の予習が必要である。

成績評価の方法

前・後期定期試験、小テスト、出席率などを総合して評価する。

教科書

『Earth Day Volume I』（オセアニア出版）1,400円 ISBN4-87203-082-6 C1082

| | | | | | |
|------|--------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 法B2年 | | | | |
| 担当者名 | 行廣 泰三 | | | | |

講義のねらい

国際化・情報化といわれる中で、人間同士がコミュニケーションする上で、言葉が重要であることは確かなことです。しかし、異なる文化背景を持つ人々とのスムーズなコミュニケーションを図るには、言葉の土台になっている文化を理解することによってはじめて可能になるのです。そこで、この授業では、英文の読解を通して異文化理解の能力を養うことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

- 内容： 1. Culture and Identity
2. Hidden Culture
3. Stereotypes
4. Words, Words, Words
5. Communication without Words

成績評価の方法

成績評価の方法は、日常の小テスト、発表、出席などを総合的な観点から評価をします。但し、小テストは前期と後期合計で8回前後します。

教科書

『The World Reader』（金星堂）、編著 村上直久、2007年1月20日、¥1700+税

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語II A〔再クラス〕・英語II B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 経B法B営B34年 | | | | |
| 担当者名 | 尾形 重政 | | | | |

講義のねらい

入学時の英語力を基に、英語による伝達能力の獲得を目指します。特に会話表現では、日常基本表現からダイアログまで幅広く学びます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めると同時に、英字新聞記事や英語検定問題等も適宜使用します。

履修上の留意点

予習して授業に臨むこと。辞書を持参すること。

成績評価の方法

授業出席率と、前期・後期の試験結果に、積極的な授業参加等を勘案して評価します。

教科書

Focus on Communication 1 朝日出版社 ISBN978-4-255-15442-8
Focus on Communication 2 朝日出版社 ISBN978-4-255-15443-5

| | | | | | |
|------|---------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IIA〔再クラス〕・英語IIB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B34年 | | | | |
| 担当者名 | 岸本 ^{きしもと} 茂和 ^{しげかず} | | | | |

講義のねらい

基本英語の向上、とくに読解力を伸ばすことを意図する。やさしいパラグラフリーディングをとおして基礎学力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの本文および問題はそれぞれ受講者が訳読し解答をだしてゆくことにする。1年間のできるだけの章をこなしてゆきたい。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくる。電子辞書も可。予習は必須。

成績評価の方法

出席は毎授業とる。試験は前期・後期の2回。全授業日数の3分の1以上欠席の場合は「不可」とする。

教科書

『イングリッシュ・ワールド』(朝日出版社) 1,700円

| | | | | | |
|------|---------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語IIA〔再クラス〕・英語IIB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B34年 | | | | |
| 担当者名 | 飯沼 ^{いひぬま} 好永 ^{よしなが} | | | | |

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より速く、正確に内容を把握する力を養うことを目指します。また、リーディングの英文は、一種のライティングのお手本でもありますので、ライティングに活かせるよう、基本的な文法事項も確認していきます。

履修上の留意点

受け身の姿勢では自己の英語力を向上させることは困難ですから、積極的に授業に参加して下さい。そのためには予習をしっかりと行うよう心がけて下さい。

成績評価の方法

出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行います。

教科書

「21世紀の企業—成功の舞台裏 Leading Companies in the 21st Century」(松柏社)
¥1,900 ISBN 4-88198-566-3

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語II A〔再クラス〕・英語II B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B34年 | | | | |
| 担当者名 | ほんま としかず 本間 俊一 | | | | |

講義の内容・
授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

履修上の留意点

毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。
パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

『愛の諸相』（朝日出版社） 1,700円 ISBN4-255-15154-7

〔ドイツ語〕

| | | | | | |
|------|-----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語IA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B1年 | | | | |
| 担当者名 | しみず おさむ 清水 修 | | | | |

講義のねらい

ドイツ語でのコミュニケーションのために必要な文法を、特に日本語および英語と比較対照させながら理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。

講義の内容・ 授業スケジュール

ドイツ語でコミュニケーションするためには何が重要で、何が重要でないかを明確に示しながら授業を進めていきます。

また、ほとんどの学生が大学生になって初めて第二外国語としてドイツ語を学び始めるということを考えて、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら授業を進めていきます。

そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になり、これが日本語や英語への理解をさらに深める契機になればと考えています。

履修上の留意点

必ずしも教科書に沿った授業はしません。また、常に参加者の意欲と関心が反映される授業を心がけますので、進度は予測できません。

したがって、やむを得ず欠席した時は必ず自分の責任で補うのが原則ですが、自分で解決できないときは必ず教師に相談するようにしてください。

成績評価の方法

普段の授業への参加と貢献、および年に2回実施する予定の試験等で総合的に判断します。

教科書

早川東三『完全ドイツ文法（改訂版）』（朝日出版社）

参考書等

ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破単語集』（三修社）

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語IB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B1年 | | | | |
| 担当者名 | しのはら としあき 篠原 敏昭 | | | | |

外国語

講義のねらい

簡単なドイツ語を耳で聞き、目で見、口に出して言うことを通じて、語彙や文法の基礎的な知識とドイツ語による表現の習得をねらいとしています。

講義の内容・ 授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないます。ドイツ人の生活や考え方などもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。

履修上の留意点

欠かさず出席すること、予習・課題を確実にやってくること、辞書を必ずもってくること。

成績評価の方法

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になるでしょう。小テスト、期末試験、学年末試験などを合わせて総合的に評価します。

教科書

『モデル1 問題発見のドイツ語（改訂版）』（三修社）2,600円

参考書等

辞書・参考書は授業の中で指示します。

その他

ビデオを活用した授業をおこなう予定です。

| | | | | | |
|------|---------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語ⅠA〔再クラス〕・ドイツ語ⅠB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B234年 | | | | |
| 担当者名 | 本橋 ^{もとほし} 右京 ^{うきやう} | | | | |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 初級文法の配列に則った読章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得して行きます。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本表現はできるだけ覚えましょう。 |
| 履修上の留意点 | テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。 |
| 成績評価の方法 | 前期・後期の試験や出席などで総合評価します。 |
| 教科書 | 春日・松澤 『レッカー！レッカー！レッカー！ おいしく学ぶドイツ語』（郁文堂） |

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語ⅡA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B2年 | | | | |
| 担当者名 | 清水 ^{しみず} 修 ^{おさむ} | | | | |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | ドイツ語でのコミュニケーション能力の養成をめざします。基本的な会話能力と、辞書の助けを借りて簡単な文章が読めるようになるのが目標です。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 最初は特に、基礎的な能力の復習に力を入れます。受講者の習熟度、意欲に合わせて授業を進めて行きます。 |
| 履修上の留意点 | ドイツの文化を知り、それについて考えるということは、日本の文化を知り、それについて批判的に考えるということです。 受講者には自分自身の意見を持つこと、主体的に考えるという態度を期待します。 |
| 成績評価の方法 | 主に平常点で評価します。 |
| 教科書 | プリントを用意します。 |
| 参考書等 | 授業中に指示します。 |

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B2年 | | | | |
| 担当者名 | 篠原 敏昭 <small>しのはら としあき</small> | | | | |

講義のねらい

1年次で習った基礎的なことがらをもとに、少し進んだレベルのドイツ語の理解、ドイツ語による表現ができるようになることをめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないますが、ドイツ人の考え方などもテキストをとおしで学んでいきたいと思っています。ドイツ語検定試験（4級）の受験も勧めています。後期には検定試験対策の教材も授業に採り入れる予定です。

履修上の留意点

予習を必ずやってくること、欠かさず出席すること、辞書を必ずもってくること。

成績評価の方法

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になります。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。ドイツ語検定試験合格者および受験者には相応の評価の追加を行う予定です。

教科書

『CD付きドイツ人を知る9章+1』（三修社）2,500円

参考書等

授業の中で指示します。

その他

CDを活用する授業をおこなう予定です。

| | | | | | |
|------|---------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ドイツ語II A〔再クラス〕・ドイツ語II B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B34年 | | | | |
| 担当者名 | 本橋 右京 <small>もとほし うえきょう</small> | | | | |

講義のねらい

初級文法の配列に則った読章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得して行きます。

講義の内容・
授業スケジュール

初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本表現はできるだけ覚えましょう。

履修上の留意点

テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

中川・長澤・吉原 『エルスター・シュリット』（白水社）

〔フランス語〕

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語IA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B1年 | | | | |
| 担当者名 | 高橋 明美 <small>たかはし あけみ</small> | | | | |

講義のねらい

初めてフランス語を学ぶ学生を対象に、フランス語の初級文法の説明と演習を行う。日常語は理解でき、辞書を使用すれば簡単な文章なら読めるようにしたい。出席を欠かさないこと。積極的に授業に参加すること。予習・復習、特に復習を欠かさないこと。

成績評価の方法

期末に行う試験のほかに、レポート、小テスト、授業中の積極性なども考慮して評価する。

教科書

清岡智比古著『ル・フランセ・クレール』（白水社）2300円

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語IB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B1年 | | | | |
| 担当者名 | 木下 雄介 <small>きのした ゆうすけ</small> | | | | |

講義のねらい

フランス語の基本文法を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね教科書の章立てにそって授業を進めます。

履修上の留意点

初めて学ぶ外国語である以上、予習復習が必要なことは言うまでもありません。その反面、扱うのは初歩的な事項ばかりだから、予習・復習を怠らなければ、修得が難しいわけではない。学生諸君の努力に期待します。

成績評価の方法

期末・学年末試験の成績に平常点を加味して採点する。かならず予習をして出席すること。

教科書

石川・清水・須長・中川『新・ゆっくりいそげフランス語』（弘学社、2400円）
ISBN4-7681-1319-2 C1085

参考書等

仏和辞典として、以下のものからどれか一つを選んで購入して下さい。電子辞典や小型の辞書は、初心者には向かないので使用しないこと。

- ・『ジュネス仏和辞典』（大修館）
- ・『新スタンダード仏和辞典』（大修館）
- ・『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）
- ・『ロワイヤル仏和中辞典』（旺文社）
- ・『クラウン仏和辞典』（三省堂）

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語IA〔再クラス〕・フランス語IB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B234年 | | | | |
| 担当者名 | <small>ほせがわ みつあき</small> 長谷川 光明 | | | | |

講義のねらい

旅行会話を教材にして、フランス語の実践的な表現能力を徐々に高めていくことを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期末と後期末の計二回行います。

履修上の留意点

基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法

前期、後期の試験と小テストおよび平常点の総計。

教科書

瀬戸秀一他『街かどのフランス語』（朝日出版社）2,100円

| | | | | | |
|------|----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語IIA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B2年 | | | | |
| 担当者名 | <small>たかはし あけみ</small> 高橋 明美 | | | | |

講義のねらい

初級文法をひととおり学習した者を対象にさらに文法学習を通してフランス語を理解することを目的として授業をすすめる。
出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

成績評価の方法

出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

教科書

渡辺公子著『アルモニ』（駿河台出版社）1800円

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B2年 | | | | |
| 担当者名 | 木下 雄介 <small>きのした ゆうすけ</small> | | | | |

講義のねらい

1年次の授業で修得した文法の知識をもとに、辞書と相談しながら文章を読み解く練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

平易な文章で書かれた読み物をテキストに用います。

履修上の留意点

予習復習が必要なことは言うまでもありません。テキスト中のすべての単語について、意味ばかりでなく、品詞・用法をきちんと確認し、ノートにとった上で授業にのぞむこと。

成績評価の方法

平常点を重視し、期末・学年末の試験成績を加味して採点します。かならず予習をして出席すること。

教科書

最初の授業のときにプリントを配布します。

| | | | | | |
|------|---------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | フランス語IIA〔再クラス〕・フランス語IIB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B34年 | | | | |
| 担当者名 | 長谷川 光明 <small>はせがわ みつあき</small> | | | | |

講義のねらい

ビデオ教材を用いて、フランス語初級文法を複合過去から復習していきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口頭問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法

前期、後期試験及び平常点。

教科書

藤田裕二『新・えすかるご2』（朝日出版社）2,625円

中国語

中国語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB

(P.238) 参照

【辞書について】

(P.238) 参照

| | | | | | |
|------|---------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語ⅠA・中国語ⅠB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B1年 | | | | |
| 担当者名 | しおはた しんいちろう おう そう 塩旗 伸一郎・王 聡 | | | | |

講義のねらい

中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解すること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。

講義の内容・
授業スケジュール

「中国語ⅠA」（火曜第7時限）と「中国語ⅠB」（金曜第7時限）はペア授業。ⅠAで中国語のルールを理解し、ⅠBで実際に運用することを目指す。実際に学ぶ中国語はすべて口語（会話）であり、A、Bを問わず口頭での練習が主要な部分を構成する。

音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の相当部分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。

履修上の留意点

必ずⅠA-ⅠBセットで履修すること。
携帯メールは禁止。従わぬ者には退席を命じる。

成績評価の方法

定期試験＋小テスト＋平常点－欠席点。
「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると期待するのは大いなる誤解である。
欠席は年間3回を超えると10点ずつ原点。遅刻は2回で欠席1回に換算する。

教科書

楊凱榮・張麗群『スリム版 表現する中国語』（白帝社）2310円

外国語

| | | | | | |
|------|-------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B234年 | | | | |
| 担当者名 | おおくぼ あきお 大久保 明男 | | | | |

講義のねらい

正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

基本的に教科書に沿って授業を進める。折に触れて中国の社会や文化に関わることを紹介したり、ビデオを見たりする予定。

履修上の留意点

中国語を学ぶ意義を十分に認識し、授業に意欲を持って臨むこと。
毎回予習、復習が必要。

成績評価の方法

出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教科書

本間史・孟広学著『中国語ポイント42』（白水社）

| | | | | | |
|------|-----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B234年 | | | | |
| 担当者名 | 曹 ^{そう} 泰和 ^{たいわ} | | | | |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 中国語に興味と関心を持ってもらうこと。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 基本的な文法が充実したテキストで、基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。また、授業を通じて、言葉と中国文化のことなどについて学ぶ。 |
| 履修上の留意点 | 元気よく、積極的に授業に参加すること。 |
| 成績評価の方法 | テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。 |
| 教科書 | 南雲智・趙暉『始めよう！中国語』（白水社）2,100円＋税 |
| 参考書等 | 開講時に説明する。 |
| その他 | 中国語の辞書を一冊買ったほうがよい。 |

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語ⅡA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B2年 | | | | |
| 担当者名 | 秋元 ^{あきもと} 翼 ^{たすく} | | | | |

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義の内容・授業スケジュール | 初級の文法の復習をしながら、最初は「矛盾」や「塞翁が馬」のような故事を易しい文で読んでいく。前半では読解力の基礎を養い、後半では中国人のために書かれた文を辞書を引きながら読む段階へと進む。 |
| 履修上の留意点 | 使用する教科書の文章は比較的短いので暗記する努力をして欲しい。暗記は語彙を増やすばかりでなく、読解力を養うためにも大いに役立つであろう。4分の3以上の出席が必要。 |
| 成績評価の方法 | 平常の学習態度や到達度と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。 |
| 教科書 | 董燕・遠藤光暁著『読む中国語』（朝日出版社）2200円 |

| | | | | | |
|------|-----------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語ⅡB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B2年 | | | | |
| 担当者名 | おう そう 王 聡 | | | | |

講義の内容・
授業スケジュール

初級の文法の復習をしながら、最初は「矛盾」や「塞翁が馬」のような故事を易しい文で読んでいく。前半では読解力の基礎を養い、後半では中国人のために書かれた文を辞書を引きながら読む段階へと進む。

履修上の留意点

使用する教科書の文章は比較的短いので暗記する努力をして欲しい。暗記は語彙を増やすばかりでなく、読解力を養うためにも大いに役立つであろう。4分の3以上の出席が必要。

成績評価の方法

平常の学習態度や到達度と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教科書

董燕・遠藤光暁著『読む中国語』（朝日出版社）2200円

| | | | | | |
|------|-------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中国語ⅡA〔再クラス〕・中国語ⅡB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B34年 | | | | |
| 担当者名 | ひろかね かなこ 弘兼 加奈子 | | | | |

講義の内容・
授業スケジュール

全15課の課文を通し、中国の現在の状況を学んでいく。テキストには文化的、社会的、経済的な視点から見たテーマが取り上げられている。

成績評価の方法

年数回の試験と教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

村松恵子・董紅俊『中国語中級テキスト China Now』（白帝社）2400円

〔スペイン語〕

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語IA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B1年 | | | | |
| 担当者名 | おきの まさし 荻野 雅司 | | | | |

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communicationがより容易に行えるようにします。

さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行うことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回正規のテストを行います。総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

教科書

細川幸夫著『英語からスペイン語へ』（弘学舎）

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語IB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B1年 | | | | |
| 担当者名 | なかやま なおし 中山 直次 | | | | |

講義のねらい

初めて学ぶ受講生が対象なので、まずはスペイン語世界に親しみ、楽しみながらスペイン語の総合力を身につけることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

一通り発音を練習したあと、平易なスペイン語で書かれた童話を読みます。表現文の音読、文法の理解、語句の置き換えなどによる応用演習を行います。

履修上の留意点

初習の語学は、途中が抜けると続けにくくなります。なるべく欠席しないようにしてください。また、必ず予習をして授業に臨むように心がけてください。

成績評価の方法

平常授業中の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします。

教科書

中山著『スペイン語が面白いほど身につく本』（中経出版）

参考書等

辞書：宮城他編『現代スペイン語辞典』（白水社）

参考書：中山著『初級スペイン語』（白水社）

特に上記の本でなくても構いませんが、辞書のほかに手頃な自習参考書を一冊併用することをお勧めします。

その他

常に「ピンポン型」の対話形式で授業を進めます。

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語IA〔再クラス〕・スペイン語IB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B234年 | | | | |
| 担当者名 | 栗林 <small>くりばやし</small> ゆき絵 | | | | |

講義のねらい

基本的な単語や挨拶のほか、基本的なスペイン語のことばのしくみを学習し、日常の簡単な会話に応用できることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、現在完了を中心に学習する。毎回時間の初めに小テスト（活用・単語）を実施。

履修上の留意点

少しずつ文法や単語を身につけられるよう、毎回、授業の最初に2問程度の小テストを行う。途中でわからなくなってもめげずに授業に出席するように心がけてほしい。

成績評価の方法

平常点（毎時間の小テスト含む）30％と前後期の期末試験70％。半期のうち5回以上欠席した者は試験の受験を認めない。

教科書

初回の授業の授業で指示（プリント教材配布予定）。初回は必ず出席のこと。

参考書等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
*辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するように。

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語IIA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B2年 | | | | |
| 担当者名 | 荻野 <small>おぎの</small> まさし 雅司 | | | | |

講義のねらい

スペイン語Iで学習したものを更に広く深く学ぶ事で、実際に使えるスペイン語を習得することを第一の目的とします。さらに、学期が終る頃には、通常のスペイン語IIの一段上のレベルが身に付いている事を狙いとします。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Iで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んで行きます。この過程では教科書以外にテープ、ビデオ、更に広くスペイン文学作品の抜粋を含めた多様なプリント類を併用します。これにより、生きたスペイン語と同時に、例えその片鱗だけでも、スペイン語本来の持つ美しさにも触れる様になります。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、特別な事情がある場合を除き、可能な限りコンスタントに出席出来る学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

佐藤玖美子著「新・何を話しましょうか」
（弘学舎）

参考書等

出来るだけ詳しい西和辞典（例、小学館「西和中辞典」等）を用意したい。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語ⅡB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B2年 | | | | |
| 担当者名 | なかやま なおじ 中山 直次 | | | | |

講義のねらい

スペイン語の日常会話によく現われる表現を暗誦し、状況に応じて簡単な応用ができるようになることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

空港・駅・路上・ホテル・カフェ・レストラン・銀行・郵便局・洋品店・病院等の場面を設定し、そこで交わされる典型的ないし最大公約数的な表現を習得します。モデル表現を暗唱し、人称・性数・語句などの置換練習や状況の変更に伴う表現拡大等の応用を演習します。

履修上の留意点

「継続は力なり」と言います。「勉強する」というよりは「つきあう」という感覚で結構ですので、気楽に、しかし気長に取り組んでください。

成績評価の方法

平常授業時の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします。

教科書

中山著『250語でできるやさしいスペイン会話』（白水社・1996年改訂）

参考書等

辞書：宮城他編『現代スペイン語辞典』（白水社）
 桑名他編『西和中辞典』（小学館・1990年）
 参考書：中山著『初級スペイン語』（白水社）
 特に上記の本でなくても構いませんが、小型辞書しか持っていない人や参考書類を一冊も持っていない人は、手頃な中型辞書や自習参考書を購入し、予習・復習の際に参照することをお勧めします。

その他

常に「ピンポン型」の対話形式で授業を進めます。

| | | | | | |
|------|---------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | スペイン語IIA〔再クラス〕・スペイン語IIB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B34年 | | | | |
| 担当者名 | 栗林 <small>くりばやし ゆきえ</small> ゆき絵 | | | | |

講義のねらい

現在形・過去形(点過去・線過去)の復習のあと、未来形・過去未来形や接続法の形も学び、初級会話を越えた豊かな表現を身につける。
最終的には、活用表と辞書があれば、会話文から新聞記事まで読みこなせることをめざす。

講義の内容・ 授業スケジュール

活用・文法事項・重要表現の確認のあと、会話テキストの読解、発音練習を行う。また受講者の希望に応じて新聞記事など生のスペイン語教材も毎回1記事ずつ読んでいく。新聞記事は最初は見出しのみの読解、その後5文程度の記事、最後にはA4ページ程度の記事を読む予定。

履修上の留意点

できるだけ個人のレベルに合わせた指導を行うので、出席をかかさないように。試験は行わないので、日々の授業で地道に力をつけてほしい。
辞書(和西単語集つき)は授業中に使用するので必ず持ってくること。

成績評価の方法

平常点(出席点および授業中の和訳提出)で評価する。

教科書

福嶋教隆『生き活きスペイン語』(朝日出版社) 2,000円

参考書等

〈辞書〉『プログレッシブ スペイン語辞典』(小学館)
*和西(単語集)のついている辞書をすでに所有している者はそれを使用すればよい。

〔ロシア語〕

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ロシア語IA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B1年 | | | | |
| 担当者名 | 廣田 <small>ひろた ひでやす</small> 英靖 | | | | |

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返し練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ロシア語IB | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B1年 | | | | |
| 担当者名 | 廣田 ^{ひろた} 英靖 ^{ひでやす} | | | | |

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

| | | | | | |
|------|--------------------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ロシア語ⅠA〔再クラス〕・ロシア語ⅠB〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B234年 | | | | |
| 担当者名 | 杉山 秀子・ <small>すぎやま ひでこ</small> 廣田 英靖 <small>ひろた ひでやす</small> | | | | |

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に重点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円+税

参考書等

『露和辞書』

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ロシア語ⅡA | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B2年 | | | | |
| 担当者名 | <small>ひろた ひでやす</small> 廣田 英靖 | | | | |

講義のねらい

ロシア語ⅠAで学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文(関係代名詞、形動詞、副動詞など)をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。
授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、また Windows で日本語ワープロソフト Word を用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ロシア語II B | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B2年 | | | | |
| 担当者名 | 廣田 <small>ひろた ひでやす</small> 英靖 | | | | |

講義のねらい

ロシア語IBで学んだことを基礎に、新聞・雑誌などから選んだ生の興味ある見出しや短い文章を教材として利用し、ロシア語の理解力を向上させるために、辞書を実用的な文章の学習に取り組みます。

授業の合間には、旧ソ連、新しいロシアおよびその近隣諸国の文化、歴史の理解に役立つビデオを鑑賞し、またユーモアあふれるロシアのアネクドート（小話）や含蓄に富んだことわざにもふれ、生き生きとした実践的なロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

| | | | | | |
|------|-------------------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | ロシア語II A〔再クラス〕・ロシア語II B〔再クラス〕 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B34年 | | | | |
| 担当者名 | 杉山 <small>すぎやま ひでこ</small> 秀子・廣田 <small>ひろた ひでやす</small> 英靖 | | | | |

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・ 授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

既習の教科書と文法表。

参考書等

『露和辞書』

その他

プリント配布。教場にて指示します。

英 会 話 I ・ II

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー500点程度です。

| | | | | | |
|------|-------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英会話I | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 経B法B営B1234選 | | | | |
| 担当者名 | ロビン, G. F. | | | | |

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities and will be graded.

講義の内容・授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test which will be given at the end of each term.

教科書

「Fifty-Fifty Student Book 1」 Warren Wilson and Roger Barnard
ISBN-10 9620056655

| | | | | | |
|------|------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英会話II | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 経B法B営B選 | | | | |
| 担当者名 | ロビン, G. F. | | | | |

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities and will be graded.

講義の内容・授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test which will be given at the end of each term.

教科書

「Fifty-Fifty Student Book 1」 Warren Wilson and Roger Barnard
ISBN-10 9620056655

英語 L L I ・ II

情報メディア機器（1号館3・4階のPC教場）を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。I、IIともTOEFL®で450点、TOEIC®500点、英検2級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

| | | | | | |
|------|----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語LLI | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B1234選 | | | | |
| 担当者名 | 川崎 浩太郎 <small>かわさき こうたろう</small> | | | | |

講義のねらい

英語の母音、子音の発音、アクセント、イントネーション等を学習し、ネイティブスピーカーが聞いて分かる明確な発音で話すことが出来るようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

日常の様々な場面を再現したスキットをビデオを見ながらリスニング能力の向上を目指します。さらに、スキットの中で用いられた単語や、フレーズ、文章等の発音練習を行っていきます。TOEICのリスニングなどもおこなう予定です。

履修上の留意点

恥ずかしがらずに大きな声で発音するよう努めて下さい。

成績評価の方法

出席点、発表点50%、前期末と後期末の試験50%の割合で評価する。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書

村川久子『Sounds Right! Sounds Good!』（マクミランランゲージハウス）¥2000（税別）ISBN4-89585-304-7

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 英語LLII | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 経B法B営B選 | | | | |
| 担当者名 | 林 明人 <small>はやし あきと</small> | | | | |

講義の内容・授業スケジュール

リスニング用のテキストを使用します。CDがテキストに付いてきますので事前によく聞き取りをしてきて下さい。

履修上の留意点

遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めない。

成績評価の方法

①発表、②試験、③出席で総合評価するが、出席は3分の2を越えていなければならない。出席以外のそれぞれの評価が一つでも1割に満たない場合は単位を認めない。

教科書

4月に教場で指示します。

4. 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要索であるパーソナリティを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

保健体育科目時間表

(於：本校体育館)

| | 月 曜 日 | | 火 曜 日 | | 水 曜 日 | | 木 曜 日 | |
|-----|-------|--------|-------|-----------|-------|--------|-------|-----------|
| 限6時 | | | | | | | 鈴木 | 健康・スポーツ論* |
| 7時限 | ※秋田 | バドミントン | 田 中 | 健康・スポーツ論* | ※三幣 | バドミントン | | |
| | 大 石 | ミニサッカー | | | 村 松 | 卓球 | | |

※は、科目の主担当者。

*時間表で教場を確認のこと。

4. 保健体育科目

| 科目名 | 曜日・時間 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|----------------------------------------|-------|-----------------------------------------|------|----|--------|-----|
| 健康・スポーツ論 | 木 6 | 法B営B選 | 半期 | 2 | 鈴木 淳平 | 781 |
| 健康・スポーツ論 | 火 7 | 法B営B選 | 半期 | 2 | 田中 佳孝 | 782 |
| 健康・スポーツ実習 (バドミントン) | 月 7 | 法B1選 | 通年 | 2 | 秋田 浩一 | 783 |
| 健康・スポーツ実習 (ミニサッカー) | 月 7 | 法B1選 | 通年 | 2 | 大石 武士 | 784 |
| 健康・スポーツ実習 (バドミントン) | 水 7 | 法B1選 | 通年 | 2 | 三幣 晴三 | 785 |
| 健康・スポーツ実習(卓球) | 水 7 | 法B1選 | 通年 | 2 | 村松 誠 | 786 |
| 生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎) | | | | | 休講 | |
| 生涯スポーツ実習 (集中前期・応用) | | | | | 休講 | |
| 生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎) | | | | | 休講 | |
| 生涯スポーツ実習 (集中後期・応用) | | | | | 休講 | |
| 生涯スポーツ演習I (シーズン基礎)(ゴルフ) | 特 3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経B法B営B選 | シーズン | 2 | 佐藤 政之他 | 787 |
| 生涯スポーツ演習I (シーズン応用)(ゴルフ) | 特 3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経B法B営B選 | シーズン | 2 | 佐藤 政之他 | 787 |
| 生涯スポーツ演習II (シーズン基礎)(スキー・ スノーボード) | 特 3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経B法B営B選 | シーズン | 2 | 山口 良博他 | 789 |
| 生涯スポーツ演習II (シーズン応用)(スキー・ スノーボード) | 特 3 | 禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経B法B営B選 | シーズン | 2 | 山口 良博他 | 789 |

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ論 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B 営B 選 | | | | |
| 担当者名 | すずき じゆんぺい 鈴木 淳平 | | | | |

講義のねらい

健康であるための諸条件の追求と、それに深くかかわる体育・スポーツの本質を見つめる。将来の社会生活に有用な、科学的・医学的知識を得ることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を認識する。
- 3 時限目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時限目：スポーツと体力の関係について
- 5 時限目：運動能力発達の原理
- 6 時限目：運動能力の領域
- 7 時限目：運動能力の構造
- 8 時限目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時限目：総合体力の定義と要素
- 10 時限目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ障害について
- 11 時限目：トレーニング理論全般
- 12 時限目： ”
- 13 時限目：応急処置（テーピング、アイシング等）の実際
- 14 時限目： ”
- 15 時限目：まとめ

成績評価の方法

出席を重視し、学期末のレポートとの総合評価をする。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ論 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B 営B 選 | | | | |
| 担当者名 | 田中 <small>たなか よしたか</small> 佳孝 | | | | |

講義のねらい

煩雑な現代社会の中で、人間が健康を維持しながら日常生活を営む為には安定した栄養摂取、十分な休養（睡眠）と適度な運動が必要である。これら三つは全て不可欠なものであるが、この講義では殊に栄養の観点から健康に係る諸問題を識り、より積極的な健康維持の為の栄養学的方法を学び、ストレスの多い現代社会生活に対抗できる食生活や健康な学生生活を送る為の栄養学をビタミンを中心に学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 人間に必要な栄養素
- 2 戦前・戦後に於ける栄養不足の違いについて
ビタミンとは
- 3 ビタミンの生理作用と薬理作用について
- 4 ビタミン欠乏症について
潜在性ビタミン欠乏症と自律神経失調症について
- 5～7 主なビタミンの働きについて
A、B群、C、D、E、K、U等
- 8～10 健康な学生生活を送る為のビタミン
○飲酒
○喫煙
○スポーツ
○外食、甘党
○ダイエット
○妊娠
- 11～12 健康を保つ食べ物
- 13 筆記試験

履修上の留意点

授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。

成績評価の方法

2/3以上の出席をした者に対し筆記試験を行ない、評価を行なう。出席回数が不足した者は不合格とする。

参考書等

『健康科学ライブラリー』1、4、7、8、9巻（大修館）
『0歳からのビタミンバイブル』／『貝原益軒の養生訓』／『サーロインステーキ症候群』
『食事療法』／『新健康になるシリーズ』（女子栄養大学）

その他

授業は、主に講義形式で進めるが、テーマによっては受講生の見解を発表してもらう場合もある。また、バイオフィードバック装置（脳波測定装置）等の機器を利用して実験的な内容の授業も試みたい。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ実習(バドミントン) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 担当 | 法B1選 | | | | |
| 担当者名 | あきた こういち 秋田 浩一 | | | | |

講義のねらい

- 1.補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- 2.バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1)フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2)ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4時限目：反面での簡易ゲーム
- 5時限目：〃
- 6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8時限目：} 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時限目：}
- 11時限目：} 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時限目：}

履修上の留意点

- 1.定員は約30名とする。
- 2.実技は本校第1体育館で行なう。
- 3.服装は身軽に動作できるものがよい。
- 4.シューズは体育館専用のものを用意する。
- 5.その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ実習(ミニサッカー) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B1選 | | | | |
| 担当者名 | おおいし たくし 大石 武士 | | | | |

講義のねらい

ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容・授業スケジュール
 1時限目：オリエンテーション
 2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
 3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
 4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
 10時限目～14時限目：ゲーム
 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。

成績評価の方法

評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ実習(バドミントン) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B1選 | | | | |
| 担当者名 | 三幣 ^{みゆき} 晴三 ^{はるみ} | | | | |

講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11 時限目：ダブルスゲーム
- 12 時限目：ダブルスゲーム
- 13 時限目：ダブルスゲーム
- 14 時限目：ダブルスゲーム
- 15 時限目：まとめ
- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

教科書

出席を主体とし それに技術 ルール マナーなどの理解度を加える。

その他

30分以上の遅刻は認めない。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 健康・スポーツ実習(卓球) | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B1選 | | | | |
| 担当者名 | むらまつ まこと 村松 誠 | | | | |

講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

その他

他時限・他種目を含め、施設・用具の都合、授業効率のため、受講人数を30名程度に制限する。受講希望が多数の場合は、抽選にて受講者を決定する。したがって、1時限目に出席しないものは、受講できない可能性があるので注意すること。

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------------|----|------|----|---|
| 科目名 | 生涯スポーツ演習I (シーズン基礎) (ゴルフ) 生涯スポーツ演習I (シーズン応用) (ゴルフ) | 開講 | シーズン | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴史日外考社福心経商現法A政営A選 経B法B営B選 | | | | |
| 担当者名 | 佐藤 政之他 | | | | |

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション：
 - 1回目 4月7日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
 - 2回目 4月14日(土) 12:20~12:40 2研-102教場

※本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業：7月17日(火) 13:00~16:10 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 9月10日(月)

講義：9:00~12:10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎
実技：13:00~17:30 打撃練習

※注意：1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月11日(火) 実技・講義：11:00~18:00 打撃練習・ゴルフ規則I、その他
 - 3日目 9月12日(水) 実技・講義：8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ゴルフ規則II
 - 4日目 9月13日(木) 実技・講義：8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括
 - 5日目 9月14日(金) 実技・講義：8:30~13:30 打撃練習・ラウンド・閉校式

履修上の留意点

- 生涯スポーツ演習I (シーズン基礎・シーズン応用) を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。
- 実習日程：平成19年9月10日(玉川校舎)・9月11日~14日(現地：3泊4日)
 - 場所：

宿泊：マロウドインターナショナルホテル成田
286-0121 千葉県成田駒井野763-1
電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112

練習場コース：ダイナミックゴルフ成田
289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040
電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785
 - 定員：40名
 - 集合解散：
 - (1) 集合 9月10日(月) 午前9時 玉川校舎 305教場
9月11日(火) 午前11時 ダイナミックゴルフ成田
 - (2) 解散 9月14日(金) 午後12時30分：予定 ダイナミック成田
 - 受講料：35,700円(左記金額には、交通費は含まれない。)
 - 納入期間：平成19年5月21日(月)~6月2日(土)
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康科学部門(第2研究館9館資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
 - 服装・用具
 - (1) 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - (2) ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - (3) グローブは、必ず各自で用意すること。
 - (4) ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習（5日間）によって2単位が認められる。
成績は講義・実技の出席状況講義・実技テスト実習参加態度等総合的に評価される。

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------------------------------|----|------|----|---|
| 科目名 | 生涯スポーツ演習II (シーズン基礎) (スキー・スノーボード) 生涯スポーツ演習II (シーズン応用) (スキー・スノーボード) | 開講 | シーズン | 単位 | 2 |
| 配当 | 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経B法B営B選 | | | | |
| 担当者名 | 山口 良博他 | | | | |

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション1回目 4月7日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月14日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 1月9日(水) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 1月29日(火)
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 1月30日(水)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目 1月31日(木)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目 2月1日(金)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 2月2日(土)
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習IIシーズン・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成20年1月29日(火)~2月2日(土)の4泊5日(現地集合解散予定)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
- 3) 定 員：スキー 20名
スノーボード 30名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康科学部門(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成19年5月21日(月)~6月2日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急にスポーツ・健康科学部門(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

Ⅱ 専 門 教 育 科 目
法 律 学 科 フ レ ッ ク ス B

Ⅱ. 専門教育科目

- ・フレックスA時間帯（月～金の1～5時限、土の1～4時限）に開講されている科目はフレックスAの専門教育科目のページを参照してください。（P.411）
- ・科目名の前に※印が付いている科目はフレックスB生の科目ですが、フレックスA時間帯に開講しています。フレックスAの専門教育科目のページを参照してください。
- ・配当学科
法律学科フレックスA…法A 法律学科フレックスB…法B 政治学科…政

(1) 法律学科フレックスB

| 科目名 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|-------|----------------------------------------|------|----|--------------------------------------------------|-----|
| 法学概論 | 法B1必(16年度以降入学生) | 半期 | 2 | 高橋 洋城 | 797 |
| 法学概論A | 法B1必(15年度以前入学生) | 半期 | 2 | 高橋 洋城 | |
| 公法入門 | 法B1必(16年度以降入学生) | 半期 | 2 | 山口 邦夫 塩入 みほも | 798 |
| 法学概論B | 法B1必(15年度以前入学生) | 半期 | 2 | 山口 邦夫 塩入 みほも | |
| 私法入門 | 法B1必(16年度以降入学生) | 半期 | 2 | 竹中 智香 | 799 |
| 法学概論B | 法B1必(15年度以前入学生) | 半期 | 2 | 竹中 智香 | |
| 憲法 | 法B1必 | 通年 | 4 | 山本 龍彦 | 800 |
| 民法総則 | 法B1必(16年度以降入学生) 法B1234選必(15年度以前入学生) | 半期 | 4 | 大宮 隆 | 801 |
| 刑法総論 | 法B1必(16年度以降入学生) 法B1234選必(15年度以前入学生) | 半期 | 4 | 佐藤 多美夫 | 802 |
| 会社法 | 法B234選必 | 通年 | 4 | 荒木 正孝 | 803 |
| 行政法 | 法B234選必(16年度以降入学生) | 通年 | 4 | 金子 昇平 | 804 |
| 行政法総論 | 法B234選必(15年度以前入学生) | 通年 | 4 | 金子 昇平 | |
| 裁判法 | 法B2選(16年度以降入学生) 法B234選必(15年度以前入学生) | 通年 | 4 | 五百田 俊治 | 805 |
| 国際法 | 法B2選(16年度以降入学生) 法B234選必(15年度以前入学生) | 通年 | 4 | 王 志安 | 806 |
| ※比較憲法 | 法B12選 法A12選 | 通年 | 4 | 西 修 | 441 |
| 新入生演習 | 法B1選(16年度以降入学生) | 通年 | 2 | 佐藤 多美夫 高橋 洋城 西 修 向田 正巳 王 志安 中田 英幸 | 807 |
| 債権総論 | 法B234選必(16年度以降入学生) 法B2選(15年度以前入学生) | 通年 | 4 | 中田 英幸 | 808 |
| 物権法 | 法B2選(15年度以前入学生) 法B234選必(16年度以降入学生) | 通年 | 4 | 今尾 真 | 809 |

| | | | | | |
|-----------|----------------|----|---|--------|-----|
| ※法社会学 | 法B12選 法A12選 | 通年 | 4 | 岡寄 修 | 442 |
| 日本法制史 | | | | 休講 | |
| 西洋法制史 | 法B12選 法A12選 | 通年 | 4 | 北野 かほる | 810 |
| 政治学原論 | 法B12選 法A12選 | 通年 | 4 | 大塚 桂 | 811 |
| ※政治史 | 法B12選 法A12選 | 通年 | 4 | 村井 良太 | 446 |
| 経済原論 | 法B12選 法A12選 | 通年 | 4 | 藤原 碩宣 | 812 |
| 行政学 | 法B12選 法A12選 | 通年 | 4 | 児玉 博昭 | 813 |
| ※法律時事英語 | 法B12選 法A12選 | 通年 | 4 | 牧野 和夫 | 447 |
| 商法総則・商行為法 | 法B2選 | 通年 | 4 | 川口 幸美 | 814 |
| 刑法各論 | 法B2選 | 通年 | 4 | 山口 邦夫 | 815 |
| 刑事政策 | 法B2選 法A2選 | 通年 | 4 | 覚正 豊和 | 816 |
| 債権各論 | 法B2選 法A2選 | 通年 | 4 | 須賀 昭徳 | 817 |
| ※英米法 | 法B2選 法A2選 | 通年 | 4 | 北野 かほる | 453 |
| ※仏法 | 法B2選 法A2選 | 通年 | 4 | 上井 長久 | 454 |
| ※独法 | 法B2選 法A2選 | 通年 | 4 | 山口 邦夫 | 455 |
| 法思想史 | 法B2選 法A2選 | 通年 | 4 | 高橋 洋城 | 818 |
| 演習I | 法B3選 | 通年 | 4 | 中田 英幸 | 819 |
| 演習I | 法B3選 | 通年 | 4 | 青野 博之 | 820 |
| 演習II | 法B4選 | 通年 | 4 | 青野 博之 | |
| 演習I | 法B3選 | 通年 | 4 | 荒木 正孝 | 820 |
| 演習II | 法B4選 | 通年 | 4 | 荒木 正孝 | |
| 演習I | 法B3選 | 通年 | 4 | 大宮 隆 | 821 |
| 演習II | 法B4選 | 通年 | 4 | 大宮 隆 | |
| 演習I | 法B3選 | 通年 | 4 | 金子 昇平 | 821 |
| 演習II | 法B4選 | 通年 | 4 | 金子 昇平 | |
| 演習I | 法B3選 | 通年 | 4 | 北野 かほる | 822 |
| 演習II | 法B4選 | 通年 | 4 | 北野 かほる | |
| 演習I | 法B3選 | 通年 | 4 | 佐藤 多美夫 | 822 |
| 演習II | 法B4選 | 通年 | 4 | 佐藤 多美夫 | |
| 演習I | 法B3選 | 通年 | 4 | 西 修 | 823 |
| 演習II | 法B4選 | 通年 | 4 | 西 修 | |
| 演習I | 法B3選 | 通年 | 4 | 原田 啓一郎 | 823 |
| 演習II | 法B4選 | 通年 | 4 | 原田 啓一郎 | |

| | | | | | |
|---------------|----------------|----|---|--------|-----|
| 演習I | 法B3選 | 通年 | 4 | 向田 正巳 | 824 |
| 演習II | 法B4選 | 通年 | 4 | 向田 正巳 | |
| ※外書講読I (英書) | 法B3選 法A3選 | 通年 | 4 | 王 志安 | 488 |
| ※外書講読II (英書) | 法B4選 法A4選 | 通年 | 4 | 王 志安 | |
| ※外書講読I (英書) | 法B3選 法A3選 | 通年 | 4 | 金子 昇平 | 489 |
| ※外書講読II (英書) | 法B4選 法A4選 | 通年 | 4 | 金子 昇平 | |
| ※外書講読I (英書) | 法B3選 法A3選 | 通年 | 4 | 川口 幸美 | 490 |
| ※外書講読II (英書) | 法B4選 法A4選 | 通年 | 4 | 川口 幸美 | |
| ※外書講読I (独書) | 法B3選 法A3選 | 通年 | 4 | 松村 格 | 491 |
| ※外書講読II (独書) | 法B4選 法A4選 | 通年 | 4 | 松村 格 | |
| ※外書講読I (仏書) | 法B3選 法A3選 | 通年 | 4 | 中野 裕二 | 491 |
| ※外書講読II (仏書) | 法B4選 法A4選 | 通年 | 4 | 中野 裕二 | |
| ※外書講読I (中国書) | 法B3選 法A3選 | 通年 | 4 | 江林 英基 | 492 |
| ※外書講読II (中国書) | 法B4選 法A4選 | 通年 | 4 | 江林 英基 | |
| 担保物権法 | 法B34選 | 通年 | 4 | 熊谷 芝青 | 825 |
| 家族法 | 法B34選 | 通年 | 4 | 竹中 智香 | 826 |
| 有価証券法 | 法B34選 | 通年 | 4 | 中濱 義章 | 827 |
| ※登記法 | 法B34選 法A34選 | 通年 | 4 | 田沼 浩 | 493 |
| 保険・海商法 | 法B34選 | 通年 | 4 | 濱田 盛一 | 828 |
| 民事訴訟法 | 法B34選 | 通年 | 4 | 坂本 恵三 | 829 |
| 刑事訴訟法 | 法B34選 | 通年 | 4 | 松本 英俊 | 830 |
| 労働法 | 法B34選 | 通年 | 4 | 藤本 茂 | 831 |
| 社会保障法 | 法B34選 | 通年 | 4 | 原田 啓一郎 | 832 |
| 行政救済法 | 法B34選 | 通年 | 4 | 塩入 みほも | 833 |
| 税法 | 法B34選 法A34選 | 通年 | 4 | 中江 博行 | 833 |
| 地方自治法 | 法B34選 法A34選 | 通年 | 4 | 富井 幸雄 | 834 |
| 国際紛争解決法 | 法B34選 | 通年 | 4 | 王 志安 | 835 |
| 国際私法 | 法B34選 | 通年 | 4 | 佐々木 彩 | 836 |
| 環境法 | 法B34選 法A34選 | 通年 | 4 | 仲田 孝仁 | 837 |
| 経済法 | 法B34選 法A34選 | 通年 | 4 | 荒井 登志夫 | 838 |

| | | | | | |
|----------|----------------|----|---|---------------------------------|-----|
| ※消費者法 | 法B34選 法A34選 | 通年 | 4 | 向田 正巳 | 498 |
| 知的財産権法 | 法B34選 法A34選 | 通年 | 4 | 盛岡 一夫 | 839 |
| 民事執行・保全法 | 法B34選 法A34選 | 通年 | 4 | 福永 清貴 | 839 |
| 倒産処理法 | 法B34選 法A34選 | 通年 | 4 | 鈴木 貴博 | 840 |
| ※法哲学 | 法B34選 法A34選 | 通年 | 4 | 高橋 洋城 | 501 |
| ※法律学特殊講義 | 法B34選 法A34選 | 通年 | 4 | 井上 匡子 | 502 |
| 財政学 | 法B34選 法A34選 | 通年 | 4 | 速水 昇 | 840 |
| 国際関係論 | 法B34選 法A34選 | 通年 | 4 | 三船 恵美 | 841 |
| 経済政策 | 法B34選 法A34選 | 通年 | 4 | 松前 龍宜 | 842 |
| ※社会政策 | 法B34選 法A34選 | 通年 | 4 | 原田 啓一郎 | 505 |
| 実務演習I | 法B34選 法A34選 | 通年 | 4 | 中野 辰久 | 843 |
| 実務演習II | 法B34選 法A34選 | 通年 | 4 | 鶴井 俊吉 上野 雅祥 小林 覚 杉山 真一 | 844 |
| 実務演習III | 法B34選 法A34選 | 通年 | 4 | 木村 美隆 | 844 |
| ※現代企業論 | 法B34選 法A34選 | 半期 | 2 | 齊藤 正 | 506 |
| 簿記論 | 法B34選 | 通年 | 4 | 鈴木 勝浩 | 845 |
| 経営学総論 | 法B34選 | 通年 | 4 | 名取 修一 | 846 |
| 会計学総論 | 法B34選 | 通年 | 4 | 北口 りえ | 847 |

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 法学概論 法学概論A | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B1必(16年度以降入学生) 法B1必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | たかはし ひろき 高橋 洋城 | | | | |

講義のねらい

法学部に入っはじめて法学を学ぶひとに、法学科履修の前提となるような知識を身につけてもらうことが、第1のねらいです。法学学習の上で必要になる、現実をイメージしながらその法的構造を読みとる力の基礎的感覚を開発することが、第2のねらいです。はじめてのことばかりで、最初はとまどうかもしれませんが、休まずに学習するよう心がけてください。

講義の内容・授業スケジュール

1. 法のイメージと法学部の講義科目
 - (1) 法とは何か
 - (2) 法学部ではどう学ぶか
2. 法の一般的分類
 - (1) 法の分類
 - (2) 法令の種類
3. 近代日本法とその社会
 - (1) 国家と社会
 - (2) 近代日本が受け継いだ法
 - (3) 近代法の変容
4. 立法の角度からの法
 - (1) 制定法主義とその法源
 - (2) 法の体系性
5. 司法の角度からの法
 - (1) 紛争解決の仕組みと機構
 - (2) 紛争の種類と解決の種類
6. 法令の解釈
 - (1) 事実の法的再構成
 - (2) 事実への法令のあてはめ

履修上の留意点

半期科目で集中的に多くのことを学びます。継続的に出席することが必要です。授業中に小テストを実施することもありますので、休まないようにしてください。

成績評価の方法

前期授業最終時間の試験。小テストやレポートなどが課される場合は、その評価を加味します。

教科書

伊藤正己・加藤一郎編『現代法学入門〔第4版〕』補訂版(有斐閣双書52)有斐閣

参考書等

竹下・福井編『はじめての法学』成文堂
その他の参考書は随時紹介します。授業中に参考資料を配ることもあります。配付資料は原則として研究室などでの追加請求には応じませんので、必ず出席して受け取るようにしてください。

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 公法入門 法学概論 B | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B1必(16年度以降入学生) 法B1必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 山口 邦夫・塩入 みほも | | | | |

講義のねらい

平成16年度から、従来の法学概論を区分けして、法学概論・公法入門・私法入門とし、それぞれ2単位ずつ、計6単位とした。今年度は、公法入門を2名で6回ずつ担当する。内容は、前半を刑法入門、後半を行政法入門とし、それぞれ最終回に試験を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前半（刑法入門）

1. 刑法とはどのような法律か（国家法体系の中での位置づけ）
2. 刑罰について（国家刑罰権・刑による威嚇と現実の裁判）
3. 犯罪が成立するための要件（なぜ逮捕されるのか・裁判を受ける権利）
4. いわゆる罪刑法定主義について（事後法の禁止と法の適正手続）
5. まとめと質疑応答
6. 試験

後半（行政法入門）

1. 行政法とは何か
2. 行政法の法源
3. 行政法の領域
4. 法治行政
5. 行政作用と法
6. 試験

履修上の留意点

前半と後半で担当者も講義内容も異なるため、各担当者の話は、5回しかない。したがって、1回の欠席もゆるがせにできない。さもなければ試験の成績にひびくことになる。

成績評価の方法

成績は、前半と後半の各試験を合計して評価するが、試験はそれぞれの担当者の講義最終時間とする（計2回）。どちらか一方が不可となれば単位を取得することが難しくなるので注意すること。

教科書

前半・後半ともに教科書は使用しない。

参考書等

参考書はその都度紹介するので、積極的に読書するようにしてほしい。

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 私法入門 法学概論B | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B1必(16年度以降入学生) 法B1必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | たけなか ちか 竹中 智香 | | | | |

講義のねらい

この科目は、法律学科の新入生がこれから私法分野の科目を学んでいく上で、必要な基礎的な知識を身につけていくために設けられているものです。

本来、「私法」は個人の日常生活に密接に関連した問題を扱い、身近な分野であるはずですが、「公法（憲法や刑法）」に比べると近寄りにくい。その理由は、登記簿・契約書・手形・小切手など一般の学生にとって必ずしも親しみのわかないものが次々に出てくるし、少なくとも、学生の日常生活からかけ離れ、具体的問題としてイメージすることができないことにあります。そこで、現実の社会生活における身近な問題や具体的事案を多く取り上げ、興味を持てるように講義を進めます。

講義の内容・ 授業スケジュール

学習の順番や方法は、それぞれの先生が工夫して、講義を進めていきますが、共通して学ぶ項目は以下の通りです。

1. 法の分類と私法の意義
 - (1) 公法と私法 (2) 私法 (3) 公私混合法 (4) 新たな法領域
2. 私法の基本原理
 - (1) 序説 (2) 近代私法の基本原理 (3) 現代における近代私法原理の修正
3. 私法の法源
 - (1) 序説 (2) 制定法 (3) 慣習法 (4) 判例 (5) 条理
4. 私法の効力
 - (1) 序説 (2) 時に関する効力 (3) 人に関する効力 (4) 場所に関する効力
5. 私法の適用と解釈
 - (1) 序説 (2) 裁判外の紛争解決 (3) 裁判による紛争解決 (4) 私法の適用と解釈
6. 私法上の権利
 - (1) 権利とは何か (2) 私権の種類 (3) 私権の社会性
7. 財産法と家族法

履修上の留意点

初めて学ぶ学問領域ですから、予習・復習を必ずするように心がけてください。

成績評価の方法

半期科目であるため、前期末・授業時間内に行う試験による評価が中心になります。しかし、先生によっては、出席点や質疑と応答による平常点を加味することもあります。

教科書

担当の先生から指示があった場合には、それに従ってください。

参考書等

講義の際に紹介するので、積極的に読書するようにしてください。

| | | | | | |
|------|---------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 憲法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B1必 | | | | |
| 担当者名 | 山本 ^{やまもと} 龍彦 ^{たつひこ} | | | | |

講義のねらい

「ルール」としての「法」は、「われわれを縛るもの」というネガティブなイメージを喚起することがある。しかし、「憲法」にはこのような「法」イメージが当てはまるのか。本講義は、「立憲主義」の考え方を基軸に、憲法上の人権や統治システムを学習することで、この点について“じっくり”考えてもらうことを目的とする。また、それによって、「憲法」を好きになってもらえれば幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

まずは、「立憲主義」の歴史的展開などを追い、「憲法とは何か」について大まかなイメージをもってもらおう。その後、国民主権、基本的人権の原理、平和主義といった憲法の基本原理について説明を加える。前期は、このような基礎理論に加えて、包括的人権としての幸福追求権や法の下での平等、表現の自由などの精神的自由権、職業選択の自由などの経済的自由権、生存権などの社会権その他の人権について学ぶ。さらに、憲法上の権利の「使い手」となるのは誰か、憲法は私人間にも適用されるかといった総論的問題にも触れたい。後期は、主として統治機構（国会、内閣、裁判所）について学習する。

履修上の留意点

ここでは、故芦部信喜博士の次の言葉を挙げておきたい。「嫌悪を感じながら勉強するのは、悲劇である」。

成績評価の方法

定期試験の結果に基づき評価を行う。ただし、講義への積極的な姿勢や、質問に対する回答などの日常的学習活動についても加点的に考慮する。

教科書

日笠完治『憲法がわかった（改訂版）』（法学書院、2003年）、2,730円（978-4587535360）

参考書等

小山剛・新井誠・山本龍彦『憲法のレシピ』（尚学社、2007年3月公刊予定）。その他、最新の法令集、判例集を用意してほしい。

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 民法総則 | 開講 | 半期 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B1必(16年度以降入学生) 法B1234選必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | おおよや たかし 大宮 隆 | | | | |

講義のねらい

民法は、個人相互間の私的生活関係の基本法として、財産（物の所有や契約など）と家族（夫婦・親子や相続など）に関する事項を規律する法律である。日本の民法典は、総則・物権・債権・親族・相続の配列で、五編より構成されているが、本講義の対象は、総則編である。総則には、全編に共通な規定と、どの編にも入れることができない規定が集められている。民法の学習にあたっては、条文数が多いことや、内容が複雑で技術的な構成をとっているため、親しみ難い面があるので、実際の社会生活から遊離することのないように、例示をできるだけ多くして説明することを心がけている。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 民法とはどのような法律か
民法典の沿革、構成
- 2 民法の法源（財産と家族に関する法律はどのような形で存在するのか）
- 3 民法の解釈
- 4 民法の指導原理
- 5 権利の主体——自然人・法人
- 6 権利の客体——物
- 7 権利の変動原因——法律行為・意思表示・代理・無効及び取消・条件及び期限・期間・時効

履修上の留意点

教科書をしっかり読んで、出席してもらいたい。

成績評価の方法

数回のテストを予定している。その結果と、学期末試験の成績を総合して、評価する。

教科書

開講時に指示します。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 刑法総論 | 開講 | 半期 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B1必(16年度以降入学生) 法B1234選必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 佐藤 ^{さとう} 多美夫 ^{たみお} | | | | |

講義のねらい

この講義では刑法総論の分野を扱います。刑法総論は刑法各論のように殺人罪、窃盗罪といった個々の犯罪を扱うのではなく、それらの犯罪の共通にもっている性格を明らかにしようとする。そこで、犯罪の基本的、重要な課題について、その意義と問題点を学説や判例をふまえながらすすめて、体系的に刑法総論を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

I 序説

- 1 はじめに
- 2 犯罪論の基礎
- 3 罪刑法定主義と刑法の解釈

II 構成要件

- 1 総説
- 2 結果
- 3 実行行為
- 4 因果関係

III 違法性

- 1 総説
- 2 正当業務行為
- 3 正当防衛
- 4 緊急避難

IV 責任

- 1 総説
- 2 責任能力
- 3 故意
- 4 過失
- 5 期待可能性

V 共犯

- 1 総説
- 2 共同正犯、共謀共同正犯、承継的共同正犯、過失の共同正犯
- 3 教唆犯
- 4 幫助犯

VI 共犯の諸問題

- 1 共犯と身分
- 2 不作為と共犯
- 3 共犯と錯誤
- 4 共犯の中止、離脱

VII 罪数と刑罰

成績評価の方法

筆記試験とその他総合評価とする。

教科書

開講時に指示いたします(欠席しないように)。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 会社法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B234選必 | | | | |
| 担当者名 | あらき まさたか 荒木 正孝 | | | | |

講義のねらい

この講義では、会社法（株式会社、持分会社〈合名会社、合資会社、合同会社〉）の重要な基礎的な事項について解説するが、とくに現代の経済活動において最も大きな役割を果たしている株式会社の法規制について一年の大半の時間を割くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

大企業から零細企業まで多くの企業が株式会社の形態をとり、株式会社が現代の経済を担い、多数の人々に商品やサービスを提供し、労働の場を提供するという社会的な機能を通して国民の生活に計り知れない影響を与えている。この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などに関する私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点をおき、そこにおける基本的かつ重要な問題を取り上げて解説し、また実務の対応なども検討し、会社法の基本的な考え方を理解してもらうことを目的とする。

平成18年5月1日に「会社法」が施行された。この会社法は、従来片仮名文語体で表記されていた商法第二編、有限会社法、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律について平仮名口語体化してひとつの法典にまとめたものであり、かつ近年、毎年のように行われて来た法改正を全体的に調整し、社会情勢の変化に対応するために各種制度の見直しを行うものである。今年も、この新会社法について、株式会社の設立の概要、設立の手続き、発起人の意義、設立中の法律関係、設立の無効、設立の登記、設立関係者の責任などについて説明し、株式制度においては、株式の意義、株式の内容・種類、株式の流通、株主の権利、自己株式、株式の併合・分割・償却、単元株、利益供与の禁止などに触れ、会社の管理・運営については、機関の意義、株主総会、会社役員を選任・解任、取締役、取締役会、代表取締役、監査役・監査役会、委員会設置会社、役員損害賠償責任などについて解説する。

履修上の留意点

会社法は、民法を前提としているから、民法総則、物権法、債権法などの知識があると理解が容易である。ただ、これらの知識がなくても、講義の内容を理解するために必要な民法の規定や基本概念については、その都度説明するつもりであるから、民法＝財産法について十分な知識がなくても受講には差し支えない。教場には、必ず最新の六法を持参する必要がある。

成績評価の方法

成績は、年度末に行なわれるペーパーテストの点数で評価します。

教科書

教科書は、授業の初めに指示します。

参考書等

会社法判例百選（別冊ジュリスト No.180）（有斐閣）

| | | | | | |
|------|------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 行政学 行政法総論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B234選必(16年度以降入学生) 法B234選必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | かねこ しょうへい 金子 昇平 | | | | |

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない新たな法分野が続出しているといえる。例えば、行政手続法の制定をはじめ、情報公開法、個人情報保護法、環境アセスメント法等を挙げることが出来るが、これらの法領域に対応すべく行政法の理論を考えていかなければならない。

そこで講義においては、行政法総論での、基本的な原理や原則に対する、よりアップ・トゥー・デートな課題を積極的に提示し、諸君とともに、問題発見と問題解決のための法的手法を考えてみたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1)行政法の基礎
 - (1)行政と法の一般的関係 (2)日本行政法の基本構造 (3)行政法の法源 (4)行政法の基本原理
- 2)行政過程論
 - (1)行政立法 (2)行政行為 (3)行政上の契約 (4)行政指導 (5)行政計画
- 3)行政上の一般的制度
 - (1)行政上の義務履行確保 (2)即時強制 (3)行政調査 (4)行政手続 (5)行政情報管理
- 4)行政過程における私人
 - 行政過程における私人の地位及び、行為。

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

塩野宏『行政法I』（行政法総論）〔第四版〕有斐閣

参考書等

塩野宏他編『行政判例百選I、II』（第5版）（有斐閣）

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 裁判法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B2選(16年度以降入学生) 法B234選必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | いばた としはる 五百田 俊治 | | | | |

講義のねらい

裁判手続上の基本原則を講義しつつ、弁護士の視点から、裁判（特に民事裁判）の実体について説明します（例えば、証拠としての書証の重要性、判決と和解の違い、最高裁判所の意義等）

講義の内容・
授業スケジュール

(1) 民事手続の流れ (2) 請求・主張・立証の各段階における基本概念 (3) 口頭弁護の諸原則とその実態 (4) 口頭弁論における当事者の欠席 (5) 貸金返還請求訴訟における当事者の主張・立証 (6) 建物明渡訴訟の実体 (7) 弁論主義と職権探知主義 (8) 証拠の概念 (9) 書証の重要性 (10) 立証責任の分配 (11) 経験則と自由心証主義 (12) 上告審における審理の特色 (13) 刑事手続の流れ (14) 刑事手続における証拠法の特色 (15) 無罪事例の検討

履修上の留意点

できるだけ具体的に裁判の流れや特色を講義したいと考えています。

成績評価の方法

学年末の試験のみで評価する。
資料等の持ち込みは一切不可。
追試は行わない。

教科書

4月に出版予定。

参考書等

特にありません。適宜レジメを配布します。

その他

講義方式で行います。

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 国際法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B2選(16年度以降入学生) 法B234選必(15年度以前入学生) | | | | |
| 担当者名 | 王 ^{おう} 志安 ^{しあん} | | | | |

講義のねらい

国際法学の基礎知識を修得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家および国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における未承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

後期では、前期の基礎知識の修得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論および外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論および実行、国際地域、国際海域および宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式および効力に関する法規制、外交関係および領事関係における特権および免除などを取り上げる。

履修上の留意点

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的な資質をのばすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意思をしっかりと修得する必要もある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。

成績評価の方法

成績は年末の定期試験で決定する。ただし、前期小テストや講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

王志安・飯田順三『国際法への誘い』（八千代出版 2006年）

参考書等

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（上）（東信堂）2002年 2,800円
市販されている国際条約集

その他

授業はすべて power point を使って講義方式で行い、適宜に参考資料を配付する。power point で使われる簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

| | | | | | |
|------|-----------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 新入生演習 | 開講 | 通年 | 単位 | 2 |
| 配当 | 法B1選(16年度以降入学生) | | | | |
| 担当者名 | 佐藤 多美夫 他 | | | | |

講義のねらい

この科目は、法学部に入学してはじめて法律学を学ぶ法律学科の新入生が、これから法律学を学んでいく上で必要な基礎的な勉学の方法を身につけていくために設けるものです。選択科目ですが、できる限り多くの学生が積極的に履修し、4年間の法律学の学修を効果的に行うための基本を修得することを期待します。

授業は、原則として一週おきに、教室と研究室での指導による学習を組み合わせた形態で行います。教室で教わったり体験したりしたさまざまな知識や学習方法を、次の週に研究室で先生と相談したり、指導に従って自習したりしながら、発展させて、自分なりに最も適切な勉学方法を探し当て、開発していった欲しいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

学習の順番や指導の方法はそれぞれの先生が工夫して、学生のみさんの習熟度を見ながら組み立てていきますが、共通して学ぶ項目は以下の通りです。数字の順番の通りにすべて学習していくというよりも、いろいろな項目を組み合わせ、全体としてこれらの基本的なスキルが身につけていくものとして、考えられています。

1. 基本的な学習施設
 - ・図書館や情報センターの利用方法と文献の探し方・調べ方
 - ・教室での講義の受け方とノートのとり方
2. 基本的な書籍の利用方法
 - ・六法全書の読み方と使い方
 - ・法学用語集や辞書の活用方法
 - ・法律学的な文章の読み方とまとめ方
3. 発展的な書籍の活用
 - ・法学文献以外の書籍から法についての感覚を学ぶ
 - ・注のある文献の読み方と注の使い方
4. 法学学習に必要な文の書き方と書くための作業
 - ・レジュメ・レポート・答案のまとめ方と書き方
 - ・ゼミなどでの発表の仕方
5. 将来設計と学修
 - ・卒業後の進路をどう考え、法律学科での学修をどう生かすか

履修上の留意点

一週おきの教室での一斉授業への出席は当然ですが、研究室での指導に課題を課されたり面接があったりする場合には、担当の先生の指示に従って学習してください。国民の休日などの関係で、次回授業日がずれることがあります。毎回出席して、次回授業日を確認してください。

成績評価の方法

出席点および課題提出評価点を総合して成績評価します。

教科書

指定教科書はありません。

参考書等

参考書、課題図書は、各クラス担当の先生がその都度指示します。

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 債権総論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B234選必（16年度以降入学生） 法B2選（15年度以前入学生） | | | | |
| 担当者名 | 中田 英幸 <small>なみた ひでゆき</small> | | | | |

講義のねらい

本講義は、債権法の共通規則である債権総論を学習することを目的とする。債権総論とは、具体的には民法第3編債権第1章総則（およびその特別法）を指し、債権に関して共通して妥当する規則をまとめたものである。それゆえ、債権総論は債権法の根幹を成すが、難解な領域でもある。講義は、抽象的な規定の有する実際的な意味を明らかにして、わかり易くする。

講義の内容・授業スケジュール

- （前期(1)～(3)、後期(4)～(6)）
- (1)序論
（①債権総論とは何か②債権とは何か）
 - (2)債権の「目的」
（①債権の「目的」の意味②債権の種類）
 - (3)債権の効力
（①履行の強制②債務不履行③責任財産の保全④第三者による債権侵害⑤債権者遅滞）
 - (4)債権債務の移転
（①債権譲渡②債務引受）
 - (5)債権の消滅
（①弁済②供託③代物弁済④相殺⑤更改・免除・混同）
 - (6)多数当事者の債権関係
（①債権者が多数である関係②分割債務③不可分債務④連帯債務⑤保証債務）

履修上の留意点

最新の六法を必ず持参すること。講義の内容などについて良く分からない点や疑問に思うことがあれば、いつでも質問してほしい。

成績評価の方法

期末試験により評価する。

教科書

野村豊弘ほか著『民法III－債権総論（第3版）』（有斐閣、2005年）

参考書等

星野英一ほか編『民法判例百選II債権（第5版新法対応版）』（有斐閣、2005年）
他の文献は講義中に指示する。

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 物権法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B2選(15年度以前入学生) 法B234選必(16年度以降入学生) | | | | |
| 担当者名 | いまお まこと 今尾 真 | | | | |

講義のねらい

民法総則講義において、民法全般の仕組みと基本的概念や制度を一通り学習した学生を対象に、債権とともに二大財産権の一つである物権（担保物権を除く）について、人と物の関わり・各物権の特質・各制度の特徴・隣接諸制度等を、より深く、より詳細に理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

物権の意義・性質・効力・物権変動のメカニズムといった物権法総論部分の学習をした上で、各種物権（占有権から用益物権まで）を個別的に細かく学習する。特に、物権取引の安全と公示・公信の要請という理念を反映する物権変動論につき、これらの理念をどこまで貫徹できるかの観点から、各種物権および他の諸制度との関連で検討する。

履修上の留意点

民法総則は、履修済みまたは最低限同時履修の上、本講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

講義の出席回数と前・後期各一回の定期試験の結果を総合判断して評価する。ちなみに、テスト形式は、択一式の問題（5択）を2～3問、論述式の問題を1問という出題形式で、2006年度は2回試験をした。

教科書

宮本健蔵編『マルシェ物権法・担保物権法〔改訂第2版〕』（嵯峨野書院）2005年

参考書等

星野英一・平井宜雄・能見善久編『民法判例百選I総則・物権〔第五版新法対応補正版〕』（有斐閣）別冊ジュリスト159号、2005年

その他

多人数を想定した講義科目であるが、授業中、随時受講生に質問しながら、大規模なゼミ形式を念頭において講義を行う予定である。積極的に発言することを希望する。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 西洋法制史 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B12選 法A12選 | | | | |
| 担当者名 | きたの かほる 北野 かほる | | | | |

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世（1066－1350）
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世（1350－1650）
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度は講義内容を大幅に変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 政治学原論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B12選 法A12選 | | | | |
| 担当者名 | おおつか かつら 大塚 桂 | | | | |

講義のねらい

I 自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれませんが。政治学のみならず隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377（直）です。

II 講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と解明ができるように基礎的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

講義の内容・授業スケジュール

III 講義のすすめかた

現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

IV 講義の内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

- A 政治学の課題と対象、および方法
- B 政治の原理的究明
 - (1) 政治的なるもの
 - ～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従
 - (2) 共同体的なるもの
 - ～国家、社会、主権、法
 - (3) イデオロギー的なるもの
 - ～イデオロギー、正義、自由、平等、人権（シティズンシップ）
- C 政治の思想（史）的究明
- D 政治の実体論的究明
 - (1) 制度論的究明
 - ～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制
 - (2) 機能論的究明
 - ～政党、圧力団体

成績評価の方法

試験による単位認定

中間・学年末試験により、成績を評価します。評価基準は、中間試験50%、学年末試験50%です。なお試験は通常の授業時間を利用して実施します。欠試者に対しては、レポートを課します。※追試験は実施しません。

教科書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000円
大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

参考書等

上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 経済原論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B12選 法A12選 | | | | |
| 担当者名 | 藤原 碩宣 <small>ふじわら ひろのり</small> | | | | |

講義のねらい

- ・経済学の基礎概念の理解
- ・現代日本経済の実態の理解

講義の内容・
授業スケジュール

- ・前期は、マクロ経済を中心に、経済学の規範、スミスとケインズの経済学、国民経済循環、国民所得決定論、わが国の状況等について
- ・後期は、ミクロ経済と応用経済学を中心に、消費者選択、企業行動、寡占価格理論、財政・金融政策、税と社会保障等について

履修上の留意点

授業に出席し、ノートをよくとる事。

成績評価の方法

定期試験
レポート等自助努力をした者は、評価に加える（試験前に提出したものに限り）

教科書

藤原碩宣他著『経済と経済学』（実教出版）

参考書等

授業時に適宜指示

その他

- ・授業は講義形式で、出欠はとらない
- ・Q&Aの時間を設け、理解を図る

| | | | | | |
|------|----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 行政学 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B12選 法A12選 | | | | |
| 担当者名 | <small>こだま ひろあき</small> 児玉 博昭 | | | | |

講義のねらい

行政学は、現代における行政の諸現象を、社会管理と政治行政関係の両観点から、制度・組織・活動の各要素について考察する学問である。この講義は、行政学の全体像を把握し、基礎を理解することを目標とする。

この講義では、はじめに、行政学の対象である行政とは何か、現代の行政国家がどのように成立し、それを受けて行政学がどのように発展してきたかを見る。次いで、制度論として現在の政府体系、政治と行政の関係、中央政府と地方政府の関係を明らかにする。組織論では官僚制の理論と現代組織論をふまえ行政組織の特徴と公務員制度の仕組みを述べる。活動論からは政策の決定・執行・評価の過程、行政責任と民主的統制のあり方を考える。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目を予定している。

1. 行政とは何か
2. 行政国家の成立
3. 行政学の発展と行政改革
4. 現代の政府体系
5. 内閣制度と政官関係
6. 地方自治と分権改革
7. 官僚制の理論
8. 現代組織論
9. 日本の行政組織と行政改革
10. 公務員制度と人事システム
11. 行政活動と政策
12. 政策過程
13. 政策の執行と評価
14. 行政責任と参加

履修上の留意点

行政の現象は広範囲に及び、日常生活とも密接に関わる。行政学の学習にあたっては社会生活全般に関心を持つことが大切である。

成績評価の方法

学期末試験（50％）と学年末試験（50％）によって相対的に評価する。

教科書

森田朗『現代の行政（改訂版）』（放送大学教育振興会）2,000円

参考書等

授業内に適宜指示するか、印刷して配布する。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 商法総則・商行為法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B2選 | | | | |
| 担当者名 | かわぐち ゆきみ 川口 幸美 | | | | |

講義のねらい

民法は私人の一般的な法律関係を規律する法であるのに対して、商法は、営利を目的とする商人・会社の法律関係を規律する法と言える。また、商法は、商法総則、会社法、商取引の3つの分野から構成される。本講義では、商法総則と商行為法（商取引）を取り扱うものとする。具体的には商事売買取引の概要とその法律問題の検討を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

①～⑥は商法総則、⑦～⑩は商取引法（一部消費者保護法を含む）であり、各テーマを2～3回に分けて講義を行う。

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| ①商法総則（商法の意義） | ②商法の適用（商行為概念・商人概念） |
| ③営業譲渡（商号の保護） | ④商号 |
| ⑤商業使用人（支配人・その他） | ⑥商業登記（9条1項と2項の法的効力） |
| ⑦商事売買取引（国際売買取引契約） | ⑧運送契約 |
| ⑨仲立人・取次人・商事代理 | ⑩その他（銀行取引・消費者取引・フランチャイズ） |

履修上の留意点

教科書と最新の六法（判例付きのものは除く）を必ず持参すること。また、商法は民法の特別法であり、体系的な理解を得るためにも、民法科目（特に民法総則と債権法）を同時履修するか、既履修であることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験の成績をもって評価する。出席は原則として取らないので、出席点は考慮しない。すなわち、就職活動・部活動および病欠等についても、特にこれらの者を優遇することはないので、ご理解いただきたい。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

鴻常夫著「商法総則」（弘文堂）
 江頭憲治郎著「商取引法（第三版）」（弘文堂）
 鴻常夫、竹内昭夫、江頭憲治郎／編
 別冊ジュリスト 「商法総則・商行為法判例百選（第4版）」

その他

（当然のことだが）授業中の私語・携帯の使用は厳しく注意する。場合によっては退室を命じる。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 刑法各論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B2選 | | | | |
| 担当者名 | 山口 邦夫 <small>やまぐち くにお</small> | | | | |

講義のねらい

この科目を履修する以前に、刑法総論の単位を取得済みであることを希望する。

講義の内容・授業スケジュール

1年間を次の4期に分けて講義する。

I期 (4・5月)、II期 (6・7月)、III期 (9・10月)、IV期 (11・12月)。

I期 犯罪の分類について。犯罪の分類は何のためにするのか、何を基準にして分類するのか、などいろいろな犯罪についての一般論を検討する。犯罪の分類は、犯罪学や刑事政策にとっては有用であっても、解釈学にとっては直接の影響はないと思われる。それよりも、各犯罪類型を厳格に解釈することの方が重要であることを指摘する。

II期 通説ともいえる3分類の意義についてふれたあと、いわゆる個人法益に対する罪について検討する。

III期 いわゆる社会法益に対する罪について。

IV期 いわゆる国家法益に対する罪について。

なお、II期、III期、IV期と順次検討する予定であるが、場合によっては、II期の対象を中心に一年間が終り、II・III期の対象は、そのつど関連する個所で、加味してやることになるかもしれない。

履修上の留意点

履修者が30名以内であれば、年間を通じて出席をとりたい。出席カードをもとに、毎回数名の人との問答を中心としたコロキウム方式で授業を進めたい。

成績評価の方法

少人数の時は、平常点を重視して、期末試験を省略して単位を認定する。

教科書

特に教科書として指定しないが、刑法総論の知識が不十分な人のために参考書として、大塚仁著『刑法入門 第四版』(有斐閣)

| | | | | | |
|------|---------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 刑事政策 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B2選 法A2選 | | | | |
| 担当者名 | かくしろう とよかず 覚正 豊和 | | | | |

講義のねらい

犯罪とは何か、刑罰とは何か、非収容者の処遇の実態、犯罪者をどのように再社会化させるかなどについて単なる犯罪対策にとどまるのではなく、その社会的・文化的要因や身体的要因、犯罪学仮説、警察機構、刑事司法対策等の諸問題にわたり比較犯罪学的展開を踏まえた上で理解させていきたい。そして、犯罪学における基本理念をわが国の理論的現状をも対比しつつ、国際的動向との関係から正しく捉え犯罪を防衛するための合理的、合目的な手段・方法を探求していくことを目的とする。今日、とうとうと流れる国際社会において、犯罪者という社会のもっとも片隅においやられた人権の在り方を考えるということは、ますます重要な問題になってくるはずである。講義を通じてそれを概観していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

| 回数 | 授業の内容 |
|------|-------------------------------------------------------|
| 第1回 | 受講のガイダンス 刑事政策の意義と課題 刑事政策、犯罪学と規範学の相違について学ぶ。 |
| 第2回 | 犯罪学の歴史と展開 その起源から近代学説までを学ぶ。 |
| 第3回 | 現代犯罪学の課題 ラベリング理論、非犯罪化、非刑罰化、社会的統制理論などについて学ぶ。 |
| 第4回 | 犯罪の理念 犯罪とはなにか。日常わたしたちが用いるよりも広義なものであることを学ぶ。 |
| 第5回 | 刑事政策と暗数 犯罪統計と暗数の意味、被害調査、事故報告調査などについて学ぶ。 |
| 第6回 | 犯罪の原因(1) 身体的・生理的要因について学ぶ。 |
| 第7回 | 犯罪の原因(2) 個人環境的要因について学ぶ。 |
| 第8回 | 犯罪の原因(3) 社会環境的要因について学ぶ。 |
| 第9回 | 刑罰の意義・機能・沿革 意義機能はもちろん一般予防、特別予防、抑制主義、処罰の種類などについて学ぶ。 |
| 第10回 | 死刑 憲法と死刑、存廃論、代替刑について学ぶ。 |
| 第11回 | 自由刑 意義、歴史的考察、短期自由刑、不定期刑などについて学ぶ。 |
| 第12回 | 財産刑 罰金の意義、特質、罰金と科料などについて学ぶ。 |
| 第13回 | 保安処分 意義、種類、要件などについて学ぶ。 |
| 第14回 | 少年保護手続 家庭裁判所と少年審判、少年法改正問題について学ぶ。 |
| 第15回 | 定期試験(予定) |
| 第16回 | 犯罪者の処遇 意義、原則、動向について学ぶ。 |
| 第17回 | 犯罪者の刑事司法政策(1) 警察 微罪処分、ダイヴァージョンなどについて学ぶ。 |
| 第18回 | 犯罪者の刑事司法政策(2) 検察 起訴猶予などについて学ぶ。 |
| 第19回 | 犯罪者の刑事司法政策(3) 裁判 量刑基準、宣告猶予、執行猶予、判決前調査などについて学ぶ。 |
| 第20回 | 矯正の意義・目的 矯正処遇の意義、目的、観念、矯正処遇の原則などについて学ぶ。 |
| 第21回 | 受刑者の処遇 法的地位、処遇原則、分類処遇、死刑確定者の処遇などについて学ぶ。 |
| 第22回 | 犯罪の予防 意義、予防、予防活動、予測、問題点などについて学ぶ。 |

講義の内容・
授業スケジュール

- 第23回 更生保護
意義、措置、概況などについて学ぶ。
- 第24回 恩赦・資格制度
恩赦の種類、効力、存在理由などについて学ぶ。
- 第25回 被害者補償
意義、歴史、必要性、法的性質などについて学ぶ。
- 第26回 各犯罪と対策
少年非行、女性犯罪などについて学ぶ。
- 第27回 各種犯罪と対策
組織犯罪、ホワイトカラー犯罪などについて学ぶ。
- 第28回 各種犯罪と対策
薬物、アルコール犯罪などについて学ぶ。
- 第29回 まとめ
討論及び質疑
- 第30回 定期試験

履修上の留意点

初回の授業において指示する。

成績評価の方法

定期試験および平常点

教科書

齊藤静敬著『刑事政策』（創成社）

参考書等

授業において指示する。

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 債権各論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B2選 法A2選 | | | | |
| 担当者名 | 須賀 ^{すが} 昭徳 ^{あきのり} | | | | |

講義のねらい

民法は財産法と家族法とに分類される。そして財産法は総則編・物権編・債権編よりなっている。家族法は親族編・相続編よりなっています。そして債権編は総論と各論に分かれている。本講義では債権各論と称される分野を講義するものである。
ところで現代社会は契約を中心とする取引社会である。債権各論ではこの契約法を中心として講義するものである。そして事務管理・不当利得・不法行為についても概略を説明するつもりである。

講義の内容・
授業スケジュール

<前期>

①契約総論序説 ②契約自由の原則とその修正 ③契約の種類 ④契約の成立 ⑤同時履行の抗弁権、危険負担 ⑥契約の解除(1)(2) ⑦贈与 ⑧売買(1)(2)(3) ⑨交換・消費貸借 ⑩使用貸借

<後期>

①賃貸借(1)(2)(3) ②借地借家法 ③雇用 ④請負 ⑤委任 ⑥寄託 ⑦組合・和解 ⑧不法原因給付 ⑨不当利得 ⑩不法行為(1)(2)(3)

履修上の留意点

講義にはかならず六法を持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

甲斐道太郎・乾昭三・椿寿夫編『新民法概説(2)第3版』(有斐閣)2,000円

参考書等

講義の中で指示する。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 法思想史 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B2選 法A2選 | | | | |
| 担当者名 | 高橋 ^{たかはし} 洋城 ^{ひろぎ} | | | | |

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということに自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下に掲げる時系列に沿った講義を柱とし、その過程でいくつかの重要な法概念については、時代横断的な考察をも交えていく。

第 I 部 古典的自然法論とその背景の世界像

- [1] 講義のねらい、対象、重点、注意事項などについて / プラトンの法思想：『国家』を中心に考察する
- [2] アリストテレスの法思想：アリストテレス哲学の基礎理論を考察する
- [3] アリストテレスの法思想（続）：正義論、政治体制論を中心に考察する
- [4] キリスト教とローマ法：ヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたキリスト教およびローマ法に由来する諸概念・思想について概説的な紹介を行なう。
- [5] 中世自然法論：トマス・アクィナスの自然法論を中心に論ずる。題材は主として『神学大全』に拠る。

第 II 部 近代自然法論の思想

- [6] 近代的世界像と社会契約説総説
- [7] ホッブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心に考察する
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に考察する。また特に、所有権論史におけるロック所有権論の意義に着目する
- [9] ルソーの法思想：『社会契約論』『不平等起源論』を題材に考察する / 近代自然法論まとめ
- [10] カントの哲学と法思想 批判哲学の意義とその法理論への展開を考察する。特にカントに於ける「公論」の意義を検討する

第 III 部 19世紀以降の法思想・法律学の潮流

- [11] 近代市民社会の思想：18世紀～19世紀の自然法論の果たした役割、およびヘーゲル法哲学について論ずる
- [12] 19世紀の法律学の動向：歴史法学・概念法学についてとりあげる。
- [13] 概念法学批判
- [14] 法実証主義の諸形態
- [15] 現代法理論の動向

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験と平常点によって評価する。平常点には小テスト、課題レポート等が含まれるが、これらは加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

法思想史に関する概説書の例として
 ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。
 ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。
 講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B3選 | | | | |
| 担当者名 | なかつ ひでゆき 中田 英幸 | | | | |

講義のねらい

本演習の目的は、財産法に関する判例を素材として、民法の解釈を学習することにある。紛争が発生した経緯を理解し、望ましい結論（法的判断）を考えることにより、法の運用を学び、法的思考を養う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、財産法に関する基本判例を演習の素材とする。演習参加者は、初回到報告する判例を選び、報告前にレジメの配布・参考文献の指定をすること。報告者は、演習での質疑応答を踏まえて、簡単なレポートを作成すること。
 後期は、最近の判例（ジュリスト1313号の平成17年度重要判例解説の判例を候補とするが、他の最近の判例でも良い）を演習の素材とする。演習の進め方は前期と同様である。
 前期・後期ともに、適宜基礎知識の確認を行う。
 以上の内容は、演習参加者の希望や参加人数によって変更することがある。

履修上の留意点

毎回出席すること。演習では積極的に発言してほしい。

成績評価の方法

報告内容、演習での発言、レポートにより評価する。発言は、結論よりも、結論に至るまでの理由づけや思考過程を重視する。

参考書等

演習にて適時指示する。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I・演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B3選・法B4選 | | | | |
| 担当者名 | あおの ひろゆき 青野 博之 | | | | |

講義のねらい

民法上の問題を自分で見つけ出し、相手も納得できるような解決を考える。

講義の内容・授業スケジュール

民法上のさまざまな問題の中から、ゼミ生が報告したいテーマを自分で探し出してくる。このテーマがゼミの内容になる。たとえば、授業を聞いていたときに疑問に思ったこと、新聞を読んでいて他の人がどのように思うか聞いてみたくなったことなどであるが、民法上の問題であれば、なんでもよい。

履修上の留意点

ゼミ生が報告したいテーマを自分で探し出し、報告し、全員で質疑応答してほしい。ゼミ生が主役である。主役たちの活発な討論を期待する。ゼミ生の意欲と関心でゼミが進んでいく。そんなゼミになることを希望する。出席して、しっかり発言する、これが大切である。毎回、担当者が作成し、少なくとも1週間前に配布されたレジュメ（要旨）にそって討論する。レジュメは、予習のため必要であるから、必ず準備するように。1回でテーマが終わってもよいし、2回以上続いてもよい。

成績評価の方法

出席して、しっかり発言をしたか、担当者として十分な準備をしたかなど総合して判断する。ゼミは、発言することがポイントである。そのことを基準として、成績を評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

判例を扱うときは、民集（最高裁判所民事判例集）などの判例集を丁寧に読んでくること。

その他

発言しているうちに、聞く方も発言したくなるような、そんな発言をする学生に参加してほしい。そうすると、ゼミ生全員の民法理解も進むであろう。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I・演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B3選・法B4選 | | | | |
| 担当者名 | あらい まさたか 荒木 正孝 | | | | |

講義のねらい

ここ数年、社会・経済情勢の急速な変化に対応するため、会社法を中心とした改正が頻繁に行われた。その結果、制度間の規制の不均衡が生じたため、これを是正するとともに各種制度の再検討をし、かつ現代語化をはかるため平成18年に新たな会社法典が施行された。新会社法は、会社法制全般にわたる大改正で実務にも大きな影響を与えることになる。今年、この新会社法の内容や立法の理由などについて研究するつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

新会社法の諸問題の中から重要なテーマを選び、それぞれゼミ生に担当してもらい、その報告を中心にしてみんなで議論するという方法でゼミを進めてゆくつもりです。

履修上の留意点

履修者は、すでに会社法の授業を履修済みで定期試験に合格しており、会社法の基本的な知識を身につけていることが必要です。

成績評価の方法

成績は、リポーターとしての報告の内容や程度、発言内容や回数、そして出席の回数などを総合的に評価してつけます。学年末におけるペーパーテストは行いません。

参考書等

教材や参考書については、ゼミの際に指示します。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I・演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B3選・法B4選 | | | | |
| 担当者名 | おれみや たかし 大宮 隆 | | | | |

講義のねらい 家族法の研究上、知っておいてほしいと思われる裁判例をとりあげる。

履修上の留意点 予習が必要である。

成績評価の方法 年間を通して、総合的に評価する。

教科書 泉久雄他編『家族法基本判例32選』（信山社）2,500円

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I・演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B3選・法B4選 | | | | |
| 担当者名 | かねこ しょうへい 金子 昇平 | | | | |

講義のねらい 本演習においては、行政上の諸制度、行政法規の仕組および複雑多様な法現象を広範囲にとりあげ、現代のあるべき行政法理論について理解を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール ゼミ生の関心のあるテーマについて、判例研究および、学术论文の書評を行い、参加者全員と共に、議論をつくしたいと思っている。演習の内容については、例えば、環境の問題、教育の問題、公務員の問題、地方自治の問題、租税の問題、医療の問題、高齢者の問題、福祉の問題等である。
年二回、七月、二月にゼミ合宿を行い、研究の成果を発表し、討論を行う。
年二回、公的施設の見学会を行う。

履修上の留意点 ゼミ生は、あらかじめ該当する判例、法令等を読みこなして欲しい。六法を持参すること。判例、論文、法律を知ることだけではなく、現実の社会の実態についても、調査し、国・地方公共団体に出向いて、担当者と面会し、取材してもらいたい。

成績評価の方法 出席（ゼミ、見学会、合宿等）により評価する。

教科書 適宜指示する。

その他 発表者は、レジュメを作成し、論点および、自分の意見を発表する。全員が、議論に参加出来ることを望む。

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I・演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B3選・法B4選 | | | | |
| 担当者名 | 北野 <small>きたの かほろ</small> | | | | |

講義のねらい

英米法の諸特徴について具体的に理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

ゼミ員全員で検討のうえ選んだテキストを輪読形式で読み進める。毎回担当者を決め、テキスト内容のほか関連事項を調査・報告させ、それにつき全員で討論する。

成績評価の方法

演習I（三年次生）はゼミでの報告・発言をもとに平常点評価。
演習II（四年次生）は上記のほか卒業研究発表と卒業レポートにより評価。

教科書

提示する候補の中からゼミ員全員が検討して決定する。

参考書等

随時適宜紹介する。

その他

十分な事前学習が要求される。受け身の出席はしないこと。
英米法の講義を受講済か、受講中であることが要求される（単位は修得していなくても構わない）。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I・演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B3選・法B4選 | | | | |
| 担当者名 | 佐藤 <small>さとう たみわ</small> 多美夫 | | | | |

講義のねらい

刑法を知るためには、犯罪について刑法総論及び各論で修得した基礎的知識を具体的に当てはめてみるのが有用である。しかし具体的事実を刑法の立場から眺めてみることは意外と難しいと思われるので、ひとつ一つ、一行一行、理解を得ながら進めることにする。

本演習の目標は結局のところ、具体的な事実を刑法を適用して解決することにある。この目標を達成するためには、事実に含まれている刑法上の論点を抽出してその論点について自己の立場から態度決定して結論を提示することが必要である。一般的に結論には多角的・多面的な見方があり得るので相手の立場・考え方にも耳を傾けそれに対して自己の見解を論理的に主張し説得力のある反批判ができることが必要である。これにより自らの結論の妥当性を検証することができる。

講義の内容・
授業スケジュール

判例、事例を素材にして罪刑法定主義、因果関係、不作為犯、違法性、正当防衛、緊急避難、故意と事実の錯誤、過失犯、違法性の意識、責任能力、未遂、共犯、傷害罪、窃盗罪、強盗罪、詐欺罪などを扱う。

履修上の留意点

刑法に興味がある。
刑法がわかりたい。
刑法が知りたい。
刑法が使いたい。

成績評価の方法

レポート、発言、出席等を総合評価。

教科書

刑法の基本書・判例集等 演習時間に随時指摘する。

その他

「見えざる刑法」が見えてくれば幸いである。

| | | | | | |
|------|---------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I・演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B3選・法B4選 | | | | |
| 担当者名 | にし おさむ 西 修 | | | | |

講義のねらい

私は、演習をつぎのように位置づけたいと考えます。すなわち、マスプロ教育に陥りがちな一方通行を補うべく、双方向性を大切にし、履修生と教師、履修生同士のディスカッションを多用して、みずからを磨きあげる場であると。そしてそれは、たんに勉学ばかりでなく、合宿などを通じて、心のふれあいのなかから、あらたな自分を見つけたす場でもあると。こんな場にするために、私はつぎのような方針でのぞみたいと思っています。

- (1) ゼミのモットーは「出会い、学び合い、そして人間愛」です。
- (2) とくに少人数の場合、日々のふれあいが大切なので、毎回、出席すること。
- (3) ディスカッションには、積極的に参加し、かならず発言すること。

講義の内容・授業スケジュール

前記と後期に分け、前期は1、2冊の本を精読し、それについてディスカッションをします。共通に読む本は開講時に指定。またディスカッションの内容としては、(1) 日本国憲法の成立過程とその法的問題点、(2) 憲法第9条をめぐる諸問題、(3) 世界の憲法トレンド、(4) 人権の現代的意味などを考えています。その他、年に1～2回の合宿を行います。また合宿中に私の落語を聴かされることがあります。

成績評価の方法

出席、発言、課題論文などを総合的に判断する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

適宜紹介する。

| | | | | | |
|------|---------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習I・演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B3選・法B4選 | | | | |
| 担当者名 | はらだ けいちろう 原田 啓一郎 | | | | |

講義のねらい

本演習では、社会保障法の重要問題について判例を素材に具体的検討を行う。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、判例を素材に社会保障法の個別論点を検討する。受講生は、設定されたテーマにそって、レジュメを毎回作成し、報告をする。

履修上の留意点

本演習では、判例研究を行うことから、憲法、行政法総論、民法総則、債権総論・各論、家族法をすでに履修済みであり、現在、社会保障法を受講していることが求められる。また、毎回の予習が必要である。

成績評価の方法

平常点(出席点も含む)

教科書

開講時に指定する。

その他

事前連絡のない欠席は認めない。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 演習Ⅰ・演習Ⅱ | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B3選・法B4選 | | | | |
| 担当者名 | 向田 ^{むかいだ} 正巳 ^{まさみ} | | | | |

講義のねらい

本演習では、判例研究を通じて、民法を基礎から学びます。民法の基本判例を読みながら民法における基本的なものの考え方、法的思考の基本を学び、演習参加者が裁判実務、ビジネス法務実務、行政実務等それぞれの進路においてその知識を活かす術を学ぶことが目標です。

講義の内容・ 授業スケジュール

まず判例百選等でとりあげられるような基本判例を読みながら民法の基礎的な論点を学習し、それを通して判例の読み方、教科書のまとめ方、論文などの資料調査と研究報告の方法について学びます。次に10月くらいからになると思いますが、最高裁判所民事判例集等から最新の判例をゼミのグループ単位で選び、判例のなかから民法解釈論上の論点を抽出し、従来の学説、判例に照らし合わせながら検討するという作業を行います。最後に時間があれば参加者が各自、関心のあるテーマにつき個別に報告、レポートを提出してもらいます。

履修上の留意点

民法の基礎をしっかりと学び、民法の学習を将来の自己の進路希望に役立てることを真剣に考えている学生の演習参加を希望します。

成績評価の方法

出席、発表、議論参加などから総合的に評価します。無断欠席は厳に慎んでください。

教科書

演習の始めに指示します。

その他

コンパ、合宿を予定しています。

| | | | | | |
|------|-------|----|----|----|---|
| 科目名 | 担保物権法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 熊谷 芝青 | | | | |

講義のねらい

企業等に就職した際に、取引先との決済としての手形、その手形債務を含めた、取引先の債務を担保するための担保物権、そしていよいよ取引先が危なくなったときの破産手続きという法的知識が特に求められます。これらの重要な法的知識の中で、担保物権に関する講義を行います。

また債権法と物権法の両領域にまたがる法分野ですので、債権法と物権法の関連知識の復習にも心がけることにします。

講義の内容・授業スケジュール

1. 担保物権法概論
2. 留置権
3. 先取特権
4. 質権
5. 抵当権総論
6. 抵当権の目的の範囲
7. 抵当権の効力
8. 法定地上権
9. 抵当権の処分
10. 共同抵当
11. 根抵当
12. 仮登記担保
13. 譲渡担保
14. 所有権留保
15. 権利質
16. 債権の譲渡担保

履修上の留意点

担保物権を学習するには、債権法と物権法の知識を必要とします。この両法を学習していることを期待します。ただし、債権法と物権法の必要な知識はその都度確認するつもりです。

成績評価の方法

学年末の筆記試験を中心に総合的に評価します。

教科書

近江幸治『民法講義III 担保物権（第2版）』（成文堂）

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 家族法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | たけなか ちか 竹中 智香 | | | | |

講義のねらい

民法典のうち、第四編「親族法」と第五編「相続法」の講義を行います。前期に取り上げる親族法は、われわれにとって最も身近な家族生活を規制する法律であり、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的变化、さらには少子化・超高齢化、女性の社会進出といったさまざまな社会の動向に影響を受けています。社会の変化に伴って生じてきた問題に対して、親族法がどのように対応しているかを、具体的な裁判例の紹介も交えながら、検討していきます。一方、後期に取り上げる相続法も、戦前の家督相続が、第二次大戦の敗戦後、庶子均分共同相続へと変遷し、さらに近年、遺言制度の利用も増加するなど、著しく変化している分野です。本講義では、こうした変遷の内容とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

- (1) 家族法と財産法の相違と家族法の特徴、欧米家族法との比較とわが国の家族法の特徴
- (2) 氏と戸籍、親族
- (3・4) 婚姻：婚約、婚姻成立の要件
- (5・6) 婚姻：婚姻の効果、夫婦財産制
- (7) 婚姻解消
- (8・9) 親子：実親子関係
- (10・11) 親子：養親子関係
- (12) 後見・保佐・補助、扶養

〔後期〕

- (1) わが国の相続法の変遷とその背景
- (2) 相続人
- (3～5) 相続の効力：相続財産の範囲
- (6) 相続の効力：相続分
- (7) 相続の効力：遺産の共有
- (8・9) 相続の効力：遺産分割、相続回復請求権
- (10) 相続の承認・放棄、財産分離、相続人の不存在
- (11・12) 遺言と遺留分

履修上の留意点

身近な問題を取り上げる分野とはいえ、難解なテクニカルタームが多用されています。講義を受ける際には、教科書の該当部分を読んだうえで、分からない文言を調べておくことが望まれます。

成績評価の方法

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。

教科書

有斐閣双書『民法（8）親族 [第4版増補補訂版]』（有斐閣）1,600円
有斐閣双書『民法（9）相続 [第4版増補版]』（有斐閣）1,600円

参考書等

六法
久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選 [第6版]』（有斐閣）2,200円
『法律学小辞典』（有斐閣）4,500円

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 有価証券法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | なかほま よしあき 中濱 義章 | | | | |

講義のねらい

手形小切手法の基本的な原則・制度を理解し、諸問題を検討することを通じて有価証券法理の基礎を習得する。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義は以下の順に行い、各項目ごとに1～2回程度の授業時間を割り当てる。講義の内容は、制度の概要を解説し、具体例を通じて問題点の検討をおこなう。

- 1 手形・小切手の意義および性質
- 2 手形法・小切手法の意義および役割
- 3 手形行為の意義・特色
- 4 手形行為の成立時期
- 5 手形能力、手形行為と意思表示に関する一般原則
- 6 代理人・代表者による手形行為
- 7 無権代理と偽造
- 8 手形関係と手形の実質関係
- 9 手形の振出
- 10 白地手形
- 11 手形の裏書
- 12 為替手形の引受、手形保証
- 13 手形上の権利の取得と善意取得制度
- 14 手形上の権利と手形抗弁
- 15 手形上の権利の消滅
- 16 支払・不渡・遡求
- 17 小切手特有の法制度
- 18 振込・振替など新たな決済システムに関する諸問題

履修上の留意点

六法は小型のものでかまいませんので2006年版を携行して下さい。例えば、『ポケット六法』（有斐閣）、『コンパクト六法』（岩波書店）、『デイリー六法』（三省堂）など。民法（財産法関係科目）および商法科目を履修済み、あるいは履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験での評価を予定していますが、レポートを課す場合もあります。

教科書

濱田惟道『手形法小切手法』（文真堂）

参考書等

開講時に指示します。
『別冊ジュリスト 手形小切手判例百選（第6版）』（有斐閣）
山下友信＝神田秀樹編『商法判例集』（有斐閣）

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 保険・海商法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | はまた せいいち 濱田 盛一 | | | | |

講義のねらい

保険契約法および海商法の基礎的知識を習得することがこの講義の目的です。保険法ですが、私たちは、火災・自動車事故・病気などいろいろな危険にさらされて生活しております。これらの危険を予防・軽減することはできますが、それをすべて除去することはできません。ここに保険制度が必要な理由があります。保険は、共通する危険をもつ者たちがあらかじめ保険料を拠出し、その拠出金を損害を被った者の損害の補填に充てる制度です。このように保険制度は私たちにとって有用なものですが、これが濫用されるおそれがあります。それは、少額の保険料で多額の保険金を取得することが可能だからです。新聞などで報道される保険金殺人事件は濫用の代表的なものです。この講義では、保険制度のもつこの2つの側面を法的視点から考察しようとするものです。

次に海商法ですが、海商法は船舶を手段とする海上企業活動に関する法です。船舶は、交通手段としては時代遅れのようにも思われますが、物品の運送については、依然として重要な地位にあります。また、海商法は、その起源を中世の慣習法に求めることができます。そのため、この分野には独特の制度がみられます。この講義では、海上物品運送契約を中心に概要をみることにします。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、保険制度の仕組み、損害保険の仕組みを中心に概説します。後期は、火災保険・自動車保険・生命保険を解説し、その後海商法を概説します。

履修上の留意点

私法の基本法である民法を修得していることが望ましいです。

成績評価の方法

原則として学期末試験により評価します。試験は持込み不可で行います。出席を数回とる予定です。これは、成績評価の際に加点事由とします。

教科書

山野嘉朗・山田康彦編『現代保険・海商法30講（第6版）』（中央経済社）4,000円（税別）

その他

授業は、講義形式で行います。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 民事訴訟法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | さかもと けいぞう 坂本 恵三 | | | | |

講義のねらい

民事訴訟法（判決手続）の基本的な内容を習得することを目的とします。講義内容としては、基本的に第一審判決手続のうちいわゆる複雑訴訟を除く部分を中心とします。

講義の内容・授業スケジュール

1. 民事訴訟法の講義に入る前に（1） 民事裁判はどのように行われるのか？
法律による裁判・裁判の三段論法
2. 民事訴訟法の講義に入る前に（2） 訴訟で勝った場合どうなるのか？
判決の確定と判決の効力についての基礎知識
3. 裁判所（1） 裁判権と管轄、移送
4. 裁判所（2） 裁判官の除斥・忌避・回避
5. 当事者（1） 当事者の概念と当事者の確定
6. 当事者（2） 当事者能力と訴訟能力、訴訟上の代理人
7. 訴え 訴えの概念と訴えの種類
8. 訴訟物
9. 訴訟物についての処分権主義（一部認容判決、一部請求）
10. 訴え提起の効果（二重起訴の禁止、時効中断の効果）
11. 期日・期間・送達
12. 口頭弁論の審理方式に関する諸原則
13. 口頭弁論および口頭弁論における当事者の欠席
14. 弁論主義（訴訟資料の収集に関する原則）
15. 弁論主義が問題となる具体的ケース
16. 当事者の訴訟行為
17. 証拠（1） 訴訟の概念、証明を要しない事項
18. 証拠（2） 裁判上の自白
19. 証拠（3） 証拠調べの手続き
20. 当事者の訴訟行為による訴訟の終了
21. 判決による訴訟の終了（判決の種類、判決の成立、判決の効力の基礎知識）
22. 既判力（1） 既判力の基準時
23. 既判力（2） 既判力の客観的範囲
24. 既判力（3） 既判力の主観的範囲

履修上の留意点

民法（財産法）の科目をできるだけよい成績で履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験の成績によって評価する。

教科書

一応推薦できるものとして、上原敏夫他著『民事訴訟法』有斐閣Sシリーズの最新版を挙げておきますが、他に気に入ったものがあればそれで構いません。他にすすめられる教科書や参考書については講義で指示します。また必要に応じて講義レジュメを配布します。

| | | | | | |
|------|-------|----|----|----|---|
| 科目名 | 刑事訴訟法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 松本 英俊 | | | | |

講義のねらい

我々は日々、事件の大小にかかわらず、多くの事件報道、犯罪報道に接している。社会的に重大な事件であればその報道も大量になされる。しかし、日常的に我々が接する、このような情報は概ね捜査段階という刑事司法手続のごく一部にすぎない。また、公判段階の問題については、その情報量はとりわけ少ないといえよう。

本講義では、まず刑事司法手続の全体像を確認・把握し、報道や捜査段階および公判段階等に見られる問題点を刑事司法の理念をふまえて検討することを目的とする。

講義では、憲法・刑事訴訟法の理念に基づいた解釈から、現状を批判的に検討し、実務上どのような問題があるのかを考え、あるべき司法の姿を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- (1・2) 刑事手続の概観・基本原理
- (3・4) 捜査の全体像・捜査の端緒
- (5・6) 任意捜査と強制捜査
- (7・8) 証拠の収集
- (9・10) 逮捕・勾留
- (11・12) 被疑者取調べ
- (13) 被疑者の防御

後期

- (14・15) 公訴・検察官制度
- (16・17・18) 訴因を巡る諸問題
- (19・20) 公判手続
- (21) 証拠の基本原則
- (22) 排除法則
- (23) 自白法則
- (24・25) 伝聞法則
- (26) 上訴・再審

履修上の留意点

テキストおよび六法を持参すること。日ごろから問題意識を持ち、新聞・テレビ等の犯罪報道にも注意を向けてもらいたい。

成績評価の方法

原則として、定期試験により評価する。適宜、小テストやレポートを課し、その結果も参考とする。追試験は実施しない。

教科書

参考書等を授業で紹介します。

参考書等

松尾浩也・井上正仁編『刑事訴訟法判例百選（第七版）』（有斐閣）2,100円

その他

授業は講義形式で行う。

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 労働法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | ふじもと しげる 藤本 茂 | | | | |

講義のねらい

今日、労働関係は、リストラ、成果主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。

労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、労働時間法制、労働契約法制定の動きや男女雇用平等などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進め、その基礎的知識を身につけることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、行います。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の集団的決定－就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入りロー採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo、そして無断で席を立つことはNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

憲法、民法、社会保障法、社会政策は、近接科目であるので、ぜひ履修してください。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、出席などととも、総合的に評価します。確認テストや中間試験も評価の対象です。追試験は実施します。

教科書

浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）か浅倉むつ子ほか著『労働法』（有斐閣）のうち1冊は用意してください。受講者は必ず1冊は用意してください。

参考書等

第1回目の授業で、プリントで紹介します。

六法は、最新のもの（法律改正や制定があるので特に）。そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めます。

| | | | | | |
|------|----------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 社会保障法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | はらだ けいいちろう 原田 啓一郎 | | | | |

講義のねらい

今日の社会保障制度が本格的に構築されたのは、第二次世界大戦後であったこともあり、社会保障法学が本格的な法学の一研究領域として認知されたのはごく最近である。

社会保障は、第一義的には国民の生活保障を目的とする制度であり、その重要性は私たちの日常生活において無視し得ないものになっている。本講義では、社会保障法の基礎と個別制度の特質・内容の理解を通して、社会保障の法的理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- I 社会保障とその特質
- II 社会保障法の理論と課題
- III 年金制度——国民年金、厚生年金、企業年金
- IV 社会手当制度
- V 医療保障制度——国民健康保険、健康保険
- VI 労災保険制度
- VII 雇用保険制度
- VIII 社会福祉制度
- IX 公的扶助制度

履修上の留意点

社会保障の法政策論は、同担当者による「社会政策」で詳細に取り扱う。

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教科書

教科書は講義開講時に指定する。
六法は、『社会保障法令便覧』（労働調査会）を必ず携帯すること。

参考書等

適宜紹介する。

その他

履修にあたっては、憲法、行政法、民法、労働法、社会政策、法哲学などの科目を既修若しくは履修中であることが望ましい。

| | | | | | |
|------|----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 行政救済法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 塩入 <small>しおいり</small> みほも | | | | |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 行政活動に対する国民の権利救済に関する法制度（＝行政救済法）について講義します。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 内容的には、国家賠償、損失補償、行政不服審査、行政事件訴訟の各法制度について講義していきます。 |
| 履修上の留意点 | 行政法の基礎知識を前提とするので、基本的には行政法総論を履修済みであることが望ましいです。ただし、努力次第では、総論との並行又は単独履修も可能です。特に公務員、行政書士等の国家試験を目指している学生のために、出題頻度の高い問題、論点についてはその都度指摘します。 |
| 成績評価の方法 | 定期試験（年度末一回）及び不定期に確認する出欠の総合判断により評価します。 |
| 教科書 | 特定の教科書は使用しません。 |
| 参考書等 | 初回講義時の際に紹介します。 |

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 税法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B34選 法A34選 | | | | |
| 担当者名 | <small>なかえ ひろゆき</small> 中江 博行 | | | | |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 現代生活においては、我々は租税に無関心でいることはできない。なぜならば、日常生活では取引・契約は必ず発生し、そこには、通常、課税関係が生じる。 そこで、本講義では、租税の機能・役割から、租税法上の考え方を身につけてもらう。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | （前期） 1. 租税の目的・意義 2. 租税法律主義の原則と租税回避について 3. 所得概念と所得税の基本構造 4. 税務調査 （後期） 1. 相続税法の基本構造 2. 法人税の課税根拠と企業利益 3. 消費税法のしくみ |
| 履修上の留意点 | 会計学、財政学、簿記学等の科目の履修が望ましい。またレポートの提出を随時求めるが、提出がない場合には期末試験の受験資格を失うこともあるので注意すること。 |
| 成績評価の方法 | 講義中に課すレポート及び期末試験の結果を総合して評価する。（定期試験60%、レポート30%、講義の参加態度10%） |
| 教科書 | 中江博行『法人税法講座』（税務経理協会） |
| 参考書等 | 六法（税法掲載のもの）、別冊ジュリスト『租税判例百選』第4版（有斐閣） |
| その他 | 随時、税務・会計に関するメディア情報を取りあげる。世の中の動きに注意を払って貰いたい。質問は、原則、講義終了時に行うが、E-mail・ip5@p-five.comでも受け付ける。 |

| | | | | | |
|------|------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 地方自治法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B34選 法A34選 | | | | |
| 担当者名 | とみい ゆきお 富井 幸雄 | | | | |

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻りに法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版以降を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 国際紛争解決法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 王 ^{おう} 志 ^{しあん} 安 | | | | |

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002年 2,000円

参考書等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。板書かわりに、powerpoint を利用した講義を行う。

| | | | | | |
|------|-------|----|----|----|---|
| 科目名 | 国際私法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 佐々木 彩 | | | | |

講義のねらい

法律関係の構成要素に外国に関連する要素が一つでも含まれる場合を、一般に渉外的法律関係と呼ぶ。そして、渉外的法律関係に適用すべき法律を指定する規定を定めているのが国際私法である。国際私法は、渉外的法律関係によって生じる紛争を円滑に解決に導く手段のみならず、予めどの国の法律を適用することとなるのか等の予測可能性を高めてくれることにも役立つ。わが国では「法の適用に関する通則法」という法律を中心に国際私法が形成されている。国際私法は、民法や商法のような実質法のように私法問題の判断基準となる法律とは規律する領域を異にしており、異なる次元に位置づけられるものとして、上位規範等と呼ばれることがある。このような他の分野と異なる国際私法的センスを習得できるように講義を進めたいと考えている。国際私法は時として難解な科目であると捉えられがちであるが、国際結婚・離婚、国際養子縁組、国際契約等に関する身近な問題を具体例として取り上げ、できる限り分かり易いものとなるように工夫を試みたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期：国際私法総論（4～6月）、国際家族法（6～7月）
後期：国際家族法（9～11月）、国際財産法（11～12月）

履修上の留意点

基礎となる他の科目（特に家族法）について基礎知識を有することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の筆記試験による。

教科書

『国際家族法要説 新訂補正版』笠原俊宏（高文堂出版社）

参考書等

いずれかの六法を常に携帯すること。

その他

授業は講義によって進行するが、時折、事例を設定して、皆で一緒に考えることも予定している。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 環境法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B34選 法A34選 | | | | |
| 担当者名 | なみた たかひと 仲田 孝仁 | | | | |

講義のねらい

本講義の目的は、受講者に広く環境問題に関心を持たせることは言うまでもなく、「環境法」の法的枠組みを理解させ、「法」という道具を用いることで、各人が環境問題への具体的解決策を導くための糸口を与えることにある。履修者諸君には、本講義の履修後に、環境問題を一歩踏み込んで解釈・分析する視点を持つことが期待される。

講義の内容・授業スケジュール

環境法に係る共通的な法理論・原則を概説した後に、個別的な実定環境法へと講義内容を展開する。1. オリエンテーション、2. 環境法の歴史、3. 環境法の諸原則、4. 環境基本法について、5～8. 廃棄物・リサイクルと法、9～10. 化学物質管理と法、11～13. 大気・水質・土壌環境保全と法、14. 外来生物と法、15. 自然環境保全・種の保存と法、16～17. 環境影響評価と法、18～20. 環境紛争と民事的・行政的解決、21. 道路公害訴訟について、22. 国・自治体におけるディーゼル車規制、23～24. 地球温暖化対策と法、25. 環境リスク管理と予防原則、26. 最終講—環境法の現在・過去・未来

履修上の留意点

学生諸君との対話を重視した双方向型の授業とする。よって諸君には頻繁に発言やメモの提出を求める。講義自体はパワーポイントやビデオ等を用い、視覚に訴えることで分かりやすさを心がけたい。講義内容は基礎的な事項を中心に進めるが、最新判例や理論の動向も加味していく。また、具体的な事例を取り上げ、それらの問題の所存や解決策を諸君とともに模索していく。

成績評価の方法

期末試験の成績（70%）及び平常点（出席点・発言点、レポート、30%）を総合的に評価する。詳しくは、開講時に説明する。

教科書

使用しない。インターネット上や新聞、ニュース等が生きた教材となる。

参考書等

別冊ジュリスト『環境法判例百選』（有斐閣）2004年等。
その他は授業時に指示する。

その他

講義においては、レジュメを配布する。また、必要な範囲で環境法令も配布する。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 経済法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B34選 法A34選 | | | | |
| 担当者名 | 荒井 登志夫 <small>あらい としお</small> | | | | |

講義のねらい

規制緩和・グローバル化の下で、独占禁止法を中心とする経済法の分野はますます重要性を増し、近年、相次いで法改正が行われている。本講では、独占禁止法を中心に、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①我が国の経済構造、取引実態を具体的に説明し歴史的視点も取り入れながら、②法律の規定を平易に解説しつつ、③ホットで具体的な適用事例を挙げて説明して行く計画である。

講義の内容・授業スケジュール

1～3 講義方針、基礎概念、歴史 4～5 私的独占 6～10 不当な取引制限、官製談合防止法、課徴金 11～14 不公正な取引方法 15～17 景品表示法 18～19 第四章規定（一般集中、市場集中） 20 寡占規制 21～23 公正取引委員会、手続規定、罰則 24 国際的環境 25～26 事例研究、まとめ

履修上の留意点

講義に出席しないと理解できないと思われるため、できる限り出席されたい。

成績評価の方法

成績評価は、試験7割、出欠及びレポート提出3割の割合で評価し、合算するものとする。

教科書

「経済法」（第5版・荒井大太郎・向田直範）ほか・有斐閣アルマ

参考書等

「独占禁止法（第2版）」（金井貴嗣・川濱昇ほか・弘文堂）
 根岸哲・杉浦市郎『経済法』（法律文化社）
 根岸哲・舟田正之『経済法概説』（有斐閣）
 丹宗暁信・岡田外司博ほか『新現代経済法入門』（法律文化社）
 「経済法」（鈴木満・深雪・尚学社）

その他

レジュメを配布する。六法を必ず持参のこと。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 知的財産権法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B34選 法A34選 | | | | |
| 担当者名 | 盛岡 <small>もりおか かずお</small> 一夫 | | | | |

講義のねらい

知的財産権法には、狭義の工業所有権法（特許法・実用新案法・意匠法・商標法）の他に著作権法等が含まれる。知的財産権法は、知的所有権法または無体財産権法といわれることもある。

知的財産権法全般についての基礎理論を理解できるように、わかりやすく講義したいと考えている。学説・判例の対立している点については、これに関する学説・判例を紹介し、問題点の所在をあきらかにしたい。

特許法においては、発明の定義、特許を受けるための要件、従業者が発明をした場合の法律関係、特許権の侵害に対する救済方法、実施契約等について、実用新案法においては、特許法との相違について、商標法については、商標登録要件および類似商標について詳しく解説する。著作権法および不正競争防止法についても講義する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：4月・5月・6月特許法・実用新案法、7月意匠法
後期：9月・10月商標法、11月著作権法、12月不正競争防止法

成績評価の方法

前期・後期に行なう平常試験および学年末試験によって評価する。

教科書

盛岡一夫『知的財産法概説』（法学書院）

参考書等

特許庁編『工業所有権法逐条解説』（発明協会）、中山信弘『工業所有権法上』（弘文堂）
鴻・紋谷・中山編『特許判例百選』（有斐閣）、斉藤・半田『著作権判例百選』（有斐閣）

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 民事執行・保全法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B34選 法A34選 | | | | |
| 担当者名 | 福永 <small>ふくなが きよたか</small> 清貴 | | | | |

講義のねらい

本講義では、民事執行・民事保全の両手続のうち、とくに民事執行手続を中心に、その解釈上の重要問題と全体構造の理解を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、まず総論として、判決手続・執行手続・保全手続の概要や執行手続の種類・態様、民事執行手続の理念・基本構造等について説明する。その後、各論として、強制執行手続（債務名義・執行文・執行関係訴訟等）と担保権実行手続とを比較しながら講義する。後期後半には、民事保全手続（保全命令の発令手続・保全執行手続）について講義する予定である。

履修上の留意点

民法（特に債権法・担保物権法）および民事訴訟法を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

前・後期の期末試験の成績によって評価する。

教科書

『わかりやすい民事執行法・民事保全法』生熊長幸 著（成文堂）3,300円＋税
ISBN4-7923-2500-5

参考書等

「民事執行法判例百選」。その他、適宜紹介する。

その他

授業方法は、講義形式である。但し、受講生が少数の場合は、ゼミ形式で行うこともある。適宜、プリントや資料を配布し、毎回具体的な事例を題材として講義する予定である。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 倒産処理法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B34選 法A34選 | | | | |
| 担当者名 | 鈴木 貴博 <small>すずき たかひろ</small> | | | | |

講義のねらい

破産法を中心に倒産法制の概要とその基本事項に関する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

倒産処理手続は、債務者、債権者、担保権者など多数の利害関係人の利益が錯綜する。そのため、手続の基準は債権者の平等な取扱いや社会経済上の不利益の回避といった要請に応え、多数の利害関係人を納得させるように機能することが期待される。このような手続の必要に伴う法律関係の修正・変更について手続の概要とともにまなんでいくことにする。

1. 倒産法制の概観
2. 破産原因・破産能力
3. 破産申立てと破産宣告手続
4. 別除権・相殺権
5. 破産財団をめぐる法律関係
6. 財団再建・取戻権
7. 破産手続の主体
8. 否認権・配当
9. 免責・破産犯罪

履修上の留意点

民事法関連科目（民法・商法・民事訴訟法など）を履修済みであることが望ましい。その他、受講にあたって必要なことは開講時に指示する。

成績評価の方法

簡単なレポートと定期試験の総合評価により行う。

教科書

徳田和幸『プレップ破産法』第3版（弘文堂）2005年 1,260円

参考書等

山本和彦『倒産処理法入門』第2版（有斐閣）2005年 2,100円
 伊藤真『破産法』第4版（有斐閣）2005年 4,200円
 青山善充・伊藤真・松下淳一編『倒産判例百選』第3版（有斐閣）2005年 2,730円

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 財政学 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B34選 法A34選 | | | | |
| 担当者名 | 速水 昇 <small>はやみ のぼる</small> | | | | |

講義のねらい

私たちの日常生活は、そのほとんどの側面で直接・間接的に政府の経済活動の恩恵を受けている。たとえば、出掛けに傘を持っていくべきか否かは、適確な天気予報によって判断できるし、病気や怪我をしたときにかかる医療費は医療保険のおかげで実際に支払った額の数割程度ですむ。また、道路・港湾などの社会資本整備は公共部門が供給しているなど、政府はさまざまな役割を担っている。さらに金融不安、国債の累積残高、高齢化・少子化社会、規制緩和など政府が解決しなければならない問題が非常に多くある。

その反面、わが国の政府は、平成17年度末で国債の発行残高が約538兆円、地方公共団体の赤字が約205兆円、これに約28兆円の旧国鉄の債務や「隠れ借金」といわれる林野事業等の特別会計の借金を加えると、財政赤字は実に約774兆円になる。この数字は17年度わが国のGDP見込みの151.2%に相当する。EU（ヨーロッパ連合）の基準だと健全な国家の財政赤字はGDPの60%とされているから、わが国の財政はいかに不健全な状態であるかが理解できる。最近の景気低迷、これから高齢化・少子化社会に向けて、納税者としての立場、あるいは日本国民としての立場から財政の問題を考えていくことが大切であるという認識に立って授業を行う。尚授業中に勉強したことについて10回程度の小テストを予定しているので、出席に自信のある学生を希望する。

成績評価の方法

試験、授業中の小テスト、レポート（小テスト、レポートで成績の半分を評価する）

教科書

速水昇編著 『公共部門の経済活動と租税』（学文社）

| | | | | | |
|------|-------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 国際関係論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B34選 法A34選 | | | | |
| 担当者名 | 三船 恵美 | | | | |

講義のねらい

国際関係論の基本的な概念や理論、国際機構、現代国際関係の枠組み、国際関係における諸問題などについて講義します。

講義の内容・
授業スケジュール

1. イントロダクション
2. 国際関係のアクター
3. 国際関係の分析視角
4. 日本の領域と日韓関係
5. 日本の領域と日中関係
6. 国益とパワー
7. 安全保障の概念と類型
8. 人間の安全保障とODA外交
9. 国連と日本
10. 《9・11》以後のアメリカ外交：テロ・WMD・MD
11. 北朝鮮問題と国際関係
12. 日米同盟と米中関係・日中関係
13. 中央アジアをめぐる多国間協議と中露関係：CIS・EAES・SCO・CICA
14. APEC、ARF、「1 + 10」、東アジア共同体構想
15. AUの枠組み・ルワンダ・ダルフルからみる国連の限界
16. EUの枠組み・EU拡大とその影響
17. イラン問題
18. 地球環境問題をめぐる政治と経済
19. リアリズム
20. ネオ・リアリズム
21. ゲーム理論
22. リベラリズム
23. ネオ・リベラリズム
24. マルキシズム
25. グローバル・ガバナンス論、デモクラティック・ピース論、平和研究
26. # 2～9、19～25のクイズ (=小テスト)
27. クイズの解説
28. 総括

履修上の留意点

テストを欠席した場合にレポートは課しません。配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。欠席した場合の授業内容は、各自の責任で補って下さい。

成績評価の方法

試験 (100%)。

教科書

『グローバル社会の国際関係論』山田高敬、大矢根聡編 (有斐閣) ¥2,000 ISBN 4-641-17325-7
 天児慧『中国・アジア・日本』ちくま新書、2006年、700円+税。

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 経済政策 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B34選 法A34選 | | | | |
| 担当者名 | まつまえ たつよし 松前 龍宜 | | | | |

講義のねらい

本講義は、経済政策に関する様々なトピックとその背景にある基礎理論を学び、各々の経済政策がどのように私たちの生活に影響を及ぼしているのかを理解してもらうことを目的とする。本講義の特徴は、多くの専門分野における経済政策に関するトピックを、ミクロ経済政策（参入規制、価格規制、特定産業の保護政策）、マクロ経済政策（成長政策、財政・金融政策による安定化政策）、所得再分配政策（税制の公平性、社会保障制度、世代間所得移転問題）の3部に統一的に分類し、バランスよく解説することにある。講義の方針としては、数式の利用を極力避け、表やグラフを利用して直観的に理解してもらうこととする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 経済学と経済政策の基礎理論 1
2. 経済学と経済政策の基礎理論 2
3. ミクロ経済政策 1：市場への政府介入
4. ミクロ経済政策 2：公共事業と競争政策
5. ミクロ経済政策 3：外部性と公共財
6. ミクロ経済政策 4：情報の経済学と経済政策
7. マクロ経済政策 1：成長政策の理論と課題
8. マクロ経済政策 2：安定化政策の基礎と財政・金融政策
9. マクロ経済政策 3：インフレ・デフレと失業
10. マクロ経済政策 4：安定化政策の現代的課題
11. 所得再分配政策 1：所得再分配政策の基礎理論
12. 所得再分配政策 2：税制の効率性と公平性
13. 所得再分配政策 3：年金と医療政策

履修上の留意点

数学の知識は特に必要としない。

成績評価の方法

試験60%、レポート40%で評価する。

教科書

岩田規久男、飯田泰之、(2006)、『ゼミナール経済政策入門』、日本経済新聞社、3200円（税別）、ISBN：4-532-13310-6

参考書等

ミクロ経済学：武隈慎一、(1999)、『ミクロ経済学』、新世社
マクロ経済学：吉川洋、(2001)、『マクロ経済学』、岩波書店

その他

板書による講義形式である。

| | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 実務演習I | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B34選 法A34選 | | | | |
| 担当者名 | なかの たつひさ 中野 辰久 | | | | |

講義のねらい

本演習は、従前応用憲法演習として実施されていた経過を踏まえ、憲法を中心に演習を行っていきます。特徴としては、弁護士が担当することで実務における法の適用のされ方を踏まえた、憲法の諸論点の理解並びに法解釈能力を養うことを目的とし、あわせて種々の国家試験や法科大学院への進学も念頭に置いていきたいと思っております。また、法律実務に関する諸問題についても適宜ご紹介していきたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

憲法の中でも基本的人権論を中心に取り上げ、それに関連する形で統治機構論・憲法訴訟論を加味していく予定です。基本的には近年問題となった実際の事件・判決を題材にしていきたいと思っております。

検討テーマの一例を挙げると下記のとおりです（括弧内はこの数年において取り上げた事例です）。

- 1 基本的人権総論
- 2 基本的人権の限界－公共の福祉論
（死刑の合憲性をめぐる問題）
- 3 基本的人権の享有主体
（外国人の公務就任権の可否）
- 4 精神的自由権を規制する法律の合憲性審査基準
表現の自由・検閲の禁止・事前抑制の原則的禁止の法理とプライバシー権（週刊文春事件）
表現の自由・明確性の基準
（青少年保護育成条例事件）
集会の自由・集団行動の自由
信教の自由・政教分離原則
（内閣総理大臣靖国神社公式参拝訴訟）
- 5 経済的自由権を規制する法律の合憲性審査基準
職業選択の自由・営業の自由
（プロ野球のドラフト制度の是非）
- 6 社会権を巡る問題
生存権（生活保護費貯蓄容認判決）
教育を受ける権利・特別権力関係論・部分社会の法理（校則）
- 7 法の下での平等（議員定数不均衡事件判決、尊属殺重罰規定違憲判決）
- 8 その他

履修上の留意点

出席を成績評価の1要素としますので、出席を取ります。また、本演習を受講した後の復習をしていただきたいと思います。

成績評価の方法

出席とレポートで評価する予定です。レポートは後期終了時に提出してもらう予定です。

教科書

芦部信喜・高橋和之補訂『憲法第三版』（岩波書店）
芦部信喜・高橋和之・長谷部恭男編『別冊ジュリスト 憲法判例百選I・II（第四版）』（有斐閣）

参考書等

演習の都度、レジュメを配布する予定です。
その他、参考となる書籍として下記の書籍を掲記します。
『立憲主義と日本国憲法』高橋和之著（有斐閣）
『憲法I第4版』『憲法II第4版』野中俊彦他共著（有斐閣）

その他

前記のとおり、弁護士の業務内容その他の法律実務の話や日々生起する憲法問題についての紹介等も適宜行っていきたいと思っております。

| | | | | | |
|------|------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 実務演習II | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 法B34選 法A34選 | | | | |
| 担当者名 | 鶴井 俊吉・上野 雅祥・小林 寛・杉山 真一 | | | | |

講義のねらい

本演習は、民法の領域を中心に演習を行っていきます。その特徴は、①法科大学院への準備段階として、専門領域について精通している経験豊かな弁護士を中心に、双方向授業を行うこと。②法曹になるための前提として、大学院試験等を念頭に入れ、単なる知識をつめこむという演習ではなく、柔軟な物の考え方のできる頭の訓練をすること、の2点である。

講義の内容・授業スケジュール

演習内容は、三名の弁護士と相談して決定するが、基礎民法演習で学んできたことを前提として、ケース・スタディーなど実践的な内容の比重が大きくなると思われる。具体的事案の解決にあたって、今まで学んできた民法の基本原則をどのように活用し、法律構成して妥当な結論に導くかという、理論的思考を重視した演習になる。そのために、積極的に討論に参加できるように希望する。

検討するテーマは、受講者決定後にプリントを配布する予定でいます。

履修上の留意点

本演習の性質上、民法総則・物権・債権等を履修している学生を対象とする。なお、受講者が多数の場合は、最初の演習の時間に選択を行う予定でいますので、全員が成績証明書を持参して下さい。

成績評価の方法

出席状況と平常点で総合評価する。

参考書等

演習の都度、適宜指示する。

| | | | | | |
|------|-------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 実務演習III | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 法B34選 法A34選 | | | | |
| 担当者名 | 木村 美隆 | | | | |

講義のねらい

刑法は、実定法のひとつとして、現実の社会事象への適用を前提に存在している。判例は、実務家の手による、そのひとつの適用例ということができる。

この講義では、刑法上の著名な論点に関わる判例を順次取り上げ、刑法の社会事象への適用にあたって、どのような検討や分析が必要かを考えてみたい。これによって、刑法への興味や理解が増すこととなれば、幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

刑法総論、各論の両分野にわたり、毎回1件ずつ判例を取り上げることとする。受講者の理解を得やすくするため、総論の分野から始め、一般の教科書に示されている体系順に判例を取り上げる予定である。取り上げる具体的な判例は、開講の際プリントを配布して指示する。

履修上の留意点

判例の結論を、単に知識として集積しようというのではなく、これを批判的に検討する姿勢を重視したいと考えている。「自分で考える」という授業態度を、期待したい。

成績評価の方法

講義で取り上げた判例のうち任意のものを1件選択し、学年末にレポートを提出してもらうこととし、レポートの内容によって成績を評価する。

教科書

教科書、参考書は特に指定しないが、開講の際受講者が入手しやすい学生向けの判例集を紹介する。ただし、できれば一度は、各判例の原典に当たって学習することを勧めたい。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 簿記論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 鈴木 ^{すずき} 勝浩 ^{かつひろ} | | | | |

講義のねらい

簿記は、企業の経済活動を貨幣価値的に把握し、一定の記帳原理に基づいて記録・計算する方法である。現在企業ではコンピュータによる会計処理が主流となっているが、その基本には複式簿記の原理があり、マニュアル方式による簿記と何の変わりもない。また簿記は会計関連科目を学ぶ上で基礎的前提となるものであるため、初めて会計を学ぶ学生を考慮に入れ、複式簿記の原理をわかりやすく解説を行っていく。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、まず簿記の歴史と複式簿記の原理を解説した後、日商簿記検定3級程度の知識を得るべく、簿記一巡の手続きに従い、記帳演習を取り入れながら個別事項を学習していく。また現在の実務状況を勘案し、コンピュータ環境下における簿記会計の在り方についても触れていきたい。

履修上の留意点

簿記はその性格上、知識の積み重ねが必要であるためなるべく欠席しないこと。また簿記は一定のルールさえ習得してしまえばその後の理解は容易である。したがって講義のスタートを大事にしたいと考えており、学生諸君もそのつもりでいて欲しい。

成績評価の方法

定期試験・提出課題・出席率の総合評価で行う。

教科書

加古宜士・渡部裕宣編著『新検定簿記講義3級商業簿記』（中央経済社）

参考書等

加古宜士・渡部裕宣編著『新検定簿記ワークブック3級商業簿記』（中央経済社）

その他

講義の際には、電卓を持参すること。

| | | | | | |
|------|-----------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 経営学総論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | なとり <small>しゅういち</small> 名取 修一 | | | | |

講義のねらい

企業経営活動は、利潤生産・商品生産過程において、生活の糧を提供し、人々の「豊かさの創造」機会をも生み出している。そして企業が存続し続けるためには利潤達成を実現すると同時に、社会的責任の遂行がなされなければならない。本講義では、こうした観点に立って、経営者・管理者行動に視点を当てる。

講義の内容・授業スケジュール

前期の目標：前期では、企業経営活動を全般に渡って概観する中で、「企業とは何か」を中心に講義する。そこでは、単に企業そのものの定義や概念を理解するだけでなく、「活動体」であり「存続体」であるという視点から企業と環境の構造的、体系的関連の構図の把握を目指す。

後期の目標：

前期で理解した企業活動の構造的理解の上に立って、体系的理解を目指す。経営学の各論を整理し、それぞれの理論的・実践的な統合化を主たる命題として講義するなかで、受講生各自が自らの視点と問題意識を持つことができるような環境創りに努めたい。

履修上の留意点

受講生は、新聞等のメディア情報を積極的に見ておくことと自分自身の独自ノートを創ること。

成績評価の方法

受講態度（出席状況）・レポート・定期試験により評価する。

教科書

百田義治編著『経営学 基礎』（中央経済社）

参考書等

鈴木幸毅著『環境経営学・環境経営学の確立に向けて』（税務経理協会）、名取修一・市川彰編著『現代経営学要論』（同友館）

その他

講義形式で進めるが、適宜学生との相互授業に心がける。授業内容に応じて資料を配布する。

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 会計学総論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 北口 <small>きたぐち</small> りえ | | | | |

講義のねらい

本講義は、会計学をはじめて学ぶ者を対象とします。まず、企業会計に関する基礎的知識を幅広く修得することを目的とし、さらに、講義を通じて会計の大まかな仕組みを知り、財務諸表を読み解く力をつけることを目指します。この力は企業の財務・経営状況を把握するための大きな助けとなります。企業の財務・経営状況を把握できるようになれば、皆さんが就職活動などにおいて行きたいと思う企業を選別、分析する際にも役立つと思います。また、就職するときだけでなく、就職した後も企業で業務を行っていく上で必要不可欠な知識や能力であると思いますから、大学の中だけでの勉強という意識ではなく、その後の生活でも必要な知識を習得しているんだという目的意識をもって講義に参加してほしいと思います。

講義の内容・ 授業スケジュール

本講義では、会計学の基本的原理、会計制度の構造、財務諸表（損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書）の作成方法やその分析方法などについて講義します。また、皆さんが理解しやすくなるように、講義では身近な具体的事例に関して新聞記事などを紹介しながら講義していく予定です。

履修上の留意点

本講義では、財務諸表を作成する技術である簿記については学びません。しかし、基本的な簿記の知識があるほうが講義内容を理解しやすいため、授業の最初の段階で簿記に関する簡単な説明を行います。

成績評価の方法

成績評価は、出席点、中間試験、期末試験の総合評価により行います。

教科書

未定。第1回目の講義の際に指示します。

Ⅲ 他 学 部 履 修 科 目

Ⅲ. 他学部履修科目

- ①フレックスA時間帯（月～金の1～5時限、土の1～4時限）に開講されている科目は、フレックスAの他学部履修科目（P.627）を参照してください。
- ②他学部履修科目は、3年次以上を対象とします。
- ③配当学科の（ ）内の学科生は、他学部履修科目として履修できません。

| 科目名 | 配当学科 | 開講区分 | 単位 | 担当者名 | ページ |
|-----------|----------------------------------------------------|------|----|-------|-----|
| 商学総論 | 他（経B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政営A34選 他（経B）法B営B34選 | 通年 | 4 | 大吹 勝男 | 853 |
| 社会思想史 a | | | | 休講 | |
| 社会思想史 b | | | | 休講 | |
| 国際経済論 | 他（経B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A34選 他（経B）法B34選 | 通年 | 4 | 徳永 俊明 | 854 |
| 商業政策 | | | | 休講 | |
| アジア経済学 | | | | 休講 | |
| マーケティング | 他（経B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政34選 他（経B）法B34選 | 通年 | 4 | 曾我 信孝 | 855 |
| 中小企業論 | 他（経B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政営A34選 他（経B）法B営B34選 | 半期 | 2 | 吉田 敬一 | 856 |
| 中小企業政策論 | 他（経B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政営A34選 他（経B）法B営B34選 | 半期 | 2 | 吉田 敬一 | 857 |
| 人口論 | 他（経B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政営AGM34選 他（経B）法B営B34選 | 通年 | 4 | 森岡 仁 | 858 |
| 人的資源管理論 a | 他（経B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政34選 他（経B）法B34選 | 半期 | 2 | 掘 龍二 | 859 |
| 人的資源管理論b | 他（経B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政34選 他（経B）法B34選 | 半期 | 2 | 掘 龍二 | 860 |
| ※法思想史 | 他（法B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商政営A34選 | 通年 | 4 | 高橋 洋城 | 861 |
| ※倒産処理法 | 他（法B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商政営A34選 | 通年 | 4 | 鈴木 貴博 | 862 |
| アメリカ経営学 | 他（営B）禅仏国英地文環境歴 日外考福心経A商法A政34選 他（営B）経B法B34選 | 通年 | 4 | 宮城 徹 | 863 |

| | | | | | |
|-------|-----------------------------------------------------|----|---|-------|-----|
| 経営財務論 | 他(営B) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政34選 他(営B) 法B34選 | 通年 | 4 | 高田 光明 | 864 |
| 経営組織論 | 他(営B) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商法A政34選 他(営B) 経B法B34選 | 通年 | 4 | 日野 健太 | 865 |
| 公益企業論 | | | | 休講 | |
| 管理会計論 | 他(営B) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政34選 他(営B) 法B34選 | 通年 | 4 | 猿山 義広 | 866 |
| 会計監査論 | 他(営B) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政34選 他(営B) 法B34選 | 通年 | 4 | 阿部 一人 | 867 |
| 日本経済論 | 他(営B) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政34選 他(営B) 法B34選 | 通年 | 4 | 羽鳥 茂 | 868 |

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 商学総論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営A34選 他(経B) 法B営B34選 | | | | |
| 担当者名 | 大吹 ^{おおぶき} 勝男 ^{かつお} | | | | |

講義のねらい

大学は、「企業に貢献する人材を育成」しなければならない、として大学は社会的要請に応えねばならないというが、その実、社会ではなく、会社・企業のために諸君を育成しろというマスコミや評論家等々、そして学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は君たち自身のためにあり企業のためにあるものではありません。大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷い、そして考え大人になっていくところが、大学という場です。「即戦力になる人材の育成」をうたい文句にした大学も続々と出現していますが、企業は即戦力が必要ならば、そのような人材を中途採用します。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実^{じやんじつ}に困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策を学習するための基礎理論を提供するものでもあります。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目ようになります。

- (1) 商品論(価値論)・電子マネー
- (2) 生産過程論(労働過程論)
- (3) 流通過程論(資本の流通過程・商品在庫と保管費用・市場と商品輸送)
- (4) 商業資本の本質・機能論
- (5) 商業資本の自立化論・卸売り排除論(中抜き論)
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねたレポートの提出も評価します。期末試験では、テキストおよびノートの参照は可とします。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことでありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備(学習)をして試験に望んでもらいたいということでもあります。したがって容易に単位が取得できるということを意味しませんから要注意です。

教科書

前期 大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』(粹出版社) 1,500円
後期 大吹勝男著『商業資本の基礎理論』(粹出版社) 1,500円

| | | | | | |
|------|-------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 国際経済論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A34選 他(経B) 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | とくなが としあき 徳永 俊明 | | | | |

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きていたわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としていますが、同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱としていくことが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

〈講義のテーマ(予定)〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日=第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱を一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済
貿易・国際通貨制度・資本輸出——(「援助」と多国籍企業)・〈南北問題〉と新国際経済秩序
- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

成績評価の方法

成績は世界経済の基本事項、世界経済の“枝葉”ではなく、“幹”の理解度をミニ・レポート(2回予定)および学年末レポートで評価します。配分はミニ・レポート40点、学年末レポート60点。(レポート評価のため追試験は行ないません。)

参考書等

講義の中で適宜紹介します。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | マーケティング | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選 他(経B) 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 曾我 信孝 <small>そが のぶたか</small> | | | | |

講義のねらい

マーケティング技術の基本的な方法を理解し、マーケティングが抱える倫理の問題を理解してもらうことにねらいを置く。

講義の内容・授業スケジュール

前期はマーケティング政策のなかの特に製品政策と価格政策に関する本質を学習しながら、それらの政策を企業が展開するにあたってのモラルハザードを指摘していく。そして、それらの実例を上げ(事件性のある事例はもちろんであるが、今日賛美されているマーケティング政策で本来モラルが強く要求されるべき問題も含める)、モラルハザードとなる原因を究明する。前期では、実証的な学習資料として2~3回ビデオ(40分程度)を見てもらう。

後期はマーケティング政策のチャネル政策と促進政策を学習しながら、それらにかかわるモラルの問題を学習し、さらにマーケティングモラルの範疇に含めなければならない問題を追加して、説明していく。特に、これまでマーケティングの範疇には含まれていなかったリスクマネジメントの問題が、大規模な製品回収など顧客保護の面からは重要であることを説明する。後期もマーケティングあるいはマーケティングモラルに関する事例を紹介するため2~3回ビデオ(40分程度)を見てもらう。

なお、講義は全てパワーポイントを使って行う。

履修上の留意点

マーケティングを学ぼうとする知識欲旺盛な方の受講を期待しています。他人に迷惑をかけるなど、著しく受講態度の悪い方は学期途中でも受講を断ることがあります。

成績評価の方法

夏休みの課題および年度末の課題の年2回のレポート(60%程度)と平常点(講義中の小レポートの評価:40%程度)によって評価する。

教科書

基本的には教科書は使用しない。参考書は適宜紹介する。

その他

授業方法-講義形式

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中小企業論 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営A34選 他(経B) 法B営B34選 | | | | |
| 担当者名 | 吉田 敬一 | | | | |

講義のねらい

この講義は中小企業論の内容を前提として進めます。戦後日本の高度成長を支えた中小企業の革新過程を支援した中小企業政策の特徴を学ぶこと、さらに下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 復興期の中小企業政策、
- 2 中小企業と不正取引問題
- 3 高度成長と中小企業近代化政策、
- 4 中小企業政策の大転換、
- 5 経済のグローバル化と中小企業政策

履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は学期末試験(ノート持込可)を基準とし、追試験は実施します。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行いません。

参考書等

『中小企業白書』
 吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房
 吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版
 渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣
 『世界を制した中小企業』講談社現代新書

| | | | | | |
|------|----------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 中小企業政策論 | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 他（経B）禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営A34選 他（経B）法B営B34選 | | | | |
| 担当者名 | よしだ けいいち 吉田 敬一 | | | | |

講義のねらい

この講義は中小企業論の内容を前提として進めます。戦後日本の高度成長を支えた中小企業の革新過程を支援した中小企業政策の特徴を学ぶこと、さらに下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 復興期の中小企業政策、
- 2 中小企業と不公正取引問題
- 3 高度成長と中小企業近代化政策、
- 4 中小企業政策の大転換、
- 5 経済のグローバル化と中小企業政策

履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は学期末試験（ノート持込可）を基準とし、追試験は実施します。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行いません。

参考書等

『中小企業白書』
吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房
吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版
渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣
『世界を制した中小企業』講談社現代新書

| | | | | | |
|------|--------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 人口論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営AGM34選 他(経B) 法B営B34選 | | | | |
| 担当者名 | 森岡 仁 | | | | |

講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるといえるものではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げた経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求する。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能なかぎり将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる少子化と年齢構造の高齢化の問題、さらには2005年から始まった人口減少問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていく。

一方発展途上諸国に生じている人口増加の問題は、貧困からの脱却のため、あるいは資源・環境の観点からも緊急に解決しなければならない困難な課題を提起している。このようにみえてくると、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養い、政策論にも言及してみたい。

この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら近年の先進諸国においては子供を公共財的に扱う傾向があり、人口問題が国民一人一人の問題になっているからである。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

履修上の留意点

履修に当たっての条件というものはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況。

教科書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』(新評論)1981年、2,800円、1033-330172-3177
大淵 寛・森岡 仁『人口減少時代の日本経済』(原書房)2006年、2,800円

参考書等

大淵寛『少子化時代の日本経済』(日本放送出版協会)1997年、4-562-09112-6
阿藤誠『現代人口学』(日本評論社)2000年

その他

授業の方法：講義

| | | | | | |
|------|--------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 人的資源管理論 a | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選 他(経B) 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | ほり りゆうじ 堀 龍二 | | | | |

講義のねらい

人的資源管理とは、企業が従業員を人的資源とみなして、その有効活用を図る施策のことです。端的にいえば、どのような人をどのような形態で雇い、企業目的に沿ってどのように活用し、その働きに対してどのように処遇するか、といった課題を扱います。a(前期)では、主にわが国の雇用の変化と新しい働き方の問題を取り上げます。

いま、雇用のあり方は流動化、多様化、階層化という事態を迎えています。まず長期勤続を奨励する従来の雇用政策から従業員の入れ替えがしやすい政策への転換がみられます。次に、いわゆる正社員という雇用形態だけでなく、パート、派遣、契約といった非正規雇用の活用が進展しています。非正規雇用は雇用者全体の3割にも達しています。また、正社員の間でも職種別、地域別、組織別に別々の人事制度を適用する複線化が進められています。さらに、最近では、労働基準法による労働時間規制を適用しない「ホワイトカラー・エグゼンプション」という新しい働き方が検討されています。このような雇用のあり方の変化は、何を背景にして生じているのか、企業の経営戦略とどのように結びついて展開されてきているのか、それが働く者にとってどのような意味を持つのかこうした問題を考察してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下の構成で進める予定ですが、変更されることもあります。また講義の進行は教科書の順序とは異なります。

1. 講義概要の紹介とガイダンス
2. 人事労務管理論から人的資源管理論へ
3. 戦後わが国の雇用問題をめぐる労使紛争
4. 高度経済成長と終身雇用
5. 低成長時代の雇用調整と終身雇用の変容
6. 平成不況下のリストラクチャリングと雇用問題
7. 雇用の流動化
8. 新時代の日本的経営と雇用形態の多様化
9. 非正規雇用の増大
10. パートタイマー問題
11. 労働者派遣法と派遣労働者問題
12. 働き方の多様化と均等待遇問題
13. 労働時間問題とホワイトカラー・エグゼンプション
14. 雇用ルール法制化の動き(労働契約法)
15. 雇用問題の日米比較

履修上の留意点

原則として、a(前期)とb(後期)を合わせて同一年度に履修してください。

成績評価の方法

出席、小レポート(毎回)、前期定期試験を総合して評価します。

教科書

伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。(2,600円+税)。なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

参考書等

講義中に適宜紹介する。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 人的資源管理論b | 開講 | 半期 | 単位 | 2 |
| 配当 | 他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選 他(経B) 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 堀 龍二 | | | | |

講義のねらい

人的資源管理とは、企業が従業員を人的資源とみなして、その有効活用を図る施策のことであり、端的に言えば、どのような人をどのような形態で雇い、企業目的に沿ってどのように活用し、その働きに対してどのように処遇するか、といった課題を扱います。b(後期)では、主に従業員の働きに対してどのように処遇するかという問題を取り上げます。つまり、人事考課、昇進・昇格、賃金、退職金、福利厚生などに関する諸制度です。

いま、わが国企業は、激しい国際競争を勝ち抜くために競争力強化を求められており、そのなかで競争優位の源泉とされる人的資源の更なる有効活用を追求しています。そこで登場してきたのが、従来の年功主義や能力主義ではなく、成果主義という新たな方針です。この成果主義はかなり普及してきましたが、その具体的制度の導入や実施・運営をめぐる混乱や不満も引き起こしています。本講義は、成果主義に基づいて展開されている、新しい人事考課、昇進・昇格、賃金、退職金、福利厚生の諸制度の実態と問題点を探ることをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

以下の構成で進める予定ですが、変更されることもあります。また講義の進行は教科書の順序とは異なります。

1. 講義概要の紹介とガイダンス
2. わが国企業の人事考課の特徴と国際比較
3. 成果主義に伴う人事考課の変化と目標管理
4. コンピテンシー評価
5. 戦後の賃金制度の変遷(属人給と仕事給)
6. 職能資格制度とその変容
7. 成果主義賃金制度の類型
8. 労働費用(総額人件費)
9. 賞与と退職金制度の最近の動向
10. 複線型人事制度の展開
11. 福利厚生制度の変容
12. 成果主義と人材育成
13. 成果主義の問題点
14. 新しい働き方と労働組合
15. 全体のまとめ

履修上の留意点

原則として、a(前期)とb(後期)を合わせて同一年度に履修してください。

成績評価の方法

出席、小レポート(毎回)、後期定期試験を総合して評価します。

教科書

伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。(2,600円+税)。なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

参考書等

講義中に適宜紹介する。

| | | | | | |
|------|--------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 法思想史 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 他(法B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商政営A34選 | | | | |
| 担当者名 | たかはし ひろき 高橋 洋城 | | | | |

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な様式なのだということが自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にほぼ限定される(東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない)。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下に掲げる時系列に沿った講義を柱とし、その過程でいくつかの重要な法概念については、時代横断的な考察をも交えていく。

第 I 部 古典的自然法論とその背景の世界像

- [1] 講義のねらい、対象、重点、注意事項などについて / プラトンの法思想：『国家』を中心に考察する
- [2] アリストテレスの法思想：アリストテレス哲学の基礎理論を考察する
- [3] アリストテレスの法思想(続)：正義論、政治体制論を中心に考察する
- [4] キリスト教とローマ法：ヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたキリスト教およびローマ法に由来する諸概念・思想について概説的な紹介を行なう。
- [5] 中世自然法論：トマス・アクィナスの自然法論を中心に論ずる。題材は主として『神学大全』に拠る。

第 II 部 近代自然法論の思想

- [6] 近代的世界像と社会契約説総説
- [7] ホブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心に考察する
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に考察する。また特に、所有権論史におけるロック所有権論の意義に着目する
- [9] ルソーの法思想：『社会契約論』『不平等起源論』を題材に考察する / 近代自然法論まとめ
- [10] カントの哲学と法思想 批判哲学の意義とその法理論への展開を考察する。特にカントに於ける「公論」の意義を検討する

第 III 部 19世紀以降の法思想・法律学の潮流

- [11] 近代市民社会の思想：18世紀～19世紀の自然法論の果たした役割、およびヘーゲル法哲学について論ずる
- [12] 19世紀の法律学の動向：歴史法学・概念法学についてとりあげる。
- [13] 概念法学批判
- [14] 法実証主義の諸形態
- [15] 現代法理論の動向

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験と平常点によって評価する。平常点には小テスト、課題レポート等が含まれるが、これらは加算点にのみ用いる(定期試験のみを受験するのでもかまわないということ)。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

履修
科目
目

参考書等

法思想史に関する概説書の例として
 ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。
 ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。
 講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

| | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 倒産処理法 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 他（法B）禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商政営A34選 | | | | |
| 担当者名 | 鈴木 貴博 <small>すずき たかひろ</small> | | | | |

講義のねらい

破産法を中心に倒産法制の概要とその基本事項に関する理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

倒産処理手続は、債務者、債権者、担保権者など多数の利害関係人の利益が錯綜する。そのため、手続の基準は債権者の平等な取扱いや社会経済上の不利益の回避といった要請に応え、多数の利害関係人を納得させるように機能することが期待される。このような手続の必要に伴う法律関係の修正・変更について手続の概要とともにまなんでいくことにする。

1. 倒産法制の概観
2. 破産原因・破産能力
3. 破産申立てと破産宣告手続
4. 別除権・相殺権
5. 破産財団をめぐる法律関係
6. 財団再建・取戻権
7. 破産手続の主体
8. 否認権・配当
9. 免責・破産犯罪

履修上の留意点

民事法関連科目（民法・商法・民事訴訟法など）を履修済みであることが望ましい。その他、受講にあたって必要なことは開講時に指示する。

成績評価の方法

簡単なレポートと定期試験の総合評価により行う。

教科書

徳田和幸『プレップ破産法』第3版（弘文堂）2005年 1,260円

参考書等

山本和彦『倒産処理法入門』第2版（有斐閣）2005年 2,100円
 伊藤眞『破産法』第4版（有斐閣）2005年 4,200円
 青山善充・伊藤眞・松下淳一編『倒産判例百選』第3版（有斐閣）2005年 2,730円

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | アメリカ経営学 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 担当 | 他(営B) 禅仏国英地文環境歴日外考福心経A商法A政34選 他(営B) 経B法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 宮城 徹 | | | | |

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数(ただし、期末試験日を入れて)から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数(合計29回)で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当たる場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

〈2005年度『アメリカ経営学』授業計画〉

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力(パワー)(8)
- IV 戦略(特に提携、グループ、ファミリー)(4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル-エージェント理論 (2)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』(税務経理協会)1997年
 - 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』(早大、第20号)1985年
 - 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』(千倉書房)1987年
 - 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』(第2版)(成文堂)1998年
 - 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』(学文社)1993年
 - 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』(千倉書房)1997年
 - 7 宮城徹(単独訳書)『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』(税務経理協会)2000年(A. Picot u. a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998)
 - 8 宮城徹(共訳書)『新制度派経済学による組織入門』(白桃書房)1999年(A. Picot u. a., Organisation. Eine { } ökonomische Perspektive, Schaffer-Poeschel, 1997)
- ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介してゆく。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 経営財務論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 他(営B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選 他(営B) 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 高田 ^{たかだ みつあき} 光明 | | | | |

講義のねらい

経営財務論は、企業という組織体の財務活動を研究対象とする学問分野である。今日、企業の財務という場合、企業による資本の調達と運用をいっている。企業は、その活動を営むに際し、原材料などの財貨や労働力を確保しなければならない。そのために元手となる資本を必要とする。資本の調達とは、この元手となる資本を集めることをいう。そして調達した資本で、企業は、原材料などの生産要素を取得して、製品を生産し販売するという活動を遂行する。これが資本の運用である。

資本の源泉は、それぞれ異なる特徴を持っている。したがって、生産要素の取得を賄うために必要とする資本を、どの源泉からどのくらいずつ調達するかは、企業のその後大きな影響を与える。この授業では、以上の問題意識のもとに、次のスケジュールにしたがって講義を進め、経営財務に関する基礎的知識・基本的考え方を身に付けることを主要目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達方法の特徴
6. 資金調達の基本原則
7. 流動・固定分類法の重要性
8. 資金概念
9. 企業利益の概念
10. 減価償却費の性格
11. キャッシュ・フロー
12. リスクとリターン
13. レバレッジ
14. 資本のコスト
15. 続・資金調達の基本原則
16. 資金調達の手順

成績評価の方法

期末の筆記試験による評価を原則とし、出席点を加味する。

| | | | | | |
|------|-------------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 経営組織論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 他(営B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政34選 他(営B) 経B法B34選 | | | | |
| 担当者名 | ひの けんた 日野 健太 | | | | |

講義のねらい

組織論のフレームワークによって、企業をはじめとする組織を分析できるようになることを目的とする。そのための基本概念と思考方法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

経営組織論の内容は、大きく分けて、組織の環境適応を扱うマクロ組織論と、組織における集団、個人を扱うミクロ組織論に大別される。この講義は、ミクロ組織論、マクロ組織論の順序で講義を進める。学生諸君が具体的なイメージを持てるように、配慮する。また、学年末の数回は、組織論の分野の新しい理論やトピックについて扱い、全体的な理解が深まるようにする。

講義の対象は以下の通り(番号と講義の回数は対応しない。また必要に応じて順序を入れ替えることがある。)

- (1) 組織論における組織観と人間観
- (2) モチベーション
- (3) 組織文化
- (4) リーダーシップ
- (5) 組織の環境適応
- (6) 戦略と組織構造
- (7) 情報処理の理論
- (8) 知識創造理論
- (9) 資源依存モデル
- (10) まとめ

履修上の留意点

どうすればうまく学べるか、を意識して欲しい。「自分の言葉でひとにわかるように説明する」ことを意識して講義に参加すること。試験前に困っている友達にノートを貸して、講義の内容を教えてあげられるようになれば完璧。

成績評価の方法

後期の授業開始日に中間試験を行う。このテストのウエイトが30%程度、学年末の定期試験のウエイトが70%程度。大まかには、この二つが成績を決める。中間試験を欠席するのは、即不可ではないが、致命的である。

授業中に小テストを行ったり、講義の内容に対してフィードバックを得るために出席をとることがあるが、必要に応じて成績評価に加味する。

教科書

金井壽宏『経営組織』(日経文庫)

参考書等

桑田・田尾『組織論』(有斐閣)

大月・藤田・奥村『組織のイメージと理論』(創成社)

田尾『モチベーション入門』(日経文庫)

経営学辞典の類、例えば、二神編著『ビジネス・経営学辞典』(中央経済社)などもなにかと重宝である。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 管理会計論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 他(営B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選 他(営B) 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | さるやま よしひろ 猿山 義広 | | | | |

講義のねらい

この講義の目的は、日商簿記検定試験や公認会計士試験に出題された計算問題を解きながら、管理会計の考え方や技法を理解してもらうことにある。管理会計は財務会計と並ぶ会計学の柱であり、会計学系列の演習を受講する学生はできるだけ履修してほしい。また、管理会計は経営学とも深く関わっているので、経営学系列の演習を受講する学生も積極的に履修してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

この講義の小テストを除いた授業計画は以下のとおりである。

- 第1回 管理会計の基礎
- 第2回 管理会計と原価計算Ⅰ－原価の意義と分類
- 第3回 管理会計と原価計算Ⅱ－原価計算の手続
- 第4回 管理会計と原価計算Ⅲ－直接原価計算
- 第5回 短期利益計画におけるCVP分析Ⅰ－損益分岐点分析
- 第6回 短期利益計画におけるCVP分析Ⅱ－目標利益の達成計画
- 第7回 短期利益計画におけるCVP分析Ⅲ－プロモーション効果
- 第8回 原価予測
- 第9回 最適セールス・ミックスの決定
- 第10回 経済的発注量(EOQ)の決定
- 第11回 事業部制の管理会計
- 第12回 標準原価計算による原価管理Ⅰ－原価統制の基礎
- 第13回 標準原価計算による原価管理Ⅱ－製造間接費の原価差異分析
- 第14回 予算実績差異分析
- 第15回 標準直接原価計算
- 第16回 活動基準原価計算(ABC)
- 第17回 原価企画
- 第18回 バランス・スコアカード(BSC)
- 第19回 意思決定会計Ⅰ－不確実性下の意思決定
- 第20回 意思決定会計Ⅱ－設備投資の意思決定

履修上の留意点

講義の重点は計算問題の解法に置かれるので、かならず電卓を持参すること。周知のように、管理会計における計算問題の多くは、日商簿記1級原価計算や公認会計士試験原価計算の特殊原価調査の分野で出題されるような問題と重なっているため、学習効果を高めるためにも、できるだけ「原価計算論」と併せて履修してほしい。

成績評価の方法

年間で6回から8回行う小テストを計20点満点、定期試験を80点満点として、合計100点満点で評価を行う。定期試験は電卓以外の持ち込みは一切不可なので、注意してほしい。ただし、中間試験および夏休み中のレポートなどは行わないので、安心して下さい。

教科書

とくに指定する教科書はないが、計算問題については日商簿記2級工業簿記や日商簿記1級原価計算の過去問題を参考にしてほしい。また、例題や解法のポイントについてのプリントを毎回配布するので、それを保存するようにしてほしい。

参考書等

管理会計の最新理論については次の本に詳しく述べられている。
櫻井通晴『管理会計〔第三版〕』同文館出版。

その他

少しでも疑問な点があれば、授業中でも授業終了後でもかまわないので、積極的に質問すること。最後まであきらめることなく、よい成績が得られるように、粘り強く勉強してほしい。

| | | | | | |
|------|--------------------------------------------|----|----|----|---|
| 科目名 | 会計監査論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
| 配当 | 他(営B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選 他(営B) 法B34選 | | | | |
| 担当者名 | 阿部 <small>あべ かずひと</small> 一人 | | | | |

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”
もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 会計監査の意義と目的(総論)(1)
 - (1) 監査の必要
 - (2) 監査の意義
 - (3) 監査の対象
2. 会計監査の意義と目的(2)
 - (1) 監査の目的
 - (2) 監査思想の変遷
 - (3) 監査の効用
3. 監査の機能
4. 会計上の誤謬と不正
5. 監査の種類
6. 会計監査と財務諸表監査
7. 我国の監査制度
 - (1) 証券取引法監査
 - (2) 商法監査
 - (3) その他の監査制度
8. 監査基準(1)
 - (1) 必要性
 - (2) 生成と展開
9. 監査基準(2)
 - (1) 意義
 - (2) 体系
 - (3) 一般基準
 - (4) 実施基準
 - (5) 報告基準
10. 監査人
11. 監査証拠
12. 監査計画
13. 内部統制
14. 試査
15. 監査技術と監査手続
16. 監査調書
17. 監査報告書
18. 連結財務諸表の監査
19. 中間財務諸表の監査
20. システム監査
21. 国際監査基準
22. 現代監査論の動向
 - (1) 監査概念の拡大化
 - (2) 監査保証に程度の差を認める監査概念

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート（夏季）および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

小関・柳田共著『監査論セミナー 改訂版』（東京経済情報出版）3,200円

参考書等

大矢知浩司『監査論概説』（白桃書房）3,300円
 田島四郎『最新監査論』（税務経理協会）2,900円
 高田正淳『最新監査論』（中央経済社）2,800円
 鳥羽至英『監査基準の基礎』（白桃書房）3,900円
 三澤 一『会計監査の理論』（中央経済社）2,800円
 山榎忠恕・松田信男『監査基準精鋭精説』（税務経理協会）3,500円
 脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』（中央経済社）3,800円

| 科目名 | 日本経済論 | 開講 | 通年 | 単位 | 4 |
|------|------------------------------------------|----|----|----|---|
| 配当 | 他（営B）禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選 他（営B）法B34選 | | | | |
| 担当者名 | はとり しげる 羽鳥 茂 | | | | |

講義のねらい

1990年代以降の長期停滞が長引くなかで、日本の経済システムの問題点およびそれと関連するシステム変換の必要性がさまざまな視点から議論されています。これらの議論を理解し自分の意見を持つためにはそもそも多様な経済システム（日本の経済システムもその1つ）がどのようにして生成し、またどのように進化していくのかについての理解が不可欠です。このことを考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアの1つである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、講義のねらいの目標にチャレンジします。

前期では企業の内部システムを検討します。企業内コーディネーションの情報効率性比較、企業システムの生成と進化の可能性、雇用契約とインセンティブが主要なテーマです。

後期においては、企業間の競争と合併、コーポレート・ガバナンス、企業金融、政府と企業の関係がテーマになります。

成績評価の方法

後期授業終了後の筆記試験によって成績評価を行います。ただし、課題レポートの提出とその内容も考慮に入れます。

教科書

青木昌彦、奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会）1996年、3,200円

参考書等

講義の進み具合に応じて適宜紹介します。

その他

数学が必要な時にはできるだけ解説します。意欲ある諸君の出席を期待しています。